No.132
AUGUST 1999



Art Director
加藤　恵　MEGUMI KATO

Designers
エステム
谷本 里奈　RINA TANIMOTO
石井 充子　MITSUKO ISHII
小林 慶一　KEIICHI KOBAYASHI

Photographers
大内 政典　MASANORI OUCHI
山本 季之　TOSHIYUKI YAMAMOTO
斉藤　泉　IZUMI SAITO
赤羽 真也　SHINYA AKAHANE

Stylist
黒田 多美子　TAMIKO KURODA

Editor in Chief
豊岡 昭彦　AKIHIKO TOYOOKA

Senior Editor
丸山 隆章　TAKAAKI MARUYAMA

Managing Editor
今井 健史　KENJI IMAI
南波 俊幸　TOSHIYUKI NANBA

Associate Editors
森谷 一敏　KAZUTOSHI MORIYA
高橋　誠　MAKOTO TAKAHASHI
岡本　浩　HIROSHI OKAMOTO
塩崎 泰三　TAIZO SHIOZAKI
山口　愛　AI YAMAGUCHI
雨宮 秀樹　HIDEKI AMEMIYA
渡邉 邦子　KUNIKO WATANABE

Editorial Staff
ランディング
インフォメディア
市井文化社

Publisher
大村 厳　IWAO OOMURA



CONTENTS
MACLIFE

CONTENTS

MACLIFE

NewsArea

Review

LifeStyle & Entertainment

FreeWare

Business & Programming

Departments

特別付録『CD-ROM MACLIFE No.132』

Singer Song Writer 4.0体験版
特打2 体験版
Winning Post 4体験版
BUGDOMデモ版
Dark Vengeanceデモ版
Action GoMac2.0体験版
定番フリーウェア100ほか

月刊マックライフ　1999年8月号（No.132）
平成11年8月18日発行 第11巻第7号通巻126号
定価 980円（本体933円）
発行／株式会社エクシードプレス
発売／株式会社ビー・エヌ・エヌ
〒102-0074　東京都千代田区九段南2-7-6
相互九段南ビルディング

編集部　TEL 03-3238-9261／FAX 03-3238-9584
販売部　TEL 03-3238-1622／FAX 03-3238-1324
広告部　TEL 03-3238-1623／FAX 03-3238-1324
印刷／図書印刷株式会社



Cover Design：
MEGUMI KATO

Cover Photo：
MASANORI OUCHI

Stylist：
TAMIKO KURODA

表紙協力：
アキオ楽器
www1.odn.ne.jp/~aad18050/

東京都千代田区神田駿河台2-4-4
第2お茶の水ビル 2F
TEL. 03-5281-2860

ウクレレ
ZEPHYR 22-B
\22,000-

今月の表紙：
ブルーのウクレレ
（ZEPHYR 22-B）

今月の表紙は、夏を意識して、流行の兆しの見えるウクレレです。ウクレレの胴体が8月号の「8」のようにも見えます。また、ブルーのグラデーションと白壁の配色は、なんとなくブルー＆ホワイトのPower Mac G3のようにも見えます。夏の日差しのなかで、陽気な曲を奏でるウクレレ。この夏、あなたのMacはどんな曲を奏でてくれるでしょう？

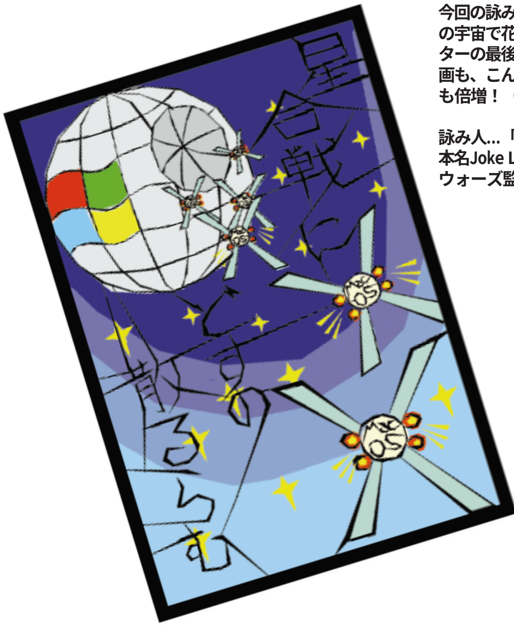
BREAK SHOT!
essay
事実は映画よりも奇なり

映し絵の、Xウイング、おーえすてん
星合戦にどすの散るらむ

冗句るーかす

まつくやまとうた

文・絵●H・Oタニ





今回の詠み人はアメリカ人である。無限の宇宙で花火のように散っていくドススターの最後を詠み人は予感する。本編映画も、こんなことを考えて見ると楽しさも倍増！（しない…）

詠み人…「冗句（じょーく）るーかす」本名Joke Lucas、草野球チーム、スターウォーズ監督

Mac OS Xは、AppleのXウイングである。以前、「山口百恵は菩薩である」という本を見た。見たというのは表紙を見ただけであって、内容は読んでいない。そんなものを引き合いに出すな、と言われればそれまでであるが、「○○は××だ！」「へえ〜、どうして？」と興味をもってもらえば、思う壺であるという話。

さて、Xウイングとは、STAR WARSで同盟軍が使ってたアレである。なぜ、Xウイングかって？　それは、これから先の本当のような冗談の話をお読みになればおわかりいただけることと思う。

A long time ago in a garaxy far , far away.....　STAR WARSの新作が日本でも公開され、話題を呼んでいる。20年前、特撮のためにジョージ・ルーカスは自らSFX工房ILM（Industrial Light & Magic）を設立した。

時同じくしてジョブズとウォズはApple Iを創り、我らがジョーク・ルーカスは、ILM（I Love Macintosh!）を設立、Appleの壮大なる物語の序章が始まろうとしていた。

まず、ジョーク・ルーカスの旧作エピソード、IV〜VIまでを振り返ってみよう。

ドースベイダー率いる帝国軍と自由を守ろうとする叛乱同盟軍は、まさに決戦の時を迎えようとしていた。帝国軍は最強の要塞としてのドススターの完成を急ぎ、リサ姫を人質に降伏を迫っていた。マック・スカイウォーカーは、サン・ソロらとドススター壊滅のために戦う。マックはフォースならぬパワーを身に付け、ドースベイダーと対決。マックとリサが兄妹であることや、ベイダーがマックの父、エムエス・スカイウォーカーであることが判明、最後にはドススターを破壊した。

今回の新作では、ベイダーことエムエス・スカイウォーカーの生い立ちから始まり、その昔、エクセルを作っておきながらどうして暗黒の道へ入ったのか、謎が解きあかされていく……詳しいことは、劇場へ（行っても見れません）。

本当のSTAR WARSは全部で９話あるそうで、エピソードIIVからIXを見れば、業界の将来も見えて来るんじゃあないだろうか？

そんな訳で「事実は映画より奇なり」、パソコン業界はまさにSTAR WARSであり、OS XはXウイングという結論に達したのである（でも、Xウイングでドススターを破壊するのは難しいかなぁ……）。

余談だけど、そういえば山口百恵の引退も20年ぐらい前だったなぁ。

BREAK SHOT!

essay

スピードって客観的？



©Yukiko Kimishima

Speed 450 MHz

パソコンの速度についても、いろいろな見方があっていいのではないだろうか？

姉歯康＝ライター

西武の松坂投手はとにかくすごい。そのスピード、スライダーの切れなど、技術もさることながら、私はそのマウンド度胸に、特に関心してしまう。ところが登板翌日の新聞の見出しを見ると、「153km/h快速球」などと、やたら数字ばかりが目に付く。客観的に表現するための配慮なのだろうが、松坂の魅力の半分も伝わってこないような気がする。

4年ほど前、まだ私が雑誌の編集の仕事をやっていた頃、イラストレーターの故・安田隆一さん、編集者のO君、そして私の3人で酒を飲んでいた。そこで突然、安田さんが出したテーマが「今まで見たピッチャーの中で、誰の球が一番速かったか？」

私（当時29才）の答えは江川卓、O君（当時28才）は故・津田恒美、そして安田さん（当時37才）は当然のごとく、江夏豊と答えた。もちろん、すでにスピードガンは存在し、伊良部あたりが日本一ということになっていた時代の話である（速度ランキングでは、自己推定160km/hの400勝投手が1位になっていることもあり、それはそれで笑えたが……）。

この解答、三者三様で面白い。私にとって、江川はまさに怪物クンである。高校時代のすごさは松坂の比ではなかったと思うし、その直球はテレビで見ていても手元でホップするのがわかった。津田は、とにかく手を離れてからキャッチャーミットに収まるまでが速かった。江夏はといえば、彼の阪神時代の野球放送はバックネット裏にカメラがあり、単純に比較できないが、確かにすごかった。

個人的には、江夏が一番遅いような気もするが、「バッキーが荒川を殴った試合をリアルタイムで見た！」と豪語する安田さんの答えとしては、全然不思議ではない。

スピードガンを無視すると、野球が一段と楽しくなってくるのだ。そこで思うのだが、パソコンの速度についても、いろいろな見方があっていいのではないだろうか？

アップルは新製品を出すたび、Adobe Photoshopを使ってペンティアムマシンとの比較を行なう。そして「Macはこんなに速い！」とアピールする。しかし、冷静に考えれば、「Photoshopを使って行なう作業に限ってはMacのほうが快適だ」ということがわかるだけである。そもそも、PhotoshopはMacで先行開発されており、Mac版のほうがよくできているに違いないのだ。逆に、ExcelやWordを使ってテストをすれば、今度はMacが圧倒的に不利になる。概してマイクロソフト製品はWindows版のほうがパフォーマンスがよい。Mac版とWindows版の速度を合わせるなどということは、誰にもできないのである。

では公平なテストはないのか？　ということでアップルがよくやるのが、BYTE Markテスト。これでCPUの速度を純粋に比較できるらしいが、純粋にチップの速度を比較されても、肝心のアプリケーションのパフォーマンスまでを把握することはできない。

では何を基準にすればいいのか……。ここで私は主張したい。ズバリ、「主観」である。安田さんのように、「江夏の球が一番速い」と言い切ってしまえばいいではないか！

私はPower MacとWindowsマシンを所有しており、多くの人が「Windowsのほうが速い」というのは、ある面では理解できる。マシン起動も速いし、バックグラウンドでも快適に作業でき、Officeもサクサク動く。

しかし、だからといって「Windowsのほうが速い」とは死んでもいえない。あのマシンに向かった途端、思考が停止してしまうのだ。

本誌でもお馴染みのライター荻窪圭氏は、かつて「仮にWindowsを使って半分の時間で作業ができたとしても、ストレスは2倍になる」と語った。まさに「言い得て妙」である。この言葉にこそ、「江夏の豪速球」の秘密が隠されているのではないだろうか？

BREAK SHOT!

essay

あなたはこれでも音楽家に憧れますか？

表もあれば裏もある！
某ミュージシャンの私生活に見る音楽業界の現実

森本真也＝職業音楽屋



イラスト●益田賢治

お気づきの方も居られるかもしれない、このページ右下、私の肩書きが「職業音楽屋」となっていることを。書いて字の如く、音楽を生業としているわけだが、ステージ上で華々しくスポットライトを浴びることもなければ、かわいコちゃんアイドル（っていなくなったよねぇ、最近）に曲を提供しているわけでもない。それじゃ、何をやっているんだというなかれ。「光あるところに影がある」の理屈に基づいて、音あるところには数しれぬ名もなき音屋の姿があるのだ。

普段の生活の中で、身の回りにあふれるさまざまな音、ことさら音楽。たとえば、東京ローカルな方にはお馴染み、JR山手線の発車音楽だって作った人間がいるわけだし、中にはご苦労にもMacの起動音をギターで弾いた人までいる（凄腕ギタリスト、スタンリー・ジョーダンのこと。初代Power Macの起動音は彼によるもの）。果ては、スーパーの菓子売場でこれ見よがしに流されていた「だんご3兄弟」だって、ちゃんと作曲者がいるのだ、ってこりゃ当たり前か。ところで、あの歌が流行ってから、本当に1串に3個しか付いていないだんごが多くなったんだけど（閑話休題）。

かくいう私はというと、企業の社内研修ビデオのBGMを作ってみたり、はたまた学校教材の収録曲アレンジを手掛けたりと、八面六臂にやっていたりする。そういえば、随分以前の話になるが、とあるMac用周辺機器の宣伝用ムービーに音を付けたことがある。その当時、私はまだMacユーザーではなく、かの国民機を使ってシコシコと作業をしていたのだが、そのムービーはどうもMACLIFEのCD-ROMにも収められたらしい。先述のとおり、まだMacユーザーでもMACLIFE読者でもなかった私は、実際にCD-ROMに収められたものを目にも耳にもすることがなかったが、ひょっとすると読者諸氏の中には、それが私のものとは知らずに耳にされた方もいたりして（笑）。

さて、この手の映像系のBGMは、ある意味非常に特殊なのだ。とにかく目立ってはいけない。あくまで映像を引き立てるものであって、その存在は刺身のツマ以下、野菜サラダのレタスに付いた水滴みたいなもの。目蒲線に匹敵する、絶妙な「あってもなくても良さ」が求められるのである。しかも、場合によってはそういった曲を、短期間にかなりの曲数を制作しなければいけない。作曲なんて作業は「精神の切り売り」みたいなもので、冗談ではなく精神的なことから胃を壊すヤツが多いんだ、この業界は。さらに作った楽曲は基本的に「買い取り」である。これはその名のとおり、楽曲を権利ごと売り払うことになるため、その場のワンショットのギャラのみで、夢の印税などはまったく発生しない。まさに、八百屋の店先のキュウリやナスビよろしく「一山なんぼ」の世界だが、それなりに需要があるために仕事として成立する。このあたり、音楽家ではなく「音楽屋」たる所以なのだ。

音楽屋などという職業をやっていると、世間的にはよく「好きなことやってるんだからいいじゃない」と言われる。これ、逆説的に言わせてもらえば、「好きでもなければ、とてもじゃないけどやっていられない」んですよ、実際は。ひょっとすると、読者の中にも未来の音楽屋予備軍が居られるかもしれない。心底「音楽が好きだ」と言えるなら、覚悟を決めて飛び込んでらっしゃい。もっとも、私は自分の仕事を取られないように、そうはさせじと踏ん張るけど。

絶対必要というわけではないけど、ないと何だか淋しい。そんな、名もなき音屋が作ったタイトルさえなく、決して後世に残ることなどない数々の曲に、たまには耳を傾けてみてほしい。作った以上は、聴いてくれる人がいると思える時が、音楽屋として幸せだったりするんだから。

Who's who

小池邦人さん

Kunihito Koike
コーシングラフィックシステムズ
取締役副社長



Apple Design Award賞の記念トロフィー。ずっしりとした重さがあり、台座にはランプが組み込まれており、下からライトを当てることができる



Apple Design Award受賞記念インタビュー

キューティマスコットでAppleから賞をもらいました

コーシングラフィックスのデスクトップアニメーション作成ソフト「キューティマスコットJr.」が、先頃行われたAppleのWorldWide Developpers Conference（WWDC）において、日本のデベロッパーとして初めてApple Design Awardを受賞した。同ソフトの開発の中心となった小池邦人氏に、受賞の顛末と開発の裏話などを聞いた。

実は受賞理由をまだ聞いていません

——まずはおめでとうございました。今回の受賞に関しては、事前に「いけそうだ」という雰囲気はあったのですか？

小池●いや、そもそも応募の締め切りに間に合わなかったと思ってたんですよ。当初、ソフトをEメールで送ろうとしていたんですが、締め切りの3日前くらいに「Eメールではダメ」という話を知ったぐらいなんです。それから慌てて送ったので、たぶんダメだと。「いける」雰囲気どころか、賞自体のことを忘れてました（笑）。

——これまで応募されたことはなかったんですか？

小池●今回が初めてです。うちには英語版のソフトがなかったので、今までは応募できなかったんです。今年は賞品がいいと聞いていましたのでがんばりました（笑）。

——具体的な受賞理由は聞きましたか？

小池●Appleの方が、「すごく評価が高くて、受賞理由もいろいろあるから、送るよ」と言ってくれたのですが、まだ届いていません。トロフィーは届きましたけどね。

——Apple Design Awardというのは、Appleのテクノロジーを有効に駆使したソフトに贈られるんですよね。

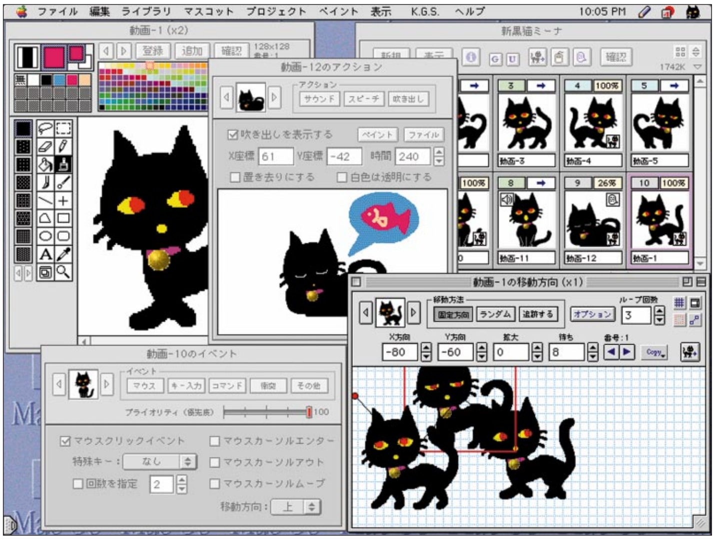
小池●そのようです。だから、きちんとした受賞理由を知りたいんですね。たぶんWired Movie[*1]を作れるというところ、Speech Recognition[*2]やSpeech Manager[*3]、QuickDraw 3D、Drag & Drop、AppleScriptといったものを使っているというところが評価されたんだと思います。ただ、次点がPlayStationのエミュレータ（Virtual Station）なんですよね。あれはアップルのテクノロジー使ってるんでしょうか？　若干疑問はあるんです（笑）。

——今回はキューティマスコット++ではなく、キューティマスコットJr.が受賞したということですが……。

小池●あれに応募するには、英語版のソフトで、英語のマニュアルもついていなければならないんです。++については英語版はあるんですが、マニュアルを作っていなかったので、Jr.で応募したんです。

今回、うちが受賞したことで賞の存在を知った

*1 Wired Movie：QuickTimeムービーのうち、スプライトトラックを使ってインタラクティブな要素を加味したもののこと。QuickTime 3からサポートされた機能。　*2 Speech Recognition：Appleによる音声認識の機能。コンピューターに対して話しかけることで、命令することが可能となる。　*3 Speech Manager：テキスト読み上げの時のように「コンピュータが言葉を発する」ために使われる機能。機能拡張書類として提供されている。Speech Recognitionと同じく英語版しかなく、Mac OSの特別付録に収録されている。



キューティマスコットJr.の画面。まさにキュートなソフトだが、Wired Movieを始め、Speech Recognition、Speech Manager、QuickDraw 3D、Drag & Drop、AppleScriptなど、Appleの最新テクノロジーがふんだんに盛り込まれている

日本のデベロッパーもいると思うので、来年からは英語版を作っている人たちが、どんどん応募するといいですね。今回の正確なノミネート数はわからないんですが、そんなに多くはないと思います。

——さて、そのキューティマスコットですが、やはりWired Movieの部分では相当苦労されたと聞きましたが……。

小池●そうですね。Electrifier Pro*4のように、Wired Movieが先にあって、それを使うためのアプリを作るのであれば、わりとできそうなんですが、うちは逆だったんですね。キューティマスコットが先にあって、それをWired Movieにコンバートしなければいけなかったので、非常に大変でした。

——キューティマスコットユーザーも、当初はあまりWired Movieの機能を使っていないということでしたが、その後変わりはないですか？

小池●どうでしょう。今回、QuickTime 4でFlashがサポートされたから、Flashを使っている人はそれを活用してもいいわけですから。

——確かにWired Movieの部分は枠の中で動くわけですし、キューティマスコット本来の機能とは違いますね。

小池●枠の中が嫌いな作家が多いんですよ。ユーザーさんに「Webのウィンドウ全体の中で動かすことはできないか」とかいわれるんですが、それは無理です（笑）。ただ、Wired Movieでおみくじを作ったり、福笑いを作ったり、楽しんでる人もいますよ。QuickTime形式になっているからWindowsユーザーでも見れますし。

子供の教育用にでもしておけばもっと売れたはず

——Windows版が欲しいという声はありますか？

小池●ありますね。「ランタイム版だけでも欲しい」と。だけど、Windowsの場合、動作確認をどうすればいいんですか？（笑）マシンによっても全然動きが違ってしまいますし、ちょっと間違えるとデスクトップの邪魔をするソフトになっちゃいますからね。それは困ります。

——海外の人は、今回の受賞でキューティマスコットを初めて知った人が多かったわけですよね。反応はいかがでしたか？

小池●「なんだ、このソフト？」っていう感じでした。（笑）

——英語版はどのように販売されているんですか？

小池●キーウェア*5のみなんですよ。アメリカだと為替の問題があるので、kagiシステム*6を使って販売しています。日本語版は、うちのサイトで販売しています。オンラインで販売する場合は、カード会社と別の契約をしなくちゃいけないので、契約し直しました。ところがJCBはダメでした。社内にサーバーがないとダメだそうです。ちゃんとした会社がやっているレンタルサーバーより、社内のサーバーのほうが危ないと思うんですが（笑）。

——受賞してから、売り上げに違いはありましたか？

小池●ダウンロードはすごかったですよ。10倍くらいに増えましたね、そんなに売れませんでしたけど（笑）。受賞が掲載されたWebページからクリックしてダウンロードしたんじゃないでしょうか？　でも、そこで納得してお終い（笑）。海外のユーザーはハッキリしてて、必要ないものは買わないですから。今となっては、子供の教育用とでもしておけばよかったかなと思いますね。そうすれば反応が違ったでしょう。アメリカのソフトはそのあたりをきっちりと打ち出しますよね。向こうのユーザーは、目的がはっきりしてないと20ドルくらいのものでも買いませんから。



今年5月に行われたAppleのWWDCでのApple Design Award受賞後に記念パネルの前で。この時日本の参加者の写真攻めに合っているが、その後は仲間と夜通し飲み明かしたそうだ。ただし、応募していたことすら忘れていたので、実は受賞式前から飲み始めていたのだとか

——ソフトウェアに関しては、「目的ははっきりさせるべきだ」「いや、そこまでしなくても…」と、いろいろな見方があると思いますが、そのあたりでご意見はありますか？

小池●昔はMacユーザーには「そこまでしなくても」っていう人が多かったんですが、iMacが売れて全体のボリュームが増えて埋もれてしまったんですね。そのことを、「マーケットが大きくなってよくなった」という人もいますけど、逆効果もありますね。

我々が初めてMac用のソフトを作った頃は、Macのコーナーが棚1つ分くらいしかなかったんで、「お、新しいソフトが入ってる！」ってすぐわかったんですよ。ユーザーは何でもいいから買ったものです。今はそういうわけにはいきませんよね。

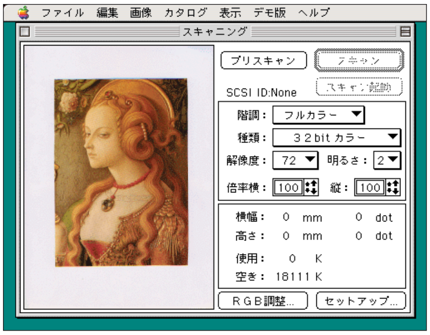
だから、店頭販売についても、流通コストのことも含めてどうしようかと思ってるんですよ。かといって、ユーザーは、ものが目の前にないのを嫌うみたいなので、ネットワーク販売だけにするのもどうかなと思いますね。

——セキュリティへの不安もあるのでは？

小池●確かに、セキュリティについても少しは脅えているかもしれません。ただ、うちはFAXでの注文もOKなんです。まあ、「FAXだとOK」いうっていうのも変な話ですけどね。間違いFAXしたら危険なのは同じですから（笑）。

*4 Electrifier Pro：Electrifier社（前Lari Software社）によるWired Movie作成ソフト。QuickTime 3の機能をフルに生かすように設計されている。　*5 キーウェア：「鍵」のみを販売するという方法で流通させるソフトウェア。通常は、何らかの機能制限を施したデモ版ソフトをWebなどで無料配付し、それに対して鍵によって機能制限が解除される。　*6 kagiシステム：多くのキーウェア販売を手掛ける米国の組織（http://www.kagi.com/）。

Who's who



ColorMagician 7の画面。エプソンのスキャナGT-4000をMacで使えるようにするためのソフトウェア。このソフトが、他のプラットフォームに対してMacのグラフィックでの優位性を5年早めたといわれた



VideoMagicianの画面。QuickTimeの登場前に、ビデオと音声の取込み、再生、同期を可能にしたソフトウェア。256色、10フレーム/秒ながら、画期的な技術で関係者の度肝を抜いた



コーシングラフィックシステムズ社のホームページでは、直接商品を購入できるページ ＜http://www.kohshin-graphic-sys.com/cgi-local/quikstore.cgi＞もある

iMacを買った人は、すでにiMacでお金を使い切ってしまっている

——最近、「iMacが売れてるから景気がいいでしょう？」とよく言われますが、業界の中にいるとどうも違いますよね。

小池●違いますね。ソフト会社は全然儲からない。iMacを買った人は、すでにiMacでお金を使い切ってしまっているんです（笑）。あとは周辺機器くらいでしょうか？

——ハードを買ってもソフトはついてますからね。

小池●プリンターとデジカメを買うと、両方に付属しているソフトだけで飽和状態になるくらいです。そこそこできちゃいますから。

それから、みなさんのお金の使い道なんですが、これまでソフトや本、CDに使っていたお金が携帯電話代や通信代にいっているようですね。ソフトを店に行って買うっていう意識を持っている人が少なくなってます。ソフトが売れる寿命も短いように感じます。変な話なんですが、先にNorton Utilitiesとかのユーティリティを買っちゃうユーザーが多い。仕事をしたり遊んだりしているうちにウィルスチェックとかメンテが必要になるわけだから、ユーティリティは後になるはずなんですけどね。最近はDiskFirstAidもよくなってるから、Norton Utilitiesよりも、まずそっちを使えばいいと思うんですが……。

アメリカのソフトの売り上げを見ても、1位から5位まで、ウィルスチェックとか、バックアップソフトとか、メンテナンスソフトとかなんですよ。みんな、何の作業をしてバックアップが必要になるんでしょうね（笑）。

ビル・ゲイツを圧倒したデモ

——では、コーシンさんのこれまでの製品についてお尋ねします。一番初めの製品というと何になりますか？

小池●ColorMagicianです。スキャナー用のソフトで、当時はスリース・カンパニーさんが売っていました。

——VideoMagicianというソフトもありましたね？

小池●はい。25万円のソフトで、月一本売れるとそれでOKでした（笑）。VideoMagicianは、まだQuickTimeが出る前だったんですが、動画と音声を同期させて、HyperCardのXCMD*7を使ってクリックすると音付きの映像がポップアップするものだったんです。取り込みはオレンジマイクロのカードでやったんです。アメリカでもデモしたんですよ。

——その頃、AppleのQuickTimeチームのメンバーもデモを見ていたそうですね。

小池●ええ。QuickTimeチームもそうですし、「マルチメディア国際会議」では、ビル・ゲイツも見てましたよ。その時、ビル・ゲイツがやったデモが鳥の図鑑だったんですけど、動かない静止画の鳥でした。うちはスタック*8でバリバリ動いて鳴いてたんですよ。ビル・ゲイツは、一生懸命影のほうで見てました（笑）。

VideoMagicianが出た半年後くらいにQuickTimeが出たんですが、「これで楽になる！」って思いました。

——そういう時って悔しさはないものですか？「ウチの技術を買ってくれれば」とか……。

小池●全然ないです。便利になったことに対するありがたみのほうが大きいです。僕にとっては、Macそのものがそうですね。以前は、MS-DOSの環境でウィンドウ表示ルーチンを自作してましたが、Macではウィンドウ・マネージャーとかが初めからあったわけですから、ラッキーですよね。あれば使ったほうが便利です。

VideoMagicianの時に、映像で何ができるかというのもよくわかりました。そのノウハウがあったからすぐにQuickTimeに対応できたんです。QuickTimeが出た時に、すぐにExpoでそれを使ってデモをしたのは我々くらいでしたからね。

——QuickTimeに限らず、御社はAppleのテクノロジーに素早く対応しますね。

小池●おそらく、標準搭載される以前に似たようなことをやっているからじゃないでしょうか。同じようなことですでに苦労しているから、その使い方を知っているわけです。

Appleがプロパガンダする努力も必要

——小池さんのように熱心にやられる方は、新しいAPI*2の情報などをWebで拾っていると思います。しかし、他の会社のソフトでは、Appleの新技術がなかなかサポートされません。情報が不足しているのかな、と思いますが…。

小池●そうですね。誰かが『Inside Macintosh*9』をもう一段階柔らかくして書籍などで紹介しないとダメでしょうね。ずいぶんとよくはなっているんですが……。

たとえば、QuickTime 4ではExport Manager*10ができたので、Exportが楽になったんです。このことで喜んでいるのは、前からExportで苦労している人だけなんですよ（笑）。できれば、Appleが日本のデベロッパーのために、「こういうふうに使うんだ！」という本を作ってくれるといいんですね。「Cを使って簡単にできる」っていうような本が欲しいなと思います。

僕が作ったアプリケーションをオープンソースにして、仕組みを説明しながらやってもいいんですよね。QuickDrawの使い方とか、QuickTimeの使い方とか。

——では、Appleにそれをお願いして…。

小池●あとはシステムですね。ユーザーがなるべく最新バージョンのシステムを使うように、Apple

?
*7 スタック：HyperCardでオーサリングしたカード形式のコンテンツのことをHyperCardスタック、もしくは単にスタックと呼ぶ。 *8 API：Application Program Interfaceの略。アプリケーション開発に使われるコマンド類のこと。たとえば多くのプログラマが簡単にQuickTime対応アプリをつくれるのは、QuickTimeのAPIが公開されているからである。 *9 Inside Macintosh：Macintoshで使われているあらゆる技術が書かれた公式の解説書。技術ごとに一冊の本となっているが、最近はPDF化され、Webからもダウンロードできる。



コーシングラフィックシステムズが、日本で行われるMAC WORLD Expoで毎年配付しているCD-ROM。この中には、同社のキーウェアやデモ版を始め、一般のユーザーが「キューティマスコット」を使って作成したマスコット作品なども多数収録されている



がプロパガンダする努力というのも必要なんです。

今はシステムの変遷が激しいんですが、プログラマーから見ると、それぞれ、全然違うんですよね。Mac OS XのことをえてCarbon[*11]に移行するためには8.5以上を使っておかないとマズいんですよ。だからそこを中心に据えたいんです。ところが現状では7.5のユーザーもサポートしなくちゃならない。かといって、ルーチンを切りわけるっていうのは手間がかかりますし。

確かに、どこかの時点で8.5以上必須にしてしまうっていうのも手ですが、ユーザーは買ったままでしょ？ iMacだけでも、8.1、8.5、8.6とユーザーがいるわけですよ。

——そのあたりをどう判断してますか？

小池●難しいですね。僕は7.5のユーザーを捨ててませんけど、さすがに68K対応はきついなと思っています。本当は8.5以上にしたいところですけど。だから、Appleには、簡単にバージョンアップできる手段を考えてほしいんです。アップデーターを雑誌につけるとか（笑）。たぶん、iMacユーザーでOSをアップデートしようと考える人は少ないでしょう。

——コーシンさんの製品は、基本的に「ユーザーにクリエイティブなことをやってほしい」というものが多いと思います。しかし、そういうユーザーが少なくなってきていませんか？

小池●いや、減っているんじゃなくて、数が変わってないと思うんですよ。そういう、面白いものに飛びつく感覚がある人は、すでに早い時期からMacを使っているから、段々割合が減っているんじゃないかと思うんです。後からきた人は、なかなかそこには行かないようなんですよ。

——そこを増やしたいですよね。

小池●はい。後から来た人たちにも絶対、いるはずなんですけど、別な波に飲まれてしまっているのは悔しいですね。みんな、「インターネットができれば」というふうになっているので。ただ、必ず興味を持っている人はいると思いますし、なくしたくはないですね。

——キューティマスコットも、「ユーザーが作る」タイプのソフトですね。

小池●あれはユーザーさんの意見からできたものなんですよ。「ペットを飼いたい」とか、「デスクトップで動くペットがほしい」とか。そこが始まりです。ただ、こういう楽しさも、達成感を味わったことのない人にはわからないようですね。だんだん、それぞれの分野でプロが活躍するようになってカチっとしてくると、ユーザー側もチャレンジしてみようっていう感じにはならないものなんでしょう。

個人のためのオーダーメイドのソフトを作りたい

——今後の新製品の予定は？

小池●今度はQTアルバムの新バージョンです。これまで、スライドショーのワイプには独自のものを使っていたんですが、QuickTime 4の機能を使ってしまえば、Windowsユーザーでも見ることができるようになりますから。

ただ、バージョンアップについて思うんですが、機能を増やしてもなかなかユーザーさんは使ってくれないんですよ。かえって昔のほうがよかったなんて言われてしまうんです。かといって簡単にしてしまうと、雑誌なんかでは機能が少なくて評価が低くなる。難しいですよ。

それから、抽選用のソフトを売り出します。うちで抽選とかやる時に使ってるものなんですが、元々は大谷和利さん[*12]のアイデアなんです。いつもパーティシーズンの年末に製品化しようと思って間に合わなくなるんで、早めに作ろうと思っています。たとえば、受け付けにカメラを置いて、来たお客さんを撮影しておいて、その映像を使って抽選する。顔が出るから盛り上がりますね。マスコミ関係者がよく借りにくるんで、それなら「よし、売ってやろう」と（笑）。「トトマック」といいまして、トトカルチョのトトですね。

——その他は？

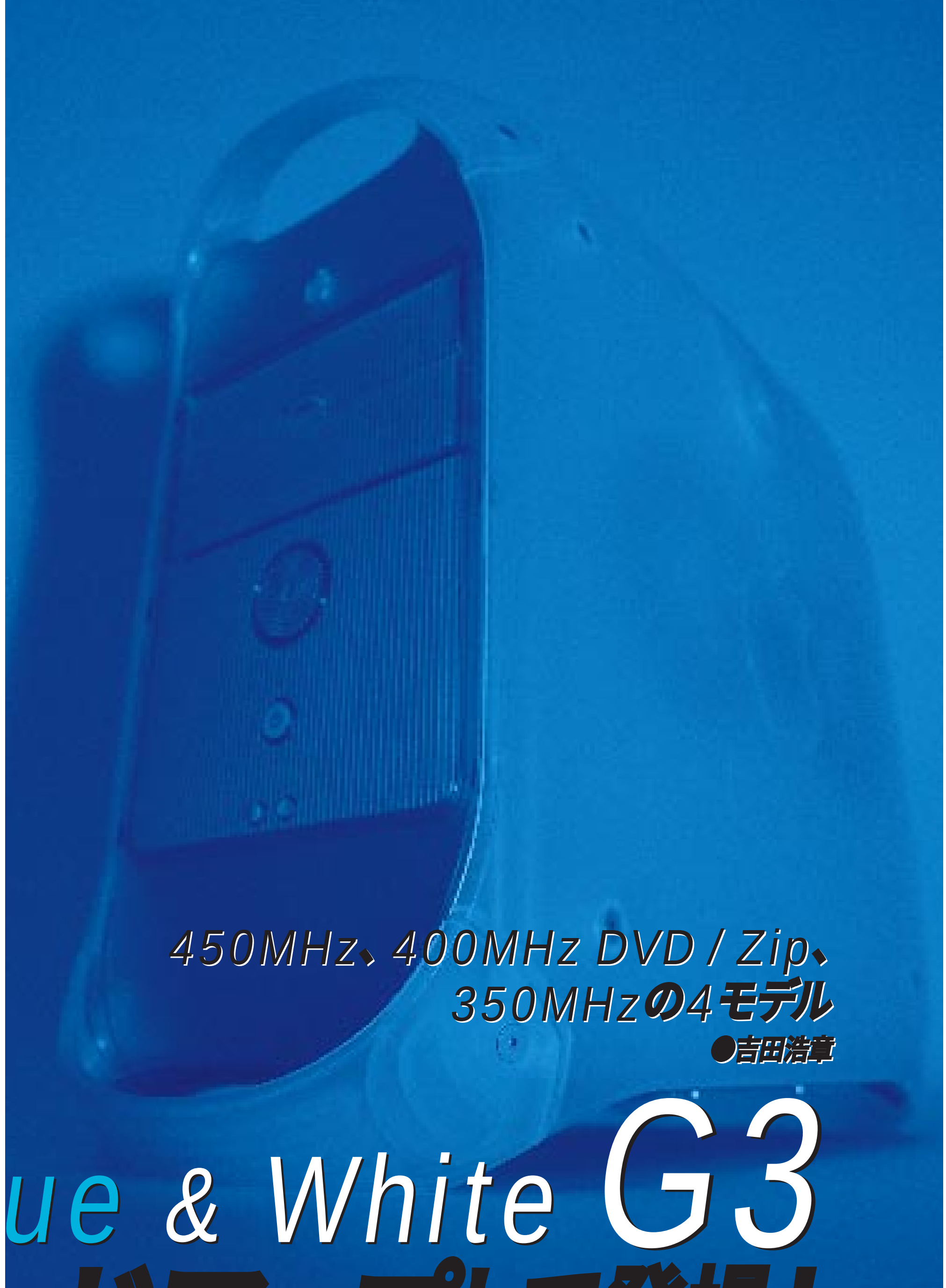
小池●とにかく、ソフトが飽和してますね。誰もやらないものとか、一本のソフトが高いものとかは逆にいいんでしょうけど。ユーザーにしてはあまり面白い状況じゃないと思います。だから、最近は割り切って、個人のためのオーダーメイドのソフトを始めようかなと思ってるんです。服だってオーダーメイドがあるわけですから。一人欲しいっていう人がいれば、百人くらいは欲しい人がいるでしょう。

困っている人はたくさんいるわけですよ。「ここでウィンドウをあと何cm動かせば効率がよくなるのに」っていう人を救ってあげるんです。作る人と欲しい人が向き合って仕事をするっていう状況はいいと思いますよ。そうやっていろいろな人と関わると面白いですからね。

——普段は気付かないような使い方を発見できるでしょうね？

小池●そういうことです。開発会社とユーザーの関係がもう少し密になればいいと思うんですね。テレビの撮影現場のように、他の会社の人とチームを組んでやってもいいですね。Webなどで募集して、本当にソフトを欲しがっている人をあたってみようと思っているところなんです。

*10 Export Manager：QuickTime 4で追加されたQuickTimeの書き出し機能を司る部分。プログラマー側から見ると、QuickTimeは複数のManagerから成り立っている。 *11 Carbon：Mac OS Xの開発・実行環境の一つ。Mac OS ToolBoxをベースに構築されているため、現在のMac OSアプリケーションはそのソースコードの10%程度を変更するだけで、Carbon上で動くようになるという。 *12 大谷和利さん：本誌で「PowerBook Diary」を連載している、テクノロジーライター。日本を代表するMacエバンジェリストでもある



New Blue & White G3 スピードアップして登場!

450MHz、400MHz DVD / Zip、350MHzの4モデル

●吉田浩章

Blue & White PowerMac G3が、スピードアップして再登場した。しかし価格は従来機種とほぼ同じ。コストパフォーマンスを高めたマシンとなっている。Blue & White G3以前のマシンのユーザーは、そろそろ新シリーズに乗り換える時期が到来したといえるだろう。

最上位機種は450MHzに

Blue & White G3の登場から約半年、新しいG3シリーズが登場した。従来の4つのラインナップをそのままに、それぞれのクロックがプラス50MHzという形になっている。

そのため、エントリーマシンでも350MHz、ハイエンドの機種では450MHzのPowerPC G3プロセッサーを搭載し、よりスピードアップが図られている。と同時に、価格はほぼ据え置きとなっているため、実質的なコストパフォーマンスがアップしたという格好だ。クロックアップ以外に目立った変更点がないため、新味のないマイナーバージョンアップに止まっているが、これまで、G3の購入に決断を下せないでいたCPUが603、604系のPowerMacや、旧G3などのユーザーには、価格的にも魅力的なマシンと映るに違いない。なにしろ、およそ20万円のエントリーマシンからして350MHzという速度を誇り、それは多くのユーザーにとって十分なパフォーマンスが得られるはずだからだ。

また、これまでBlue & White G3の購入を控える理由として、下位機種でSCSIインタフェイスがオプション扱いであるうえ利用できるSCSIカードが少ない、USBやFireWireに接続できる周辺機器が少なく十分に活用できない、ということがあった。しかしそれも、iMacの成功、旧Blue & White G3の登場から半年を経て、USB対応周辺機器の環境が充実してきたことにより改善された。

G4[*1]の開発がやや遅れ気味であるという噂もチラホラ聞こえるなか、高速なマシンを手に入れたいと考えているユーザーは、今回登場したBlue & White G3は、購入を決めるちょうどよいきっかけになるはずだ。

新しいラインナップは+50MHz

今回登場したのは、次の4つのモデルで、この構成を見ると、従来のラインナップを動作クロックだけをスライドさせているのが分かる。

PowerMac G3 350MHz/64MB/6GB(Ultra ATA)
同400MHz/64MB/6GB(Ultra ATA)/DVD
同400MHz/128MB/12GB(UltraATA)/Zip
同450MHz/128MB/9GB(Ultra2 Widw SCSI)

ところで、購入を考えるユーザーにとって気になるのは、どれくらいのパフォーマンスが得られるか、だろう。詳しくは、P.44-45



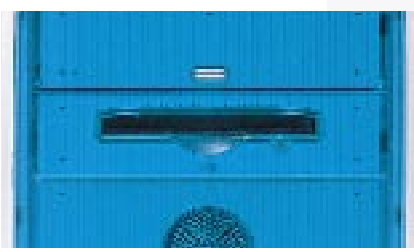
New Blue & White G3 の前面。前モデルとの変更点は見あたらない



New Blue & White G3の背面。写真は450MHzモデルであるため、SCSIインターフェイスが映っているが、それを除けば、こちらも前モデルとの変更点は見あたらない。わずかに、ラベルに印刷されたモデル名が異なるだけだ。本体の区別もこのラベルを見ないとわからない



400MHzのDVD-ROMドライブ搭載モデル。DVD-ROMドライブは最大5倍速で前モデルから変更はない



400MHzのZipドライブ搭載モデル。こちらも外観上の違いはない

のベンチマークテストの結果をご覧いただきたいが、単純にいえば、「クロック分だけ速くなっている」といえる。

ただし、従来のBlue & White G3を使っているユーザーには今回登場したマシンへの乗り換えはあまり意味がないだろうが、それ以前のマシンを使っているユーザーには、CPUだけでなく、グラフィック関係やハードディスクの性能など、システム全体のパフォーマンスを落とすようなボトルネックが見あたらないため、CPUの動作クロックのアップ以上に、パフォーマンスのよさを体感できる。現在、CPUが603、604系のPowerMacを使っているユーザーなら、どのマシンを購入しても驚くほどのパフォーマンスを体感できるはずだ。266MHzや300MHzのG3を搭載した以前のG3（DTやMTモデル）を使っているユーザーなら、現在使用しているマシンの動作クロック＋100MHzをメドに機種を選択すれば、高性能なグラフィックスカード（ATI RAGE 128）の効果と相まって、納得できるパフォーマンスを手にすることができるだろう。

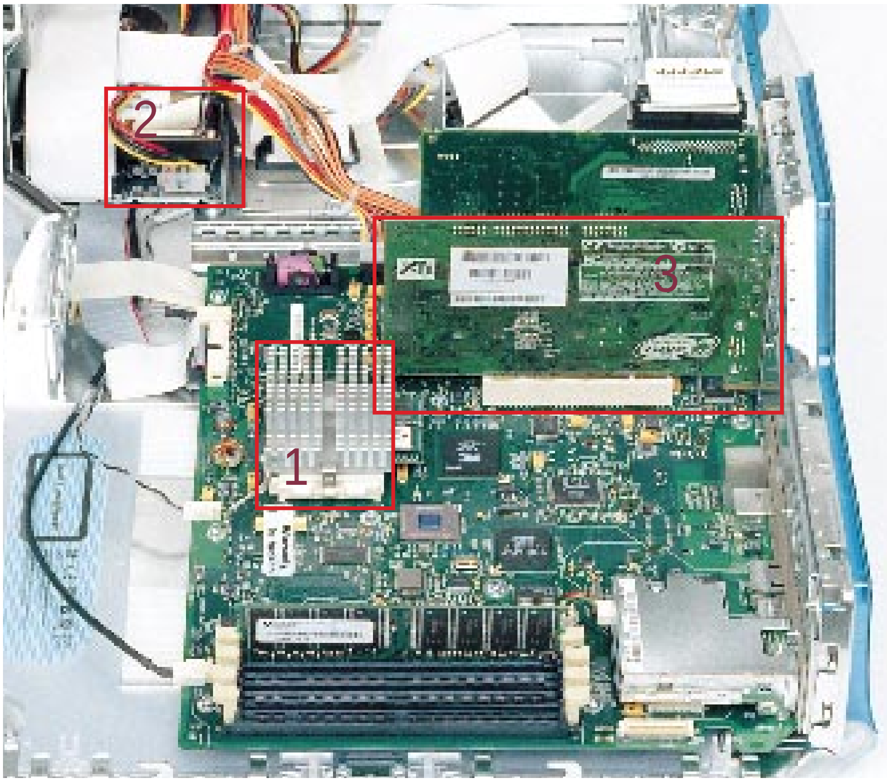
何が変わったか？

動作クロックのアップ以外の詳しい変更点はP.42-43で紹介しているが、簡単に述べると、OSが8.6に変更、バックサイドキャッシュ*2が全モデルで1MBとなった（旧エントリーモデルの300MHzは、バックサイドキャッシュが512KBだったが、新エントリーモデル350MHzは1MBに変更）。

また、ハードディスクを追加で内蔵する場合、ケーブルの増設用コネクタが追加され、増設が容易になったことなどが挙げられる。また、すでにiMacでは変更されたくぼみのあるマウスが、今回のラインナップでも採用されている。

*1 G4：PowerP3に続く次世代PowerPCプロセッサー。AltiVecというチップが追加され、3D処理などが高速化される。　*2 バックサイドキャッシュ：CPUが一度処理した命令を一時的に保持しておくためのメモリーがキャッシュ。特にバックサイドキャッシュはCPUの動作速度の半分程度で動作するため高速処理ができるのが特徴。

New B&W G3はここが違う



450MHzモデルの内部。システムバス速度100MHz、4基のPCIバススロット、4基のDIMMスロットなど、ロジックボードの外観上は前モデルと変更がない。PCIスロット（写真3）には、手前の32ビット幅／66MHzのスロットにグラフィックカードのATI RAGE128、奥の3基並んだ64ビット幅／33MHzのスロットの1つにAdaptecのUltra2 Wide SCSI *1カードが装着されている。一番手前の4つのDIMMスロットには計1GBのメモリを装着可能。なお、DIMMはBlue & WhiteG3 Mac用のもの（PC-100準拠のSDRAM DIMM）を使う。従来のDIMMは使用不可なので注意したい

1.CPU



ZIFソケットに装着されているPower PC G3。400MHz、450MHzのものでは銅配線プロセス技術を使用したものが使われている

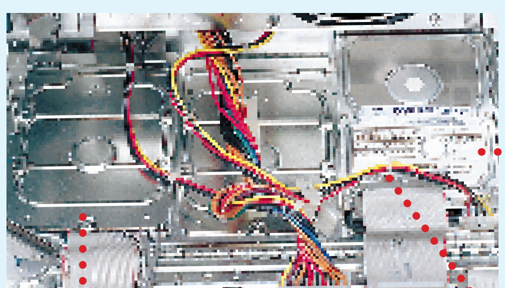
New Blue & White G3では、エントリーモデルが350MHz、最上位機種が450MHzのクロック周波数となる。ちょうど前モデルの300MHz、350MHz、400MHzの各モデルがそれぞれ、350MHz、400MHz、450MHzにスライドしたわけだ。また、前モデルの300MHz機ではバックサイドキャッシュが512KBだったが、新モデルではすべて1MBに変更されている。なお、動作クロックをアップでき、ダイサイズの縮小化、低消費電力という特徴を持つ銅配線プロセス技術が用いられているようだが、アップルはコメントを控えている。

2.ハードディスク

Blue &White G3には、ハードディスクを接続するUltra ATA *2バス（転送速度33MB／秒）と、CD-ROMなどを接続するATAバス（転送速度16MB／秒）の2系統が用意されている。そのうちUltra ATAバスには内蔵ハードディスクが接続されている。内蔵ハードディスクは増設用のコネクターの付いたケーブルで接続されているため、2台目のハードディスクの増設が容易だ（前モデルではコネクターがひとつだったので、ハードディスクを増設する場合はケーブルを別途用意する必要があった）。

SCSIインターフェイスが装着されている450MHzモデルでは、SCSIハードディスクが本体底面前部（上の写真2）に装着されている。ここはハードディスク2台分のスペースがあるため、450MHzモデルではさらに1台、それ以外のモデルでは（別途SCSIインターフェイスカードを用意して）2台のハードディスクの増設が可能となっている。

なお、CD-ROMドライブは、最大24倍速から最大32倍速のものに変更されている。



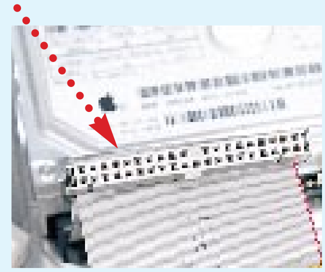
400MHz／DVDモデルのハードディスクまわり。本体底面奥（写真では右側）に内蔵IDEハードディスクがある。本体前部（写真左側）のスペースにも2台のSCSIハードディスクなどを増設できる



内蔵IDEハードディスク。増設用のIDEハードディスクが取り付けられる金具に変更されている



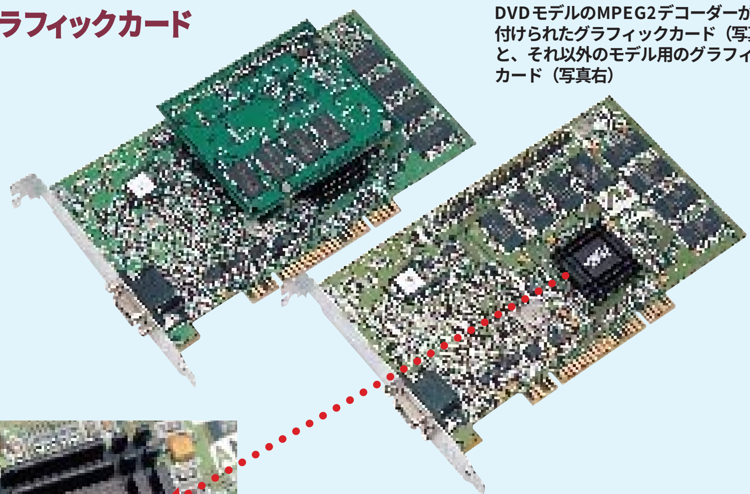
左側の増設スペース。ここには2台のハードディスクを増設可能。SCSIインターフェイスなどを増設してから利用する



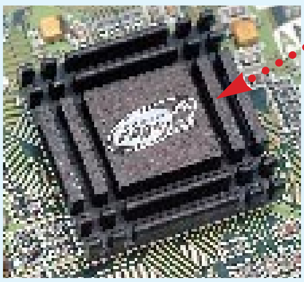
増設用のコネクターがついたIDEケーブル

*1 Ultra2 Wide SCSI：最大80MBの転送速度を持つSCSIインターフェース。*2 Ultra ATA：IDEハードディスクを接続するインターフェイス。G3では33MB／秒の転送速度のものが採用されている。

3.グラフィックカード



DVDモデルのMPEG2デコーダーが取り付けられたグラフィックカード（写真左）と、それ以外のモデル用のグラフィックカード（写真右）



ヒートシンクの付けられたRAGE128

ATI RAGE128グラフィックカード。上はDVDモデル用のグラフィックカードでMPEG*[3]2デコーダーが取り付けてある。下はDVDモデル以外に装備されているグラフィックカード。型番などは変わっていないが、ROMのバージョンは変更されたようだ。チップにはヒートシンクが付けられたのが外観上の変更点。32ビット幅／66MHzのPCIバスに装着されている。いずれもVRAMは16MBを装備し、フルカラーで最大1,920×1,080の解像度を表示できる。

マウス、OSほか



従来のモデルに付属していたマウス（左）と新モデルに付属のマウス（右）



ZIPドライブのフロントベゼル

333MHzのiMacに付属するものと同様、新G3に付属するマウスにもクリックする位置にくぼみが付き、マウスの方向を確認できるようになった。写真下はZIPドライブのフロントベゼル。ZIPを搭載していないモデルにあとからZIPドライブを装着した際に使用する。また、OSは8.6がプリインストールされている。

	PowerMacintosh G3 350MHz	PowerMacintosh G3 400MHz/DVD	PowerMacintosh G3 400MHz/Zip	PowerMacintosh G3 450MHz
プロセッサ	PowerPC G3	←	←	←
クロック周波数	350MHz	400MHz	←	450MHz
二次キャッシュ	1MBバックサイド(175MHz)	←(200MHz)	←(200MHz)	←(225MHz)
システムバス	100MHz	←	←	←
メモリ	64MBPC100準拠 SDRAM (3.3V駆動，バッファなし，64ビット幅，168ピン，サイクルタイム100MHz)	64MBのPC100準拠 SDRAM	128MBのPC100準拠 SDRAM	←
DIMMスロット	4基最大1GB	←	←	←
ハードディスクドライブ	6GB Ultra ATA	6GB Ultra ATA	12GB Ultra ATA	9GB Ultra2 Wide SCSI
CD-ROMドライブ	32倍速(最大)	5倍速(最大)DVD-ROMドライブ CD-ROMを最大32倍速で処理	32倍速(最大)	←
Zipドライブ	—	—	Iomega製100MB	—
ドライブ拡張ベイ	×3基 Ultra Wide SCSI，Ultra2 Wide SCSI，ATA(IDE)，Ultra ATAまたはATAPIドライブ(CD-ROMおよびDVD-ROM，Zipドライブを含む)			
接続ポート	400Mbps FireWireポート×2 12Mbps USB(Universal Serial Bus)ポート×2 ADB(Apple Desktop Bus)ポート　(全ADB機器の最大消費電流は500mA) 10/100BASE-T Ethernetコネクタ(RJ-45)内蔵 PCI拡張スロット×4基：64ビット，33MHzスロット ×3基，ATI RAGE 128グラフィックカード装着済の32ビット，66MHzスロット1基			
ビデオ	15ピンミニD-Sub VGAコネクタ，Macintosh-VGAディスプレイ用アダプタ付属			
サウンド	16ビットステレオサウンド入出力用ミニジャック，44.1kHzのサンプリングレート 内蔵スピーカ			
グラフィック	ATI RAGE 128グラフィックカード SDRAMグラフィックメモリ16MB搭載			
キーボードおよびマウス	Apple USB JISキーボード，Apple USBマウス			
電力条件	電源電圧：115V AC(90V〜132V AC)または230V AC（180V〜264V AC） 電源周波数：50/60Hz，単相 最大消費電力(モニタは含まず)：200W			
サイズ(高さ×幅×奥行き)	43.2×22.6×46.7cm			
重量	13.0kg（標準的な構成の重量。Zip、CD-ROM、またはDVD-ROMドライブのいずれか1つ、Ultra2 Wide SCSIハードディスクドライブ1台の重量を含む）			
価格(アップルストア6月末時点)	198,000円	248,000円	318,000円	388,000円

*1 MPEG：Motion Picture Expert Groupの略。デジタルの動画と音声の圧縮・伸張に関する規格。ITU-TS（国際電気通信連合）とISO（国際標準化機構）により制定された。MPEG1はビデオCDに、MPEG2はDVDなどに採用されている。

T O P I C S

New B&W G3速さの証明

高度なマシンパフォーマンスをベンチマークテストで検証

New Blue & White G3は、いったいどれくらいまで高速化されているのか。450MHz、400MHz/DVD、350MHzの3機種について、ベンチマークテストを行なった。

新G3は、どれほど高速なのか？

テストの内容は、NortonUtilitiesのSystem Infoの実行と、Photoshopのフィルターなどの処理時間、およびShadeのレンダリング時間を計測。なお、SystemInfoでは、計測条件の推奨通り、ビデオを256色に設定した。DTPやDV映像の編集では、それ以上の表示色モードが一般的なので、ビデオ性能はここにあるスコアより低くなる。また、比較対象としてMT266/Zipと、それに400MHzのG3アップグレードカード（MAXpowr G3-G3 400/1MB）を装着したものもテストした。

結論からいえば、クロックアップした分だけ速くなった。それだけ安定して進化しているということだろう。

SystemInfoの考察

SystemInfoの結果を見ると、CPUやFPU、グラフィックのスコアは、クロック比に応じた結果が出た。New G3 450とMT 266を比べると、1.5～1.7倍程度高速になっている。450／266＝約1.7だから、ほぼ理論値に近い高速化がなされている。New G3 400/DVD（MT 266に比べ理論値で1.45倍）やNew G3 350（同1.27倍）も同様だ。

ただ、ディスクを見た場合、450MHzモデルの性能が他の新製品2機種よりやや劣っている。System Infoの結果の詳細を見ると「ランダム読みだし」の項目では最速なのだが、MacBench 5.0でのテストでも、やはり350MHz、400MHzモデルに次ぐスコアだった。扱うファイルの種類にもよると思うが、ビデオ映像のデータや大容量画像データなどでは高速性を発揮すると思われる。

旧B&W G3よりビデオ性能は向上

では、これまでのBlue & WhiteのG3からは、どの程度高速になったのだろうか。同じCPUの動作クロックを持つ旧350MHz/Zipモデル（OSは8.6に更新）と新350MHzモデルを比較してみると、ビデオ、ディスクの性能で新G3が良いスコアを出した。ハードディスクについては本体が同一モデルでも異なる製品が装着されることがあるため、一概に比較できないが、ビデオ性能は明らかに向上しているといえるだろう。



アップグレードカードの効果

参考までに計測した、MT 266＋400MHz G3カードの結果だが、こちらもCPUのクロック比に応じた結果を出している。ただし、ディスクやグラフィックのパフォーマンスでは新G3の方が有利である。特にそれはPhotoshopやShadeのテスト結果に現れている。

動作中にディスクアクセスや表示のリドローなどを繰り返すアプリケーション（特にPhotoshopなど）ではシステム全体のパフォーマンスが問われる。実際、Photoshopを用いたベンチマークテストでは、400MHzモデルのパフォーマンスに及ばず、350MHzモデルと同等レベルに止まった。一方、ディスクアクセスのほとんど見られなかったShadeによるレンダリング時間の計測テストでは、新G3 400MHzモデルに近い結果だ。

400MHz以上のアップグレードカードがまだ高価であることを考えると、Blue & White以前の従来機種をアップグレードするか、今回登場した新G3を購入するか迷うところだろう。また、従来機種をアップグレードした場合、メモリーなどはそのまま使えるが、新G3の購入となるとメモリーやSCSIカードなど本体以外への投資も必要だ。新しいシステムで揃えるか、旧機種を使い続けるか微妙な判断を迫られる。

どのモデルなら「買い」か

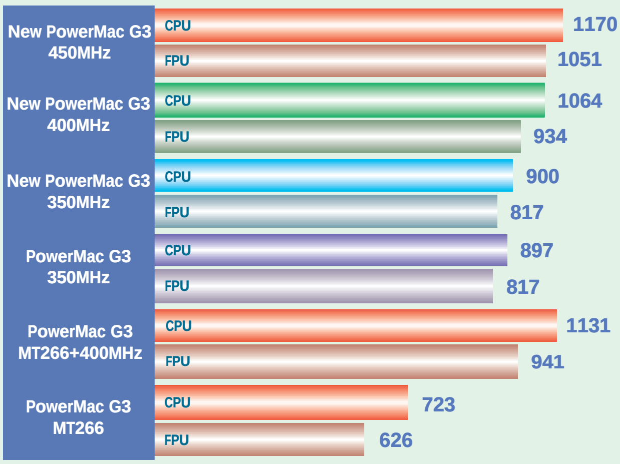
クロックアップによる高速化、それでいて価格は据え置きとくれば、旧機種のユーザーは触手が動くに違いない。SCSIとシリアルを中心としたこれまでのMacのインターフェイスが、そろそろ本格的にFireWire*1とUSB*2に取って代わろうしてきている（ハイエンド使用でのUltra2 Wide SCSIは残るだろうが）のも、新しいシステムのマシンへの欲求を高まらせる。コストパフォーマンスも魅力だ。

問題はどのモデルを選ぶか？ である。もちろん速いに越したことはないが、金額とのバランスの上での選択となる。ビデオや3DCG、大容量のデジタル画像などを扱うなら、Ultra2 WideSCSIを備えた450MHzモデルだろう。それ以外の350MHzと400MHzモデルは、価格、メモリーやハードディスクの容量、ドライブ（Zip/DVD）のいずれかでの選択となるだろう。

また、搭載されているATI RAGE 128の性能（1600×1200ピクセル表示など）を使い切るために、なるべくリフレッシュレート追従範囲の広いモニターを用意するとよい。

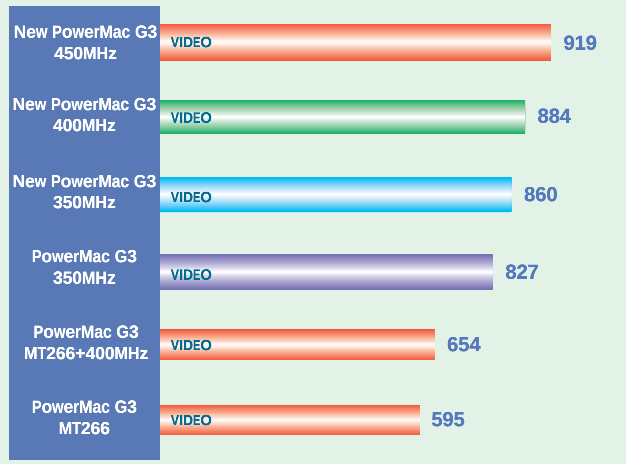
なお、7月1日からアップルストアにおけるBTO（Build To Order：メモリーやハードディスク、CD-ROMドライブ、SCSIカードなど、製品構成を自ら選択できる販売形式）がスタートした。これによりユーザーは、自分の用途にあった柔軟なシステム構成が可能になるため、非常に便利になった。

●CPUとFPUのベンチマーク結果（SystemInfo）



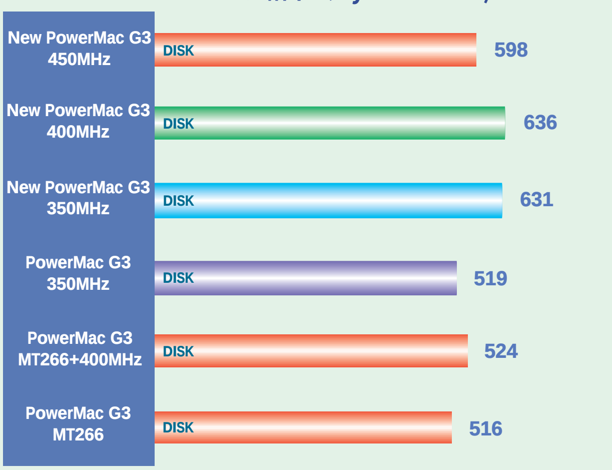
テスト条件●ディスク（RAM）キャッシュ128KB

●Videoのベンチマーク結果（SystemInfo）



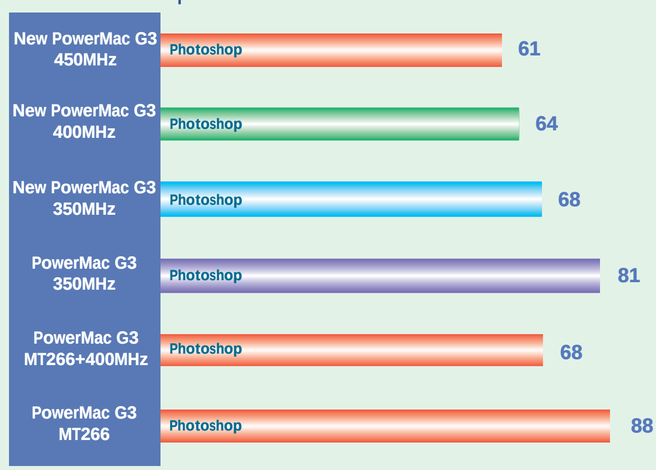
テスト条件●ディスク（RAM）キャッシュ128KB／1074×724ピクセル／256色表示

●DISKのベンチマーク結果（SystemInfo）



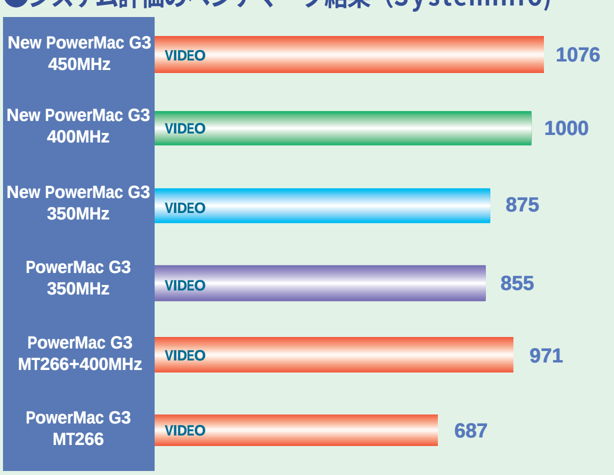
テスト条件●ディスク（RAM）キャッシュ128KB

●Photoshopのベンチマーク結果



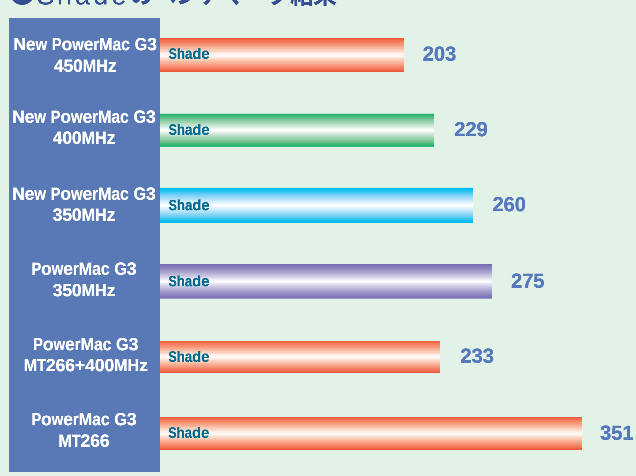
テスト条件●同一の画像データに対してリサイズ、ラップ、照明効果に要した時間（単位:秒／バーが短いほど高速）

●システム評価のベンチマーク結果（SystemInfo）



テスト条件●ディスク（RAM）キャッシュ128KB／1,074×724ピクセル／256色表示

●Shadeのベンチマーク結果



テスト条件●同一のモデリングデータに対して、レイトレーシングによるレンダリングに要した時間（単位:秒／バーが短いほど高速）

*1 FiewWire：IEEE1394。米Apple社とtexas Instrument社が提唱したシリアルインターフェイス。大容量のデータ転送に向いている。*2 USB：Universal Serial Bus。キーボードやマウス、プリンタ、モデムなどの周辺機器を接続するためのシリアルインターフェイスの規格。最大1237台まで接続可能。

完全な日本語化ではないが、日本語環境は大きな魅力

Mac OS X Server 日本語版が登場

●新居雅行



価格は、59,000円。ただし、アカデミーパック版は、35,000円

Mac OS X Serverの日本語版がついに発売された。Macintoshプラットフォームの次世代OSとして、長年に渡り待ち望まれていた中で登場した高性能サーバーOSの日本語版だ。ここでは、英語版と日本語版ではどのような違いがあるのか、また現状ではどういった位置付けにあるのかなどを紹介していこう。

ついに発売された日本語版

待望のMac OS X Serverの日本語版が登場したわけだが、まずは英語版との違いを中心に、どこまでが日本語化されているかを見ていくことにしよう。

日本語版も英語版と同様、4枚のCD-ROMで構成されているが、最初にMac OS X ServerのCD-ROMで起動してインストール作業を行なうことになる。インストーラーは日本語化されており、インストールの間には英語を見ることはほとんどない。Mac OS X Serverは、基本的な設定がインストーラーとその後に起動される設定アシスタントで行われる。その範囲ではかなりしっかりと日本語化されているといえるだろう。起動後は、Mac OS 8.XのFinderに相当するWorkspace Managerを使ってファイル管理などを行なうことになるが、このソフトはメニューは日本語になっているし、メッセージも日本語だ。また、ファイル名についても日本語が使える。ただし、他のソフトについては英語のメニューのままになっているものも多く、完全にすべてを日本語化しているというわけではない。たとえば、テキストエディタや電子メールソフトについては英語のままだ。ただ、それらの英語ソフトでも、基本的には日本語の入力や表示もできるようになっている。その意味では、システムは日本語化されているのは間違いない。

NetBootは別のCD-ROMになっており、収められているクライアント用システムは、日本語版のMac OS 8.5.1になっている。また、Mac OS X Server上でMac OSを起動（つまりBlueBox）した場合でも、日本語のMac OS 8.5.1が起動する。Mac OS絡みの部分は日本語版が動くと考えればよい。

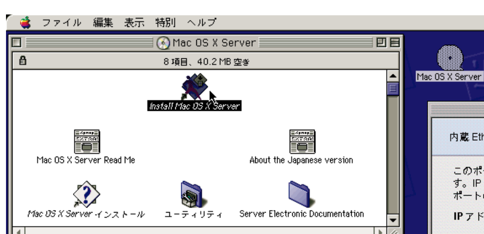
一方、WebObjects[*1]は独立したCD-ROMになっているが、これは英語版そのままのものが付属している。メッセージやドキュメントなども含めて、日本語化はまったくされていない。ただし英語版のWebObjectsでも、日本語のWebシステム開発は問題なくできるという。サードパーティのデモ版やフリーのユーティリティを集めたCDの中身も、英語版と変わりない。

日本語の扱いは？

Mac OS X Serverは、システムの標準として、UTF-8をエンコード[*2]として使う。つまり、文字コードはUNICODEで、1バイト文字はそのまま1バイト、2バイト文字は3バイトに展開されて記録される形態のエンコードだ。ファイル名などの扱いなどで、UTF-8が使われているようだ。なお、テキストファイルでUTF-8でない場合にはEUCが使われる。Mac OX 8.xのようにシフトJISで固定された世界ではなく、UNIXではいろいろなエンコーディング体系とつき合わないといけない。

日本語のファイルの扱いは通常の利用の範囲では問題はなさそうだ。HFS+でフォーマットしたボリュームを、Mac OS X Serverのファイル共有機能を使ってネットワークに公開するとする。クライアントで日本語のファイル名のファイルをサーバーにコピーする。そのファイルのファイル名は正しく日本語になって見えている。サーバー上で、あるフォルダーから公開しているフォルダにコピーしたファイルも、同様にクライアントで正しい日本語のファイル名で見えている。とりあえず、普通の使い方ではファイル名が化けることはなさそうだ。

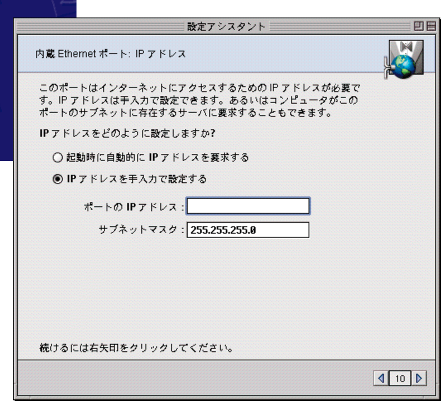
かな漢字変換は「Canna」が自動的にインストールされる。Mac OS環境ではことえりが使われるが、Mac OS X Server環境ではCannaを使う必要がある。市販のかな漢字変換ソフトは競争もあって、ここ数年でかなりの変換精度アップが図られているが、そういうものと比べると、やはりCannaは精度は悪いと感じてしまう。もっとも、サーバーに向かって長文の日本語を書くかというと、通常



Mac OS X ServerのシステムCD-ROM。HFSとUFSのハイブリッドになっている



インストーラはMac OSから起動する



設定アシスタントのなかで、サーバーのIPアドレスなど一連のアドレス設定を行なっていく

はそんなことはないだろう。しかしながら、変換精度的にはあまり期待はできない。

なお、Cannaの使用と不使用を切り替えるのは、command+spaceのキー操作だ。昔からのユーザーで英語キーボード派の人は問題ないかもしれない。だが、Power Mac G3に付属しているJISキーボードの特徴である「かな」「英数」のキーによる入力モードの切り替えはできない。また、Mac OSを起動してことえりを使うときでも、やはりJISキーボード特有のキーを使えないのである。

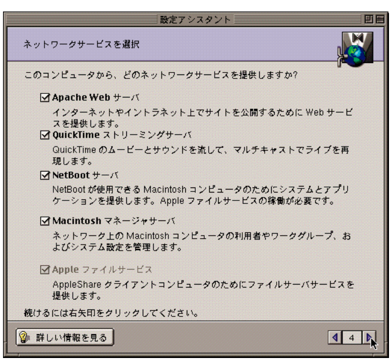
日本語フォントは、平成明朝、平成角ゴシック、そしてそれらの等幅フォントが含まれている。Osaka、細明朝体、中ゴシック体は含まれていない。平成明朝で画面表示も行なうため、画面での日本語表示は、Mac OS 8.xに比べて目に見えて悪くなってしまう。

印刷の面では、PostScriptプリンターについてはとりあえず可能になっているようだ。しかし、あらかじめ用意されているPPDファイルは、ひょっとするとこれも英語版と同じなのかもしれない。Appleのプリンターについては J版のものもあるが、サードパーティのプリンターのPPDファイル一覧は、特に日本向けに変えた気配がない。フォルダー名が「English.lproj」となっており、PPDファイルのなかに記述されているLanguageVirsionもEnglishのままだ。筆者はエプソンのLP-9000PS2を持っているが、やはりこれのPPDファイルがなかった。そこで、強引だが、Mac OS 8.6で使っているPPDをそのまま持ち込んで試しに印刷をしてみた。テスト印刷でエラーが出たものの、テキストエディターで入力した日本語の文字列は、きちんと日本語で印刷されていた。ただ、平成明朝と指定した文字は、プリンター側の細明朝体（リュウミン?）で印刷された。また、平成角ゴシックは、中ゴシック体で印刷されていた。

これからどう使うか？

Mac OS X Serverは日本語版が出たとは言うものの、完全な日本語化はなされていないと言っていい。いわばメッセージを日本語化して、Cannaを付けた程度……ともいえるわけだ。それでは英語版のMac OS X Serverでいいかという話もあるかもしれないが、WebObjectsで開発をする時、インプットメソッドがないと日本語文字が入力できないことになる。NetBootを使う時には日本語版は必須となるはずだ。やはり、Mac OS 8.xとかの日本語化とはレベルは違うとはいえ、日本語環境で使うことを考えれば、Mac OS X Serverも日本語版を使うべきだろう。

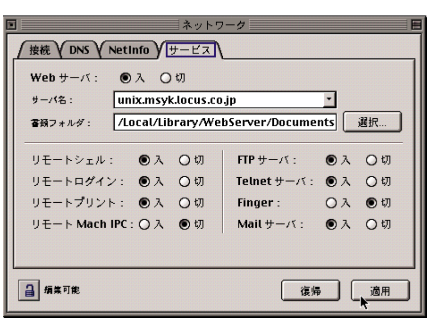
QucikTime Streaming Server（QTSS）は、日本語版でもプレビュー版のままである。Appleのサイトから、正式リリース版がダウンロードできるので、これは日本語版を入手後ぜひともアップデートしておきたい。また、Mac OS X Server 1.0-1 Patchというのがすでに配付されているが、NetBootのパフォーマンス向上や、QTSSサポートのために必要になる。おそらく日本語版でこのパッチを使っても問題にならないと思うので、これも利用しておくとよいだろう。配付されるファイルがtar（UNIXでのアーカイブファイルの一般的な形式）だったりと従来のMac OSとはファイル形態が違うが、Technoteの記述を見て日本語との対応を取りながら作業す



利用するサービスの選択。Mac OS X Serverの特徴的なサービスは、アシスタントから簡単に設定できる



NetBootの設定でのルータの設定。図を利用してわかりやすくなっている



UNIXシステムにおける標準的なサービスもワンクリックで簡単にオン／オフすることが可能だ



ユーザー管理などを行なうのNetworkManager

●Mac OS X Serverの特徴

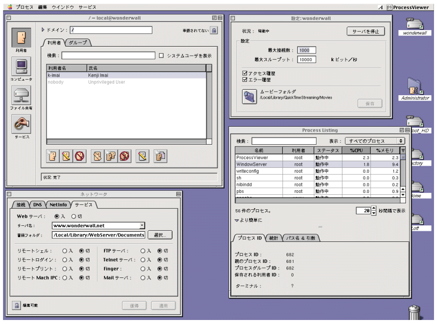
Mac OS X Serverの特徴はいくつかあるが、まずいちばん目につくのは、Webサーバーとして Apache*3を採用し、Webアプリケーション開発のためにWebObjectsを搭載したことだ。WebObjectsは、従来だとWindows NTなどを利用して、オンライン販売サイトやあるいは高度な機能を持ったWebページの開発に使われており、価格は高いものの大規模サイトなどでの利用実績もあり、Web開発を行なうときには必ず検討に上るほどのソフトウェアである。そのWebObjectsがMac OS X Serverには標準で搭載されており、開発はもちろん小規模サイトでは運用にまで使える。つまりMac OS X Serverには、WebObjectsが劇的に低価格になったという側面がある。

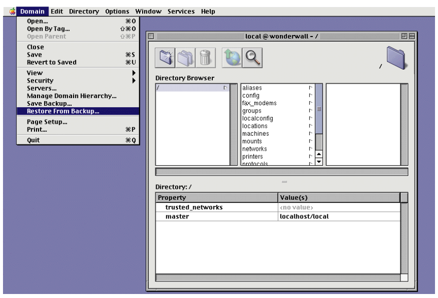
一方、AppleShareサーバーになる機能に加えて、NetBootとして、ネットワーク内にあるiMacなどを一元管理する機能もある。NetBootを利用すると、ネットワーク上のクライアントマシンには、ハードディスクがなくても起動できるようになる。つまり、クライアントのシステムをサーバー側で管理できるのである。一時期いわれていた「ネットワークコンピュータ」のMacintosh版とでもいえるこの機能は、大量のクライアントをかかえるようなサイトで管理コストを軽減させる効果は高いだろう。

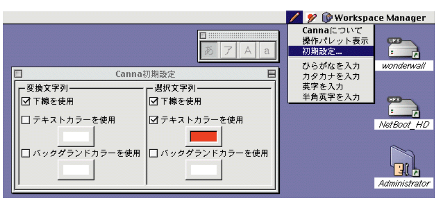
実際に使うユーザーは少ないかもしれないが、QuickTime Streaming Serverは、QuickTimeベースのストリーミングを低コストに実現する。ストリーミング自体、まだまだこれからの分野だけに、このサーバー機能がすぐにでも使えることも特徴の1つとなるだろう。

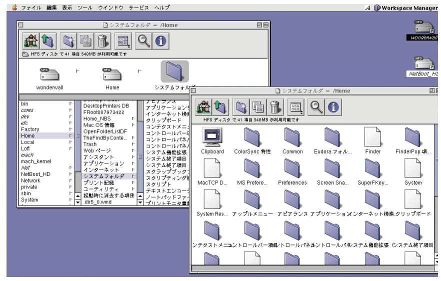
*1 **WebObjects**：NeXT社が開発したアプリケーションサーバー開発プラットフォーム。平たくいえば、Web上で複雑な動作をするサイトを開発するためのキット　*2 **エンコード**：データをある法則にしたがって符号化すること。ファイルの圧縮やセキュリティ対策のためにデータを暗号化することもエンコードの一種。なお、エンコードしたものを元に戻すことをデコードという。*3 **Apache***1：UNIXベースのWWWサーバで、世界中で一番人気があるといわれている。オープンソースなため、手軽に自分で機能追加することもできる。

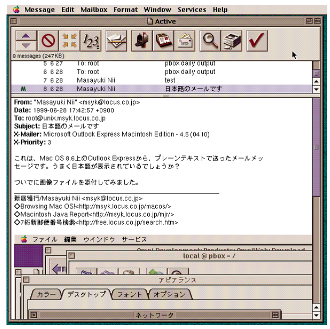
T O P I C S


ユーザーインターフェイスの要となるWorkspace Managerの画面。ここはきちんと日本語化が行なわれている


残念ながらNetInfo Managerは英語版のまま


日本語入力用のインプッドメソッド「Canna」のメニュー


ファイルビューワーも日本語化されている

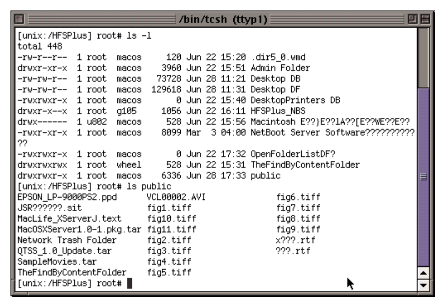

電子メールソフトのMail Viewerは、sendmailをベースに動いている


QTSSの設定を行なうQuickTime StreamingAdmin

●OS X Serverを導入する前に

インターネットサーバーとしてMac OS X Serverを見てみると、欠けている機能が目立ってくる。たとえばOCNなどの専用線を引いて自宅でサーバーを立てようとしたとき、Mac OS X Serverでは必ずしもすぐにはサーバーにはならない。まずは重要なDNSの機能存在するものの、それを使うには通常のUNIXサーバーと同じような手続きが必要だ。また、メールサーバー機能であるsendmailは利用できるが、POP3やIMAPサーバー機能（電子メールソフトが一般的に使う機能）は組み込まれていない（ただし、POPサーバーはフリーで配付されている）。

こうした基本機能が欠けているため、インターネットサーバーとしてMac OS XServerを導入するには、UNIXのスキルが必要になる。一般には、すでにUNIXやNT Serverが存在するネットワークに、Mac OS X Serverも参加させて、ApacheやWebObjectsといったWebソリューションのためのプラットフォームとして活用するのが、まずは無難な選択だといえるだろう。


よく利用することになるTerminalは日本語を通してくれないため、ファイル名などが文字化けする

れば何とかなるだろう。

結局Mac OS X Serverは使えるのかどうか？　一言でいえば、今すぐにメリットのあるユーザーはまだ少ないかもしれない。だが、WebObjects、NetBoot、QTSSを必要とするユーザーは、すぐに効果が出る。一方、メールサーバー機能などの基本的なインターネット機能がすぐに利用できないことから、こうした用途を考えた場合には今後に期待するしかない。Windows向けのサーバー機能はないため、Mac向けのファイルサーバーとして使うというのは確かに手ではある。ユーザー数の制約があるAppleShare IPに比べ、ユーザー数が多くなると、Mac OS X Serverの方が割安になるといえる。ただし、プリントサーバーの機能がないことや、管理の手間がやはり増えることなども考慮しなければならない。Mac向けのファイルサーバーとしてMac OS X Serverを使うのなら、システムを入れるボリュームとは別にHFS+[*1]のパーティションをインストール前にあらかじめ設定しておく必要がある。こうした運用のノウハウの蓄積もこれからなのだ。ともかく、“これからのOS”がMac OS X Serverの実像といえるだろう。

販売体制について

「Mac OS X Server日本語版」を取り扱う正規ベンダーは現在のところ、キヤノン販売、大塚商会、Tooの3社に限られており、いわゆる量販店などでは販売されない。一部では一般ユーザーが入手できないのでは、との懸念もあったのでアップル社[*2]に問い合わせたところ、次のような答えが返ってきた。

「Mac OS X Serverは、これまでのMacintoshと異なり、高度にテクニカルなサポートとユーザーのニーズに対応するコンサルテーションのスキルが必要です。したがいまして、サーバーとしての評価を築くためにも、一定の基準を満たした販売店と提携しています。現在のところは、キヤノン販売、大塚商会、Tooの3社で販売していますが、今後販売店は増える予定です。現在も、いくつかの販売店と交渉を進めています。一般の方でも、この3社にお問い合わせいただき、Mac OS X Serverをお求めになることは可能です」

また、その後ステラクラフト社が同製品と同時に独自のパッケージ製品も発売すると自社サイトで告知したが、現時点（7月2日）ではアップル社と正式な販売代理店契約を結んでいない。ただし、近日中に締結する予定だとのことなので本誌が発売されている時には正式な告知がされているかもしれない。

なお、Too社とステラクラフト社の担当者に販売方針やサポート体制などについて聞くことができたので次ページで紹介する。

*1 **HFS+**：Mac OS8.1から新たに採用されたファイルシステム。従来のHFS方式を使ってフォーマットするよりもハードディスクの容量をより有効に使えるようになった。　*2 **アップル社**：日本のアップル社のサイトでOS X Server日本語版についてのニュースリリースが読めるのは、http://www.apple.co.jp/macosx/server/index.html



(株)Too販売推進課
ゼネラルマネージャー
草加健児 氏

TOO http://www.too.com/

ユーザーと一緒にソリューション構築したい

――Mac OS X Serverの販売体制は？

草加●Tooは、元来「ソリューション」を構築して販売する会社ですので、特に「OS X Server」ための組織を編成するということはありません。ユーザーにとって「最適のソリューション」を作って提供するという今の組織形態にそのまま当てはまるからです。

Tooにとって「OS X Server」は、ソリューションを形成するための選択肢が増えたという感覚で捉えています。NTもLinuxもUNIXも、そして「OS X」も適時使っていきます。しかし、この新しいOSを使っていくためにはトレーニングを受け、技術を修得し、経験を積んでいく必要がありますから、現行の組織から人材をアサインしています。なお、Tooの取扱部署とショップ、ショウルームなどについては、www.too.comを参照してください。

――ユーザーへのサポート体制は？

草加●新しいOS環境を普及させていき、強力なソリューションとしていくためには、ユーザーからのフィードバックやサードパーティとの連携、もちろんアップルとの連携も必要です。なおかつ、このモダンなOSは、ことと次第によってはユーザー自身が「開発者」になりうる構造を持っています。したがって、私たちとしても一方的にソリューションやサービスを提供するというよりは、ユーザーと一緒にソリューション構築を行なっていくという考え方を持っています。

おそらく、将来的には個々のユーザーごとに異なった仕様やワークフローの構築が可能になってくると思います。ですから、サードパーティも含めたメーカーサイドと、さまざまな業務を実現させたいユーザーとを取り持つ、というより、一体になって環境を作っていくことを実現したいですね。

ステラクラフト http://www.stellar.co.jp/

導入から運用まで一括してサービスを提供します



(株)ステラクラフト
研究開発担当
佐藤徹 氏

――まず、ステラクラフトという会社の概要をお聞かせください。

佐藤●1992年に設立した会社で、創業当初からNeXT社の製品を追いかけ、早くからインターネットにも注目していましたので、インターネットとオブジェクト指向技術を核としたシステム開発を行なっています。また、インターネットとデータベースを結びつけるプロジェクトを起こしていましたが、1995年にNeXTがWebObjectsという製品を出しましたので、それ以来WebObjectsを手がけています。それまでAppleとは関わりがなかったのですが、NeXTが買収されてからはAppleにシフトして、Rhapsody*1のリリースを待っていました。そして、RhapsodyがMac OS X Serverとして発表され、Appleからオファーがありましたので、販売も行なうことになったんです。

――「Mac OS X Serverソリューションパッケージ」*2という製品を発表していますが、これはどのようなものなのでしょうか？

佐藤●一般的にMac系のベンダーは、セグメントをわけて、使用目的に合わせて最適化したソリューションを提供します。しかし、当社のソリューションは導入から運用までの一括したサービスを提供するシステムインテグレーションになるのです。お客様の具体的な要求にしたがってハードウェアやソフトウェアの選択を行ない、数百万円から数千万円といったさまざまな規模の選択肢をシステム構築案として提供します。つまり、ある特定のセグメントにお客様を確保することはないのです。「サーバー構築パッケージ」と「Net Bootパッケージ」の2つのパッケージを用意していますが、エンドユーザーだけではなく、ディストリビューターやベンダー、リセラーなど、このソリューションが必要になったすべてのかたに提供していきます。

――Net Bootはどのようなユーザーに受け入れられると思いますか？

佐藤●現在は、Mac OS 8.5.1しか使えず、ネットワークに対応したアプリケーションも不足していますので、企業やデザイン系の事務所が導入するのかは様子見の段階です。これが解決しないと、Net Bootが企業の中に入っていくのは難しいでしょうね。ただし、教育機関でしたら問題はありません。また、どこかの企業の中に社員が自由に使えるインターネットカフェを作るといった場合でも有効だと考えています。つまり、すでにMacintoshでMac OS 8.5.1を使い、ほとんどシステムに手を加えない状態でソリューションが構築されているのなら、Mac OS X Serverを導入することで劇的に管理コストを下げることができるのです。

*1 Rhapsody：97年のWWDCでAppleが発表した次期主力OSのコードネーム。その後に方針転換があり、RhapsodyはMac OS X Serverへと受け継がれることになる。　*2 Mac OS X Serverソリューションパッケージ：この商品の詳細については、http://www.stellar.co.jp/Products/MACOSXS/consultation1.htmlを参照のこと

TOPICS

PowerBookという生き方

特集I



Writer
飯嶋　淳
石坂　敦
伊島手織
大谷和利
三谷　森

Editorial Staff
市井文化社
ランディング



PowerBook 解説編

変わったのはキーボードの色だけじゃない!

新PowerBook 比類なき先進性

「デスクトップ機に勝る高性能を詰め込んだモバイルマシン」として、高い評価を受けてきたPowerBook G3シリーズがモデルチェンジを行ない、スペックを一新した。その特徴溢れる本体に詰め込まれた数々の新機能を基に、PowerBook G3の実力を検証する

このマシンはどこがスゴくて なぜ“買い”なのか?

新PowerBook G3シリーズは、クロック周波数333MHzと400MHzのPowerPC G3を搭載した2モデルがある。本体デザインは先代のPowerBook G3と同じく独特の形状となるが、素材や設計構造が変更されており、まったく同じに見えながら、実はまったく異なった設計の製品となっている。

新型になって大きく変化したポイントは、やはり本体が薄くなったことと、軽量化が行なわれたことだ。小型軽量をうたい文句とするPowerBook 2400cを除き、これまでのPowerBookシリーズのレギュラーモデルはすべて3kg台だったが、ついにその壁をうち破りレギュラーモデルで2kg台半ばとなったのは大いに評価すべきことだ。

一方で本体性能はより向上しており、USBインターフェイスの標準装備、DVDドライブの搭載(400MHzモデルのみ)や100Base-TX Ethernetの実装など、ハイエンドなニーズにも応えられる実力を備えている。

透明化されたキーボードや、稼働時に光る白い林檎マークなど、外見上だけでも変化はわかるが、内部的な機能も着実に強化されている。ここでは、新型PowerBook G3の概要をあらためて紹介しよう。

関連記事あり GO TO 62ページ!

ワイヤレスで楽々通信 赤外線の快適さここに極まる!

本体背面に備わる赤外線通信ポートは、旧PowerBook G3よりも汎用性を高めている。ドライバーソフトやCCLファイルの提供により、ISDN電話との無線通信や、写真のように携帯電話と連携したモバイル通信環境も実現可能になった





PowerBook G3の赤外線ポート



●NOKIA MN207
日本初の赤外線ポート搭載の携帯電話。NTT ドコモ東北などで取り扱う。定価30,700円。http://www.nokia.co.jp/



関連記事あり GO TO 64ページ!

求めたのは薄さと軽さ PCカードスロットはひとつに

本体左側に備わるPCカードスロットは、Type I/Type IIカードを1枚挿せる。先代では2枚挿しができたので、スペック的に不足を感じるかもしれない。しかし、本体にモデムや100Base-TXEthernet、ビデオポートなどを標準で備えているので、特に不足は感じないはずだ。最も活躍するのは、オプションのFireWireカードを使うときだろう



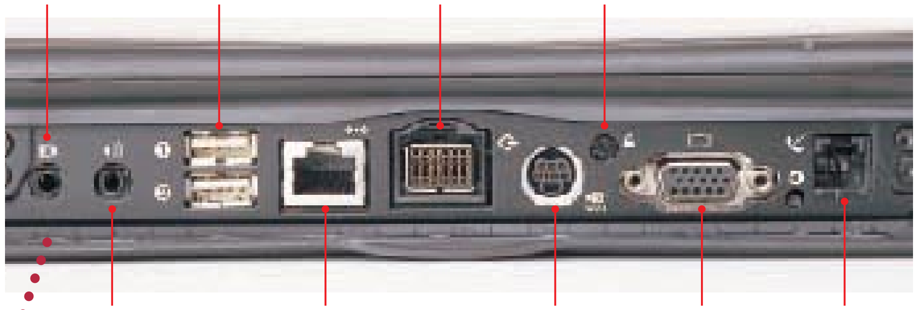


上/未使用時のPCカードスロット
左/PCカードを出すには左隅の突起を押す

関連記事あり GO TO 61ページ!

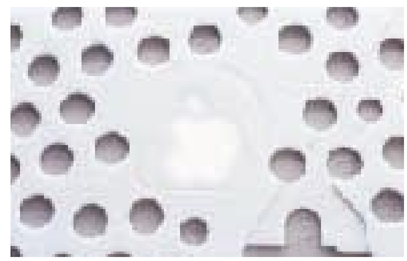
まさにフルスペックマシン 充実の背面インターフェイス

本体の背面に備わる外部インターフェイスは、非常に充実している。100Base-TX Ethernetやモデムポートといった通信関係はもちろん、外部ディスプレイポートやSビデオ端子といった映像関連も申しぶんない。ADBポートは廃止され、代わりにUSBが2ポート備わったのは先代との大きな違いだ。何よりSCSIポートが残されたことは、既存の周辺機器を活かせるという意味で嬉しい

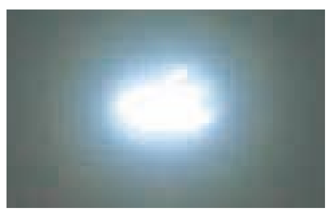




液晶の裏はこうなっている。この面が、右の写真の光る林檎の面と合わさる



液晶のカバー（筐体最外部）の裏。光る林檎の秘密はここにある。液晶の光がそのまま透過するのだ

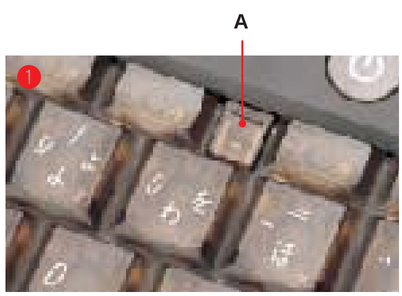


そそられる所有欲 暗闇で美しく光るという喜び

新型PowerBook G3では、液晶パネル部のアップルロゴが光る（稼働時のみ）など、デザイン的に随所にこだわりが感じられる部分がある。「そこまでしなくても」という意見もあるだろうが、一方でこうしたギミックを喜ぶユーザーも多いだろう。



クリックボタン、トラックパッド、そしてトランスルーセントなキーボードは、すべてJava（ジャバ）カラーと呼ばれる色に統一された



両手でキーボードのツメを押し上げる（写真1、2）と、写真3のように簡単に内部が見える。あとは、数個のネジをはずすだけ（写真4）





オープンマインド再び 驚異の簡単メモリーアクセス

先代のPowerBook G3でもキーボード部を取り外せばすぐにメモリースロットにアクセスできた。ただ、キーボードの取り外しに少々コツが必要だった。新PowerBook G3ではキーボード部の取り外しがツメ（写真1のA）を押すだけと容易になり、本体内部へのアクセス性が向上している。メモリの拡張も、よりやりやすくなったわけだ



G3の

三谷　森



本当に必要なものだけを吟味して贅沢に採用したフルスペックマシン

日頃使い込むうちに、画面の表示領域の広さやバッテリの持続時間などは、いろいろと気になる部分がでてくるものだ。しかし、こうした部分においても、新型PowerBook G3シリーズは高度なスペックを備えている。ほとんどのユーザーは、この性能に満足し、長く使っていけると感じるのではないだろうか。デスクトップマシンに比肩するスペックをスリムなボディに凝縮し、さらに価格も比較的低価格に抑えてある。これは、CD-ROMドライブなどの主要なパーツを他のMacと共用することでコストダウンを図った結果、実現できたことと思われる。

FireWireインターフェイスの搭載を実現してほしかったというユーザーもいるが、それはPCカード対応製品でカバーすればよいだろう。まずは、余裕の処理能力を備えたモバイルマシンが安価な設定で登場したことを歓迎すべきだろう。



デスクトップに引けを取らない大画面液晶の迫力

液晶パネルは333MHz／400MHzモデルとも14.1インチのTFTタイプを採用。1024×768ピクセルの表示領域を確保し、快適な作業環境を実現している。ビデオメモリの容量が増加したことで、表示できる色数も増えており、400MHzモデルではDVDの映像も楽しむことができる



関連記事あり GO TO 56ページ!

DVDで高品質の映像を堪能する

400MHzモデルには、DVD-ROMドライブが標準装備となった。大容量メディアとして注目されるDVDドライブが内蔵されたことで、PowerBook G3の活用範囲はさらにひろがるだろう。映像・音楽などの映像ソフトも楽しむことができるだけでなく、背面のSビデオ端子で出力することもできるので、DVDプレイヤーとしても使える



最高10時間稼働はダテじゃないモバイルマシン最高の長距離走者

本体左右に備わる拡張ベイは、モジュールのイジェクトを行なうレバーに緩衝機構が備わり、信頼性を高めている。ここに装着するバッテリーはパワーマネジメント機構の変更によって持続時間が向上し、1個で5時間、2個で10時間という長時間駆動を実現した



バッテリー



ACアダプター

これまでのACアダプターと異なり、断線しにくい構造になった



クリエーターの可能性を大きく拡げる外部ディスプレイとの連携

本体内蔵のビデオメモリーが拡張されたことをうけて、外部ディスプレイへの出力機能も改善されている。プレゼンテーションを行なうときにはミラーモードで、作業エリアを拡大したいときはマルチモニターとして活用するなど、これまで以上に「使える」機能となっている

Studio DisplayとUSBキーボードと組み合わせれば、省スペースのデスクトップマシンにもなる



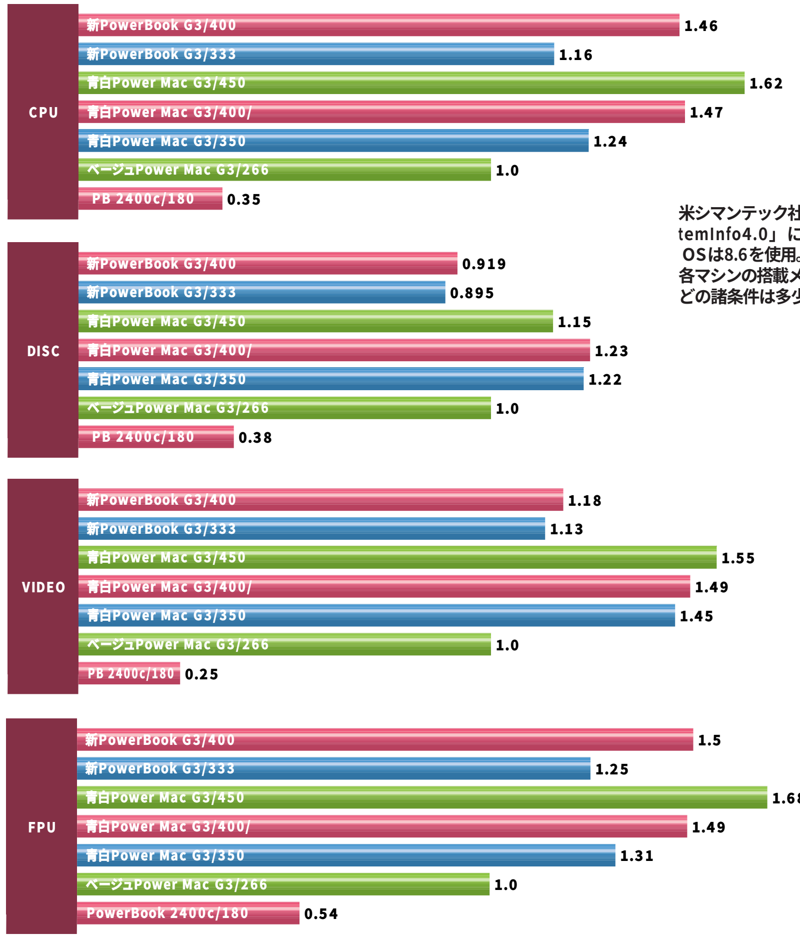
デュアルディスプレイで作業環境をさらに拡げられる。デザイナー、映像クリエーターには嬉しい機能だ

ベンチマーク結果がすべてを物語る

今回はシマンテック社の「SystemInfo4.0」を用いてテストを行なっている。基準機をPower Mac G3 MT 266とし、同時にクロックアップした新型Power Mac G3シリーズとも比較してみた。新型PowerBook G3は2機種とも非常に良好な結果を出しており、デスクトップ機に勝るとも劣らない実力を示した。

CPUやFPU*1の処理能力は、基本的に動作するクロック周波数*2の比率に依存した高速化となり、ビジネス用途はもちろん、デジタルビデオや3Dといったクリエイティブな分野でも実用に足る水準である。画面表示も高速であり、体感速度の面でも不満は感じられない。2.5インチドライブを使う関係でディスク性能だけはやや劣りぎみだが、それでも初代Power Mac G3シリーズとほぼ同等であり問題ないレベルにあるといえるだろう。

総じて、パフォーマンス面のバランスはとれている。価格が安価になったことから、より魅力的な選択肢になったといえる。



米シマンテック社の「SystemInfo4.0」にて検証。OSは8.6を使用。ただし、各マシンの搭載メモリーなどの諸条件は多少異なる

	新PowerBook G3 400MHz	新PowerBook G3 333MHz
CPU	PowerPC G3（400MHz）	PowerPC G3（333MHz）
ハードディスク	6GB IDE HD	4GB IDE HD
バックサイド二次キャッシュ	1MB	512KB
キャッシュバスクロック	160MHz	133MHz
システムバスクロック	66MHz	66MHz
メモリー（SDRAM）	標準搭載64MB（最大384MB）SO-DIMMスロット	標準搭載64MB（最大384MB）SO-DIMMスロット×2
メモリースロット	2基（空きスロット1）	2基（空きスロット1）
ビデオメモリー（SDRAM）	8MB	8MB
グラフィイクコントローラー	ATI RAGE LT Pro	ATI RAGE LT Pro
ドライブ	2倍速DVD-ROMドライブモジュール	24倍速CD-ROMドライブモジュール
内蔵モデム	56kbpsモデム（K56 flex／V.90）	56kbpsモデム（K56 flex／V.90）
ディスプレイ	14.1" TFTカラー液晶（バックライト）最大1,670万色（1,024×768）	14.1" TFTカラー液晶（バックライト）最大1,670万色（1,024×768）
外部モニター出力	SXGAで最大1,280×1,024pixelフルカラー表示	SXGAで最大1,280×1,024pixelフルカラー表示
デュアルモニター時	外部モニター1,024×768pixel、内蔵液晶ディスプレイ800×600pixelでフルカラー表示	外部モニター1,024×768pixel、内蔵液晶ディスプレイ800×600pixelでフルカラー表示
バッテリー	充電式リチウムイオン電池（5時間持続。デュアルバッテリー時10時間）	充電式リチウムイオン電池（5時間持続。デュアルバッテリー時10時間）
PCカードスロット	TypeI／II、もしくはZoomed規格PCカード×1	TypeI／II、もしくはZoomed規格PCカード×1
サイズ	W323×D264×H43mm	W323×D264×H43mm
重量	2.68kg	2.68kg
インターフェイス	12Mbps USBポート×2、SCSI（HDI-30）ポート、16ビットステレオサウンド入出力ポート、赤外線ポート（IrDA）、外部ディスプレイポート（VGA）、外部TVモニターポート、Ethernetポート（10/100Base-T）×1、無指向性マイクロフォン、内蔵スピーカー×2	12Mbps USBポート×2、SCSI（HDI-30）ポート、16ビットステレオサウンド入出力ポート、赤外線ポート（IrDA）、外部ディスプレイポート（VGA）、外部TVモニターポート、Ethernetポート（10/100Base-T）×1、無指向性マイクロフォン、内蔵スピーカー×2
搭載OS	Mac OS 8.6（新PowerBook G3専用）	Mac OS 8.6（新PowerBook G3専用）
付属ソフト	Microsoft Internet Explorer 4.5、Microsoft Outlook Express 4.5、Netscape Communicator 4.5、FAXstf5.0	Microsoft Internet Explorer 4.5、Microsoft Outlook Express 4.5、Netscape Communicator 4.5、FAXstf5.0
価格	430,000円（Apple Storeプライス）	298,000円（Apple Storeプライス）
一般店頭価格	オープンプライス	オープンプライス

*1 FPU：浮動小数点演算ユニット（Floating Point processing Unit）。CPUが浮動小数点の演算命令を実行するための回路のこと。CPUとは別ものだが、最近のチップにはCPU事態に組み込まれていることが多い。このポイントが高いと、複雑な計算処理を高速に処理できる。　*2 クロック周波数：コンピューター内でデータが処理されるテンポのこと。同じシステム構成ならクロック周波数が高いほど処理速度は速くなる。

PowerBook 五番勝負

その1 ● DVDモデル対決

外でも楽しめるDVD

伊島手織

PowerBook G3 400MHz DVD／430,000円　*ともにApple Store価格（以下同）

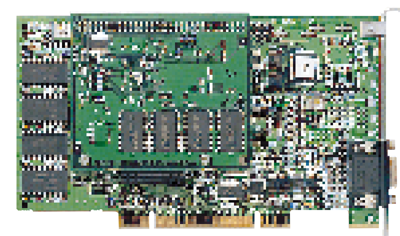
VS

魅力の低価格DVDモデル

Power Macintosh G3 400MHz DVD／248,000円

デスクトップでもノートでも MacでDVD三昧

DVDを見るためだけにMacを買おうとする人はいないだろうが、DVDがMacで見られるのは魅力的だ。DVDソフトはタイトルも増え、そのほとんどが5,000円以下で購入できる。画質や音質面で既存のメディアよりアドバンテージは非常に大きい。まずは新発売のPowerBook G3 400MHz /DVDとPowerMacintosh G3 400MHz/DVDというDVDモデルを検証する



デスクトップのDVDモデルにはATI RAGE128上にMPEG2デコーダーチップが実装されている。これにより、DVDの再生が可能になっている

DVDプレイヤーとして比べてみる

いきなりの結論で申し訳ないが、DVD再生機として見るとPowerBookとPowerMacでその機能の違いはほとんどない。まずハードウェア面では、両者ともにハードウェアデコーダーチップ（DVDビデオのMPEG2*1圧縮形式の解凍を行う）を搭載しており、720×480ドット/30フレームのパフォーマンスで高画質の動画再生に充分対応している。しかもMac OS 8.6からは標準で「AppleDVD プレイヤー」が添付されている。このプレイヤーソフトではDVDビデオの特徴「マルチストーリー」「マルチアングル」「マルチランゲージ」などに対応しており、その点では一般に売られているDVDビデオプレイヤーと遜色ない機能を備えている。

一般のDVD-ビデオプレイヤーとの違いはサラウンドへの対応だろう。一般の専用プレイヤーではサラウンド音声の出力が可能である。しかしPowerBookと、PowerMacはともに出力がステレオのピン端子のみであり現時点ではサラウンド音声を出力できない。



ラインナップも増加してきたDVDビデオソフト。ほとんどのソフトが5千円台までと従来のビデオソフトの3分1程度で購入できる

液晶かCRTディスプレイかそれが問題だ

では、どちらを選べば良いのだろうか？ポイントのひとつは、液晶かCRTのどちらのディスプレイ方式を選ぶかという点だろう。PowerBookに限らず、液晶ディスプレイはCRTディスプレイと比較すると、色再現性や画面描画の応答性は劣る。またバックライト方式は輝度でもCRTに比べて不利だ。

実際に2台を並べてDVDソフトを再生してみると、PowerBookの画面の方が暗く、再生画質も異なって見える。液晶とCRTの機構の違いといってしまえばそれまでであるが、筆者としてはCRTの方が美しく感じてしまう。PowerMac G3とAppleの17インチディスプレイの組み合わせの方が、PowerBook本体よりも美しくDVDを鑑賞できる。しかしPowerBookでもCRT接続が可能なため、CRTをつなげてしまえば条件は同じだ。そうなれば本体よりもむしろディスプレイによって画質が左右されることになるだろう。

PowerBookはS-VIDEO端子でNTSC*2出力をサポートしている。家庭用テレビでのDVDビデオの再生が可能だが、画質はあま



PowerBookとデスクトップ、どちらも実力は伯仲する高性能マシン。青白Power Mac G3に、クロックアップされた新製品が登場して、ますます購買欲を刺激される今日この頃。ノートとデスクトップのどちらを買うか、それとも新PowerBook G3の400Mhzか、333Mhzを買うか？　現行アップルプロダクツを徹底比較して、自分の使用目的にあったMacを購入しよう。



PowerMacintosh G3に搭載されている、松下製のDVDドライブ。DVD-ROMを５倍速、CD-ROMを32倍速で再生できる



PowerBook G3 400MHzの本体には「DVD」という表記はどこにもない。CD-ROMドライブとの違いは部分的に色が違うことのみ

り良くない。DVDの再生用途には向かない。

ソトでも映画を見たい？ ならば最強のPowerBookを

もし持ち運びたいなら、当然PowerBookを選ぶしかない。家電のDVD再生機と比較しても、PowerBookは最大級の画面サイズを持つ携帯型DVDプレイヤーである。松下電器から販売されている、液晶搭載型ポータブルDVDプレーヤーDVD-L50では、5型の液晶ディスプレイを装備しているが、これはPowerBookの14.1インチの画面と比べるとかなり小さい。そう、DVDが見られる機器として、かつ持ち歩ける機器ではPowerBookは最強のDVDプレイヤーなのである(価格的にも、約30万円という大きな差がついているが……)。筆者の知人は飛行機の中でDVDを見るために、PowerBookを購入すると豪語しているが、エコノミークラスでは画面が大きすぎる。やめたほうがいいだろう(笑)。

プライスパフォーマンスと DVD付属モデル

価格と性能で選べば圧倒的にPowerMacに軍配が挙がる。PowerMac G3/400 DVDモデルはAppleStore価格で248,000円。対してPowerBook G3/400/DVDは434,000円。装備やディスプレイの有無の違いはあるが、20万円近くの価格差があるわけだ。

さらに、同じクロックのモデルでもグラフィックボード、バスクロック、ハードディスクなどの違いにより、ベンチマークではCPU以外で、20%程度PowerMac G3の方が高速になっている。省スペース・携帯性などをまったく考えなければ、安価で、パフォーマンスが非常に高いPowerMac G3はベストな選択であろう。

今回はDVDドライブの観点から比較したが、今後Appleは徐々にドライブをDVDに切り換えるといわれており、どちらを選んでも将来標準となるDVDを先取りできるわけだ。

? *1 **MPEG2**：カラー動画を圧縮伸張する標準方式のひとつ。デジタル衛星放送やDVD-ヴィデオなどの高画質動画に適用される。　*2 **NTSC**：日米などを中心に採用されているカラーテレビ放送の伝送信号の規格。水平方向の走査線数が525本、30フレーム／秒のインターレース方式。



判定

- DVD再生能力に差なし
- 持ち歩くならPowerBook、コストとパフォーマンスならPowerMac
- どっちを選んでも未来の業界標準メディアを先取りできる

Zipモデルはどうなの？



フロントベゼルのメディア挿入口がZipモデルのあかし。フロッピーではないのでご注意を

新しいPowerMac G3にはZipをプリインストールしたPowerMac G3/400/ZIPモデルが用意されている。搭載しているのは100MBのドライブで、残念ながら250MBの容量をもつ新しいタイプのZipではない。米国では普及しているZipであるが、日本ではDTPやグラフィックなどの現場では、まだまだMOが標準的に使われている。

容量あたりのコストはMOの方が安価で、最新機種の最大容量は1.3GBであること、既存ユーザーが多くデータ交換がしやすいことなどが、MOが選ばれる理由であろう。

しかしZipが便利な場合もある。Windowユーザーにはパラレル経由で接続できる手軽なバックアップメディアとしてZipの人気は高い。Windowsユーザーがデータ交換する場合、Zipメディアが意外と使われている。もちろんDOSフォーマットにしておけばMacとのデータ交換にも使えるのだ。

また海外の企業とのデータ交換の場合もZipが頻繁に使われている（実は筆者も海外のある企業へデータ送付のため、Zipドライブを購入せざるを得なかったことがある）。

また、USBやSCSIのZipもMac用として発売されており、容量は100MBとあまり大きくはないが、ドキュメントなどのデータ交換には十分だ。

内蔵できるZipは現在発売されていないので、用途が具体的に考えられるなら、Zipモデルも悪くない。



外国やWindowsユーザーとのやりとりが多いなら、Zipモデルも一考に値するだろう

その2 ● 最高機種対決

史上最高のノートブック
PowerBook G3 400MHz／430,000円

VS

史上最高のデスクトップ
Power Macintosh G3 450MHz／331,900円

PowerMacintosh G3/450とPowerBook G3/400/DVDの2機種は、それぞれアップルの誇る最高のテクノロジーを投入したまさにフラッグシップである。本来であれば比較対象とはならない2台であるが、ここではあえて2つの最高機種を比較してみたい。

PowerMacintosh G3/450では、CPU値で1,170、FPU値1,051（Symantec社、System Info4.0による計測値）とスピードアップ版らしく順調にMacintoshの最高速を更新した。

PowerBook G3/400では、バスクロックやRAMのアクセススピードなどの仕様においてPowerMac G3に比べて不利なはずだが、CPU値で1,056、FPU値で939と、PowerMac G3 450より10パーセント減にとどまっているのは見事だ。その半面ノートブックで採用されている薄型ハードディスクドライブの弱点が露呈し、ディスク値ではPM G3 450が598、PB G3/400が474とPowerBookが倍近く引き離される結果となった。PowerBookには、より高速なドライブの採用を望みたいところだ。しかしここまでくると通常のファインダー操作ではスピードの差は感じられないというのが正直なところである。

PowerMacintosh G3 450は現時点において史上最速のMacである。筆者が知るかぎり、最速のMacはグラフィックデザイナーや3Dデザイナーなど、もっとも忙しい人々の少ない時間を作り出すためのメイン機として使われている場合が多い。最高のパフォーマンスのMacは、従来からMac文化を担っている人々のクリエイティブな面を増幅するマシンであり、そのパフォーマンスはプロフェッショナルに使われるためのものなのだ。

一方、PowerBook G3/400/DVDはまさに「どこでもデスク」と呼べる機能と速度を実現している。従来のPowerBookは、その性能面での弱さからデスクトップを補完する役割で使われることもあったが、この新PowerBook G3ではPowerMacintoshに勝るとも劣らない高いスペックにまで達している。

いかなる場所においても仕事を行ない、DVDビデオを楽しみ、どこにでも自分の環境を持ち歩く。十分なバッテリー駆動時間も備え、外でアクティブに活動するMacユーザーにこそ相応しいマシンだといえる。

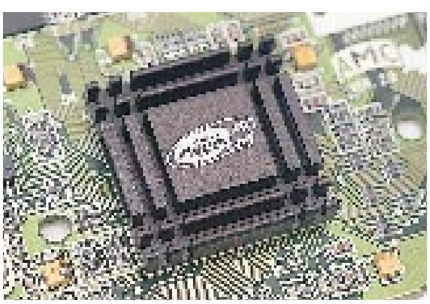
G3以降、必ずしもクロックだけで仕事が限定されることがないほどに、その速度は向上している。それゆえこのクラスのMacは、最速のパフォーマンスを必要とし、それによって少しでも生産性を高めたいユーザーが選択するマシンであるといえる

もちろんPowerBookでシビアなグラフィックをすべて行なうことは考えられないし、逆にPowerMacを移動させてのプレゼンテーションもあまり一般的ではない。

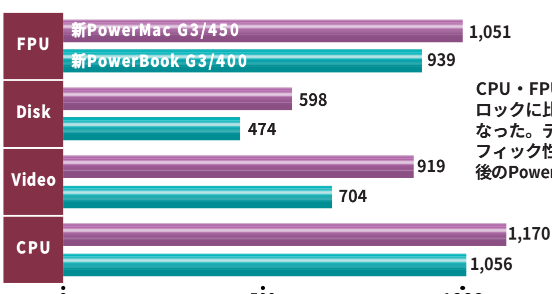
仕事のスタイル、そしてライフスタイルの中で、最高のパフォーマンスによって余裕を生み出す。それが最高機種を選択する意義なのではないだろうか。



USBとFireWireを採用したことで、とてもシンプルになった背面端子。プロテクトキーなどの用途にADBが残っているのはグラフィックユーザーへの配慮



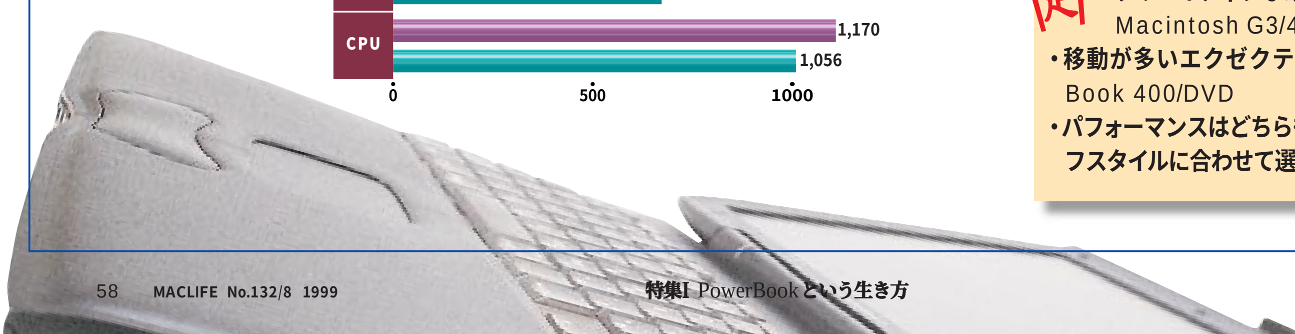
DOS/V用を含めても最高水準のグラフィック性能を誇るATI RAGE128



CPU・FPU性能はほぼクロックに比例した結果となった。ディスクとグラフィック性能の改善が今後のPowerBookの課題か

判定

- クリエイティブなあなたにPower Macintosh G3/450
- 移動が多いエクゼクティブにPower Book 400/DVD
- パフォーマンスはどちらも一級品　ライフスタイルに合わせて選びたい



その3
●
低価格対決

新しいPowerBook G3 333はAppleStoreプライスで298,000円と、PowerBookの中でも最もコストパフォーマンスに優れている。ここでは新しいPowerMac G3シリーズの最廉価機PowerMacintosh G3/350（198,000円）と新PowerBook G3、どちらがお買い得かを検討してみよう。

PowerMac G3 350は、PowerMacG3シリーズ中、最安価のマシンであるがその仕様は上位機にひけをとらない。なんといっても400Mbpsの速度を持つ、2基のFireWireポートを標準搭載。FireWire、MO、ハードディスクなどの接続機器も充実してきつつあり、今後もさらに対応機器が増えるだろう。VRAMとして16MBを実装した高速なATI Rage Proグラフィックボードが装着され、さらに空きのPCIスロットを3つ持つことで自由に拡張することができる。ATA33を採用した高速なハードディスクを内蔵し、さらに2ユニットを追加内蔵可能だ。また100MHzのバスクロック、同じ速度をもつSDRAMを装備。 基本性能はまったく上位機と同じながらエントリーレベルの価格を実現している機種。それがPowerMac G3 350なのである。

PowerBook G3は充実装備を誇り、コストパフォーマンスが魅力だ。まず14.1インチTFT方式の液晶ディスプレイ。これは外付けとして購入すれば10万円ぐらいの価格がつく。56Kモデムが内蔵され、10/100BASE Ethernetも装備するなど、通信環境も申し分ない。PCIスロットほどではないが、PCMCIAカードスロットは必要十分な拡張性をPowerBookに与える。FireWire、Ultra Wide SCSI、デジタルカメラのメモリーカード、



秤にかけられるPowerBook、本当に2.68Kgなのがわかる（笑）

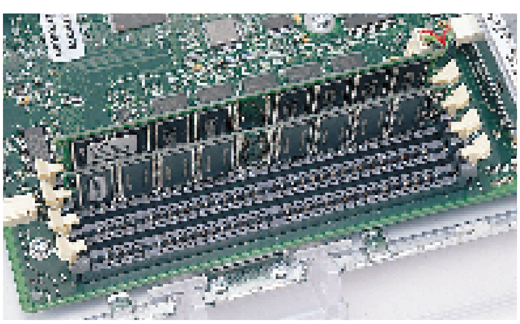
携帯電話など、さまざまな接続カードを装着できる。また赤外線通信を実現するIr DAユニットを使えば、PDAと無線でデータ交換ができ、最近新設が相次いでいるIrDA公衆電話で64KのISDN接続も可能となる。SCSI端子は速度的には一世代前のものであるが、既存のハードディスクやスキャナーなどを使うには非常に便利だ。つまり、PowerBook G3は一体型Macといってよいほど、標準の装備が充実しているのである。

総合性能や拡張性でのPowerMacintosh G3の利点は大きい。しかし重いグラフィックソフトなどを使わないならば、その能力をフルに活かすことにはならない。自分のMacの用途をよく見極めて導入したいところだ。

一方のPowerBook G3には装備の充実もさることながら、「移動できる」というメリットがある。モバイルだけでなく、会社の中や家の中でも、「どこでもMac」が可能というのは大きな魅力だ。さらにPowerBook史上初めての機能としてキーボードやマウスを接続して閉じたままでの使用も可能となった。デスクトップよりも省スペースというのもポイントが高い。拡張性やグラフィック能力など、PowerBookの限界も知っておこう。

デスクトップの拡張性と価格には惹かれるが、増設を考えないならばPowerBookのトータルパフォーマンスはかなりお買い得。オススメできる。

充実装備のPowerBook
PowerBook G3 333MHz／298,000円
VS
総合性能のPowerMacintosh G3
Power Macintosh G3 350MHz／198,000円



4つのメモリースロットを装備。PC100規格の64MBあるいは128MBのSDRAMを装着可能だ



ATI RAGE Pro128のみ66MHzのより高速な専用PCIスロットで動作している



判定
- 軽くて安くて充実装備のPowerBook G3
- 上位機譲りの基本性能・拡張性のPowerMacintosh G3
- 動くならPowerBook、しっかり構えるならPowerMacintosh G3

その4 ● 新PowerBook同士対決

新しいPowerBook G3シリーズの２機種を比較してみよう。この２機種の比較のポイントは約13万円の価格差。この一語につきる。この値段による仕様の違いは、70MHz弱のクロックとHD容量、DVDの有無のみ。２機種において比較ポイントごとに考察してみたので機種選定の参考にしてほしい。



400の2倍速DVD-ROMドライブ。20倍速のCD-ROMドライブとしても利用できるが、333の24倍速ドライブより若干低速



こちらは、333MHzに搭載されているCD-ROMドライブ。廉価なのをが魅力なら、従来モデルを選ぼう

メモリー、バスクロック、ビデオボードなどおもな仕様のほとんどが共通である新しいPowerBook。システムにおいて異なっているのは400MHzと333MHzのCPUクロック、バックサイドキャッシュ容量が1Mと512Kであること、そしてキャッシュバスクロックが166MHzと133MHzであることのみだ。では、その基本性能はどの程度変わったのだろうか？　米国シマンテック社のベンチマークソフト「System Info 4.0」を用いてテストを行なったところ次のような結果が出た。まずCPU値ではPowerBook G3 400/DVDで1,056、同333MHzで840。FPU値が400MHzで939、333MHzで782、ビデオ値で400MHzが704、333MHzが671という結果になった。

CPU値とFPU値に関しては、クロック比通り約20%の差、ビデオでは約5%ほどの差がつくことになる。しかし2台並べて使ってみたところ、数値ほどの差は感じられなかった。むしろ2台とも充分高速・快適であり、グラフィックやビデオ、3DといったCPU速度が直接関係する処理を除けば、速度の違いはあまり感じられないだろう。

絶対的な速度では、PowerBook G3 400MHzに利点があるものの、通常の使用法では333MHzモデルでも十分なパフォーマンスを持っている。両者ともに基本性能は非常に高いレベルにあるという結論に至った。

ハードディスクはG3/400 DVDモデルで6GBのATAドライブ、333モデルで4GBのATAドライブを装備。上位機種でさえもiMacと同じハードディスク容量なのはやや物足りないが、両者ともに必要十分な容量は確保している。唯一、明確な相違点はDVDドライブが付属し、DVDソフトが再生可能かどうかという部分だろう。G3/400 DVDモデルでは、ロジックボード上にMPEG2デコーダーチップを実装している。333MHzモデルではデコーダーチップを追加できないので、オプションでもDVD再生キットは用意されることはないだろう。

もしPowerBookでDVDソフトの再生をしたいならば、G3/400しか選択の余地はない。もちろんDVDソフトだけでなく、DVD-ROMなどの大容量のディスクに対応しているので、将来の保証されたメディアを先んじて使用できるメリットもある。

このことが今回のPowerBook選択の最も大きなポイントではないだろうか。

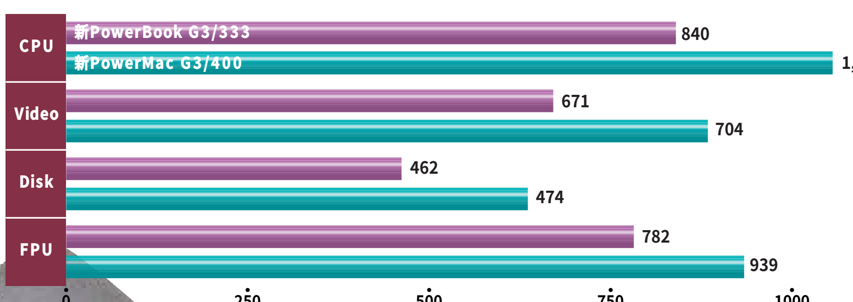
安さ重視のPowerBook

PowerBook G3 333MHz／298,000円

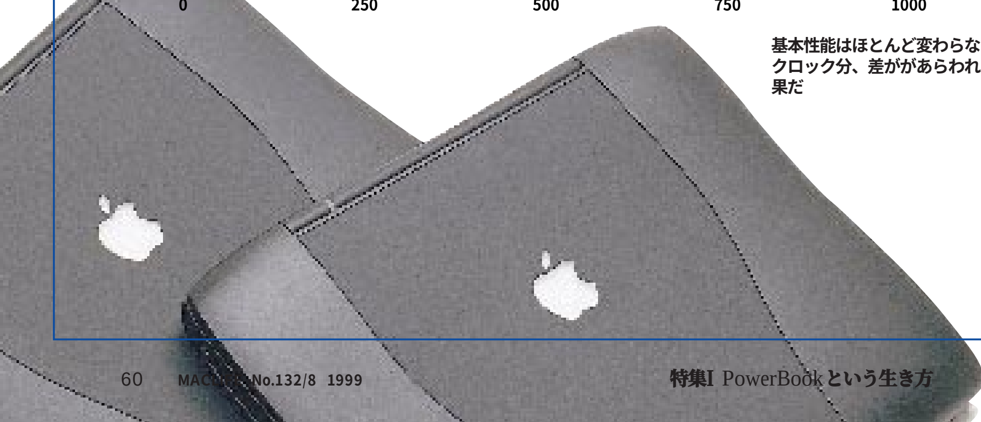
VS

DVD搭載のPowerBook

PowerBook G3 400MHz DVD／430,000円



基本性能はほとんど変わらない。クロック分、差ががあらわれた結果だ



判定

- お買い得感は333MHz版の勝ち。すべて装備され30万円を切る価格は魅力的
- DVDドライブやデコーダーチップは追加できない。DVDソフトが見たいなら400MHzモデルで決まり
- 価格比ほどの性能差はないことを考えて選択すべし

次世代装備のPowerBook

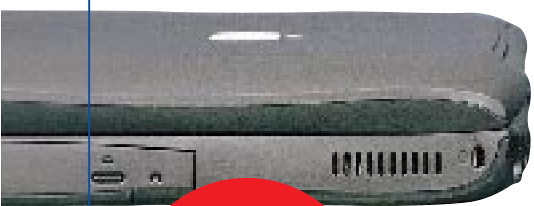
新PowerBook G3シリーズ

VS

ADB装備のPowerBook

旧PowerBook G3シリーズ





その5 ● 新旧PowerBook対決

旧PowerBook G3ユーザーにとって新PowerBook G3は（紛らわしいのでPower Book G3 98とPowerBook G3 99と呼ぶ）は悩ましい製品だ。ボディが薄く軽くなったが、デザインはほぼ同じ。仕様の変更もクロックアップとUSBの追加ぐらい。同じく旧モデルユーザーである筆者が旧G3の生き残り方法について考えてみたい。

弊誌7月号でもお伝えしたが、PowerBook G3 99は98年モデルより軽く薄くなった。重さは約800g減と雑誌1～2冊分軽くなり、厚さは8mm薄くなり片手で掴みやすくなった。

VRAMが8MBになり、本体とは別にディスプレイ表示が可能になったのは確かに便利だ。98年モデルでは別売り扱いだったDVDユニットだが、99年モデルでDVD標準モデルが登場したのも大きなポイントだろう。

シリアルとADBの代わりにUSBが用意され、iMacやG3 PowerMacと周辺機器の共有ができるようになったメリットもある。

しかし、98年モデルもどっこい負けてはいない。薄くなったせいでPCMCIA*1スロットが1つになってしまったG3 99と比べ、2スロットを装備。実はモバイルの場面では、PCMCIAスロットが2つあることのメリットは多い。コンパクトフラッシュでデータを読み出しながら携帯電話で通信を行なったり、Ultra SCSIカードを利用しながらPHSのデータカードを使いたいというケースはままあるものだ。また99では手動になってしまったが、98ではカードのオートイジェクトができるのも自慢していい。

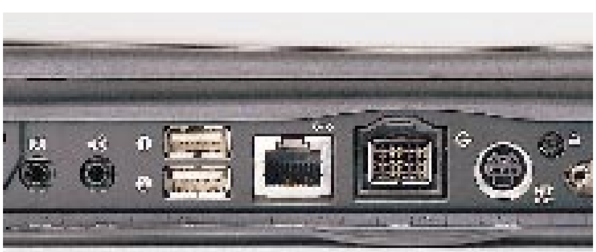
ADBインターフェイスでは、豊富なバリエーションのキーボードやマウスを使用できる。シリアルインターフェイスも、デジタルカメラやプリンターなどの周辺機器では一般的にまだまだ使われており、USBより対応機器が多い。

PowerBookシリーズ最後の純正フロッピーが接続可能というのも魅力だ。なんといっても新PB G3ではオプションですら用意されていないのだから。

今、中古市場ではベージュのG3 Power Macは非常に人気が高いらしい。理由は簡単。みんな従来のインターフェイスの周辺機器を所有しており、なかなか周辺機器も含めてまでは新しいインターフェイスに移行できないでいるのだ。そういうわけでPowerBook 98は、中古市場でも人気機種になるだろう。新しいインターフェイスが完全に普及するまでは、もっとも使い勝手の高いPowerBookであり続ける可能性は大いにある。

PowerBook 98ユーザーはインターフェイスの移行時期特有のさまざまな特権がある。厚さに負けず、重さにくじけず自信を持って使い続けようではないか（笑）。

PowerBook G3 99



PowerBook G3 98



新旧2つの背面インターフェイスを比較してみた。新PBではモデムなども背面に装備したため、よりインターフェイスが密集している



旧G3の厚さのメリットを活かした（笑）2つのPCMCIAスロット。新PBと同様にFireWireカードも接続できる

判定

- 薄く軽く、新しいインターフェースを装備した新PowerBook
- 旧G3ではフロッピーやADBなど古いインターフェイスを活用できる
- インターフェイスに違いのある2つのPowerBook それぞれの利点を活かそう

*1 PCMCIA：米国のPCカード規格の標準化団体の名前。かつてはPCカード自体もPCMCIAと読んでいた。

ついにワイヤレスを実現した

赤外線通信用CCLファイルの配布によりIrDA通信がついに本格化

飯嶋　淳



PowerBook 5300シリーズから実装されている赤外線ポート*1。PowerBookでは、長らくIrTalkという独自の通信規格のみがサポートされるのみで、忘れられたかのように思えた。しかし、Mac OS 8.6でIrDAのライブラリーが実装されたことにより、PowerBookの赤外線ポートの利用価値は一気に増大。ISDN公衆電話や携帯電話、デジタルカメラ、PDAなど、IrDAに対応した機器を使えるようになった。ここでは、ワイヤレスで使えるさまざまな機器を紹介するとともに、赤外線以外のインターフェイスとの使い分けについて考察してみよう。



NTT DoCoMo NM207

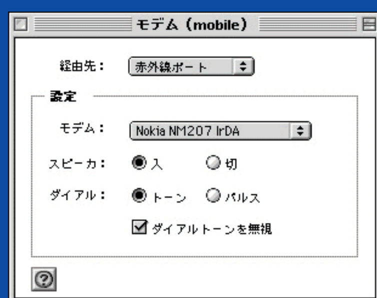
外出先では、通信の準備に結構手間がかかる。鞄から、PowerBookと携帯電話、PCカードタイプの携帯電話アダプター、接続ケーブルを取り出す。携帯電話のインターフェイスのキャップを取り外して、接続ケーブルで携帯電話アダプターと携帯電話をつなぐ。携帯電話アダプターをPowerBookに挿入……限られたスペースでこれだけの作業をしなければならない。

NTT DoCOMoの携帯電話、NM207（NOKIA製）はIrDA対応の赤外線ポートを内蔵しており、PowerBookとワイヤレスで接続することが可能だ。通信速度は9,600bps。この点は従来の携帯電話と変わらない。

NM207のメニューの、その他の設定で赤外線を選択し、PowerBookの赤外線ポートの近くに置く。最初に「赤外線コントロールパネル」で「IrDA」を選択し、ついで「モデムコントロールパネル」の「経由先」で「赤外線ポート」を選び、対応するモデムの種類で「NOKIA NM207 IrDA」を選ぶだけである（この作業はPCカードタイプの携帯電話アダプターでも必要）。通信速度は9,600bpsで従来と変わらないが、PowerBookの背面に携帯電話を置けるスペースがあれば、PCカードタイプのものよりも断然手軽である。



NTT DoCoMoのNM207（NOKIA製）は赤外線ポートを持った唯一の携帯電話だ



モデムコントロールパネルで、経由先として赤外線ポートが選ばれていることを確認する。また、モデムの種類として、Nokia NM207 IrDAを選択する



●NOKIA NM207
現在、NTT DOCOMO東北など各地で取り扱い中。関東では取り扱い未定。
NTTドコモ東北
http://www.docomo-tohoku.co.jp/
ノキア・モービル・コミュニケーション
http://www.nokia.co.jp/

CASIOのQV-7000SXは130万画素、光学2倍、デジタル4倍のズーム機能を持つデジタルカメラ。記憶媒体はコンパクトフラッシュ、シリアルインターフェイスを装備しているが、もう1つの大きな特徴がある。赤外線通信インターフェイスを装備しており、IrDAの通信規格の1つ、Tran-Pに対応している点だ。

一方、リュウドのTranp Albumはその名の通り、Tran-Pに対応したデジタルカメラと、SONY CyberShotの画像をPowerBookや、赤外線ポートを装備した一部のiMacに取り込んで整理するためのアルバムのようなアプリケーションだ。

Tranp Albumの受信ボタンをクリックして受信待ちにした後、PowerBookの背面に置いた

NTT赤外線通信インターフェイス付ISDN公衆電話

アナログポート、ISDNポートを装備したISDN公衆電話（通称グレ電）はノートパソコンへのモデムの標準装備によって、かつてはモバイルの代名詞にもなっていたが、狭い電話ボックス内での通信の準備は、先に紹介した携帯電話以上に、ケーブルの接続が非常に手間であり、今では携帯電話、PHSにデータ通信の主役を奪われた感もある。

NTTが東京都内を中心に設置を進めている赤外線通信インターフェイス付きISDN公衆電話の通信速度は64Kbps。インターネットプロバイダーのISDN対応のアクセスポイントを利用可能だ。赤外線の素子が上下ふたつ装備されており、かなり広い範囲で赤外線を拾うことが可能。テストでは40cmほど離れ、PowerBookを斜めにしても問題なく通信が成立した。64Kbpsの速度は快適で、Webブラウジングや画像のメール送信にも



公衆電話でも赤外線通信で、64Kbpsの高速通信が手軽にできるようになった。NTTでは、東京都内各所で、赤外線通信インターフェイス付ISDN公衆電話の設置を進めている



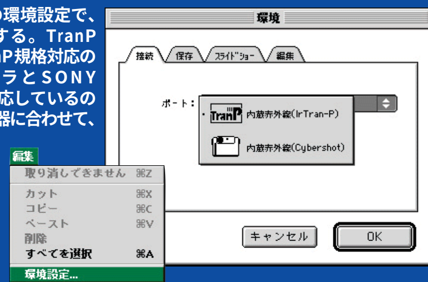
●NTT Ir Phone HOME Page
http://www.hil.ntt.co.jp/irta/
都内での設置場所リストや利用方法が解説されている。
●アップルコンピュータでは、PowerBookのホームページで、IrDA電話の使い方ページを用意している。必要なCCLファイルもここから手に入れられる。
http://www.apple.co.jp/powerbook/irda.html

赤外線通信の実力

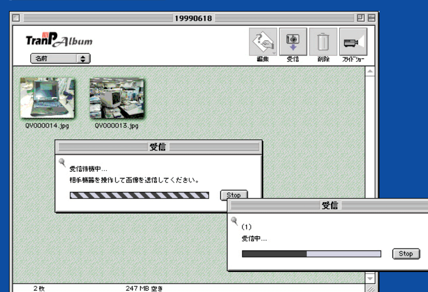
デジタルカメラ カシオQV-7000SXとリュウドTranp Album



デジカメもこんなに便利になる。CASIO QV-7000SXで撮った写真を手軽にPowerBookに転送。少ない枚数ならこれが便利



編集メニューの環境設定で、ポートを選択する。TranP Albumは、TranP規格対応のデジタルカメラとSONY Cybershotに対応しているので、接続する機器に合わせて、選択する



受信ボタンをクリックすると受信待機中になるので、デジタルカメラで送信を行なう。10秒ほどで、受信完了

QV-7000SXのTran-P送信ボタンを押すと高画質の画像でも数秒でPowerBookに送信される。

複数の画像を一括して取り込むのであれば、コンパクトフラッシュをPCカードアダプターに差し込んで、PowerBookのPCカードスロットに挿入する方が便利だが、撮った画像をその場で素早く加工したい、というようなシチュエーションでは手軽な赤外線通信は威力を発揮しそうだ。

なお、Tranp Albumはオンラインでフル機能の試用版が配付されており、3週間以上使い続ける場合はお金を払ってパスワード（ライセンスキー）を購入する仕組みとなっている。

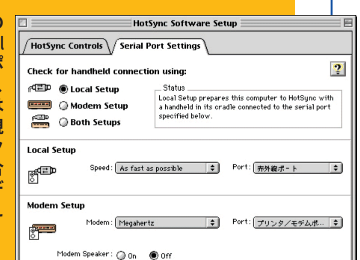
●カシオ QV-7000SX
http://www.casio.co.jp/QV/Info/qv_7000sx/
●リュウド Tranp Album
http://www.reudo.co.jp/tranp/index.html

IBM WorkPad

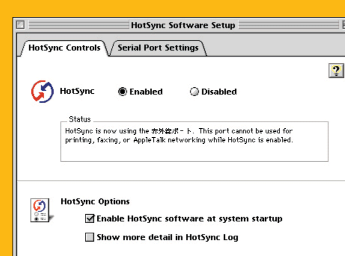


PowerBook 2400cを、IBMのワークパッドと繋いだところ。赤外線経由のHotSync。クレイドルがない出先でもこれで安心してバックアップができる

IBMのWorkPadは赤外線ポートを内蔵している。Mac用接続ソフトとクレイドル*2をMacintoshのシリアルポートに接続するための変換コネクターのセット、MacPac2には、赤外線ポートを利用してMacintoshと接続するためのソフトウェアが同梱されている（Macintoshにインストールするアイテムは、Mac OS 8.6ではインストール済みのため不要）。設定は簡単で、HotSync Managerでプリンタ／モデムポートの代わりに赤外線ポートを選ぶだけである。クレイドルに比べると、シンクロナイズに時間が掛かるが、出張時など出先でのWorkPadのバックアップ作業には、十分耐えられる速度である。



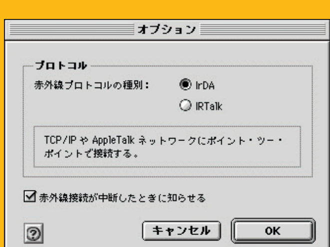
Serial Port Settingのタブを選択し、Local Setupで、赤外線ポートを選択すると、HotSync Managerは赤外線ポートを監視するようになる。クレイドルを使う場合は、プリンタ／モデムポートに切り替える

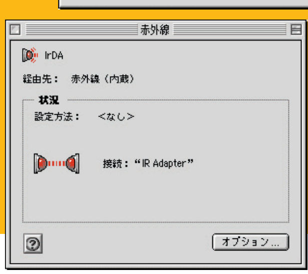


HotSyncを利用する際は、Enableに、他のIrDA装置を使う場合は、Disableをチェックしておく

十分である。

ただし、PowerBookを設置することが可能な台があればよいのだが、それが確保できない場合も多い。ケーブルで繋ぐ場合は公衆電話の上にPowerBookを置くこともできたが、それでは赤外線が途切れてしまう。ケースバイケースでの使いわけが必要だ。





赤外線コントロールパネル。オプションをクリックし、赤外線プロトコルでIrDAが選択されていることを確認する。赤外線の届く範囲内にIrDA機器があれば、IrDA装置の項に、名前が表示される

iMac

PowerBook同士、あるいは、赤外線ポートを有するボンダイ・ブルーのiMacとも、IrDA経由のAppleTalkでファイル共有が可能となった。転送速度は実測値で400Kbps程度。Ethernetにはかなわないが、LocalTalkやIRTalkに比べれば十分高速で、10MB程度のファイルも3分あればコピーできる。

ただし、iMacとファイル共有をするためには、あらかじめ、iMac側にMac OS 8.6インストールでポータブル用ソフトウェアの中のApple IR File Exchangeをインストールしておく必要がある。

赤外線ポートを使ったデータ通信は、ワイヤレスの手軽さが一番のメリット。シリアル接続やEthernet接続、PCカードなど、ケーブルやメディアを使うのに比べて速度では劣るものの、小さなデータを少しだけ、というようなシチュエーションでは大いに活躍するはずだ。古くて新しい赤外線ポート。新たなソリューションが、まだまだこれから出て来そうだ。

*1 赤外線ポート（IrDA）：赤外線ポートでIrDAを利用できる機種は、PowerBook 3400シリーズ、PowerBook 2400シリーズ、PowerBook G3（オリジナル）、そしてPowerBook G3 Seires　*2 クレイドル：WorkPadをパソコンなどと接続するときに使う専用アダプターのこと

PowerBook 活用編

FireWirePCカードでDV

PowerBookがノンリニア編集システムに大変身！

石坂　敦



PowerBook G3が登場した時、ムービー編集を快適にこなすそのパフォーマンスに感激した。同時にDVからの映像入出力を可能にするFireWire*1用のPCカードがあったらどんなに便利になるだろうかと思った。そしてその願いは、新PowerBook G3とともに発売されたFireWire PCカードによってかなえられた。

このカードにより、ビデオデッキをMacの近くまで引きずり出すことなくムービー編集したり、撮影したその場で映像を編集してネットで配信することも可能だ。また、映像関係の打ち合わせの場でも威力を発揮する。なにしろOKカットの選出（取り込み）から編集後のプレビュー（TV出力）まで場所を選ばず、その場でできるのだ

今回試した製品は、RATOK社のCBFW2とNewer社のFireWire2Goの2製品。本体はPowerBookG3／400MHz、RAM／384MB、QuickTime4.0という環境。

結論からいうと、両者とも安定しており、セットアップ後、即DV編集が可能だ。FireWireで取り込むDV映像はデータを転送してQuickTimeフォーマットに変換するだけなので、カードによる画質の差はなく、両者ともDVの持っている高画質映像をそのまま編集することができる。

では、この2つのPCカードをいくつかのパターンで使用してみよう。

編集環境

新PowerBook G3と液晶モニター付きのDVカムがあれば最小の編集システムを構築することも簡単だ（図1）。PCカードに付属しているドングル*2とDVカムのDV端子をケーブルでつなげば準備完了（図2）。

DVに収録した内容はPowerBookのモニター上でも見ることができ、編集後のプレビューはDVカムの液晶で行なう。PowerBookのモニターでもプレビューはできるが、動きを重視するために荒い映像で表示されてしまう。より正確なプレビューが必要なら、DVカムからの映像出力をTVモニターにつなぎ、TVモニター上で映像を確認することになる。

EditDVアンプラグドによる編集

実際に映像編集を行なう手順を紹介していこう。編集ソフトにはEditDV アンプラグドを使用する。これはEditDV1.5の簡易版で、19,800円という低価格のDV編集ソフトだ。http://www.digitalorigin.com/unplugged/download.htmlから試用版（英語版）をダウンロードすることができる。ただし7月初旬現在でQuickTime4には完全対応はしていない。

キャプチャーウインドウからDVをコントロールすることができる。DVカムはSony DCR-1000とPanasonic NV-DJ100の2機種を試してみたが、CBFW2、FireWire 2 Goとも、どちらのDVカムも問題なくコントロールすることができた（図3）。EditDV アンプラグドは、残念ながらバッチキャプチャーに対応していないので、バッチキャプチャーが必要なユーザーはEditDV1.5を購入する必要がある。

編集後のDV出力でも、両者とも問題はなかった。DVは手動で録画するしかないのだが、作品の前後に黒画面などの余白をつけておけば問題はない。また、これはソフトウェア側の仕様によるもので、PCカードの性能によるものではない。

Premiereによる編集

FireWire 2 GoにはAdobePremiere用のDVプラグインが付属されている。両者に性能の差は認められなかったが、ドングルやこのような付属プラグインで両者の違いがでる。

Premiereでは、プラグインがなくてもDVからのキャプチャーはできるが、バッチキャプチャーとDV出力を行なうことはできない。QuickTime4.0に対応したpremiere5.1Bにバ



Ratoc社のCBFW2



Newer社のFireWire2Go



図1●これぞまさにDTV。場所を選ばないDV編集が可能だ

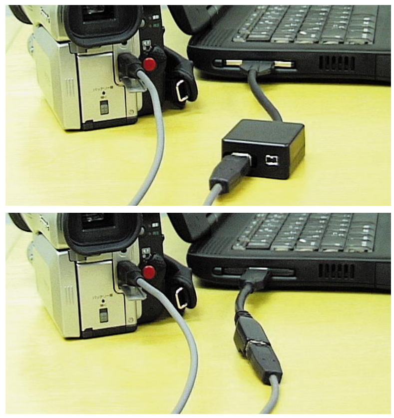
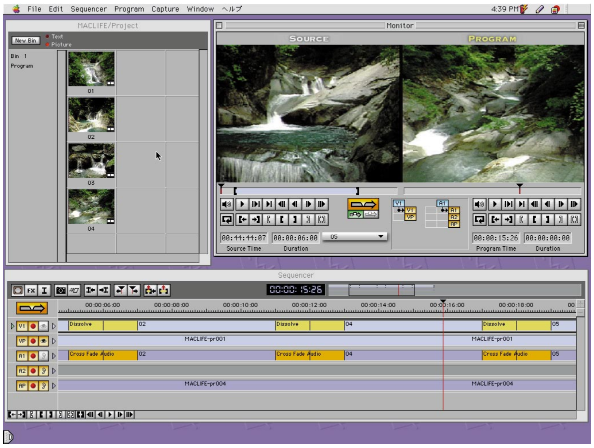


図2●CBFW2（上）のドングルには4ピンと6ピンの2つのコネクタ。FireWire2Go（下）には6ピンコネクタがついている

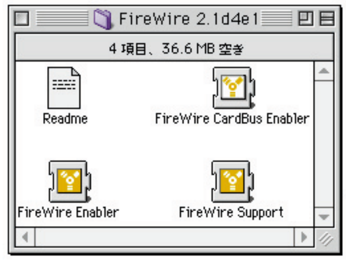
編集初体験

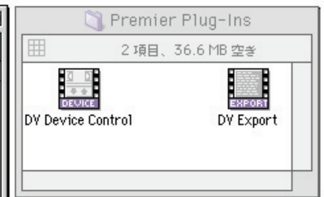


図4●Premiereのバッチキャプチャー機能。タイムコードを指定すれば、順次自動で取り込んでくれる



低価格でDV編集を実現するEditDV アンプラグド





FireWire2Goに付属するドライバとPremiere用プラグイン

CBFW2に付属するドライバ

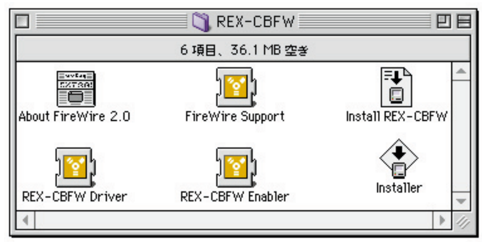




図3●DV入力の魅力の1つは、このコントロール機能にある。ただし全てのDV機器をコントロールできるわけではないので、対応機種のチェックは必要



図5●メディアコンバータを接続した様子。これでVHSやHi8からの映像の取り込みが可能になる

ージョンアップすればプラグインが必要なく書き出しも可能となる。FireWire 2 Goを使用してバッチキャプチャーを行なってみたが、指定からずれた部分の映像をキャプチャーしてしまう現象がおこった。これはPremiere用DVプラグインが標準インストールされているFireWire搭載のG3でも同じ現象が認められたのでFireWire 2 Goの性能ではなくソフトウェア側に問題があると思われる。早急の対応が望まれる。

DV以外の映像による編集

最後に、DV以外の映像編集の方法にも簡単に触れておこう。Sonyのメディアコンバータ DVMC-DA1を使用すれば、DV以外の映像をキャプチャーすることも可能だ（図5）。たとえば、VHSから映像をキャプチャーしてみたが、両者ともまったく問題なくきれいな映像をキャプチャーできた。CBFW2とFireWire 2 Goの2製品は、ともに動作が安定しており、PowerBook G3の高スペックを十分発揮できる製品だと思う。

PowerBookユーザー待望のモバイル・ノンリニア編集機！

ショルダーバッグでの持ち運びが可能なノンリニア編集システム「Media100 RFE（リモートフィールドエディター）」がいよいよ発売になった。全システムは重さ14キログラム以下で、「いつでもどこでも」DV編集できる環境が簡単に構築できる。Power Book G3/300（旧型）専用で、価格は4,200,000円から。新型PowerBook G3には未対応。また、左の写真のモニターは別売となっている。

取り扱いは、イメージ&メジャーメント社。URLは、http://www.imi-jp.com/。



*1 FireWire：アップルが開発した高速シリアルインターフェイス。デイジーチェーン方式で最大64台の機器を接続できる。データ転送速度は、100Mビット／秒、200Mビット／秒、400Mビット／秒の3種類がある。IEEE（米国電気電子技術協会）でIEEE1394として規格化された。　*2 ドングル：ソフトウェアの不正コピーを防ぐためのハードウェアキーのこと。このハードウェアキーがないとソフトを起動できない。

PowerBookを進化させる

PCカードやUSB製品でPowerBookが万能マシンに!

今回の新PowerBookG3は、デスクトップにひけをとらない十分なスペックといわれているが、より豊かな機能とパフォーマンスを実現するためには、サードパーティ製を含めた周辺機器は欠かせない。拡張ポートを見ると、従来から装備されていたSCSIポートやPCカードスロット、赤外線ポートなどとともにUSBやFireWireのポードを装備し、さらに10/100Base-T Ethernet対応になった。アップルコンピュータによれば、USBおよびFireWireに対応した周辺機器は、日本のMacintosh市場で150製品を超えたという。また、新PowerBook G3以外のPowerBookを進化させる周辺機器も充実している。必要な機器を揃えて、自分だけのマシンを作り上げてみよう。

PCカード

PCカードは、そのときどきで必要な拡張を行なうために必要な周辺機器。今は、USBとFireWireに移行する過渡期であるため、たとえば既存の周辺機器を活用するために、SCSI PCカードは現在でも需要が高い。PowerBook 2400/180以前の機種では使えないが、CardBus対応のカードもリリースされており、高速データ転送が可能だ。Ethernet未対応の機種はPCカードスロットからEthernetカードを差してネットワークに対応する。また、デジタル携帯電話やPHS用の通信PCカードをさすことで、モバイル環境も構築することができる。この他に56Kモデムとデジタル携帯電話通信アダプターがドッキングしたコンビネーションPCカードなどがある。



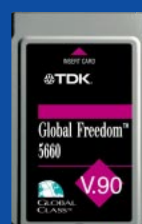
RoadRocket
4MB SGRAMグラフィックカード
●加賀電子　オープンプライス
iXMICRO社が開発した最新128ビット2D/3Dコントローラーチップ、TwinTurbo 128-3Dと4MBスーパーチャージSGRAM搭載



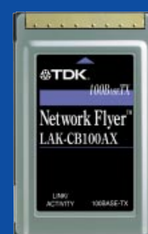
REX-CB81
CardBus対応100Mbps高速LANカード
●ラトックシステム
\15,800
高速100BASE-TX LANカード。PC/AT互換機やPC-9800、PC98-NXにも対応



TDK DN1280
ISDNカード
●TDK　\44,800
MP(Multi Link PPP)による128Kbpsの超高速通信が可能



TDK DF5660
56Kモデム
●TDK　\31,800
世界60ヵ国以上をサポートするデータ/FAXモデムカード



TDK LAK-CB100AX
100BASE LANカード
●TDK　\18,800
32ビットバスマスタ方式による高速転送。オートネゴシエーション機能によって100BASE-TX/10BASE-T自動切り替え





REX-CB32P
Ultra Wide SCSI CardBus PC card
REX-CB31P
Ultra SCSI CardBus PC card
●ラトックシステム
\33,800（REX-CB32P）
\16,800（REX-CB31P）
32bitデータバス、33MHzバスクロック、バスマスター転送方式で最高132MB/secの高速転送を実現

SHOP

新PowerBookG3のパフォーマンスは1台目のマシンとして人気

Power Yu　ShopManager
永吉健史氏



今回のPowerBookG3 333MHz &400MHzに対する評価はいろいろ言われていますが、私どものお客様についていえば、高速なCPUやビデオカード、PowerBookなりの薄型軽量化といった進化を肯定的に受け止めていらっしゃるようです。"可搬デスクトップ"と考えれば、モバイルに特化したVAIOやPedionほど薄さや軽さにこだわる必要がないし、Ethernet対応なのだから、PCカードスロットが1基でも使えるということです。メモリーが最大384MBまで搭載できるので、増設される方は多いですね。周辺機器としてはUSB関連の製品が今後伸びてくるのではないかと思います。
http://www.yu-plan.co.jp/



同店では、（有）ジェイドの塗装によるオリジナルデザインのPowerBookも好評だ

USB

USBは毎秒12Mbpsでデータ転送が可能なホットプラグ式の接続規格。SCSIのように、ID番号やターミネーター設定など接続にともなう手続きが不要。すでにiMacでは拡張ポートがUSBのみになり、現在発売されているMacintoshシリーズはすべてUSBを装備している。ただ新PowerBookG3の場合、過渡期的な仕様としてSCSIポートをあえて残してある。USB製品は、PCカードスロット同様にマルチプラットホーム規格なので、ドライバーさえあればMacOSで使えるものはWindowsマシンでも使える。



LPM-CA20USB
PCカードリーダー
●ロジテック　\13,800
CompactFlash/FLASH-ATA用スロット＋SmartMedia用スロットの合計2スロット搭載



QUE!Drive
CD-RWドライブ
●オープンリソース　\44,800
4倍速書き込み、2倍速書き換え、8倍速読み込みが可能。iMacにマッチしたスケルトンボディを採用





REX-SMA03
smartmediaリーダー
●ラトックシステム　\9,800
PushPush方式を採用したスマートメディア交換。32MBスマートメディア対応

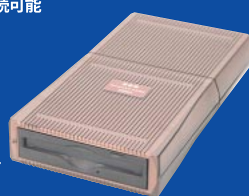
最新周辺機器の魅力

FireWire

新PowerBookG3にはFireWireの搭載は見送られたが、ラトックシステム、Newer TechnologiesのFireWire PCカードがあるので、PowerBookでもFireWire機器が使えるようになった（64ページ参照）。DVカメラをつないで静止画や動画を取り込むのはもちろん、HD、MOなども利用できるようになった。高速にデータのやりとりができるだけでなく、ホットプラグに対応し、SCSIのようなデイジーチェーンや、USBのようなスター型・ツリー型といった複数の接続も可能で、最大で63台まで接続できる。



Eko cobalt
FireWireハードディスクドライブ　オープンプライス
●フォーカルポイント
最大データ転送速度50MB/秒。本体の電源を入れたまま接続可能



Cerulea RB
FireWire対応 MOドライブ
●ヤノ電器　\84,800
128～640MBの3.5インチMOディスクでR/W可能

新PowerBook G3専用拡張ベイモジュール



LSG32
スーパーディスクドライブ
●VST社　$229.95
記憶容量120Mバイトを達成した3.5型フロッピーディスクドライブ



Hard Drive
ハードディスクドライブ
●VST社　$349.95～$749.95
拡張ベイ用のハードディスク。4GB、6GB、8GB、10GBタイプがある



ZIPG32
ジップドライブ
●VST社　$229.95
最大100Mbytesのデータを記録することができるZIP用ドライブ

※いずれも国内での発売未定。VST社の問い合わせ先は右下参照



Keyspan USB PDAアダプターUSA-19
iMAC用/新PowerMacG3用USB PDAアダプタ
●アスク　\8,000
iMAC、新PowerMacG3対応。DSUB9pinポート(RS232)1基搭載。データ転送57.6Kbpsサポート

USBホイールマウス
マウス　\4,800
●エレコム
ドライバをインストールすることでMac上でも2ボタンマウスとして使用

その他

PowerBookは、その可搬性を生かせば、いつでもどこでも持ち運んで使える。新PowerBookG3のバッテリー駆動時間は画期的だが、単体使用時に比べて数倍の駆動時間を実現する、外部バッテリーのPowerBattery24という製品もある。PowerBookの電源アダプターポートに接続するだけの簡単なものだが、替えのバッテリーとして心強い。

また、PowerBook用のカバンも、耐衝撃力が強いだけでなく、PowerBookを携帯しない時は分離できるなど、以前に比べると使い勝手や美観が向上している。

SHOP

Webの閲覧によって全国から問い合わせがあります

アミュレット　ジェネラル・マネージャー
高山直久氏



HDの交換やメモリーの増設については、宅急便で送付していただいたものは翌日ご返送することを徹底しています。また、女性ユーザー、海外からの一時帰国、地方から上京された方のHD交換については、技術料を半額としているサービスなども好評です。お客様は、Webの情報からご利用になる方が増えているようです。周辺デバイスやアクセサリーの売れ筋商品は、PCカードスロットに対応したIDE-ハードディスク外付けケース「CitiDISK for Mac」や、国立商店さんのパームレスト部分に貼って使用する牛革製品「PalmPAD for PBG3」サブノート用「Power Bag」などです。「CitiDISK for Mac 2.5インチ」については、累計出荷数が3,200台を突破しました。PalmPAD for PB G3については黒と茶色の2色をご用意しています。
http://www.amulet.co.jp/



サブノート用
Power Bag



CitiDISK for Mac



PowerBattery24
ノートパソコン用外付けリチウムイオンバッテリー
●エナックス　\31,000
単体使用時に比べ、約2～6倍以上の大容量を実現

スリム・ブリーフパック
PowerBook収納鞄
●トゥミ　\58,000
衝撃吸収システム「セーフポート」を採用し優れた保護力を発揮

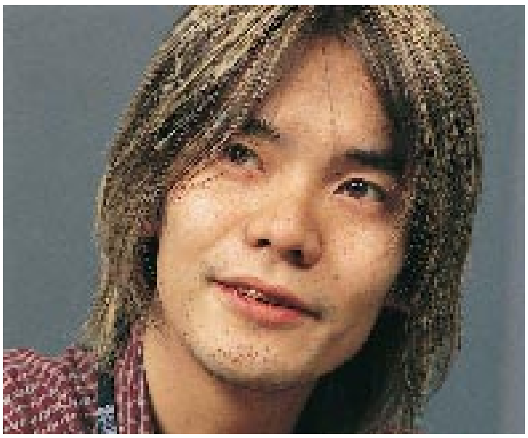


●アスク　http://www.ask-corp.co.jp/
●エナックス　http://www.enax.co.jp/
●エレコム　http://www.elecom.co.jp/
●オープンリソース　http://www.or.com.hk/
●加賀電子　http://www.taxan.co.jp/
●トゥミ　http://www.tumi.com/
●フォーカルポイントコンピュータ　http://www.focal.co.jp/
●ヤノ電器　http://www.yano-el.co.jp/
●ラトックシステム　http://www.rexpccard.co.jp/
●ロジテック　http://www.logitec.co.jp/
●TDK　http://www.tdk.co.jp/
●VST　http://www.vsttech.com/

クリエーターとPowerBook

プロフェッショナルが語るPowerBookに対するこだわり

デザインや音楽などに携わる作業環境として、連想されるのはCRTの大画面によるオペレーション。ところが現在では、液晶の小さいPowerBookをクリエイターは、いかに使用しているのか。今、「本当のPowerBookの姿」をお伝えしよう。



黒田智之氏

（株）セップ　http://www.sep.co.jp/
デジタルクリエイティブ室
クリエイティブコーディネーター

「MacもWindowsも使いましたが、やはりPowerBookG3/266のパフォーマンスは評価できると思います」と語る黒田氏

創るだけではなく伝えるためにも必要なPowerBook

「Directorで映像を扱い始めたのが4〜5年前。Director歴がそのままMacintosh歴になります。最初はVJをやろうと思って、Directorで音楽コンテンツを作ることから始めました」

現在、黒田智之氏はミュージックビデオでの製作で70%以上を誇る製作会社セップで映像制作の仕事に携わり、ケンイシイや高木寛、bisといった先端を行くアーティストのCDエクストラやプロモーションビデオなど、音楽コンテンツの制作者として活躍している。TheBrilliantGreenのWebページ（http://www.sme.co.jp/Music/Info/TheBrilliantGreen/）も氏が手がけたものだ。

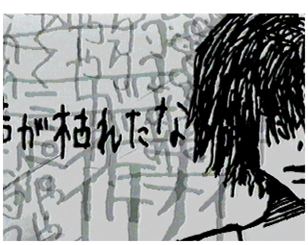
黒田氏のデスクには、Power Mac G3 MT300が置かれているが、メインマシンは PowerBook G3　266。両機種にインストールされているものはほとんど同じで、デスクトップはおもに大画面でデータを確認しなければならない場合などに使用している。

黒田氏はもともと、リクルートに入社してシステムアドミニストレーターとしてシステム開発を行なったが、その後、DTP製作がおもな業務のRCP（リクルート・コンピュータ・パブリッシング）に移り、同社で実験的にデジタルメディアを扱う部署を立ち上げたとき、クリエーターとして初めてMacを扱うようになったという。

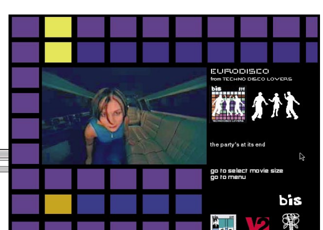
「音楽コンテンツを扱うにはどうしてもハイパフォーマンスのマシンが必要ですから、当時はプレゼンテーションのためにデスクトップのPowerMac G3を車で持ち運んでいたほどです。PowerBookはスタイルの点で欲しいと思ったことはありましたが、値段が高い割には使えないというイメージが強かったんです。それがPowerBook G3になって、いよいよ映像などの大容量のデータを扱うのに十分通用するマシンになったと実感しました」

黒田氏の場合、PowerBookG3でコンテンツ制作を行なうだけでなく、プレゼンにも使っている。制作だけならデスクトップでいいが、営業も同時にこなすアグレッシブなビジネスのためには、打ち合わせの際に制作環境をそのまま持ち込めるマシンでなければならない。仕事場にPowerBookがあるのではなく、PowerBookのあるところが仕事場といったところだ。今愛用しているPowerBook G3 266は、RCP、セップと職場や作業環境が変わってもそのまま使い続けている。

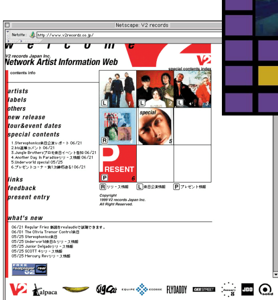
「普通、会社が変わると環境を整えるのに一苦労ですが、私の場合はPowerBookを置く机ひとつあればいいという感じでした。PowerBookのおかげで、途切れることなく仕事を行なえたのです。小型化・軽量化も大事だとは思いますが、仕事で使うには、何よりパフォーマンスが大切。モバイルというよりも持ち運べるデスクトップという感覚で現在のPowerBookを捉えています」



directorで制作したインディーズバンド「Bump of Chickin」のプロモーションビデオのひとコマ。256色以上は使わずほぼすべてPower Book上で作られた



人気グループ「bis」のCD-EXTRAも担当



Webデザインも手がける。V2recordsのホームページ
http://www.v2records.co.jp/



スペースが確保できる場所ではマウスをつないで作業する

の幸せな関係



熊代 敬氏

株式会社デザイン・オフィス・ケイ
グラフィックデザイナー

「PowerBook3400でもDTPをするには十分なスペックだ」と熊代氏

PowerBookで挑む! モバイル、DTP、Webデザインの可能性

SOHOでエディトリアルデザインを行なっている熊代敬氏は、Formula Nipponのレース結果を報じるニュースレターを現地で無料配布し、さらにそのデータをWeb上でPDF配布するプロジェクトに参加している。その際現地に持ち込む“モバイルDTPマシン”はPowerBook 3400c/200だ。

Formula Nipponのサーキット場内にはプレスルームがあるが、その一室を熊代氏ら取材チームが使う。カメラマンとライターはPowerBook 2400を、編集に関わる広報担当者がPowerBook5300csを、広報アシスタントがPowerBook520をEthernetでつないだモバイルネットワークで各自作業を行なう。

レースは通常、土曜日に予選、日曜日に本選が行なわれる。ニュースレターは土曜日の予選結果を受けて日曜日の本選開始までには配布しなければならない。熊代氏はレイアウトをあらかじめ組み、カメラマンに写真の内容についてリクエストしたり、ライターへ字数などのディレクションを行なう。土曜の17時ぐらいから22時頃までの間にデザインをフィックスする。カメラマンはキヤノンの「EOS・D2000」で撮影後、データをPCカード経由でPB 2400に取り込む。組み上がったデータは現地の業者に印刷を依頼。なかには首都圏では定番のQuarkXPressに対応しておらず、Illustratorのみという印刷所もあり苦労したという。たとえば、初めてこの仕事をした鈴鹿では現地に対応する業者がなく「四日市の出力業者に当日2時半から解説を行ない、5時半に納入した」そうだ。

熊代氏はほかにも、Formula Nipponのホームページ作成やFormula Nipponネットワークゲームのプロデュースといった仕事もしている。ここでも3400cをメインマシンとして使っている。書籍や雑誌のDTPも同様だ。

PowerBookでDTPやWebデザインを行なうことについては色みの確認が問題だが、16ビットカラーのほうが24ビットよりも画面描画処理が速く、画像データの属性（RGB）をDTP写真の属性（CMYK）にすることについても16ビットでできないわけではない。画面の小ささについても「慣れれば問題ないですね。インターネットユーザーはPowerBookと同じくらいの大きさの画面でしか見ませんから、コンテンツ作成もこれで十分」とのこと。高機能でありさえすればいいのではなく、使い勝手や使用目的に合った発想をすべきだと熊代氏は語っている。



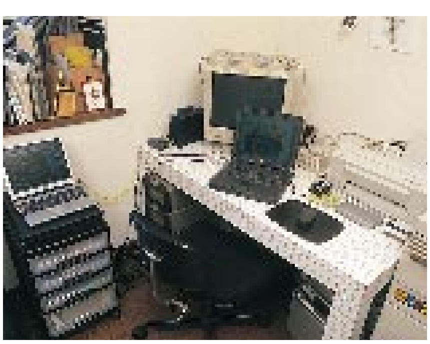
Formula Nippon
予選速報



Formula Nippon FunFun GPのホームページ
http://www2.f-nippon.co.jp/



左からカメラマン小林稔氏、モータージャーナリスト高橋二朗氏、熊代氏、フォーミュラ・ニッポン広報担当・洲之内啓子氏、同アシスタント・木村知一郎氏



SOHOである現在の仕事場にはPowerBook3400c/200とMebiusPCPJ2（シャープ）



熊代氏がPowerBookのためにデザインしたキャリングケース。制作メーカーを募集している

PowerBook 改造編

唯一無比のマシンのために飽

ヴィンテージPowerBookユーザーたちの誇りと情熱

新 PowerBook G3だけがPowerBookではない。
時代遅れに見えるOld PowerBookも創意工夫とちょっとした勇気で蘇生可能だ。
あくまでもOld PowerBookにこだわり続けるPowerBookユーザーの誇りと情熱を紹介する。

松岡靖一さん

人と同じでいいのだろうか？ そこからCardBus対応の2400c/180が生まれた

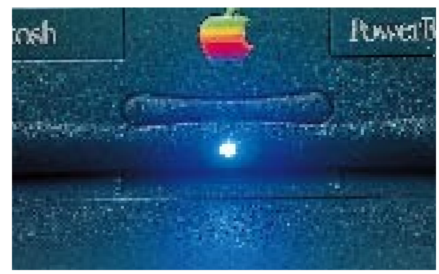




松岡さんの愛機●PowerBook 2400/180MHz/16MB
現在は、改造を施され、2400/360MHz/112MB、CardBus規格カード対応PCカードスロット付き、4GBのHDというスペックになっている

松岡さんがPowerBookにこだわる理由は、職場と自宅でのマシンでデータのやりとりをしなくていいこと、そして1台ですべて持ち歩けるという機動性のよさ。基本的には満足していたとはいえ、使い続けるうちに疑問がわいてきた。人と同じものを使っていていいのだろうか？ これが改造のきっかけだった。

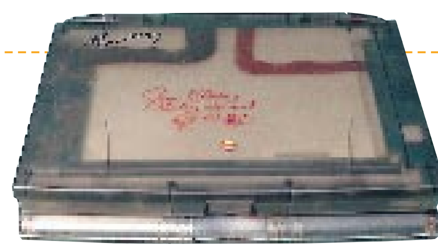
2400cの改造といえば、スリープランプとか、ハードディスクドライブのアクセスランプといったものが一般的。「人と同じ改造を



松岡さんも、液晶パネルの下部にブルーLEDのHDDアクセスランプを取り付けている



Toyokiさんのホームページ
「PHENiX ～究極のPowerBook5xxを創る会 ～」
http://www.powerbook.org/phenix/



『O'Grady's PowerPage』の作者であり、MacWEEK onlineのコラムニストでもあるJason O'Grady氏のサインが入ったカバーパネル（写真中央）。MACWORLD Expo/Tokyo '99の開催時に書いてもらったもの。左上のサインは、元Apple社員で540Cを含むPowerBookシリーズの開発を行なったJeff Chasick氏のサイン

「僕の改造は必要に迫られて始めたことなんです。ただ、スケルトンにしたことに必要性があるかどうかは別ですが……」

Toyokiさんが初めてMacを購入したのが3年半前。それが現在もメインマシンとして使用しているPowerBook 540Cだ。それまでは、コンピューターというものを使ったことすらなかったという。

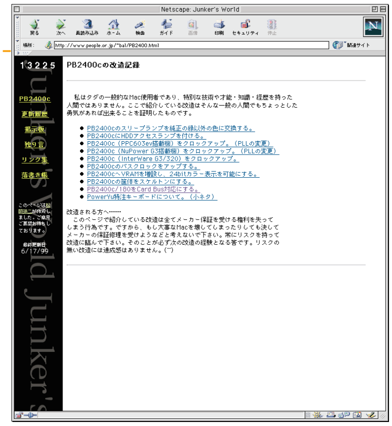
改造を始めるきっかけとなったのは、液晶バックライトの故障。

「当時、札幌の大学院で修士論文を書いていたのですが、締め切り1週間前になって、突然バックライトが切れてしまったんです。修理してくれるところもないので、困ったあげく、自分で液晶パネルを開けてみました。そして、中にあった蛍光管をほかのワープロのものと取り替えてみたんです。このとき、生まれて初めてハンダごてを使いました。液晶が直ったときは、涙が出るくらいうれしかったですね」

Toyokiさんが540Cにこだわるのは、丸みを帯びたキーボードのパームレストとキーの間隔、そして視野角が広く明るい液晶を愛してやまないからだ。そして540Cを究極のマシンに改造することを決心した。540Cは、最大搭載メモリーが40MBしかなく、これでは動作しないアプリケーションも多い。そのため、PowerBook 2400/180を購入したのだが、どうしてもしっくりこない。長時間使用していると疲れてくる。ならば、使い心地のいい540Cにメモリーを増設する方法を考えた方がいい。そこで、メモリーカードを自作し、64MBまでメモリーを増設できるようにしたという（この改造については書籍『PowerBook大改造計画』（小社刊）に掲載されている）。電子工学については学んだことはないというToyokiさんだが、こういっ

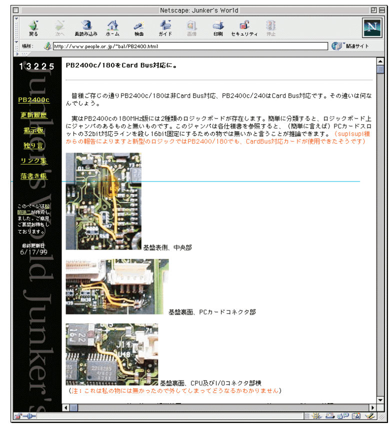
くなき挑戦は今日も続く

していたら、どこで違いを出すんだ？」と思ったという。そんなとき、iMacの改造で名高い、借金tosh氏（http://village.infoweb.or.jp/~fwid8843/index.html）と話していて、2400c/240はCard Bus対応だが、2400c/180は非Card Bus対応、その違いは何なのかということが話題になった。どちらも基本的な構造は同じなので、ちょっと改造すれば使えるようになるんじゃないかという結論に至り、お互いにそれを実行した。そのときは「壊れたら元に戻せばいい。直せないものはないはず」という気持ちだったという。その結果、この改造は成功し、米国でも大きな話題になったほどだ。日本ではCard Bus対応の2400が発売されているが、米国では発売されておらず、現在も松岡さんのホームページの英語化を嘆願する英文のメールが届く。



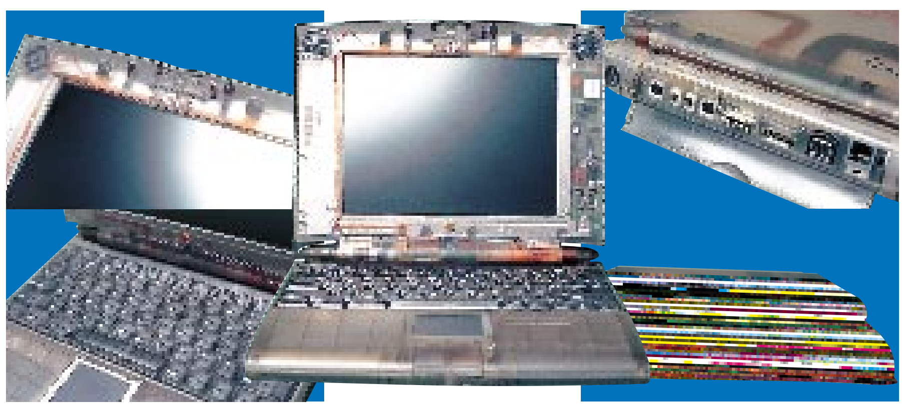
こういった改造ができるのも、すべてインターネットのおかげだと松岡さんはいう。「インターネットのスゴイところは、改造のWebページがあることではなく、さまざまな規格の技術情報が公開されていること。これを見れば僕のように特別な技術や才能を持たない人間でも少しの勇気で改造が可能なんです」

松岡さんのホームページ
http://www.people.or.jp/~bal/
CardBusの改造のページは米国でも話題になっているようで、PowerBook界の大御所Jason O'Grady氏のホームページからもリンクを張られている





スケルトン化計画で、スケルトンパーツを作成するために使用したカバーパネルのゴム型



Toyokiさんの愛機●MACWORLD Expo/Tokyo '99で開催されたコンテストで優勝したPowerBook540C
Ether ポートがあった部分には外付けFDDの接続用のポートを配置した。さらに、内蔵モデムはPCカードを使うので不要のため、その部分に赤外線ポートと10base-Tトランシーバーのポートを取り付けている。FDDがあった部分には、現在自作しているG3カードを装着する予定だ

た改造のノウハウはすべてトライ&エラーで、自分で解析するというから驚きだ。

たとえば、有志で集まって行なったPOWERBOOK ARMYのスケルトン化計画では、キーボードまではスケルトンにしなかった。けれども中途半端はよくないと、Toyokiさんは個人的に キーボードも自分で工夫し、すべてのパーツをスケルトン化した。

現在、Toyokiさんの540Cは、クロック数220MHz、メモリー64MB、ハードディスク4GB。このスペックなら2400/180に引けを取らない。しかしまだ先がある。レタリングで作成した液晶上部の「PowerBook 540C/G3」というプレートに注目しよう。今度は540CをG3化するつもりなのだ。設計図を描いて可能と判断したのだ。Toyokiさんの540Cは現役マシンとして活躍している。



Toyokiさん
POWERBOOK ARMY

本当に必要だったから
使い心地のいいマシンだったから
究極の540Cを作ろうと思った

最高のPowerBook、最強

ヴィンテージユーザーたちの誇りと情熱

YAS&Tajiさん●POWERBOOK ARMY

カメラマンであるtajiさんは、Duo愛好者。手に入れたDuoを目の前にして、すっかりハマってしまい、「Duo-Zone ～最強のDuoを創る会」というホームページを作成した。YASさんは 「RIKIBON～最高のPowerBookを創る会～」を運営し、PowerBookスケルトン化計画などに深く携わっている。ふたりともヴィンテージPowerBookを現役マシンとして今でも愛用している。



YAS さん
POWERBOOK ARMY

「僕は、写真という仕事の部分ではほとんどがアナログ。デジタル作業はほとんどないんです。もともとMacは欲しかったんですが、はじめは帳簿用ということで購入しました。その当時はインターネットブームでしたしね。一時期、デスクトップの7100も持っていたんですが、Duoを使うようになって処分しました。今では、Webサイトの作成からプライベートも含めて、全ての作業をDuo1台でまかなっています」

仕事場で使用する場合は、DuoDockとドッキング、自宅では単体で利用する。合理的でよく考えられたシステムであり、いまだにDuoを超えるコンセプトマシンはないと思う。なぜこれがなくなってしまったのかは非常に疑問だとtajiさんはいう。

某ソフトウェアメーカーのWebマスターが本業というYASさんは、「桃唄309」という劇団の音楽を担当している。

「作曲や音響などの音作りに何か効率よく使えるものはないかと考えていたときに音楽系の雑誌にPowerBookが紹介されてたんです」

それ以来すっかり、PowerBookの魅力にとりつかれてしまったという。そして「RIKIBON ～最高のPowerBookを創る会～」というホームページを作った。現在では、音響効果はMDなどのデジタル機器を使っているが、今でも作曲などにはシーケンサーとしてPowerBook 540Cを使用し、文字の入力などの作業には、PowerBook 100を利用している。



tajiさんの仕事場
Duoをこよなく愛するtajiさんの仕事部屋にある、モニタ、キーボードは、すべてDUO用。写真手前がDuoDock

職業も異なり、接点もなさそうなYASさんとtajiさんが出会ったのは、POWERBOOK ARMYというホームページ。当初、飯嶋淳氏による個人サイトだったが、現在ではPowerBook関連の情報を公開しているMacのユーザーグループのサイトになっており、Webマスターと情報提供者が作っている。

PowerBookをスケルトン化としてみようという壮大なプロジェクトは、このユーザーグループのオフ会から始まった。YASさん、tajiさんは、このプロジェクトの運営委員会の実行メンバーだ。このスケルトン化計画が開始されたのは、ちょうど2年前。きっかけは、1個のスケルトン時計だったという。「これいいよね？」の一言から始まった。もちろん、オリジナルが欲しいという気持ちも大きかったという。運営委員会のメンバーは、それぞれ役割分担をし、製作を開始した。各パーツごとに取り付けマニュアルなどを作成したり、業者と打ち合わせするなど、いろいろな苦労もあったが、ようやく計画は終了。みごとスケルトンのボディが生まれた。

その後、スケルトンボディに似合うバックが欲しいよねと、tajiさんが主導となって、希望者を募り、ビニール製のバックも作った。限定100個だったバックは、あっという間に完売。このバックを持って街を歩くと声をかけられることも多いという。

とにかく欲しいものを自分たちの力で作るという情熱には圧倒される思いである。

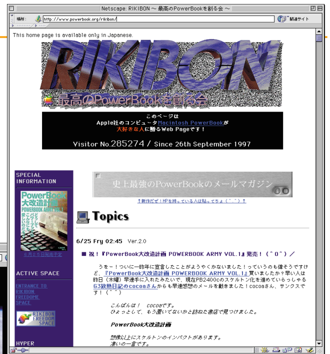


tajiさんの愛機
PowerBook Duo 2300c
グレーのスケルトンパーツを組み込み、おしゃれな感じに仕上がっている。このマシンは、ボディのパーツを取り替えただけで、改造は施していない

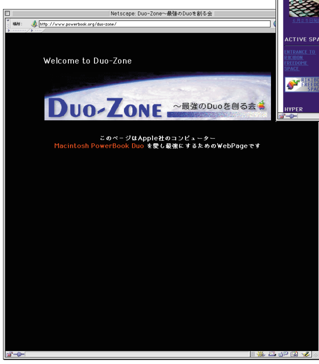


YASさんの愛機
PowerBook 540c
透明のスケルトンパーツを組み込んだもの。目立つこと間違いなし。街で見かけたら声をかけて欲しいとのこと

のDUOは自分たちで作る!



YASさんのホームページ
「RIKIBON ～最高のPowerBookを創る会 ～」http://www.powerbook.org/rikibon/



tajiさんのホームページ
「Duo-Zone ～最強のDuoを創る会」
http://www.powerbook.org/duo-zone/





ボディをスケルトンにしたら、それに似合うバックが欲しくなって作ったという「VINY-BON」（ビニボン）。PowerBook 100、2400、Duoの3機種用サイズを希望者を募り、限定100個で製作した（すでに完売）





背面だけが、ファスナーで開くように設計されているため、バックに入れたまま使用することが可能。写真は、PowerBook 100用

POWERBOOK ARMYのスケルトン化計画の全貌については、「PowerBook大改造計画」（小社刊：好評発売中）の第6章に掲載されている

改造する前に知っておこう
通常使用＆保証期間内なら無料で対面修理
クイックガレージ



店内の壁面には、JQA品質マネジメントシステム審査登録制度の「品質システム登録証」が提示されている。『ISO9002』は、ISO（国際標準規格機構）が定めた、製造および据え付けにおける品質保証の資格。信頼性の高いサービスが提供しているという証明だ

クイックガレージは、アップル・サービス・プロバイダーである日本NCRが運営しているサービス・プロバイダー。全国17箇所で土日も休まず営業している、Macの駆け込み寺ともいうべき存在だ。

クイックガレージでは、トラブルの内容にもよるが、通常使用で壊れたマシンなら、ほとんどの場合、目の前でカバーを外し、Macの内部を確認し、故障の原因や修理の内容を説明しながら直してくれる。もちろん、修理代金以外の特別な料金は一切かからないし、保証期間内の修理代金は一部を除き、ユーザーの負担はない。特にPowerBookのように持ち運びが可能なものだと、その場で修理してくれるクイックガレージを利用するメリットも大きい。

ただし、改造など、個人の過失で壊してしまったものについては保証はきかず、自己負担となる。アップル・サービス・プロバイダーの規定では、ハンダごてを使った修理は認められておらず、Apple社から供給されるパーツ単位で故障個所を交換しなければならない。たとえば、ロジックボードにハンダ付けされている抵抗を1つ壊してしまったら、これだけで、ロジックボード全体を交換しなければならない。機種によって金額は異なるが、これは一般的に10万円以上はかかる、かなり高額な修理になってしまう。

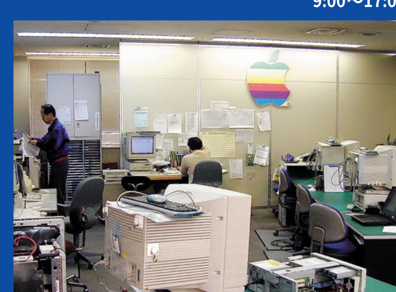
秋葉原クイックガレージの岩澤氏はいう。

「中には、改造に失敗したMacを持ち込まれるお客様もいらっしゃいます。その場合でも、もちろん規定の料金で修理いたします。改造するなとはいいませんが、改造する場合は、修理に要する金額を念頭において行なったほうがよいでしょう」



岩澤 日出男氏
日本NCR株式会社
カスタマー・サービス
マルチベンダー・ビジネス・マネージメント
秋葉原クイックガレージ担当

■日本NCR株式会社
本社/東京都港区赤坂1-2-2
TEL 03 (3582) 6111 (代表)
■クイックガレージ秋葉原
東京都千代田区神田佐久間河岸67
TEL 03 (3865) 2870
受付時間　毎日（土日祝含む）
9:00～17:00



果たしてPowerBookはホントに重いのか？

日米PowerBook考現学

大谷和利



WWDCで、Steve Jobsの基調講演を心待ちにする人々。この会場で新PowerBookG3は発表された

一般に、新PowerBook G3を見ての感想はふたつに大別できる。「スタイリッシュさはそのままに高速化し、薄く軽くなったのでよい」という肯定派。そして「スタイリッシュで高速だが、もっと薄く軽く小さくならなかったのか」という否定派だ。どちらの意見が正しいかは、ユーザーの立場と目的にもよるが、フルスペック機として見た新PowerBook G3が業界でも最軽量＆最薄クラスに属し、かつ最高速を誇っていることは揺るぎのない事実である。ここでは、コンシューマーポータブルとの予想比較も含めて、新PowerBook G3の持つパッケージングの意義を考えてみよう。

Mac Portableの思い出

そもそもApple社は、同社初のポータブル機でPowerBookの遠い親戚にあたるMacintosh Portable（1989年発売）から、「ポータブル機でもフルスペックであること」を意識してきたメーカーだ。その時点から10時間以上の連続駆動を目指した結果、当時の技術では豆腐サイズ大のバッテリーを使用することになり、本体も大きく重いものとなってしまった。これは携帯型というよりも「可搬型」のマシンであった。

Apple社は、夕日の差し込むキッチンのテーブルで、このPortableを使う若者を逆光で捉えた写真を米国の雑誌広告に採用した。若者は椅子にもたれて伸びをしながらPortableの画面を見つめ、その傍らには犬が寝そべっている。ちょっとけだるい感じも漂うアメリカの遅い午後が、そこに映し出されていた。

一方で、米国内向けのテレビCMでは、Portableを軽々と持って街角を歩くキャリアウーマンが登場したが、いくら何でもこれは眉唾ものに感じられた。

僕もさすがにPortableのサイズと重さには辟易したものの、キッチンで使うというその作業スタイルに感心した覚えがある。描かれているのは「キッチンで使う」シーンだが、これは取りも直さず「キッチンでも使える→家の中のどの部屋にでも持っていって使える」ということを意味している。マシンのある場所に出向くのではなく、気分や作業の内容に合わせて、自分の好きな場所にマシンを持ち運んで使える点。そして、それがフルスペックのMacであって機能的に何も妥協しないという点は、とても魅力的だった。

実際のところ、Mac Portableは商業的には失敗したものの、NASAのスペースシャトルの宇宙実験で重要な役目を果たしたり、熱帯雨林の調査などに活躍した。前者が無重力状態でマシンの重さは関係なかったこと（笑）をさておいても、これらはフルスペックの可搬型モデルだからこそ可能な実績だったのだ。

日米の文化的・体格的差異を考える

Portableの発売からしばらくして、僕は米国内でMacintosh SEを裸のまま旅客機内に持ち込み、頭上のラゲッジ・コンパートメントに押し込むアメリカ人を見た。また西海岸から日本に戻るときには、サンフランシスコ空港から新宿のリムジンバス発着所までPortableを持って移動するアメリカ人女性を見かけた。

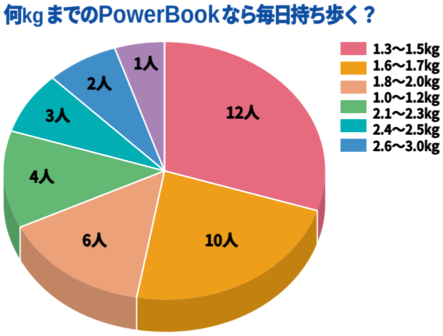
よく、アメリカでは主な移動手段が自動車なので大きくて重いマシンでも構わないのだという意見もあるが、僕はこの2人を見て、そうではなく、移動手段が何であれ必要なものは持っていくのだと理解した。つまり、妥協することがないのである。重さとサイズは我慢できるが、ない機能は逆立ちしても後から追加されることはない。また、コスト意識がとてもはっきりしているので、小さくするために機能を削ったものに対してわざわざ高い値段を払うことに抵抗があるようだ。

その証拠に、アメリカでは相変わらずVHSのフルカセットビデオカメラの新製品が発売されているし、ウォークマンと並んで大型のラジカセが売れ、ビーチなどでそれを肩に担いで歩く若者の姿が目立つ。目的、コスト、そして見栄の部分まで含めて、サイズの大きな製品にそれなりの存在理由を見いだしているからだ。

それはアメリカにおけるPalm Pilotの普及とWindows CE機の伸び悩みにも象徴されている。前者は機能的には割り切っているが、その範囲内で納得できるパッケージングとプライスを実現した。しかし後者は、中途半端な機能を中途半端にパッケージングしたものにしか見えず、顧客は通常のノートPCのほうに流れてしまうのだ。

●アメリカ人38人に聞きました！

何kgまでのPowerBookなら毎日持ち歩く？



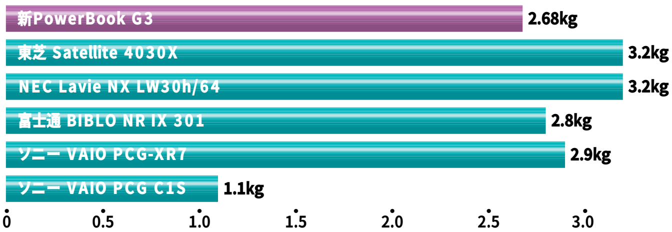
●アメリカ人38人に聞きました！

新PowerBook G3は重いと思う？

重すぎ	7人
丁度いい	22人
軽い	4人
その他	5人

米国でMac関係のホームページを開設している方に電子メールで協力を仰いだ結果、38人から解答を得られた。やはり体格のいいアメリカ人には、新PowerBook G3のようなフルスペックのノートでも、それほど苦にはならないようだ。ただし、毎日持ち歩くのなら機能が少なくても軽く、薄いマシンを望んでいる。新PowerBook G3には満足してはいるし、重さもそれほど苦ではないが、軽ければ軽いほどいいというのは万国共通の認識のようだ

●Windowsノートブックとの重さ比較



実は新PowerBook G3は、フルスペックのノートブック、すなわちこれ1台でデスクトップの代わりになるマシンとしては、最軽量に属する。各ノートブックの重量だけを見ると、ほかにもっと軽いものがあるように誤解しがちだが、実はそれらのマシンは、CD-ROMドライブが外付けだったり、拡張性が制限されていたりする。ようするに、何もかもを1台でこなせるポータブルマシンが欲しいなら、新PowerBook G3は「買い」ということだ。


PowerBook 2400c
言わずとしれた現在（7/5）Macで最軽量1.8kgのPowerBook。主にアジア圏でよく売れた


VAIO PCG XR7
フラットなディスプレイで、デザイン性、視認性に配慮している。フルスペックマシンで約2.8kgの重量


VAIO PCG C1S
持ち歩くならこのぐらいの重さがいい？ 1.1kgの超軽量マシン
http://vaio.sony.co.jp/

SONYのVAIOシリーズには1kgの軽量ノートブックから、新PowerBook G3と重量的には変わらない「PCG XR7」などがある。やっぱりMacユーザーは、Macで最軽量の2400よりももっと軽い、超軽量マシンが欲しい？

アメリカではすでに宅配便の情報処理などは高度にモバイル化されており、確かにコンピューターを複数所有する先端的なユーザーはソニーのVAIOノートなどにも興味を示している（WWDCなどのプログラマーの集まりでは、PowerBook 2400cもそれなりに見かける）。しかし、一般のビジネス&プロフェッショナルユーザーにとっては、機能的にデスクトップの代わりになり、しかもいざというときには出張などに持って出られるという性格のマシンが求められているのである。

PowerBook G3は異端児か？

ところが、コンピュータ総合ネットマガジンZDNet Wireによれば、日本でもノートPCの販売台数の7〜8割はA4サイズ以上でCD-ROM付きのフルスペックモデルなのだそうだ。つまり業務用途では、オールインワンタイプがサブノートを差しおいて、今も絶対的な人気を誇っているわけである。

ところが、世間的には薄型のサブノートばかりが売れているように思われている。ZDNetの記事の分析は、1）コンピュータ雑誌やトレンディマガジンの編集者やライターのニーズが誌面に反映されて世論を形成することと、2）A4機よりもサブノートのほうが個性的なので目立つからというものだった。

そうして見ると、プロフェッショナル市場に向けた新PowerBook G3の在り方は、あながち間違いではないことに気が付く。つまり、業務用途に求められる高性能さと使い勝手を犠牲にせず、しかもスタイリッシュな外観によって他のフルスペック機にはない個性を演出しているのだ。

期待が集まるコンシューマーポータブルについても、日本人が考えるほど小さくも軽くもないと思われるが、これも一般消費者が求める仕様上の優先ポイントを考慮する必要があろう。それは、ビギナーでもストレスを感じない処理能力の高さと使い勝手のよさ、そして購入しやすい価格である。

初心者にとって総合的な使い勝手の良さは、iMacと同じくCD-ROMドライブなどを内蔵できるオールインワンタイプのボディから生まれる。また、一定以上の小型化、薄型化はコストの上昇を招く（VAIOに代表されるA4サブノート、いわゆる銀パソの価格は軒並み20万円以上だが、その価格帯はコンシューマーポータブルには高すぎる）。そして高速なCPUの排熱を効果的に行なうためにも、ある程度のボディサイズがあったほうが有利なのだ。しかし、Apple社はそのサイズを最大限に活かした設計を採り、light weightではなくともright sizeなマシンを実現してくれるはずだ。

同じ意味から見逃してはいけないのは、新PowerBook G3がフルスペックのマシンとしては最軽量&最薄クラスに属していることだ。たとえば、重量をCompaqやIBM、東芝の主力機種と比較すると、平均して16%くらい軽い。日本のパソコン誌には、この点をないがしろにして「99年に発表するノートPCとしては重く大きい」という論調しか展開できないところもあるようだが、これは木を見て森を見ない、狭い視点からの意見に過ぎない。だからといって、Apple社が今後とも日本のモバイルユーザーを意識したモデルを出さなくても構わないということではないが、少なくとも新PowerBook G3は、同モデルのターゲットユーザーにとっては理想に近い仕様を持つマシンなのである。



イラスト／益田賢治

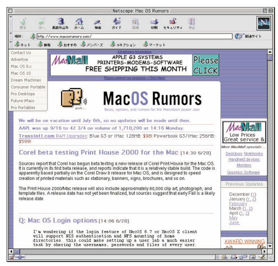


PowerBook 噂編

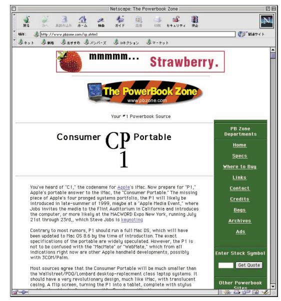
これ本当？という、気になる「P1」の噂を分析

虚々実々・P1に関する噂の真相

コンシューマーポータブルの登場を待ちこがれているユーザーの期待は膨らむばかり。最近では、やや加熱気味と思われるほど、さまざまな噂が山のように飛び交っている!! これまで流れたP1についての噂を検証してみよう。



MacOS Rumors
http://www.macosrumors.com/
Macに関する噂を発信するページ



PowerBook Zone
http://www.pbzone.com/
PowerBookの専門ページ



O'Grady's PowerPage
http://ogrady.com/
PowerBook界の大御所O'Grady氏のページ

P1ってどんなもの？

P1とは、発売間近と噂されている、Apple社の新ラインナップであるコンシューマーポータブルのコードネームだ。一般消費者向けのノートブック型のMacで、ノート型のiMacといってもいい。しかし、詳しいことはわかっておらず、すべてが噂の域を出ない製品なのである。実際、P1がコンシューマーポータブルであるという発言は、Apple社からは一度もない。**P1というコードネームすら噂**の一部なのだ。

昨年7月のMACWORLD Expo/NYで、今年の始めには市場に投入するといった公式発言があったため、発売時期に関する噂は後をたたない。しかし、コンシューマーポータブルについてのApple社の口は堅く、「Apple社では、製品が出荷できる段階になるまでは何も語らない」というルールが社員の間に徹底されている。

何かしらのイベントにスティーブ・ジョブズ氏が出席するというだけで、根拠もなく「P1の発表」という噂が流れるのだから、周囲の期待がいかに大きいかが伺える。

その後、P1のほかに、Proto99、101、Lombardなど、複数のポータブルの噂が流れ（結局、101、Lombardは、6月に発売された新PowerBook G3のことだった）、さらにはハンドヘルドデバイスという噂まで流れた。P1のスペックもG3/300MHz、G4/500MHzと、日ごとに変わる。アメリカのある有名Webページに寄せられたアジアからの匿名情報（スクリーンショット付き）によれば、Sonata（開発中のMac OSのコードネーム）の中にProto99の名前があったということで、このProto99がP1ではないかという怪情報もあった。

噂は名前にまで及び、当初、**P1の正式名称はiBookだ**という噂が流れたが、その翌日、その名前は他社が申請していることが判明。現在の有力候補は、**Macmate**、**Webmate**。「案外、iMac Book、iMac Noteなんて名前なんじゃないの？」という噂も。またApple社は、**imac.com**、**myapple.com**など、さまざまなドメイン名を取得しており、これらはいずれもアップルのホームページへ転送される。こういったドメイン名がP1の製品名ではないかという話もからんで、名前の噂は広がるばかり。

このような噂は、ほとんどがアメリカ発のものだが、なかには日本からのものもある。これは某人気Webページに掲載された話だが、ある有名アーティストがノート型iMacのCM撮影に参加したというもっともらしいものだった。

最近では、実際にP1を見たという人が現れたり、台湾のある工場では、7月の出荷に向けて生産が進んでいるといった話が、まことしやかに報道され、さらには、ウォール街をも巻き込み、噂は株価にまで影響しAppleの株価が上昇しているのだ。

こういった周囲の状況から判断しても、**コンシューマーポータブルの発表は、7月のMACWORLD Expo/NYで行なわれる**という噂が最有力なのだが……。



噂の真相！ P1はこうなるはずだ！

P1の外観は、**赤&白、青&白の2種類のスケルトン。もちろんアップルマークは白。スペックはMac OS 8.6搭載、11インチ液晶モニター、PowerPC G3/350MHz/512KB、USBポート、10/100BASE-T、内蔵モデム、赤外線ポート、さらには、取手がつく。また、教育機関向けに机の高さから落としても壊れないような構造**になっているというのがMACLIFE編集部の予想だ。

しかし、数々の噂やAppleの公式発言を検証すると、実はそこにはP1ではない未知のポータブルの姿が見え隠れしている。これから年末にかけて発表されるポータブル関係の製品は、P1だけでなく、PDA（Newtonではない）、薄型エクゼクティブPowerBook G4があるのではないだろうか？

真実は、本号の発売された数日後にNY Expoで明らかになるはずだ。**間違っていたら、すべては噂と笑い飛ばしていただこう!!**

特集2

「この夏、Macのインターネットは激辛(spicy)になる」

～Macビギナーのための"激辛"インターネット入門～

便利なインターネットも、さすがに毎日Webサーフィンとメールばかりでは飽きてしまうはず。このままではあなたのMacライフまで夏バテしてしまう……。そこで、本特集ではMacビギナーの読者を対象に、いつものインターネットをほんのちょっとだけ"激辛"にするソフトたちを紹介しよう。インターネットをSPICYにしてくれるこれらのソフトさえ使えば、蒸し暑い夏の夜も楽しくなること間違いなしだ！

激辛ソフトで、インターネットをもっと美味しく！

■ヤマサキセイヤ■

今年の2月、ドイツ生まれのWebブラウザーソフト『iCab』が静かに発表され、
一部のMacユーザーの間で話題になった。
その後じわりじわりと全世界で人気急上昇中。
Webブラウザーといえば、Netscape Navigator／Communicatorと
Internet Explorerの2大ブラウザーが有名だし、機能も充実している。
では、なぜ『iCab』は話題になったのだろうか？
そして、あなたはこのiCabを使わなくてもいいのだろうか？

Webを見て、メールをチェックするだけ そんな生活に飽きていません？

インターネットの楽しみかたは、人それぞれだが、Webを見たり、電子メールのやりとりだけしかやっていない読者がほとんどではないだろうか？　もし、そうだったら、それは非常にもったいない話だ。

インターネットは世界規模のデータベースとしてたとえられるが、同時に超弩級のスウルトラ・デラックスなコミュニケーションツールでもあるのだ。

たとえば、“ページャー*1”。ホームページ上でCGI*2を使ったWeb掲示板は多いが、サーバーが重くて会話にならないときがある。そういうときには、定番ページャーソフトの『ICQ（P.86～87）』だ。Mac用のICQはWin版に比べて、簡単に日本語化も行なえ、さくさくと会話が楽しめる。仲良くなった仲間を登録すれば、そのひとがアクセスしているかどうかまでわかってしまう優れものだ。

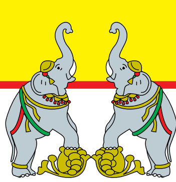
『Yahoo! ページャー』が有名だが、残念ながらMac版はない。Java版を開発中なので、そろそろ使える日がやってくるかもしれない。Javaを利用したページャーは、これから数多くのフリーウェアがリリースされるという。不特定多数にメッセージの放送／受信を行なう非常に面白いツールもあるようなので、今後の展開には要注目だ。

いつものメールだって、少しソフトを変えるだけでまったく別のモノに変身

それから、“メール”。普通の電子メールソフト以外では『PostPet（P.80～81）』が大人気だが、ペットをやりとりする相手がいないと非常に寂しい。相手が見つからないから、自分で自分にメールしちゃったりして、さらに寂しさが募ることもある（いや、ペットが可愛いからいいんだけど……）。

それなら相手の有無が関係しないメールソフトというのはどうだろう？　リクルート社の『Bottle Mail（P.90～91）』が、それだ。長らく待たされていたMac版がようやく登場したのである。このメールソフトはメッセージをボトルに詰めて、インターネットの大海原に流すというもの。当然、メールは誰の手元にいくかわからない。逆に、まったく知らない人からのメールが、ボトルに入って、海岸（Bottle Mailの画面）に漂着する。まさに映画『メッセージ・イン・ア・ボトル』なのだ。嫌がらせのメールを心配する人もいるだろうが、着信拒否の機能もあるので、安心していいだろう。

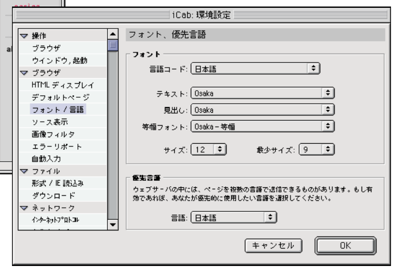
そうそう、インタラクティブメディアとしてのインターネットも忘れではいけない。ストリーミングの雄『RealPlayer G2（P.84～85）』のMac版も登場した。でも、Macユーザーなら、ストリーミングやFlashに対応した『QuickTime 4（P.84～85）』も使いこなそう。先日のWWDCの中継では、RealVideoよりも映像が見やすかったということで、高い評価を得ている。いまなら、米国Apple社のQuickTime 4サイトで話題の映画『スター・ウォーズ・エピソード1』の予告編の映像だって楽しめる。



*1 ページャー：英語ではもともとはポケベル（Pager）のことを指す。少量のテキストメッセージを特定の人物に一発に信できるということで、ページャソフトなるジャンルが生まれたと推測される。　*2 CGI：Common Gateway Interfaceの略。要は、Webページの裏方として動くユーザー製のプログラムのことで、とくにPerl言語によって作成されたものが多い。



iCab Preview 1.6日本語版の操作画面。インターフェイス的には他のブラウザーソフトとそれほど変わらないので、移行してもほとんど違和感はない。日本語ページも、JIS/SJIS/EUCの自動エンコードがまだできないため、デフォルトをJISに設定しておくことがコツ



iCabの設定画面。設定項目は他のブラウザーに劣らず多いが、日本語化されているので親切



筆者推薦のキオスクモード。パスワードで、ユーザーがiCab以外の画面にアクセスできなくする

今年の夏だけは インターネットをもう少し SPICYに楽しもう！

インターネットの最前線においては、Windowsに若干出遅れているMacではあったが、ここにきて面白いツールがどんどん出てきた。それも、ほとんどがわずかなコストで遊べるものばかりなのだ。

本特集では、、インターネットの最新トレンドを「辛さ」の順に紹介している。これを機会に、SPICYなインターネットにどんどんチャレンジしよう。

まず、ウォームアップとして 自分のブラウザーソフトを 「iCab」に交換だ！

さて、本格的にSPICYなインターネットライフに入る前に、やはり軽くウォームアップだけは必要だろう。あまりにSPICY過ぎて、自分の体を壊してはいけない。

というわけで、まずやらなくてはいけないのが自分が現在使っているブラウザーソフトの交換*3だ。いやいや、Netscape CommunicatorやMicrosoft Internet Explorerではない。「iCab」に交換するのだ！

iCabはドイツのiCab社が開発中のMac専用ブラウザーソフト。わずか2年前から開発がスタートしたブラウザーなので、前出のNetscapeやInternet Explorerより大きく遅れて出てきたことになる。

しかし、この後発のiCabが話題を呼んでいる理由は、その「小ささ」だ。Netscapeにしても、機能が充実していくにつれて、ファイル容量がすごく大きくなるという問題を抱えている。自分のブラウザーがバージョンアップするたびに10MB以上のファイルをダウンロードするのは、ホームユーザーにとっては非常にしんどい作業だ。

また、ファイル容量の増大にともなって、使用するメモリーの量も増えた。メモリーを増設せずに使っている人なら、インターネットにつなぐたびにメモリー不足と警告されて、泣きそうになる。ましてや、32MBしか搭載していないiMacユーザーの場合、ホームページを作ろうとしても、ブラウザーとホームページ作成ソフトを同時に起動することができないこともある。iCabは、このような問題を一気に解決してくれたわけだ。

ダウンロードするにしても、1MB程度ですむから、33.6kbsモデムで接続しているなら2分くらいでダウンロードできる。メモリーの使用量も3MB程度で、10MBを平気で超える前出の2大ブラウザーに比べてすごく少ない。だから、メモリー不足に苦しむことも大幅に減るのだ。

日本語処理もまずまずの出来 キオクスモード搭載で 子供のパソコン教室にも最適

iCabは動作スピードが機敏であるという点でも、かなりの評判になっている。

体感的には、ページの読み込み速度はNetscapeと同じくらいだが、これは初めて訪問したホームページの場合。iCabの本領は、優れたキャッシュ機能にあり、前にアクセスしたことのあるホームページにもう一度アクセスすると、びゅんびゅんとアクセスできる（ちょっとアクセス音が恐いが）。

また、iCabには「フィルタ」という機能があり、特定のサイズ以上の画像や特定のURLの画像を表示させないという機能も用意されている。そして、「キオスク」モードといって、画面一杯をiCabのブラウザー画面にして、完全にユーザーをMac OSからロックアウトすることもできるのだ*4。これは実際に使ってみないと実感できないが、「なぜ今まで2大ブラウザーにこの機能はなかったの？」と驚くくらいに斬新なアイデアだ。以上の2機能のコンビネーションにより、今後このiCabが学校やインターネットカフェで重用されることは確実だ。

iCabはすでに日本語版がリリースされているが、日本語エンコーディングに関してもまずまずのできだ。ただし、まだまだ開発中ということもあり、JavaScriptやFlashプラグインには対応していないのが難点ではある。この点もすぐに改善されることになっている。

“ネットサーフィン通はiCabを使う”といわれる時代がもうすぐ到来するだろう。

iCab日本語版 CD-ROM

オリジナル開発元●独iCab社
入手先ＵＲＬ●http://www.icab.de/
価格●現在はPreview版のためフリー
バージョン●Preview 1.6日本語版
日本語化作業●日本人ユーザー有志
日本語版に関する情報ホームページ●http://www3.ali.co.jp/~d62/icab_j/

*3 ブラウザーの交換：交換といっても、従来のブラウザーソフトをゴミ箱に捨てる必要はない。用途に応じて複数のブラウザーソフトを使い分けるほうが、どちらかというとスマートだ。 *4 iCabのキオスクモード：このモードでは、iCabを終了するどころか、アプリケーションの切り替えすらできない。つまり、強制的にずっとブラウザーを使わせるための機能なのだ。開発側はインターネットカフェや小学校でのニーズを考えたのだろう。

PostPet 2001で かわいいモモちゃんにメー

入門編

「電子メールは楽しいけど、今使っているメールソフトはなんか機械的で好きになれない」
そんなことを思っている人には、「PostPet 2001」がお薦めだ。
PostPetもメールソフトだが、かわいいペットが相手先にメールを運んでくれるので、
ますますメール生活が楽しくなるはずだ。

自分だけのペットが大事なメールをしっかり(?)運んでいってくれる！

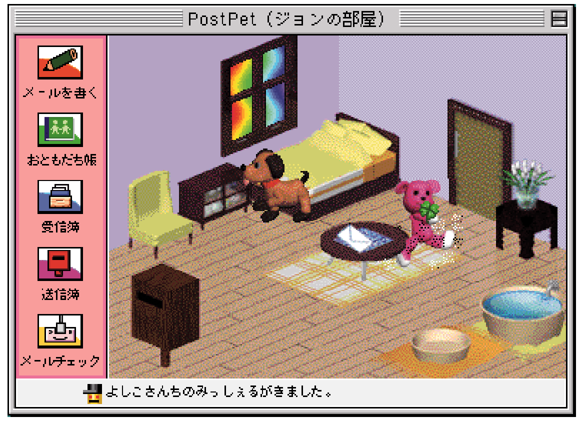
電子メールを運ぶピンクのテディベア“モモ”。いまやメール未体験の人にも知られている人気キャラクターである。そして、そのモモが住んでいるのが、インターネットプロバイダーのSo-net*1が販売中のペット・メールソフト「PostPet 2001」なのだ。

PostPetはれっきとしたメールソフトなので、その目的はやはりメールの作成／送信／受信である。つまり、Microsoft Outlook ExpressやEudora Pro*2などと同じ役割りのソフトなのだ。しかし、他のメールソフトと大きく違うのはメール送信の機能。送る相手がPostPetユーザーなら、「ペットにわたす」ボタンをクリック。なんと、画面上を歩き回っているペットキャラが、そのまま相手のポストペットの部屋まで行き、メールを渡してくれるのだ。

PostPetで用意されるペットはテディベア、ミニウサギ、オオガメ、ネコ、ひみつメカ、ビッグマウスハムスター、ひみつメカ、フクロペンギン、イヌの8種類。まず、基本的な設定を済ませ、ここから好きな1匹を選んでペットの名前と自分の名前（ペットに呼ばれたい名前にすると楽しい）、自分の誕生日を入力すれば、いよいよペットとの生活がスタート。ここで決めた名前は新しいペットをまた飼うときまで変更不可。不自由なようだが、自分だけのペットとして愛着がわく大きなポイントになる。

相手がメールを確認しないと、メールを持ったままのペットは仕事が終わらずなかなかユーザーのもとに帰ってこれないのだ。可愛いではないか！

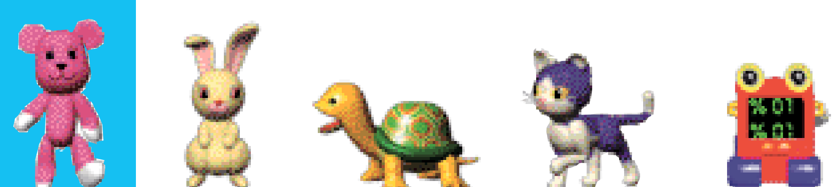
なお、相手がPostPet以外のメールソフトを使っている場合は、ペットではなく“ポストマン”キャラを選んで送信することになる。他社製のメールソフトではペットが単なる添付ファイルとして受信されてしまい、ペットが正常に返信されないからだ。



PostPet 2001のメイン画面。他のPostPetユーザーからペットがメールを届けにきてくれたところ。来客ペットにご褒美のおやつをあげるもよし、お風呂に入れてあげるもよし…

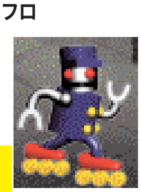
PostPet 2001で用意されるペットキャラたち

ペットはこの8種類。デフォルトの名前もユニークだが、愛着の持てる名前を付けてやろう。種類によってかしこさパラメータのの上昇ぐあい、拾ってくる宝物、ひみつ日記の内容にクセがある。一度設定したら、長いつきあいになる。ちょっとずつ試してみるわけにはいかないので、じっくり考えて選びたい。





テディベア モモ ／ ミニウサギ ミッピ ／ オオガメ スミコ ／ ネコ フロ ／ ひみつメカ シンゴ ／ ビッグマウスハムスター じんぱち ／ フクロペンギン ウシエ ／ イヌ ジョン



郵便配達ロボット ポストマン

相手がPostPet以外のメールソフトのユーザーならペットの代わりにこのポストマンにメールをお願いすることになる

CD音楽で喜んだり、ユーザーに内緒で日記を書くペットたち

メールの送受信以外にも、ペットと遊べる

*1 So-net：ソニー系列のソニーコミュニケーションネットワークが運営するインターネットプロバイダー。入会用プログラムはCD-ROM MACLIFEに収録済み。 *2 Eudora Pro：Qualcomm社が販売する、Microsoft Outlook Express 4.5と並んでMacユーザーの間ではもっとも人気のあるメールソフトのひとつ。

CD-ROM

■さいとうよしこ■

ルを運ばせる

機能が満載。おやつをあげる、身体を洗う、なでる（叩くこともできる）、おもちゃを与える、部屋の模様替えをする、などなど。

ただ、“たまごっち*3”のような手厚い世話は必要ない。おやつをあまりあげなければ、メールを届けた先でガツガツ食べるし、汚れたままだとワイルドな性格になって、よくウンチをするようになったりするだけだ。

おもちゃのバナナの皮はポイと蹴られてしまう場合と、コントのように転んでくれるノリのいい場合があるし、レコードプレーヤーを与えたときにCD演奏すると大喜びするペットもいる。

そして、配達から戻るたびに受信簿に届いているのが、ペットが書いた「ひみつ日記」。配達先でのもてなしや感想をぽつりぽつりとつづったものでなかなか味わい深く、この日記のとりこになるユーザーも多い。また、宝物を拾ってくることもある。この宝物はペットの持ち物なので飼い主が使ったりはできないが、ほとんどが「何でこんなものを」、という微笑ましいものばかり。

さあ、早く「PostPet 2001」を購入して、ペットたちと大いに遊ぼう！

PostPet 2001

正式名称●PostPet ver.2.0jp
開発元●ソニーコミュニケーションネットワーク
http://www.so-net.ne.jp/postpet/
価格●3,980円（ハイブリッドCD-ROM2枚付き）
Mac版の動作環境●68040／33MHz以上のCPU、空きメモリ8MB、空きHD領域30MB、Mac OS 7.6以上、ディスプレイ解像度640×480以上、インターネット接続可能な環境とメールアカウント1個

PostPetを購入したら、まず最初はポストペットパークに参加だ！

PostPetを購入したら、まずのぞいてみたいのがSo-netのWebサイトにある「ポストペットパーク（http://www.so-net.ne.jp/postpet/）」だ。

月額300円の有料会員制だが(So-net接続会員は無料)、季節ごとのイベントや交流ページもあり、ペット用のおやつを各種ダウンロードできる。ポストペットとじっくりつきあいたいなら、入会してみるのもいいだろう。

というわけで、ベテランユーザーである私が独断で選んだ、「ポストペットパーク」ベストイベントはコレ。

第1位●年忘れカラオケ大会

ペットの選曲、歌唱力など謎のパラメータが!?飼い主の趣味とまったく違う選曲だったりして、一部で物議をかもした、なんて話もあるとかないとか。

第2位●スタンプラリー

ポストペットパーク内外にちりばめられたスタンプを集めるのだが、これがなかなか容易ではない。お部屋や宝物がゲットできるので要チェック。Shockwaveが必要。秋頃にもう一度同じイベントが開催される予定だとか。

第3位●コンパでGO

ペット同士の出逢いが飼い主同士の出逢いにつながる画期的なイベント。ウチのペットは一応カップルになったんだが……今後も定期的に行なわれるとのこと。

第4位●お花見

今年のお花見は実際の桜の名所を訪ねるものだったので、場所によって日程も違っていた。So-netの人から大入り袋をもらったので、おこづかいも増えた。

第5位●プラグ院参拝

毎年、お正月に行なわれている。ウチのペットは勝手に鐘をついて和尚に怒られたらしいが、おみくじは「吉」でホッ。

（中町こまち）



ポストペットパークでは、自分のペットを参加させられるイベントも多数開催されている。このようなイベントの掲示には必ず目を通すようにしよう

*3 たまごっち：97年前半に大ブームとなったバンダイ製の携帯型電子玩具。自分のペットを育てるというコンセプトが当時の女子高生に受け、社会現象となった。その後一時的にコンピュータソフトの世界も“育成モノ”がトレンドとなった。

Murmurで クラス同窓会をネット

入門編

■荻窪 圭■

「今年のクラス同窓会、どうしようかな」と悩んでいる幹事さん！時代はインターネットである。
どうせなら、同窓会をインターネット上でやるというのはどうだろうか？
そのためには、プライベートでチャットができて、
なおかつ女性にも優しいインターフェイスは必須条件。
そのようなときに活躍してくれるのが、「Murmur（マー・マー）」である。



Murmurでは、このようにしてユーザーが好きなアイコンを使ったビジュアルチャットが可能である。この例では、メンバー全員の顔をデジカメで撮影しアイコン化したあるユーザーの同窓会ホームページ。Java対応のブラウザーさえあれば誰でも参加できるので、遠隔地の友人も気軽に参加できる

他人とのコミュニケーション それがインターネットの 最大の面白さである

ビジネスであれ、旧友との雑談であれ、他人とコミュニケーションすることはインターネットの面白さのひとつだ。いや、最大の面白さといっていい。それはきっと手紙、電話に次ぐ新しいメディアなのだ。

1対1で送り合う電子メール、公開された場で複数の人間がディスカッションをするWeb掲示板*1、リアルタイムで短い会話を行なうチャット*2。この3種類が主たるインターネットでのコミュニケーション手段だ。それぞれを、手紙、掲示板、井戸端会議というイメージで捉えるとわかりやすい。

Murmur（マーマー）とは、サンズ（http://www.sons.co.jp/）という日本の会社が開発したコミュニケーションソフトで、前述のチャットシステムのひとつだ。

Murmurが提供する カラフル＆グラフィカルな チャット世界

他のチャットシステムにしろMurmurにしろ、基本的なイメージは一緒だ。

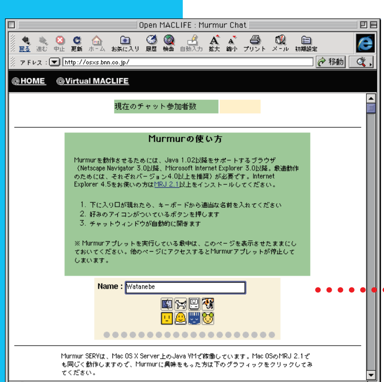
いつでも開かれていて誰でも入れる立食パーティのようなもの。“クラブハウス”みたいなものと思ってもいい。なかには外から内容を覗いて、それから入るかどうか判断できるチャットもあるが、Murmurの場合は常に最初に入り口で自分のハンドル名を登録する。ハンドル名は実名でなくてもいい*3。複数の人間が文字を使って会話するものだから、呼び名がないと困るというわけだ。

ログイン画面でハンドル名を入れ、適当なフェースアイコンをクリックすると、入室できる（Murmurのウィンドウが開く）。入室してみないと誰がいるか、何人いるかがわからない。でも入れば一目瞭然だ。

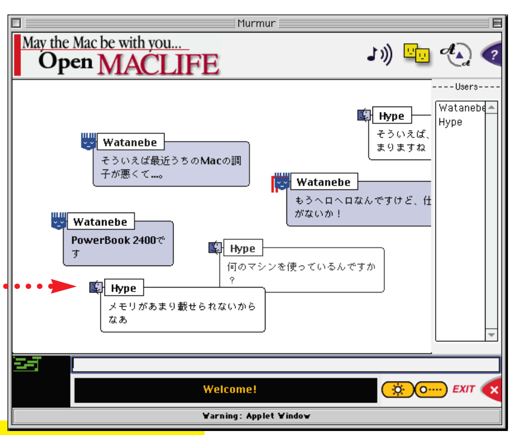
パーティなりサロンなり会議室なりクラブなり、まあ何でもいいけれども、広い部屋がひとつあって、それを真上から見ていると思ってほしい。自由に歩き回れる部屋である。

部屋の中にはいろいろな人がいて、会話を楽しんでいる。誰かが部屋に入ってきたら他の人にはそれがわかる（音が鳴る）ので、黙ってないで挨拶するのがよい。

部屋に入ったら、好きな場所でマウスをクリックするとマーカーがそこに移動する。そこでウィンドウの下にあるフィールドに文章を書き込み、returnキーを押すとポインターがある位置にその文章が書き込まれるのだ。



Murmurを実体験したい読者は、MACLIFEが運営する「Open MACLIFE（http://osxs.bnn.co.jp/）」のMurmurコーナーにアクセスしてみよう。まず、ハンドル名を入力して、それから好みの顔アイコンをクリックして…



…すると、このようなJavaアプレット画面が開くはずだ。これがMurmurのチャット画面なのである。あとは、適当な場所にポイントを移動させて、自分の発言をキーボード入力しreturnキーを押すだけだ。あとはひたすら他人との会話を楽しむだけ！

*1 Web掲示板：最近インターネット上でよく見かける、Web上に設置された簡易の伝言システム。たいていのものPerl言語で書かれたCGIで、すでに完成されたものがフリーウェアとして流通している。 *2 チャット：伝言システムを発展させたもので、リアルタイムで複数の人間がネットワーク上で会話できるシステム。このチャットMurmurはこのチャットを実現するシステムのひとつである。*3 ハンドル名：チャットシステム上などで自分を表わすための呼び名。実名とはまったく関係ないものがよい。

上で開く

　すると、自動的に他の参加者のMurmur画面にもまったく同じ文が出現するのである。
　Murmurの一番のポイントはそこだ。好きな場所にメッセージを書き込むことができるのである。だから、参加者が多いと、おのおのが部屋の好きな場所で会話を楽しんでいるということになる。
　十分楽しんで、もう辞めようと思ったら、「EXIT」の横にある赤い部分をクリックするとよい。そうすれば部屋の外へ出ることができる。その前に、勝手に消えるのはマナー違反だ。一応「さようなら」なり「お先に失礼します」なり「おやすみなさい」といった挨拶を書き込んでからにすべきであろう。

Murmur Babyなら自分のホームページ上でサーバーを立てることも可能

　システム的には、Murmurの特徴はメッセージ表示部分がJavaで書かれていることにある。Javaが動作するブラウザーなら、プラグインも専用のソフトも使うことなく、すぐに利用できるのだ。Javaのアプレットをダウンロードして実行するという動作が必要なため、最初は30秒ほど待たされるが、はじまってしまえば実に順調である。MacOS 8.5以降ではMRJ*4というJava VM（Javaの実効環境*5）が標準で付属するため、とくにユーザーが何かを準備する必要はない。
　Javaでできているため、機種を問わないのも便利だ。WindowsだろうがMacだろうがUNIXだろうが、Javaの実行環境があればどのマシンでも動作するのである。ブラウザーの操作さえできればアクセスできるので、女性ユーザーにも優しい。
　とくに、各地に仲間が点在して実現が難しいクラス同窓会を行なうにはうってつけのシステムである。
　なお、Murmurサーバーを自分で運営したい場合には、自分のシステムやターゲットとするメンバー数に応じたバージョンを購入前に選ぶ必要がある。しかし、個人ユースのレベルであれば、やはり「Murmur Baby」がお薦めだろう。これはCGI設置OKなプロバイダーならサーバーを立てることができる“軽量”バージョンなので、最低限のCGI設定知識さえあれば自分のホームページをチャットルームにしてしまうことだってできてしまうのだ。
　Murmurはまさに日本人にぴったりのチャットシステムである。ぜひ体験してほしい。

Murmur

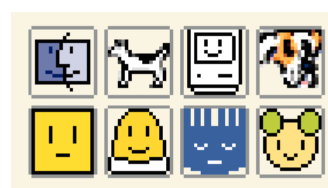
開発元●有限会社サンズ
入手先URL●http://www.sons.co.jp/（デモサイトもあり）
サーバー版の価格●Murmur Serv（無期限接続ライセンス版168,000円、標準版19,800円）、Murmur Baby（1,980円）
Murmur Serv動作環境●インターネットに常時接続されたJava 1.1が動作するOS（Mac OS X Serverも含む）、Pentium 133MHz相当以上のCPU、HDD容量10MB以上
Murmur Baby動作環境●Perl 4.1以上が動作するCGI動作可能なインターネットWebサーバー

Murmur Babyで顔アイコン変更にチャレンジしよう！

　Murmurの楽しさは、そのグラフィカルなチャット環境ばかりでなく、そのカスタマイズ性にもあるのだ。
　たとえば、Murmur Babyの管理者がログイン時の顔アイコンのデータを自分作成のものに変更する場合、

STEP 1●グラフィックソフトで自分で好みの顔アイコンを作成する
STEP 2●FTPソフトでその顔アイコンファイル（JPEGもしくはGIF）をサーバーの指定ディレクトリーにアップロード。
STEP 3●サーバーにある初期設定ファイル「prop.txt」に上記ファイルのパスを登録する。
STEP 4●顔アイコンのサイズに応じて、メインページのAPPLETタグ数値を調整。

　以上で、完了だ。ほかにもウィンドウの背景データを変更したり、画面のリフレッシュ時間を調節したりできる。
　ただし、低速モデムを使ってくるメンバーやトラフィックのことを考えて、自分が追加する画像ファイル類はできるだけ解像度と色数を低く抑えたものにすること。なぜなら、ユーザーにとって快適なチャット環境にするには、システム全体のレスポンス速度を高めることが不可欠だからだ。



Murmurで標準付属する顔アイコンたち。不特定多数のメンバーを相手にする場合はこのようなアニメ風のアイコンを使い、プライベートなメンバーには自作のアイコンを使うと効果的だ

*4　MRJ：Macintosh Runtime for Javaの略。Apple社がMac OS用に配付しているJava環境。　*5　JavaVM：Java Virtual Machineの略。バイトコード型のJavaアプレットやJavaプログラムを実行するためのインタープリタプログラム。Netscape NavigatorやMicrosoft Internet Explorerでは独自のJavaVMが一緒に自動インストールされるので、ユーザーはJavaVMの存在を意識することなくJavaアプレットなどをブラウザ上で実行することができる。

QuickTime 4と RealPlayer G2で

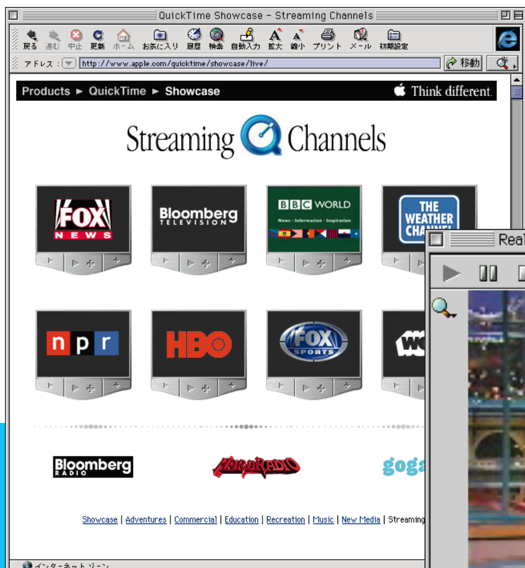
入門編

「海外のスポーツ中継やニュース番組を楽しむには、
衛星放送やケーブルテレビに加入しなければいけない」というのが世間の相場。
しかし、実はお金を支払わなくても、インターネットでも主要な海外番組は視ることができるのだ。
QuickTime 4とRealPlayer G2は、
海外のテレビ番組を受信してくれるプレイヤーソフトなのである。



QuickTime 4でしか
視れないもの

QuickTime 4自体は登場間もないソフトだが、この映画「Starwars: Episode I」の現地TVCMのように、QuickTime 4方式でしか提供されていない公開番組も登場している（http://www.starwars.com/）



Apple社のサイトで告知されている、QuickTime 4方式で現在放送されている放送各局（http://www.apple.com/quicktime/showcase/live/）。その多くは衛星放送やケーブルテレビでも観ることのできない現地の優良放送局ばかりである



RealPlayer G2でしか
視れないもの

RealPlayerはこの世界では最古参の受信プレイヤーなので、同方式の番組は圧倒的に多い。お笑いフリークにお薦めなのが、米国CBSで現地夜11時に毎日放送されている大人気番組「Late Night with David Letterman」。前夜のビデオクリップが中心だが、最先端のNYギャグを勉強するには最適の番組だ（http://www.cbs.com/）

ストリーミングビデオで世界中のテレビ放送が視聴できる日も近い

我々が毎日のように視聴するテレビ放送は、空中の電波で送られているものだ。一方、最近では人工衛星を介して海外放送を受信できるサービス*1や、専用ケーブル線で海外の映画やニュース放送を行なうケーブルテレビサービスも、日本の都市部では定着しつつある。

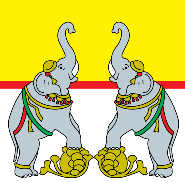
しかし、それらのほとんどは日本人スタッフによって編集された番組がほとんどで、海外番組をリアルタイムで観れるケースは少ない。月単位での視聴料金を支払うケースもある。視聴料金を支払うことなく、現地の番組を生放送で視たい場合にはどうすればよいのだろうか？

そのひとつの手段が、インターネット上で現在急増しているストリーミングビデオ放送の受信だ。ストリーミングビデオとは、テレビが電波を使って映像と音声を全国に配信するように、インターネットを介して世界中のパソコンに映像と音声を配信する技術のことだ*2。そして、このような数々のストリーミングビデオ放送を受信するためのMac用ソフトが、QuickTime 4（Apple社）とRealPlayer G2（Real Networks社）である。

現在のところインターネット上で放送されている番組の数は限られているが、その多くはその国のテレビ番組なので内容的にも高品質だ。画質はよくないが、視聴料が不要であるため非常にお得である。

QuickTime 4とRealPlayer G2は両方インストールしておく

では、QuickTime 4とRealPlayer G2のどちらをインストールすればよいのだろうか？



*1 衛星を介したテレビ放送：具体的な例では、NHKやWowWow!が参加するBS衛星放送、海外の放送局が多数ひしめくCS衛星放送、SkyPercTVやディレクTVに代表されるデジタル衛星放送などがある。 *2 ストリーミングビデオの基本的な仕組み：サーバー／クライアント型のシステムを通じて、映像と音声フレーム情報を保持したデータパケットをクライアント側に断続的に配信することで実現。通信効率向上のため、フレーム間の差分だけをアップデートするタイプのビデオ描画が現在の主流。

CD-ROM

■鈴木太郎■

海外テレビ三昧

その答えは「両方」だ。

ひとくちにストリーミングビデオ放送といっても、QuickTime 4とRealPlayer G2ではその受信方式が違うため、番組によっては片方の方式しか対応していないケースもある。だから、より多くの番組を見るには、複数のソフトをインストールしておくことが必要だ。

なお、インターネット上で放送されているストリーミングビデオの多くは、RealPlayer、Windows Media Player、QuickTime 4のいずれかの方式に絞られる。残念ながら、Windows Media Player方式の番組はまだMacで受信することはできないが（コラム参照）、これもいずれ解決されるだろう。

現在インターネット上でどのような番組が放送されているかを探すには、各ソフトの本家サイト、各テレビ局のホームページもしくはBroadcast.com（http://www.broadcast.com/）で探すのがベストである。

出遅れた日本の民放テレビ ストリーミングで世界制覇を狙う米国の大手放送局たち

米国の三大民放テレビやケーブルテレビ放送局大手では、試験的ながら、すでに自分たちの番組放送を24時間リアルタイムでインターネット放送している。なぜなら、インターネットでの放送なら各国政府の放送規制をかいくぐって全世界の人に放送を送ることができるからだ。これは視聴者数の増加を意味し、広告収入の増大とブランド力を高めるというメリットがある。一方、日本のNHKや民放各局はこの動きに完全に出遅れているようだ。

いずれにせよ、世界各国の優良番組をひとつの画面で視れるというのは究極の娯楽である。そのためにも、ぜひ今のうちからストリーミングビデオ放送の世界に浸っておこう。

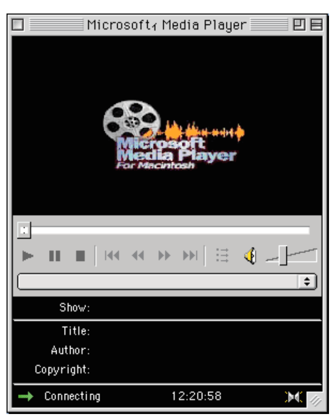
はやく完全動作版がほしい！ Windows Media PlayerのMac版

RealPlayerを追い上げるように現在急増しているがWindows Media Player方式のストリーミングビデオの番組だ。最近ではとくに、同方式でしか視られない優良番組も増えてきた*3。

しかし、残念ながらこのMedia PlayerはMicrosoft社がWindows 98向けに開発した受信プレイヤーなので、Microsoft社によるMac版は、まだ正式リリースされていない。ちなみに、Microsoft社はRealPlayer開発元であるRealNetworks社に多額の出資を行なっているにもかかわらず、自社でこのようなライバルソフトを開発したということで一時はニュースとして大きく取り上げられた。

同社は現在、Windows Media PlayerのMac版となる「Microsoft Media Player for Macintosh 3.0 Beta 2」をベータ公開しているが、番組受信に必須であるASF*4 Codecモジュールがまだ添付されていないので、実質的には使用不能。たぶん、このCodecモジュールが添付された時点で正式リリースとなるのだろう。

なお、日本語版の登場の有無は現時点では不明のまま。



Microsoft Media Player for Macintoshのベータ版

QuickTime 4.0

開発元●Apple Computer社
入手先URL●http://www.apple.com/quicktime/
価格●無料（Pro版は29.99ドル）
Mac版の動作環境●68020以上のCPUを搭載したカラーディスプレイ表示可能なMac（独自の画像効果を使うにはPowerPCを推奨）、System 7.1以上
他のプラットフォーム●Windows版あり

RealPlayer G2

開発元●RealNetworks社
入手先URL●http://www.jp.real.com/
価格●無料（Plus版は29.99ドル）
Mac版の動作環境●PowerPC 604/200Mhz以上のCPUを搭載した機種、32MB以上のRAMと65MB以上の仮想メモリ、Mac OS 8.1以降
他のプラットフォーム●Windows版あり

*3 Windows Media Player方式の優良番組：たとえば、経済ニュース放送の世界大手Bloomberg社（http://www.bloomberg/com/videos/）の24時間放送の各国語版はWindows Media Playerでしか観れない。日本語のBloomberg TV Japanも同じ。 *4 ASF：Advanced Streaming Formatの略。Microsoft社が開発した独自方式の映像圧縮方式で、Windows Media Playerでのストリーミング受信には必須のコーデックである。

辛さ2倍

ICQでオンライン中の

■mino:P■

CD-ROM

ICQ（アイ・シーク・ユー）は、現在インターネットにアクセス中の友人がひと目でわかり、なおかつその友人とリアルタイムでメッセージを送受信できる“ページャーソフト”のひとつだ。世界中のどこにいても日本語テキストでの軽快な会話が楽しめる、大人気のソフトである。さて、今夜も彼はオンラインしているだろうか？

ICQは、オンライン中のICQ仲間にメッセージを送るためのソフト

ICQとは、イスラエルのMirabilis社（http://www.mirabilis.com/）が開発したページャーソフトである。

ページャーソフトとは、現在オンライン中の仲間をリアルタイム表示し、その仲間にテキスト・メッセージが送信できるソフトのことを指す。そして、このICQは数あるページャーソフトの中でも日本国内で人気ナンバーワンの秀作フリーウェアなのだ。

ICQは多数のプラットフォーム版がリリースされており、Mac版やWindows版はもちろんのこと、Windows CE／Palm／Java版なども提供されている。そして、それらクロスプラットフォーム間でも、ICQメッセージのやり取りができるのだ。

ICQ 1.7.2 （PPC/68k）

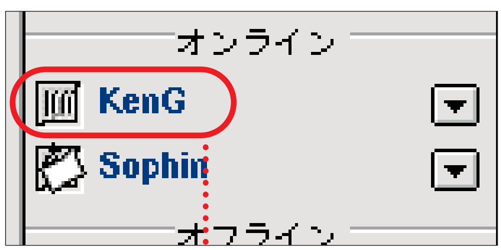
開発元●Mirabilis社
入手先サイト●http://www.icq.com/
価格●無料（フリーウェア）
日本語版●なし（2バイトコードは対応済み、日本語化パッチあり）
日本でのICQ情報URL●http://www.lovetrain.com/icq/

ICQを使う前に、自分だけのICQ Numberを取得する必要がある

とりあえず、今月のCD-ROM MACLIFEからICQ 1.7.2*1をインストールしよう。

ただし、実際に使う前に、個人を識別するためのICQ Number（ICQ番号）というID番号をICQ本家サイトのサーバーから取得する必要がある。手続きは簡単で、インストーラーを起動するとICQ Number取得のための個人プロフィール入力画面が出てくるので、情報を入力。あとはICQ側がインターネットに接続し、自分用のICQ Numberを取得／登録してくれるはずだ。これでOK。

あとは友人や同僚のICQユーザーたちのICQ Numberを聞いて、それらを自分のICQに登録しておけば、今後はそのユーザーたちのオンライン／オフライン状況が識別できるようになる*2。登録の人物がインターネットにオンライン中の場合は、ICQウィンドウの「online」欄に名前が表示され、オフラインの場合は「offline」欄に表示されるという仕



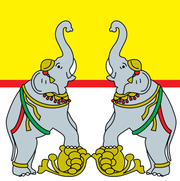
オンライン中のICQ仲間はこのようにブルー表示される。一番上のKenGさんにちょうど電話しようと考えていたので、名前をダブルクリック！



…そうすると、メッセージ入力ウィンドウが現われるので、そこにメッセージを入力して「送信（Send）」ボタンを押して送信！　瞬時にKenGさんはこのメッセージを読むことができる



ICQ（日本語パッチを当てたバージョン）の画面。小さなウィンドウ上で、自分で登録した他のICQユーザーのオンライン／オフライン状況がひと目で識別できるようになっている



*1 CD-ROM MACLIFE収録のICQ 1.7.2：英語版のままでも日本語メッセージ送信には支障はないが、同フォルダに添付した著者作成の日本語パッチキットを使えばメニュー類の日本語化も可能。　*2 オンライン／オフライン識別：ただし、自分がインターネットに接続してなおかつ相手のICQも起動している場合に限り、である。相手に自分のオンライン／オフライン状況を察知されたくない場合は、ICQウィンドウ下のポップアップメニューで自分のStatusをオフラインに強制指定することもできる

仲間を見つけよう！

組みだ。

オンライン中の人物の名前をダブルクリックすると、その人宛てのメッセージが入力／送信できる。そして、そのメッセージは瞬時に相手のところに届き、表示されるというわけだ。

電子メールに似ている点もあるが、それ以上の魅力を秘めたツールである

ICQは、伝言を送信することができ、そしてファイルを送信することができる点で本質的に電子メールとほぼ変わらない。

しかし、メールと大きく違い、なおかつ最大の魅力ともいえるべき点が3つある。

ひとつは、友人がインターネットにアクセスしているかがひと目でわかり、それを確認した後に、リアルタイムでメッセージを送受信できるという点。軽快な会話のキャッチボールが楽しめ、使っていて非常に楽しい。

2つめは、先ほども紹介したようにメールアドレスならぬ「ICQ Number」と呼ばれる数字によって、個人を識別するということである。メールアドレスやホームページアドレスに添えて、ICQ Numberを交換する*3というのも、しゃれた使い方である。

3つめは、リアルタイムで複数のユーザーとのチャットを楽しめるというところだろうか。

ICQはダウンロードからインストール、そして操作手順を覚えるまで、そんなに時間はかからない。非常にシンプルでとても使いやすい。そして何よりうれしいのが、無料でダウンロードし、使用できるフリーウェアということだ。

以上からも推測できるように、ICQはユーザー数の非常に多いソフトなので、読者もきっと仲間を見つけられるはずだ。



他のICQユーザーからチャットの要請が送られてきた。相手ユーザーに応じて了解／拒否のいずれかを選択しよう



ICQのチャット画面。上が自分で下が相手になる。自分のフォントサイズや文字色なども簡単に変更できるので、ぜひ試してみよう。なお、下の“象”アイコンは相手への警告サウンド送信の意味。相手が居眠りしたときなどに使うとよい

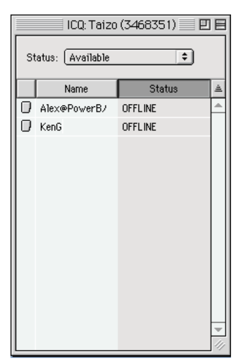
数百人に１人の割り合い、あなたの近所にも必ずICQユーザーがいる!?

ICQは個人を識別するために、ICQ Numberというの ID番号を各ユーザーに割り当てるのだが、執筆時現在、このICQ Numberを取得すると4,000万台の数字が割り当てられている。

一人で複数のICQ Numberを取得している人や、使用されていない番号も数多いと思うが、地球の人口50億人を考えるとこの数字は驚異的である。「国民一人あたりの車保有率」と同じような単純計算ではあるが、実に地球人口の数百人に1人は必ずICQ Numberを持っているということになるのだ。あなたの近所やマンションにも、ICQユーザーが他にいるかもしれないのだ。

ここまでくると、ICQについての個人のホームページの豊富さも特筆すべき点である。ホームページ検索エンジンで「ICQ」という文字列を入力してみると、実にたくさんのページがヒットし、さまざまなページがあなたをICQの世界へと誘ってくれるはずだ。

語学に自信のある人、または興味のある人なら、外国のお友だちを探してみてもいいだろう。さまざまな「出会い」が見つかると思う。



ICQユーザーの急増は、ICQクローンソフトの誕生にも拍車をかけている。図はICQ同等の機能を提供する「Gerry's ICQ」。なかには違法な逆アセンブル版もあるので、使用するときは注意しよう

*3 ICQ Numberを交換する：メールの署名欄や自分のホームページにICQ Numberを掲示するユーザーは多い。ちなみに、最近では自分の名刺に電子メールアドレスと一緒にICQ Numberを記載している人物もいるくらいだ。

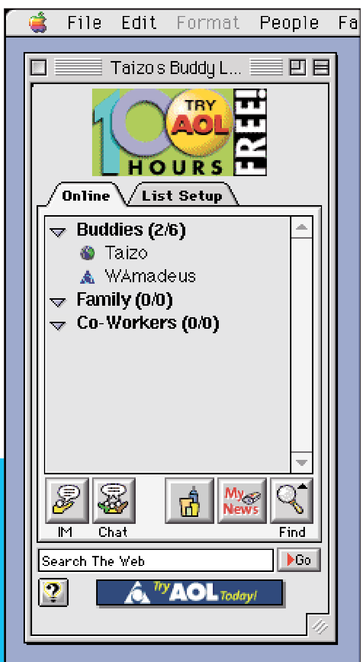
辛さ2倍

AIMは国際派ビジネス

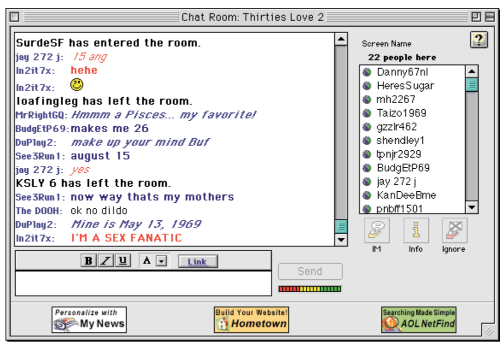
■鈴木 太郎■

CD-ROM

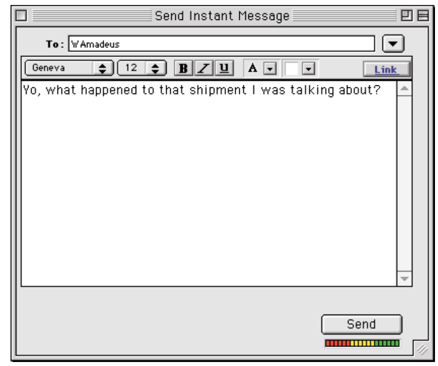
**米国で圧倒的なユーザー加入率を誇る世界最大のインターネットプロバイダーAOL（America Online社）*1。
現地ビジネスマンの半数近くはこのAOLの加入者であると考えてよい。
仕事の関係で彼らと親ぼくを深めたい場合、あなたならどうするか？
そのひとつの答えが同サービスが無料配付するページャーソフト「AIM」である。**



ICQと同じようなインターフェイスを提供するAIM 2.0（Mac英語版）のウィンドウ。現在オンライン中の仲間がひと目でわかる



現地のAOL加入者のチャットの中に参加することもできる。Speech Manager機能をオンにすれば、まるで外国の気分だ



残念ながら現在Mac版はまだ日本語化されていない。だから、メッセージ送信もやはりこのように英文を使うことになる

AOL Instant Messenger

開発元●America Online社
入手先サイト●http://www.aol.com/aim/
現在のバージョン●2.0
価格●無料（フリーウェア）
日本語版●現在はWindows版のみベータ公開、Mac版は移植の予定あり

Mac版の日本語対応はまだ しかしAOL未加入でも、現地加入者とチャットできる

AIM（エー・アイ・エム：AOL Instant Messenger）は、P.86〜87で紹介したICQとまったく同じ環境を提供してくれるページャーソフトである。その仕組みや操作方法もかなり似ている*2。

しかし、AOL自体も日本国内でサービスを開始したのがつい2年前なので、今もMac／Windowsを問わず、国内ではICQユーザーがほとんどである。おまけに、まだMac版は日本語対応していない（まもなく開発に着手する予定）。

では、あえてこのAIMを使うべきユーザーは誰なのか？　その答えは、「米国出張の多いビジネスマン／ビジネスウーマンたち」だろう。

周知のとおり、AOLは米国で圧倒的な加入率を誇るインターネットプロバイダーだ。その巨大さもあって、米国ビジネスマンの多くもAOLの常連ユーザーであるというのが現実だ。その彼らと交流があり、直接日本からリアルタイムチャットするときに、このAIMが大活躍するわけだ。

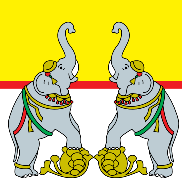
なぜなら、このAIMはもともと非AOLユーザーがAOL加入者たちが日常使っている専用ブラウザーソフト（P.89コラム参照）とチャットできるように開発されたページャーソフトだからだ。

つまり、AIMさえインストールすれば*3、AOLに加入することなく（そして、加入者たちと同じように専用ブラウザーソフトを使うこともなく）、彼らと直接リアルタイムチャットができるのである。

AIMは独自のID番号ではなくScreen nameを取得してから使う仕組み

冒頭で説明したとおり、AIMとICQはその仕組みや操作方法はかなり似ている。

しかし大きく違う点は、ICQがID番号で



*1 America Online社：もともとCommodore 64専門パソコン通信サービスの旧Prodigyが起源。現在の社名に変更後は拡大路線に転じ、2年前に宿敵CompuServe社を買収して名実ともに世界最大のインターネットプロバイダーになった。*2 AIMとICQ：ただし、AIMとICQは互換性がないので、両ユーザーがお互いにメッセージ交換したり、相手のオンライン状況を把握することはできない。*3 AIMのインストール：Netscape Communicator 4.6でもバンドル済みで、AIM 2.0は標準インストールされる

マンなら必須だ！

ユーザー認証しているのに対し、AIMでは“Screen name（ハンドル名）”でユーザー認証する点だ。

だから、読者がAIMをインストールしたら、まずブラウザーで米国の登録サイト（http://www.aol.com/aim/）までアクセスし、そこで自分だけのScreen nameとパスワードを登録*4して、はじめてAIMをインターネット上で使うことができる。

あとは、一緒にチャットしたいAOL加入者のScreen name（彼らのメールアドレスxxxxx@aol.comの‘xxxxx’の部分）を、自分のAIMに登録しておけばOK。ウィンドウ上で彼らのオンライン／オフライン状況が識別でき、ダブルクリックすることでメッセージ送信したりチャット送信することもできるようになるのだ。

出張族には朗報、ブラウザーしかなくてもいつもどおりAIMできる

一度AIMのScreen nameさえ入手してしまえば、たとえ出張先のパソコンにAIMがなくてもリアルタイムチャットは可能だ。Java対応ブラウザーさえあれば、AOL本家サイトにあるJavaアプレット版AIM「AOL Quick Buddy（http://www.aol.com/aim/quickbuddy/about.html）」を起動させて自分のScreen nameとパスワードでログインするだけで、いつものリアルタイムチャットが実現できるのだ。これは“出張族”にはうれしい機能で、ICQでは不可能なワザだ。

なお、Mac版AIMの面白い機能としては、Speech Manager*5に対応しているので、英語チャットをそのままMac側の合成スピーチで発声させるように設定こともできる。これで、いつもテキスト画面だけで静かだったチャットも、賑やかに演出することもできる。

残念ながら、Mac版のAIMはまだ英語でしかメッセージ送信／チャットできないので一般用途には向かないが、これだけを見ても、ICQ以上のポテンシャルをもったページャーソフトであることが理解してもらえるはずだ。その証拠として、米国のAOLユーザーのほとんどはICQをインストールしていない。

豊富なサービスを武器にますますユーザー数を急増させているAOLと、加入者／非加入者たちの掛け橋として静かに活躍するページャーソフトAIM。この強力コンビは、今後日本のインターネットでも台風の目となりそうだ。

AIM日本語版が待てないMacユーザーは、8月登場のAOL 4.0日本語版をゲットせよ

Mac版AIMの日本語化が実現される日はまだ未定だが、すぐにでも他のAOL仲間と日本語チャットしたいという読者は、いっそのことAOLに入会することをお薦めしたい。

実はあまり知られていないことだが、AOLではすでに他のプロバイダーと契約しているユーザーや、会社LAN経由でのアクセスしたいユーザー向けの特別プランを用意しているのだ。この「プロバイダー経由プラン」ではAOLが提供しているアクセスポイントは使用できない代わりに、月額使用料は大幅に安くなっている（たとえば50時間までの使用で月2,380円）。

なお、AOL接続に不可欠な専用ブラウザーソフトのMac版が8月にも大幅アップグレードされる。この「AOL 4.0 for Macintosh日本語版」は前バージョンからユーザーインターフェイスを一新し、日本人向けのコンテンツも多数用意されている。もちろん、AIMをインストールしなくても、日本を含む全世界のAOL加入者／AIMユーザーたちとのリアルタイムチャットが可能だ。あなたも世界最大のプロバイダーを実体験してみては？



8月上旬にはリリースされるAOL 4.0 for Macintosh日本語版のベータ画面。AOLは若い女性に人気のあるプロバイダーなので、とくにこのソフトの登場を待ちこがれていた女性読者も多いはずだ

*4 **Screen nameの登録**：1,700万人以上もの会員を抱えるAOLなので、ありがちなScreen nameはすでに取られていると考えてよい。現実的には、8文字以上のScreen nameでないと「That is used」と言われて登録拒否されてしまうだろう。 *5 **Speech Manager**：Mac OSの英文合成スピーチ機能。Mac OS日本語版では標準インストールされないので、Mac OS 8.0 CD-ROMの「特別付録」フォルダからEnglish Text-to-Speechを追加インストールすることで実現できる。

辛さ10倍

BottleMail 2.0 自分の悩みを他人

「職場でイヤミを言われた」「叫びたいほどうれしい」「他人に言えない悩みがある」。
大人には、表に出せないさまざまな思いがある。
どうせなら、そんな思いを手紙に書いて、ボトルメールとして海の向こうに投げてしまえば？
BottleMail 2.0はそんな発想で開発された、大人のためのメールソフトである



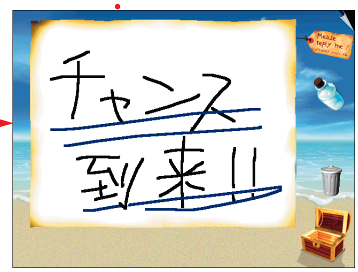
BottleMail 2.0のメイン画面。砂浜にボトルメールが1通漂着した



そこで、この漂着ボトルをマウスクリックすると…



気に入ったボトルメールは返信したり、このようにスクラップブック機能で収集することもできる



こんなメッセージが。これを送った人物が誰で、どのような思いだったのか、想像してみる。REPLYタグもついているので、返信してもよい

自分の名前が知られず、相手の名も知ることがない、ヒーリング系メールソフト

「BottleMail 2.0」は、リクルートが開発・配付を行なっている匿名メールソフトである。

BottleMailとはつまり、手紙を空瓶の中に入れて海の向こうに放り投げるという、ボトルメール*1の発想をそのままパソコンソフトにした作品だ。もちろんボトルメールなので、自分の手紙がどこの誰に読まれるかはわからないし、いつ読まれるのかも予想できない。自分の名前を記入する必要もないので、読んだ相手はそのメールを誰が書いたことも知ることはない。メールソフトでありながら、メールソフトに必須の機能をほとんど提供しない、不思議なソフトなのだ。

そのように匿名性を重視したソフトなので、PostPetやEudora Proのように自分の名前やメールアドレス、POP／SMTPサーバーを設定する必要はない*2。ただ単に、BottleMailをインストール後、インターネットを接続した状態で起動。あとは、メインウィンドウ一杯に広がる砂浜のアニメーションを眺めながら、ひたすら他人からボトルメールが漂着するのを待つだけなのだ。



自分でボトルメールを作成するときのキャンバス画面。絵ばかりでなく、文字や色も駆使して自分の思いをすべてボトルメールにして送信しよう！

絵のメッセージも描け、拾ったボトル作品も収集可能。そしてREPLYもできる！

自分の砂浜にボトルが漂着したら、そのボトルをマウスクリックしてみよう。すると、その中に入っている見知らぬ人物からのメー

*1 ボトルメール：ロマンチックなイメージを抱いている読者も多いと思うが、もともとは大航海時代に無人島に漂流した人がSOSの手紙をワイン瓶に入れて流したこと起源だとされている。　*2 POP/SMTPサーバー設定不要：BottleMailでは、初期設定で（株）リクルート社が管理するBottleMail専用サーバーが指定されているので、そのような設定画面すら存在しないのだ。なお、送受信されるボトルメール自体はPNG画像でできている。

で
に聞いてもらおう

CD-ROM

■鈴木 太郎■

ル内容が表示されるはずだ。そのメールにはその人物の悩みごとや叫び、もしくは単なる落書きが入っているかもしれない。しかし、その人物が誰であるかを知る手段もなく、ただそれを読んでその人物の姿に思いをはせるしかないのだ。

もちろん、自分でボトルメールを作成するときは、簡単なペイントツール類が揃ったキャンバス機能を使う。テキスト文字や、自分のホームページや参照URLをメール内に添付することもできる。自分の思いをキャンバス一杯に描いたら、あとは横に表示される空瓶アイコンをクリック。アニメーションでメールは空瓶の中に収められ、海の向こうへ飛んでいってしまう。これであなたのボトルメールは無事送信されたわけだ。

なお、BottleMail 2.0では、拾ったボトルメールに「Please Reply Me!」タグが付いていれば、その人物にREPLYボトルメールを返信できる。相手のボトルメールの内容が気に入ったら、ぜひREPLYしてあげよう。もちろん、そのときもお互いの名前や性別は知られることはない。

拾ったボトルメールはスクラップブック機能で蓄積しておくことが可能だ。いろいろなボトルメールを集めて、それを眺めて楽しんだり、ホームページ上で公開するBottleMailユーザーも多い。

受信ばかりではダメ
ボトルメールが漂着しないなら
2〜3通自分で送信すること

BottleMailは基本的に「ボトルメールを送信した人だけ、他人のボトルメールを受信することができる」というルールのもとで動作している。だから、自分の砂浜にボトルメールが1通も漂着しなくなったら、自分自身で2〜3通ほどボトルメールを作成／送信しよう。そうすれば、また漂着ボトルメールが届き始めるはずだ。

BottleMail 2.0は今月のCD-ROM MAC LIFEに収録されているので、ぜひ一度インストールしてみてほしい。ただし、本ソフトはフリーウェアではないので、フリーでボトルメール送信できるのは最初の10通のみ。それ以降の使用は500円[*3]の登録料を支払う必要があるので、付属ドキュメント類をよく読んでおこう。

BottleMail 2.0

開発元●株式会社リクルート
入手先URL●http://www.kids.recruit.co.jp/bmail/
価格●500円（登録料。登録なしでも、ボトルメール10通まで可能）
Mac版の動作環境●PowerPC搭載機種、Mac OS 8.0以上、24MBのRAMメモリー、10MB以上の空きHD容量、640×480／32,000色以上のカラーディスプレイ表示

独身諸君は注目！
海の向こうからはこんなボトルメールも届く

BottleMailの基本コンセプトを聞いて、「なんかもの悲しいツールだな」と思う読者もいるかもしれない。

しかし、BottleMailユーザーの中には現実的な使い方をする人も多い。たとえば、男性ユーザーがデジカメで撮影した自分の写真をREPLY可能なボトルメールにして、彼女探しをしているケースも多いらしい。女性ユーザー作成のものも同様に多いという。実際に彼らに恋人ができるのかどうかは定かではないが、BottleMailの有効な使い方のひとつであるといえる。

その一方で、SPAMメール用途でBottleMailを使おうとする悪いユーザーが現われるかもしれない。しかし、リクルートではすでにその防御策は考慮済みで、実はユーザーが短時間にある一定数のボトルメールを連続的に送信したら、そのBottleMailは1日間送信ロックされてしまう仕組みになっているのだ。だから、Bottle Mailを使って無用な広告やいやがらせメールを配信することは実質的に不可能。そして、もしいやがらせメールを受信したら、その人物からのメールを永久に受信拒否するオプション機能もある。

匿名制でありながら、きわめてクリーンなコミュニケーション環境を提供している点で、BottleMailは優秀だ。



BottleMailで恋人探しをしているユーザーの話を聞いて、さっそく某編集者も自ら志願。彼の希望がかなうかどうかはMACLIFEの関知するところではないが、願わくば返信者が女性であることを祈る（本文でも解説したとおり、BottleMailでは返信相手の名前や所在地どころか性別すら特定できない）

*3 登録料の支払い：BottleMailの登録料支払いは、クレジットカードもしくはBITCASHカードのいずれかで可能。なお、Mac版（バージョン2.0）は登録料500円だが、WIndows版（バージョン1.25）はバージョンがまだMac版に追い付いていない関係もあって300円となっている。

辛さ10倍

MP3で Macでの作業中も

■中里 和(ゲーム音楽制作者)■

最近、インターネット上やパソコン雑誌でよく「MP3」という単語を目にする。かなりのブームだ。
MP3とは、正式には「MPEG 1 Audio Layer 3」といい、音声圧縮*1方法の規格のひとつである。
しかし、実際には難しいものではなく、ビギナーは単純に
“パソコン上の音楽再生装置”くらいに思っていただいて差し支えないと思う。



日本では若者の間で一世風靡したMD（写真左）とMDポータブルプレイヤー（写真右）だが、米国では大苦戦。その米国では替わりにMP3がインターネット世代を中心に実質的なスタンダードフォーマットになりつつあり、日本でもその流れは止まりそうにない

MP3は、単純に“パソコン上のMDである”と考えるとわかりやすい

音楽以外、たとえば念仏や人間の肉声でもいいのだが、エンドユーザーによる実際のMP3利用例を考えてみよう。

それを見るかぎりでは、BGM再生方法としての利用率が圧倒的に多い。つまりMP3はパソコン用のMiniDisc（以後MD）*2だと思ってもらえれば一番的を得ていると思う。つまり、“MDで音楽を聴く”ように“MP3で音楽を聴く”というふうにだ。

MP3自体はれっきとしたファイルなので、「〜.mp3」という拡張子が使われている。ファイルなので、インターネット上で簡単に仲間同士で交換することができる。それをパソコン上のMP3専用プレイヤーソフトで再生するわけだ。

このように、MP3はMDと違いパソコンが中心的な動作環境だから、パソコンを少し触ったことのある人なら音楽編集やCDからの録音ができるはずだ。もちろん、手間からいえばMDよりもはるかに楽だし、何より音質の割にディスクの容量を食わない。

しかし、ちょっと音楽にうるさい読者なら、「じゃあ、MP3って音質はいいの？」と気になるところだろう。

一般のユーザーなら音質十分 プロの感覚からすると初期のMDよりも少し上程度

そこで、ちょっとMP3フォーマットを技術面で解剖してみよう。

通常いわゆるCDフォーマットでは16bit／44.1khz／ステレオのクオリティで再生されるが、これをデータ量に換算すると5分の楽曲でだいたい50MB。これがMP3方式で圧縮すると約5MB（ほぼ1/10くらい）の容量になってしまう。コンピューターでの音楽制作の常識を知っていればいるほど「えっ、この容量でこの音質？」という驚きは大きいだろう。

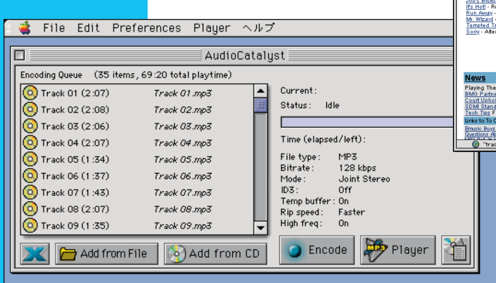
CDレベルの音質に慣れた一般人の耳にもパソコン用スピーカーで再生する分には十分な音質だ。普通は圧縮率とクオリティは反比例の関係にあり、あちらを立てればこちらが立たずの状態に陥りがちなのであるが、MP3はそのバランスがいいともいえる（ビット数やサンプリングレートを落としたAIFFやWAV形式ファ



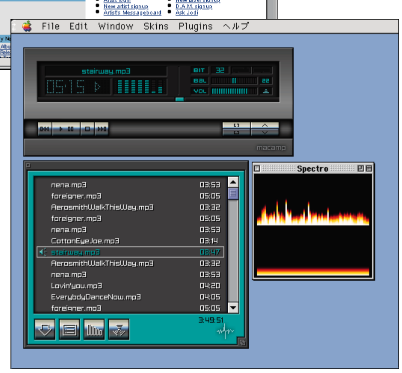
MP3ファイルの例。QuickTime 4.0がインストールされているMacではこのようなアイコンになる



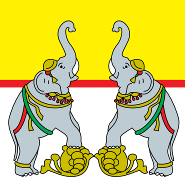
合法的にMP3サンプルをインターネットで試聴できるオンラインCDショップ「MP3.com」(http://www.mp3.com/)。近日には株式公開する予定だ



Xing Technology社（http://www.xingtech.com/）のAudioCatalyst 2.0を購入すれば、自分のCDをMac上でMP3化できる。ただし、その音楽ファイルはあくまでも本人利用の範囲で聴くこと



MacAmp（http://www.macamp.net/）はベータ版が現在公開中。複数アプリケーションでの作業中も音ブレがしないので、編集部がお薦めのMP3プレイヤーソフトである



*1 音声圧縮：フリーウェアやシェアウェアソフトがStuffIt形式などに圧縮されるように、映像や音声（音楽）もデジタルデータとして扱う場合にそのサイズを小さく圧縮することで利便性が大きく高まる。そのためにMPEGなどの圧縮技術に日夜研究が続けられているのだ。　*2 MiniDisc：ソニー規格の音楽用光磁気ディスクフォーマットで、ディスクサイズが7×6.75×0.5cmと小さく、音楽の再生／書き換えが可能。通称“MD（エム・ディー）”と呼ばれ、各家電メーカーが再生プレイヤーなどを発売中。

快適な音楽ライフ

イルを聴くことを考えれば数段レベルは上である）。

音質に関してもう少しつけ加えると、実際に音楽制作を行なっている人間としてMP3でエンコードされた楽曲を厳しく判断した場合、それは決してCD同等のクオリティではない。強いて形容するならば初期のMDよりは少しまし、最近の音質がかなり向上したMDには劣るといったところであろうか。ただ、音の善し悪しは極めて主観性の強いものなので額面どおりには受け取らないほうがいいかも知れない。

低音の出方はまずまず、というよりは少し前に出る感じ。逆に高音のほうはソースによってはデジタルなシャリシャリ感が出たり、ちょっとスカスカな感じになることがある。これはデータ圧縮する際に必ず指摘される点ではあるし、MP3化したソースとユーザーによっては本当に全然気にならないレベルである。

しかし、別に優れた圧縮効率と高いクオリティを誇るのはMP3だけではないはずだ。「Real Audio」だってある。なぜ、MP3だけがこれほど取り沙汰されるのか？ 個人的な感想だが、これは恐らくLinux*3に代表される昨今のオープンソース化の流れとは無関係ではないだろう。MP3は基本的にはただの規格でライセンス料その他は必要ない。誰がどのように利用しようと構わないのである。結果としてこの状況は、さまざまな流れを生み出している。

MacでのMP3環境は少し出遅れたがこれから大爆発すること確実

さて、お待ちかねMacintoshにおけるMP3環境の現状の話に入ろう。

多くの読者がMac対応のポータブルMP3プレーヤーが存在しないこと、ソフトウェアが極めて少ないことを嘆いていたのは去年の秋のことであった。

しかし、時の経つのは早い。昨今のAppleの勢いもあるのだろう。Diamond Multimedia社は「Rio PMP 500」を発表し、ポータブルMP3プレーヤーを初めてMac（コラム参照のこと）にも対応させた。

ソフトウェアもかなり増えた。以前はフリーウェアやシェアウェアのソフトウェアだけだったが、最近では商用のソフトウェアも出てきた。商用のソフトウェアの利点は、やはり面倒なCD取り込みからエンコードという一連の動作を一発で行なってくれる点、細かく圧縮率やサンプリングレートを設定できる点であろうか。

もちろん、従来通りフリーウェアやシェアウェアのソフトを利用して安くMP3を楽しむ手段もある。

結論として、オーディオマニアの次元で話をするならとにかく、日常ちょっとBGMとして音楽を楽しみたいユーザーにとってはむしろMP3のMDをもしのぐ簡便性は魅力に映るのではないだろうか。

個人的にはMP3の普及を受けてMDがコンピューターとの親和性、簡便性の点でどう巻き返してくるかが楽しみである。何はともあれこれからの時代はMP3。この記事があらゆる音楽ファンの指針になれば幸いである。

iMacからMP3音楽をダウンロードできる、ポータブルプレイヤーRio PMP 500登場！

Diamond Multimedia社から8月発売予定のポータブルMP3プレーヤー。Mac対応製品としては初の製品となる。価格は269ドル。搭載メモリは64MB*4で、96MBまで拡張可能だという。ボディカラーは3色となる予定。

とはいっても、このRIo PMP 500はUSBを介してデータ転送を行なう仕様なので、USBを持たない旧Macシリーズでは利用できない。iMacか、青白Power Macintosh G3を所有していることが必須である。もちろん、PCIカードでUSBポートを増設しているようなコアユーザーはチャレンジしてみるのもいいだろうが、現時点では動作の確認はできていない。

それにG3プロセッサーを搭載していない旧機種ではエンコードにかなり時間がかかるため、正直あまりお薦めはできない。今はiMacという素晴らしくコストパフォーマンスの高いMacもあることだし、MP3をばりばり利用しようとするならぜひiMacクラスか、それ以上のスペックのMacを使用することをお薦めする。iMacと前述の「Rio PMP 500」を組み合わせればMacintoshからポータブルMP3プレーヤーのシームレスな利用が広がるはずだ。



3色のボディカラーで米国で先行して発売されるRio PMP 500。音楽ファンでなくてもぜひゲットしたい一品。ちなみに日本での発売時期や価格はまだ明らかにされていない

特集2◆この夏、MacのインターネットはSPICYになる！

*3 Linux：フリーソフトウェアの人気UNIX互換OS。現在MACLIFEでもMac版Linuxに関する技術解説を「LinuxPPC Survival」という連載中（P.244～247）。 *4 搭載メモリ64MB：MP3ファイルのサイズは一般的に1分＝1MBと考えればよい。ということは、64MBを標準搭載するRio PMP 500の場合は約1時間分の音声（音楽）を再生することが可能ということだ。

辛さ50倍

iVisitで見知らぬ外国人と対

CD-ROM

■鈴木 太郎■

相手の顔をスクリーン上に見ながら、世界中の誰とでも話せるビデオ電話網。
誰もが想像する夢の技術だが、
それに近いことはすでにインターネット上で行なうことができるのだ。
自分のMacに安価なライブカメラとマイクロフォンさえあれば、
世界中の人々と対面できるソフト、
それがこの「iVisit（アイ・ビジット）」である。

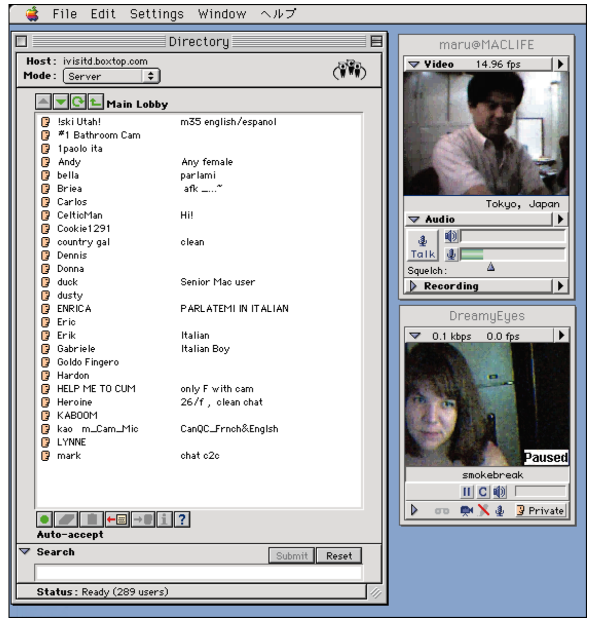


自分を映したカメラ映像。恥ずかしがり屋は、適当なPICT画像をベーストして相手から隠すことも可能

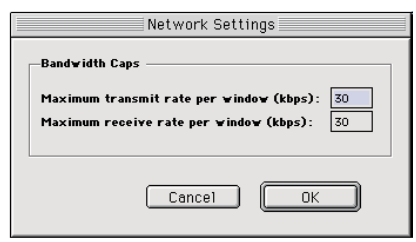
自分の一行プロフィールを書くところ。簡単なアピール程度でよい

音声の出力／入力モニター。下のノブアイコンを動かして、入力レベルを調節

自分のビデオ映像を録画して「留守」メッセージとして使うこともできる



iVisitでビデオ会議中の画面。右のウィンドウはiVisit本家サーバーに現在接続しているユーザーリスト。彼らの名前をダブルクリックすると、このようにすぐビデオ会議を始めることができる



iVisitの送受信トラフィックの上限設定。モデムユーザーの場合は、ここの数値を低めに設定することで、安定したビデオ会議を行なうことができる

iVisit 2.2b2

発売元●iXL社
入手先URL●http://www.ivisit.com/
価格●無料
推奨動作スペック●PowerPC搭載機種、漢字Talk 7.5以上、Open Transport 1.1以上、4MB以上の空きRAM、Mac入力が可能な小型ビデオカメラとマイクロフォン（Power Mac付属のPlainTalkマイクロフォンやPowerBook／iMacの内蔵マイクも可）

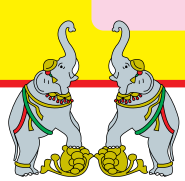
世界中の人々とビデオ会議 いわばMac版のNetMeetingと考えていい

インターネットを使ったビデオ会議ソフトはそれほど珍しいものではない。

95～96年頃には「Cu-SeeMe*1」というMac／Windows用のビデオ会議ソフトが一部マニアの間で流行。その次の年にもやはりWindowsユーザーの間で「Microsoft NetMeeting*2」というビデオ会議ソフトが流行した。一方、日本でも映像なしの音声だけを使ったインターネット会議ソフトや、普通の電話と直接通話できるインターネット電話サービス業者などもいくつか出現したのである。

そのような競争の激しい業界の中で、究極のビデオ会議ソフトを目指して細々と開発されていたのが、今回紹介する米国iXL社の「iVisit」である。

iVisitは、パソコン本体にマイクロフォンと市販の小型ライブカメラを接続すれば、誰



*1 Cu-SeeMe：シーユー・シーミーと読む。米国のコーネル大学を中心に開発された、最古参のインターネット・ビデオ会議ソフト。当時はフリーウェアだったが現在はWhitePlains社が商品として販売中。最近、そのユーザー数はかなり減った。　*2 Microsoft NetMeeting：Microsoft社がWindows 95用に配付していた純正ビデオ会議ソフト。Microsoft社のサーバーでユーザーたちが待ち合わせできるという点で一時ブレイクしたが、Windows 95自体の不安定さもあって使い勝手は今ひとつだった。

面お見合い

でもすぐにインターネットを介したビデオ会議ができるソフトだ。ユーザーはiVisitを使って、IPアドレス指定で他のiVisitユーザーと接続したり、iXL社のサーバー上で多数のiVisitユーザーたちと会議をすることができる。

つまり、仕組みとしては冒頭で挙げたNetMeetingと同じようなソフトなのだ。ただし、iVisitではMac／Windows版の両方が提供されているので、クロスプラットフォームでビデオ会議が行なえる。後発ソフトの利点もあり、映像の品質やスピードもよい。回線状況さえよければ、36.6kbpsモデム同士でも比較的実用レベルのビデオ会議ができる。

もちろん、ライブカメラを保有していなくても、マイクロフォンのみのインターネット電話ソフトとして使うことも可能。マイクロフォンがなくても、付属のチャット機能を使って複数の相手とチャット画面を開くこともできる。

とりあえずビギナーは本家サーバーへ接続してiVisit仲間たちとお見合い

iVisitは現在フリーウェアで、インターネットを使う以外の特殊な回線料なども徴集されない。たいていのMacには純正マイクロフォンが付属しているし*3、サードパーティ製の小型ライブカメラもインターネット上で2〜3万円程度で売られている（コラム参照）。つまり、非常に安価にビデオ会議に参加することができるわけだ。

使い方も慣れれば簡単。インターネットに接続してからiVisitを起動。すると、iVisitはまず初期設定されているiXL社の本家サーバーに接続し、メインの「Directory」ウィンドウ画面に複数のiVisit会議室が表示するはずだ。実際に会議に参加する前、「Settings」メニュー下で自分の映像／音声入力／ネットワークの設定チェックをしておこう。

そして、会議室リストから好みの会議室を選んで参加すれば、そこに集まっている世界中のiVisitユーザーたちがあなたを待っている。日本人もときどきいるので、自分のカメラ調整や音声チェックを行ないたい場合は、お相手を依頼しよう。

相手ユーザーに接続すると、相手側のビデオ映像が小さいウィンドウで表示され、音声も聞こえてくるはずだ。あとはcontrolキーを押しながらマイクに発声するだけ*4。ついに夢にまで見たビデオ会議が始まるのだ！

なお、当たり前だが、外国人と会話するときは英語が公用語となり、それなりのマナーも必要。なかには‘他人種嫌い’の人もいたりして、接続してもすぐに逃げていってしまうこともある。あるいは恋人を探している同性愛者があなたに積極アプローチしてくることもあるだろう。いずれにせよ、これがiVisitの多人種世界なのだ。

ある程度使い方に慣れたら、友人や同僚にもiVisit導入を勧めて、IP指定で1対1のビデオ会議をしてもよいだろう。遠隔地にいる恋人同士やビジネスパートナー同士でもこのiVisitは使えるだろう。

未来のインターネット像をわずかな投資で体感させてくれる数少ないソフト、それがこのiVisitである。

自分専用の小型ライブカメラを、持っていて損はない

QuickCamに代表される安価なパソコン用小型ライブカメラは、今まではマニア向けの周辺機器というイメージが強かった。なかには「面白そうだけど、すぐに飽きそう」と購入に尻込みしている人もいるかもしれない。

しかし、これがけっこう使える周辺機器なのだ。もちろんiVisitのようなビデオ会議ソフトに使えるのは当然だが、米国では自分の作業映像をライブでWeb放送したり、不法侵入を感知できる防犯センサーとして機能させるサードパーティ製ソフトやフリーウェアなども登場している。

一方、日本でも今後ホームレベルでのインターネット常時接続が普及すると予想されるので、ライブカメラの国内需要も今までになく急増するはずだ。自宅に置いてきたペットの様子を職場からチェックしたいユーザーや、気象観測に活用したいユーザーも多いだろう。

いずれにせよ、価格が安く、専用ACアダプターなしでも動作するほど低電力なハードウェアなので、持っていて飽きるということはまずないのである。



このような小型ライブカメラは以前から販売されていたが、家庭でもインターネット常時接続が普及すると、これから大ブレイクするかもしれない。写真のQuickCamシリーズは米国Logitech社（http://www.quickcam.com/）で69.95ドルから発売中

*3 Macの純正マイクロフォン：Power MacシリーズにはPlainTalkマイクロフォンが付属し、iMacやPowerBookではディスプレイ上部にマイクが内蔵されている。　*4 iVisitでの発声に関して：iVisitの音声パネルで「Squelch」モードをチェックすると、controlキーを押さずに24時間音声を連続送信することができる。iVisitサーバーの中にはこの機能を使って一日中CD音楽を流し放しにしている人がいる。

辛さ50倍

Falcon 4.0で親友と異国の空で

遠方に住む親友と異国の空で２人だけのランデブー。
チャット画面の向こうに広がるリアルな大地と空、耳に強烈に響くジェットエンジンの叫び。
そして今夜も、友と決着を付ける瞬間が来た……。
現代の零戦ともいうべき米空軍戦闘機F-16[*1]を忠実に再現した、
MacSoft社のフライトシミュレーターソフト「Falcon 4.0」があなたを新世界に誘う。

Falcon 4.0起動時に現われるゲーム設定画面でのネットワーク対戦接続の様子。残念ながらDiabloのような専用サーバーは設置されていないので、ホスト役Falcon 4.0のIPアドレスを打ち込むことになる



8bit時代からの名作がネットワーク対応になって新たな側面を見せる

MacSoft社が6月に発売したFalcon 4.0（Macintosh版）は、Apple IIやCommodore 64がまだ現役だったころにMicroprose社[*2]が発売した空中コンバット・シリーズの最新作である。

その凝りに凝ったインタラクティブなコクピット画面と、空力性能の再現によって「F-16を飛ばすというのはこういうことか……」と実感させてくれるコンバット系フライトシミュレーターソフトだ。

このゲームの世界では、あなたは単なるパイロットではなく、戦闘機パイロットになるのだ。そして戦闘機パイロットには、逃れられない宿命がある。いうまでもなく「戦闘機を使って戦う」「戦って勝つ」「負ければほとんどの場合命がない」という厳しい掟だ。

従来のコンバット系フライトシミュレーターでは、普通コンピューター敵機のみが登場するが、いつかは人間ユーザーにその動きが見切られてしまう。パターンで動くからだ。しかし、実際の戦闘では そんなことはない。敵機はあらゆる手を駆使して、こちらを撃ち墜としにかかる。Falcon 4.0はまさにこの実戦感覚をインターネット上で体験させてくれる。これこそ“実戦のリアリズム”であり、あなたがインターネット上で学ぶことになる現実なのだ。

Falcon 4.0のネットワーク接続機能は非常に簡単だ。コンピューターがすでにネットワークに接続されていれば（社内LANでもPPP接続[*3]によるインターネットでも）、あとは接続相手（ホスト役のFalcon 4.0）のIPアドレスを打ち込むだけである。

また、搭載する武器の種類や数、空域、難易度をホスト役が一括で選べる。しかし、本ソフトは非常にリアルにつくられているため、Reality値を100%に設定するとかなり難しくなり、離陸するだけで精一杯になってしまうので、ビギナーはこのReality値が低く設定されたゲームに参加しておいたほうがよいだろう。

インターネット対戦では、複数機で総当たりで戦う「Furball」モードと、チーム単位で戦う「Team Furball」、そして2人あるいは2つのチームが戦う「Match Play」の合計3モードが用意されている（Furballでは最大4つのグループにわかれることができる）。どのゲームも“勝利を決定するポイント数”をホスト側があらかじめ設定し、個人あるいはどちらかのチームの撃墜ポイントがそれに達するとゲームオーバーとなる。

もっとも、お互いが了解していれば、どんな形の対戦でも可能だ。また、対戦にはチャットが不可欠だが、その機能もソフトに含まれ、独立したチャットモードがある他、コクピット同士でもテキストチャットが可能だ。



基地へ着陸するF-18。本ソフトはかなり本物の近いシミュレーターなので、ビギナーはこの着陸操作がかなり難しいだろう。エンジン音もかなりのリアリティだ

*1 F-16 Fighting Falcon：米国空軍正式採用ジェット戦闘機。大型万能のF-15 Eagleに対して小型軽量単発。搭載エンジンのパワーに余裕があり、抜群の運動性と武器搭載能力を持つ。 *2 Microprose社：Falcon 4.0のWindows版は現在もMicroprose社が販売している。もともとは同社が8bitパソコン用に発売した「F-15 Strike Eagle」が同シリーズの発祥タイトル。 *3 PPP接続プレイ：Falcon 4.0のインターネット対戦はかなりのトラフィックが必要なので、最低でもISDN回線がお薦め。

■戸塚 有介（FAAプライベートパイロット）■

空中バトル！

単なるゲームでは済まない 知力と駆け引きのすべてが 試される試練の場所なのだ

さて対戦が始まると、結局このリアルなフライトシミュレーターで戦って勝つためには、「実際の戦闘機パイロットと同じくらい、能力を高めるしかない」ということに気づくはずだ。Macを介するとはいえ、相手はれっきとした人間。知力、応用力、反射神経、戦術、戦略、トリック、プレッシャー、奢り、恐怖……人間だけが持つ思考力が勝敗を決めるキーになる。

具体的なテクニックとしては、Falcon 4.0に用意された多彩なレーダーモードを上手く使いわけられるかどうかで、敵機を発見するまでの時間が違う。つまり、上手くやれば敵より早く相手を探知できる。敵より早くミサイルを撃てるだけでその戦いの前半のイニシアティブを握れるのだ。

敵機のFalconからミサイルが発射される。いかに正確にタイミングよく回避操作をするかによって被弾の確率が変わるから、ミスは許されない。

同レベルの知力と能力を備えた同士が接近戦に突入すると、古典的なドッグファイト*4が始まる。推力重量比*5が1.0を越えるF-16といえど、急旋回を繰り返すドッグファイトでは、急速に速度を失ってしまう。速度を失って機敏に動けなくなったら、その勝負はもう見えている。パイロットは、航空力学では常識とされる概念、コーナー速度と最大G*6を維持する努力をする（これについてはパッケージ付属の英文マニュアルで詳しく解説されている）。

コーナー速度と最大Gを維持していれば、理論上は同じ性能の機体に食い込まれ回り込まれることはない。言い換えれば、これを維持できなくなった方が食い込まれる。「航空力学」や「空中戦機動のセオリー」に関する知識、「パワーと速度のコントロール」の能力が試されるということなのだ。



コンピュータ機相手なら、海軍最新鋭機F/A-18 Hornetとも戦える。近所の住民が寝ている間に繰り広げられる、深夜のドッグファイトだ



敵機を操る親友（大阪府在住）を追い詰める筆者（広島県在住）のFalcon。撃墜！この一瞬のためには、システムの理解など、さまざまな能力で相手に勝っていなければならない

煙を上げて彼方に墜落する敵機 インターネットでは 悔しさも喜びも倍増される

激しい機動に対応して目の前で踊る照準レティクル（照準マーク）を敵機に合わせ、一瞬を捕らえて引き金を引く。親友が操縦する敵機を追いつめ、最後の仕上げ。戦闘機パイロットの至福の瞬間「GunによるKill」だ。

激しい空中戦では、射撃のチャンスはコンマ数秒。それを着実に捕らえて撃つ。反射神経と集中力、そして一瞬後の敵機の位置を読む勘が要求される。

目の前の敵機を何とか始末する。敵機の残骸を避けて高度を上げつつ一息つくが、油断はできない。次の敵機がどこから出てくるかわからないのだ。注意深く周囲を見張り、多彩なレーダー機能を駆使して、空を探る。敵は人間の頭脳。時には狡猾なハンターとなって襲ってくる。レーダーを切って忍び寄る手もある。飛行機にとっては死角になる下方から突き上げる手もある。いきなり全ミサイルを一斉射してくるかもしれない。「次はどんな手でくるのか……」。

インターネット対戦では、負けた悔しさ、勝つ喜びともに倍増する。そのような感情に加え、ファイターパイロットの醍醐味をわずかなコストで体験させてくれるFalcon 4.0。この夏、筆者がもっともお薦めするソフトのひとつである。

Falcon 4.0（Mac版）

発売元●MacSoft社
(http://www.wizworks.com/macsoft/)
価格●49.99ドル
推奨動作スペック●233MHz以上のPower PC 604e、64MB以上のRAM、512kbのL2キャッシュメモリ、ATI Rage Proもしくは3Dfx Voodoo Iグラフィックカード、スロットル付きジョイスティック、Mac OS 8.1以降と375MBの空きHD容量

*4 ドッグファイト：戦闘機同士の至近距離での空中戦。互いに敵機の後方に回り込むように飛ぶ様子を、犬の喧嘩にたとえてこう呼ぶ。 *5 推力重量比：機体の重量をエンジン推力で割った値。機体重量より推力が大きければ、ロケットのように垂直上昇中でも加速できる。 *6 最大G：飛行機が旋回することで生まれる重力加速度もしくは遠心力。最大Gとはその飛行機が耐えることができるリミットのこと。F-16は、最大9G（地球の重力の9倍）がかかる旋回を維持できる数少ない機体。

辛さ50倍

Hotlineでインターネットの

■Paco■

CD-ROM



Hotlineとは、Hotline Communications社が開発した究極のインターネットツールである。ただし、インターネット電話ソフトではない。ひとことでいえば、あなたのインターネットライフが根底から変わってしまう程の統合コミュニケーションソフトなのである。この前代未聞の個性派ソフトの全貌を紹介しよう。

Hotlineって一体なに？ 簡単にいえば、インターネット版BBSキット

Hotlineとはどのようなソフトなのだろうか？　主な機能をリストアップしてみよう。

●ICQのように特定の人とのプライベートチャットが可能
●IRC[*1]のような大人数で話せるパブリックチャットを楽しめる
●WebやFirst Class[*2]のような掲示板
●FTPよりもわかりすいインターフェイスでの高速ファイルダウンロードを実現

上記すべての機能を1つのソフトで提供しているのだ。サーバー／クライアント型のインターネット版BBSキットといえば、なんとなくそのイメージがおわかりいただけるだろうか？　BBSと聞くと「古臭い」と考えてしまうベテラン読者もいるかもしれないが、実は“逆もまた真なり”である。

とくに、最後に挙げたファイル転送機能というのはFTPのような機能だと考えて頂きたい。しかも、リジューム機能を実現しているのである。これはつまり、ダウンロード途中で一端PPP接続を切り、別の機会に続きをダウンロードできるのである。

このリジューム機能がいかにメリットがあるかは、MacOS 8.6日本語版のアップデーター（アップル）をダウンロードすれば一目瞭然だ。ファイルの大きさが90MBほどあるものを一体誰がダウンロードするというのか？しかも途中で回線が切れたら……考えただけでもダウンロードする気になれない。しかし、それをHotlineサーバーからHotlineを使って少しづつダウンロードすれば何も恐れることはないのである。

なお、各社アップデーターファイルの類を扱っているHotlineサーバーは多数存在するので、ぜひ活用しておきたい。

日本語版もあるが、最新版であるHotline 1.5の韓国語版も使えるぞ！

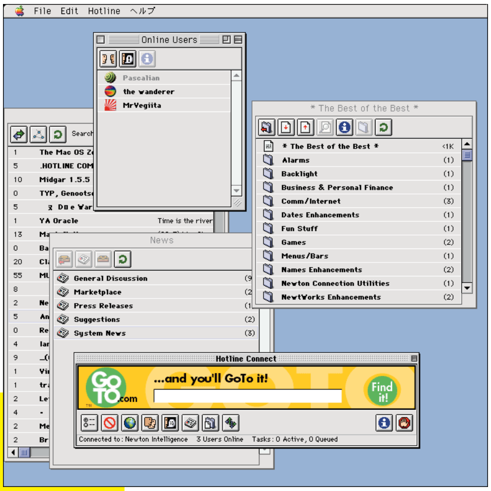
文字での説明にも限界はある。とくに、こういうソフトは試してみるのが一番である。

クライアント版およびサーバー版の入手方法としては、今月号のCD-ROM MACLIFE、もしくはHotline社の本家サイト（http://www.hotlinesw.com/）からダウンロードしてほしい。

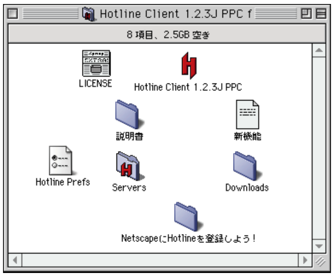
Hotline Client 1.2.3J

日本人Hotiineユーザー同士で英語版を日本語化した公認バージョン。日本国内のHotlineサーバー巡りをする場合は、まずこれを使ってスタートするのがよいだろう。PowerPC版と68K版がCD-ROM MACLIFEにも収録されている。

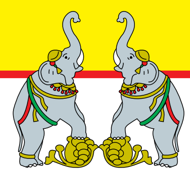
なお、Hotlineの操作方法や最新バージョン情報は、本文でも紹介されたLOVETRAIN（http://www.lovetrain.com/hotline/）などを参照するといいだろう。



Hotlineクライアント版（バージョン1.5）であるHotlineサーバーに接続したところ。他の接続ユーザーや掲示版、ファイルリストなどがMacのGUIで表示される



CD-ROM MACLIFEに収録されたHotlineの1.2.3日本語版。ビギナーはこのバージョンから始めるとよいだろう



*1 IRC：インターネットがまだ普及しない頃から研究者たちの間に日常的に使われていたテキストベースのチャットシステム。操作は難解だが、現在も細々ながらUNIXユーザーや学術研究者たちを中心に頻繁に使われている。Mac版もフリーウェアが複数存在する。　*2 FirstClass：80年代後半のパソコン通信全盛期に普及したGUI型のBBSプログラム。日本のMacユーザーグループを中心に全国各地にFirstClassサーバーが普及したが、最近ではほとんど見られなくなった。

下町通りへ

Hotline社の本家サイトでは当然、同社の製品はすべてダウンロードできる。しかし、すべて英語版なので、日本語テキストは通じない。「えっ、ローマ字でチャットしなくちゃいけないの？」と思った人のいるはず。

でも、ご心配無用。日本人の間でなんとか日本語化をしようと試行錯誤の後、ついにHotline日本語バージョンが完成したのである。現在は筆者も参加するLOVETRAIN*3サイト（http://www.lovetrain.com/hotline/）から日本語化されたものがダウンロードできるのだ（しかもHotline社のお墨付き。日本語化に尽力して頂いた方々にこの場を借りてお礼申し上げます）。最新日本語バージョンは1.2.3である。

もうひとつ書かなくてはならない事がこの文書を執筆中に起きてしまった。この4月よりHotline社はバージョンアップ版をリリースし、4月16日にバージョン1.5をそして6月にバージョン1.5.5をリリースした。1.5韓国語バージョン*4というのがあり、これはHotline社のお墨付きではないが、早い話が日本語も使えるのだ（これも私たちのHomePageよりダウンロードができる）。

さらに、このバージョン1.5は完全なフリーウェアになった。Hotline社もクライアント版をフリー化してシェアの拡大をはかっているのだろう。

さっそくインストールして筆者参加のHotlineサーバーにアクセスしてみよう！

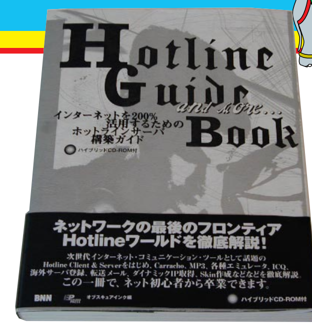
では、さっそくクライアント版を使ってサーバーへの接続してみよう。

Hotlineクライアント版のメニューから「接続（もしくはConnect）」コマンドを実行。接続用のウィンドウを開き、一番上の「サーバー」とある窓にHotlineサーバー側のIP番号またはドメインネームを入れるだけでサーバーへ接続できてしまう。

たったこれだけである。試しに私たちのサーバーへ接続してみればよい。ちなみにIP番号は「208.241.88.208」である。

ただ、接続してしまう前に2つお願いしておきたいことがある。まず1つ目はClientソフトの設定画面であなたのハンドル名を入れておいて欲しいのである（設定方法はメニューの一番下の「設定（またはOption)」コマンドを使う）。もう1つは、サーバーへ接続したら何かしらのメッセージを入力していただきたい。「こんにちは〜」とか「はじめまして〜」などである。

いずれにせよ、これであなたはHotlineの世界へ踏み入れたわけだ。



『Hotline Guide Book』

編著●オブスキュアインク
価格●2,800円（税別）
発売●ビー・エヌ・エヌ

海外旅行に限らず、ダウンタウンを歩く場合には心強いガイドブックが必要だ。本著はHotlineの操作方法とその世界をわかりやすく解説し、Warezサイトの現状についても詳細に書かれた究極の一冊である。ぜひ購入しておきたい。

秩序なき違法コピーソフトの世界 WarezサイトとHotlineのダークな関係

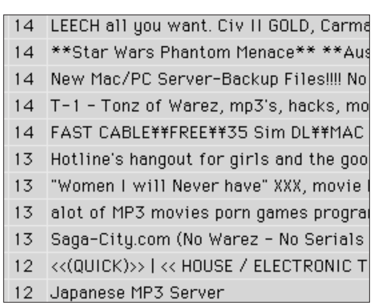
Warezという単語*5を読者諸君は知っておられるであろうか？　早い話が違法コピーソフトのことである。

Softwareの複数形「Ware's」をもじって「Warez」とか「W@re3」という風に隠語のように使われているネット造語で、この単語が書かれているということは、そこに違法コピーソフトがあることを意味する。当然、これは違法行為である。刑罰の対象だと心得ておくこと。

なぜここでそんなことを書くかといえば、Hotlineはそのクローズドな環境のため、違法ソフトをまき散らすサーバーもかなり存在するのである。また、簡単にそのようなサーバーを見つけてしまえるのも、Hotlineの特徴なのだ。決してその類のサーバーには立ち入らぬよう心がけていただきたい。

普通に使っていれば何も問題はないし、これ以上のソフトはなかなかお目に掛からない。違法な部分があるからと別に怖がる必要はないのである。自分が誘惑に負けなければよいのだ。

MACLIFE読者が公正な判断のもとにHotlineを楽しんでくれることに期待しながら、筆をおくことにしよう。



14	LEECH all you want. Civ II GOLD, Carma
14	**Star Wars Phantom Menace** **Aus
14	New Mac/PC Server-Backup Files!!!! No
14	T-1 - Tonz of Warez, mp3's, hacks, mo
14	FAST CABLE¥¥FREE¥¥35 Sim DL¥¥MAC
13	Hotline's hangout for girls and the goo
13	"Women I will Never have" XXX, movie
13	alot of MP3 movies porn games progra
13	Saga-City.com (No Warez - No Serials
12	<<(QUICK)>> | << HOUSE / ELECTRONIC T
12	Japanese MP3 Server

Mac用ソフトばかりでなく、MP3やVideoCDの違法コピーも数多く氾濫しているHotline系「裏」サイトたち（tracker-tracker.comより）

*3 **LOVETRAIN**：同サイトはインターネットの小物ソフト探しや日本語化に関しては先駆者的な存在。P.86執筆のmino:p氏もそこの住人である。　*4 **Hotline 1.5韓国語バージョン**：韓国のHotlineユーザーが自力でHackした非公認バージョン。しかし、メニュー類は英語のままで、日本語も利用できるという優れものである。　*5 **Warezという単語**：定説では、起源はHotlineではなくAOLもしくはCompuServeの中で生まれて広まったとされている。現在ではインターネット中で使われるようになった。

今回、紹介されなかった
ツワモノたち

本特集を楽しんでもらえただろうか？
最後に、誌面スペースの都合で紹介できなかった
ツワモノ・ソフトたちを3つほど簡単に紹介しよう。
どれも前ページまで紹介されてきたソフトたちには引けを取らない秀作たちなので、
せめてその名前だけは心にとどめてほしい。

米国Excite社のページャソフト「Excite Pal」Mac版もあるのだが…

ICQやAIMばかりがページャーソフトではない。インターネット上にはこれら以外にも、多種類のページャーソフトが存在しているのだ。

なかでも、P.86執筆のmino:p氏が推薦する、インターネット検索サイトとしても有名なExcite社（http://www.excite.com/）のページャーソフト「Excite Pal」は優れものだ。これはMac版も提供されており、PowerPC版および68K版が同ページからダウンロードできる。

mino:p氏によれば、「機能的には他のライバルソフトとそれほど違いはないが、FireWallをジャンプする独自の機能を持っていて便利。Mac版もあるのでなかなか貴重な存在」ということだ。

しかし、残念ながらMac版の日本語化がまだされていない。おまけに、米国のExcite社でも今後はJavaベースのチャットシステムに力を入れ始めているため、今後このソフトが同サイトの表舞台から消える公算も出てきた。なくすにはおしい存在である。



日本ではまだWindows版しか提供されていないExcite Pal。しかし、ICQとAIMの台頭でその存在は影が薄くなるばかり。さらなるアップデートを期待したいのだが…

日本語化されたMP3対応の万能プレイヤー「SoundApp」

MP3のコーナー（P.92～93）では紹介できなかった秀作サウンドプレイヤーとして、フリーウェアの「SoundApp」がある。

これは米国のNorman Franke氏の作品で、MP3ばかりでなく、MIDI／Amiga IFF／Psionなどを含む多数のサウンドファイルに対応した万能のファイル変換機能付きプレイヤーなのだ。純粋なMP3プレイヤーとして使っても十分なクオリティを見せてくれるソフトなのだが、どちらかというとその変換機能のほうがベテランMacユーザーの間では有名だ。

おまけに、現在では日本語版もされており、まさに必須のサウンドツールのひとつとして挙げてよいだろう。



Macフリーウェアの世界では定番ソフトのひとつとして有名なSoundAppだが、MP3プレイヤーとしても十分な機能を提供してくれる。入手先URLはhttp://www.naotaka.com/SoundApp/



7月下旬に発売予定の「FLY!」のスクリーンショット。グラフィックス処理能力を考えると、やはりこのソフトも快適動作にはG3以上のスペックと高速回線が必要となりそうだ。しかし、遠隔地にいる友人との世界一周飛行も可能であるというとつい…

コンバット嫌いにお薦め 期待のフライトシミュレーター「FLY!」はまもなく発売

Falcon 4.0のコーナー（P.96～97）を読んで、「戦争モノはちょっと…」という読者にお薦めなのが、7月下旬に発売予定の民間航空機フライトシミュレーター「FLY!」だ。

これはMicrosoftブランドのゲームソフト製作で有名な米国Terminal Reality社の新作で、もちろんインターネットを介したマルチプレイヤー飛行も可能になっている。

それればかりではない。マイクロフォンによる音声チャットも可能だというのだ！　したがって、まるで本物のパイロットのようにマイクロフォンをピックアップして、友人と交信しながら一緒に飛行できるのである。世界全体の航空マップも用意されるので、日曜日の夜に仲間たちと北極を遊覧飛行、なんてことも夢ではなさそうだ。

日本での発売元は（株）ピーアンドエー（http://www.panda.co.jp/）で、Mac＆Windowsのハイブリッド版だ。この夏、インターネットでの仮想世界旅行にハマろう！

低価格プリンターできれいに印刷する

大島 篤
Photo : illusion

低価格で高品質なカラープリンターが多数リリースされてきたが、プリンタードライバーの正しい使い方や設定方法がわからずに、思ったようにきれいに印刷されずに悩んでいるユーザーも少なくない。プリンターのマニュアルに書かれている設定だけでは、きれいに印刷できなかったり、反対に画像を少し加工するだけで、よりきれいに印刷できるテクニックなどもある。そこで、初心者向けにプリンターの設定や紙の使い方などを紹介し、誰でも簡単にきれいな印刷ができる方法や、ちょっとしたテクニック、用途に合わせた用紙の選択などを紹介する。

現在市販されているカラープリンターは、一般ユーザーが使い切れないほどの高性能を備えている。実売5万円以下の低価格プリンターであっても、写真と比較し得る品質のプリントアウトをしてみせるのだから驚きだ。200万画素クラスのデジタルカメラと最新のカラープリンターとMacを組み合わせれば、無限の可能性を秘めた新しい写真システムが実現できる。

しかしカラープリンターは、各種の周辺機器の中でも使いこなしが難しい。デジタルカメラやスキャナーから取り込んだ画像をそのまま印刷しただけでは、期待した印刷結果が得られないことも多い。それでは、きれいな画像を印刷するためには、どうすればいいのだろうか。

きれいに印刷されないといっても、素材となるデータがいけないのか、設定が間違えているのか、プリンターが壊れているのか、特に初心者ではどこがいけないのかがわからないことが多い。このような記事はマニュアルにも出ていないし、人に聞いてもさっぱりわからなかったりする。

そこでこの記事では、低価格帯のカラープリンター4機種を使って、誰でも簡単にきれいな印刷ができるための方法を紹介したい。あまり取り上げられていなかった印刷に最適の理想の画像データの大きさの話や、画像修正テクニック、印刷設定によって変わる印刷見本をビジュアルで見せるなど、美しい印刷方法を研究していきたい。

このレポートを読むことにより、いままで悩んでいた「美しく印刷したい」という希望が、誰でも簡単に実現できることだろう。

美しく印刷する秘訣

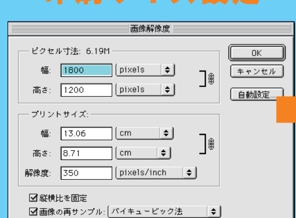
撮影・取り込み



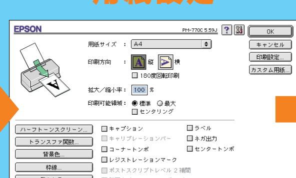
図版加工



印刷サイズ設定



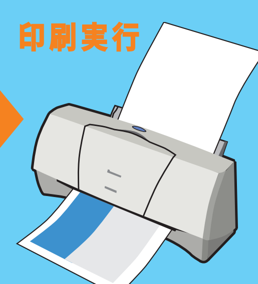
用紙設定



印刷モード設定



印刷実行



印刷結果のチェック



デジタルカメラやスキャナーなどから画像を取り込んで印刷するまでの流れ。普段やりなれている作業だと思うが、サイズ設定や印刷モード設定など、やらなければならない作業は多いため、設定ミスなど、間違えやすいのも事実である。しかし、ほんの少しでも間違えると美しい印刷結果を得ることはできない

同じデータをいろいろな解像度にリサイズして印刷した結果

▶90dpiの場合





200%拡大

標準的なモニター画面で表示されるのと同じ解像度。画面ではきれいに見えていても、プリンターに印刷するとジャギーが大きく目立つ。

▶180dpiの場合

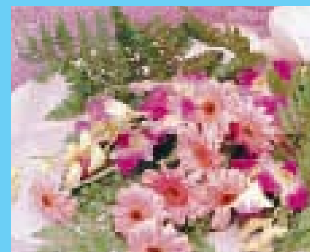




200%拡大

150dpiだと、離れてみればきれいに見えるが、近くによってみると、ややジャギーが見えてしまう。

▶360dpiの場合



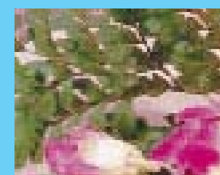


200%拡大

300dpiクラスのデータだと、写真プリントと同じくらいきれいに印刷されている。デジタルカメラで撮影したものは、これくらいのクオリティで出したい

▶720dpiの場合





200%拡大

ファイルサイズ100MBを越えるデータになるが、高価な印刷専用機で出さない限り、300dpiの結果を見た目はかわらないように見える。

印刷するためのデータをきれいに整えよう

画像準備編●美しい印刷はデータの準備から

ここではきれいに印刷するために必要な画像データを、きれいに整えるための方法を解説する。いくら高品位なカラープリンタでも素材となるデータが汚なくては、きれいに印刷することはできないのだ。

画像を美しく印刷するための知識

プリンターはそれぞれ固有の解像度*1を持っている。たとえばDeskJet895Cxiの印刷解像度は、縦1,200dpi*2×横1,200dpiである。このプリンターで印刷する場合、用意する画像の解像度を縦横1,200dpiにする必要はない。普通に印刷するのであれば、100dpiでも768dpiでも、印刷する画像の解像度は好きな値でよい。

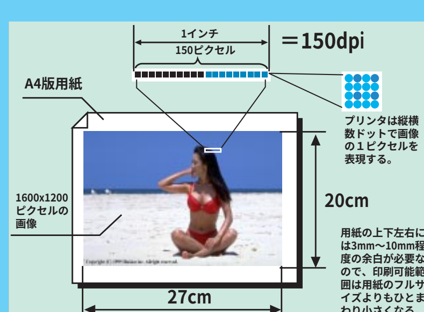
しかし1,200dpiのデータを用意すればもっと美しく印刷できるとかというと、そうわけでもない。現在のカラープリンターの場合、最適な画像解像度はプリンターが持つ最高解像度の1/4だといわれている。DeskJet 895Cxiの場合は1,200dpiの1/4、すなわち300dpiの解像度の画像を用意すればよいことになる。これよりも高い解像度（たとえば600dpi）の画像を印刷しても、300dpiの印刷とほとんど差が感じられない。

上に同じデータをいろいろな解像度にリサイズして印刷した結果を掲載している。使用したプリンターはPM-770Cで、このプリンターの解像度は横1,440dpi×縦720dpiだ。このように縦横の解像度が異なる場合は、用意する画像の最適解像度を横方向の解像度の1/4（この場合は360dpi）にすればいい。ちなみに解像度が360dpiで印刷サイズが27cm×20cmの場合、画像のピクセル数*3はおよそ3,800ピクセル×2,800ピクセル、画像サイズは約31MBになる。

デジタルカメラの画像を印刷原稿とする場合は、それほど解像度を気にすることはない。なぜかというと、デジタルカメラの画素数が性能に追いつかないためだ。200万画素のデジタルカメラでも最大画素数は1,600×1,200ピクセルであり、これをA4サイズ(27cm×20cm程度)で印刷した場合の解像度は150dpiにすぎない。なお、このときのデータ量は5.5MBになる。ハガキサイズ（13cm×9.5cm程度）で印刷した場合では300dpiになる。

参考までに、130万画素のデジタルカメラの画像は1,280ピクセル×1,024ピクセルである。数世代前の30万画素のデジタルカメラでは640×480ピクセルだ。現在のカラープリンターの性能から考えると、デジタルカメラで撮影した画像をA4サイズで印刷するのであれば、少なくとも130万画素クラス、できれば最新の200万画素クラスのものを使いたい。デジタルカメラの画像を印刷する場合は、グラフィックソフトで希望の印刷サイズを指定して印刷する。印刷サイズを指定すると画像解像度が自動的に決まるが、値を気にする必要はない。

デジタルカメラではなく、素材として版権フリー*4の画像集を利用すると、画像サイズが4,000×3,000ピクセルなどと大きいことがある。こうした大きな画像をA4よりも小さなサイズで印刷する場合は、画像加工ソフトで希望の印刷サイズを指定するとともに、プリンターの解像度の1/4の値を解像度として設定し、画像のリサイズを行なうとよい。



200万画素のデジタルカメラでも、最大画素数は1600×1200ピクセルだ。これをA4サイズ(27cm×20cm程度)で印刷した場合の解像度は150dpiにすぎない

印刷に適した画像補正テクニックを使って美しいデータを作ろう

フォトレタッチソフトを使うと、画像の色調やシャープさを、かなり自由に補正することができるのはご存知の通りだ。見栄えのする印刷を得るためには、多少オーバーに補正したほうがよい。テレビの画像だって、そうした補正を施して表示されているから鮮やかに見えるのだ。ここでは、典型的な画像補正のやりかたを紹介しよう。

▶オリジナル画像







コントラストを高めてメリハリをつける

Photoshopの場合は、自動レベル補正コマンドを使うことにより、画像のいちばん暗い部分を真っ黒に、いちばん白い部分を真っ白に調整することができる。この補正によって、コントラストが高いメリハリ効いた画像になる。左ふぁ自動レベル補正の効果を示した図だ。ただし自動レベル補正も万能ではない。画像によっては、色合いが妙な具合に変化してしまうこともある。このような場合はレベル補正コマンドで手動設定するか、明るさ・コントラストコマンドを使ってコントラストを高めに調整するといい（右図）。自分が使っているソフトが自動レベル補正に相当するコマンドを持っていない場合には、替わりに明るさ・コントラストコマンドを使うとよい



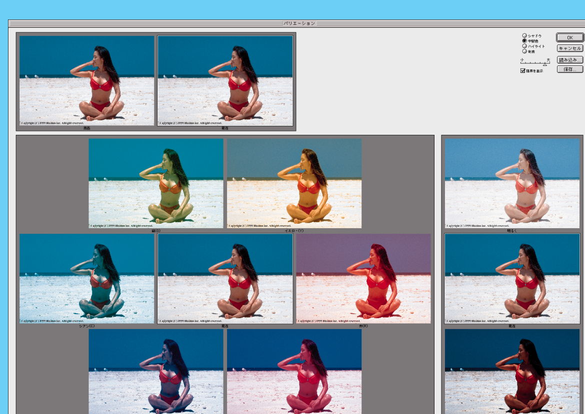


シャープネスを高める

アンシャープマスク、あるいはシャープなどのフィルタを使って、画像の見かけ上のシャープネスを高めることができる。ほとんどの場合、シャープな画像のほうが見たときの印象がよい

彩度を高めて鮮やかに

Photoshopの場合は、色相・彩度コマンドのダイアログから彩度の値を高めてやることで、画像の色を鮮やかにすることができる。Photoshop以外の画像処理ソフトでも、これに相当する機能を持っているはずだ



カラーバランス調整

最近のデジタルカメラは、色についてはかなりきれいに表現してくれるので不満を覚えることはほとんどないと思うが、画像の色味が気に入らない場合は、フォトレタッチソフトのカラーバランスコマンドを使って色味を調整すればよい。Photoshopの場合は、カラーバランスコマンドよりもバリエーションコマンドを使うほうが便利だ

＊1　**解像度**：プリンターやモニターの画像の細部の表現能力をいう。単位はdpiである。
＊2　**dpi**：Dot Per Inchiの略。1インチ（2.54cm）の中に、いくつの点を打つことができるかを表す。数字が大きい方が細かい点を打てる。
＊3　**ピクセル**：画面やプリンタ出力される文字や画像の最小の単位のこと。もしくは機械やソフトが個別の色を割り当てるこのができる最小の単位のこと1ピクセルは、使う機械やソフトによって、1ドットに相当したり8ドットになることもある。
＊4　**版権フリー**：画像の著作権を放棄、もしくは個人で利用する場合に限って自由に使うことが許されていること。市販されている素材集などでは、版権フリーになっているものが数多く収録されている。

6ピコリットルの微量インクでハイクオリティ印刷を実現

エプソン PM-770C

価格●59,800円
問合せ●エプソンインフォメーションセンター(042-585-8444)
http://www.i-love-epson.co.jp/





PM-770Cの出力見本

EPSON PM-770Cは、カラリオの愛称でお馴染みの同社PHOTO-MACH JETシリーズのA4プリンターで、同シリーズの最上位の機種だ。現在、iMac風カラーバージョンは各色5,000台限定で発売されている。

PM-770Cの速さと表現力は、現在発売中のインクジェットプリンターの中ではトップクラスだ。特に高品位の光沢紙を用いた写真画質のプリントでは、頭ひとつ抜け出ているといってよい。これは6ピコリットルという超微量のインクによって繊細な色の表現を可能にしている。このプリンターは印刷可能領域の大きさも特徴で、紙送りのために生じる上下左右の余白が比較的少なくてすむ。大きな用紙では気にならなくとも、ハガキなどの印刷では見栄えが違ってくるはずだ。難をいえば動作音が大きい点は気になる。特にインクの吸引時など、特に大きな音がする。

PM-770Cに付属するアプリケーションは3本ある。市川ソフトラボラトリー社の画像処理ソフト「デイジーコラージュ2」は簡単な操作で各種処理が行なえ、アルバム形式での画像管理もできる。「私暦」はオリジナルのカレンダーを作成するためのソフトだ。「イメージパレット」はFinder感覚で画像を管理できる。

Macとの接続はUSBとシリアルポートに対応しているため、新旧機種を問わずに接続が可能だ。マニュアルの記述や定評のあるサポート体制もなど、すべてのMacユーザーに安心して薦められる。

▶スペック

印字方式	MACH方式
解像度(dpi)	1,440dpi×720dpi、720dpi×720dpi、360dpi×360dpi
使用可能用紙サイズ	A6縦〜A4縦
対応用紙の種類	専用紙・普通紙・光沢紙・光沢フィルム・ラベルシート、専用OHPシート・アイロンプリント紙・洋型封筒1号〜4号・長型封筒3号/4号、ハガキ
給紙方式	フリクションフィード方式ASF付
給紙可能枚数	A4：最大100枚(55kg紙)　、ハガキ：30枚
インターフェイス	Mac用シリアルインターフェイス、パラレルインターフェイス、USB
同梱物	取扱説明書、インクカートリッジ(クロ・カラー各1個)、フォト・プリント紙2(A4：5枚)・EPSONプリンタドライバ*4ユーティリティ、CD-ROMガイダンス、アプリケーションCD-ROMソフト(EPSON COLORIMAGING LABO,エプソンイメージパレット＆私暦＆デイジーコラージュ2＆ニィス日本語TrueTypeフォント2書体)
大きさ／重さ	429×261×167mm／約5.2kg
消費電力・電源	約18W・AC100V±10%

超静寂ながら高速印刷が可能

ヒューレット・パッカード DeskJet 895Cxi

価格●56,800円
問合せ●HPカストマ・サポート・センター (03-3335-8333)
http://www.jpn.hp.com/





DeskJet 895Cxiの出力見本

HP DeskJet 895Cxiは、ヒューレットパッカード社のGraphilシリーズのA4プリンター最上位機種だ。同社独自の前面給排紙方式は895Cxiでも健在となっている。本体の大きさ自体には他社製品との大きな差はないのだが、実際は見た目ほど設置面積を取らず、置き場所を選ばない。

超微粒子インクによる写真画質は元画像を誇張しない自然な色合いと、通常印刷時と変わらない速さが特徴だ。だが、このプリンターの最大の魅力は普通紙印刷なのではないか。画質の落ち込みが比較的少なく、細部の表現も高度なレベルを保つ。大容量のインクカートリッジとの組み合わせで、はがきやビジネス文書の大量印刷などにも威力を発揮しそうだ。

特筆すべきは他に類を見ない静寂性だ。オーディオ製品などと同じ「DCサーボモーター」を採用しており、夜中でも気兼ねなく使えるレベルにまで作動音を押さえている。耳障りな金属音が全くせず、高速な動作と合わせて快適に作業が行なえるのは、大きなアドバンテージだ。Macとの接続はUSBで行なうことになる。残念ながらMac用のアプリケーションは付属していない。より高度な印刷のためには、画像加工用のレタッチソフト別途を用意したほうがよいだろう。

夏向けに涼し気なカラートップカバープレゼントを実施中で、iMacユーザーは今がチャンスだ。

▶スペック

印字方式	オンデマンド型サーマル・インクジェット
解像度(dpi)	1,200×1,200dpi 相当
使用可能用紙サイズ	A4、B5、US No.10封筒(104.7×241.3mm)、DL封筒(220×110mm)、C6封筒(114×162mm)、ハガキ
用紙の種類	普通紙、インクジェット専用紙、フォト用紙、専用OHPフィルム、バナー用紙、A4、B5、US No.10封筒(104.7×241.3mm)、DL封筒(220×110mm)、C6封筒(114×162mm)、ハガキ
給紙方式	給紙トレイ
給紙可能枚数	普通紙100シート、バナー用紙20シート、封筒15シート、OHP25シート、ハガキ30シート
インターフェイス	双方向パラレルインタフェース、USB
同梱物	電源コード、マニュアル、インクカートリッジ2個(黒 カラー(C,M,Y))プリンタドライバー、アプリケーションソフト&素材集CD-ROM、用紙受けトレイ
大きさ／重さ	446×355×185mm／5.5Kg
消費電力・電源	動作時最大30W、待機時最大5W・交流100V、50/60Hz

プリンター紹介編●Mac用低価格カラープリンターカタログ

最近主流の Mac用低価格カラープリンター

Mac用の低価格カラープリンターといってもいろいろな機種がある。
ここでは、今回のテストにも利用した低価格プリンター4機種を取り上げ、製品について紹介しよう。

クラス最小のコンパクトボディ

キヤノン BJ F200u

価格●39,800円
問合せ●キヤノン販売株式会社　お客様相談センター(0570-01-9000)
http://www.canon-sales.co.jp/





BJ F200uの出力見本

コンパクトで手軽さが魅力のキヤノンBJ F200にUSBモデルが追加され、BJ F200uとして新たに発売された。これは従来は別売されていたUSBケーブルが同包されたお買得なセットで、このモデルにはiMacにあわせた5色のネームプレートが付属している（シリアル接続には別途専用ケーブルが必要）。

本体を見てまず目に付くのはクラス最小のコンパクトボディだ。インクカートリッジはBJC400シリーズと共通で、フォトカートリッジや、スキャナーカートリッジのほか、各種カートリッジが利用できるので、さまざまな用途に利用することができる。

余計な操作を極力省いたワンボタンオペレーションも評価できる。たとえば、カバーを開けると、カートリッジを自動的に交換位置に移動してくれる機能なども初心者に扱いやすいプリンターだ。

付属するアプリケーションは、お遊び用の『BJスクエア』と実用的な『PixeColor Player』の2本。前者はプリントシールやTシャツ、マウスパッドの印刷など、家族で楽しめる機能を満載している。後者はレイアウト、レタッチ、フォト、アドレス管理の4つの機能に特化されたアプリケーションで、ファイルの入出力の管理から調整、印刷までを手軽に行なうことができるソフトだ。

▶スペック

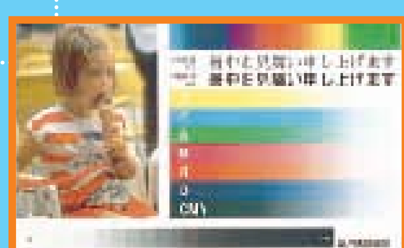
印字方式	ノンインパクト　シリアルカラーバブルジェット
解像度（dpi）	最高720×360dpi
使用可能用紙サイズ	A4タテ、B5タテ、A5タテ、ハガキ、レタータテ、リーガルタテ、バナー紙（長尺紙）
対応用紙の種類	普通紙、カラー普通紙、専用紙（高品位専用紙、OHPフィルム、BPF、フォト光沢紙、フォト光沢ハガキ、フォト光沢カード、フォト光沢フィルム、BJクロス、Tシャツ転写紙、マウスパッドキット）、専用シール（フォト、ボコボコ、ギラギラ、ピカピカ、透明、BJクロスヒート）、洋形封筒4号/6号、官製ハガキ　等
給紙方式	フリクションフィード
給紙可能枚数	普通紙（A4）：50枚（64g/m2）、官製ハガキ：20枚　等
インターフェイス	USB接続専用
同梱物	BJカートリッジ、マニュアル、カラーBJカートリッジ BC-21e、BJカートリッジ保管箱 各1個、ドライバ／ユーティリティ、プリンタドライバ&スキャナドライバ「IS-Scan（日本語Windows 98/95/NT 4.0対応）」（CD-ROM×1枚双方向セントロニクスインタフェイス（印刷時）、リファレンスガイドCD-ROM（PDF形式マニュアル、BJSQUARE×CD-ROM各1枚
大きさ／重さ	370×191×161mm／約2.4kg
消費電力・電源	待機時：約2W、最大：30W（印刷時）、AC100V 50/60Hz

溶融型方式で写真以上の高品質印刷

アルプス MD-5000

価格●59,800円
問合せ●アルプス電気（045-544-8240）
http://www.alps.co.jp/





MD-5000の出力見本

アルプス電気のマイクロドライプリンターシリーズは、現在主流のインクジェット方式とは機構が異なり、溶融型熱転写方式というインクリボンを用いた方式を採っている大変ユニークなプリンターだ。MD-5000はマイクロドライプリンターシリーズの最上位機種で、iMac5色カラーのバージョンも用意されている。Macとの接続には別売のSCSIアダプターまたはUSBアダプターが必要になる。

溶融型熱転写方式による鮮やかな再現力にはファンが多い。金銀白などの特色印刷や後処理による光沢印刷、オプションで昇華型印刷までできるのも、インクジェットプリンターには真似できない。また色をのせる前に下地処理を施すこともできる。またプリントアウトに利用できる紙質を問わないのも特徴のひとつで、官製ハガキなどに光沢のある写真クラスの画質印刷を求めるのであれば、最適の選択肢となるだろう。

付属するアプリケーションは3本。Print Studioはレイアウトを主に行なう。テキストの入力やグラフなどの図形作成にも利用できる。PhotoAssistantはフォトレタッチを中心としたデザインソフトで、色調の補正などさまざまな処理が行なえる。ImageSuefingは画像の管理を行なうアプリケーションで、デジタルカメラの画像管理などにも使える。これらのソフトはMD-5000専用に作られているので、メタリック印刷の指定などは、外部のアプリケーションから行なうより簡単にできる。

▶スペック

印字方式	溶融型熱転写方式（オプションキットにて昇華型熱転写方式も利用可能）
解像度（dpi）	テキスト1200dpi×600dpi、VDフォトカラー2400dpi相当、昇華フォトカラー600dpi×600dpi
使用可能用紙サイズ	A4タテ、B5タテ、A5、ハガキ、レタータテ、リーガルタテ、A4ノビ
対応用紙の種類	普通紙、官製はがき、VDフォトフィルム、VDフォトはがき、専用光沢シール、専用OHPシート、アイロンプリントシート、ラベカフリーシート、名刺作成シート、厚紙、光沢転写フィルム、フォトカラー・ペーパー（A4/はがき/シール）
給紙方式	自動給紙、手差し
給紙可能枚数	普通紙100枚、はがき30枚、OHP30枚、VDフォトはがき20枚、フォトカラーペーパー（A4/はがき）20枚
インターフェイス	パラレル36ピンアンフェノール（SCSI、USB接続アダプタはオプション）
同梱物	電源コード、マニュアル、インクカセット・紙用（C、M、Y、MF、光沢、黒：各1個）、プリンタドライバー、アプリケーションソフト&素材集CD-ROM、用紙受けトレイ
大きさ／重さ	462×300×190mm／約5.2kg
消費電力・電源	約40W・AC100V

*1 **アンフェノール**：台形のコネクタで、中に長方形の差込口がある。プリンター用のものは36ピン、SCSIは50ピンなどがある。
*2 **USB**：Universal Serial Busの略。キーボード、マウス、プリンター、モデムなどの周辺機器を接続するためのシリアルインターフェイス規格。MacではiMacから採用されている。最大127台までの機器を接続できる。
*3 **CMYK**：シアン、マゼンダ、イエロー、ブラックで、印刷時に用いられるの4つの色のこと。この色のかけ合わせで、カラー印刷が行なわれる。
*4 **パラレルインターフェイス**：同時に複数のデータをやりとりできる入出力ポート。
*5 **ドライバーソフト**：周辺機器とデータのやりとりを行なうための基本ソフトのこと。
*6 **SCSI**　Small Computer System Interfaceの略。パソコンと周辺機器を接続する標準インターフェイス。

きれいに印刷するには画像データの品質を高めなくてはならない

印刷テクニック学習編●デジタルフォトクリエーターに聞く印刷の秘訣

きれいに印刷するためのデータは、どのように準備すればいいのか。多数の作品をWebなどで公開しているプロカメラマンでもあり、デジタルコンテンツクリエーターでもある望月宏信氏に、低価格プリンターできれいに印刷する秘訣を聞いた。

デジタルフォトの第一人者である望月宏信氏は、数多くのカラープリンターを実際にテストし、デジタル出力テクニックに関してさまざまなノウハウを蓄積してきた。同氏に、きれいに印刷するための印刷テクニックを聞いた。

きれいに印刷する秘訣

――初心者だと、カラープリンターできれいに印刷するのが難しいという話をよく聞くのですが、きれいに印刷するための秘訣とはどのようなものでしょうか？

きれいに印刷することは、実は簡単なことなのです。基本的にはプリンターの特性を理解して、用紙の設定を間違えないことです。もちろん用紙の表裏を間違えてはいけません。普通の人がパソコンで印刷する場合には、自分がきれいだと思うものが出ればいいと考えましょう。

そもそも印刷するデータ（素材）がきれいなものでなければきれいな印刷はできません。色がずれていたり、解像度*1が荒かったりしたら、いくら高性能なプリンターでもきれいに出すことは無理です。もしプリンタードライバー*2の推奨設定できれいに印刷されなければ、元のデータがダメだと思ってください。きれいに出そうとプリンターの設定を変えるのではなく、元のデータを変えるようにしましょう。

印刷で重要なのは、印刷データがきれいで十分なサイズがある、色調整がきちんとできている、プリンターの設定を間違えない、この3つを守れば、まずきれいに印刷することができます。

もし印刷結果が画面に表示されているのと色合いなどが違うのならば、プリンター本体側に問題があると考えてください。画面できれいに写真データが表示されていれば、必ずきれいに印刷されるはずです。

――データのサイズが大きくなると、印刷のときにどういうメリットがあるのでしょうか？

最近のプリンターの印刷解像度は720dpi*3以上と、大変細かくドットを印刷することができるようになっています。それだけ高精度なプリンターを使っても、たとえば72dpiという低解像度のデータを印刷してもきれいに出力されません。実例をあげると、ショップで配っているプリンター見本のデータが、だいたいプリンターの最高解像度の1/4を目安にしてデータが作られています。もしプリンターの解像度が1,200dpiのものだったら、データの持つ解像度は300dpiで作られています。



望月 宏信氏
株式会社イリュージョン

1961年東京生まれ。日本大学芸術学部写真学科在籍中より数人のカメラマンに師事。主に自動車の撮影や商品撮影を学ぶ。1990年に独立、株式会社イリュージョンを設立。Photoshop、LivePictureが登場した頃から、本格的に映像処理を始める。現在ではデジタルイメージングを前提とした撮影やCG制作を手掛ける一方、国内外で数十タイトルのCD-ROMのプロデュースや制作に関わり、デジタルフォト関係の雑誌で連載も持つ。





――たとえば300dpiのデータだと、どれくらいの大きさになるのでしょうか？

300dpiのデータをA4サイズで作成すると、ファイルサイズはだいたい30MBぐらいの大きさになります。もしハードディスクの容量やメモリー少なくてデータの作成が難しいのでしたら、せめてその半分の15MBぐらいのデータを作るように心がけましょう。解像度を高くすればきれいに印刷されるかというと、実は300dpiのデータ以上の細かいデータを作っても、普通の人が見てもわからないレベルになっていまいます。

――もしデータの解像度が小さかったら、どうすればいいのでしょうか？

データの画素数が少ない場合、ほとんどのドライバーの方でアンチエイリアスというフィルターを自動的にかけてくれるようになっていますが、これだと画像がどうしてもぼけた絵になってしまいます。そのときはPhotoshop*4などのグラフィックソフトを使って、画像のリサイズをしましょう。これだけでもジャギー*5がなくなります。さらに、画面で見てシャープフィルター*6を使って、かけすぎにならないレベルで処理すると、くっきりとした印刷になります。

印刷したい画像の画素数が少ない、ピントが甘い、入力機の精度が甘い、この3つに当てはまる場合はソフトを使ってファイルサイズを大きくしたり、解像度を上げるようにしましょう。

きちんとした色調整を行なうこと

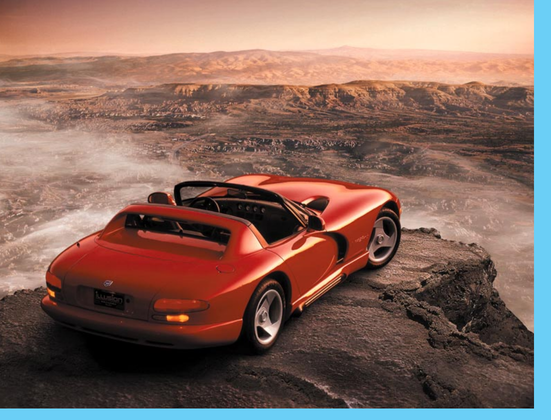
――色調整というと難しいもののように聞こえますが、どうやったらいいのでしょうか？

色合わせを厳密にやろうとすると、とても大変ですが、Macなら入力から出力まで色調整をしてくれるColorSync*7を使うのが一番簡単です。ColorSyncを使う前に、まずモニターの色合わせをきちんとしていなければいけません。モニターのマニュアルを読んで明るさとコントラストは調整しましょう。モニターの色が正確であれば、それに近い色合いで印刷されるはずです。

――素材もきちんとそろっていて、設定や紙も正しくしているのに、思ったように色がでないときはどうしたらいいのでしょうか？

たとえば印刷する画像の内容によっては、データを加工したほうがいい場合もあります。全体の配色を見ながら色調整すると、よりきれいに印刷することができます。写真と違ってプリンターでの印刷は原色が強いほうがきれいといわれます。空が多い画像だったら青色を強くするとか、画像全体にシャープフィルターをかけて輪郭をくっきりさせるなどの方法を使いましょう。





望月氏が制作したデジタルイメージ。氏のHP（http://www.bekkoame.ne.jp/~ipi/）にあるギャラリーコーナーで見ることができる。また、「GU満タン」というCD-ROM素材集にも、数多くの写真データが収録されている

まずは画像の一番黒い部分が黒く、白い部分が一番白くでるように調整しましょう。なぜこのようなことをするのかというと、プリンタードライバーが自動的に色調整処理するためです。

――自動処理されると、どうして問題なのでしょうか？

プリンタードライバー印刷処理のときに、一番白い部分を白として、自動的に色を調整しているためです。もし画像の色が、ちょっとマゼンダがかかっていたとすると、全体的にグリーンを薄く乗せてしまうので、印刷結果はグリーンがかった結果となってしまうのです。

――用紙や印刷時のオプション設定はいろいろありますが、どのように選べばいいのでしょうか？

専用紙と光沢感のある紙、用紙によって写真の出方は違います。それにプリンターのメーカーと異なるメーカーの紙を入れてもきれいに印刷されません。サイズも同じで光沢も同じように見えても、メーカーでは利用している紙と色の特性を合わせているので、色の出方は全く違ってきます。印刷設定についても同様です。普通紙設定だと紙の上のほうでインクが乾くように、光沢紙だと内部の層にしみこんで定着するように作動するので、ドライバー側でインクの出方とか量を厳密に調整しています。使う紙と設定を合わせないと、きれいに印刷されません。

きれいな印刷を求めるのであれば、Photoshopはちょっと高価ですが、なんからのグラフィックソフトを用意して画像データの編集することをお薦めします。デジタルカメラやプリンター、スキャナーなど付属してくるソフトでも、結構高度な処理ができますので、これらを使うことを覚えておきたいですね。ちょっとした処理をするだけで、必ずみんながきれいに見えるものを印刷することができるはずです。

*1　解像度：プリンターやモニターの画像の細部の表現能力をいう。単位はdpiである。
*2　プリンタードライバー：印刷するときに、用紙サイズや品質などを設定して、Macからプリンターに画像データを送ったり、プリンター本体をコントロールするための基本ソフト。印刷データを送るだけではなく、きれいに印刷できるように送るデータを修正したりしてくれる。
*3　dpi：Dot Per Inchの略。1インチ（2.54cm）のなかに、いくつの点を打つことができるかを表す。数字が大きい方が細かい点を打てる。
*4 Photoshop：Adobe社から販売されている画像レタッチ処理ソフト。
*5　ジャギー：画面や印刷物にでてくるぎざぎざ状のもの。ぎざぎざが大きくなると、画像が荒いといわれる。ジャギーが細かく、なめらかに表示される方がきれいに見える。
*6　シャープフィルタ：ぼやけた画像をくっきりさせるための処理を行なうフィルタ。ほとんどのグラフィックソフトには用意されている。
*7 ColorSync：Apple社が開発したカラーマネジメントシステム。モニター、プリンター、スキャナーなど機材の違いを自動的に調整し、どのデバイスでも同じ色が再現できるようにしている。コントロールパネル書類と機能拡張ファイルが必要。最新版はアップル社のHPから入手可能。

正しく印刷するために設定の方法を覚えよう

設定解説編●印刷するための設定

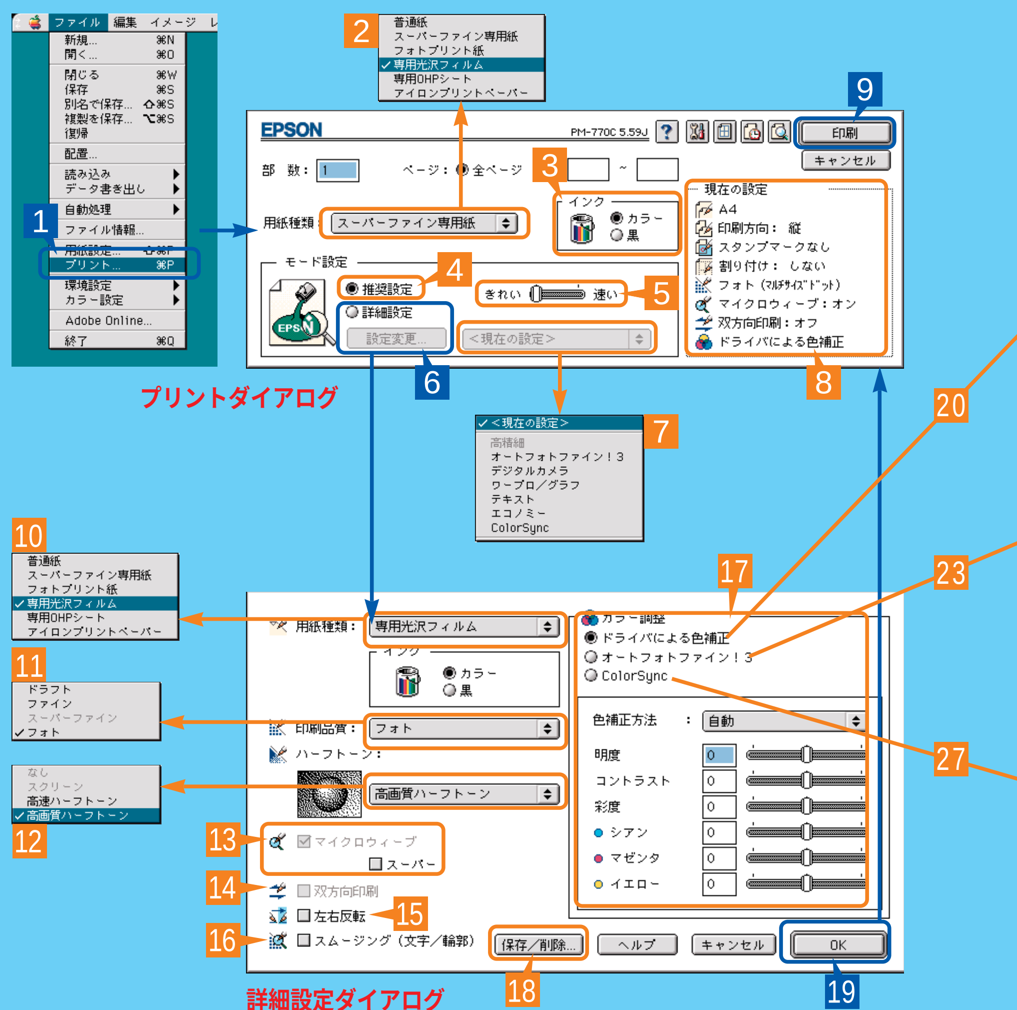
印刷の前に、印刷設定のダイアログの機能をきちんと理解していないと、せっかくのきれいなデータもうまく印刷されない。プリンターに用意されている設定の各機能を個別に紹介し、出力の違いがどうなるのかを紹介しよう。

ここではEPSON PM-770Cのプリント設定ダイアログを例に、細かな設定について紹介する。設定方法を覚えるというより、色補正やその他に用意されている機能の関係などを知ってもらうだけで十分だろう。各社ともそれぞれ独自の機能がプラスされるが、基本的には似たような設定項目になっているからだ。

右図を見てもわかるように、プリント設定は多機能かつ複雑であり、これを使いこなすのは大変そうに見える。しかし設定するのが面倒だというのなら、あえて何も変更しなくてもいい。最低限設定しなければならないのは、用紙種類だけなのだ。4の「推奨設定」のボタンをチェックしておけば、選択した用紙種類に応じて、プリンタードライバーが自動的に最適な状態で印刷を実行してくれる。

推奨設定で印刷した結果の色調に不満があるならば、手動で色補正を行なったり、あるいは別の色補正方式を試してみることもできる。しかし、なかなか望みどおりの色調を得ることはできないのが普通だ。試してみていい結果が出ない場合は、初心者は諦めたほうがいい。そのときはフォトレタッチソフトで画像を調整して印刷し直したほうがいいだろう。

ＰＭ-７７０Ｃ



1 プリント
印刷を行なうには、メニューバーの「プリント」（印刷と表示されるソフトもある）を選ぶことから始まる。

2 用紙種類
ここで使用する用紙を選択する。同じ紙種でもメーカーによって呼び名が違うことが多いので注意。

3 インク
カラー印刷するか、モノクロ印刷するかを指定する。カラー文書であっても、黒インクを指定することでモノクロで印刷することができる。

4 推奨設定
メーカー推奨値で印刷する場合に選択する。あれこれ設定するのが面倒な人は、このボタンをチェックすればいい。

5 品質／速度選択
印字品質を優先するか速度をとるか選択。「きれい」を選択すると、マルチサイズドット機能が有効になるが、そのぶん印字速度が落ちる。用途によって選ぼう。専用光沢フィルム以上の設定では無条件にマルチサイズドット印刷となるため、この項目は設定できなくなる。

6 詳細設定
詳細設定を選択すると、設定変更のボタンと「現在の設定」メニューが選択できるようになる。設定変更ボタンを押すと、下の詳細設定ダイアログが表示される。

7 設定リスト
詳細設定で保存した設定を選択でメニューきる。

8 現在の設定
現在の設定状況が確認できるので、なかなか便利だ。

9 印刷
印刷の開始ボタン。必要な設定が済んだら、このボタンをクリックすると、印刷が開始される。隣のプレビューアイコンを押すと「プレビュー」に表示が変わり、印刷イメージの確認ができる。

10 用紙種類
プリントダイアログの用紙種類。2と同じメニュー。

11 印刷品質
印刷品質の指定を行なう。紙種によって選べる種類が異なる。「フォト」を選択するとマルチサイズドット機能が働く。

12 ハーフトーン
中間色を表現するためのハーフトーン処理の方法を設定。メーカーによっては、紙種や印刷品質の設定で、ハーフトーンの種類が自動的に決まる。

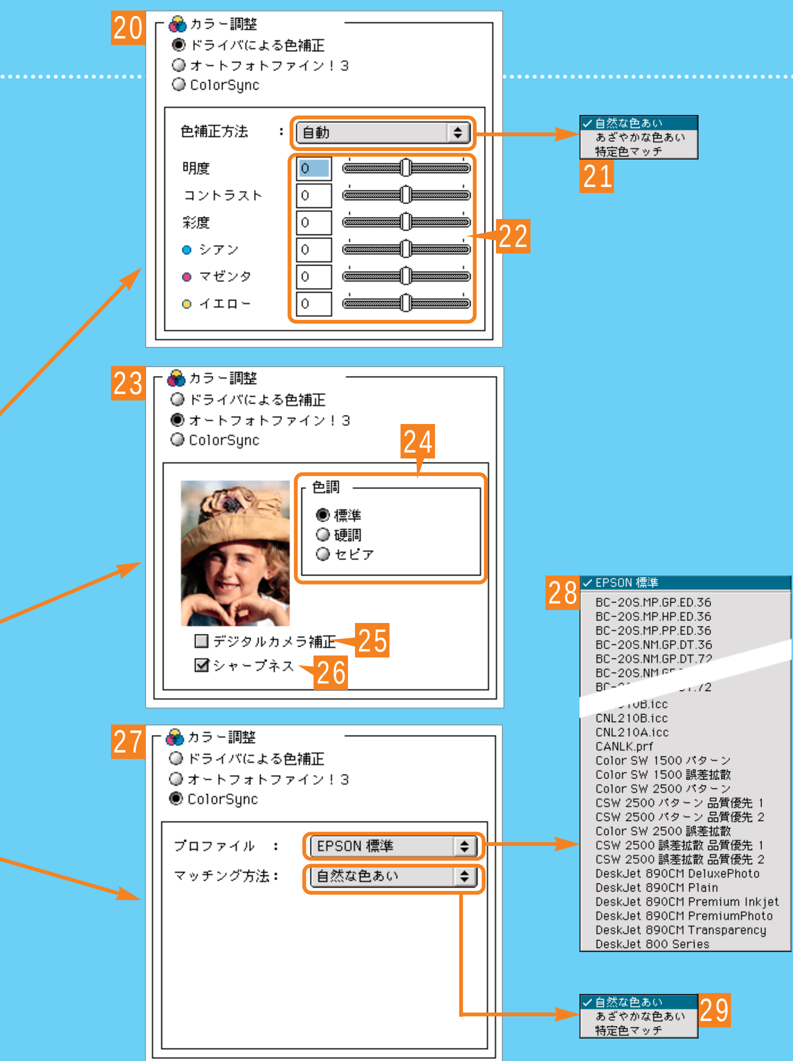
13 マイクロウィーブ
マイクロウィーブは、改行縞*1の発生を押さえる機能だ。品質で「フォト」を選択している時は、スーパーの設定ができるようになる。

14 双方向印刷
ヘッドの移動の行きと帰りを使って印刷するモード。速度は速くなるが、品質はやや落ちる。

15 左右反転
文字どおり、画像の左右を反転して印刷する。

16 スムージング
文字や線画の輪郭で生じるぎざぎざを目立たなく印刷する。ただしオンにすると、印刷時間は長くなる。

17 カラー調整
色補正の方法を選択。PM-770Cでは3種類の中からから選べる。



18保存／削除
詳細設定の内容に、名前を付けて保存できる。保存した設定は、プリントダイアログの「現在の設定」メニューの設定リストから選択することができる。

19ＯＫボタン
設定が終わったら「OK」ボタンでプリントダイアログに戻ろう。

20ドライバによる色補正
17と同じメニュー。

21色補正方法
色補正のタイプを選択。ほとんどの場合、自動に設定しておけば間違いがない。メーカーによっては、写真／グラフィック、フォト／ビジネスグラフィックなどと分類されることもある。

22手動補正
ユーザーの好みで色調の補正を行なうことができるが、最適な値を得るのはなかなか難しい。初心者はこの設定には触らないほうがいい。

23オートフォトファイン！３
主にデジタルカメラやスキャナなど、外部から取り込んだ画像を最適化する、EPSON独自の色補正方式。

24色調
標準：鮮やかな方向で補正されることが多いようだ。
硬調：さらにメリハリの付いた画像になる。
セピア：セピア調の画像になる。

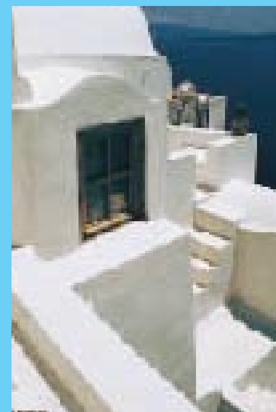
25デジタルカメラ補正
デジタルカメラの画像を最適化する。

26シャープネス
主に画像の輪郭部*2が強調される。以上3つの補正項目は、既にアプリケーションで最適化された画像に対しては、やり過ぎで逆効果になることもあるので注意。

27ColorSync
AppleのColorSyncによる色補正を行なうモード。

28プロファイル
いろいろなプロファイル*3がリストされるが、EPSON 標準を選ぶこと。これにより、EPSONプリンターの特性プロファイルがColorSyncに受け渡される。

29マッチング方法
カラーマッチング*1方法を3種類から選択する。



色補正を行わない場合

まったく色補正を行わないように設定した印刷結果。非常に濃く印刷されてしまう。



推奨設定での印刷

光沢紙指定時の推奨設定での印刷。画面に近い色調が再現されている。無補正の印刷と比べると、自動的な色補正が有効に働いていることがよくわかる。



カラー調整を行なったときの印刷

カラー調整方式としてオートフォトファイン!3を選択した場合の印刷。PM-770Cの特徴である５色のカラーインク、とくにライトシアンインクをうまく活かした結果だろう。とても鮮やかで好感度が高い印刷だ。



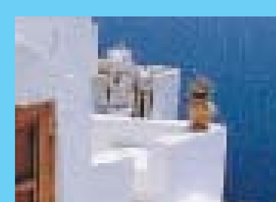
セピア機能を使ってみた

オートフォトファイン!3のセピア機能を使ってみた。面白い効 果ではあるが、本来こういった効果はフォトレタッチソフトで処理すべきだろう。



双方向印刷でのずれ

速度を優先した双方向印刷を行なうと、微妙に横方向の印刷ラインがずれてしまう



スムージングをかけた結果

スムージングをかけると、細かいエッジがぼやけた状態で印刷される



シャープネスをかけた結果

シャープネスをかけると、エッジがよりくっきりした結果となる

ここでは、PM-770C以外の3機種のプリンター設定ダイアログを説明する。基本的な設定項目は同じようなものなので、重要度が高いと思われる機能を中心に紹介している。ちなみに、どのプリンターも基本的には用紙の種類を指定するだけで、最適な印刷モードが自動的に設定されるようになっている。

BJ F200u

印刷目的に合わせて3種類以上のインクカートリッジが用意されているという事情から、使用するインクカートリッジの種類もダイアログで設定する必要があるのが大きな違いだ。たとえば写真画像の印刷だけを行なうなら、フォトカートリッジだけを使い続ければいい。フォトカートリッジ*4は、紙質によってはきれいに印刷できないので、サードパーティの光沢紙を使うときには注意が必要だ。

DeskJet 895Cxi

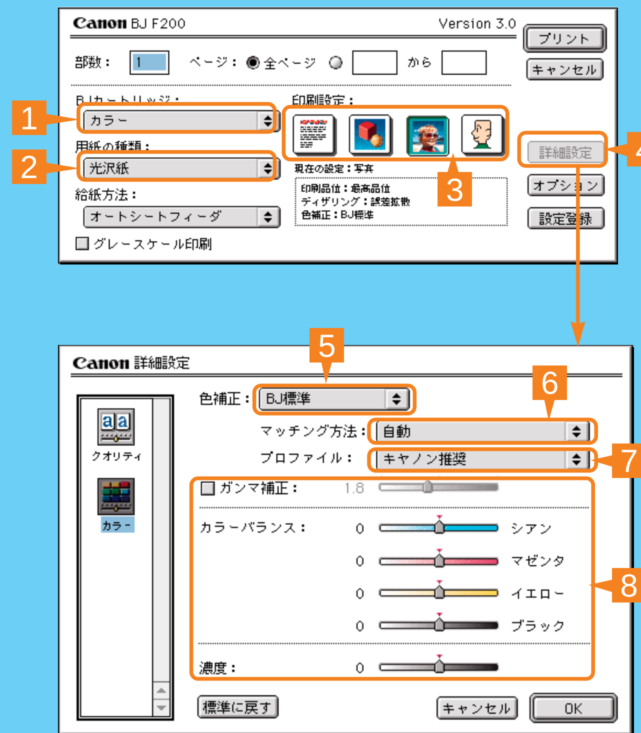
設定画面はシンプル。用紙の種類とともに、プリント品質としてベストとノーマルが選択できる。ノーマルは印刷速度は速いが粒状感*6が気になる。ベストの方が印刷品質が高いが、ノーマルの印刷と比べて印刷時間が3割〜4割程度伸びる。

MD-5000

用紙の種類はプリントダイアログではなく、用紙設定ダイアログの方で指定するようになっているのが大きな違いである。VDフォト印刷*7、特色印刷*8、光沢処理、下地処理など、いろいろな印刷バリエーションが楽しめるのがMD-5000の特色だ。

*1 改行縞：プリンターの印刷部が改行したところにほんのわずかなずれが生じて、模様になってしまうこと。
*2 輪郭縞：画像や線の境目のところに、ほかのドットのつながりから模様のように見えてしまうこと。
*3 カラーマッチング：色あわせのこと。
*4 フォトカートリッジ：キヤノンのプリンターに用意されている、高品質に印刷するためのインクカートリッジ。通常のものに比べて、解像度が高くなっている。
*5 粒状感：ドットの点々が見えて、ざらざらになっている状態。
*6 VDフォト印刷：アルプスMD-5000での高品質印刷モードのこと。
*5 特色印刷：普通のインクでは再現できない、金や銀などの色を印刷すること。
*8 VDフォト印刷：アルプスMD-5000での高品質印刷モードのこと。

BJ200u



1 印刷設定
プリンターにセットしたインクカートリッジの種類を設定する。種類にはブラック、カラー、フォトの3つがある。

2 用紙の種類
普通紙、高品位専用紙、光沢紙、光沢フィルム、はがき、封筒など13種類が選べる。この選択に合わせて最適な印刷モードが自動的に設定される。

3 印刷設定
文書、グラフィックス、写真、マニュアルの4種類が選択できるが、グラフィックスと写真の設定内容は同じようだ。

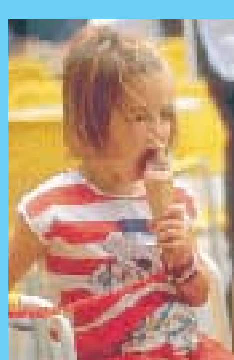
4 詳細設定
印刷設定でマニュアルを選択した場合のみ、詳細設定ダイアログを開くことができる。

5 色補正
キヤノン独自の色補正か、ColorSyncを選択可能。

6 マッチング方法
自動、写真、グラフィックス、スポットカラーが選べる。

7 マニュアル補正
ガンマ、カラーバランス、濃度を好みに応じて調整できる。ガンマ補正ができるのはキヤノンのドライバの特徴だ。

8 印刷設定
プリンターにセットしたインクカートリッジのバランスや濃度を設定する。



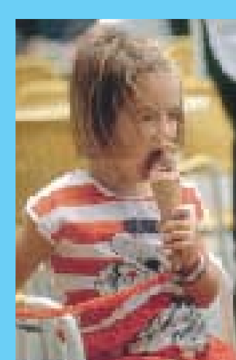
ノーマルのカラーインクを利用

ノーマルのカラーインクで専用紙に印刷。粒状感が気になる（インクの粒が目立つ）



フォトカラーインクを利用

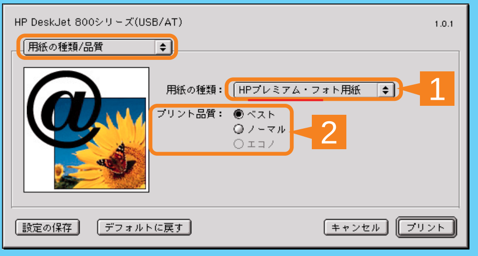
フォトカラーインクで専用紙に印刷。粒状感はノーマルカラーインクよりも優れている



光沢はがきに印刷

フォトカラーインクで、サードパーティの光沢ハガキに印刷。濃度の高い部分でインクがむらになってしまっている

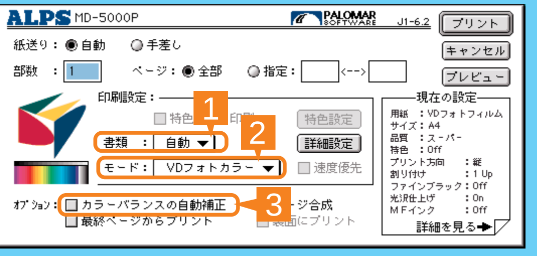
DeskJet 895Cxi



1 用紙の種類
普通紙、インクジェット専用用紙、フォト用紙、プレミアムフォト用紙などが選べる。ここで選択した用紙に合わせてインクの噴射量、印刷スピード、色補正が選択される。

2 プリント品質
ベスト、ノーマル、エコノの3モードがあるが、用紙によって選択できるモードが異なる。

MD-5000



1 書類
印刷する書類のタイプを、カラー写真、グラフィック、モノクロテキストの中から選択する。自動を選んでおけば、ドライバーが自動的に書類タイプを判断する。

2 モード
印刷するドキュメントのタイプに合わせて、モノクロ、グレースケール、カラーの中から自動的に選択する。

3 オプション
MDシリーズならではの光沢仕上げ印刷を指定できる。

色調整をきちんと設定して、よりきれいな印刷を目指そう

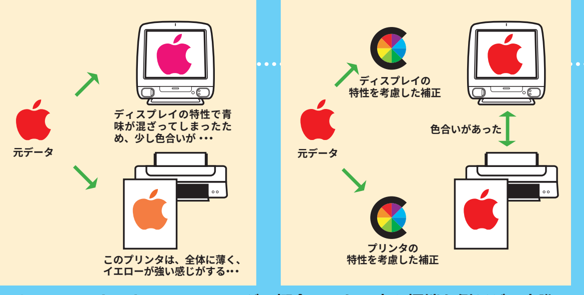
色調整が簡単にできるColorSync

MacOSには標準のCMS（カラーマネージメントシステム）としてColorSyncが搭載されている。ColorSyncを「ディスプレイの色を調節するもの」だと思っているユーザーも少なくないようだが、それは明らかな間違いだ。モニターをはじめ、プリンターやスキャナー、その他の色を扱う機器は、それぞれの特性を持ち、表現できる色の領域が違っているということをまずは理解して頂きたい。そしてColorSyncとは、それぞれの機器の特性を認識して、その差を補正するためのシステム全体を指す。

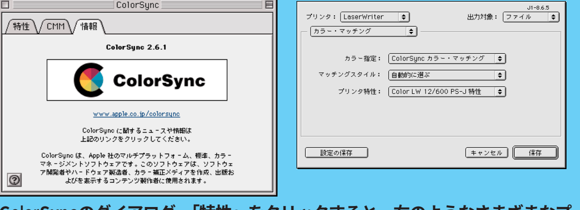
「ColorSync特性」フォルダーに納められたファイルには、それぞれの機器の特性（プロファイル）が書き込まれていて、各アプリケーション（プリンタードライバーなども含む）は、それを読み出し、必要に応じて補正を施すことになる。この際の補正にColorSyncを用いることになるのだ。

それぞれの機器やアプリケーションが積極的にColorSyncに対応している専用のプロファイルが用意されていない限り、トータル的に効果が得られないことが難点だ。実は自前でカラー補正を行なうアプリケーションも多く、プリンタードライバーなどはまず間違いなく各社独自の補正機能を持っている。二重に補正がかかってしまい、思うような結果が得られないこともある。

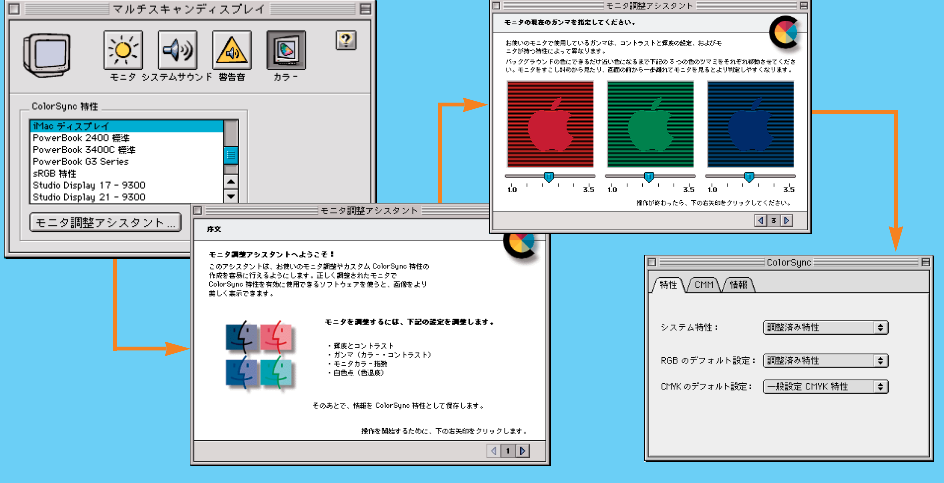
プリンターの色補正にColorSyncを利用した場合はモニターカラーの設定が印刷の色調に影響する。コントロールパネルからモニター＆サウンドを選択し、カラー調整アシスタントを実行してモニターの特性を設定しておこう。



ColorSyncによるカラーマッチングの概念。これは少々極端な例だが、実際には、元データの取り込み時や、画像加工時のアプリケーションなども関わってきて、もっと複雑な系図が必要になる



ColorSyncのダイアログ。「特性」をクリックすると、右のようなさまざまなプロファイルを設定する画面が表示される。ここでモニターやプリンターのColorSync用プロファイルを設定すれば、ColorSyncが自動的に色調整をしてくれる



モニターの色調整方法

1 コントロールパネルのモニタ＆サウンドを開き、モニタ調整アシスタントを実行する。ただし、ディスプレイ一体型であるiMACの場合は始めからモニタのプロフィールがシステムに登録されているので設定は不要だ。

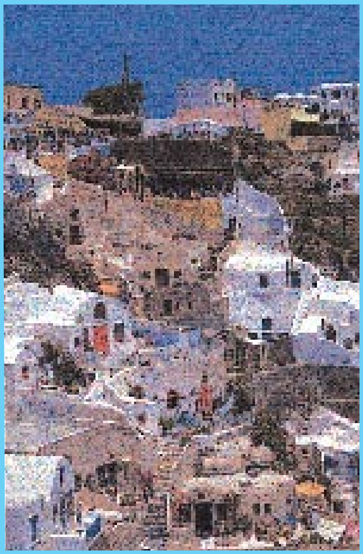
2 ここから数画面にわたって、モニタ調整アシスタントの指示に従って、画面の調整を行なう。

3 RGBの色バランスを調整する画面。表示されるアップルマークが見えなくなるようにスライドバーを調整する。調整が終わったら、システム特性として先程保存したディスプレイの設定ファイルを指定する。

4 設定したプロファイルは、コントロールパネルからColorSyncを開いて表示される画面で設定すればよい。

エプソン PM-770C

❶普通紙



❷インクジェット専用紙



❸光沢紙



左から、❶普通紙、❷インクジェット専用紙、❸スーパーファイン光沢紙に印刷した例。それぞれ、メーカー専用用紙を使い、紙質に合ったメーカー推奨設定で印刷したものである。見比べると、普通紙に比べて光沢紙のほうが、色合い発色などの出方に違いがある。インクジェット専用紙と光沢紙はどちらもよく再現されているが、細部の再現力は光沢紙の方がよい。実際に印刷物を見ると、色のつややエッジの出方など、光沢紙が圧倒的に優れている

適切な用紙を選択して美しい出力を得る

用紙選択編●目的に応じた用紙を選ぶ

インクジェットプリンターは、いろいろなタイプの用紙に印刷することができる。しかし普通紙に印刷すると、インクがにじみ、鮮やかな発色が出にくい。そこでプリンターメーカーは、自社プリンター向けの専用用紙を用意している。ここでは、用紙による印刷品質の違いをチェックしてみよう。

ここでは、実際の印刷例を見ながら、プリンター用に発売されている紙の種類とその特性について紹介していこう。

❶はごく普通の複写機用の普通紙に印刷したものである。印刷結果を見ると、インクのにじみによって、ピンぼけな感じになってしまった。真っ黒であるべき窓の部分の濃度が足りず、全体にコントラストが低く、あまりよい品質では印刷できない。しかし普通紙は他の用紙に比べて圧倒的に安価に入手できる。

❷はインクジェット専用紙に印刷したものである。インクジェット専用紙は何層かに重ねられており、表面でインクを吸収し、その下の層でインクを捕まえてにじみを押さえ、最後の層で裏写りを防止する構造になっている。

インクジェット専用紙への印刷例を見るとにじみがなく、シャープに出て、インクの濃度も十分だ。普通紙にくらべて純白度が高い紙色のため、画像の白の部分がとてもクリアに印刷できている。普通紙の印刷サンプルと見比べると、空の青の色調が大きく異なっていることがわかる。

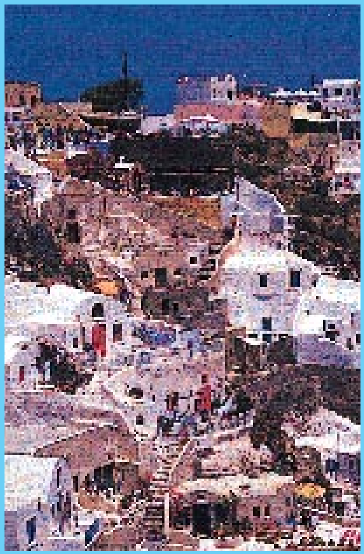
インクジェット専用紙は比較的値段が安価なので、常用することが可能だ。ただし、普通紙とは手触りがちょっと異なること、鉛筆で文字が書きずらいのが難点といえるかもしれない。

❸は光沢紙に印刷したものである。光沢紙はインクジェット専用紙に、光沢や白を際立たせるための層などが追加された特殊な用紙だ。印刷サンプルは紙面だと専用紙との違いはわかりにくいかもしれないが、実際の見た目は表面の光沢の影響で大きく異なる。この光沢が写真のプリントに近い感触を生み出しており、白をより白く、黒をより黒く見せる効果もある。発色の鮮やかさも専用紙を超えているといえるだろう。

写真プリント並の高画質を出したいなら、迷わず光沢紙を使うことだ。

❹は光沢紙にわざと普通紙設定で印刷し、設定が間違えたときに印刷結果がどうなるのかを示すサンプルだ。❸と比べると色も暗めになり、全体的にぼやけた感じとなった。設定を間違えると、光沢紙を使っても、望み通りの美しい結果を得ることはできない。光沢紙を使うときは、特に用紙設定が正しく設定されているのか印刷前に確認するようにしたい。

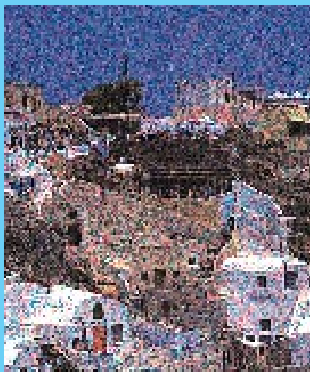
❹光沢紙（普通紙設定で印刷した失敗例）



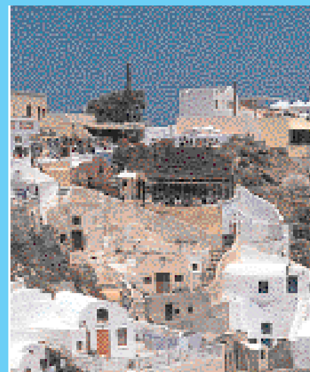
光沢紙に「普通紙設定」で印刷した例。❸と比べると、まったく異なる色調で印刷されていることがわかる。

他のプリンターの印刷例

DeskJet895Cxi



▶普通紙



▶光沢紙

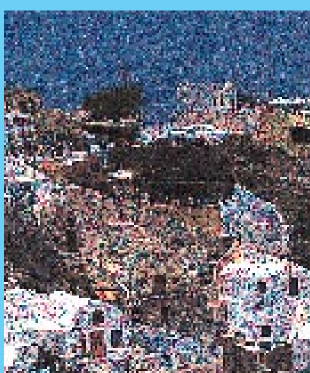
光沢紙の印刷結果は、全体的に画像が明るく出ており、好印象を受ける。普通紙印刷も他のプリンターと比べて一番色の出方がよい。特に空の青い部分は、用紙を変えてもそれほど色の差がないのは優れている。普通紙でも専用紙に近いレベルで印刷できる

ここでは、DeskJet 895Cxi、BJ F200u、MD-5000、3機種のプリンターを使い、前ページと同じテストを行なった結果を報告する。それぞれ専用紙を使い、推奨設定で印刷したものである。同じデータを使って印刷しても、微妙に色合いが異なっているのがわかるだろうか。空の青色の出方の差や、建物の境界線などの部分の出方を見比べてほしい。

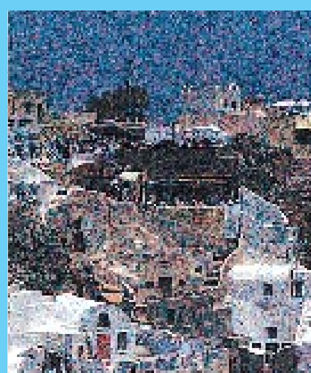
普通紙に印刷したときは、DeskJet 895Cxiが思いのほか高いクオリティの印刷結果を得ることができた。このプリンターは、さまざまな用紙でバランスよく印刷できるといえるだろう。BJ 200uは普通紙印刷では、ドットが荒く見えてしまう。しかし、この程度の品質ならは、ホームページの画像を印刷するくらいなら十分だろう。MD-5000はマイクロドライ方式のため、普通紙に印刷しても、光沢紙に近いつやのある色あいとなる。

写真品質に近いレベルで印刷したいのであれば光沢紙（専用紙）を使ったほうがいいのはいうまでもない。しかし、数多く印刷する必要があるとか、画像の大まかな確認であれば、普通紙が十分実用になることがわかっただろうか。

BJ F200u



▶普通紙



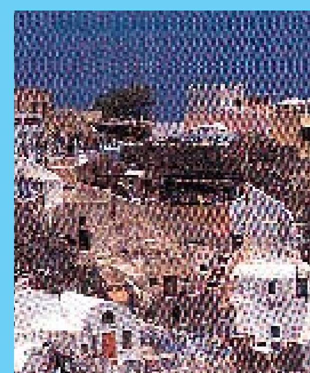
▶光沢紙

普通紙には標準カラーインク、光沢紙にはフォトカラーインクで印刷した。粒状感、色表現とも光沢紙が優れているが、普通紙の方はやや白いところにグレーのドットが混じっているのため、カラーバランスがやや崩れてしまっているのが残念

MD-5000



▶普通紙



▶光沢紙

マイクロドライ方式のため、インクジェットプリンターのようなにじみがなく、普通紙印刷としては最高の品質を見せている、解像力でVDフォトフィルムが有利だなのはもちろんだが、普通紙でも光沢のある色調が再現されており、高い色再現性を持つといえる

各プリンターメーカーの専用紙の種類と価格の一例

各プリンターメーカーから販売されている用紙の価格を紹介にした。各メーカーから、さまざまなサイズや種類の用紙が発売されている。光沢紙は10枚〜20枚ぐらいのセットで売られているものが多い。これ以外にもOHPシートやTシャツに印刷するための専用フィルムなども用意されているので、用途によって使いわけたい

●エプソン販売

スーパーファイン専用紙	A4	100枚	\1,000
スーパーファイン専用ラベルシート	A4	10枚	\1,000
スーパーファイン専用光沢フィルム	A4	20枚	\2,800
スーパーファイン専用ハガキ	ハガキ	50枚	\500
フォト・プリント紙2	A4	20枚	\1,200
フォト・クォリティ・カード2	ハガキ	20枚	\400
フォトカード2	114×175mm		\600
アイロンプリントペーパー	A4	5枚	\1,000
ミニフォトシール	ハガキ	5枚	\500
専用OHPシート	A4	30枚	\4,500
バックプリントフィルム	A4	20枚	\3,500
バックプリントフィルム	A3	20枚	\7,000
バックプリントフィルム	A4S	5枚	\1,000
バックプリントフィルム	A3S	5枚	\2,000
フォト光沢紙	A4S	20枚	\1,200
フォト光沢紙	A3	20枚	\2,500
フォト光沢紙	A3ノビ	20枚	\3,000
フォト光沢ハガキ	ハガキ	50枚	\600
フォト光沢カード			\1,000
Tシャツ転写紙	A4S	5枚	\1,000

●ヒューレットパッカード

プレミアム・フォト用紙	A4	15枚	\1,100
プレミアム・インクジェット専用紙	A4	200枚	\2,500
プレミアムOHPフィルム	A4	50枚	\6,000
バナー用紙	A4	20シート連続x5	\1,800

●キヤノン販売

高品位専用紙	A4	100枚	\1,200
高品位専用紙	A3	50枚	\1,000
高品位専用紙	A3ノビ	50枚	\1,300
高品位専用紙	B5	50枚	\400
高品位専用紙	B4	50枚	\800

●アルプス電気

ハイグレード・ペーパー	A4ノビ	10枚	\1,600
ハイグレード・ペーパー（上質紙）	A4	100枚	\1,000
専用光沢紙	A4	200枚	\1,000
専用光沢はがき	148×100mm	20枚	\400
アイロンプリントセット	A4	10シート	\1,000
フォトカラー・ペーパー	A4	20枚	\2,200
フォトカラー・はがき	148×100mm	20枚	\700
フォトカラー・シール・名刺用	10シート	10枚	\900
フォトカラー・シール・はがき用	10シート	10枚	\900
VDフォトフィルム	A4	20枚	\1,100
VDフォトはがき	180×100mm	20枚	\500



田島 貞男氏
コニカ(株)
IJメディア営業部 課長



中川 理子氏
コニカ(株)
IJメディア営業部

プリンター用紙は科学技術の粋を集めて作られている

プリント用紙メーカーに聞く●コニカ社インタビュー

カラープリンター用紙は、さまざまなメーカーから多岐にわたる製品が販売されている。インクジェットプリンター用の紙はどういうものなのか、どうやって作られているのか、プリンター用紙のトップメーカーであるコニカ株式会社に尋ねてみた。

――カラープリンター用の用紙には、いろいろな種類やサイズがあります。現在、どのような用紙のニーズが高いのでしょうか？ またプリンター用紙に求められているものはなんでしょうか？

田島●現在ではA6サイズの用紙が一番多く売れています。これはデジタルカメラが普及してきて、撮影した画像を自宅のカラープリンターで出力したい、というニーズが増えているためだと思います。そのためデジタルカメラで撮影してプリンターで印刷したものでも、手に持った時の手触り感や紙の光沢など、写真でプリントされるものと同じ品質が求められていますので、それらのニーズに応えられる用紙を開発してきました。

中川●品質とは違うかもしれませんが、環境問題についてもとても気にされる方が増えてきました。印刷したものは手に触れるものですから、コニカの用紙は体に害のあるような物質は使っていません。写真メーカーですから、製造課程においても環境問題に気を使っています。

――コニカでは各プリンターメーカーすべてに対応する用紙を販売されていますが、プリンターメーカーごとに発色とかは変わるのでしょうか？

田島●コニカの用紙はユニバーサルタイプといって、どのメーカーのプリンターで印刷しても遜色ない出力品質が得られるように作られています。お客様からは「コニカは写真メーカーだから色がきれいだ」という評価をいただいています。過去にメーカー純正紙と色が違うというクレームはほとんどありませんでした。ユニバーサルタイプの用紙は、たとえば2台の異なるプリンターがある環境でも、機種を気にせず使えるので、利用されている人も多くいます。

――クオリティの高い用紙は、普通の紙と構造が異なるのでしょうか？

田島●当社で出しているフォト光沢シリーズの場合、横から見ると4つの層に分かれています（図1参照）。まずベースとなる素材は写真のプリント紙と同じレジンコート紙という材質を使い、手触り感が写真のものと同じ感触を実現しています。そして用紙の構造のなかで一番重要なのがインクの吸着層です。ここではインクのドットが丸く、かつ隙間なく平滑になるよう工夫をこらして作られています。この吸着層には紙おむつで使われているポリマーという素材を使っており、インクを素早くなめらかに吸い込み、にじまないようになっています。

中川●当社の光沢紙の厚さは260ミクロンで、光沢紙の中ではもっとも厚いものです。これくらいの厚さがあると、いままでの写真ではできなかった使い方をされている人もいます。プリンターで図を打ち出して、カッターで切ったりしてペーパークラフトを組み立てているようです。

――将来的にプリンター用紙というのは、どうなるのでしょうか？

田島●今度販売する絹目調の光沢紙を始め、これから用紙のバリエーションを増やしていきます。将来的には長期保存と高速印刷に対応できる用紙が開発されるでしょう。よりよいものを作るべく、さまざまな製品の開発も進めています。デジタルカメラで撮影したものを自宅で印刷することを、ホームフォトプリント」と呼んでいます。今後はカラープリンターでホームフォトプリントを楽しまれる方が、どんどん増えていくでしょう。

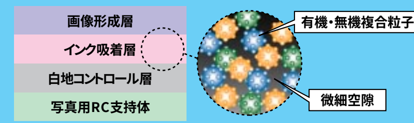


図1●コニカのプリンター用紙の構造は4層構造になっており、下のRC保持帯、保持層でインクを強固に保持させ、定着させる。層が分かれているため、インクがにじむこともなく、しっとりとした手触り感を出しているのが特徴

メーカー	EPSON	Canon	NEC	HP				Apple
プリンタ	MJ・PM シリーズ（注1）	BCJシリーズ（注2）	PICTY シリーズ	DeskWriter シリーズ	DeskJet シリーズ	PrintSmart シリーズ	StyleWriter シリーズ
用紙設定（種類）	専用光沢フィルム	光沢紙 高品位専用紙	専用紙	特別用紙	HPプレミアムフォト用紙 スペシャル用紙 他のフォト用紙	フォトプロジェクト用紙	特殊コート紙 プレミアムコート紙
印刷品位	スーパーファイン	高品位 標準インク	高精細	ベスト	ベスト	ハイパス	品質優先

図2●コニカのすべての用紙パッケージの裏には、利用しているプリンタごとに用紙設定の条件が書かれている。用紙の名称はメーカーごとに違うこともあるが、ここを見ながら用紙設定すれば、最適な印刷品質を得ることができる



コニカが販売しているインクジェットプリンター用紙のラインナップ。光沢紙からコート紙、OHPなど、さまざまな用紙が用意されている。（http://www.konica.co.jp/）



コニカから新しく販売される絹目調の専用紙「Photolike QPフォトシルキー厚手」

Macware Selection

SOFTWARE

HARDWARE

※前月紹介分までの製品名の索引（Selection Index）を、CD-ROM MACLIFEにPDFファイルとして収録してあります。

アドビ・ページ・メーカー

Adobe PageMaker 6.5 Plus 日本語版

テンプレート、イラスト、デジタル写真集、Photoshop 5.0 LE版が付属、Acrobat 4.0日本語版にも対応

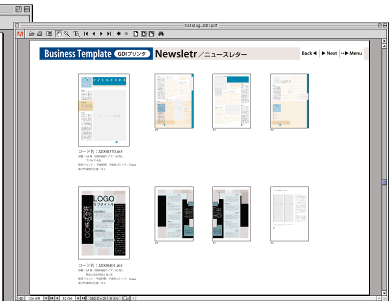
Get Information

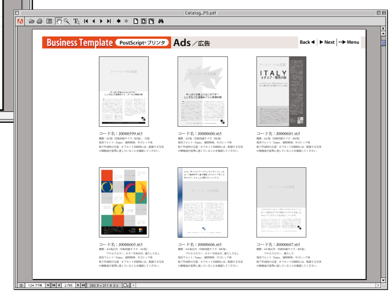
開発元・問合せ●アドビ システムズ(株) (03-5350-0407)
URL●http://www.adobe.co.jp/
価格●オープン価格（推定市場価格45,000円）
バージョン●6.53
対応機種●68040以降またはPowerPC搭載機
動作環境●漢字Talk7.5.3以降、Mac OS 8.6には未対応
メモリー●10MB以上

Check Point

約300種類のいろいろなビジネスシーンで使用できるテンプレート集が付属され、誰でも簡単に高品質な書類を作成できて便利。Illustratorフォーマットのイラストも広範囲で活用できる。







添付されている合計300のテンプレートは、さまざまなジャンルに分類され、各分類ごとにGDIプリンタ用とPostScriptプリンタ用が2種類のテンプレートが用意されている。どんなテンプレートがあるかは、付属のPDFファイルで確認することができる

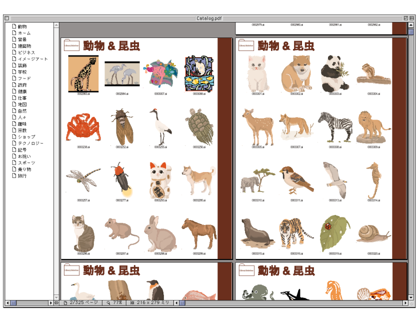
定番ページレイアウトソフト「Adobe PageMaker 6.5 Plus日本語版」は、プログラム本体のマイナーバージョンアップに加え、テンプレート集、イラスト集、デジタル写真集などが添付した。

今回のバージョンアップのメインは、テンプレート集、イラスト集、デジタル写真集、そしてAdobe Acrobat Reader 4.0J、Adobe Acrobat Distiller 4.0J、Adobe Photoshop 5.0 LE版が同梱されたことだ。

PageMakerは、DTP*1には欠かせない高品質な印刷にも対応しているプロフェッショナルなページレイアウトツールだが、操作性がよく使いやすいため、デザイナーではだけではなく、ビジネスシーンでも広く使われている。しかし、プロのデザイナーではないビジネスユーザーが、見栄えのよい書類を作成するのは至難の業。今回発売されるPageMaker 6.5 Plusは、こういったユーザーでもプロフェッショナル並みのドキュメントを簡単に作成できるようにプロのデザイナーによってデザインされた約300種類のテンプレートが添付されている。さらに、最適なプロフェッショナルによってデザインされた約4,700種類のAdobe Illustrator形式のイラスト、約300種類の高解像度CMYK写真画像（300dpi）も添付されている。これらの素材を使えば、誰でも簡単にかなり高品位のページレイアウトを行なうことができる。また、付属のAdobe Photoshop 5.0 LE版を使えば、添付されている写真画像やデジタルカメラで撮影したオリジナルの画像を加工することも可能だ。さらに、Adobe Acrobat Distiller 4.0Jが付属しているので、6月に発売されたAdobe Acrobat 4.0Jに対応したPDF*2ファイルを作成することもできる。

今回のバージョンアップでは、PageMakerのプログラム本体のバージョンは、6.53J。これはアドビシステムズ社のWebページで昨年9月より無償配布されているMac OS 8.5に対応したアップデータと同じバージョンだ。そのため、プログラム本体に大きな変更点はない。さらに付け加えておくと、このバージョンはMac OS 8.6には完全対応していない。Mac OS 8.6で使用すると、テキストを含むEPSファイルを印刷すると、Type1エラーでクラッシュする、ASCIIファイルを割り付けるとType2エラーでクラッシュする、Illustratorファイルを割り付けるとType1あるいはType2エラーでクラッシュするという3つの問題が起こる可能性がある。しかし、これはPage-MakerではなくMac OS 8.6側の問題で、これを解決するためのMac OS 8.6のアップデータはAppleから提供されるとのことだ。

なお、PageMaker 6.5正規登録ユーザーのバージョンアップ価格は、10,000円。また、6.0ユーザーは、15,000円、6.0以前のユーザーは25,000円で6.5 Plusへアップグレードできる。さらにパッケージ内に同梱されているPhotoshop 5.0J LE版も52,500 円（内消費税額2,500 円）で、Photoshop 5.0Jへバージョンアップできるので、Photoshopの購入を検討しているユーザーにもお薦めだ。 ●渡辺美岐



イラスト集もさまざまジャンルごとに分類されている。PDFファイルのカタログが同梱されているので、どんなイラストが添付されているかはすぐに確認できる



コストパフォーマンス	★★★★☆
機能	★★★★☆
操作性	★★★★☆
マニュアル	――
総合評価	★★★★☆

*1 DTP：デスクトップパブリッシング（Desk Top Publishing）の略。その名のとおり、文字の入力からイラストの作成、組版やレイアウト、出力までの作業をパソコンで処理することを可能にするシステム。PageMakerを発売したAldusが作った造語。 *2 PDF：Portable Document Format。Adobe AcrobatはPDFを作るためのユーティリティ。印刷可能ならどんなアプリケーションからでもPDFを作成できる。PDFなら閲覧するAcrobatReader（Mac版、Windwos版が無料で提供されている）さえあればMacやWindowsなどのプラットホームに関わらず開いて閲覧することができる。

エクステンシス・スーツケース

Extensis Suitcase 8J

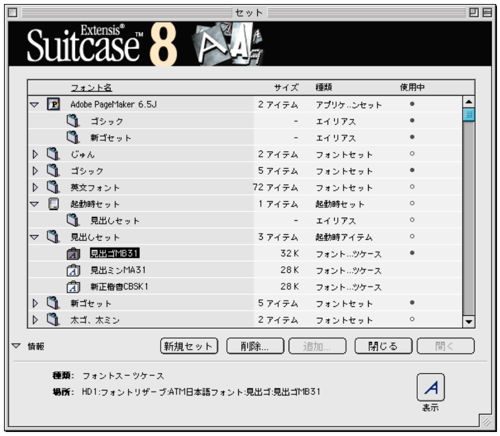
Mac OS 8.6に完全対応。フォント管理機能が使いやすくなって、バージョンアップ！

Get Information

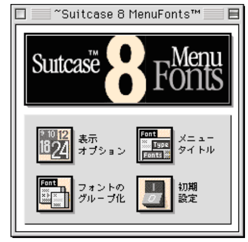
開発元●Extensis社
問合せ●ウイニングランソフトウェア(株)(03-3372-8441)、(株)ソフトウェア・トゥー(03-5676-2177)
URL●http://www.winningrun.co.jp/
http://www.swtoo.com/
価格●12,800円
対応機種●PowerPC搭載機
動作環境●漢字Talk7.5.5以降、Mac OS 8.6対応、QuarkXPress 3.3J以降（Suitcase 8 XTを使用する場合）
メモリー●4MB以上

Check Point

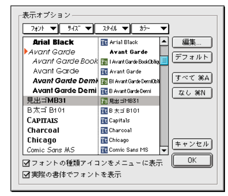
Macを再起動せずにフォントのオン／オフを設定できる。ATM日本語フォントの管理も簡単になった。QuarkXPressで、自動的にフォントが読み込まれ、特に便利だ。

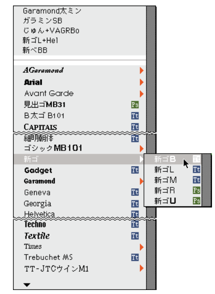


アプリケーションセット、フォントセット、起動時セットを作成し、ドラッグ＆ドロップでフォントを登録できる。登録したフォントセットを他のセットにドラッグしてフォントセットのエイリアスを登録することも可能



今回のバージョンから追加された「Suitcase 8 MenuFonts」コントロールパネル。このコントロールパネルによって、アプリケーションのフォントメニューに実際の書体を表示したり、フォントファミリーをまとめて表示させることができる





各アプリケーションのフォントメニューの表示方法をカスタマイズすることも可能

漢字Talk6の時代からMacのスーツケースを管理するユーティリティとして、多くの人に利用されてきた、Suitcaseがバージョン8にアップデートし、Mac OS 8.6に完全対応した。

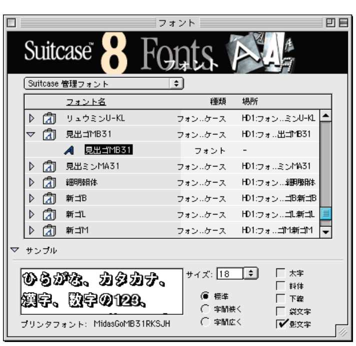
システムフォルダの「フォント」フォルダーに多くのフォントを入れていると、起動時にすべてのフォントを読み込むことになるため、メモリーの消費量が増え、Macのスピードが遅くなったり、Mac OSがフォントを管理することができなくなり、エラーが起こりやすくなるといったトラブルが発生する場合がある。また、アプリケーションのフォントメニューからフォントを選択する場合も多くのフォントが表示され、選択に時間がかかってしまう。しかし、フォントフォルダーからフォントを出してしまうと、そのフォントが必要なときは、フォントフォルダーに入れ、Macを再起動しなければならない。

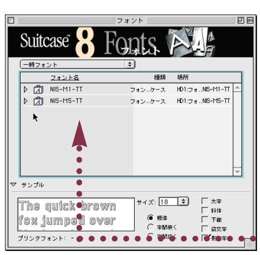
Suitcaseはこういった問題を解決するユーティリティだ。Suitcaseを使用すると、フォントをシステムフォルダ外に出しておくことが可能になり、必要に応じて、フォントのオン／オフを切り替えることができるようになる。

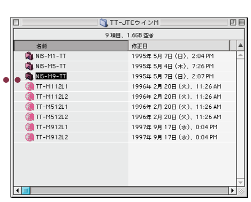
まず、システムフォルダの中にあるフォントをすべて外に出す。以前のバージョンでは、スーツケース*1に入ったフォント以外のフォントはフォントフォルダーに残しておかなければならなかったが、Suitcase 8Jでは、日本語PostScriptフォント*2のアウトライン情報が入ったフォルダ以外はすべてシステムの外に出しておけるようになった（システムで使用を予約されているOsaka、Charcoal、Chicago、Geneva、Monacoは除く）。そして、Suitcaseを起動し、外に出したフォントのスーツケースを登録する。フォントの登録方法は、Macの起動時に常に読み込まれるフォントを指定する「起動時セット」、特定のアプリケーションを起動すると自動的に指定したフォントを読み込む「アプリケーションセット」、Suitcaseのアプリケーションでオン／オフを設定する「フォントセット」の3つ。いずれも、作成したセット内にフォントのスーツケースをドラッグ＆ドロップするだけでフォントを登録することができる。また、一時的に使用したいフォントをドラッグ＆ドロップで登録するという「一時使用フォント」という機能も便利だ（一時使用のフォントは、Macを再起動すると解除される）。

今回のバージョンからアプリケーションのアイコン（またはエイリアス）をSuitcaseにドラッグ＆ドロップするだけで、アプリケーションセットが作成されるようになった。また、各アプリケーションのフォントメニューにフォントファミリー*3をまとめて、実際の書体で表示するコントロールパネル書類、Suitcase 8 MenuFontsや、Quarkファイルを開くと、その中で使われているフォントを自動的に読み込むQuark XTensionのSuitcase 8 XTが追加されている。Suitcase 8 XTは、Quark書類にレイアウトされているEPSファイル内で使用されているフォントさえも読み込んでくれるので非常に便利だ。また、AppleScriptにも対応したので、特定の書類を開いたときにフォントセットを開くなどの操作を自動化することも可能になった。

●渡辺美岐







フォントを保存してあるフォルダから「一時フォント」ダイアログボックスにフォントのスーツケースをドラッグ＆ドロップするだけで、一時的にフォントがオンになり、Macを再起動することなく使用することができるようになる

システム、Suitcaseで管理しているフォントをプレビューしたり、保存されている場所を表示することも可能

コストパフォーマンス	★★★★☆
機能	★★★★☆
操作性	★★★★☆
マニュアル	★★★★☆
総合評価	★★★★☆

*1 スーツケース：スーツケース型のアイコンをした、フォントやサウンドなどが収められているファイル。スーツケースを開き、中に収められているフォントを出し入れできるため、フォントをまとめて保存するために利用されている。　*2 PostScriptフォント：Adobe Systemsが開発したPostScriptというページ記述言語で定義されるアウトラインフォント。ほとんどがPostScript Type 1フォントといわれるもの。　*3 フォントファミリー：基本となるフォント名が同じで、太字（Bold）、斜体（Itaric）など、種類が異なるフォントをまとめて表現したもの。たとえば、Timesの場合、Times Bold、Times ItalicなどをTimesファミリーという。

パワー・トーン

PowerTone 2

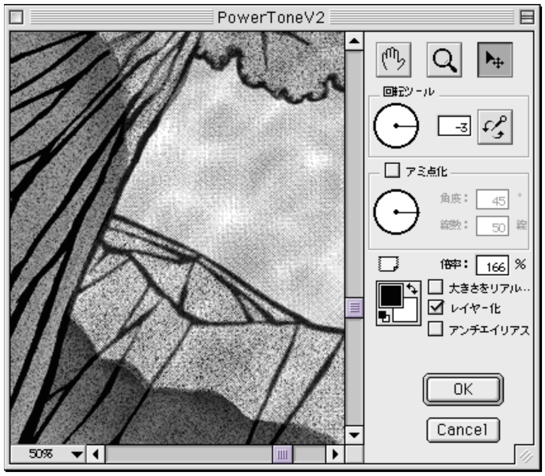
簡単に絵にスクリーントーン効果を貼ることができるツールの新バージョン

Get Information

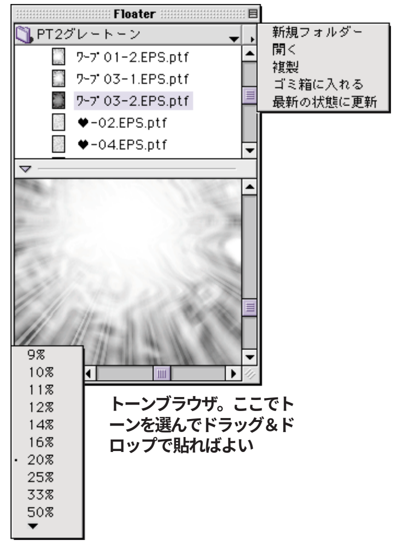
開発元・問合せ●(株)モード(047-360-3224)
URL●http://www.mode.co.jp/
価格●19,800円
バージョン●2.0
対応機種●PowerPC搭載機（Apple社製）
動作環境●漢字Talk 7.5以降、Mac OS 8.6対応。Adobe Photoshop4.0または5.0日本語版が必要
メモリー●16MB以上

Check Point

Adobe Photoshop上で、まんが原稿にトーンを貼るプラグインツール。新機能、トーンフィット機能によるトーンの変形は、デジタルならではの表現といえる。



トーンの位置を移動させ、回転させたり、大きさを調整し、新しいレイヤーを作って貼り込む



トーンブラウザ。ここでトーンを選んでドラッグ&ドロップで貼ればよい

まんがに欠かせないトーンを貼るためのプラグイン[*1]フィルター「PowerTone」がバージョンアップ。特にトーンを特定の形に変形させるTone-Fit機能など、デジタルならではの表現が期待できそうだ。

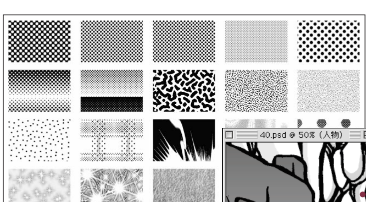
まず画期的なのは、トーンを選択するパレットをトーンブラウザという別アプリケーションにしたことだ。つまり、フィルターを選択するたびにいちいち開け閉めしなくてもよい。また、パレットに表示されるトーンはハードディスク内に置かれていればいいので、よく使うトーンをフォルダごとに整理しておける。前バージョンでは、すべてのトーンがずらずらとすべて表示されるなかから選択しなくてはならなかったのに比べて、かなり使いやすくなったといえる。

付属トーンは網点96種、砂目41種、グラデーション45種の基本のトーンのほか、CGトーンなど。全280種類におよぶ。グレースケール[*2]から簡単に生成できない砂目が充実しているのが嬉しい。また、前バージョンでは300dpi、600dpi、1,200dpiと3種類用意されていたトーンが300、600dpiに統一された。これはモノクロのまんがが原稿を印刷する場合に1,200dpiではオーバースペックとの判断によるものだ。さらに、PowerTone 2用のトーンデータを100種ずつ収録した素材集が2本（各6,800円）同時発売される。

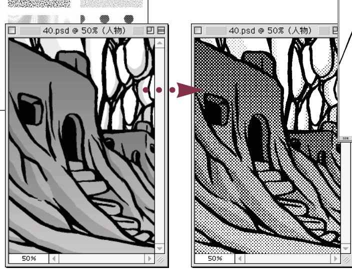
PowerTone 2で新たに追加された新兵器がトーンフィット機能である。貼り込むトーンを下図のような矢印を使って変形させるのだ。整然と並んだ模様に変形を加えてふにゃふにゃ感を出したり、ストッキングを脚の形にフィットさせたりできる。

また、今回はグレートーンにも対応した。普通、まんがの印刷ではグレースケール（諧調）が表現できないので、トーンでは白黒の点々の大きさ、密度で濃淡を表現している。このため、PowerToneでも普通まんがに使われるようなトーンである2諧調トーンがメインだ。これに対して、グレートーンはグレーの濃淡で模様が作られている。そして、貼るときに適正な角度と線数で普通のトーンのような網点を生成させるか、グレースケールモードで描き、印刷時に網点にすることもできる。グレートーンのよいところは、網点の角度を気にせずに模様に都合のいい角度で貼ったり、自由に拡大縮小ができる点である。そして、加筆や加工も簡単にできる。また、印刷時に網点を指定するなら、ファイルサイズが小さくてすむこともポイントが高い。600dpiではなく300dpiですむとしたら、絵を描く大きさ=労力は1/4だ。1枚の原稿に時間がかけられるカラー原稿ならともかく、何十枚ものモノクロ原稿を描く場合この差は大きいのではないか。

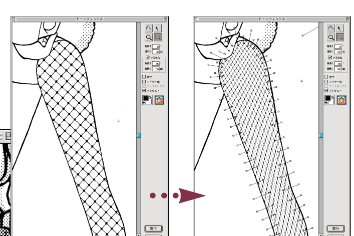
トーンチャンジャー機能は、グレースケールで描いた絵から網点の角度や線数[*3]を設定し、網点化する。Photoshopでもモノクロ2諧調にモードを変えると同様に網点を生成できるが、トーンを貼るたびに別ファイルでモードを変えてこなくてはならないので、フィルターでこれができるのは便利だ。ついでに網点の形をいろいろ選択できる機能があれば楽しいと思うので、今後のバージョンアップで追加してほしいと思う。 ●戸田幸子



トーン例。粗いものから、細かいものまで、よく使うトーンが揃っている



トーンチェンジャー機能。グレースケールで描いた絵から網点を生成する



トーンフィット機能。トーンを形に沿わせて微妙に変形できる、デジタルならではの待望の機能だ

コストパフォーマンス	★★★★☆
機能	★★★★☆
操作性	★★★★☆
マニュアル	―――
総合評価	★★★★☆

*1 プラグイン：アプリケーションに追加機能を付け加える追加ソフト。アドイン、アドオン、エクステンションともいう。Adobe Photoshop、Netscape Navigatorなどのプラグインは有名。 *2 グレースケール：白黒グレーで表わされる階調または階調情報をもった画像データのことをいう。 *3 線数：スクリーン線数のこと。1インチの中に階調を持った線が何本引けるかによって決まる、鮮明さを表わす単位で、lpi（line per inch）で表わす。このとき線数=解像度／（階調数の平方根）という等式が成り立つので、線数が上がれば点々のキメは細かくなるが、線数と解像度の差が大きいほど表現できる諧調が増え、なめらかな画像となる。

ストラタ・プチ・ビジョン・スリーディー

STRATA PetiteVision 3D

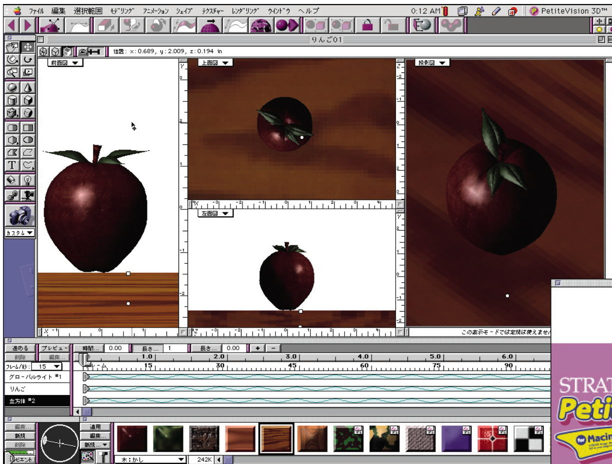
STRATAの個人向け3Dアプリケーション。手頃な価格とiMacユーザーを意識したパッケージングが特徴

Get Information

開発元●C-3D Digital
発売元・問合せ●(株)ソフトウェア・トゥー（03-5676-2177）
URL●http://www.swtoo.com/strata/
価格●12,800円
バージョン●1.0
対応機種●PowerPC搭載機
動作環境●漢字Talk 7.5.5以降、Mac OS 8.6対応。QuickTime 2.5以降、QuickDraw 3D 1.5.3以降が必要
メモリ●16MB以上

Check Point

ピンクを基調としたかわいらしい見かけによらず、メタボール*1も含んだモデリング、レイトレーシング*2をはじめとしたレンダリング*3、キーフレームアニメーションが可能な本格派3Dアプリケーションだ。


PetiteVision 3Dのインターフェイス。STRATA Vision3dが空色を基調にしていたのに対し、PetiteVision 3Dは赤紫が基調。好みのわかれるところだ



駄場寛さんのハリーがPetiteVision 3Dのキャラクター

STRATAシリーズの入門用パッケージとして、「STRATA PetiteVision 3D」が登場した。Vision 3dの機能をほとんど削ることなく価格を大幅に引き下げた。

個人ユーザー向けながら、本格的なモデリング、レンダリング、アニメーションが可能なSTRATAの統合3Dグラフィックアプリケーションであるstrata Vision3dのいくつかの機能を省き、価格を下げた入門用パッケージとして、PetiteVision 3Dが登場した。省かれている機能は、爆発、分裂、崩壊の3つのアニメーションエクステンション、水面の波紋を表現するエクステンドリップル、雲を表現するエクステンションクラウドなどのテクスチャーエクステンション、地形を作成するモデリングエクステンション、フラクタルテレインなど、エクステンションとして追加できるプラグインの部分だ。

つまり、PetiteVision 3Dは、価格や見かけによらず本格的で、モデリングからレンダリング、アニメーションまですべての3Dグラフィックスの機能を持っている。

モデリングは、球や円錐などのできあいオブジェクトや、2次元画像を押し出したり回転したりして3次元オブジェクトを作る方法をはじめ、一度作った3次元オブジェクトを自由に変形したり、ポリゴン*4分割したり、メタボールを使って生物的で滑らかな形を作ったり、など多彩な手法を装備している。もちろん、文字を立体化して、3Dロゴを作るのも簡単だ。

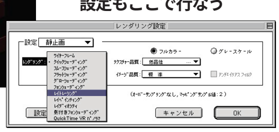
レンダリングは、ワイヤーフレームからフラットシェーディング、フォンシェーディング、レイトレーシングといった通常のレンダリング方式に加えて、絵画的な効果のあるレイペインティング、レイトレーシングよりスピードが速くアニメーション向きの影付きフォンシェーディング、光の拡散など環境光を考慮したレイディオシティなど、表現力は豊かだ。カメラオブジェクトを中心にQuickTime VRのパノラマ画像をレンダリングすることもできる。QuickTime VRオブジェクトカメラの設定をステーショナリーから読み込めば、QuickTime VRオブジェクトムービーを作ることもできる。

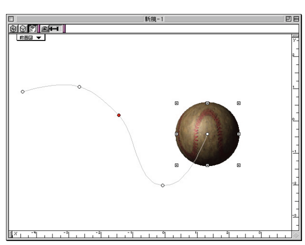
アニメーションは、キーフレームを決めていき、その間を自動的に計算するキーフレームアニメーションで、カメラオブジェクトや照明ライトもすべてアニメーション可能だ。オブジェクトの移動軌跡は曲線として表示されており、キーフレームの部分を動かして、自由に変形できる。テクスチャーやメタボールもアニメーション可能だ。

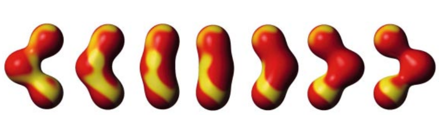
PetiteVision 3Dはかわいいパッケージで、iMacなどのパーソナルユーザーを対象に、Webやポストカードにちょっとした3Dロゴを作る、といった簡単な利用から3Dの世界に親しんでもらおうというコンセプトだが、機能が本格的なので、3Dの経験がないMacユーザーがいきなり使おうとすると、少しとまどうかもしれない。参考書はVision 3dのものがたくさん出ているので、いろんな機能を試しながら、3Dの世界でゆっくり遊んでみたいユーザーにお薦めする。 ●永田 啓



簡単に3Dロゴも作成できる


レンダリング設定ウィンドウでさまざまなレンダリング方式を選べる。QuickTimeVRのパノラマ画像の設定もここで行なう


オブジェクトの動きは曲線で表示され、自由に変形できる


メタボールでのアニメーションも可能だ

コストパフォーマンス	★★★★★
機能	★★★★☆
操作性	★★★★☆
マニュアル	★★★★☆
総合評価	★★★★☆

*1 メタボール：3Dグラフィックスのモデリング技法のひとつ。球体をスムーズに融合させて、有機的な形状を作成する際に使われる。 *2 レイトレーシング：3Dグラフィックスのレンダリング技法のひとつ。光の反射、屈折、透過が正確にシミュレートできるので、リアリティのある画像が得られる。 *3 レンダリング：3Dアプリケーションの場合、モデリングされたデータから3Dの画像を計算して描画すること。 *4 ポリゴン：多角形のこと。3Dアプリケーションでは、3次元の物体の表面を多角形の組み合わせで表示する場合が多い。

SOFTWARE●ミュージック

シンガー・ソング・ライター

Singer Song Writer 4.0 for Macintosh

CD-ROM DEMO

ビギナーでもイメージ優先で曲を作ることができる、高機能なMIDIシーケンサー＆アレンジソフト

Get Information

開発元・問合せ●（株）インターネット（06-6539-1941）
URL●http://www.ssw.co.jp/
価格●38,000円
バージョン●4.0
対応機種●PowerPC603e/100MHz以上搭載機
動作環境●漢字Talk7.5.5以降、Mac OS8.6対応
メモリー●16MB

Check Point

MIDIシーケンサーは好みに合わせた入力方法が選べ、さまざまな音楽的表現も自動処理でデータ化可能。音楽知識がなくてもバンドアンサンブルを完成できる強力なアレンジ機能に注目だ。



各ウィンドウは、大きめで視認性が高い。MIDIシーケンサーを使ったことのある人ならすぐに使いこなせるだろう

専門的な知識がなくても、エクスクルーシヴでDTM音源を100%使いこなすことができるエクスクルーシヴマクロ。GM／GS／XG音源などに対応

「Singer Song Writer 4.0」は、豊富な入力方法を備え、ビギナーにもわかりやすいインターフェイスで、イージーかつ効率のよい編集が可能なMIDI*[1]シーケンサー*[2]だ。

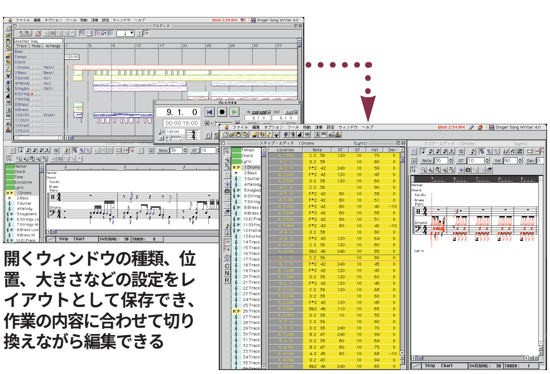
Singer Song Writer 4.0は、オーディオ機能*[3]を持たない純粋なMIDIシーケンサーでありながら、斬新な新機能の搭載、各機能の強化、細部の設計の見直しなどが行なわれ、DTMビギナーからプロレベルまで、幅広いユーザーが納得できる柔軟で高機能なMIDIシーケンサーになった。

まず目に付くのは、PerformerやVisionなどの代表的なMIDIシーケンサーのよいところだけを見習って発展させたような、標準的だが非常にわかりやすいインターフェイスだ。トラック名や音名の表示はかなり大きめで（フォントのサイズや色を変えられるウィンドウもある）非常に見やすい。半面、各ウィンドウが大きくなるので、上級者が大量のトラックを表示するには、17インチ以上のモニターが必要だ（推奨：1,024×768ピクセル以上）。ウィンドウの配置はレイアウトとして保存でき、録音用、編集用、アレンジ用など、切り換えながら効率よく編集が行なえる。

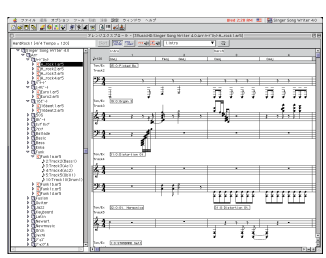
入力方法は、MIDIキーボードからのリアルタイム入力、ピアノロール画面でのマウス入力、音符を貼りつけるスコア入力（歌詞入りフルスコアのプリントアウトも可能）といった標準的なスタイルに加え、他ではあまり見ない数値入力も可能だ。さらに、ギターMIDIインターフェイスRoland GI-10とYAMAHA G50に対応しており、鍵盤の苦手なギタリストでもMIDIギターでスピーディーに入力できる。ギターフレット画面やキーボード画面も音色の確認などに便利だ。

今回のバージョンアップの目玉ともいえるのが、自動アレンジ機能の強化だ。最も簡易な使い方は、まずメロディーを入力し、コードを指定する。コードは、コードネームだけでも指定できるし、入力済みのピアノなどの演奏データからコードネームを自動的に判別させることも可能だ。あとはアレンジエクスプローラを開き、アレンジデータ（60ジャンル・6,500パターン）の演奏を聴きながら、気に入ったパターンを選び、任意の小節にドラッグ＆ドロップするだけで、フルバンド全パートの演奏データが完成するのだ。アレンジデータには、自分で作ったオリジナル曲や市販のMIDIデータも登録できる。そのほか、40種類の楽器の奏法をワンタッチで入力できるオートニュアンス機能、強力なグルーヴクォンタイズ機能、マクロを使って簡単に入力できるエクスクルーシヴ、各種コントローラのワンタッチ入力、ショートカットのカスタマイズなどなど、まさにかゆいところに手の届く機能を搭載している。

Singer Song Writer4.0は、ビギナーには使いやすさとわかりやすさで、上級者には機能とスペックでアプローチできる、MIDIシーケンサーの決定版といえそうだ。オーディオ機能*[3]を必要としない、またオーディオは他のソフトを組み合わせるというDTMユーザーにはお薦めだ。●安保 亮



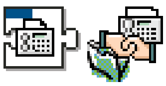
開くウィンドウの種類、位置、大きさなどの設定をレイアウトとして保存でき、作業の内容に合わせて切り換えながら編集できる



60ジャンル6,500種類のバリエーションが用意された強力なアレンジ機能。演奏を聴きながら選ぶことができ、ドラッグ＆ドロップでアレンジだけ、またはコードとアレンジをオリジナル曲に反映できる

コストパフォーマンス	★★★★☆
機能	★★★★★
操作性	★★★★☆
マニュアル	★★★★☆
総合評価	★★★★☆

*1 MIDI：Musical Instrument Digital Interface。電子楽器を外部の電子機器から制御するためのインターフェイスの規格。MacからMIDIを用いて電子楽器を操作することができる。　*2 シーケンサー：演奏データをMIDIデータとして記録し、編集し、再生するアプリケーション。演奏データを自由に編集できるため、さまざま表現が可能となる。　*3 オーディオ機能：音声や生楽器をデジタル録音／編集する（ハードディスク・レコーディング）機能。Vision、Performerなど代表的なMIDIシーケンサーは、ほとんどがMIDI＆オーディオ統合スタイルになっている。



テレコムマネージャー・プロ

テレコムマネージャーPro

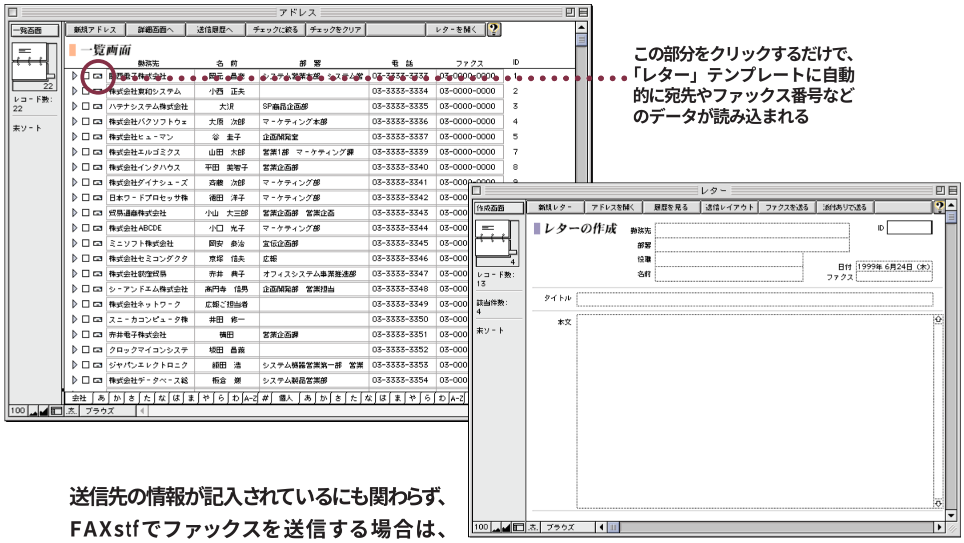
ファイルメーカーProからボタン1つでファックスを自動送信できる便利なソフトウェア

Get Information

開発元・問合せ●（株）エミック（e-mail：info@emic.co.jp）
URL●http://www.emic.co.jp/
価格●アプリケーション版：6,800円、プラグイン版：6,800円
対応機種●68040以降、またはPowerPC搭載機
動作環境●Mac OS 7.6以降、Mac OS 8.6対応
メモリー●12MB以上（PowerPC搭載の機種では16MB以上）

Check Point

使いにくかったFAXstf Proのファックス送信が、ファイルメーカーProの住所録を活用できるようになって使いやすくなる。ランタイム版でも動作可能。同報通信や地図などを添付することもできて便利



この部分をクリックするだけで、「レター」テンプレートに自動的に宛先やファックス番号などのデータが読み込まれる

付属の「アドレス」「レター」テンプレートで、ファックス送信の表紙を作成し、「レター」テンプレートの「ファックスを送信」ボタンをクリックするだけでファックスが送信される

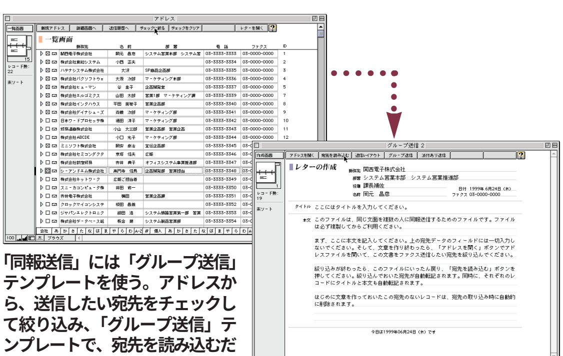
テレコムマネージャーProは、ファイルメーカーProに高機能なファックス機能を追加し、ファイルメーカーPro*1で作成した住所録を使い、ファックス送信を可能にするソフトウェアだ。

通常、Macで作成した文書をファックスで送信するには、いったん印刷してから、ファックス機で送信する。これを印刷せずにMac上から、ファックスモデム*2を使って、直接ファックスできるようにするソフトウェアがFAXstfだ。FAXstfをインストールすると、各アプリケーションに、Fax-menuというメニューが追加され、プリンターで印刷するときとほぼ同じ操作で、ファックス送信を行なうことができるようになる。FAXstfは、出力品質が高く便利で人気があるのだが、やや面倒なところもある。たとえば、ファックス送信の表紙などには、通常、宛名やファックス番号や電話番号などを記入する。せっかく、ここにファックス番号などの送信先の情報が記入されているにも関わらず、FAXstfでファックスを送信する場合は、FAXstfのダイアログに送信先の情報を改めて入力しなければならない。あるいは、やや使いにくいFAXstfの住所録を設定しなくてはならない。

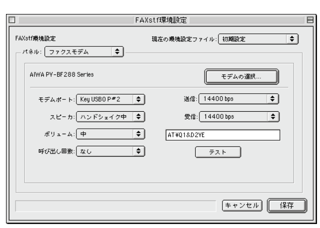
テレコムマネージャーProは、ファイルメーカーProで、住所録や顧客管理のデータベースを作成しているケースが多いということを踏まえ、前述のFAXstfの使いにくい点を解消し、ファイルメーカーProで作成した住所録のデータベースをFAXstfでそのまま活用できるようにしたものだ。

テレコムマネージャーProを使えば、付属のファイルメーカーPro用の「アドレス」テンプレート*3を使って作成した住所録を使い、付属の「レター」テンプレートでファックス送信の表紙を作成し、ボタンを押すだけで、面倒なFAXstfの設定をせずにファックスを送信することができる。このときに地図やカタログなどの予め作成してあるFAXstf書類を添付して送信することも可能だ。また、付属の「グループ送信」テンプレートを利用して、複数の宛先に同時に同じ書類を送信する「同報送信」も行なうことができる。もちろん、付属のテンプレートを自分で使いやすいようにカスタマイズすることも可能だ。

今回のバージョンからは、ファイルメーカーPro 4.0Jのファイルメーカー機能拡張として動作するプラグイン*4版と、ファイルメーカーPro 3.0以降で動作するアプリケーション版の2つのバージョンが用意された（FAXstf Pro 5.0以降が必要）。なお、ファイルメーカーProで作成したアプリケーションである「ランタイムアプリケーション」のテンプレートも用意されているので、ファイルメーカーProを持っていないユーザーでもデータベースを使用してデータを入力したり、テレコムマネジャーProを使ったファクス送信が可能だ。しかし、前バージョンであるテレコムマネージャー2.0では、Excelやクラリスワークスでも利用できたのだが、今回のバージョンからは、ファイルメーカーProでしか利用できなくなった。Excelなどでも利用できるようなバージョンがあるとうれしいのだが。　●高橋レオ



「同報送信」には「グループ送信」テンプレートを使う。アドレスから、送信したい宛先をチェックして絞り込み、「グループ送信」テンプレートで、宛先を読み込むだけで、ファックス送信できる



テレコムマネージャーを利用する場合は、FAXstfでの受信の設定をオフにしておく必要がある

コストパフォーマンス	★★★★☆
機能	★★★★☆
操作性	★★★★☆
マニュアル	★★★★☆
総合評価	★★★★☆

?*1 ファイルメーカーPro（FileMaker Pro）：Macでは定番のカード型データベースソフトウェア。自由なレイアウト機能と使いやすいインターフェイスが人気。　*2 ファックスモデム：コンピューターから直接ファックスを送信したり、コンピューターで直接ファックスを受信できるファックス機能を持ったモデム。　*3 テンプレート：定型ファイルのこと。書式やレイアウト、計算式などが、あらかじめ設定されているファイル。ひな形とも呼ばれる。　*4 プラグイン：アプリケーションに新たな機能を追加するモジュール的なファイル。単体では機能せず、アプリケーションに組み込んで、アプリケーションの機能拡張として使用する。

スクリプト・デバッガー

Script Debugger J

CD-ROM DEMO

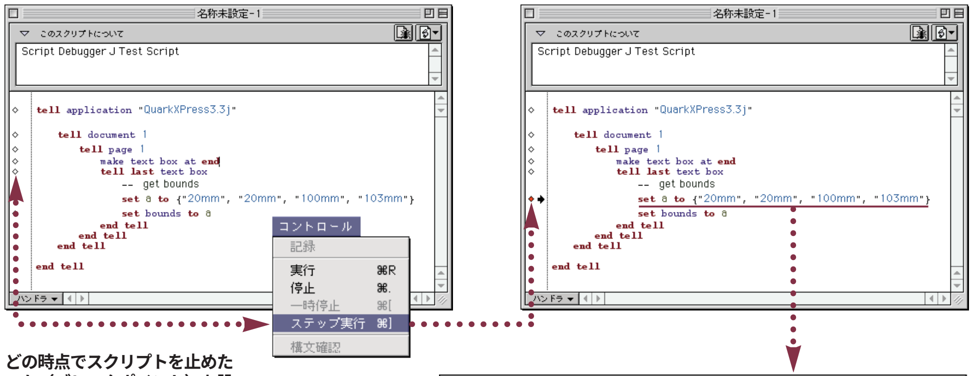
かゆいところに手が届くデバッグ機能を搭載。高性能AppleScript開発環境、待望の日本語版

Get Information

開発元●Late Night Software
発売元・問合せ●(株)フォーサイト(045-224-4955)
URL●http://www.fsight.co.jp/
価格●23,800円
バージョン●1.0.6
対応機種●68000(Macintosh Plus)以上またはPowerPC搭載機
動作環境●漢字Talk 7.1以降、Mac OS 8.6対応。AppleScript 1.1以降が必要
メモリー●2MB以上

Check Point

MacOSに標準添付されているAppleScript開発環境である「スクリプト編集プログラム」の欠点を補い、さらに複雑で長いスクリプトのデバッグを助ける便利な機能に注目。



どの時点でスクリプトを止めたいか（ブレークポイント）を設定し実行、もしくはステップ実行で一行ずつ確認しながら変数の値を参照することができる



ブレークポイントの位置にある変数の内容を表示するウィンドウ。変数の値を任意に変えて再実行することもできるなど大変便利だ

「Script Debugger J」は数少ないAppleScript[*1]開発環境のなかでも、特にデバッグ[*2]作業に重点をおいた機能が充実し、より複雑で大規模なスクリプトアプリケーションが開発可能だ。

Script Debugger Jは「スクリプト編集プログラム[*3]」同様、AppleScriptを記述してコンパイル[*4]し、アプリケーションを生成するのが基本的な機能だ。

スクリプト編集プログラムより優れている点は、32KB以上の大きさのスクリプトが記述でき、編集テキストのドラッグ&ドロップが可能、そして一般的な開発環境には必須といってよい、プログラムのステップ実行や、実行中の変数の参照といったデバッグ機能が充実していることだ。いずれの機能もより実用的なアプリケーションを効率よく開発するためには欠かせないものだ。

Script Debugger Jのインターフェイスは、スクリプト編集プログラムと同様のもので、そのままスクリプトを記述することができる。結果、履歴[*5]についてもAppleScriptをさわったことがある人ならば見慣れたウィンドウだろう。

実際に32KBを越えるスクリプトを読み込み、コンパイルし、構文確認を行なったが、思ったよりも確認終了が速かったことに驚く。スクリプトのスクロールや各ウィンドウの動作速度もキビキビとしていて快適だ。

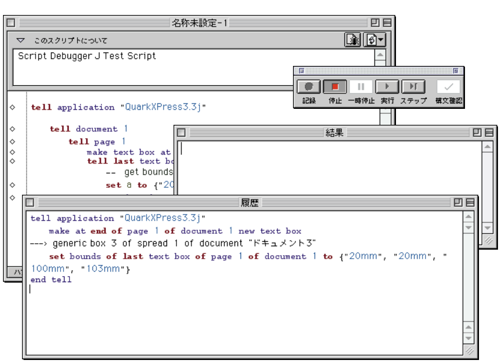
AppleScript対応の状況がよくわからないアプリケーションについてのスクリプトを記述するとき、手元に資料がない場合には、用語説明を開く場合が通例だが、Script Debugger Jでは用語説明を階層構造で表示する機能があり、「要素」と「継承」で分けて表示できるため（もともと、AppleScriptの用語説明は、慣れている人でも難解な内容だが）コマンドやプロパティーの解析に非常に役立つ。

目玉機能ともいうべきデバッグ機能も長く複雑なスクリプトを記述した場合、不具合の出る箇所にブレークポイントを設定し、実行をその場で止めて変数の値を参照したり、一時的に値を変更することも可能だ。この機能は他言語の開発環境ではあたりまえだが、国内では他にまったくなかったため、多くのAppleScript開発者が喉から手が出るほどほしかった機能だ。

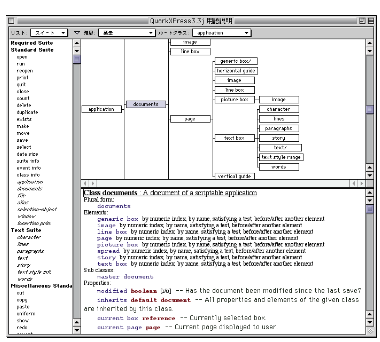
添付マニュアルは、PDF書類で提供されるが、Script Debugger Jの機能を細かく、わかりやすく記載してあるため、操作の修得にそう時間はかからないだろう。AppleScript初心者でもとまどうことなく、むしろScript Debugger Jから始めてもまったく問題ないだろう。

ただし、マニュアルに掲載されている画面図版の品質があまりよくない部分が目立ち、改善の余地がある。また、価格もスクリプト編集プログラムが無料だったせいもあるが、割高に感じるのは否めない。しかしながら、日本語版のAppleScript開発環境に新たな製品が登場したことは高く評価したい。 ●倉持哲也

コストパフォーマンス	★★★★☆
機能	★★★★★
操作性	★★★★☆
マニュアル	★★★☆☆
総合評価	★★★★☆



AppleScriptを編集・実行するウィンドウはスクリプト編集プログラムとあまり変わらないが動作速度は速い



用語説明はクラスごとに階層で表示する機能があるため、使用したいプロパティーがどの位置にあるのかがわかりやすい

*1 AppleScript：Appleが開発したアプリケーション間で情報をやりとりする仕組みであるAppleEventを利用した、Apple純正のスクリプト言語。処理の自動化のために広く用いられている。 *2 デバッグ：プログラムの不具合（バグ）を発見し、修正すること。 *3 スクリプト編集プログラム：MacOSに標準で付属しているAppleScript編集専用エディター。 *4 コンパイル：プログラミング言語で記述したソースコードをコンピュータが理解できるコードに翻訳すること。 *5 結果、履歴：結果ウィンドウには実行されたスクリプトの結果が表示される。履歴ウィンドウには、スクリプトが実行中に送信したすべてのAppleEventが表示される。

トランスミット

Transmit 1.5J

CD-ROM DEMO

直観的に操作できるFTPクライアントソフトTransitが改名してアップデート

Get Information

開発元●Panic
発売元・問合せ●(株)アクトツー(03-3328-8431)
URL●http://www.act2.co.jp/
価格●7,800円(オンライン版3,900円)
バージョン●1.5
対応機種●68030以上またはPowerPC搭載機
動作環境●漢字Talk7.5 以降、MacOS8.6対応
メモリー●5MB以上

Check Point

Mac OS準拠のユーザーインターフェイスで高速なファイル転送が可能。接続中のサーバーのパスを簡単に登録できる。

コストパフォーマンス	★★★★☆
機能	★★★★☆
操作性	★★★★★
マニュアル	★★★★☆
総合評価	★★★★☆



アドレスなどを入力し、「接続」ボタンをクリックすると、サーバーにアクセスできる。「お気に入りに追加...」を選択すれば、入力した接続情報が簡単に登録可能。接続後は、ドラッグ＆ドロップでファイルのアップダウンロードができる

ホームページを作成したり、シェアウェアをインターネットからダウンロードする機会の多いユーザーには、必需品ともいえる、FTP*1クライアントソフト。中でも人気の高かったTransit 1.0J（トランジット）が、Transmit 1.5（トランスミット）としてアップデートされた。

Transmit 1.5Jは、前バージョンのMac OSに準拠したグラフィカルユーザーインターフェイスや高速転送はそのままに、数々の新機能が追加されている。まず、注目すべき点は、“お気に入りにパスを追加”機能。ファイルメニューから「お気に入りにパスを追加...」を選択すれば、接続中のサーバーのパスが簡単に登録できる。登録したものは、ダイアログボックスのメニューから選択可能になる。また、“お気に入りエディター”で「お気に入り」に登録したサーバーの情報を自由に編集することも可能になった。さらに、切断ボタンで、ウィンドウを閉じずにサーバーとの接続を切断するといった機能も追加されている。また、テキストなどの転送時にASCIIモードが選択可能になったほか、QuickTime（3以降）がインストールされていれば、画像プレビュー機能によって、アップロードする前にグラフィックをTransmit 1.5J上でプレビューし、確認することができる。これはホームページ作成ユーザーにとっては非常にありがたい機能だ。　●村上みゆき

デジカメ・アイマック

デジカメiMac3000

CD-ROM DEMO

DTPにも便利。デジタルカメラの画像を一括管理する、リーズナブルな画像管理ユーティリティ

Get Information

開発元●エヌ・アイ・シー(株)
発売元・問合せ●(株)メディアカイト(03-5449-3181)
URL●http://www.media-kite.co.jp/
価格●3,000円
対応機種●PowerPC601/80MHz以上搭載機
動作環境●漢字Talk7.5.1以降、Mac OS 8.6対応
メモリ●32MB以上

Check Point

登録した画像をファイル名や作成日、ファイルフォーマット、キーワードなどで検索し、絞り込むことができる。さらにスライドショーで表示したり、一覧をそのまま印刷することも可能。

コストパフォーマンス	★★★★★
機能	★★★★☆
操作性	★★★★★
マニュアル	★★★★☆
総合評価	★★★★★



©1999 N.I.C

登録した画像は、サムネール表示と一覧表示（縦と横）の2種類で表示させることができる。サムネール形式で印刷することも可能

デジカメiMac3000は、3,000円というリーズナブルな価格で、デジタルカメラなどで撮影した画像データを簡単に整理するためのユーティリティーだ。

まず、デジカメiMac3000を起動し、新規ファイルを作成する。そして、画像を登録するフォルダを指定するだけで画像が自動的に登録される。登録された画像データは、サムネール*2で表示され、ボリューム名、パス名、ファイル名、容量、作成日、修正日、クリエーター*3、ファイルタイプ*4、コメントなどの情報も同時に登録される。こういった情報を使って、登録画像を検索して絞り込んだり、マーキングすることも可能。また、絞り込んだ画像を他の場所に一括してコピーすることもできる。多機能ではないが、画像管理に必要な機能は備えているといったところだ。

さらに、このソフトウェアのすごいところは、登録できるファイルタイプの種類が多いこと、また、登録できるファイルタイプをカスタマイズできるということ。さらにインデックス、RGB、CMYKといったカラーモードにも関係なく画像データを登録できる。「デジカメiMac」という製品名だが、この機能なら、デジタルカメラの画像管理だけでなく、DTP作業にもお薦めできるソフトウエアだ。　●渡辺美岐

*1 FTP：File Transfer Protocolの略。インターネットなどのTCP/IPを利用したネットワーク上で、ファイル転送時に利用される通信プロトコル。　*2 サムネール：元の画像を小さく表示したもの。もともとの意味は親指の爪（thumbnail）。つまり、親指の爪くらいの小さい画像という意味。　*3 クリエーター：Macのファイルに含まれるファイルを作成したアプリケーションの示す情報で、4文字の英数字で表わされる。　*4 ファイルタイプ：Macのファイルに含まれるファイルフォーマットを表す情報で、4文字の英数字で表わされる。ファイルのアイコンは、クリエーターとファイルタイプによって識別され、表示される。

アクション・ゴーマック

Action GoMac2.0J

CD-ROM DEMO

デスクトップ下部にタスクバーを追加し、アプリケーションやファイルに簡単にアクセスできるようにするコントロールパネル

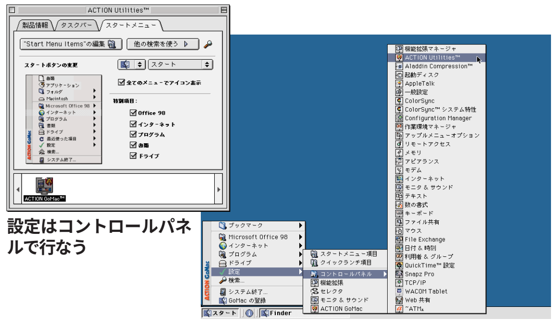
Get Information

開発元●Power On Software
問合せ●（株）アクトツー（03-3328-8431）
URL●http://www.act2.co.jp
価格●6,800円
バージョン●2.0.1
対応機種●68030以降またPowerPC搭載機
動作環境●MacOS7.6.1 以降、MacOS8.6（日本語版）対応
メモリ●8MB以上

Check Point

Macのデスクトップに Windows風タスクバーを追加。アプリケーションの起動やシステムの設定には非常に便利

コストパフォーマンス	★★★★☆
機能	★★★★☆
操作性	★★★★☆
マニュアル	★★★☆☆
総合評価	★★★★☆



設定はコントロールパネルで行なう

ACTION GoMacをインストールすると、デスクトップ下部にスタートメニュー、クイックランチ（スタートメニューの右）、起動アプリケーションなどが表示されたタスクバーが現れる

ACTION GoMacは、ACTION Utilitiesシリーズの中で、MacにWindows環境とほぼ同じ、あるいはそれ以上の機能を持ったタスクバーを追加するコントロールパネルファイル*1。タスクバーには、スタートメニュー、起動しているアプリケーションプログラム、カレンダー(時計)が表示される。起動しているアプリケーションは、ショートカットキーで切り換えることも可能だ。

スタートメニューには、「ブックマーク」「インターネット」「プログラム」「設定」「検索」「システム終了」などの項目が表示される。スタートメニューに表示される項目は、カスタマイズすることも可能だ。

そのほか、ACTION GoMacには、Windowsのタスクバーにはないクイックランチ機能もある。クイックランチ機能は、タスクバーに直接アプリケーションを登録するというもの。アプリケーションのアイコンをタスクバーにドラッグ＆ドロップするだけで、登録は完了。そして、登録されたアイコンをクリックするだけで、アプリケーションが起動するようになる。アプリケーションのほかにファイルやフォルダを登録することもできる。

クイックランチのアイコンをクリックし、表示されるメニューから「削除」を選択すれば削除できるので、恒久的、一時的な使用のどちらでも便利に使用できる。　●村上みゆき

とくうち

特打2～復讐のマシンガン入力～

CD-ROM DEMO

マシンガンを打ちまくり、ゲーム感覚で、キーボードタイピングの練習ができるタイピング練習ソフトウェア

Get Information

開発元●ソース社
問合せ●(株)ソース（03-5350-4844）
URL●http://www.source.co.jp
価格●4,900円
対応機種●68040以降またPowerPC搭載機
動作環境●漢字Talk7.5 .1以降、MacOS8（日本語版）対応
メモリ●12MB以上

Check Point

マカロニウエスタン映画風のストーリーの中、すばやい入力、長い文章の入力、テンキーの入力などをテーマにした6つの短編射撃ゲームで、タイピングの練習ができる。

コストパフォーマンス	★★★★☆
機能	★★★★☆
操作性	★★★★☆
マニュアル	――
総合評価	★★★★☆



酒場から、「復讐の旅」「情無用のマシンガン特訓」「地獄の一騎討ち」、「白昼のマシンガン乱れ撃ち」「テンキーの小部屋」「テンキーSHOW-DOWN」にアクセスする。



キーボードで文字を入力すると、正解の場合はマシンガンで穴が空く

文字をもっと早く入力したいと思っている人には、「特打2～復讐のマシンガン入力～」は、お薦めの練習ソフトだ。これはタイピング練習ソフトとして人気のあった「特打」の続編。酒場の親父に拳銃（タイピング）の打ち方を習うという「特打」のストーリーを踏まえ、「特打2」ではマシンガン打ちを修行し、復讐の旅に出るというストーリーになっている。当然、キーボードタイプの音はマシンガン。ちょっとうるさいが（音量の調節は可能）、ゲーム感覚で楽しく、タイピングの練習ができるソフトウェアだ。

タイピング練習ソフトウェアというと、初心者向けの簡単なものが多いが、この「特打2～復讐のマシンガン入力～」は中級者、上級者の練習にも活用できる、ちょっと難しいものだ。入力する練習問題の文字が提示され、その文字をキーボードで入力する。使用頻度の高い単語が練習問題として出題されるので実践的。「ローマ式*2」「ヘボン式*3」や拗音・促音*4などの入力方式も設定できるので、自分の入力方式に合わせて練習できる。ひとつだけ気になることは、「でぃ（DHI）」などの入力の方法には対応していないということ。たとえば「メディア」という単語を入力する場合、「MEDHIA」と入力する人が多いと思うが、この練習ソフトでは、「MEDIXIA」と入力しなければならない。とはいえ、楽しいソフトなので、夏休みにでも遊び感覚でタイピングの練習をしてみてはいかがだろうか？　●村上みゆき

*1 コントロールパネルファイル：システムフォルダ内にあるコントロールパネルフォルダにインストールし、Macの各種の設定をコントロールするためのファイル。　*2 ローマ式：ローマ字入力の方式の1つ。ローマ式は、“し→SI、ち→TI、しゃ→SYA”と入力する。　*3 ヘボン式：ローマ字入力の方式の1つ。ヘボン式は、“し→SHI、ち→THI、しゃ→SHA”と入力する。　*4 拗音・促音：「ゃゅょぁぃぅぇぉ」といったねじれた音（拗音）や「っ」のつまる音（促音）など、直音（大きく表記する文字）と組み合わせて小さく表記する文字。

ファイル・メイト・グラフ

ファイルMate グラフ 1.0J

CD-ROM DEMO

ファイルメーカーProに、グラフ作成機能を追加するプラグイン

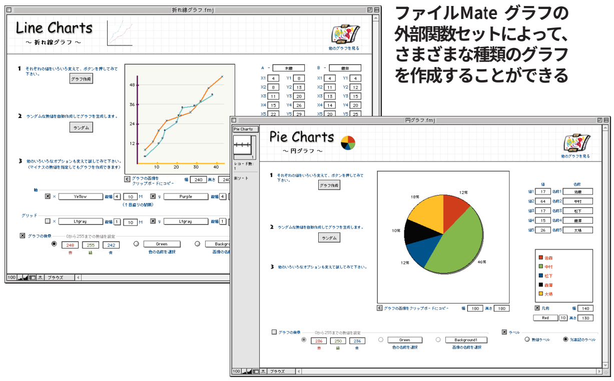
Get Information

開発元●Wave In Motion
発売元・問合せ●(株)フォーサイト(045-224-4955)
URL●http://www.fsight.co.jp/
価格●17,800円
対応機種●68000以降、またはPowerPC搭載機
動作環境●漢字Talk 7.1以降、Mac OS 8.6対応。ファイルメーカーPro 4.0以降が必要
メモリー●8MB以上

Check Point

ファイルメーカーPro 4.0でグラフを作成するためのプラグイン。円グラフ、棒グラフなど、合計8種類のグラフを作成できる。

コストパフォーマンス	★★★★☆
機能	★★★★☆
操作性	★★★★☆
マニュアル	★★★☆☆
総合評価	★★★★☆



ファイルMate グラフの外部関数セットによって、さまざまな種類のグラフを作成することができる

「ファイルMate グラフ」は、「ファイルメーカー機能拡張」フォルダーに入れるだけで、ファイルメーカーProにグラフ作成機能を追加するプラグイン*1だ。ファイルメーカーProのスクリプト*2と連動し、簡単にグラフを作成することができる。作成可能なグラフの種類も豊富で、円グラフ、棒グラフ(縦型、横型、縦型で棒の分割表示タイプ、横型で棒の分割表示タイプ)、折れ線グラフ、分散プロットグラフ、高低グラフなどを作成することができる。もちろん、凡例を作成することも可能だ。ファイルメーカーProで作成し、集計したデータをExcelなどに移行しなくても、グラフがファイルメーカーProだけでできるのは非常にありがたい。

グラフの作成は、ファイルメーカーPro 4.0Jから新たにサポートされたExternalという外部関数*3を実行させるための関数を使う。この関数を使って、「ファイルMate グラフ」プラグイン内のグラフ作成のための関数をファイルメーカーProのスクリプトに定義する。スクリプトを実行すると、PICT画像のグラフがオブジェクトフィールドに貼り付けられる。仕組み自体はいたって簡単だ。

ただし、関数を使ってスクリプトを定義する作業は、初心者にはかなり難しい。あらかじめ、ファイルメーカーProのスクリプトや関数を十分理解しておくことが必要だ。　●高橋レオ

ファイル・メイト・スケジューラ

ファイルMate スケジューラ 1.0J

CD-ROM DEMO

ファイルメーカーProで、自動的にスクリプトを起動できるプラグイン

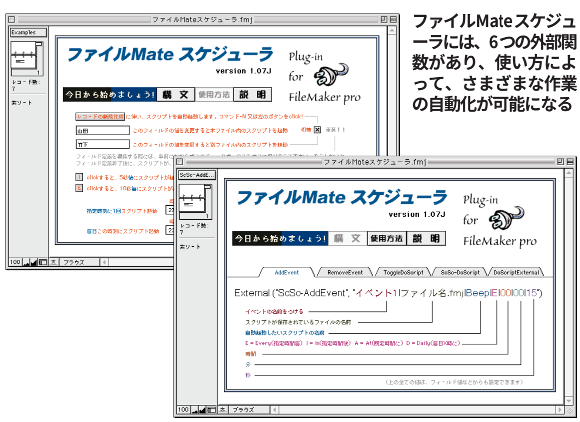
Get Information

開発元●Wave In Motion
発売元・問合せ●(株)フォーサイト(045-224-4955)
URL●http://www.fsight.co.jp/
価格●14,800円
対応機種●68000以降またはPowerPC搭載機
動作環境●漢字Talk 7.1以降、Mac OS 8.6対応。ファイルメーカーPro 4.0以降が必要
メモリー●8MB以上

Check Point

外部関数によって、設定した時間によって自動的にスクリプトを起動させ、ある一定の操作を行なうことを可能にする。

コストパフォーマンス	★★★★☆
機能	★★★★☆
操作性	★★★★☆
マニュアル	★★★☆☆
総合評価	★★★★☆



ファイルMateスケジューラには、6つの外部関数があり、使い方によって、さまざまな作業の自動化が可能になる

ファイルメーカーProで作成したスクリプトは、スクリプトが定義されているボタンをクリックしたり、メニューから登録してあるスクリプトを選択して、起動しなければならない。要するに、スクリプトによって実行される操作自体は自動化しているものの、その起動は人為的に行なわなければならなかった。

こういったスクリプトの起動の自動化を可能にしたものが「ファイルMateスケジューラ」だ。これを利用すれば、ファイルメーカーProで作成したファイルごとに設定されているスクリプトステップを、時間指定やデータが変更されたタイミングなど、あらかじめ指定した内容で自動的に起動することができるようになる。

「ファイルMateスケジューラ」の仕組みは、上で紹介している「ファイルMate グラフ」と同様のものだ。ファイルMateスケジューラの場合、ファイルメーカーProのExternal関数を使って、時間や操作によってスクリプトを起動できるようにする外部関数を設定する。

この機能を利用すれば、バックアップやフィールドの監視、データベースの更新による、再計算など、データベース作業のルーチン化などを行なうことができる。時間の指定も秒単位で細かく設定することができ、さまざまな利用方法が考えられる利用価値の高いプラグインだ。　●高橋レオ

*1 プラグイン:アプリケーションに機能を付け加える追加ソフト。アドイン、アドオン、エクステンションともいう。ファイルメーカーPro 4.0の場合は「ファイルメーカー機能拡張」フォルダーにプラグインを入れて使用する。　*2 スクリプト:プログラム言語の一種だが、自然言語に近い表記が可能なスクリプト言語によって、記述されたプログラムのこと。代表的なスクリプト言語として、Mac OS付属のAppleScriptなどがある。　*3 外部関数:アプリケーションのプログラム本体にあらかじめ組み込まれている内部関数に対して、プラグインなどの機能拡張ファイルによって、追加された関数のこと。

セルリア・アール・ビー

Cerulea R.B

FireWireインターフェイスを搭載した640MB MOディスク

Get Information
開発元●ヤノ電器(株)
問合せ●ヤノ電器（078-993-0007）
URL●http://www.yano-el.co.jp/
価格●84,800円
対応機種●新Power Mac G3など、FireWire(IEEE1394)ポートを備えたMacintosh
ディスクキャッシュ●512KB
回転速度●4,300rpm
サイズ／重量●35×120×215mm／1Kg

Check Point
128〜640MBの3.5"MOディスクの読み書きが可能なオーバーライト対応MOドライブ。FireWireバスからの電源供給による動作が可能で、コンピューター起動状態での機器の取り外しや接続（ホットプラグ）に対応。



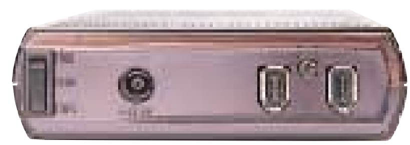
FireWire対応の640MB MOであるCerulea R.B.。写真でみるより本体は小さい。ボディは茶色のトランスルーセントな色合いを持っている



本体を上からみたところ。長方形というわけではなく、、なめらかにカーブしたデザインを持っているのがわかる



正面はドライブ挿入スロットとアクセスインジケータのみ



FireWireのポートは2つ用意されている。B&W Power Mac G3ならケーブル接続だけで利用できるのは便利だ

国産記憶装置メーカーとして、いちはやくFireWire対応ハードディスクを発売したヤノ電器から、同じくFireWire対応のMOドライブが登場した。新型Power Mac G3で外部記憶装置を必要としているユーザーにとって、注目の製品だ。

「Cerulea R.B」は、すでに登場している同社のハードディスク「CeruleaB.B」と同じシリーズの製品である。対応する接続インターフェイスはFireWire（IEEE1394）*1のみで、デバイスID設定が不要であったり、電源を入れたままの接続／接続解除が行なえるホットスワップなどの機能に対応している。



付属品はFireWireケーブルとドライバが収録されたCD－ROM、そしてマニュアルである。このほかにACアダプターが付いてくる

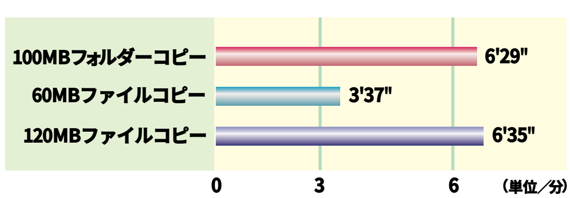
外観は「CeruleaB.B」と同じように半透明のボディーを採用しているが、カラーリングが茶色になり、落ち着いた印象を受ける。Cerulea B.B.と比べると本体は大きいが、それでもコンパクトな部類だ。すっきりとまとまっているので、さほど大きくは感じないデザインで好感が持てる。

MOドライブ部分の性能はメディア回転数4,300rpm、オーバーライト方式*2対応、最大記憶容量640MBだ。128MBから640MBまでのすべてのタイプのMOメディアを使用可能だ。キャッシュメモリは512KBを搭載している。本体前面にはアクセスランプとメディア挿入口があり、極めてシンプルである。背面には、電源スイッチ、FireWireポート×2基、ACアダプター端子が並ぶ。FireWireポートが2つあるので、デイジーチェーン*3による複数機器の接続にも対応できるのは好ましい。

基本的にドライブ本体への電源供給はFireWireバスを経由して行なうことができるので、ACアダプターを使わなくても動作することができる（ACアダプターは標準で添付している）。新型Power Mac G3がFireWire経由で供給できる電源容量は最大15Wなので、同社のハードディスクと同時に接続するなら、ACアダプターをつながなくても動作する。ドライバーソフトやメディアの初期化を行なうユーティリティは基本的にFireWireディスクと同一のものが付属している。

同一マシンで試してみたファイルコピー速度を計測してみると、SCSI接続のMOドライブ（オリンパスTURBO MO 640S）と比べて2倍近いの時間がかかっている。これはキャッシュ容量が少ないことが理由だろう。同じ512KBのキャッシュを搭載したヤノ電器のUSB接続MOドライブとの比較では、およそ2割ほど高速な結果となった。

Cerulea R.B.はFireWireに対応したことで、SCSI接続のドライブよりも手軽に扱うことができるのがポイントだ。新型Power Mac G3ユーザーにとって、魅力的な外部記憶装置が登場したといえるだろう。 ●三谷 森



Cerulea R.B.のデータ書き込み速度の結果。B&W PowerMac G3に接続して、Cerulea R.B.にファイルを書き込む所用時間を測定した

コストパフォーマンス	★★★½☆
機能	★★★★½
操作性	★★★★★
マニュアル	★★★★☆
総合評価	★★★★☆

*1 FireWire：IEEE1394、シリアル・インターフェイスの規格で、米アップル社と米Texa Instruments社が提唱したもの。デジタルビデオなど、大容量のデータを送受信するのに手適しており、高速なデータ転送速度を誇る。 *2 オーバーライト方式：ディスク上のデータを消去せず、そのまま上書きする方式。いままでのものより高速に書き込むことができる。通常はデータを消去して、そのあとデータを書き込んでいた *3 デイジーチェーン：周辺機器を接続する形態のひとつで、数珠つなぎにして製品をつないでいく方式。

アイ・エム・オー・64

iMO64

トランスルーセントなボディを持つUSB仕様の640MB MOドライブ

Get Information

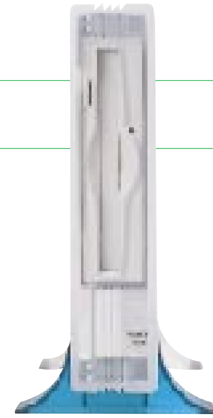
開発元●加賀電子（株）
問合せ●加賀電子コールセンター（03-3444-4853）
URL●http://www.taxan.co.jp/
価格●69,800円
回転速度●3,600rpm
キャッシュメモリ●512KB
データ転送速度●900KB／sec
対応機種●USBポートを持つPowerMac
動作環境●Mac OS 8.5以降
サイズ／重さ●161×35×206mm／1.2Kg

Check Point

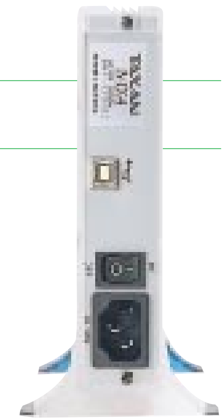
128～640MBの3.5"MOディスクの読み書きが可能なオーバーライト対応MOドライブ。USB接続なので、取り付けは簡単。



トランスルーセントなボディを持つiMO64。本体は縦置き設置だ。右側面にはUSBのロゴがプリントされている



本体正面には、アクセスランプとメディア挿入口しかない



インターフェイスはUSBのみ。電源はACケーブルをそのまま接続するタイプになっている



左側面には、TAXANのロゴがプリントされている



ドライブスタンドとして、6色のiMacカラーにあわせたものが付属している。1つづつしか用意されていないのが残念

USB接続と半透明のボディは、iMacが登場してから人気が高まっているようだ。周辺機器もiMacやB&W Power Mac G3とカラーリングを一致させ、統一感をアピールするものが増えている。加賀電子のMOドライブ「iMO64」もそんな製品のひとつだ。

「iMO64」の本体は、ごく普通の四角いMO*1ドライブである。大きさはややコンパクトな部類に入るだろう。縦置きを基本に考えているようで、iMacに合わせた5色のスタンドが付属している。トランスルーセントと呼ばれる半透明のボディーからは、側面に描かれた「TAXAN」のロゴと「USB」のロゴが透けて見える。新型Power Mac G3をまねた、洒落た演出が用意されている。

ドライブ自体のスペックは、最大640MBまでのメディアに対応するオーバーライト方式対応となり、128MBから640MBまでの全メディアが利用できる。メディアの回転数は3,600rpmとやや遅く、搭載するキャッシュメモリは512KBとやや少ない。

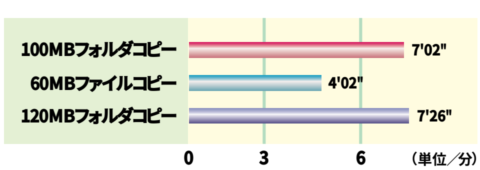
Mac本体との接続方式はUSB*2のみで、iMac／新型Power Mac G3には標準で対応する。旧機種の場合は、市販のPCI対応のUSBインターフェイスカードが必要となる。

本体前面にはメディア挿入口とアクセスランプだけと、非常にシンプルである。本体背面もUSBインターフェイスと電源コネクタ、電源スイッチだけとすっきりしている。電源はドライブ本体に直接ACケーブルをつなぐもので、ACアダプターを使わない方式となっている。

パッケージには専用のドライバーソフトが付属しており、これを組み込めばドライブ本体のセッティングはすぐに終わる。ただし、メディアを初期化するためのユーティリティは付属していないので、別途市販のもの用意するか、Mac OSのFinderで「ディスクの初期化」を使う。

コピー速度はSCSI接続のものと比べれば、それほど速くはない。これは実行転送レート1.2MB/秒というUSBインターフェイスの仕様によるところが大きい。またドライブに搭載されているキャッシュメモリーの容量が512KBと少なめなことも影響している。60MBのファイルをコピーするのに4分ほど、100MBクラスのファイル／フォルダになると、7分以上の時間が必要であった。

このiMO64は、MOを頻繁に使うユーザーよりも、ごくたまにバックアップなどを行なうビギナークラスのユーザー向けという感じだろう。USB接続で手軽に使え、かつカラーリングのコーディネーションがしやすいということで、iMacユーザー向けの製品といえるのではないだろうか。●三谷 森



ファイルの書き込み時間を測定した結果。SCSI接続のMOと比べると、約2倍の時間がかかった

コストパフォーマンス	★★★★☆
機能	★★★★☆
操作性	★★★★★
マニュアル	★★★★☆
総合評価	★★★★½

*1 MO：日本語では「光磁気」。レーザー光で磁性体に磁場をかけるタイプの記録メカニズムで、それを使ったMOドライブ（ディスク）はリムーバブル型ドライブとしてはとくに日本国内でポピュラー。*2 USB：Universal Serial Busの略。キーボード、マウス、プリンター、モデムなどの周辺機器を接続するためのシリアルインターフェイス規格。MacではiMacから採用されている。最大127台までの機器を接続できる。

プロレイド／プロレイド・ツー

ProRAID/ProRAID II

PCI Mac用の高速SCSIインターフェイスカード

Get Information

開発元●formac社
問合せ●フォーカルポイントコンピュータ(03-5484-0140)
URL●http://www.focal.co.jp/
価格●ProRAID：27,000円、ProRAID II：58,000円(Focal Web直販価格　ProRAID：17,000円、ProRAID II：38,000円)
対応機種●PCIスロットを持ったPower Mac
インターフェイスプロトコル●バスマスタリング&ダイレクトメモリーアクセス
対応SCSI種類●SCSI 1,2,3,Fast,Wide,Ultra SCSI
内蔵コネクター形状●ProRAID:8bit 50ピン×1／ProRAID II:16bit Wide SCSI 68ピン 8bit 50ピン×2
外部コネクター形状●ProRAID:16bit Wide SCSI 68ピン×1／ProRAID II:16bit Wide SCSI 68ピン×2
データ転送速度●ProRAID:40MB/sec／ProRAID II:40MB/sec×2チャンネル

Check Point

ファイルの圧縮や暗号化ユーティリティを備えたSCSIカード。機能も豊富で、価格も手ごろな製品。ユーティリティがわかりづらいのが残念。



Ultra Wide SCSIを1チャンネル用意した「ProRAID」



「ProRAID II」はUltra Wide SCSIを2チャンネル用意している

Mac本体がSCSIインターフェイスを装備しなくなったために、従来のSCSI機器を接続したいユーザーはSCSIカードを追加する必要が生じた。その影響を受けてか、国内で入手可能なSCSIカードのラインアップが増えてきたようだ。ここで紹介するドイツのformac社のSCSIカード「ProRAID」シリーズも、そのひとつである。

「ProRAID」シリーズには、Ultra Wide SCSI*1バスを1系統備える「ProRAID」と、同じインターフェイスを2系統備える「ProRAID2」の2種類がある。ほかに初代iMac用の「iProRAID」があり、いずれも採用しているインターフェイス規格は同じものである。「ProRAID」が採用しているUltra Wide SCSIの理論転送レートは、最大40MB/秒だ。一般的なハードディスクやスキャナーなどをつなぐには、十分すぎる性能といえる。実際の転送レートは接続した機器によって変化するが、高速なハードディスクを接続した場合は20MB/秒弱までの性能を得られる（スキャナーは転送速度10MB/秒のFast SCSI*2対応のものがほとんどなので、これ以上の性能は出ない)。

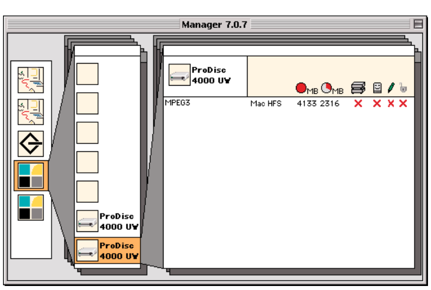
「ProRAID」には、同社が独自に開発したユーティリティ「Manager」が付属している。このソフトはSCSI機器の確認やドライブのマウント／アンマウント、初期化といった一般的な機能に加えて、ドライブ単位で圧縮を行なえる「圧縮ボリューム」や、書き込んだデータを暗号化する「暗号ボリューム」といったユニークな機能を備えている。これらの設定はドライブを初期化してドライバーを書き込む際に行なうので、すでに利用しているドライブを圧縮ボリュームや暗号ボリュームにすることはできない。

圧縮ボリュームは、そのドライブにデータを書き込むと、自動的に最大200%の圧縮が行なわれ、ドライブからファイルを書き出すと自動的に解凍される。暗号ボリュームも同様で、こちらはアクセスするためのパスワードも設定するので、データの信頼性が確保できるのがポイントとなる。SCSIカードに付属のユーティリティで、このような機能を備えているものは珍しく、注目できる製品といえるだろう。

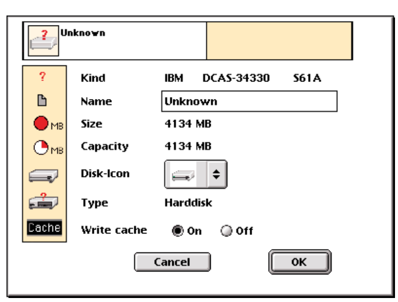


それぞれ外部機器の接続用インターフェイスポートも装備されている

製品の価格は比較的安価なので、購入の時に候補に挙げてもいいだろう。ただユーティリティのインターフェイスは独自のアイコンを多用したもののため、一見してどれが何を意味するのか判断しにくいこと、また、機能を解説するマニュアルが分かりにくいことは残念である。マニュアルがしっかりすれば、製品としての評価も高まるはずだ。　●三谷　森



ProRAIDに付属しているユーティリティ「Manager」。ファイルの圧縮や暗号化などの機能が用意されている。



「Manager」のフォーマット設定画面。アイコン表示だが、ぱっと見たときにわかりづらい

コストパフォーマンス	★★★☆☆
機能	★★★★½
操作性	★★★½☆
マニュアル	★★½☆☆
総合評価	★★★½☆

?

*1 Ultra Wide SCSI：SCSI-2規格を拡張したデータ転送規格SCSI-3規格にのっとったもの。最大16台の機器を接続することが可能。データ転送速度は40MB／秒で、データ転送幅は32ビットである。*2 Fast SCSI：SCSI-2規格のもので、データ転送速度は10MB／秒（同期モードの場合)、データ転送幅は8ビットである。最大7台の機器を接続することが可能。データ転送速度は40MB／秒で、データ転送幅は32ビットである。

アイ・キャップ

iCap

USB対応のビデオから静止画を取り込むキャプチャボックス

Get Information

開発元●Ariston社
問合せ●フォーカルポイントコンピュータ(03-5484-0140)
http://www.focal.co.jp/
価格●34,800円
対応機種●USBポートを備えたPowerMac、iMac
入力信号●コンポジット、S-Video
取り込みレート●160×120〜640 ×480

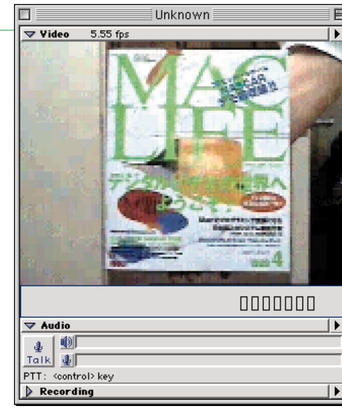
Check Point

撮影したビデオ映像やデジカメのビデオ出力、ゲーム機の画像をMacに取り込むことができるキャプチャーユニット。

コストパフォーマンス	★★★★★
機能	★★★★½
操作性	★★★★★
マニュアル	★★★★
総合評価	★★★★½



非常にコンパクトなボディながら、ビデオ入力（コンポジットとS-Video）端子を備えている。電源はUSBケーブルから取っている



付属の取り込みソフト「iVisit」の画面

iCapはUSBで簡単に接続できるビデオキャプチャーボックスである。本体は名刺くらいの大きさながら。Sビデオ／コンポジットビデオ*1の取り込みとコンポジット映像入力のスルー端子を備えており、映像を取り込みながらその内容をテレビなどで確認することも可能だ。

取り込める映像サイズは80×60ピクセルから640×480ピクセルまで4段階で選択できる。iCapのパッケージには、ビデオケーブル、USBケーブル、ドライバソフトCD-ROM、デモソフトCD-ROMが含まれている。

Mac用の動画取り込みソフト「iVisit」は、動画／音声の記録のほかにインターネット経由でのテレビ電話にも対応している。残念ながらiCapは音声入力端子を備えていないので、音声の記録ややり取りを行なうには、Mac本体のサウンド入力機能か別途オーディオ関連の機器を用意することになる。 ●三谷 森

データブック

DataBook

10,000Gの対衝撃性を持つモバイル用途向けHDドライブ

Get Information

開発元●DataZONE社
問合せ●(株)マツボー情報部門SBUチーム(03-5472-1728)
URL●http://www.matsubo.co.jp/
価格●4GB：78,000円、6GB：98,000円、8〜14GB：オープンプライス
サイズ／重さ●28×108×171.5mm／300g
インターフェイス●パラレル,PCMCIA,USB
ディスク回転数●4,200rpm

Check Point

耐衝撃性として停止時10,000G、稼働時150Gを持つドライブ。インターフェイスはUSB、専用のPCMCIAカード、パラレル接続の3タイプを備えており、MacやWindows間でのデータ交換が容易に行なえる。

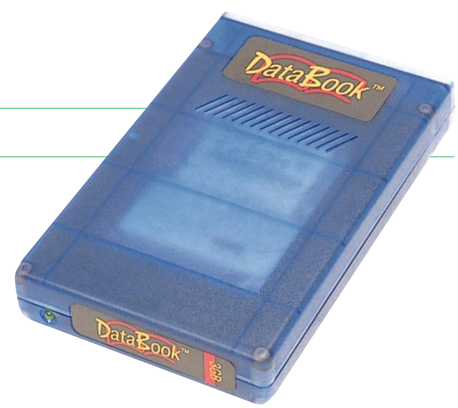
コストパフォーマンス	★★★½
機能	★★★★
操作性	★★★★½
マニュアル	★★★½
総合評価	★★★½

USBなら周辺機器を簡単に付けたり外したりできる特徴がある。その特徴を利用して、ハードディスクそのものを手軽に持ち運べるようにしたのが、この「DatBook」である。

パッケージには、ドライブ本体とUSB接続ケーブル、PCカード*2インターフェイスキット、ACアダプター、ドライバーソフトが含まれる。ドライブ本体は、2.5インチのものを採用しているので、非常にコンパクトである。

このドライブは衝撃に強いのが特徴で、ドライブユニットの周りを緩衝剤が覆っているのがユニークである。最大10,000Gの瞬間衝撃に耐えられるとある。しかし、何かのときに「丈夫である」ということは大きなメリットになるだろう。

ドライバを組み込み、ケーブルをつなげばすぐにデスクトップにマウントされるので、使い勝手はよい。2.5インチドライブであることとUSB接続であることから、速度は決して速くはない。衝撃に強い小型ハードディスクを気軽に持ち運べるという簡便性こそが、この製品のメリットといえるだろう。 ●三谷 森



10,000Gという対衝撃性を備えたHDドライブ「DataBook」



本体にはPCMCIAカード用、USB用の接続ケーブルが付属している。I/Fキットは別売で、USB I/F キット、PCMCIA I/Fともに14,800円

*1 コンポジットビデオ：RGBの色信号や輝度信号を一緒に扱う信号のこと。通常のビデオの映像信号と同じ。 *2 PCカード：パソコンでよく利用されるICカードの仕様。カードの厚みによって、Type I（3.3mm）、Type II（5mm）、Type III（10.5mm）がある。

ブースター・ジースリー・466

BOOSTER G3 466

PowerMacに最高のパフォーマンスを！　466MHz CPUアクセラレーターカード

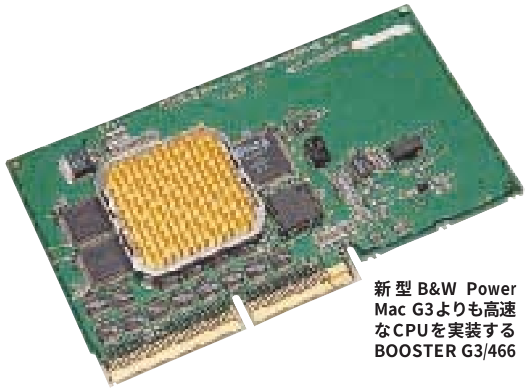
Get Information

開発元●(株)インタウェア
問合せ●インタウェア・ユーザー・サポート(03-5411-8010)
URL●http://www.interware.co.jp/
価格●オープンプライス
対応機種●Power Macintosh 7300、7500、7600、8500、8600、9500、9600
バックサイドキャッシュ●1MB
CPU クロック周波数●466 MHz
バックサイドキャッシュクロック●233 MHz

Check Point

新技術のクロック・ダブリングを用いて、本体のクロック上限制限をうち破ったCPUアクセラレータカード。

コストパフォーマンス	★★★★½
機能	★★★★☆
操作性	★★★★★
マニュアル	★★★★☆
総合評価	★★★★½

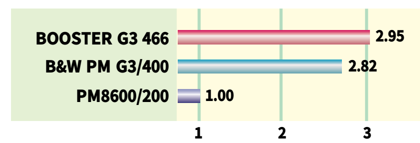


新型B&W Power Mac G3よりも高速なCPUを実装するBOOSTER G3/466

B&W Power Mac G3が登場した今でも、Power Mac 8000／9000シリーズを使っているユーザーは多い。処理能力を向上させるにはCPUの交換が最も手っ取り早い方法であり、インタウェアの「BOOSTER」シリーズは、そうしたユーザーに支持されている。ここで紹介する「BOOSTER G3 466」は、CPUのクロックを2倍で動作させる「クロック・ダブリング」という技術を搭載し、B&W G3よりも高速なクロック周波数466MHzで動作するPowerPC G3を採用、1MBのバックサイドキャッシュ*1を搭載した。対応機種はCPUドーターカード方式を採用した第2世代Power Macシリーズ全機種となる。

装着は既存CPUカードを差し換えるだけと簡単であり、ビデオ回路をロジックボード上に備えている7000／8000シリーズの機種であれば、処理速度に加えて画面描画も高速化される。

実際の高速化は、遅い機種からの移行であるほどインパクトが強い。ただしSCSIなど周辺インターフェイスの性能は改善されないので、全体のバランスをとるならSCSIカードを追加するなどインターフェイス関連の高速化も考えたいところだ。●三谷 森



System Info 4.0（Mac OS 8.6J）で測定したベンチマークデータ。BOOSTER G3 466を装備したPower Mac 8500/200に比べて3倍もの性能アップとなった

ブースター・ジースリー・ゼット466

BOOSTER G3Z 466

G3 PowerMac用466MHz CPU高速アクセラレーターカード

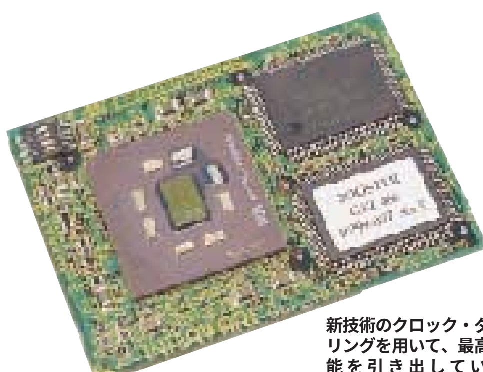
Get Information

開発元●(株)インタウェア
問合せ●インタウェア・ユーザー・サポート(03-5411-8010)
URL●http://www.interware.co.jp/
価格●オープンプライス
対応機種●Power Macintosh G3 DT、MT、B&W Power Mac G3
バックサイドキャッシュ●1MB
CPU クロック周波数●466 MHz
バックサイドキャッシュクロック●233MHz

Check Point

Power Mac G3シリーズに対応した高速CPUアクセラレーターカード。Power Mac G3 DT/MTユーザーには最適なカード。

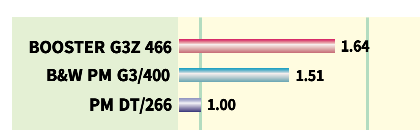
コストパフォーマンス	★★★★☆
機能	★★★★☆
操作性	★★★★★
マニュアル	★★★★☆
総合評価	★★★★☆



新技術のクロック・ダブリングを用いて、最高性能を引き出しているBOOSTER G3Z 466

旧Power Mac G3シリーズは、CPUモジュールを入れ替えることでパワーアップが行なえる利点がある。そのための製品が多く登場しているが、インタウェアの「BOOSTER G3Z 466」もそんな製品のひとつである。この製品は、同社の「BOOSTER G3 466」と同じく、クロック周波数466MHzのPowerPC G3を搭載する。バックサイドキャッシュは1MBで、キャッシュバスクロックは233MHzという性能も同じである。対応機種はZIFソケット*2を備えたPower Mac G3シリーズで、新型Macにも対応している点が特徴といえるだろう。これにより、B&W Power Mac G3の300MHzクラスのマシンを450MHz台のマシンにすることも可能になる。特にPower Mac G3 DT 233に装着すると、CPU、FPUともに2倍に性能が向上し、最も高速化の恩恵を受けることができる。

同種の製品では唯一の国産製品であり、サポートがしっかりしている点は好ましい。目的と予算的な問題をクリアできるならば、購入を検討してもいい製品だ。●三谷 森



System Info 4.0（Mac OS 8.6J）で測定したベンチマークデータ。BOOSTER G3Z 466を装備したPower Mac G3 DT/266は装着前に比べて1.6倍もの性能アップとなった

*1 バックサイドキャッシュ：2次キャッシュメモリへの高速なアクセスを実現する技術で、CPUと2次キャッシュメモリーを結ぶ専用のバスのこと。　*2 ZIFソケット：力をかけずにCPUを装着できるICソケット。チップを載せ、横にあるレバーを動かすだけで完全な装着することができる。Power Mac G3 MT,DTなどのマシンに採用されている。

present

1



コニカフォトジェットペーパー
PhotolikeQP　5名
デジカメ、スキャナー、フォトCDの出力に最適な光沢紙
コニカ株式会社／03-5269-9745

2



B's Recorder GOLD　2名
強力CD-R/RWライティングソフトウェア
株式会社クエスト／03-3222-0688

3

Video Builder Mac
1名
インターネット・イントラネット対応、動画・音声圧縮ソフト
ムービーファイル思いのまま
マップジャパン株式会社／03-3861-5701
http://www.mapjapan.co.jp/



4



iMac
コンピューターカバー
1名
iMacをやさしく包んであげよう
共立電子産業株式会社／06-6644-4446

5



Mac
コンピューターカバー
1名
Macに大事にカバーをかけよう
共立電子産業株式会社／06-6644-4446

6

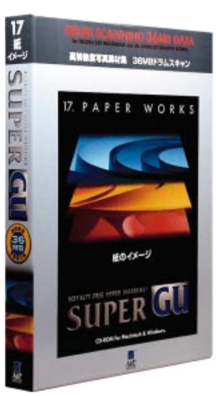
ピナオプション「コキンチョウ」
1名
かけ合わせで多彩な歯音色のヒナが誕生する
*本製品は、デスクトップシリーズ「ピナ」のオプションディスクです。本製品単独での使用はできません
オープンブック株式会社
http://www.openbook9003.co.jp/



7

ピナオプション「アカカナリア」　1名
鈴を振るような美しいさえずりで人気の高いアカカナリア
*本製品は、デスクトップシリーズ「ピナ」のオプションディスクです。本製品単独での使用はできません
オープンブック株式会社
http://www.openbook9003.co.jp/

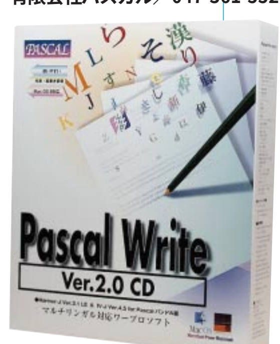
8



SUPER GU
紙のイメージ　1名
高解像度36MBデータを100点収録
エーアンドピーコーディネータージャパン株式会社
http://www.apjapan.co.jp/

9

Pascal Write Ver.2.0　1名
マルチリンガル対応ワープロソフト
有限会社パスカル／047-361-5520



10

Mariner-J Ver.3.1
1名
快速・簡単の多機能表計算ソフト
有限会社パスカル／047-361-5520



●応募方法
巻末の綴じ込み読者はがきに、ご希望のプレゼント番号をご記入ください。CD-ROM MACLIFEに収録の「読者メール&資料請求テンプレート」にご記入のうえ、maclife@bnn.co.jp宛の電子メールでも応募できます。申し込み締め切りは、99年8月17日です（当日消印有効。メールは当日到着分まで）。なお、当選者は99年10月号にて発表させていただきます。

見ればわかる Mac活用語辞典

text & Illustration
インフォメディア
監修●萩野生政

フォントってなんだろう？　英和辞典では“同型活字のひとそろい”と出てくる。いちばん近い日本語をあてると“書体”となるだろうか。Macで使える書体は日本語だけでも1,000書体以上あり、アルファベットになるといったい何万書体あるのかわからない。日々、新しいフォントも生まれている。今回のテーマはフォントを文字の形ではなく、フォントの形式で分類すること。日本語環境では、フォントの使い方を覚えないと、使うプリンターによってなめらかに印字されなかったり、指定した書体と違う形でプリントされたりする。なぜや？　たこ焼き君！

文字（フォント）の巻

System Font
［システムフォント］



システムフォントの謎

Macのフォントで一番重要なのは、おなじみのゴシック書体「Osaka」だ。なぜなら、システムフォントとしてメニューやフォルダー名の表示に使われているのがOsakaだからだ。Osakaの歴史は古く、一番最初はビットマップフォントだった。そのころの相棒だった明朝系の「Kyoto」が消えたあとも長寿を保ってきた。MacOSの進化とともにバージョンアップを繰り返し、いまでは立派にアウトラインフォントに変身。Macの画面がWindowsにくらべて親しみやすいのは、Osakaフォントのおかげだ。英語のシステムフォントは、由緒あるサンセリフ書体（和文でいうゴシック系）「Helvetica」のビットマップ版としてスタートしたGeneva（ジュネーブ）だ。Genevaと呼ばれるのは、Helveticaがスイスでデザインされたから。和文のOsakaと欧文のGenevaは、ともにシステムに必須のフォントだから基本的に捨ててはいけない。

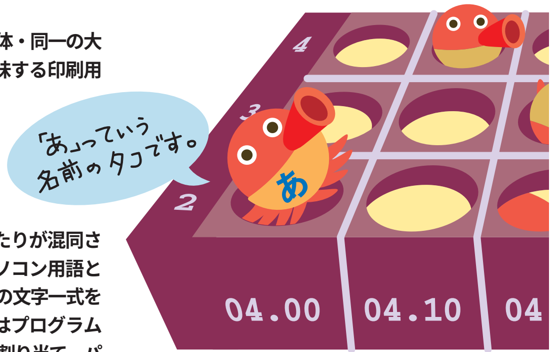
さて、MacOS8.6の標準フォントセットを見てみよう。和文フォントは、Osaka、Osaka等幅、OsakaBold、OsakaNarrow、平成明朝、平成角ゴシック、細明朝体、中ゴシック体などのほかにも「リュウミンライト‐KL」など、本格的な和文書体が8書体も付いているけれど、標準でインストールされないので意外と使われていなかったりする（もったいない！）。

欧文フォントは、「Chicago、Courier、Geneva、Helvetica、Monaco、NewYork、Palatino、Symbol、Times、Charcoal、Capitals、Gad‐get、Sand、Techno、Textile」等々、地名の名前のフォントが多い。名前の由来を調べてみるのも楽しいかも。

©コバキャラ

「フォント」と「書体」

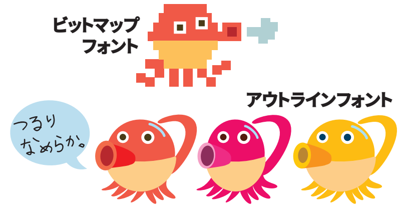
「フォント」とは、もともと「同一書体・同一の大きさの欧文活字のひとそろい」を意味する印刷用語だった。「書体」とは、「同じ図案に基づいて作られた文字の種類」のことで、明朝体、ゴシック体、楷書体などの種類の違いを指していた。パソコン用語として広く使われるようになった「フォント」は、このあたりが混同されている。フォントという言葉をパソコン用語として定義するとすれば、「特定の書体の文字一式を記述したひとまとまりのデータまたはプログラムで、文字の一つひとつにコード番号を割り当て、パソコンやプリンターで利用できるようになったもの」とでもいえばいいのだろうか。和文フォントの場合、JISX0208という工業規格で決められた漢字や記号の文字セットに、フォントフォーマットやパソコンの機種によって独自の文字を追加して文字コードが成り立っている。



フォントに含まれる文字にはそれぞれ文字コードがふられている。たとえば「あ」という字は、区点コード「04.02」、JISコードだと「2422」だ

ビットマップフォント／アウトラインフォント

フォントは、ビットマップフォントとアウトラインフォントの2種類に分けられる。ビットマップフォントはドットの集合で文字を表現したフォントで、アウトラインフォントはドロー曲線で表現したフォントだ。Macで使えるアウトラインフォントは、TrueTypeフォントとPostScript（以下PS）フォントがある。PSフォントはプリンターにダウンロードして使う場合と、Adobe Type Manager（以下ATM）を使って画面表示させる場合がある。



スクリーンフォント／プリンターフォント

画面に表示するためのフォントをスクリーンフォント、プリンターにダウンロードして使うフォントをプリンターフォントと呼ぶ。スクリーンフォントという場合、ビットマップフォント、TrueTypeフォント、ATMフォントがある。プリンターフォントはほとんどの場合、PSフォントのことを指す。QuickDrawプリンターの場合、スクリーンフォントがビットマップなら印字もビットマップになるし、アウトラインフォント（TrueTypeやATMフォント）なら印字もアウトラインになる。これは、QuickDrawプリンターの場合、MacOSのラスタライズ機能（QuickDraw）でスクリーンフォントをドットデータに変換し、印字に使用しているからだ。PSプリンターの場合、スクリーンフォントがビットマップフォントでも、プリンターにプリンターフォントがダウンロードされていればなめらかな印字が得られる。



QuickDrawプリンターは、モニター表示に使われるビットマップをそのままプリンターに転送してプリントしている。いわば商品をそのまま送っている産地直送方式



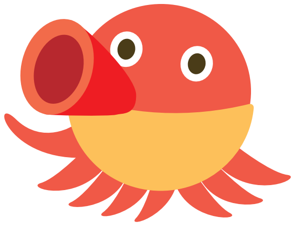
PSプリンターは、プリンターにプリンターフォントが用意されていれば置き換えて印字する。こちらは注文だけが送られてきて、倉庫から品物を卸す伝票方式とでもいえばいいだろう



Osakaフォントは大阪フォントなんやで！

漢字Talk1.0では「Tokyo」「Osaka」「Sapporo」「Kyoto」の4つがあったんやけど、今でも残っとるんはOsakaだけや。さすが大阪、やっぱ大阪もんはしぶといなぁ。

見ればわかるMac活用語辞典

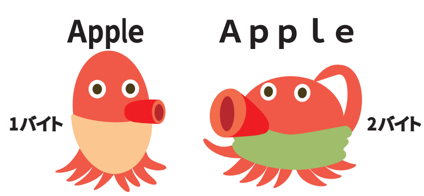


文字（フォント）の巻

1 バイトフォント／2バイトフォント

［1 byte font/2 byte font］

文字を識別するために、各文字には文字コードという認識番号がある。この文字コードには1バイト（2の8乗=0〜255までの数字）と、2バイト（2の16乗=0〜65535までの数字）がある。1バイトの文字コードで定義できる文字セットは256文字まで。文字数が少ない英数字やカナ専用フォントならこれだけで足りるので1バイトフォントとして作られる。日本語の文字セットには約7,000文字もあり、2バイトの文字コードが使われているため、2バイトフォントとなる。しかし日本語フォントには、英数字が1バイトと2バイトと2重に割り付けられている。そのため同じ欧文でも「Apple」と「Ａｐｐｌｅ」のように入力の仕方で違うデザインの字になってしまう。



和文フォントを指定して、Romanで入力すると1バイトの「Apple」に、日本語変換で入力すると2バイトの「Ａｐｐｌｅ」になる。Macユーザーたるもの、英数字はきちんと「Apple」と入力しよう

P Sフォント／TrueTypeフォント／ATMフォント

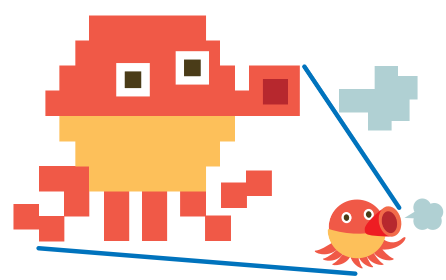
［ピーエス／トゥルータイプ／エーティーエム］

PSフォントは、アドビが開発したページ記述言語「PostScript」で記述されたアウトラインフォントフォーマット。MacのDTPでは業界標準だ。プリンターに送られるファイルにはPSファイル名のみが記述され、プリンターフォントがある場合はプリンターフォントに置き換わって処理される。ラスタライズはプリンターの解像度に合わせて行なわれる。TrueTypeは、アップルとマイクロソフトが開発したアウトラインフォントフォーマット。漢字Talk 7からOS標準のアウトラインフォント形式として採用されている。漢字Talk 7.5まで600dpiの解像度制限があった。ATM（Adobe Type Manager）とは、パソコンの本体上で動作するType1フォントのラスタライザー。PSフォントは、ATMでラスタライズ処理することによって画面上でも輪郭を滑らかに表示させることができる。この場合、PSフォントのことを、一般にATMフォントと呼ぶ。ビットマップフォントに比べ高品位のため、文字詰めなどの細かな調整に威力を発揮する。ATMが効いた状態なら、PS非対応プリンターでも滑らかな文字が出力できる。

ビットマップフォント／アウトラインフォント

［bitmap font／outline font］

ビットマップフォントは、文字をドットの集まりで表現するデジタルフォント。ドットフォントともいう。ビットマップフォントの場合、特定のポイント数に合わせてデザインを行なっている。特定のポイント数以外では整数倍できるポイントか近いポイントから拡大・縮小を行うため品質が低下する。特に大きなサイズの印字ではジャギー（輪郭部のガタつき）が目立つようになり、大きなポイントを美しくデザインしようとするとデータ量も大きくなる。小さな文字の表示では適切にデザインされたビットマップの方が美しい場合がある。ビットマップの用意されているポイント数は、ポイント数のメニューが袋文字で表示される。アウトラインフォントは、文字の輪郭（アウトライン）を座標と線で結ぶ数式のデータとして記憶しているデジタルフォント。拡大縮小してもなめらかなアウトラインで表示・印刷ができる。出力時にドットの集まりであるビットマップに変換する。この変換をラスタライズという。



ビットマップフォントの場合、小さい文字ではわからなくても、大きい文字ではジャギーが目立つ

O CFフォント／CIDフォント

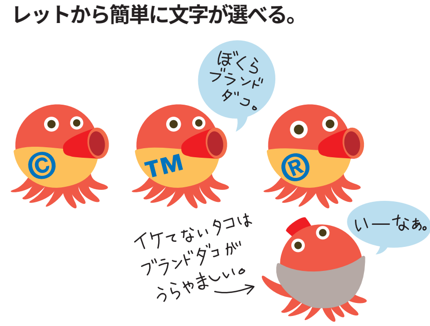
［オーシーエフ／シーアイディ］

PSフォントは、もともと欧文のために開発されたフォントなので1バイトの文字セットしか扱えなかった。日本語を扱うには2バイトの文字セットを扱わなければならないため、対応させるのに工夫が必要だった。256文字しか扱えないPS Type1フォントをたくさん重ね合わせ、2バイトフォントとして使えるよう拡張したのが「OCF（Original Composit Font）」だ。ただし、元々2バイトフォントとして考えられたものではなかったので、構造が複雑で処理に無駄が多かった。そのため新たに開発されたのが、「CID（CharacterID - keyed Font）」だ。CIDではははじめから7,000文字以上のアウトライン情報を一つのファイルに納めることができるため、OCFに比べ構造が単純で処理効率がよい。そのうえアウトライン情報と文字コードが切り分けられていて、文字コードはCMapとよばれるファイルで複数用意することもできるようになっている。

特殊文字・記号

［special characters］

™（商標）、®（登録商標）、©（著作権）などキーボードにない特殊文字は、欧文フォントでoptionキーなどを押しながら入力する。どのキーがどの特殊記号かはキー配列で確認できる。日本語フォントのまま特殊文字を使うときは、シェアウェアの「Pop Char Pr（http://www.unisoft.co.at/e/products/popchar.html）」を使えば文字パレットから簡単に文字が選べる。



ファミリー

［family］

欧文書体では、ひとつの書体を中心に、レギュラー・ボールド・イタリック・コンデンスなどのバリエーションからなる「ファミリー」という考え方がある。和文書体は、もともと、本文用、見出し用といったように、用途に合わせて書体をデザインするためファミリーという概念はなかったが、デジタルフォントの登場以来、和文書体でも主に太さのバリエーションをそろえてファミリーと呼ぶようになってきた。

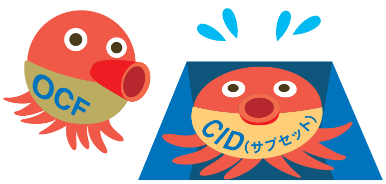
Helvetica Light
Helvetica Light Oblique
Helvetica
Helvetica Oblique
Helvetica Bold
Helvetica Black
Helvetica Black Oblique

ファミリーの一例（Helvetica）

フォントの埋め込み

[font embed]

Adobe Acrobat 4.0から、フォントのアウトライン情報をPDF（Portable Document Format）に埋め込むことができる。フォントをPDFに埋め込むと、PDFを送った先で同じフォントを持っていなくても、まったく同じフォントデザインで表示や印刷ができる。しかも日本語版以外のものでも日本語表示が可能でOSを問わない。フォントの埋め込みに対応しているのは、Macの場合CIDフォントのみ。WindowsはTrueTypeも埋め込めるが、Macでは対応が遅れている。ただし、どの場合もフォントベンダーの埋め込み許可の設定がないと埋め込めむことができない。

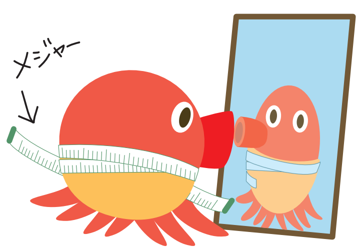


CIDフォントの埋め込みは、PDF化したい文書の中で使用しているグリフ（字形）の情報だけをサブセットとしてPDFに持たせている

文字サイズ

[font size]

Macでは、文字の大きさを「ポイント」で指定するアプリケーションが多い。1ポイントは1/72インチ（約0.35mm）で、単位は「pt」と略されるのが一般的である。DTPでは級数（Q）も使われる。Qは日本の写真植字から来ていて、1mmの1/4（Quarter）すなわち0.25mmが単位。送りの単位の歯（H）も同じ0.25mmだ。他にも「mm」「パイカ」「シセロ」などがある。



マックライフ　←左の“マックライフ”は9ポイント

文字化け／機種依存文字

[gobbledygook/special charactors]

Windowsマシンで作成されたテキストをMacで開くと、㈱が①になるなど部分的に置き換わっていたりすることがある。このような現象を、「文字化け」という。和文フォントは、JISX0208という工業規格で決められた文字コードを基本にしているが、JISで定義されていない文字コード領域に、パソコンメーカーによって、またはフォントフォーマットごとに独自に追加され文字が加わっている。このように独自に追加された部分の文字を「機種依存文字」と呼ぶ。文字化けはこのような機種依存文字を使用している場合に発生する。Macの場合、同じMacOSなのに、TrueTypeとPSフォントでは、JISの未定義領域に違う外字が追加されている。どうしてもこれらを使用したい場合、文字パレットの表示を使用したいフォント名に切り替えて表示し、入力する。機種依存文字は互換性が保証されないので、お互いの了解がある場合をのぞいて使うべきではない。特に相手がどのようなパソコンやフォントを使用しているのかわからないインターネット上などでの使用は避けるべきだ。外字フォントを使用している場合も同じことがいえる。また、フォントが用意されていない場合、ビットマップで出力されたり、Courierフォントなど別のフォントに置き換わったり、部分的に文字が抜けることがある。これらの現象も文字化けと呼ばれる。

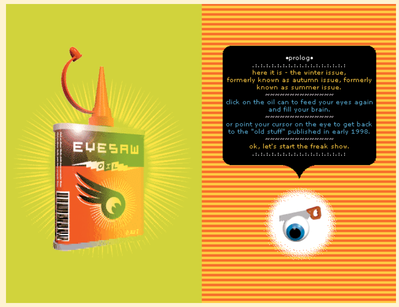


オリジナルフォント

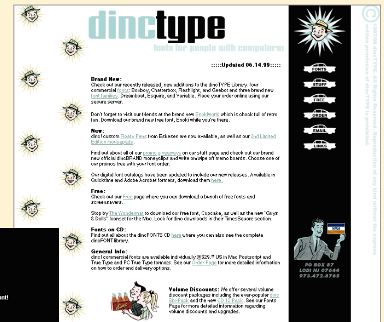
フォントデザイナーのクールなWebサイトにはシェアウェアのほか、条件の範囲内（多くは個人の楽しみで使う以外の使用を禁ずる）で自由に使用できるフリーフォントがある。フリーフォントをダウンロードするときは、感想などのメッセージをひとことボードに残すエチケットを。



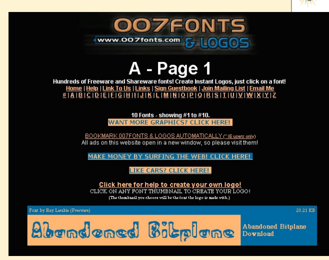
こちらもクールなサイト。フリーフォントのページにはMacファンの心をくすぐる仕掛けあり
BD FONTS●http://www1.bermuda.ch/bureaudestruct/home.html



目玉をノコギリでギコギコのアニメにびっくり！ サイトデザインは超クール
eyesawFONT●http://www.signalgrau.com/eyesaw/



ちょっとレトロなアメリカンデザインが、なごみのサイト。'50年代風のフリーフォントに注目！
Fonts for People With Computers!●http://www.girlswhowearglasses.com/fonts.html



2,000種近くのフリーフォントの山。「宝の山かゴミの山か」は使う人のセンス次第
007Fonts free●http://www.007fonts.com/

和文・アルファベット以外のWebサイトを見るには

ハングル、ロシア語、ヒンディー語……。日本語やアルファベット以外のWebページを見るには各国語のフォントが必要だ。そんなニーズに答えてくれるフリーフォントのサイトがこれ。アメリカンネイティブのフォントまであるのには感動。



Yamada Language Center Font Archive●
http://babel.uoregon.edu/yamada/fonts.html

Manhattan Cyber Street

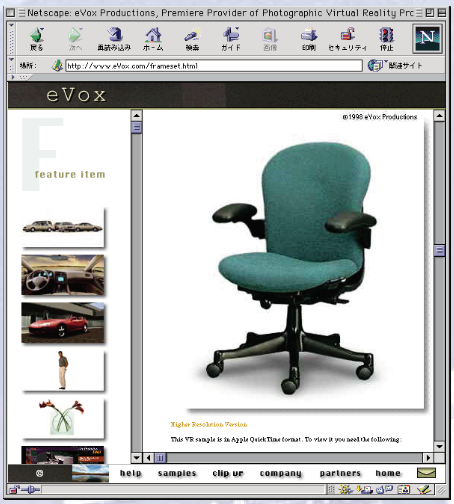
「Manhattan Cyber Street」ではシリコンアレーのほか、New Yorkの先端技術、企業などを紹介します

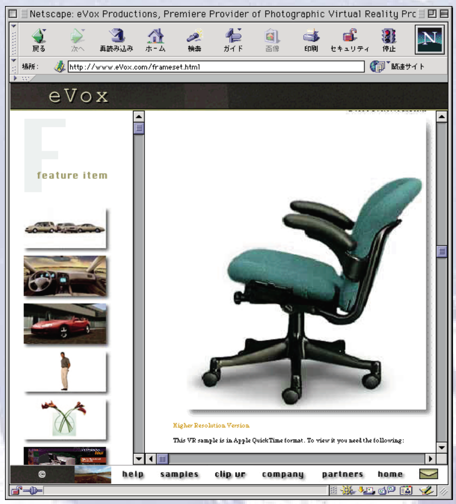
New York最新デジタル事情

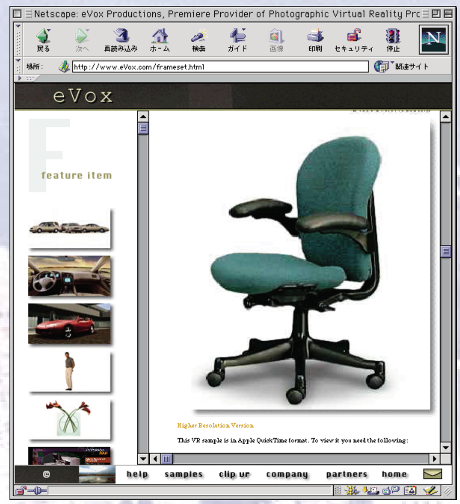
●取材・文 渡辺史敏／Fumitoshi Watanabe

カタログで目に止まったアームチェアをあらゆる角度から見て、デザインをチェック。こんなショッピング方法がWebによって本格化しつつある。そのとき重要になるのがバーチャルリアリティ(VR)イメージだ。そんな商用VRイメージを制作しているのがeVoxだ。

eVoxのWebページに置かれたサンプルVRイメージ。椅子のリクライニングや背もたれの上下などを、マウス操作で試してみることができる







Vol.3 eVox

http://www.evox.com/

VRイメージの制作を専門とするeVoxは、1995年9月、ロサンゼルスに設立された。昨年春、初めて彼らの本拠地を訪ねたとき、ちょうどニューヨークのスタジオと事務所を開設したところで、社員は15人だった。

そして今回、彼らのニューヨークのスタジオ兼セールスオフィスで副社長Kelly Peters氏にインタビューしたところ、社員は70人に増えており、デトロイトとロサンゼルス郊外のロングビーチにスタジオを増設。さらにeコマース向けの高画質なイメージ制作を目的としたeVoxイメージングファクトリーも開設するという躍進ぶりだ。8月にはロンドンにも新スタジオを新設する予定だという。

そんなeVoxの特徴は、前述したように商用VRイメージングに特化したプロダクションということだ。しかし、設立した当初は「VR市場なんてものはなかった」(Peters氏)という。最初にVRイメージを活用し、市場形成の原動力となったのは自動車産業だった。興味を持った車をあらゆる角度から見たり、車内をぐるりと見渡したりできるVRイメージは、Webでの自動車プロモーションにおける顧客のニーズにマッチした方法だったのだ。

「ある分野でベストな技術を持つプロダクションにしたい」というPeters氏たちの先見の明が、見事、市場形成につながったのである。現在では車の全周映像を撮影できるターンテーブルをロサンゼルスに6台持つほどだという。デトロイトのスタジオも自動車メーカーのニーズに対応したもので、ロンドン進出も「ヨーロッパにはアメリカとは別の大きな自動車市場がある」ことを考えた戦略だ。

現在、eVoxが次のステップとして焦点を合わせているのは、VRだけではなく「インタラクティブイメージ」。eコマースが普及するとき、より高画質でインタラクティブなイメージを提供できるかどうかが、ビジネス成功の大きな鍵になると考えられているからだ。

「たとえば、Web上でカセットレコーダーのカタログを見たとき、ふたを開けることができたり、どんなモードがあるかということを体験できるようなコンテンツは、Webでお金を払おうとしている人達を捉えるのに効果的」なのである。

eコマースも現在、米国では大ブームといえる状況だが、「始まったばかり。ちょうどはじけたところ」であり、「個人的にはまだ助走段階で、本当に人々の間に浸透するのは、来年、そして2001年あたりだ」と予測する。

はやりのインターネットとTVの融合についても「来年には人々がテクノロジーとメディアがどうなるかを理解し、投資を本格化する」との考えから、それが実現する“前”から準備を始め、広告などに向けたインタラクティブイメージを制作できるようにしているという。

VRに続き、市場がない時から始め、パイオニアとして成功を目指すというのがeVoxの姿勢だ。試行錯誤を続けながら、常に先端を行こうとするeVoxの取り組みは、今後のテクノロジー動向を探る上で見逃せない。

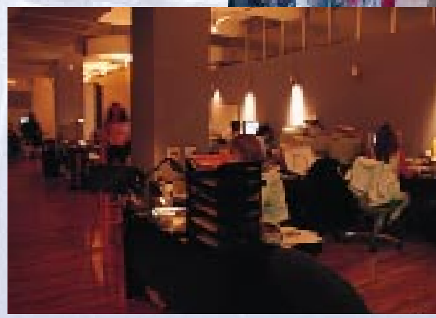


シリコンアレーは キーとなる都市であり続ける

eVox副社長
***Kelly Peters*氏**



photo：Kyoko Watanabe



シリコンアレーに限らずある分野の企業が特定の通りに固まるのがNYの特徴。eVoxのオフィスはファッションビジネス街の真ん中に存在する

シリコンアレーではなく、デジタルコーストと呼ばれるロサンゼルスを本拠にするeVoxが見るニューヨークとは、どんなところなのか。eVoxのKelly Peters氏に聞いた。

――ニューヨークにおける顧客はどんな企業ですか？

Peters●ニューヨークの顧客の多くはインタラクティブエージェンシー(代理店)ですね。Razerfishのような。これらのエージェンシーにはネット独自のところもあれば、大手代理店の傘下にあるところもあります。そのどちらもが我々がターゲットとするところです。

――なぜNYオフィスに、このロケーション（36丁目）を選んだのですか？　ここはシリコンアレーの中心であるダウンタウンでもなく、多くのメディアや代理店が集まるミッドタウンの地区でもありませんよね？

Peters●理由のひとつは、我々のパートナーであるイメージインフォがここを選んだことがあります。彼らはファッションビジネスのためのデータベースソフトウェアのプロバイダーとしてリーダー的存在なのです。この地区はニューヨークのファッション業界の中心地ですよ（実際、この地区にはファッション関係の会社や卸問屋が集まっている)。

そしてもうひとつは、マンハッタンのどこへでも簡単に行けるということ。いわばマンハッタンの中心であることがキーになっています。

ファッションビジネスという観点からいえば、我々はeコマースはファッションから広がっていくと考えています。早期に最大規模のユーザーを獲得するでしょう。たしかに自動車は最初にVRマーケットに気づきました。しかし、Web流通ベースではファッションが一気に伸びる可能性があります。だからこそ我々は昨年2月に、いいパートナーといいロケーションを選んだのです。

――シリコンアレーとデジタルコーストの違いを感じますか？

Peters●最近のシリコンアレーを見ていて、大きな驚きを感じています。以前は、シリコンアレーの企業というと独立系のところが多かったのですが、今はほとんどが大企業の傘下に入っていますからね。ダイナミックに変わりましたね。

しかし、これは自然な進化だと思います。すべてのマーケットが協力していかなければいけないのです。LA、サンフランシスコ、シカゴ、ロンドン、世界の別々の場所が協力し、連絡をとっていかなければなりません。

NYとLAの違いという点からいうと、市場のダイナミックな成長のしかたがNYの特徴ですね。

――各都市の役割は変化すると思いますか？　たとえばLAといえばエンターテイメントで、NYはメディアの中心といったイメージですよね。

Peters●たしかに各都市にはいろいろな役割があります。私にいわせればNYは経済の中心です。また広告もNYに集中しています。

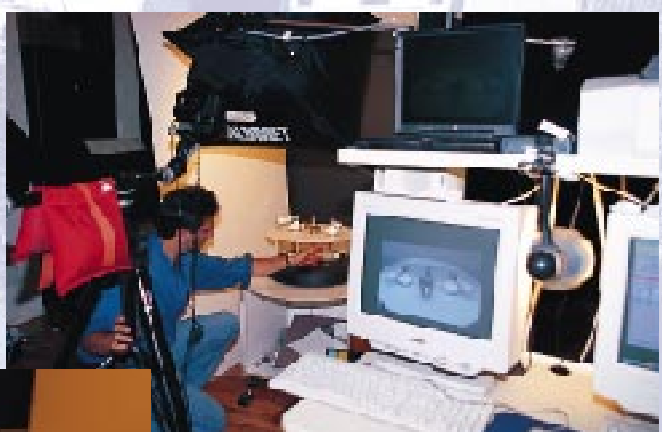
LAはやはりエンターテイメント、あと広告と自動車もあります。またアメリカにおけるアジア市場向けビジネスの中心でもあります。

私はこのような役割が今後も続いていくと思います。それはその土地にいる各ビジネスのエキスパートの力が必要となるからです。これはeVoxの事業でもいえますね。エージェンシーにしてもアイデアは人から生まれてきますから。

――シリコンアレーの将来をどう予測しますか？

Peters●成長は続くでしょう。ダイナミックに動く風土に、すばらしいインフラとコミュニケーションのネットがありますから。

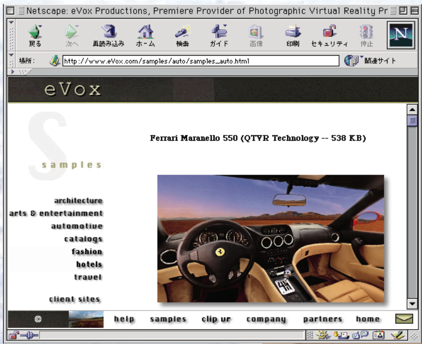
さらにインターナショナルに広がっていくと思います。我々にとっても、シリコンアレーはキーとなる都市でありつづけるでしょう。





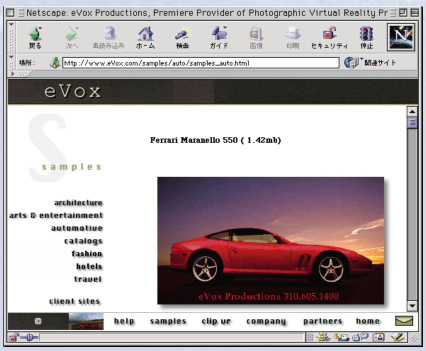
NYオフィスに隣接したスタジオではひっきりなしにデジタルイメージの撮影が行なわれている。写真はオンラインショッピング用の家具のパーツを回転台の上にのせて撮影し、モニターに取り込んでいるところ





ドライバーズシートから車の中を360度見まわしたVRイメージのサンプル。これまでの紙カタログなどではできなかったアピールがVRの使用によって可能になっている



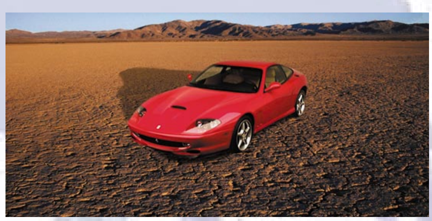


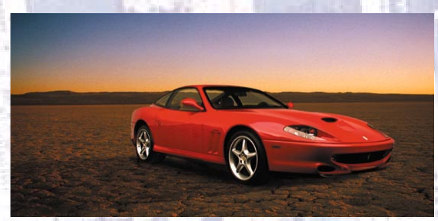
車を好きな角度から見ることができるVRイメージサンプル。上のイメージもそうだが、背景は合成。大掛かりなブルーバックやモーションカメラによるVR撮影ができるスタジオもeVoxの自慢

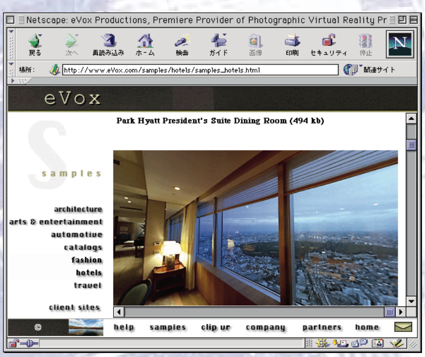


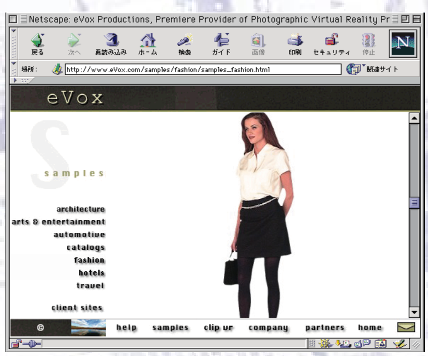


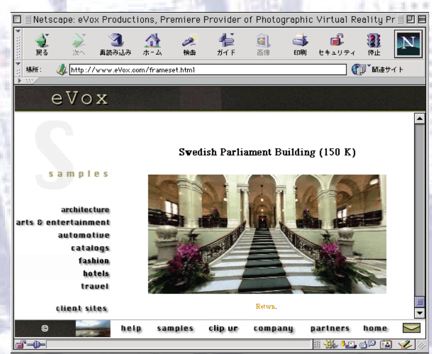




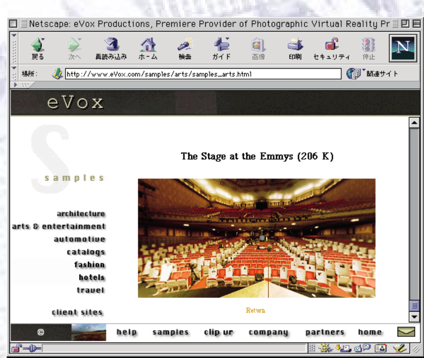












ホテルの客室紹介やファッション、観光案内など、Webを中心としたVRイメージの商用展開はまだまだ始まったばかり。これからもその活用範囲は広がりそうだ

インタラクティブイメージの本命？ OpenPix

今回、Peters氏とのインタビューのなかで何度か話題に上ったのがヒューレット・パッカードの推進するOpenPixである。これは同社が開発、ライセンスしているインタラクティブなイメージデリバリーシステムで、イメージのオーサリングとサーバーコンポーネントから構成されている。

イメージフォーマットとしてはJpegとともにFlashPixをサポート、クライアント側はイメージのズームや移動をJavaアプレットによって簡単に行なえるのが特徴だ。

最初からWebを通したｅコマースやサービスを前提に作られており、HTMLのタグ編集などへも対応している。

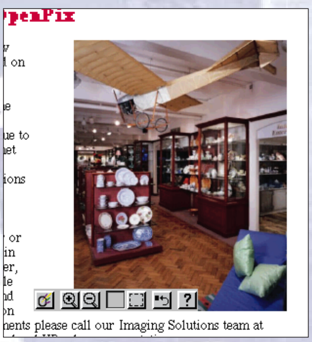
動作も比較的軽く、オリジナルのFlash Pixなどより見やすい感じだ。ただしズームアップなどでその都度ダウンロードすることになるのは同じで、回線速度によっては待ち時間ができてしまう。とはいえ、インタラクティブなイメージ配信システムとして、eVoxのような商用インタラクティブイメージを展開する企業にとって、たしかに導入を検討する価値はあるだろう。

サーバー側のシステムであるOpenPix ImageIgniterは、Windows NT、HP-UX、Solarisに対応している。

また、イメージ配信システムのライセンスによるビジネス展開というのも、ｅコマース時代ならではといえるかもしれない。



HPによるOpenPixのサンプルWebページ。ｅコマース用規格の本命か（http://image.hp.com/）



OpenPixでは、操作バーが画像近くにフローティングで表示される



クリックひとつで見たい個所のズームアップなどの操作が可能。ダウンロードに時間がかかることもある

マウスでドラッグして表示範囲を変えることも可能だ



VRイメージ競争は続く

インターネットなどで使用されるVRイメージの規格は現在数種類存在する。

eVoxも過去いくつかの規格で作品を制作してきた。しかし、Webなどで見る限り、最近はQuickTimeを使ったものが多いようだ。

QuickTimeについてPeters氏に聞いてみると次のような考えを述べた。

「バージョン4に限らずQuickTimeプラットホームは我々にとって良いものでした。なぜなら、写真ベースのVRイメージの配信を実現してくれているからです。QuickTimeは3から動画、VRイメージ、QuickDraw 3Dなどを一体化しました。しかし、QuickTime 4はVRイメージという点では大きな進展はありませんでした。そこにこのバージョンの開発の焦点が当てられなかったのでしょう。そういった意味では、我々プロダクション側にとって大きなインパクトはなかったといえます。QuickTime 4の最大のインパクトは何かというと、何百万人もの人々がダウンロードした、ということなのです。これが我々の助けになります。我々が配信しているものをそれだけ多くの人達が見ることができるということですから。より多くの機会を与えてくれたというわけです」

やはり商用ベースでの制作であり、見てもらえてこそ、という“デファクトスタンダード”の重要性が感じられる意見である。その点で、iPIXなどとの違いを「市場という観点からいえばQuickTime VRをいかに人に使ってもらうかという点にかかっています」という。

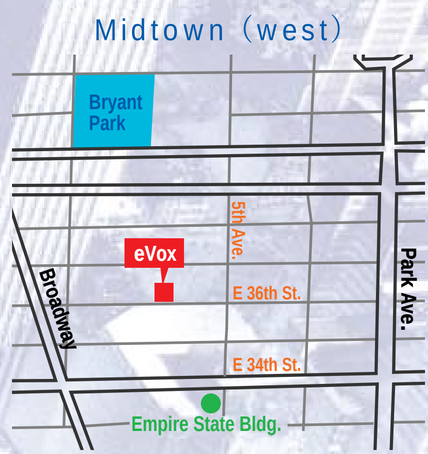
とはいえ、QuickTimeがこのまま標準になるというわけではなく、IBMのホットメディアやヒューレットパッカードのOpenPixなど新しい可能性も考えているようだ。

そんななかで彼らが特に注目しているのは画像をズームする技術だという。

「ズーム技術はｅコマースのカタログなどにおいて重要なファクターだと考えられています」

たしかにオンラインショッピングにおいては、洋服の生地が見えるといったようなズーム技術が重要な要素になりそうだ。現在の各規格では残念ながらこういったズーム可能な画像を制作するのは容易ではない。

ローコストで、短時間に高画質なインタラクティブイメージを制作でき、普及した規格。それが“標準”に要求されるものであり、その地位を巡って開発競争が続き、そしてeVoxをはじめとした使用者による選定が続いていくわけだ。



eVoxのNYオフィス兼スタジオはマンハッタンの南寄り、エンパイア・ステート・ビルの北2ブロックにある

From A New World
世界のファインダーから





アイスホッケーのデトロイト・レッド・ウィングス優勝時には、「スピリッツ・オブ・デトロイト」にチーム・ジャージを着せて街ぐるみでお祝い



豊島哲志さん
Satoshi Toyoshima
グラフィック・ジャーナリスト。デトロイトの地元紙「The Detroit News (http://www.detnews.com)」にて、インフォグラフィックスの制作を担当。Macとの出会いがなければ、この道に進んでいなかったと感慨にふける今日この頃。はじめてMacに触れた'90年当時は、Mac Plusのあの小さいモノクロ画面で「新聞デザイン」を学んでいた。
lovecello@earthlink.net
http://home.earthlink.net/~lovecello/

新聞製作の現場　アメリカ編
Macは依然、大活躍!!

今回は、アメリカはデトロイト、「The Detroit News」でインフォグラフィックスの制作を行なっている豊島哲志さんからのレポートです。



デトロイトのシンボル、「ルネッサンス・センター」（画面中央）。General Motors本社が入居。「郡・市役所ビル」（手前）とブロンズ像「スピリッツ・オブ・デトロイト」

全米第十の都市デトロイト。世界的に有名な自動車産業以外に、みなさんは何を思い浮かべるでしょうか？　かつての犯罪都市といった暗いイメージは過去のもので、現在では好景気も手伝って、街全体が活気でみなぎっています。特に、「ホッケー・タウンUSA」の異名をとるデトロイトは、NHLの強豪Detroit Red Wingsの本拠地でもあり、'97、'98年度の2年連続スタンリー・カップ優勝には街全体が沸き上がりました。プロ・スポーツ以外にも、Motownレコード発祥の地だけあり、音楽シーンも盛んで、デトロイト・テクノは有名です。

さて、私は、この街にある新聞社で、ニュースを視覚的に伝える「インフォグラフィックス」の制作をしています。新聞制作におけるMacの果たす役割は非常に重要です。アメリカの新聞でMacが普及していったのは、1982年、全米初の全国紙として登場した「USA TODAY」が、本格的にMacを製作現場に導入し、カラー化、グラフィックスの日常化を実現させたことによるといわれています。以来、全米の新聞でMacが採用され、制作時間の飛躍的な短縮はもとより、デザインの向上にも貢献しています。



「グラフィックス部」の全景。使用機種は、4月に新しく導入したばかりのG3/400

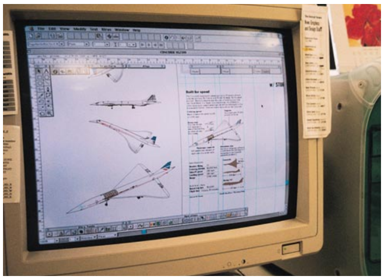
それでは、実際にMacはどのように使われているのか、わたしが勤務する新聞を例にとってお話ししていきましょう。

「The Detroit News」は、1873年創刊の夕刊紙で、一日の平均発行部数は約25万部。紙面構成は、日本の新聞とは違って、内容によってセクションが別れています。通常は5部構成で、「総合」「ローカル・ニュース」「ビジネス」「スポーツ」「エンターテイメント」となっています。

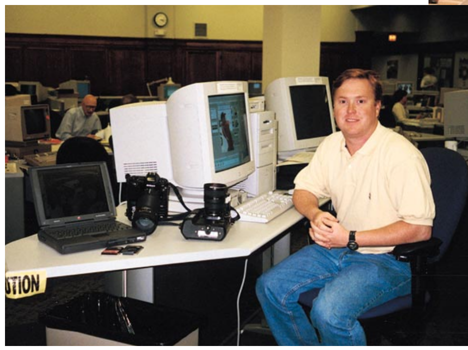
編集部全体は、PCとMacが混在し、記者、編集記者はPCベースのテキスト・エディターを使用。それ以外のスタッフは、Macを



写真部のワークターミナル。通信社からの配信写真、各フォトグラファーのデジタル画像をここで選別



インフォグラフィックスの一例。デトロイトに臨時着陸したコンコルドの記事のために筆者が制したもの



フォトグラファーAlanは、長野オリンピックの取材で、現地から時差14時間の壁を乗り越え、PowerBookでデジタル画像を伝送してきた。写っているのは、機材一式

使用しています。すべての端末は、メインサーバーと連結しており、サーバー経由でファイルのやりとりを行なっています。

以下、Macの役割分担について紹介していきます。

【ページ・デザイン】

計15名のページ・デザイナーが紙面処理を担当。業界標準の「QuarkXPress」に、カスタマイズしたテンプレートを載せたものを使用。紙面に必要な部品はすべて、Ethernet経由で受け取りしています。紙面組上げ後は、別の階のコンポージングと呼ばれる部署に送られ、そこから郊外の印刷工場に高速電送されます。版数は4つで、それぞれの版の締め切りごとに、紙面が組み替えられて行きます。

【グラフィックス】

わたしが在籍する部署で、5名のアーティストが一日平均15本のグラフィックスを制作。地図、チャート以外に、綿密なリサーチを基にしたインフォグラフィックスもこなします。業界の定番ソフトは「Macromedia FreeHand」で、大手通信社AssociatePressや米系の大手新聞チェーン各紙でも採用。テンプレートにより、使用する色、フォントなどが細かく指定されています。完成後の作品は、Ethernet経由で、各ページ・セクションのサーバーに送って完了。



ページデザイナーRickが手にするのは「Autos」セクション。モニタに映るのはQuarkXpressでの実際のデザイン画



製作中のフロントページ。見出し（ヘッドライン）用のフォント、サイズの指定をしているところ

【写真】

報道写真の分野でもデジタル化が着々と進み、私のところでも、昨年からローカル発の写真は、すべてデジタルになりました。計15名のフォトグラファーに、各2台ずつのNC2000e-c（KodakがAssociated Press用に開発したもので、カメラ本体はNikonN90s）およびPowerBook 1400cを配備しています。デジタル化の長所として、締め切り間際までの撮影活動が可能になったことで、特にスポーツの場合は有効。以前「現場から社に戻る時間＋フィルム現像の時間＋スキャニングにかかる時間」を逆算して取材時間を制限していたのとは、格段の差。撮影の点では、撮影有効範囲が狭まるのと、的確な露出を求められる以外、さほど問題はないそうです。PCカードに記録されたデジタル画像は、その後、5名の画像処理専門のスタッフの手に渡り、Adobe Photoshopで紙面用に色調整されます。平均して、一日に150枚のデジタル画像を処理。フィルムのスキャニングと違いデジタルでは、肌色の調整、陰影部分の調整に余計に時間を要するのが大きな違い。こうして、処理されたデジタル画像は、高解像度TIFFにしてEthernet経由で、各ページ・セクションのサーバーに送られます。

【Webニュース】

www.detnews.comは、月平均のページ・ヴューが約700万、ユニーク・ビジターでは約65万を誇るサイトです。ここでは、Macは、紙面デザインの終了したQurakのページを基に、ドイツ製「HexWeb」というソフトを用いたHTML書き出しに利用されています。そのほかに、サイト用のグラフィックスの部品も作成。最近では、新聞紙上のクラシファイド（売ります・買います）を、検索機能付きで展開しており、今後、大きな需要が見込まれています。将来のWebニュースは、記事の配信以外に、こうした読者サービスが、ますます増える傾向にあります。

以上、駆け足で新聞製作の現場でのMacの使われ方をお話ししました。業界全体で作りあげてきたMacのパブリッシング・システムは、Appleはもとより、各ソフトウェア・メーカーまでも一体となって、耳を傾けあってきた結晶です。こうした業界の努力の上に成り立っている新聞製作の現場に携わる者としてとても幸せに感じています。

仕事場での流行：Web・オークション

最近、何かと仕事場で話題にあがるのが、Webオークション。皆さんご存じの「eBay」や「amazon.com」で展開されるオークションは、全米のオフィスで珍事を巻き起こしている。ビディング（賭け）の残り時間を気にするあまり大事な会議に出損なった人もいれば、負け越してくやしさのあまり奇声をあげる人など、さまざま。アメリカでは、個人対個人の売買は、新聞紙上やスーパーの掲示板などで普通に行なわれていますが、Webオークションでは、制限時間の中でビディングするゲーム性が大受けしています。ここ「Detroit News」でも、「これを売って、これだけ儲けた」「これを売りに出したが、まだビッドの数が少ない」という会話が毎日聞こえてきます。



いずれはやってくると思っていた、ロボットと生活する時代。それが西暦2000年を前に、ついにやってきたわけだ。今回紹介するのはソニーのAIBO「ERS-110」。すでにマスコミに取り上げられているし、インターネットによる申し込みで、30分で5,000台が完売してしまったなんてニュースでその名を知らしめているペットロボットだ。

アイボの凄さは、まず自立行動すること。感情、本能、学習、成長機能が組み込まれ、人と生活する中で喜びや悲しみの感情を表現し、コミュニケーションを取りながら、学習、成長し、自らの判断で行動パターンを変化させていく。機嫌が悪い時には、人間の命令もきかない。逆に機嫌が良い時には、自分の好きなパフォーマンスを披露してくれる。これはもう、ロボットというより愛犬。なんといっても、自分の可愛

L I F E C O L L E C T I O N

量産が待たれる話題騒然のロボット「AIBO」は、まさに未来型ペットなのだ!

text：Masahiro Sugimoto

をアピールできるわけだからすごい。犬は人間とコミュニケーションすることによって、人間の喜ぶことを覚えていき、楽しませてくれようとしたりする。もちろんこれは訓練という形で行なうことだが、相互の間のコミュニケーションなしでは成り立たない行為だ。

たとえばマンガやアニメの世界でも、正義の味方のロボットというと、どうしても人間が操作するモノが多かった。その操作する装置が悪者の手に落ち、ロボットが人間に牙をむくなどということで、ストーリー展開に面白味を持たせていたりしたものだ。もっとも最近では「スター・ウォーズ」などで、自立行動できるロボットも多いけれど…。

さて、このアイボ。自立モードにリモコンモード、さらにスリープモードを選べたり、駆動部に18もの自由角度を持たせたり、タッチセンサーに、CCDカラーカメラ、距離センサーなど、ロボットとしての作りのすごさはかなりのものだ。

でも、一番気になるのは、アイボとどうやってつき合っていけば、上手くやっていけるかなのでは？

アイボの持っている感情は喜び、悲しみ、怒り、驚き、恐怖、嫌悪の6つ。たとえば甘えん坊に育ってしまったアイボは、ボールで遊びたい時には、手でボールの形を作って、腕を振って駄々をこねたりする。また頭を撫でて欲しい時には、手で自分の頭を指したりするのだ。これでかわいいと思ってしまったらアイボの思うツボ。ますます溺愛してしまいそう…。などという幸福な気持ちを味わえるのも、現在わずか5,000人だけ。どんなアイボが増えていくのか？　それぞれに個性的なアイボが育ってくれれば面白いだろう。でも、人間を困らせるようなヤツが出てこないことを祈りながら…。

それにしても、もっと量産して欲しいものだ。

ちなみに「あいぼ」という文字を変換しようとしたら、「愛慕」と言う文字が出てきた。まさにアイボにふさわしい言葉だ。

●問い合わせ先
ソニー（株）
お客様ご相談センター
東京 03-5448-3311
名古屋 052-232-2611
大阪 06-6539-5111
http://www.world.sony.com/robot/





アイボ正面と後ろ姿。なんとも愛らしい



鼻の部分には対象物の色、形、動きなどを捉えるカラーカメラが付いている。口はモノをくわえたり、アイボの感情を表現するだけではなく、音階言語や効果音を出すスピーカーが内蔵されている。また、目の部分には赤と緑の2色で、アイボの感情などを表す目ランプがある



肉球を思わせるデザイン



胸にはポーズボタンと停止ボタン、アイボの活動状態を点滅パターンで表現する胸ランプある



バッテリーはリチウムイオンを使用している。お尻の部分にバッテリーのボックスがある

18個の関節でかなり自由に動き回ることができる。アイボならではの、可愛い動きもこれで表現できてしまうのだ



MAC MIND STORMS RESEARCH CENTER

●MacユーザーのためのMindStorms研究所●

LEGO MindStorms それは夢を実現するもの

文◎大谷　和利

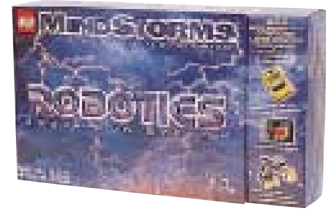


図1●脳内に嵐を巻き起こす（？）というコンセプトをイメージしたLEGO MindStorms「Bobotics Invention System（略称RIS）」のパッケージ

Macでなにかを動かしてみたい、ロボットを作ってみたいと思ったことはないだろうか。LEGO MindStormsを使えば、その夢を実現することができるようになる。この連載は3人のMindStorms愛好家が、Macユーザーに向けてMindStormsを使った夢の探求レポートをお送りするものである。

Macintosh界初の快挙！　今回から連載が始まるMMRC（Mac MindStorms Recearch Center）は、待望のMacユーザーのためのLEGO MindStorms研究所である。

当研究所のスタッフは、メカトロニクス担当の柴田文彦研究員、ソフトウェア担当の魚井宏高研究員、そしてデザイン担当の大谷の3名である。皆、自他共に許すMindStorms愛好家であり、この素晴らしいシステムをMacユーザーに広めるべく、ここにその拠点を作り上げることにした。時に担当領域をクロスオーバーさせながらお届けするMindStorms探求のレポートは、必ずやあなたを満足させることであろう。

ではMMRC設立の辞はこれくらいにして、さっそく初回の概要説明に入ることにしよう！（なお、"MindStorms"の本来の表記はすべて大文字の"LEGO MINDSTORMS"だが、この連載では読みやすさを考慮して"MindStorms"と書き表すことにした）。



図2●MindStormsのエッセンスともいえる、総パーツ数727ピースのRISの全貌。連載では拡張セットについても触れていくが、この基本セットだけでも十分に楽しめる

MindStormsを始めよう

子供の頃、ほとんどの人がブロック遊びを経験しているはずだ。単純なモジュールの組み合わせに、ほんの少しの想像力を加えるだけで、どんなに複雑な形をした動物や乗り物でも抽象化して作り上げることのできるブロックは、今もオモチャの定番として根強い人気を誇っている。

そんなブロックで作り上げた自分だけのメカニズムが、自らの意志を持って動いたら…というのは、幼い頃の誰しもが夢見たことではないだろうか？　昨年の秋にアメリカで発売され、日本でもインターネット販売などを通じて静かなブームとなりつつあるLEGO MindStormsは、そんな夢を高いレベルでかなえてくれるシステムである。

元々は子供向けのエデュテイメント・トイとして開発されたものの、アメリカでも購入者の過半数以上が18歳以上の成人であり、インターネット上にも数多くのファン・サイトを生み出しているMindStorms。一通りのアプリケーションは使ってみたというMacのベテランも、そろそろ次のステップを考えているiMacユーザーも、その創造性にあふれた世界に飛び込むには、今がベストのタイミングだといえる。

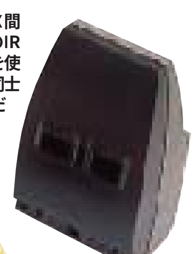


図4●コンピューターとRCX間のデータのやり取りは、このIR（赤外線）トランスミッターを使って行われる。また、RCX同士もIRによる情報交換が可能だ



図3●MindStormsの心臓部、8ビットマイコンを内蔵したRCXユニット。主にモーターをつなぐ出力ポート×3と、光＆タッチセンサーなど用の入力ポート×3を備える

MindStormsの構成

MindStormsは世界で最も有名なブロックメーカー、デンマークのLEGO社の製品であり、その構成パーツも同社の精度の高いレゴブロックがベースとなっている（図2）。このほかにも拡張セットとして「Robo Sports」と「Extreme Creatures」があり、さらに「Mars Explorer」の発売が予定されている。しかし、基本セットの「Robotics Invention System（RIS）」だけでも総パーツ数は727ピースもあり、かなりの創作物を作ることができる。とりあえずはRISを入手するところから始めればよいだろう（日本での入手方法は後述）。

さて、MindStormsの面白さは、メカとしてのハードウェアを作る楽しみ、それをデザイン的に洗練させる楽しみ、そしてソフトウェアで自在にコントロールする楽しみの3つから成り立っている。

ハードウェアの中核を成すのが、それ自身もブロックモジュール化されたマイクロコンピューターユニットのRCX（図3。おそらく「Robot Command eXtension」の略）である。単三電池6本で駆動されるRCXには、出力ポートと入力ポートがそれぞれ3系統ずつ用意されている。RISの場合には、出力デバイスとしてはモーターが2個、入力デバイスとしては光センサーが1個とタッチセンサーが2個付属しており、これだけでベーシックなメカトロニクス・システムを構成する。このほかにも拡張パーツとしてライト（出力）や温度センサー、ローテーションセンサー（入力）などがあり、腕に覚えがあればデバイスを自作することも可能だ。

RCXにはファームウェアが搭載され、単体でも簡単な動作チェックなどを行なえるが、本領を発揮するのはコンピューター上で作成されたプログラムをダウンロードしてからだ。このコンピューターとRCX間のデータ転送を受け持つのがIRトランスミッター（図4）で、プログラムのダウンロードのみならず、RCX側のモーターやセンサー情報をコンピューター側に返す際にも利用される。むろん、ダウンロードが済めば、RCX搭載のロボットはスタンドアロンで機能することができるようになる。

ソフトウェア環境は、RISのパッケージには



図5●パッケージに付属のプログラミング環境は、RCXコードと呼ばれるWindows版のビジュアルランゲージ。ブロックのようなコードモジュールを組み合わせていく

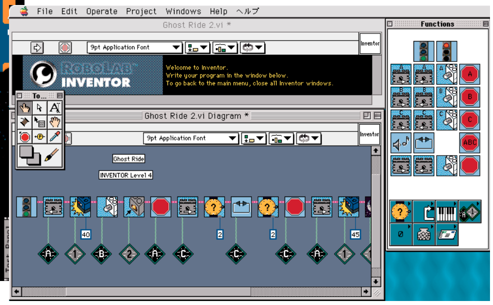


図6●Macでプログラムするなら、このRoboLab（別売り）か、NQC（フリーウェアのCライクな言語）がお薦め。連載では、これらの解説も行なっていく予定

Windows版のみのRCXコード（図5）と呼ばれるものが付属しているが、Macユーザーは別売りのRoboLab（図6）やフリーウェアのNQCを利用することができる。この連載では、Mac上のPCエミュレーターでRCXコードを動かす方法を含め、RoboLabとNQCの解説も行なっていく。特にRoboLabは、アイコンベース言語の明快さを保ちながら、RCXコード以上の機能やプログラムの見通しの良さを誇っており、MindStormsをMacライクに楽しむ上では重要な環境といえる。

ほかにも、MindStormsユーザーの中には腕コンことRuputerや、おなじみのPalmPilotでRCXの簡単な制御を試みている人も居り、よりディープな世界を楽しみたい方は、そういう道もあることを覚えておこう。

MindStormsの歴史

連載の開始にあたって、Apple製品とMindStormsの浅からぬ関係を示す意味もあって、簡単にMindStormsの歴史に触れておきたい。

まずMindStormsという名称についてだが、これはMITの教授で教育とコンピューターに関する深い洞察で知られるセイモア・パパートが1980年に発表した名著のタイトルに由来している。その「MindStorms」という著書の中で、彼は子供の日常的な体験と遊離した数学や科学教育に疑問を持ち、コンピューターを利用してそのギャップを埋めることを提唱したのだ。

日常的な体験をコンピューターにフィードバックするために、彼はLogoと呼ばれるコンピューター言語の使用を強く推奨していた。Logoはタートルグラフィックスという、ユーザーが自分の動きに置き換えて描画を概念化できるグラフィックコマンドで知られる言語である。

MITのメディア・ラボは、このパパートのコンセプトをブロック遊びと結びつけ、LEGOブロックで作られたメカニズムをLogo言語によって制御するLEGO/Logoプロジェクトを1980年代末ごろに立ち上げた。この頃に僕はメディア・ラボの取材を行なっているのだが、LEGO/Logoプロジェクトで使用されていたプラットフォームはApple IIであり、これがMacintoshに移植されたらぜひとも入手したいと思っていた。

LEGO/Logoの派生プロダクトは教育市場のみに販売され、アメリカだけでも1万5千校以上の小学校が導入した実績がある。そしてホビーユースを意識し、新たに言語をRCXコードに置き換えるなどした一般市販バージョンが、昨年秋に満を持してMindStormsとして登場したのだった。

さて、何を作ろうか？

この連載の2回目以降では、それぞれの研究員が得意とする話題を盛り込みながら、あるテーマに沿ったロボットを作っていく過程をレポートし



図7●左図は、大谷が第1回「お気軽コンテスト」出場のために作ったもの。RCXの床面積の中にラインをトレースして走る機能を詰め込んでみた。右図は「お気軽コンテスト」出場作品のMoonWalker。体を左右に揺すりながら、摩擦抵抗の少なくなったほうの脚を前にスライドさせて移動していく



図9●MindStorms関連情報で有名な日本語サイトとしては、OSAMUさん主宰の「MINDSTORMS Japan」（http://www.osamu.nop.or.jp/mind storms/）がある。国内外のニュースをいち早く知る上で重要だ



図11●五十川芳仁さんのLEGO Studio（http://www.bekkoame.or.jp/~yoccha/lego_hp/00_lego_top.html）では、サイトデザインの美しさもさることながら、ユニークな作品がいろいろと発表されている。特に「意味不明自動機械群」は要チェック。図は五十川さんの作品の1つで「お気軽コンテスト」でアイデア賞を得た「魂号」。モーター1つでラインをトレースするメカと、デザイン的なまとめ方が面白い



図8●Web上のMindStorms関連情報のメッカの1つがJin Satoさんの主宰する「MindStorms情報局」（http://www.mi-ra-i.com/JinSato/MindStorms/）である



図10●Jin Satoさんの最新プロジェクトである「MIBO」はソニーの「AIBO」ライクなペットロボットをMindStormsで作ってしまおうというもの。日々進化している

ていく予定だ。まだ詳しい予定などは決まっていないものの、コンテストを開催して自慢のロボットを競うことも考えている。もし、「これは」というロボットのテーマや種目があれば、編集部宛にどんどん送っていただきたい。

そういった意味も込めて、次にMindStorms関連の代表的な日本語の情報サイトやファン・サイトを紹介しておこう。一足先にMindStormsの世界を楽しんでいる人たちが、どのようなことを考え、何を作っているかを知ることは、大いに参考となるはずだ。その前にいい出しっぺとして、僕自身のロボットもお見せしておく必要があるだろう（図7）。すでに本体は分解してしまって存在しないので、コンテスト参加時のWebページのコピーである。魚井、柴田両研究員も、次回以降に作品やホームページを公開してくれるはずだ。

情報サイトとして有名なのはJin Satoさんの「MindStorms情報局」（図8）とOSAMUさんの「MINDSTORMS Japan」（図9）である。この2つを見ていれば、MindStorms関連の情報収集は、まず十分だろう。前者はジャンルごとに細かく区分された構成、後者は速報スタイルのスクロールページが特徴だ。

ほかにも、MindStormsを取り上げているサイトが数多くあり、素晴らしい作品が紹介されている（図10〜14）。ここで紹介したサイト以外にも多数のサイトがあるので、興味のある方はSherlockなどで検索をかけてみられるとよいだろう。

日本での入手方法

では最後に日本における入手方法について触れておこう。実はMindStormsというか、RCX的なマイコンモジュールを使ったLEGO製品は3種類開発され、黄色いRCXの他に、青いRCX（図15。Scoutと呼ばれる）を使う「Robotics Discovery Set」と白いRCX（図16。同micro-Scout）を使う「Droid Developer Kit」がある。機能的には黄色が一番上で、青、白の順に単純化される。

今のところ、日本語版の発売が予定されているのは、青いRCXを使ったセットで、11月にオープン価格（2万2千円程度？）で販売開始されるといわれている（時期／価格などは変更の可能性あり）。しかしコンピューターユーザーから見れば、自由度の高さで現在の黄色いRCXを使ったシステムのほうが魅力的であり、今のところは英語版のRISなどをLEGO関連のイベントや正規流通サイト、輸入代行のWebサイトなどで購入するのが一般的だ。

Macユーザーの場合には、先に挙げた理由でRoboLabなどのセットと同時に購入するのが望ましく、そういうサービスを提供しているところとしては、WiseWeb Trading Corporationがある（図17）。エミュレーションやNQCを利用する場合でも、IRトランスミッターをMacと接続するためのケーブルが別に必要となるので、最初からセットで購入するほうが手間がかからなくてよい。

いよいよ次回からは、実際にMindStormsを使ったロボット開発の解説がスタートする。興味のある方は、それまでにぜひともMy MindStormsを手に入れておくように！　それではまた来月、お目にかかりましょう。



図12●第1回「お気軽コンテスト」の優勝ロボットもある梅さんこと梅田和宏さんのホームページ（http://www.bea.hi-ho.ne.jp/meeco/）。マーカス・L・ノガさんが開発したlegOS（RCX用のマルチタスクOS）という独自環境を駆使して、RCXの性能の限界に挑む作品を送り出されており、その日本語解説ページにもリンクしている。特にMindStormsを利用して作られた倒立振子は、棒が倒れないようにリアルタイムでフィードバックをかけるという、RCXとlegOSの優秀性を示すユニークな作品だ



図14●流離人さんこと白川裕記さんのホームページ（http://www.geocities.co.jp/Technopol-is/6264/mindstorms/index.html）には、テレビでも紹介されたという「めだまのおやじ」のコーナーもある。この世界最小の重心移動型2足歩行ロボットは、RISだけで作ることができる ので、MindStormsを購入されたら、ぜひとも作ってみていただきたい

MMRC連載開始記念プレゼント

MMRCの連載開始を記念して、Mac用のPCXコード作成ソフト『RoboLab』を5名の方にプレゼントします。申し込みは読者メールのファイルもしくは読者はがきに必要事項を記入して申し込んでください（提供：WiseWeb Trading Corporation（http://www.wisewebtrading.com/ms/）





図13●かぜらさんの「メカモカモ」のページ（http://www03.u-page.so-net.ne.jp/gb3/hidemi/）は、メカニカルな動物たちをMindStormsで再現しようというもの。市販されているメカモをヒントにしながらも、ご自身なりに仕組みを考えて再構成している。メカモピョンなど表情豊かなロボットが作れるのも、LEGOブロックのデザイン性の高さゆえといえよう

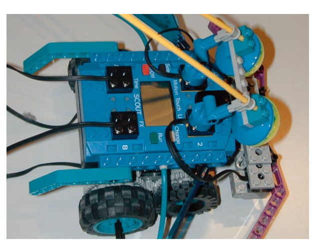


図15●11月発売予定のMindStorms系日本向け製品には、この青いRCX（SCOUT）が付く。これはコンピューターなしでプログラムできるが、入出力ポートが少ないなどの違いがある

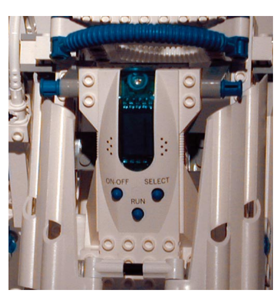


図16●さらに日本語版の発売は未定だが、Micro-SCOUTと呼ばれる白いRCXユニットもある。プリセットされたプログラムを選択して遊ぶエントリーレベルの製品といえる



図17●MacでMindStormsを使う一番良い方法は、RoboLabなどをバンドルしたMac用のセットを輸入代行ショップで取り寄せることだ。WiseWeb Trading Corporation（http://www.wisewebtrading.com/ms/）。は、RoboLabとのセットを販売しているので、Macユーザーにお薦め。◎オーム社（http://www.ohmsha.co.jp/robocon/index.htm）。◎東芝ダイレクトPCのHP（http://shop.toshiba.co.jp/）。◎アスキーオンラインショップ（http://www.arcs.ne.jp/）。◎原宿キディランド（Tel:03-3409-3431）

Subject:

それぞれのMindStormsの思い

大谷 和利 To 魚井 宏高 To 柴田 文彦

大谷●というわけで、今月から始まった「MMRC(Mac MindStorms Research Center)」には僕たち3人の思い入れが詰まっているわけですが、そもそものLEGOとの馴れ初めはどんな感じだったんですか？

柴田●僕は、小さいころはあんまりブロックで遊んだ記憶はないんですが、LEGOはむしろ大人になってから、息子に買い与えたりしているうちに、その素晴らしさに気付きました。ブロックというくらいだから基本の形は直方体なんですけど、実は接合部分の形は円が基本になっている。大きな円と小さな円の絶妙な組み合わせで、ブロック同士の結合力が生まれている。小さな子供向けのDUPLOというブロックもあるんですが、これはさらに大きな円を組み合わせて、LEGOのブロックとも結合できるんですね。絶妙としかいいようがありませんが、これは直線と円という数学的にも美しいシンプルな組み合わせの賜だと思います。

大谷●確かにLEGOはそのモジュラー性と精度の高さが魅力なんですよね。僕はよくブロックで遊んだクチなんですが、LEGOではなくカワダのダイヤブロックでした。これが残念ながら、結合がきつ過ぎたりゆるかったりして。あとでLEGOの存在を知って目から鱗が落ちたというか、憧れましたね。WindowsとMac OSほどの差がある（笑）。

魚井●僕はお二方とは違って、子供の頃にLEGOで遊んだ口です。年の離れた従兄弟から譲ってもらったものに、おこづかいで少しずつ買い足していました。もう今はどこかに行ってしまいましたけれど（笑）。元々家とか建物を造るためのいわゆる基本セットで、しかもお古だったのでなくなってる部品もあったりして、遊ぶのには結構頭を使った覚えがあります。「ここはホントならあのブロックのはずなんだけど、ないからこれとこれでごまかして…」ってね。それでもできないときは、窓をつぶしたりして（笑）。中学に入るぐらいまで遊んでたので、かなり長い間だったんですが、最後までかっちりとブロックがはまっていたのは、今から考えるとびっくりです。

大谷●それで、MindStormsへとつながるわけですね。本文にも書きましたが、僕は10年ほど前にメディアラボの「LEGO/Logoプロジェクト」*1を取材したのが決定的でした。このときはまだApple][ベースでしたが、これがMac対応になって市販されたらぜひ買いたいと思ったわけです。

柴田●マイクロプロセッサを使ってメカを動かすということだけを考えてみても、Apple社の原点にあるApple][では、特に拡張カードを使わなくても、センサーの値を読んだり、外部の装置をオンオフしたりするためのインターフェイスがちゃんと用意されていたんです。ですからゲームやインターネットのように、スクリーンに写る仮想的なもので遊ぶだけでなく、パソコンの用途の原点には、質量のある実在の世界と相互に関わるというものがあったわけです。この点でもMindStormsが、僕たちが忘れかけていた何かを思い出させてくれるような気がしています。

大谷●まさにそうですね。個人的にもコンピューターを仮想的なことだけに使うのは、ちょっと飽きてきていたんです。これまでにもTechnicシリーズ*2の小品をちょこちょこ買ったりしていたんですが、MindStormsが出るまで、あえて入れ込まないようにしていたところもあります。購入後に、Jin Satoさんの「MindStorms情報局*3」で魚井さんの名前を見かけて、メールを出したんですよね。

魚井●そうそう。それが、この連載のきっかけといえばそうなりますね（笑）。

大谷●同じ頃に柴田さんからMindStormsの本を一緒に書きませんかという話を持ちかけられて、機が熟しつつあったというか、3人の想いがここに結実したわけです。

大谷●では初回の締めくくりとして、一言ずつお願いします。

柴田●これまで何十年も変わらなかったこのLEGOは、今後も基本的には変わることは無いし、その必要もないでしょう。ですから、その上に構築されるMindStormsも、基本の形を保ったまま、今後ますます発展していくことは間違いありません。おもちゃに限らず、これだけ将来的な確信の持てるものは、他にはありません。実に楽しみですね。

魚井●LEGOというパーツ群を組み合わせたものに、自由なソフトウェアを動かして現実とインタラクションする。こういうことができるおもちゃが簡単に入手できるっていうのはすごいことだと思います。ただ、このコンセプトってユーザーに使い方、遊び方を考えさせているわけで、その点でMacに通じるものが多いような気がします。僕の周りのMacユーザーが、一斉にMindStorms症候群に陥っているのもそのせいかもしれませんね。

大谷●これはやはりMacユーザー好みのホビーですよね。Windowsユーザーだけに独占させておくのはもったいない気がします。Mac版を標準で発売してもらうところまで、皆で盛り上げていきましょう！

*1 **LEGO/Logoプロジェクト**：LOGOという教育向けのキャラクタベースのプログラミング言語を用いてLEGOブロックを制御する、MindStormsの前身となった研究開発プロジェクト。教育機関向けには限定販売された　*2 **Technicシリーズ**：機械的なディテールとメカニズムを重視したパーツ構成を持ち、動きの面白さなどを狙ったLEGOのセットシリーズ　*3 **MindStorms情報局**：カナダのオタワに在住のJin Satoさんによって運営されているWebサイトで、MindStormsに関するさまざまな情報が集まっているメッカ的存在。http://www.mi-ra-i.com/JinSato/MindStorms/

新たなニーズを掘り起こす

プリペイド方式携帯電話

さいとうよしこ

携帯3社がサービス中

通話料金料金前払い、毎月の定額基本使用料ナシのプリペイド方式携帯電話が、昨年の10月に関西でスタート。先駆けとなったのはツーカーホン関西の「プリケー」。この5月からはツーカーセルラー東京の「プリティ」、NTTドコモ全国9社の「ぷりコール」がスタートし、サービスはいよいよ全国規模になった。PHSでは、アステル関西の「プリペイドA（エース）」がある（システムが他とは少し異なる）。

住所氏名も必要なし

プリペイド方式の携帯電話は、ショップで対応端末と通話料金分のカードを購入する（または通話料を支払う）だけでOK。身分証明や貯金通帳の掲示は全く必要ない。用紙に住所氏名を記入する必要すらない。スーパーやコンビニで買い物をするのとほぼ同じ手軽さで、携帯電話のユーザーになれる。

というのも、通常の契約だと「定額使用料、通話料、各種サービス料」は使った分だけの後払い。1度も発信しなかったとしても、回線・電話番号をキープするためのコスト、月ごとの定額使用料がある。携帯電話会社側としては契約者に請求書が届かないと困るし、未成年などで支払い能力がないのも困る。

プリペイド方式の携帯電話は通話料が高めに設定されているが、通話料に定額使用料が含まれていると考えれば納得できる。ただし、携帯電話会社側のセンターを使用する「転送」「留守番メッセージ」や、高額で前払い料金がすぐなくなるような一部のサービスは使用できないことになっている。

受信は通話料が切れてもOK

もちろん、通話料を使い切ってしまうと発信できなくなるが、各社とも料金に応じた「回線の有効期間」を設けており、この期間内なら受信専用の携帯電話として使用できる（警察、消防・救急、故障・携帯電話会社への問い合わせ番号（特番）は、通話料を使い切っていても発信可能）。着信の場合、相手側にかかる通話料は（通話料に定額使用料が含まれているわけではないので）、他の携帯電話にかけた場合と同じ。相手に余計なコストはかからない。

また、一定の期間内に料金追加すれば、同じ番号を継続して使用できる。グループでの共有、緊急用、旅行用、海外からの旅行者用、念のためのサブ回線、そして子供の長電話防止など、さまざまなシーンで活用できそうだ。また、「予算が組めないので」と経費で落としにくい携帯電話料金も、このスタイルなら経理と相談しやすいはず。

現在は原則として営業所、代理店でしか購入できないが、さきごろ「プリケー」が関西のローソンで取り寄せ販売を開始した。この勢いで全国のコンビニや駅、空港でも販売されれば、さらに便利になるのではないか。



プリティ（ツーカーセルラー東京）



http://www.tu-ka.co.jp/

ツーカーセルラー東京のサービスエリアで使用できる。データ通信、文字メッセージ不可（調整中）。
通話料：30秒50円。時間帯、着信先不問で同額（1分100円）。
通話カードを購入、そこに書かれた番号をセンターに通知、登録する。料カードは3,000円。有効期間は60日。有効期限終了後30日間は着信のみ可能。着信期間終了後90日間は番号キープ。3,000円で3カ月着信、半年番号を保存できる。
端末：同社の一部の解約端末でも使用可（新規購入の場合、980円）

TH211（ViVaVo） by KYOCERA
価格●980円

このTH211はプリティ専用の端末のひとつ。文字サービスなどに対応していない旧モデルを利用し、価格を抑えているのはなかなか合理的なアイデアだ。特殊なサービスには非対応とはいえ、最大7分の通話録音機能などの便利機能もある。プリティサービスではセンターの留守番メッセージが利用できないが、端末の録音でフォローできる。



プリティカード
裏面の銀のスクラッチの下に番号が記されており、これをセンターに登録して使用する。WebMoneyやBitCashと同じ方式

iモードメール、パルディオEメールで自由なメールアドレスが

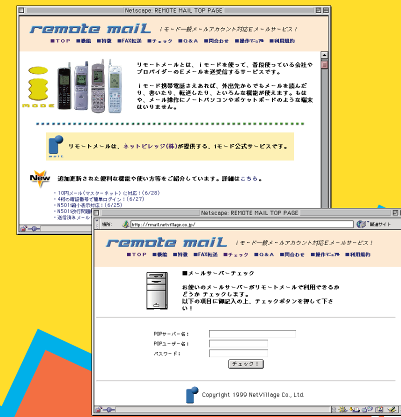
iモード端末単体でEメール送受信のできる「iモードメール」、ドコモのPHSでプロバイダとの契約なしでモバイル、Eメール送受信のできる「パルディオEメール」は便利なサービスだが、電話番号@docomo.ne.jp、電話番号@em.nttpnet.ne.jpと電話番号を含むメールアドレスに限定されていた。これではごく親しい相手にしかアドレスを通知できない。また、いたずらメールも送られやすい印象。が、この7月にはそれぞれ任意のメールアドレスが設定できるようになった。

まず、PHSのパルディオEメールは7月1日からサービスが始まっている。変更するには、パルディオメーラーで題名（サブジェクト）がPHS番号のメールをhenkan@mc.em.nttpnet.ne.jpに送信。返信されてきたメールの「変換名」に2～10文字、半角英数の希望する文字列を入力、返信する。その後、登録完了のメールが届けば設定完了。登録後はmb2.em.nttpnet.ne.jpというドメイン名になる。

iモードメールは7月12日午前4時に全国一斉受付スタート。iモード端末iMenu内の「オプション設定」から申し込みできる。半角英数で3～30文字。ドメイン名はdocomo.ne.jpで以前と同じ。

また、通常のメールアドレスを持っているiモードユーザーに便利な、外部アクセスのできるアドレスに届いたメールをiモード端末で読むサービスも試験的にサービス開始されている。これはネットビレッジによる「リモートメール」サービス。iMenu＞メニューリスト＞便利ツール＞「リモートメール」から登録できる。

メールサーバーにアクセス、受信箱から読みたいメールだけを選んでダウンロード。一度に大量の文字を表示できないiモードにあわせてメールを分割表示し、最後まで読めるように調整もしてくれる。また、メールアドレスを専用アドレス帳に登録したり、メールの内容をFAX出力したり、きめの細かいサービスぶり。最大8つまでアカウントを登録できる。月額基本使用料200円とメールの量に応じたパケット料がかかる。ただし、リモートメールでアクセスできないメールサーバーも多いので、同社のページにある「メールサーバーチェック」で確認してから申し込んだ方がいいだろう。無料試用期間も設けられている。



●リモートメール
http://rmail.netvillage.co.jp/

●問い合わせ
ツーカーホン関西（0120-44-2525）
ツーカーセルラー東京（0120-520-520）
NTTドコモ（0120-177360）
アステル関西（06-6947-3613）
ネットビレッジ（0426-70-7788）

プリケー（ツーカーホン関西）

ツーカーホン関西、ツーカーセルラー東京、ツーカーセルラー東海のサービスエリアで使用できる。データ通信可。
通話料：30秒50円。時間帯、着信先不問で同額(1分の場合　100円)。通話カードを購入、そこに書かれた番号をセンターに通知。登録する。料カードは3,000円と5,000円(初回は3,000円2枚セットのみ販売)。有効期間はそれぞれ30日、60日。有効期限終了後120日間は番号キープ。
端末：同社の一部の解約端末でも使用可(新規購入の場合、3,000円～)



http://www.tu-ka-kansai.co.jp/NN.htm

プリペイドA（アステル関西）



http://www.astelkansai.co.jp/

アステル関西のサービスエリアで使用できる。月額使用料無料の受信専用プラン「まっTel」に前払い発信サービスを追加。プリペイドセンターに電話し、相手の番号を入力する。データ通信不可。
通話料：PHS、一般回線へは30秒30円、携帯へは15秒30円（1分60円または120円）。通話カードは1,000円と3,000円で価格の5%分使用可能。有効期間2年間。
端末：アステル関西の契約端末（一部除く）

ぷりコール（NTTドコモ）



http://www.nttdocomo.co.jp/

NTTドコモ全国9社のサービスエリアで使用できる(購入したエリアに限定されない)。データ通信可。
通話料：10円で2.5～10秒。時間帯、着信先によって異なる（1分60～240円)。通話料金はショップで支払い・登録。3,000～9,000円の1000円刻み。有効期間は料金に応じて30～90日。有効期間終了後90日間は番号キープ
端末：専用端末・デジタルムーバN601ps（価格37,000円、直営店での販売価格は25,000～30,000円程度）



デジタルムーバN601ps
価格●37,000円

NEC製。メモリダイヤル500件、うち300件は100人の電話番号を各3つまで登録できるなどN207と同等の機能を持つ。残り通話度数や有効期限などの液晶表示もできる。ショートメールは非対応。ぷりコールのプリペイド通話終了後、通常のNTTドコモの携帯として再契約も可能。ただし、電話番号は変更になる。

電子レンジからビデオまで、ついに実用段階に入ったインターネット家電

インターネットで料理ができる！

ここ最近、急激に各メーカーが開発に注力している「インターネット家電」のジャンルにおいて、ついに「インターネットクッキング」という世界初の機能を備えたオーブンレンジが市販されることになった。これは、ビデオデッキをはじめ、今後次々に実現されるに違いない「インターネット家電」の第一歩といえそうだ。

http://www.replaytv.com/



米Replay Networks社のページ。ReplayTVという商品名の録画機を、ネット上で注文することができる。価格は10時間録画できるものが699ドル、14時間で899ドル、28時間で1,499ドル

CHECK!



シャープのインターネット対応レンジRE-M210。価格は98,8000円で9月20日発売予定。写真中央はレンジ専用情報ユニットUR-M1。別売で10,000円

「インターネットクッキング」とは？

早くから製品化が噂されていた「インターネット冷蔵庫」を差し置いて、先に製品化されたのが、シャープの「献立情報レンジ」（RE-M210）、つまりインターネット対応オーブンレンジだ。

RE-M210は、デジタル情報家電向けの情報サービス事業『シャープスペースタウン』の専用サイト「スマートクッキング」に掲載された400以上の料理レシピから必要なメニューをレンジ本体に取り込み、自動加熱で簡単に調理できるというもの。「スマートクッキング」には、「歳時メニュー」や「離乳食」「お弁当」など、ユーザーの食生活の変化に合わせて使える「お料理レシピ」が掲載されている。たとえば、赤ちゃんのための「離乳食」をメモリーし、成長に従って「幼稚園のお弁当」メニューに入れ替えるといったことも可能だという。

実際に「インターネットクッキング」機能を利用するには、インターネットから電子レンジの調理レシピデータをダウンロードするためのパソコン（残念ながらWindowsのみ対応）、ダウンロードした献立データをメモリーし、レンジに送るための専用情報ユニット（別売）が必要になり、レンジだけでインターネットに接続することはできないが、まずはインターネット家電の第一歩といえるだろう。

家電の世界では、以前から冷蔵庫の扉にタッチパネルとディスプレイを搭載し、パソコン同様、メールの送受信やWebブラウズができる「インターネット冷蔵庫」がいずれ登場すると言われていた。

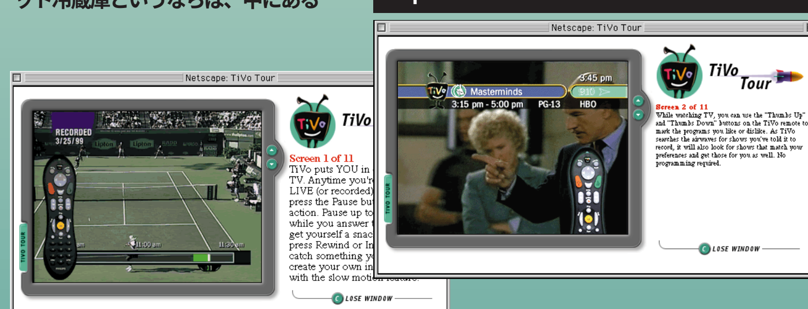
しかし、インターネット冷蔵庫という発想は画期的だったものの、インターネット冷蔵庫は、インターネットと冷蔵庫が連携して複合的な機能を提供するものではない。冷蔵庫にWebサーバーを載せて「Webサーバー冷蔵庫」と称しているのと大した違いはないだろう。やはりインターネット冷蔵庫というならば、中にある食材を把握し、賞味期限や残量などをカウント、不足分をインターネットで自動的に注文できるところまでの機能が期待される。この点、インターネット対応レンジは、インターネットが電子レンジ本来の機能に結びついている点で評価できるだろう。

普及が進むのはビデオデッキの分野

レンジも冷蔵庫も普及するには時間がかかりそうだが、すぐにでも一般化しそうなのがビデオデッキだ。これは、ハードディスク、QuickTimeやMPEGなどの映像技術、そしてインターネット対応OSをビデオデッキ（もはやビデオデッキとは呼べないかもしれないが）に搭載するというシンプルでわかりやすいものだ。これで何ができるかというと、テープをセットしなくてもインターネット経由で番組表を確認して番組予約ができる。番組はハードディスクに「録画」される。さらには、リアルタイムで放映されている番組もハードディスクに記録して、放送中の番組を「巻き戻し」て再生、バックグラウンドでは放送中の番組を記録する、といったことも可能となる。アメリカではケーブルテレビ端末としてすでに製品化され始めている。興味のある向きはReplayNetworks社、Tivo社などのページを見てほしい。

家電とインターネットの融合というと、FireWireを使った家庭内ネットワークや、組み込み機器へのJavaの搭載などといった技術的な話題が先行しているため、実用化は当分先という印象をもっている人も多いだろう。だが、今回紹介した電子レンジやビデオデッキなどには、すでにパソコン用技術がうまく活用されている。このような製品が今後ますます増えるのは必至だろう。（秋田克彦）

http://www.tivo.com/



米Tivo社のページ。専用のリモコンを使い番組放送中に、「サムズアップ」（良い評価）、「サムズダウン」（悪い評価）ボタンを押しておけば、それが記録される。番組の録画を指示した際に、「サムズアップ」した番組が一覧で表示される。また生放送の番組でも、一時停止ボタンを押して最大30分まで止めることができるほか、見逃した瞬間も「巻き戻し」や「インスタントリプレイ」ボタンで確認できる。インスタントリプレイのスローモーション再生も可能だ

世界初のインターネットIPOを果たした男

オンラインブローカー「WitCapital」設立者Andrew Klein氏

空前の投資ブームに沸くアメリカでは、手軽に行なえるオンライン株式取引にネコも杓子も飛びついている。証券会社のCredit Suisse First Bostonの調査によると、1999年第1四半期のオンライン株式取引額は前年比47%増と急成長し、Charles Schwabなどの既存の証券会社のほか、E*TradeやAmer-iTradeなど新たなEブローカーが大きく売上を伸ばしている。しかし、新規公開（IPO）の株式に関しては、ごく少数の機関投資家しか投資できず、個人が投資する機会はまったく閉ざされていた。この壁をうち破ったのが、Wit Capitalである。同社は、インターネット上で個人向けにIPO株を販売し、現在、約80社のオンラインIPO引受人も務めている。





WitCapitalのAndrew Klein設立者兼チーフストラテジスト。Klein氏が設立したSpring Street Brewing Companyのビール（右）がオフィスに無造作に置かれている

きっかけは「ビール」

WitCapital設立者のAndrew Klein氏は、ウォール街の弁護士として7年のキャリアを持つが、弱肉強食の金融業界に嫌気がさして引退、新たなビジネスを始めた。そのビジネスは金融業界とはまったく関係のないビール会社。理由は「ビールが大好きだったから」という。しかし、このビール会社はインターネット史上に大きく名を残すことになる。1995年にインターネットで世界初のIPOを行なったからだ。そのときの模様を同氏は「効果的な資金集めの方法を考えていたときに、インターネットで集めたら、と思いついたんだ。米証券取引委員会（SEC）に何度も掛け合い、承認を得るまでは大変だったが、このニュースは全米中の話題になり、結果的には合計3,500人から160万ドル（約1億9,200万円）の資金を集めた」と語る。同氏は1996年、この経験を活かしてWitCapitalを設立、本格的にオンラインIPO投資サービスを開始した。

1日の稼ぎが6,000万円

WitCapitalのモットーは、個人が機関投資家と同じ条件でIPOに参加できるシステムを提供することだ。IPOを申請した企業は通常、IPO趣意書（Prospectus）を発行するが、従来この書類を入手するためには証券会社を介さなければならなかった。しかし、同社はIPO趣意書をインターネット上で一般公開して誰でも自由に入手できるようにし、IPO株をWebサイトから簡単に購入できるようにした。口座開設の最低金額は2,000ドルで、口座を開設した個人投資家はサービス開始後2年足らずで250万人を超える。Klein氏は「EarthWeb（98年11月のIPOで株価が急騰したシリコンアレー企業）株を購入したあるラッキーな人物は、1日で50万ドル（約6,000万円）を儲けたと電子メールで礼状をくれたよ」と語る。

「eBay」の株式バージョンを構想

WitCapitalではまた、1999年後半から「デジタルストックマーケット」と呼ばれる新サービスの提供を開始する予定だ。これは、ユーザー同士が株式を自由に売り買いできるサービスで、いわゆる人気オークションサイト「eBay」の株式バージョンとでも呼べるものだ。従来の証券取引システムでは、個人はブローカーに対して売り買い注文を行なうのだが、デジタルストックマーケットではブローカーを通さず個人間で取引ができる。Klein氏は「これにより、NASDAQやNYSEで取引されているどんな銘柄でも時間に限定されることなく、1年中24時間自由に取引ができるようになるのだ」と語る。現在のところ、同サービスの開始予定はアメリカのみだが、「日本進出も着々と準備中だ」と意気込みを見せる。

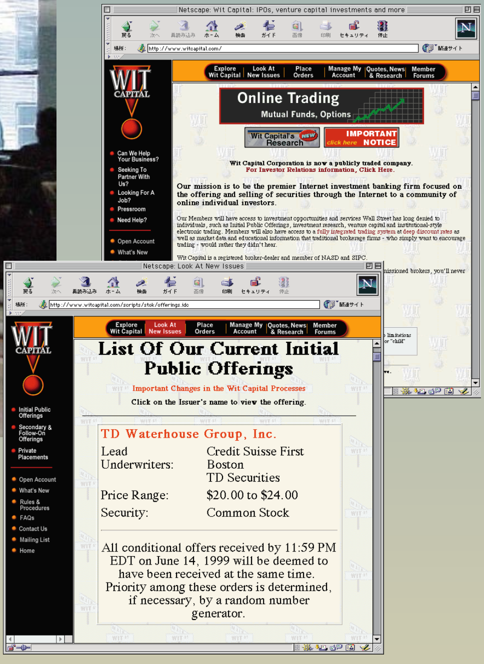
NASDAQの進出が報道されるなど、日本でのオンライントレードも今後ますますさかんになることが予想される。WitCapitalの日本進出が実現すれば、さらに活況を呈することになりそうだ。

（写真・文：長野弘子／Hiroko Nagano）



WitCapitalのオフィス

http://www.witcapital.com/



WitCapitalのIPO株の紹介ページ

On the Net



撮影：持木大助

8月19日、池袋サンシャイン『トライスクル・ガールポップGIG』出演予定。（トライスクル・エンタテインメント03-3292-8581）

ウソツキは歌手の始まり（かも）

青柳美奈子

（あおやぎ みなこ）
94年、プロの作詞家としてデビュー。Romi、高橋由美子、田村英里子など、多数のアーティストをはじめ『ときめきメモリアル』のイメージアルバムやTV番組などの楽曲に作品を提供。現在、「自称歌手」から「公認歌手」を目指し、作詞家は休業中

第2回 私はコレで失敗しました（汗）

先日、大阪有線の『フレッシュミュージシャン』という番組にお呼ばれして、初めてのゲスト出演を体験しちゃいました。生まれてこの方、かなりの緊張体質として生きてきただけに、「よろしくお願いします」という挨拶からして声がうわずっている始末。

「青柳さんは作詞家をしてらしたんですよね？」「ハイッ！」（緊張のためやたらハイテンション）。「作詞家になったきっかけは？」「勢いです！」「……いや、勢いだけじゃダメでしょ？」「営業しました！」と、なんだかめちゃくちゃカッコ悪い返事を連発。さらにちょっとつっこんだ質問をされると、沈黙。そしてまた沈黙。かなり長い間黙りこんでしまった私。録音が終了した後に、DJの方から「ラジオの場合、黙っちゃうといないのと同じですから、考える時はせめて『う〜ん』とか、声を出すようにしてくださいね」とアドバイスをいただいて帰りました。

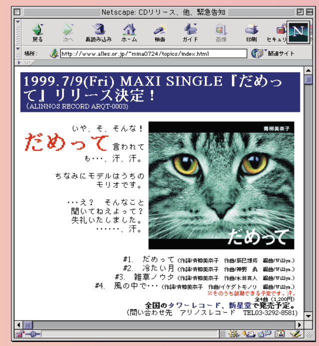
もとはといえばこの番組に出演した理由は、『だめって』のCDリリースの宣伝と、先行ライブの告知をするためだったのですが、「CDの中から何をかけましょうか？」と聞かれ、「じゃぁ…、一応『だめって』を…」と頼りない曲紹介の後、「ライブのご予定は？」「あ、ライブ、やりたいです！」で番組終了してしまったおぽんち加減。同行してくれたレコード会社の方から「青柳さん、一応じゃないんですよ、一応じゃ。イチオシ！って言ってください！」と怒られ、「ライブの日程、決まってるのになんで言わないんですか！」と責められるありさま。収録後にDJの方に再度、「実は、青柳さん、ライブ、決まってたんですね〜」とフォローしていただきました。

さらにまだまだ失敗は続く！　MAC LIFE7月号から連載を始めるにあたり、ホームページでCDの曲を試聴できるようにしようと思っていたにもかかわらず、結局発売日の6月18日をとうに過ぎてもまだできない状態。RealAudioがいいかなー、MP3がいいかなーといったところから始まり、バイト先のSEの方に相談したり、いろんなホームページをあさって勉強した結果、海賊版の噂のない（？）Real Audioに決定。さっそくRealAudio Encoder 3.1 なるソフトをダウンロードし、試しに手持ちのCDでチャレンジするとエンコーディングは大成功！　やった！　これで大丈夫だ！…って、気がつくと私のCDはまだできてナイ！　音質を考えるとカセットテープじゃなんだし、DATもうちにはナイ！　DATを買う金もナイ！　うわ〜どうしよう？？？　というわけで、結局また友人に泣きつくことに。

みなさん、いつもご迷惑をおかけしてすみません。でも、でもね！　失敗は成功の素だって言うじゃないですか！　私は現在、成功の素を貯金中なのだ！　……なんてね。汗、汗。

ウソツキは作詞家の始まり

http://www.alles.or.jp/~mina0724/



著者制作のホームページ。CD収録曲の試聴もできるはずだったが、6月末時点ではまだ聴くことができない

On

BBCホームページ

http://www.fitweb.or.jp/bbc/shop/index.html#BRAND





気に入ったものは拡大して形をチェックすることができる



夏の日差しはキツイ。出勤途中の眠たい目には、直射日光はやっぱりキツイ。人目にふれたくない時も陽光は容赦なく照りつけてくるのでキツイ。ジリジリした紫外線は人体に有害でさらにキツイ！

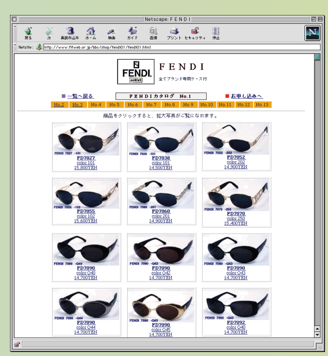
やっぱりサングラスは夏の必需品だ。それにサングラスをかけただけで、「ちょっといい女（男）風」に簡単になれるのも魅力だし（サングラスをはずした時のギャップも楽しめる）。いざ、サングラスを買いに行こう！　と思って店頭へ。「どうしてこんなに高いの？？？」と思う人は多いはずだ。しかもサングラスは大体がおしゃれ度と値段が比例しているので、どうしても洒落たものは値段が高い。そんなサングラス購入にもう一歩が踏み出せない方に朗報。

（株）BBCのホームページでは、市販のブランドもののサングラスが工場から直接、市価よりかなり安く購入することができる。取り扱いブランドは、グッチ、ダナ・キャラン、DKNY、クリスチャン・ディオール、フェンディ、バーバリーなど、ブランドものの王道をいっている。画像の拡大もできるので、入念に形をチェックできる。

もちろん通販なので手に取って吟味はできないが、そんなことを忘れる程の割安感があるので、そこはちょっと我慢しよう。どうしてこんなに割安になるのかといえば、このホームページを運営しているBBCという企業は、世界有数のメガネ産地、福井県鯖江市にあり、世界中の有名ブランド商品の卸をしているからだ。品揃えはブランドにより異なるが、キング・オブ・ブランド、グッチなら30種以上の商品を取り揃えている。しかも市価の6〜7割程度で買えるのだ。

夜にサングラスは怪しいけれど（一部業界系は許されるらしいが）、昼間のサングラスは、もはや夏の定番。ただ、サングラスしてるから見えないだろう、と思って周りをジロジロ見るのはやめよう。なぜって、案外、視線の行方はわかってしまうものだからだ！

（山口桜子）



人気ブランド、フェンディの商品もある

NetでGet

第2回 サングラスは夏の定番アイテム 恥ずかしがらずにキメてみよう

第2回 ハリウッド映画最前線

『THE GENERAL'S DAUGHTER』

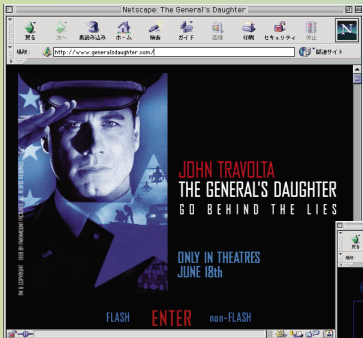
マックス桐島（まっくす きりしま）http://www.saizensen.com/
ハリウッドの若手日本人プロデューサー。これまで8作品をプロデュース。現在、『Easy Rider2』の製作準備のほか、CBSとの提携によるインターネット用映画のプロデュースなどを手掛けている

名声高い陸軍元帥の娘が強姦の末、惨殺された。事件を調査するために、ブレナー軍捜査官（ジョン・トラボルタ）と強姦専門捜査官サンヒル（『12モンキーズ』のマデリン・ストー）が基地に差し向けられる。参考人を尋問し、事件の背景を探る二人の前に、不可思議な「男社会」であるウェストポイント陸軍学校の証拠隠滅行動が浮かび上がる。軍隊という古きアメリカ文化の象徴、その格式と厳格な秩序の枠の中で、ブレナーは真犯人を追いながら被害者の隠されたもう一つの顔を見出していく……というスリラー仕立ての軍事犯罪物語なのだが、主人公以外の登場人物全員が容疑者に思え、ストーリーの単調さが目立つものの、主演二人の演技は見応え十分。監督が『コン・エアー』のサイモン・ウエストだけに、アクション映画のようにカメラはローアングルが多く、スローモーションなどもビジュアル性豊かに使っている。真実味に欠けるエンディングが、折角の主人公の重厚な演技を台なしにしている点は否めない。

ネルソン・デミル作1992年のベストセラー小説の映画化だが、映画史上希に見るほど残酷でリアルな強姦シーンのオープニングや、劇中の極秘セックスビデオが芸術性とセンセーショナリズムの境界を漂い、何となく『8mm』を彷彿とさせる。

パラマウント映画のサイトは醍醐味のある構成で、Flashによる予告編の後に表示される画面もファンの興味をそそるメニューとなっている。特に元帥の部屋や娘の地下室などは、まるでCD-ROMゲームのようなインタラクティブなつくりになっており、テキスト中心の普通の映画サイトとは一線を画している。メインメニューから行けるページには、絵はがきやあらすじなどの定番コーナーのほか、数人の容疑者の中から真犯人を推理するページもあり、サスペンス・スリラーとしての要素を上手く生かしたデザインが洒落ている。QuickTimeで鑑賞できる高画質6.2MBの予告編は、鮮明で見応えのあるものだ。

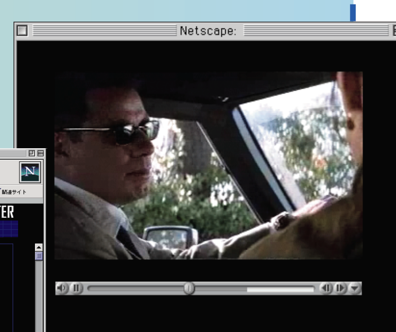
オフィシャルサイト
http://www.generalsdaughter.com/







インタラクティブ性のある元帥の部屋（上）と地下室（左）。ほかにも仕掛けが施されている



QuickTimeで観ることができる予告編

the Net

Check the Artist Vol.2

影山亜紀子（かげやま あきこ）
世界をまたにかける追っかけ。『ルーディーズ・クラブ』など音楽誌のライターとしても活躍

blur

6月8日にロンドンに飛び、ストーンズのシークレットギグになんとか潜り込んできた私だが、同じようにそのギグが新聞発表された時点から「入れてくれぇ〜」とネゴして、やっとのことで潜り込むことに成功したのが、今回紹介するブラーのデーモン・アルバーンだ。ゲスト席では、スティーヴン・タイラーやジミー・ペイジなどの御大に囲まれて浮きまくっていたデーモンだけど、そんなにストーンズが好きだったのね。いい趣味してるじゃん。ここんとこすっかりオアシスに水を開けられちゃってる感のあるブラーだけど、今回のアルバムはカッコいいんで、富士ロックでは、ぜひがんばってほしいもんだ。どうせ日本ではルックスで受けちゃうんだろうけどね。富士ロックについては、プロモーターのスマッシュのページ（http://smash-jpn.com/frf/）を見てね。

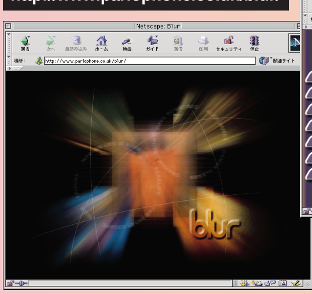
じゃぁ、まずはお薦めのブラー・ページ（http://www.netlaputa.ne.jp/~RANKO/b/blur.html）。ここでは各種の媒体に載ったブラーの情報を日本語に翻訳してくれているので、英語ができない人には非常にありがたい。いっぺんに見れるし、ものぐさには助かるな。ここのFAQを見れば、知らない人でもブラーのことはだいたいわかるんじゃないかな。

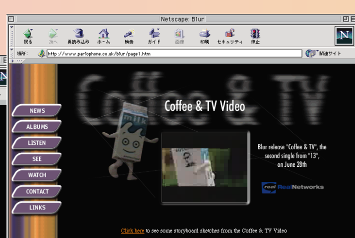
オフィシャルサイトも、新譜などの情報がまめにアップされるので要チェック。オフィシャルファンクラブのサイトでは簡単に入会申込もできる。ライブコンサートのページでは、少し前のものだけど、RealPlayerでライブが見れるんだな。

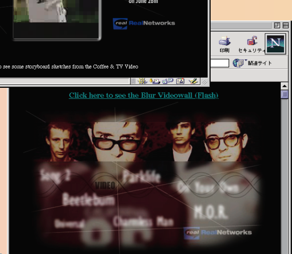
ほかにもいろいろあるけど、ドットミュージックで検索すると、山のように情報が引き出せるぞ。ここは特にUKのバンドには強いんで、ほかのバンドでも使ってみてね。それとロンドンの新聞も忘れずにチェック。結構載るんだな、これが。大衆紙もいいけど個人的にはインブニング・スタンダード（これも大衆紙か？）のTHIS IS LONDONがお薦めよ。

最後にロンドンで仕入れてきた情報をリークしよう。ノッティング・ヒル・ゲイト近辺にメンバーがよく出没しているそうなので、ロンドンに行く機会があったら、うろうろしてみてはいかが？　特に近くの公園は要チェックだ。うまくすれば遭遇できるかもね。

オフィシャルサイト
http://www.parlophone.co.uk/blur/

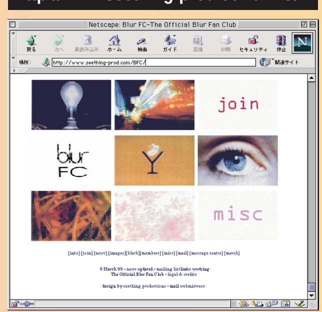






オフィシャルサイトでは、RealPlayerでプロモーションビデオ（右上）を観ることもできる

オフィシャルファンクラブ
http://www.seething-prod.com/BFC/



ライブコンサート
http://www.liveconcerts.com



さまざまな扉が行く手をふさぐ。扉を開くことが新しい面へのただひとつの道だ





選んだキャラクターによって攻撃方法にも違いがある

やっと探し出した鍵で新しい扉を開けた。扉の向こうでは誰かが歩きまわっている音がするのですぐ戦闘開始だ







Worlock（魔術師）、Gladiator（剣闘士）、Trickster（トリックスター）の3人からキャラクターを選ぶ。選んだキャラクターで、異なるシナリオになる



飛び道具を持つまでは、弓は最強の敵だ。ジグザグに走って懐に飛び込むしかない

Dark Vengeance

暗黒の復讐の名のとおり ダンジョンをさまようダークファンタジー

Pacific Software Publishing（米国425-497-8080）／34.95ドル／
http://www.japancentral.com/

CD-ROM DEMO

DOOM系の正統3Dファンタジーアクションゲームだけど、操作がちょっとトリッキー。そんな玄人好みなゲームはいかがだろうか？

プレイヤーの分身として選べる3人のキャラクターは、それぞれ違った理由で、復讐を達成するためにダークエルフの洞窟を探索することになる。魔術師（Warlock）のJetrelは自分の身を危険にさらすことなく、不思議な武器を使う。剣闘士（Gladiator）のNanocは力の強さと無数の武器で敵を倒す。トリックスター（Trickster）のKiteは得意の魔術と剣術を組み合わせて戦う。ゲーム中の攻撃方法や特殊アイテムの使い方もそれぞれ特徴的だ。さらに探検するマップも異なるので、ひとつのゲームに3つのシナリオを詰め込んだ贅沢な作りともいえる。

ゲーム中の行動は「機能キー+方向キー」という組み合わせで行なう。ジャンプと方向キーの組み合わせで、前後へのジャンプのほか、サイドステップができる。攻撃も「攻撃+方向キー」となり、斬り合いでは、「Ctrl+左」で素早い細かい攻撃、「Ctrl+右」で大振りだけど大ダメージを与えられる技、「Ctrl+前進」で突撃とわかれている。敵の攻撃は「Ctrl+後退」でブロックできる。つまり、やみくもに攻撃するだけでは生き残れないのだ。

相手となる敵も最初はダークエルフたちだが、より深く進むにつれ、悪魔や魔法生物、木製ロボットなどがでてくる。その能力や攻撃はキャラクターによってそれぞれ違っているので、いつも同じ作戦が通じるとは限らない。いつまでも心地よい緊張感が続くだろう。

ただし、ゲーム世界に慣れるまで、ちょっと扱いにくい場面にハマることが多いかも。たとえば敵からの攻撃をブロックすることは、アンデッドなど動きが遅いが一撃のダメージが大きい敵にはよく使うが、「背後から」という視点のために、敵の細かい動きが自分の影に隠れて確認しにくいので、ブロックするのに苦労する。そのうえ敵もこちらの技をガードしたり、回り込みやバックステップで間合いを変化させ、多彩に攻撃してくるので、最初はなかなか武器が敵に当たらないかもしれない。

攻撃可能な対象にはマークが付いているし、攻撃が敵に命中していると、血しぶきのほかに、刃の軌跡が赤くなるので、それを目安に攻撃をするしかない。慣れれば問題はなが、敵が強くなればなるほど相手のマークに向かって適当に武器を振り回すことの繰り返しに陥ってしまうので、何となくつまらない気がしてしまう。また、新しい通路を開拓するための重要アイテムが小さくてわかりにくいこともある。常に台の上のように、目立つように置かれているわけではないので、気をつけないと見落としやすい。

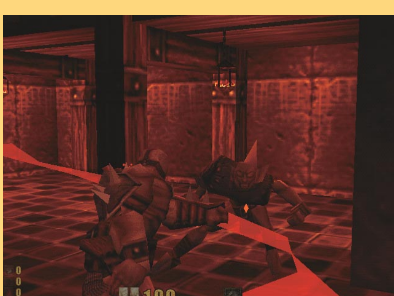
こんな細かいことが気になるのも、ゲーム自体のおもしろさがあるためだと思う。欠点を差し引いてもじゅうぶんに楽しめることは間違いなく、お薦めである。（宮本高志）

デモ版について

デモ版でも製品版同様、三様のシナリオが楽しめる。剣闘士はデモ版では斧しか持たないため、敵を見たら突撃が基本。しかし筋肉増強剤使用で、たとえ敵に囲まれたとしても力で解決できる接近戦のプロだ。シナリオもも地下牢を巡り、隠し扉は力で突破するという攻撃重視なものだ。

トリックスターは拳闘士より攻撃力が弱い。ヒットポイントも70しかないが、途中で盾を拾い、攻撃はブロック主体で不意打ちを心がけなければ先には進めない。シナリオでは邸宅の部屋を次々に巡るので、地球儀などを見学するには楽しいコースを取ることになる。

魔術師は最初から離れた敵を攻撃できる。したがって、敵が近づく前に倒す攻撃が基本パターンだ。シナリオは、ワープゾーンを使った魔法研究施設を巡る、いかにも魔法向きのコース。弱いうえ、ダメージを避けにくい罠もあるので、途中で拾うシールドの魔法は大切に使おう。



攻撃が命中したときには、刃の軌跡が赤くなる



秘密の洞窟の奥に鍵を発見。このゲーム、攻略コースは一本道だから、詰まったときはしらみ潰しに調べれば新しい道が開くことが多い



いきどまりに見えても、攻撃をすれば崩れる壁もある。新しい道には敵もひそんでいるので気が抜けない

Winning Post 4

馬主となって世界に挑戦だ！

CD-ROM DEMO

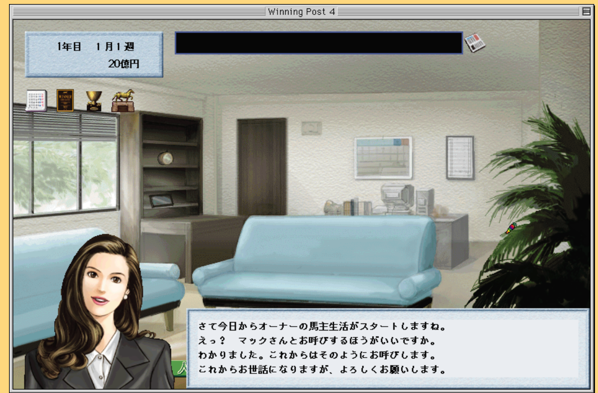
コーエー（045-561-6861）／11,800円／http://www.koei.co.jp/

あの人気競馬シミュレーションゲームの第4弾。今度の世界に通用する名馬を育てよう!!

このゲームは自らがオーナーブリーダーとなって数多くの馬を育成し、愛馬をレースに出場させる、いわば馬主シミュレーションゲームだ。舞台となるのは中央競馬会を模した箱庭競馬世界であり、騎手やレース名などは実在の名前が使われており、現実に近い状況で競馬を楽しむことができるようになっている。

今回の4では、新たに海外での生産や血統の更新、繁殖牝馬の輸入から450もの豊富なレース開催を実現し、充実した“世界”を構築している。また、「瞬発力」や「精神面の強さ」といった新たらしいパラメーターの追加や、テレビの競馬中継と同じ視点でレース実況が楽しめるようになり臨場感がアップしている。できあがった自慢の愛馬は、セーブデータを持ちよって対戦もできる。

（長野真教）



所持金20億円からゲームスタートとなるが、最初のうちは美人秘書の助言どおりに動いていれば、大きな失敗をすることはない



初めて持った愛馬。この馬が順調に育っていって、レースに優勝でもすれば賞金が手に入る。それまでは支出ばかりだがかんばろう



ゲーム内で発行されるスポーツ新聞紙「KOEISPORTS」通称コースポ。ケイバニュースはもとより、馬主成績のデータベースからウラ話まで情報満載



レースの中継は、テレビ中継と同じように画面を二分割するカメラアングルを採用し、アナウンサーの実況が臨場感を盛り上げる

体験版について

Winning Post 4体験版では、保存ができない、期間は1年間という制限があるが、そのほかはすべて製品版同様にゲームを楽しむことができる。ただし、1年間だけなので、自分で生産した馬が、競走馬になって、レースに出るまでは至らない。しかし、牧場を買い、競走馬を買い、他の馬主や、調教師、騎手と付きあう馬主ライフが堪能できる。

Bugdom

CD-ROM DEMO

虫の王国を駆けめぐるアクションゲーム

Pacific Software Publishing（米国425-497-8080）／29.95ドル／http://www.japancentral.com/

『みなしごハッチ』の世界がそのままゲームになっている、Bugdom（虫の王国）を冒険しよう。

iMACを買った人だったら、バンドルされたNanosaurというゲームにはまった人けっこういるはずだ。高低差のあるフィールドをどんどん走り抜けていく、あの感覚に酔ったことがある人なら、同じ作者の新作である、Bugdomはきっと気に入るにちがいない。

今度の主人公は、だんご虫のRollie McFly。Fire Antの一味に征服された平和な王国、Bugdomを救うために、Lady Bug（てんとう虫）を救出し、Fire Antの王であるKing Thoraxを倒すというもの。

基本的には、美しいグラフィックのなかを歩きまわる3Dアクションゲームで、各レベルの使命を達成するか、出口から脱出して、面をどんどんクリアしていくタイプ。どちらかというと、攻撃手段は貧弱で、敵を倒すというより、敵を避け、地面に落ちているクルミを割り、必要アイテムを見つけるために歩きまわるということになる。

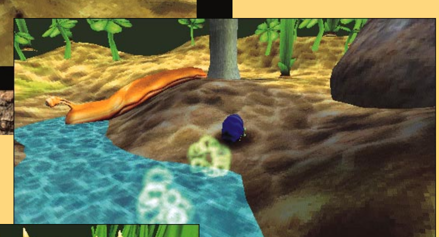
移動方法には、てくてく歩く以外に、時間制限つきだが、丸まって高速移動も可能。スペースバーで体を丸めれば、ダッシュ&体当たりで、敵に一撃を与えることや、敵の追跡を振り切ることもできる。

キーでどんどん進むのもいいし、マウスで主人公を細かく操作するのも楽しい。実際自分が虫になったら、こんな風な遠くが見渡せない世界をやみくもにかっ飛ばしているのかもと思わせる不思議な世界だ。

デモ版では数分しか遊べないけれど、少しでもこの世界を体験してみてほしい。製品版を絶対にやってみたくなるはずだ。　（宮本高志）



美しい3Dの虫の世界を歩き回るゲーム。落ちているクルミは蹴っとばして割っていく



体を丸めて転がりダッシュ



鍵を拾って扉を開けて次の面へ

ウキウキ釣り天国 防波堤の釣り自慢

こんどは防波堤でガンガン釣り上げよう!

テイチク(06-6271-3688)／5,800円／http://ukiuki.teichiku.co.jp/

釣り気分を味わえ、さらに実践にも役立つと評判の「ウキウキ釣り天国」シリーズに最新作が登場。

シリーズの最新作「防波堤の釣り自慢」では、身近な釣り場として人気の防波堤での釣りをリアルにシミュレート。簡単に始められるビギナーモードと戦略にこだわったリアルモードがあり、初心者からベテランまで楽しめる作りになっている。

また、初回限定5,000枚のサブディスクを使用することにより2人同時に2台のパソコンをつないで対戦ゲームで腕を競うこともできる。会話をしながらのプレイは本当に釣りにいったかのような臨場感が得られるのではないか。

さらに、ホームページ「ウキウキわーるど」が用意され、釣果を競う“ウキウキ杯オンラインランキング”などのイベントが実施されており、釣り天国の楽しみも倍加するというものだ。　（長野真教）



釣りは時間によっても釣れる魚が変化する。早朝から深夜までどの時間帯で釣るのかも作戦のうち



釣った魚は、料理屋に持っていくと、調理方法を教えてくれる。また料理図鑑も完備しているのでそちらを参照するのもいいだろう



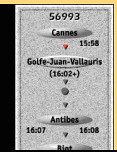
釣り上げる魚の大きさによっては、ラインブレイクを起こすかもしれない。大物相手の時は無理に引っ張らず相手をつかれさせるのも手だ

Train Simulator 南フランス

海外編第2弾は南仏のリゾート線

音楽館、ポニーキャニオン(03-5521-8021)／8,800円／http://www.ponycanyon.co.jp/





南フランスののどかな景色を楽しみながら外国の鉄道を運転するといいのもTrain Simulatorシリーズならでは



フランス国鉄が誇る安全確認システムKVBは、ランプが点灯してから5秒以内に確認ランプを押さないと、非常ブレーキが作動する



駅とニースの花市場までの往復はタクシーで連れていってくれる。その途中にも観光スポットはたくさん点在している

Train Simulatorシリーズの最新作は、景勝地である南フランスからモナコにかけて。初の2枚組で登場だ。

今回のTrain Simulatorは南フランスを旅することになった。南仏といえば、国際的な景勝地が多く、カンヌ、ニース、そしてモナコに入ってモンテ・カルロと観光地として有名な場所が多いのが特徴だ。

そのせいか、今回は初の2枚組ということで、豊富な容量を使って観光スポットであるニースの花市場をインタラクティブに散策するというおまけ付き。駅からタクシーで案内されるまでの間もノートルダム寺院などの紹介も入っており、タクシーの値段もわかるあたり観光ガイドとして新しいジャンルが開けたかもしれない。

もちろんシミュレーターとしてもマニアックに作り込まれており、フランス国鉄の信号と安全確認システム(KVB)を忠実に再現している。　（長野真教）

復刻版・天下統一

戦国シミュレーションの名作の復刻化

システムソフト(092-752-5264)／5,800円／http://www.systemsoft.co.jp/

各ターンごとにイベントが起こるが、日本全国ぶんでも待たされる時間が短いというのが、この復刻版の最大の利点かもしれない





鶴翼や凸型など、合戦では陣形も重要だ。相手の陣形を読んで有効な手を考えよう。鉄砲の配置も勝利の鍵となる

戦国SLGの金字塔「天下統一」が復刻。PC-9801版初代「天下統一」を当時のままに再現した。

この天下統一は、日本のシミュレーションゲームデザイナーの草分けでもある黒田幸弘氏のデザインで、1992年に発売された、名作の誉れ高い戦国シミュレーションゲームである。今回このソフトを復刻するにあたっての方針として「当時をそのまま再現」ということで、確かにグラフィックは当時のままであり、現在のソフトと比べるとどうしても見劣りしてしまう。

しかし、ゲームとしてみるとこれが結構うまくいっているのだ。元々そんなに遅いゲームではなかったが、当時と比べるとハードウェアは格段に進歩しており、それだけコンピューターの思考時間が短縮されていて、実に気持ちよくサクサクと進む。グラフィックだけ派手なゲームが増えているなか、やはりゲームは遊んで楽しいものが一番だと再確認させられる。　（長野真教）



ラショウ
（イタチョコシステム）

その拾弐 ウルティマオンラインという高み 2

『その拾弐』ということは一年間連載したのだね。奇跡である。そしておめでとう自分。皆様からのミイラ以外のプレゼント受け付けます。

さて憎きWindowsマシンで泣く泣くプレイしなければならない「ウルティマオンライン」の前回の続き。



ドラゴン系モンスターの強大さにただただ立ちつくす。そして知らぬそぶり、勇者の意志はかなり挫けてます

しかししかし表情は緩みっぱなし、悔しいが面白いのだ。やはり人間相手は楽しい。早くMacでもこんなのやれるようにしなきゃと職業的使命感に燃えながらも、うしろめたさの長時間プレイであった。

ここで対人プレイで起こる問題、あるいはこれが醍醐味かもしれないがPlayerKiller（PK）の存在を考えてみる。私が送り込んだ「マミハン」もPKの被害にあったのだった。ウルティマオンラインでは職業は、普通、戦士や商人、魔法使いなどだが、ちょっとヒネると泥棒や殺し屋も可能だ。そう、他プレイヤーを攻撃して、持ち物（ときにはヤル気さえ）を奪うことができるのである。

ゲームの中にはシステム上のルールがある。しかし、法律ではない。法律は人が集まって作り、守りたい人が守り、関係ないと思えば従わなくてもいいのだ。このことも、ゲームに深みを与え、人間模様が描かれていくこととなっているのだろう。

私のマミハンもPKのおかげで、一文なしとなり、食うや食わず、ああ現実と同じだ。どこへいっても自分の運命星は変えられぬものよ。…などと感心をしてる場合ではない!!

やはり強くならねば！　私は制作者の意図にみごとにハマリ、あれこれとプレイ方法を考案するものだった。そう、これは即ち「自分の法」だ。いつか他人の法とぶつかり、さまざまな波紋が起きるのだ。単なる同時プレイではなく、現実の恐ろしい部分を抽出してしまったのだ。

そんな震撼を覚えつつ、いつかこのゲームを破ってみせる、そして超えるゲームを創ってみせる！　…とまた今夜もつないでしまう私は、結局、研究いいわけの悲しいゲームミイラ取りなのであった。　（つづく）

海外Macintoshゲーム事情　第13回

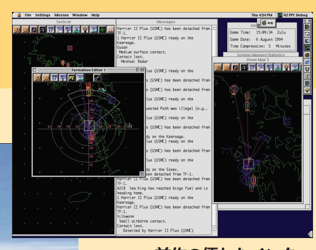
Macのウォーシミュレーションゲーム

桑原弘詩

ウォーシミュレーションゲームはその専門性ゆえに制作現場は小規模で、一部を除いてあまり知られていない。そこで今回は注目作をいくつか紹介しよう。

Harpoon3●現代海戦シミュレーション名作の最新版。洗練されたインターフェイスの前作を基に、新システム対応と性能向上を図った。Advanced Gaming Systems（http://www.harpoon3.com/）から発売中。

Combat Mission●WWII戦術級陸戦シミュレーション。フル3Dによるジオラマグラフィックスのみならず、Squad Leader感覚の精密さと高度な戦術性が特徴の硬派向けゲーム。今夏発売予定。なお、発売元のBattlefront.com（http://www.battlefront.com/）はソフトハウスの共同出資によるウォーシミュレーション専門メーカーで、市場力の弱いMac用製品の販売を強力に支援する。



前作の優れたインターフェイスを踏襲したHarpoon3。開発はMac版が優先された



Combat Missionの開発中画面。3D化された環境は戦術的にも重要な意味を持つ

TacOps Classic 2.0●戦術級現代陸戦シミュレーション傑作の最新版。ゲームエンジンをアップグレードし、シナリオや兵装バリエーションの充実を図る。Battlefront.comから発売予定。

Pacific Tide●Star Games（http://www.pacifictide.com/）が開発中のWWII戦略・作戦級総合シミュレーション。太平洋戦争の日本軍を主人公に、陸海空のさまざまな戦略要素を精密にシミュレートする。

複雑で奥の深いゲーム体系が身上のウォーシミュレーションにとってユーザーインターフェイスは生命線であり、そのプラットフォームとしてMacが最も優れているのはいうまでもない。ウォーゲームファンや制作者にもMacが好まれる傾向が強いのはそのためである。

一方では、出資サイドの商業的な思惑によって、Mac版開発中止を余儀なくされた作品も少なくないが、それらも開発サイドによってMac版復活の模索が進められており、今後の動向は要注目である。

GameOnline CD-ROM

Ratsel●
Zauberkraft Software／フリーウェア
http://zauber.eva.to/
キャラクター操作型パズルゲーム。Lode Runnerや倉庫版の要領でトランプを取っていく。マウスによる簡易な操作と凝ったステージ。

Battle for the Universe●
Misty Software／シェアウェア（20ドル）
http://www.mistysoftware.com/
ネット対戦型宇宙シューティングコンクェストの最新作。広大なマップと基地運用による戦略プレイを特徴とする。対AIの1人プレイも可。

ANT RUN PRO●
Soleau Software／シェアウェア（18ドル）
http://www.soleau.com/
パイプ接続アーケードゲーム。部品を組み合わせてアリの通り道を作る。スピーディーでトラップに満ちあふれる高難度プレイ。

μWar●
MadDog Production／フリーウェア
http://www.multimania.com/maddog/
Mac対PCの歴史をテーマにしたインベーダーアーケード。MacとOSをアップグレードしてPC軍団を殲滅せよ。時代考証（?）も万全。

Weekend Warrior*●
Pangea Software／フリーウェア
http://www.pangeasoft.net/
バラエティー番組風3D格闘アクション。奇抜な演出とユニークなキャラクターが特徴。フリーウェアとして再リリース。RAVE推奨。

Indovina●
DAPPSoft／シェアウェア（20ドル）
http://dappsoft.dreamhost.com/
Guess Who型顔当て推理ゲーム。質問を出し合って24人の中から相手の顔を当てる。さまざまなアシスタント機能と統計機能を装備。

*容量の都合で今月号のCD-ROM MACLIFEにWeekend Worriorは収録されていません。

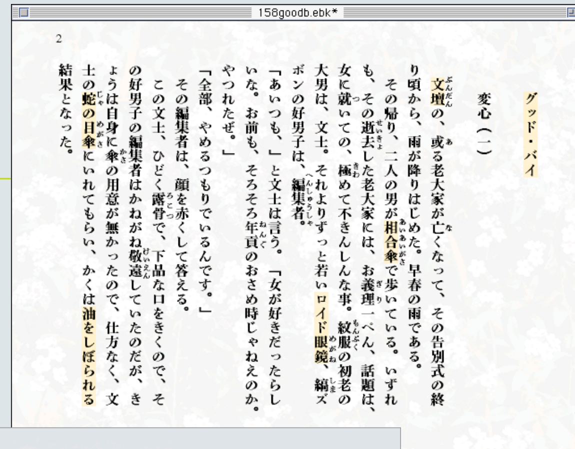
CD-ROM REVIEW

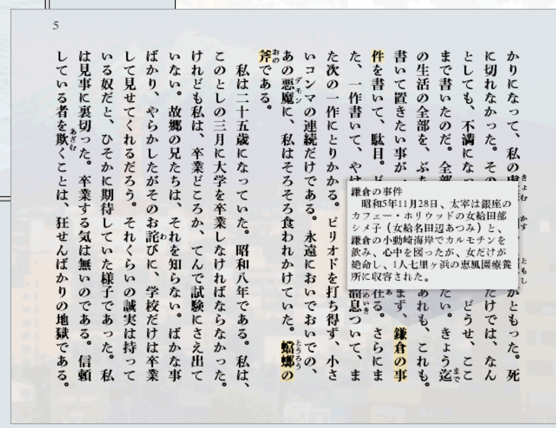
文●宮澤誉樹



随所に散りばめられている貴重な写真や資料の数々

未完の遺作「グッド・バイ」の冒頭



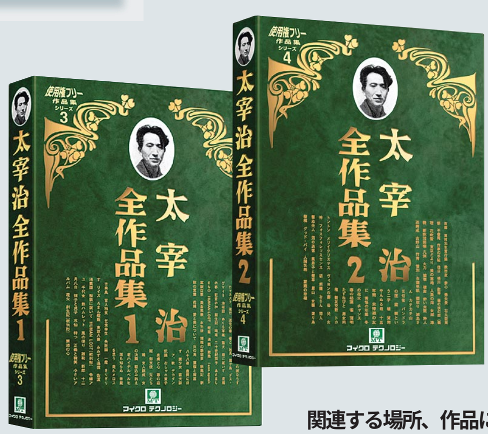


文中でわかりにくい表現や出来事はすぐにその場で参照事項が表示される

太宰治全作品集 1・2

使用権フリー。太宰治の全作品集

マイクロテクノロジー（株）／TEL：03-3833-8080／各7,800円／Mac＆Win



1999年1月1日で没後50年の翌年を経過し、著作権財産権が消滅した太宰治の全作品集が使用権フリーで登場した。昭和8年から18年までの88作品と関連写真69枚、関連小学唱歌などの音楽7曲を1枚のCD-ROMに収録。以降昭和28年に雑誌に発表した「家庭の幸福」までの74作品と写真72枚、音楽6曲がもう1枚のCD-ROMに収録され計2枚のCD-ROMが同時発売された。

監修は太宰治研究の第一人者である渡部芳紀教授。鑑賞と実用の両方に耐える仕上がりだ。年譜、作品に関連する場所、作品に関連するキーワード、作品区分、50音順、発表年の6種類の区分から各作品にアクセスが可能になっている。

作品は、ボイジャー社のエキスパンドブック形式で収録され、太宰作品がすべて縦書きで表示される。

作品中の語句をクリックすると、その場所に解説のボックスが表示され、作品を読み進めると同時に、時代背景や、舞台になった場所、ゆかりの人物など、物語を彩るさまざまな要素を学習でき、作品全体が深く理解できるように工夫されているので、太宰文学の世界を広く学ぶことができる。

中でも特筆すべき点は、文中で曖昧な表現がされている土地の写真を渡部教授が太宰作品を読み解き、現地に出向いて一番イメージに合うアングル、構図を想定して撮影した写真を多数収録していることだ。それらは、太宰を理解し、愛する人々の協力のもと撮影・提供された貴重なものが多い。

おそらく一般の人が最初に出会う太宰作品は「走れメロス」ではないだろうか。教科書で読んだこの希望と勇気の物語に魅かれて、別の作品を読むうちに「斜陽」や「人間失格」といった作品に出会った人も多いかもしれない。この製品が、太宰文学を研究する人の資料としての価値はもちろん、一般の人が太宰を再発見する機会になることを願いたい。



38歳の若さで他界した太宰は今も三鷹の禅林寺に眠る

メイキング ミュージック
メイキングMOREミュージック

音楽を愛するすべての人に。子供から大人まで楽しめる音楽お絵描きソフト

(株)ボイジャー／TEL：03-5467-4646／3,000円・3,800円／Mac＆Win

「メイキングミュージック」は、お絵描きをする感覚で簡単に音楽が学べ、作曲もでき、楽譜の書き方を知らなくても、マウスひとつで音楽を作ることができるという世界初の子ども向け音楽ソフトだ。メロディやリズム、テンポなど音楽の基礎を聴覚だけでなく、視覚を通じて学習可能だ。作曲だけでなく、音の組み換えや逆転など遊びの要素が盛りだくさんで子供だけでなく大人にも楽しいソフトだ。内容は中心となる「メイキングミュージック」のほかに「音楽ブロック」、「メロディとリズム」「きせかえキッズ」と「ゲーム」を収録している。

そして、「メイキングミュージック」の発展形になるのが「メイキングMOREミュージック」だ。こちらは五線譜や音符を使った曲作りが可能で、頭に浮かんだメロディを譜面にして再現でき、より高度な音楽の知識を遊びながら学ぶことが可能だ。作品はスタンダードMIDIファイル形式で保存し、システム付属のメディアプレーヤーやムービープレーヤーで再生できる。さらに、譜面の印刷もOK。教育の現場でも活用できるだろう。内容は打楽器を使ってリズム音楽の作曲をする「リズム・バンド」、弦楽器、金管楽器などを楽器編成し、楽譜を使った作曲と同時に、基本的な作曲方法も学べる「室内楽」、音楽形式を学び、変奏のテクニックを体験できる「主題と変奏」、音感、リズム感を養う「ゲーム」、基礎用語や知識の細かい解説を収録した「音楽をもっと知ろう」の5つで構成されている。音楽を愛するすべての人にお薦めの秀作

「メイキングミュージック」のメニューは5つ。どれも楽しい





「メイキングMOREミュージック」のメニューは全部で5つ。1つは楽曲の保存用



実際に街を散策しているような気分になるウォークスルームービーが満載

千の都の物語 No.1
フィレンツェ

ウォークスルームービーでバーチャルに街を散策

(株)キャラバン・インタラクティブ／03-3350-1621／8,800円(3枚組)／Mac＆Win

世界中の美しい街並を記録した作品はCD-ROMの登場以来数多く発売されてきたが、今回紹介する「千の都の物語」シリーズでは、他製品と差別化を計るためウォークスルームービーの手法を多用している。これは実際に街を歩きながら撮影したようなムービーで、作品内で見られる名所から別の場所への移動風景は今までにないものだ。

第1作の「フィレンツェ」は北部、中部、南部の3枚組みCD-ROMで実に精力的な作品になっている。最初にマップを見てルートを設定。ナレーションを聞きながらムービーを見て、街を散策。観光地ではムービーとガイドのほか、写真やテキスト解説も加わる。これを繰り返し行なうと、あたかも街を訪れた気分になれる。

CD-ROMに収録された観光スポットは47カ所。ムービー合計81本で76分。写真414枚、ナレーション83本で79分。解説テキスト268枚という膨大な情報量はフィレンツェの街の様子を余すところなく伝えてくれる。観光前のガイドブックとしても有効だが、どちらかというと一度行った場所を思い出とともに振り返るのによいだろう。ただ、欲をいうとムービーの移動速度が早かったり、画面の切り換わりが多すぎて、見ていて少し落ち着かないのが残念だ。ちょっと駆け足で観光しているようで、ツアーに参加して急かされる気分に似ている。今後続々と世界各地のものが発売されるので、気に入った街があれば是非手にしてほしい。



名所は写真による紹介もされている

ネイチャー・アクアリウム 水草と熱帯魚

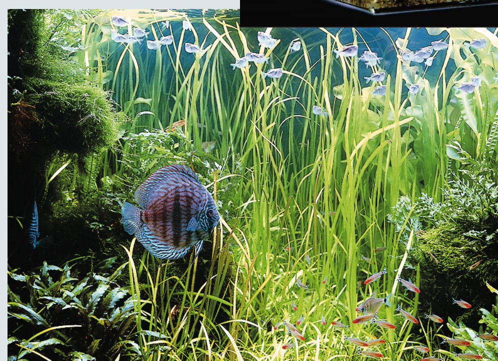
CD-ROM DEMO

小を愛さずして大自然を語るなかれ

(株) シンフォレスト／03-3440-6108／3,900円／Mac & Win



ズームアウトギャラリーでは水槽の全景を切り取ったような風景で見ることができる



通常の写真。マルチアクセスになっている

「小さな命を愛せずして、大自然を語ることはできない」という理念のもと、水草による独自のレイアウト手法を提唱し、実践する天野尚。大自然の生物たちの営みや生態系を学び、水槽の中にもう1つの世界を作り出す彼独特の手法が「ネイチャーアクアリウム」であり、この水槽を大判カメラで撮影した作品を集めたものがこのCD-ROMだ。

内容は、メインスライドショーとサブのスライドショーが合わせて4つ。全作品に水槽レイアウトデータと天野本人のコメントが掲載されている。また、登場する魚や水草の種類がわかる親切なガイドも付いている。ほかに魚を大きく見せる「ズームアップミュージアム」と水槽全景を楽しめる「ズームアウトミュージアム」がある。さらに作品に登場する代表的な魚や水草を解説する「熱帯魚＆水草小図鑑」。ビジュアルや魚、水草の種類、水槽のサイズから作品検索ができる「検索＆索引」。そして途中保存が可能なジグソーパズルも付いている。

シークレットサファリ

CD-ROM DEMO

ハートフル・アクティビティシリーズ第3作

ビクターエンタテイメント（株）／03-3746-5502／4,600円／Mac & Win



8つの秘密の写真を見つけよう。特定の所をクリックするとこのアルバムに新しい写真が貼られる



メニュー画面はとある部屋。いろいろなものをクリックするとなにかが起きるぞ

大人も子供も心が元気になる、ハートフル・アクティビティ「Small House」シリーズの第3作。今回はとある男の子の部屋に隠された8つの秘密の写真を見つけ出すのだ。オープニングが終わると部屋に入り、後は思いつくままにいろいろなところをクリックするだけ。セリフも説明もない。あるのはゆったりとした民族楽器を主体とするアコースティックなBGMだけ。クリックポイントは、約100カ所ほど用意されており、特定のポイントをクリックすると本棚に隠されたアルバムに写真が貼られる。アルバムを引き出して、写真をクリックすると、ちょっとおかしいイマジネーションたっぷりのショートムービーが再生される。

ほかにも紙工作やミニゲームなどいろいろなアクティビティポイントがあるので、飽きることなく遊べる。一人でも、子供と一緒でもとてもハッピーな気持ちになれるファンタジーの世界へ舞い込もう。

もうすぐ1年生

ゲームをやりながら情操教育するお薦めソフト

ザ・ラーニング・カンパニー／03-5275-6955／5,800円／Mac & Win

小学校に入る前に身に付けておきたいものの考え方を楽しいゲームを通して学ぶことができる。いたずらされたキャンプ道具を取り返すという筋立てで物語は進む。ゲームをクリアすると道具が戻ってくるのだ。「カヌーであてっこ」は神経衰弱の要領で同じものを見つけ出す、記憶力を養うゲーム。「じゅんにならべて」は大きい順番、長さの順番など、規則性に基づいて順番に並べるゲーム。「めざましはどこ」はヒントにしたがって隠された目覚まし時計を見つけ出す、聞き取りと読解力を養うゲーム。「かぞえてわたろう」は数を理解するためのゲームで、いわばスゴロクを一番最小限で進める数を見つけ出すようなものだ。これら4つのゲームが4つのレベルで構成されている。さらに各ステージにはもう1つずつ時間割を作ったり、季節の移り変わりを観察したりするオプションもある。ストーリーもしっかりしていてお薦めの1本。



オープニング画面



クリアするごとに見つけ出したものに色が付いていくぞ

ヒーリング・ブルー

透明感と神秘のビジュアル。美しい海とそこに生きる動物たち

（株）シンフォレスト／03-3440-6108／3,900円／Mac＆Win

世界で一番美しい海へと題された収録地マップ





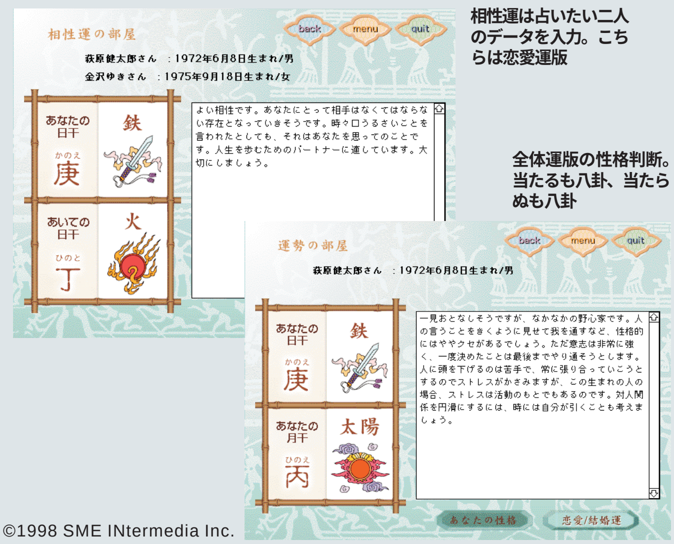
1章はイルカの贈り物。いろいろなイルカの表情が楽しい

海は人の心を包み込む。それが美しければなおさらのことだ。美しい海とそこに生きる動物たちを収録した作品。新進海洋フォトグラファー高砂淳二が撮影を担当している。「イルカの贈り物」「悠久の時を越えて」「海中散歩」「楽園の風景」「すばらしき仲間たち」「氷の海」の全6章。加えて「世界で一番美しい海へ」というガイド＆マップと全作品のビジュアルインデックスが付いている。もちろんスクリーンセーバーや壁紙、スライドショー機能も付いているので、まさにこの夏一番クールなビジュアル・インテリアとして活用できる。収録数は205作品。モルジブ、バハマ、ガラパゴスなど世界中の美しい海を惜しみなく収録しており、見ていて涼しげで、とても安らぐ作品の数々だ。

ライフナビゲーター1000
四柱推命 恋愛運＆全体運

四柱推命学で世紀末を占う。本格占いソフト

（株）SME／インターメディア／03-3266-5791／各1,000円／Mac＆Win



相性運は占いたい二人のデータを入力。こちらは恋愛運版

全体運版の性格判断。当たるも八卦、当たらぬも八卦

本CD-ROMは四柱推命を使った占いソフトだ。全体運版と恋愛運版の2種類。生年月日と名前、性別を入力するだけの簡単操作で性格判断と未来占い、そして全体運（仕事、健康）か恋愛、結婚運の占いが可能だ。性格判断や未来占いの結果は同じだが、肝心なのは残りの1つ。相性占いの部屋の結果は当然異なる。全体運の場合は仕事関係での相性、恋愛運は恋人としての相性を表示する。監修は田宮規雄。1940年から2009年までの占いができるので、気分転換に使ってみてはどうだろうか。ライフナビゲーターシリーズと称されたこの製品は同時に星占いの全体運版、恋愛運版も発売されているので、好みのものをチョイスしよう。

電車特急の40年

40年に渡る電車特急の歴史をすべて収録

（株）フラッグシップ／03-3259-2655／6,800円／Mac＆Win

メインメニューは3つ。1958年11月、日本で初めて登場した「こだま」に始まる電車特急40年の歴史を振り返る「History」。さまざまな特急の編成から車内風景など細かい所まで再現されている「Catalogue」。いわゆるボンネット型と呼ばれた181系車両の代表として人気を博した「とき」と、登場以来進化の目覚ましい寝台特急の中かから往年の名車両583系と最新鋭寝台特急「サンライズエクスプレス」に使用されている285系。これら3種類の車両の魅力を余すところなく伝える「Theater」。「History」では全国電車特急の中から20の運転区間の大きな変更のあった時点をピックアップして運転区間の変遷を見ることができる。現役特急一覧や走行シーンの動画も収録。すべてのデータはマルチリンクになっているので、見たい画面にすぐに移動することができる。



「Catalogue」では歴代の名車両がズラリ



「Theater」の1つ寝台特急。寝台特急は登場以来進化の目覚ましい車両の1つだ

i & imac

旅が続いているので、猫は機嫌が悪い。

だがね、あんた、私は遊んでいるのではなく仕事をしているのだよ、あたしが働かなくてはあんただってご飯が食べられないのだよ、な〜んて古典的な言い訳が猫に通じるはずもなく、こいつはあたしが旅先で毎回心ゆくまで楽しんでいるのをなぜか知っているようである。

で、何をするかというと、せっかく原稿を書こうとする私を邪魔しにｉＭａｃの上に乗って、長い尻尾をモニター画面上にゆーさゆさと降り続けるのである。たまんない。それこそ古典的な、劇画ちっくな仕打ちである（Ｐｈｏｔｏ１）。だいたいｉＭａｃの上は傾斜しているし、つるっと滑るはずだし、なぜそうやって乗っていられるんだ？　たまんない（もう一度言っておく）。でもつい、怒る前にカメディアでパチリ。私もだんだん、このページの日記癖がついてきた模様。邪魔猫もモデルその一と考えると、まあ気持ちも大らかになる、かな。しかし、ｉＭａｃが毛だらけなんだよな。また壊れやしないかと心配なのである。

さて、私はどこへ行っていたかというと、デジカメとパワーブック５３００Ｃを持って、西表島を旅していたのだった。西表はワイルドそのもの。ジャングルあり、マングローブあり、珊瑚の海あり。かっこいい島だねえ。今回は旅番組を作りに出かけたのだが、私は小僧のように滝壺に飛び込んだり、滝をよじ登ったりしている。もうなんでも来い！　だ。そんな中で、私がもっともときめいたのは、このバブルというものをかぶった一日（Ｐｈｏｔｏ２）。時々、ニュースステーションなどで見ますよね？

「私は今、西表の　ブブブブ、珊瑚の海にいまーす。ブブブブ」

とかぶったまま中継できる、アレです。

バブルの中には常時エアが供給されるので、本当は怖くもなんともないはずなんだけど、元々子供の頃から水が怖い私はさんざんスタッフの手を煩わせました。ごめんなさい。で、なかなか心の準備のできない私に何度もバブルをセットアップしてくれたのが、プロフェッショナル・ダイバーの大西さん。頼もしい限り。お世話になりました。

帰京して驚いたこと、その一、私の日焼け具合。デジデジ日記ならぬ『お買物日記』（集英社）という文庫本が仕上がり、西麻布のメナムというタイ料理店で打ち上げ。共著の、料理家の飛田和緒（左）さんと、編集の小山田さん（右）と（Ｐｈｏｔｏ３）。

いやー、しかしどう見ても私だけが強力に黒い。吸収するんだな、日差しをどん欲に。

ちなみに、この週〈二時のホント〉に出演した際、私が塗られたドーランはフランス製の特別なものでした。

メイクさん曰く。

「女の人が使うのは初めてなんですけど」

「じゃあ、今まではたとえば誰が使ったんですか？」

と、少し怯える私。

「江口洋介さんが、最近では」

ちょうど彼の入籍記者会見が行なわれていた日だったので、な〜んか縁起がいいなあ、とかのうてんきに思った私である。いやあ、しかしまったく無頓着に焼いたものだ。もう、三十代でしょうがね、志穂さん。

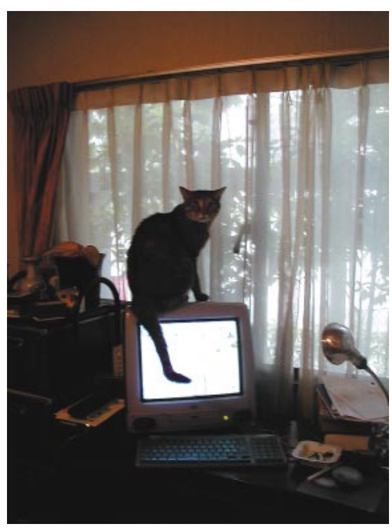


Photo1



Photo2



Photo3

＜その2＞
「日焼けして欲しくなった物、そのいち、パワーブック G3！」

谷村志穂（たにむら　しほ）…作家。最新刊に、『おやすみなさい、と彼が言う』（世界文化社刊）がある。Macは3年前から使い始め、現在はiMacを愛用している。ホームページ「HOUSE」（http://www.age.ne.jp/x/shiho/house/）では、谷村さん自ら掲示板にメッセージを寄せることもあるので、ファンは必見。

谷村志穂のdigidigi日記

Shiho Tanimura

そんな旅から帰る私をいつも待っていてくれるのは、マネージャーのこまっちぃである。彼女はウサギのように色白で、この頃は二人で歩いていると不気味な対比である。

彼女から届けられた荷物は、私のホームページをよくたずねてくださる、四国の動物病院の先生から送られてきたもの。先生や病院の写真、うちの猫のための薬、ドングリの実、などに混じって「PEPPY」という雑誌を発見（Photo4）。深夜こまっちぃと、マクドナルドでシェークを飲みながら、これを眺め始める。いやー、それが面白いのよ。自転車のかごから、クビだけ出して動物を入れておくためのバッグや、犬がペンギンやヒョウに変身するための洋服や、犬の形のウエストポーチや、とにかくいろいろなものが通販されている。こまっちぃにはその犬の形のポーチを買ってあげたかったのだが、断固拒否されてしまった。

「でも志穂さん、この雑誌のホームページ*1ってすごく充実しているんですよ。ゲストブックに、それぞれの犬や猫の飼い主の人たちが悩みなんかを書いておくと、獣医さんや専門家が一つ一つ答えてくれるんですけど、それがかなり高度で、最先端の論文なんかが引用されていたりするんです」

「なんでそんなの知ってるの？」

「私、最近、隠れ犬おたくなんです」

じゃあやっぱりウエストバッグがいいではないかと思ったのだが、私も帰宅後、このホームページを見る。

ゲストブックでは、コードネームがそれぞれ、〈太郎ママ〉〈シロ・ママ〉とか、そんな風。つまり、ペットの名前にママをつけるのが常識のようなのである。となると私は、〈チャイ・ママ〉である。私は日頃ママじゃなくて、彼女のベストフレンド、ということになっているが、ママになってみるのもいいかという気がしてくるページ。私はさっそく動物病院の先生に、お礼のメールを送るつもりである。知り合ったのも、私のホームページが縁。インターネットって友達が増えるね。

そんな合間に、今月ゲットしたのは、イギリスのレゲエ・ミュージシャン、マキシー・プリーストの新譜『COMBINATION』。彼は来日して、クラブイエローなどでイベントをやっていたんだよね。私は行けずじまいだったので、アルバムだけ入手。わけあって、ピンクのバラと一緒に届きました。ドキッ（Photo5）。

友人がパワーブックG3を持ってうちにやって来た。まったくなんて得意げなんだい？

「キーボードがさ、スケルトンなんだよね。そして、よくみるとこのボードの部分も黒ではなくて鉛色なんだぜ」

谷村、突然物欲に目覚める。

かっこいい、パワーブックG3（Photo6）。

「まあ、今iMacとパワーブックG3の組み合わせっていうのはかなりいいと思うね」

とまで言われて、歯ぎしりしながら御説ごもっとも！　と思った私である。今度の旅では、パワーブックG3と一緒かな？

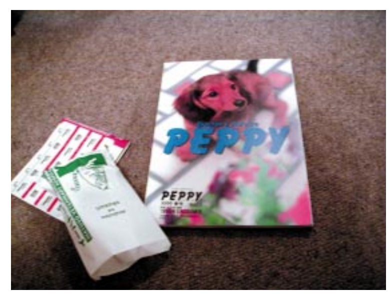


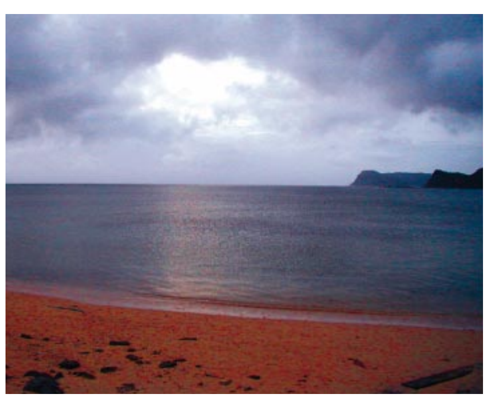
Photo4



Photo5



Photo6



しかし、きれいだったな、西表。そんな島でもたくさんの人がインターネットをつないでいた。世界は遠くない。マックさえあればね。

*1●雑誌「PEPPY」のホームページのURLは、http://www.peppynet.com/

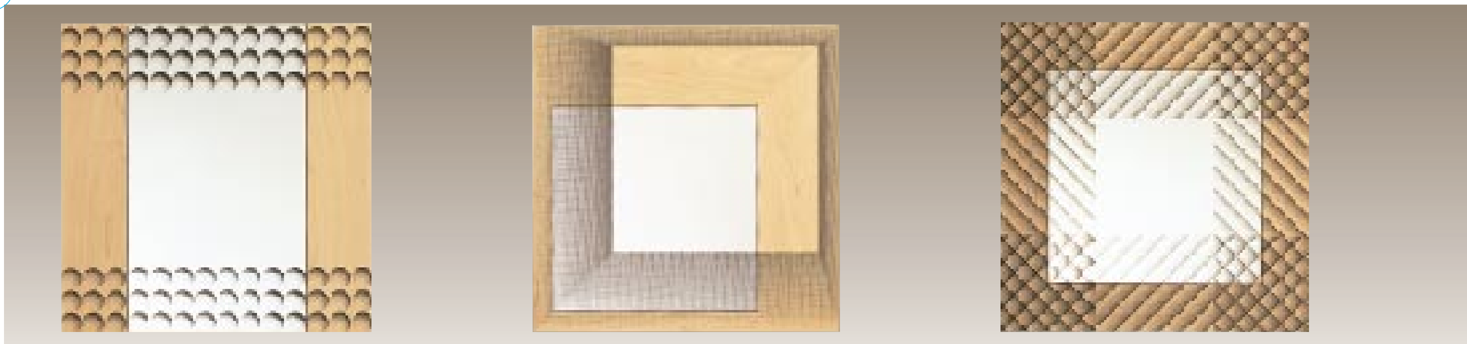
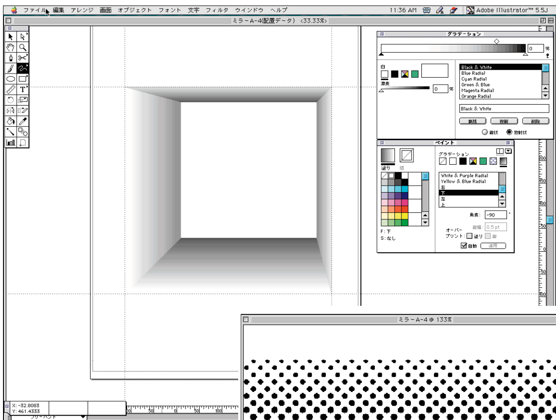
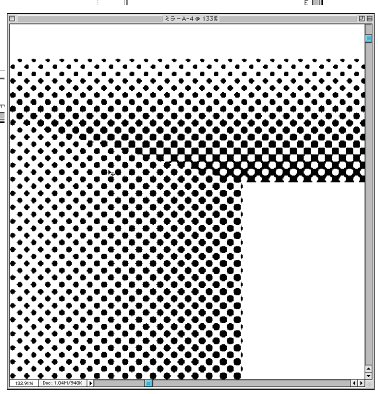


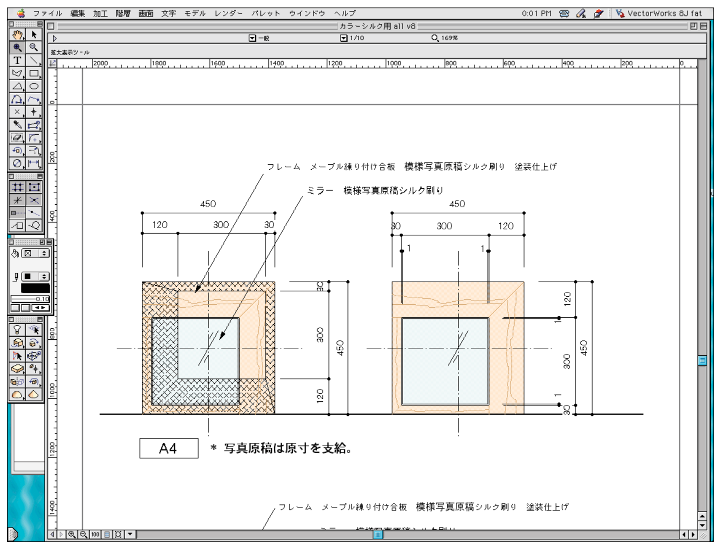
Photo by Nacasa&Partners inc



⬅Illustratorで、まず図形を作り、グラデーション情報を与えていく。Photoshopでデータを取り込み、カラーハーフトーンフィルタにて、ドット模様に変換



➡ドットの拡大。幾何模様は組み合わせにより、予想しなかった意外な面白さが出る



⬆実際のミラーへの印刷位置指定はVectorWorksで図面を描いていく

vol.2

五十嵐久枝
&川村伸

インテリアデザイン入門

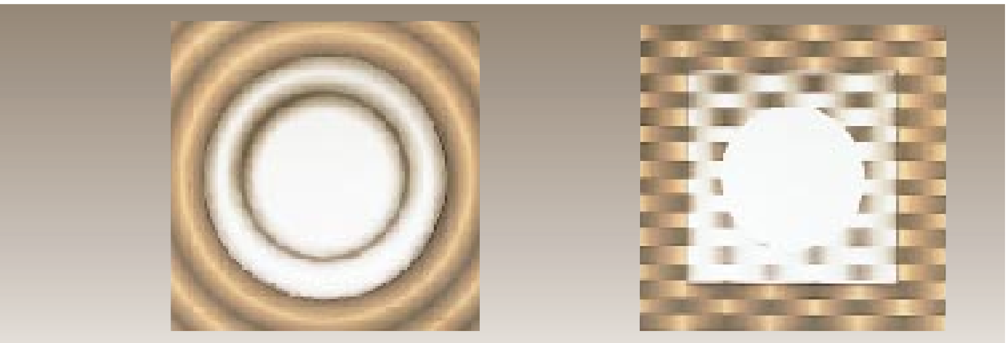
IDへの道





⬆➡実際には普通の木枠の鏡。しかし、印刷を重ねたことにより、立体感が出てきておもしろい効果

デザインの世界では、パソコンの普及によって、そのやり方にさまざまな変化が生じてきている。
実際、Macはデザインの世界でどのように使われているのか？
また、デザイナーは、実際にMacを仕事でどのように使いこなしているのか？
建築・インテリア・プロダクトと幅広いデザインを手掛ける
イガラシデザインスタジオの五十嵐久枝さん、川村伸さんのオリジナル・レクチャーを公開。
連載第２回目は、「ミラー」の工程。
これでインテリアデザインがぐっと身近になるはず。

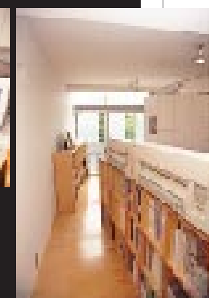


五十嵐久枝
Hisae IGARASHI



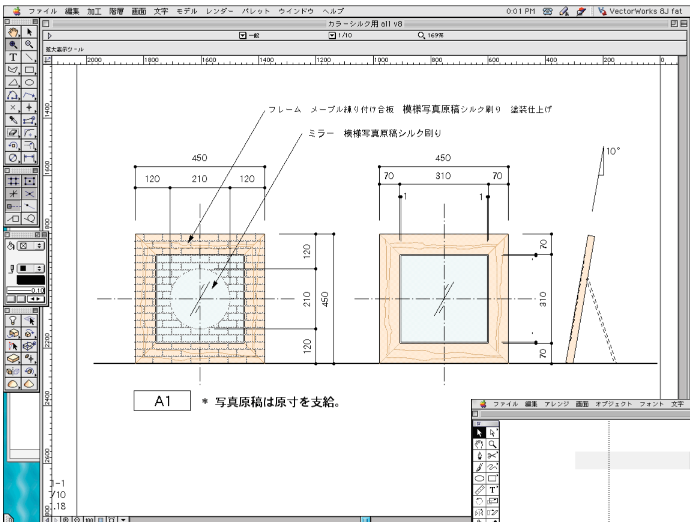
東京生まれ／昭和61年桑沢デザイン研究所インテリア・住宅研究科卒業、クラマタデザイン事務所勤務後、平成5年イガラシデザインスタジオを設立。平成8年から桑沢デザイン研究所非常勤講師を勤める。インテリア、建築、プロダクトなど幅広いデザイン活動を行っている。



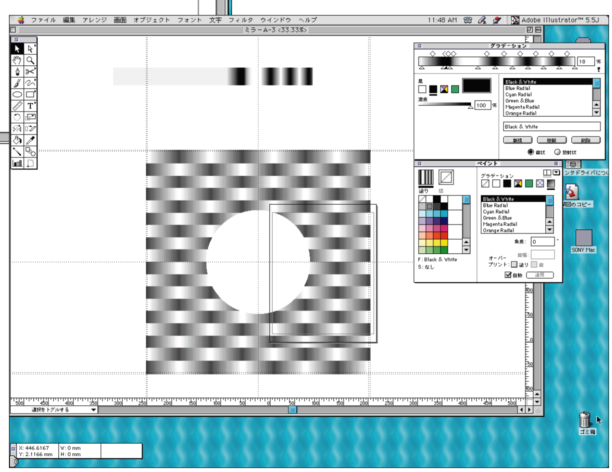


イガラシデザインスタジオ
五十嵐先生自身がデザインを手掛けた建物の一室にある。

E-mail：ids@bb.mbn.or.jp



←ミラーへの印刷位置指定の図面です。解りやすいようにカラーで出力していく



←Illustratorのグラデーション機能を使って、ウェーブ模様を作り、位置をずらしながら配置していく。グラデーションは少しづつ調整しながら、ちょうど良い所を探していく。真ん中の白い丸は後から描いたマスク

――どのような発注内容によって、アイデアをまとめていったのか？

静岡県の地場産業活性化のダイナミクス事業の一環で、量産化を目指した家具の開発というものがあり、そこでいくつかデザインすることになりました。

あまり知られていないとは思うのですが、静岡県は鏡台の生産量がとても多くて、鏡台専門に作っているメーカーがたくさんあるのです。そこで、いくつかのメーカーとお付き合いさせていただくことになりました。

こちらもミラーのデザインをしてみたいという気持ちが出てきたので、それで、今回、連載第2回目で、みなさんにお伝えするようなミラーができあがったのです。

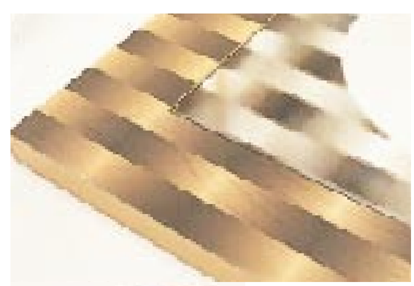
ちなみに、静岡県は一般に家具の産地としては、知られていますが、特に鏡台の生産を一手に引き受けています。現在は、鏡台自体の需要が以前よりは減ってきていて、それに代わる家具にシフトしていこうと模索する動きがあります。

ミラーを作る際の前提は、今の時代の流れとして、「量産品でローコスト」ということがまずありました。

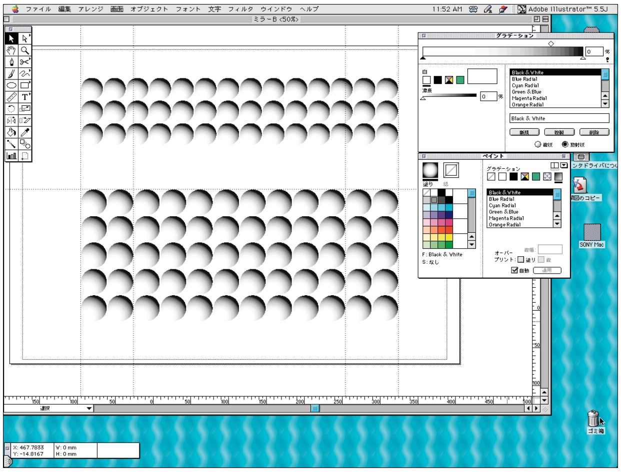
単品で作る作品というのは、それなりの仕様で工程も手間がかかるし、やはりコストも高くなる。ですから、ローコストで魅力的な商品をデザインするということが基本にありました。具体的には、工場では機械のラインをなるべく単純にして、いかに合理的に作っていくかということを念頭に置いて、デザインすることにしました。

またその中で、オリジナリティを出していきたいと思ったわけです。できればどこにも売られていないような、特徴を出せないかとも考えたわけです。

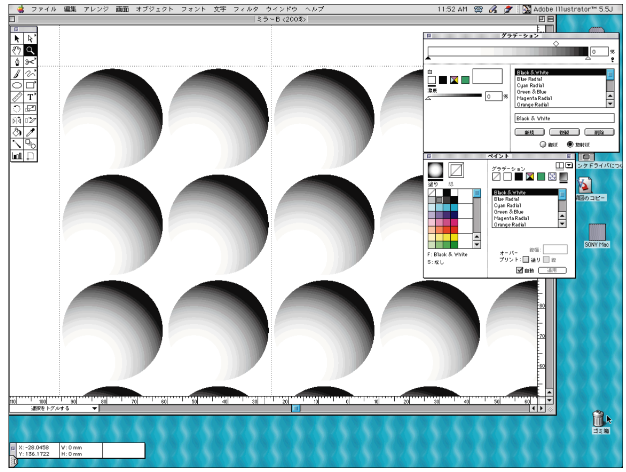
しかし、オリジナリティ＝手間がかかって、コストアップしてしまうということもでてくる。そこで、それを避けるために、いろ







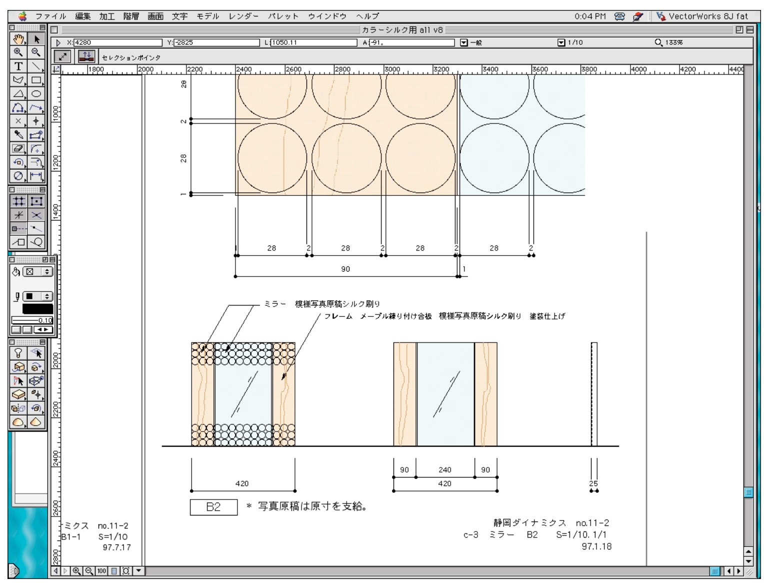
⬅Illustratorで円形をつくり、それにグラデーションをつける



⬆丸く凹んだように見せるため、微妙なグラデーションの調節をくり返していく







⬆印刷の位置指定の図面。クリアランスがあまりないため、非常に細かく指定してある

vol.2 インテリアデザイン入門

IDへの道

いろ考えていくわけです。ですが実際には、立体的な感じを出したい、と思うと、さらにそこには一加工分の手間が入ってしまう。ではどうしたらよいか。そこで、形はできるだけシンプルにまとめて、印刷の技術を使おうと考えたのです。つまり写真をみていただければわかるように、グラデーションで凹凸をだまし絵的に表現するというのはどうかな、と思い至った。プレーンなものに陰影のついた画像を乗せていくわけです。そのだまし絵的なものが商品の特徴になれば、と思いました。印刷するということは、モノクロの版であれば、一つの版を一回で刷ってしまえる。ということは工程としても簡略化できる。手間をかけたように見せることもできる。よし、これでやってみようということになった。印刷する際に難しかったのは、木に印刷するインクとミラーに印刷するインクが違うものを使わなければならないというところで、多少手間がかかりました。実際できたものは、別のインクを使ったのがわからないぐらい自然につながっています。

ミラーの部分にもグラデーションの陰影を印刷したのは、そのミラーに自分が写り込んだ時に、その陰影と自分が交わりあうという効果を出したかったのです。

——実際、制作に使ったソフトは？

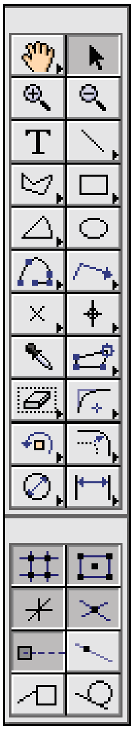
グラデーションなどのデータを作ったのは、Illustratorと、Photoshop、全体のプロ



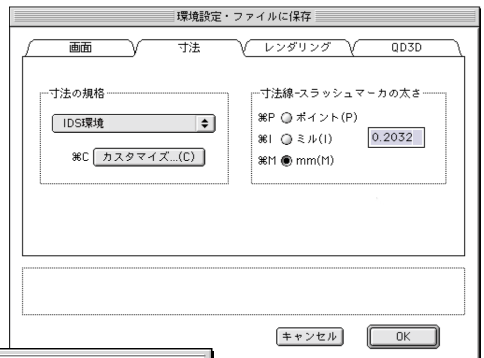
⬅VectorWorksで四角形を描くウィンドウ。たてとよこの寸法を入れて、これから描く四角形のデータを事前に設定することができる。また、もちろん描いた四角形を簡単に変更することもできる



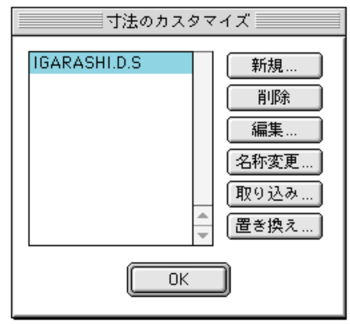
➡同じく円形や楕円形を描くウィンドウ。半径や直径の数字入力やたてよこの寸法入力により、簡単に描くことが可能



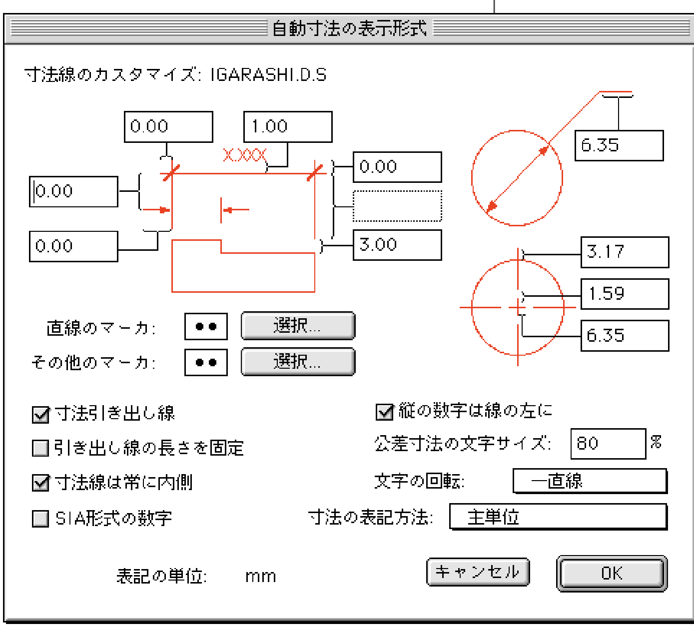
⬅普段図面をかくために使っているVectorWorksのパレット。いわば道具箱のようなもの。定規にえんぴつ、コンパスに分度器、コピー機まで、さまざまなものが入っている。通常はこのパレットを使用するが、使い勝手を良くするために組み合わせの変更も可能。このほかにもさまざまな機能が盛り込まれている



⬅寸法のカスタマイズ画面。いろいろな規格が最初から入っているが、それを少し使い易くして、オリジナルの規格を使用している



➡“ 編集 ”をおして、編集ウィンドウに入る



●VectorWorksで図面を描いていく過程での主に使用するツール＆設定

かなり細部にわたっての設定ができて、建築製図や機械製図など、あらゆるジャンルの図面に対応しているとともに、自分のくせを覚えさせることにより、「非常に正確な手書き図面」のようなCAD図面をかくことができる。しかし、注意しなくてはいけないのは、最後には現実に置き変わるものを描いているということ。CADはあくまでも道具なのですから、図面を描くには、物作りに関するさまざまなことを勉強しなくてはならない。CADでは簡単に描くことができるものでも、現実には難しいことが多いものだ

ポーションを決める図面を書くときはVectorWorksと使い分けました。ただ、その場で、印刷の陰影を入れた作品の全体のイメージというものは、コンピューターでは出さない。使用する画像データと、図面だけを、メーカーに持っていく。もちろん、ここをこういうようにという指定は詳しく伝えます。

——グラデーションの画像を作るときに気をつけたところは？

ドットをわざと大きくして、なめらかなグラデーションではない、いかにも印刷しましたという感じに作りました。その方がキッチュで、だまし絵的でおもしろいかなと思いまして。

イガラシデザインスタジオでのインテリアや、プロダクトデザイン作業は、従来、難しそうだというイメージがあったCADなどのソフトを使っての複雑なコンピューター作業という雰囲気ではない。

まず、PhotoshopやIllustratorなどの複数のソフトの長所を使い分けて、作図や、柄などを作っていき、そうした何段階かの作業をうまく重ね合わせていって、最終的に作品を作り上げていく。

そのやり方を五十嵐さんは“ 自己流 ”と表現するが、それは、コンピューターを自分なりに工夫して使いこなしているということにほかならない。

Chapter 1 ウィンドウシェードサウンド

今回必要なもの



●**GirlTalk 1.1**

（今月号のCD-ROM MACLIFEに収録）



●**ResEdit**

Appleが配付しているリソース編集ツール（ftp://ftp.apple.co.jp/pub/AppleJapan/Macintosh/Utilities/からダウンロードして下さい）

今月はウィンドウシェードサウンド

cinfだのcicnだのって、面倒なものばっかりやってきたので、ここらへんでリラックスしたいとこかな。

初めましてのかたへ

私のHP（http://cwaweb.bai.ne.jp/~emi/）にバックナンバーがあるので参考にしてね。

ウィンドウシェードサウンドとは？

ウィンドウ上辺をダブルクリックしたりコラプスボックス（シェードボックス）をクリックしたりすると、シュッとか音が鳴ってウィンドウがタイトルバーだけの表示になるよね。スキームによっては派手めな音や可愛い音が入ってて、これもカレイドスコープの楽しみのひとつだったりする。サウンドの入れかたは案外簡単、オリジナリティを出すためにもぜひトライしてみて！

リソースはこれ

GirlTalkのsndというリソースをダブルクリックしてみて（図1）。

-14336　ウィンドウをシェードさせるときの音

-14335　シェードしたウィンドウを元に戻すとき（開くとき）の音

これらのリソースをさらにダブルクリックで開くと、ズラズラとんでもナイような文字が現れるでしょ（図1）。この文字の羅列がサウンドの正体だと思うとワクワクしてこない?!　あ、この文字はワケわかんないままでOK、さっそく自分の音を用意しよう！

音はどうやって用意するの？

sndリソースではシステム7用のサウンドしか使えない。システム7用の作りかたの例を2つ。

例1　AIFFのファイルを使用

AIFFファイル（自分で所有している音楽CD

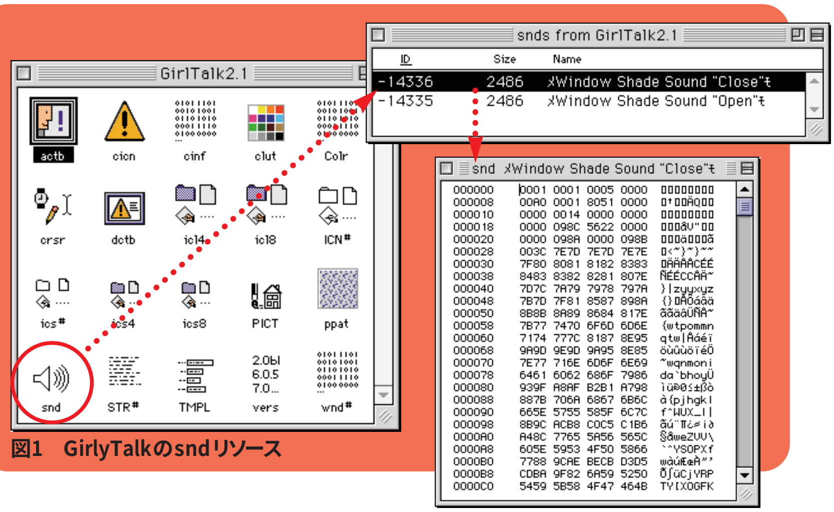
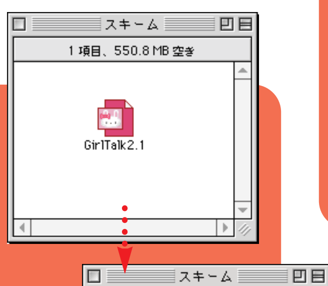


図1　GirlyTalkのsndリソース



今月の課題は コレ ウィンドウシェードサウンド

デスクトップカスタマイズユーティリティKaleidoscopeを使っていると「どれも素敵なスキームなんだけど、もっと自分好みのものってないのかなぁ」などと思うことはありませんか？
ちょっとした基本さえ押さえれば、誰にだって作れてしまえるのだ！
ここでは、超初心者向けにスキームの作り方を説明していくつもり。
誰だって最初は初心者、難しく考えないで一緒にやってみよう！



イラストレーション：佐々木亮

Kaleidoscope Color Scheme *簡単作成講座*——7



一緒にスキーム作りましょう

ResEditでウィンドウシェードサウンド編

CD-ROM Sample



emi☆

をリッパー等でAIFFに変換することもできる）をMoviePlayerで開くと音が鳴るよね？　まさか1曲まるごとをシェード音には使えないので、リソースに入れるためには、かなり短くしないとダメ。そこで、MoviePlayer上で短く編集する（図2）のだけど、QuickTime 3以上の場合、29.99ドルを払ってPro版にしないと編集できないので注意してね。短くしたものをファイルメニューの「書き出し」で「サウンドから System 7用サウンド」に変換して保存する。

音楽CDやゲームのサウンドは著作権の問題に気をつけてね。リッパーについて詳しく解説している「mp3の道具箱（http://www.naotaka.com/mp3/）」というサイトを参照してね。

例2　System 7用サウンドを作るツールを使用

CD-ROM MACLIFEに収録されているKinkyBeep（日高健一郎氏作、http://www.venus.dti.ne.jp/~khidaka/）を使うと自分で手軽にシステムサウンドを作ることができるよ。しかも軽いものが作れるのでぜひ試してみてね（図3）。作ったシステム7用サウンドは、スキームだけじゃなくて警告音などにも利用できるから、いろいろ作って遊ぼう！　Macに付いてきたマイクで作るのもいいよね。

開いてコピー&ペースト

サウンドができたら、あとは開いてコピー&ペーストの作業。

❶できたサウンドファイルをResEditで開く。sndを開いていくと図1で見たような文字の羅列が現れる。
❷現れた文字をそのままSelectAll（Command+Aキー）で選択してコピー（図4）。
❸作ってるスキームのsndを開く。-14336や-14335の文字の羅列をSelectAll（Command+Aキー）で選択してdeleteで消し、そのままCommand+Vでコピーしたものをペーストする。

あとはスキームファイルを保存するだけでサウンドは変更されてるはず。作ってるスキームのもとリソースにsndリソースが入ってなかったら？　GirlTalkのsndをそっくりそのままコピー&ペーストしてサウンドを書き換えればOK。

Chapter 2　ユーティリティウィンドウ

注意してほしいこと

アプリケーションのツールなどが収まったりするウィンドウ。たとえばPinkElephantsだと左側の情報・入力ウィンドウがそれ。あと、OS8.5以上だとメニューバーから切り離して使える「アプリケーション切り替えウィンドウ」というのがあるんだけど、これもユーティリティウィンドウなの（図5）。

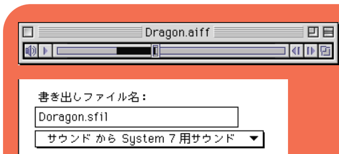
実はこれを最小化したときによく見かける失敗のため、図6のような形になってしまうスキームがあったりする。見ためが似てるということもあってドキュメントウィンドウと同じ感覚で作ってしまうからだと思うの（私もそうだった）。ユーティリティウィンドウはできるだけシンプル、コンパクトに作るように心がけようね！

リソースID

#cicn、#wnd共通
-14304　Inactive Titled Utility Window
-14303　Active Titled Utility Window
#cicn
-14302　Inactive Large Utility Window Grow
-14301　Large Utility Window Grow Box
-14298　Pressed Utility Window Widgets

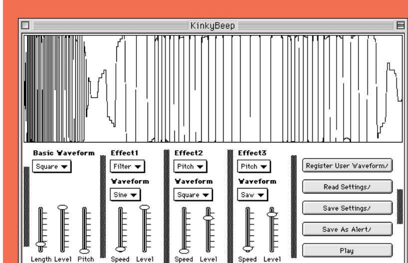
作りかたはそれぞれドキュメントウィンドウのところで説明したものと要領は同じ。しつこいようだけど、パーツやボタンの間隔はコンパクトにね（図7のユーティリティウィンドウのパーツなど）。

ほかに-14300と-14299がある。これらはウィンドウをコラプス（シェード）状態にしたときのもので、次回のコラプスドキュメントウィンドウと一緒に解説します。デザインを考えて待っててね！（実はスキームにこれらのリソースがなくても、ちゃんと勝手にシェード表示してくれるようになっているの）



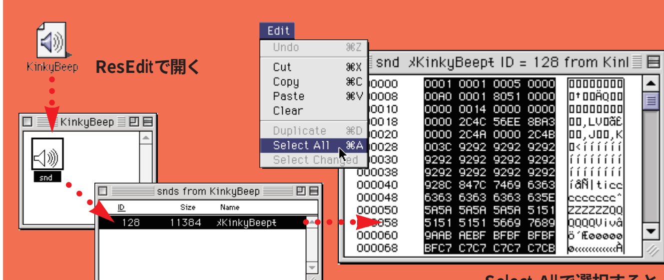
❶Shiftキーを押しながら、つまみをスライドさせ、抜き出したい部分を選択してコピー
❷新規ムービーにペーストして、ファイルメニューから書き出しを選び、「サウンドからSystem 7用サウンド」を選ぶ
❸名前を付けて保存する

図2　MoviePlayerで作る



難しく考えないで、適当にツマミをスライドしたり、各プルダウンメニューをいろいろ試し、Playで試聴する。「これだ！」と思ったら、「Save As Alert」で保存

図3　KinkyBeepで作る



Select Allで選択すると、こんな風に反転する

図4　開いてコピー&ペースト

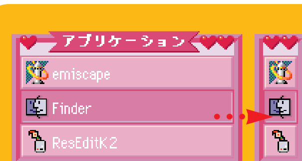
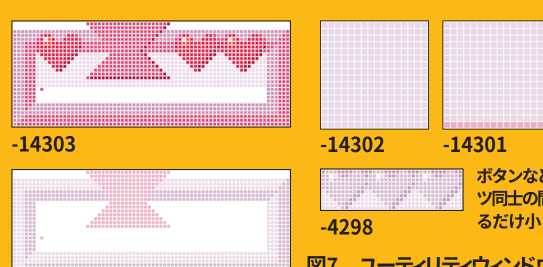


図5　正しい最小化



図6　失敗例



ボタンなど、各パーツ同士の間隔もできるだけ小さくする

図7　ユーティリティウィンドウのパーツ

●オマケ●

D'STUDIOで保存したらアラートが

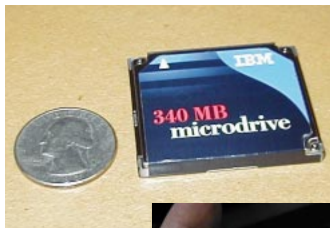
この連載ではResEditを使用してるんだけど、D'Studioを使ってる人も多いと思う。でも「このバージョンのKaleidoscopeと互換性がないので、このスキームは開くことができませんでした」のアラートが出ちゃって困るときはありませんか？これは保存したときにD'studioが「Colr」リソースを消しちゃうからなの。こんなときは、他のスキームから「Colr」をコピー&ペーストすればいい。「Colr」はスクロールボタンなどの情報も含まれているから、もう一度設定をやり直してあげてね？
（5月号の記事を参照してね）

HEAD LINE NEWS

NEWS AREA



基調講演を行なうAOLのマーク・アンドレッセン氏



IBMの世界一小さなハードディスク・ドライブ「IBM 340MB Microdrive」



Microworkzの「iToaster」：Beのブースに展示されている



Creative Labsの「NOMAD」：手の平にすっぽり入るサイズ。軽量で多機能



Future Powerの“iMacもどきPC”「E-Power」

iMacそっくりのPC「E-Power」が登場

PC Expo '99レポート

http://208.243.115.27/highlights.html

6月22日から24日までニューヨークで開催された「PC Expo '99」では、500社以上の出展企業、約10万人の来場者を集めるという盛況ぶりを見せた。今年の展示会は、MP3プレイヤー「Creative NOMAD」やBeOSベースのパソコンなど新製品が目白押しとなったが、中でもiMacそっくりなPC「E-Power」の登場に大きな注目が集まった。

●AOLのAndreessenが語る

初日の基調講演を務めたAOLのマーク・アンドレッセン最高技術責任者（CTO）は「インターネットは、TVのようなメインストリームのマスメディアになりつつある」と語り、「テクノロジーには興味がない」が「便利さにはカネを支払う」「ブランド指向」のコンシューマーにアピールするためには、電子レンジのように単純で便利なインターネットアクセスが必要になるという展望を語った。また、インターネットはハンドヘルドデバイスのようなPC以外のデバイスへも急速に拡大していくとし、これらのトレンドを一層推し進めるため3Comの「PalmPilot」にAOLソフトウエアをバンドルするという発表を行なった。この提携では、いくつかのPalmPilot製品にAOLソフトウエアをバンドルする他、将来的には「Instant Messenger」や「Buddy List」など電子メール以外のAOLコンテンツやサービスも使用できるように開発を進めていくという。

●話題をさらったiMacそっくりなPC

会場でひときわ目立っていたのが、韓国の大手通信傘下の米パソコンメーカー、Future Powerによる“iMacもどきPC”「E-Power」だ。iMacそっくり半透明のボディは5色（アメジスト、ルビー、トパーズ、エメラルド、サファイアと宝石になぞらえている）揃えているところまでiMacと同じだが、中身はCeleron、6.4GBのハードディスク、モデムつきのPCである。このデザインに決めた理由として、同社の広報担当は「市場への参入が遅かったため、インパクトをもたせる必要があったからだ」と語る。この件に関してApple社は、iMacの工業デザインを盗用されたとして、韓国の企業大宇と、大宇系の米パソコンメーカー、フューチャー・パワー（本社カリフォルニア州）に対し損害賠償と販売差し止めを求める訴えをカリフォルニア州サンノゼの米連邦地裁に起こしたと発表した。

●BeOSベースのパソコンを発表

また、会期中にAST、iDot.com、Microworkzの3社が「BeOS」をベースにしたコンピューターを発表した。ASTはBeOSとWindows NTの両方をインストールしたハイエンド・ワークステーション、iDot.comは500ドルを切るBeOSベースのパソコンを提供する。また、ローコストPCメーカーのMicroworkzは、BeOSとLinuxをもとに開発した独自OSをベースとした「iToaster」を参考出展した。このマシンは2.1GBのハードディスク、シリアル、パラレル、モニターポート、2個のUSBポートがついており、ワープロや表計算ソフトも搭載されている。インターネットアクセスが主な使用目的のユーザー向けで、価格も199ドルと格安。

●世界一小さなハードディスク・ドライブ

IBMでは、500円硬貨大という世界一小さなハードディスク・ドライブ「IBM 340MB Microdrive」を出展した。容量340MBのこのHDDは、付属のPCカードアダプターに装着して同社のノートパソコン「ThinkPad」で使用する他、デジカメのコンパクトフラッシュスロットに挿入して使用することもできる。

（長野弘子／Hiroko Nagano）

QuikTime 4 日本語版リリース

Flash、MP3、高機能なストリーミング機能を搭載

http://www.www.apple.co.jp/quicktime/

アップルは、QuickTime 4 日本語版を7月上旬、Mac版／Windows 版を同時リリース（ダウンロード可能）すると発表した。

QuickTime 4 にはベーシックバージョンとProバージョンがあり、Pro バージョンでは、保存機能、編集、圧縮機能、フォーマット変換が可能で、フルスクリーン再生なども行なえる。ベーシックバージョン（http://www.apple.co.jp/quicktime/）は無償だが、Proバージョンは有償で、価格はウェブサイトからオンライン購入した場合は29.99 ドル、国内通信販売では4,200 円（後払いの郵便、銀行、クレジット、コンビニ振り込みが可能）となっている。希望者は、申込者をダウンロード、記入の上、アップルソフトアップグレードセンターへ郵送またはFAXする。

QuickTimeのインストーラサイズは、395K Bだが、インストールすると、「基本的なインストール（2.9MB）」「すべてをインストール（5.8MB）」を選択してインストールする。また、カスタムインストールすることも可能である。



画面は、英語版のサービス。日本でもサービスを予定している

QuickTime 4では、Macromedia Flashに対応し、インタラクティブムービーを作成することができる。さらにFlashアニメーションをQuickTimeプラグイン、QuickTime Playerで再生することも可能である。

QuickTime 3 Proを持っているユーザーは、そのままQuickTime4でもProバージョンとして利用が可能である。

アップル、ユーザーサポートを全面刷新

初心者から上級者まできめの細かいサポート体制

http://www.apple.co.jp/support/tell_us/form.html

アップルは、初心者ユーザーの増加や、より高度な情報を必要とするプロフェッショナルユーザーの増加にともない、購入前から、購入後の操作方法の習得、活用方法に関するアドバイスまで、さまざまなユーザーニーズに対応する、各種サポートプログラムを刷新した。

購入前に必要となる製品情報や販売店に関する情報、一般的な問い合わせは、「カスタマーインフォメーションライン(CIL)」が対応(TEL 03-5940-2530／06-6535-2700)。また、ファックスによる情報提供「FAXAID」(TEL 03-3391-1200)でも、製品仕様などの情報を入手することができる。

購入後の操作方法に関する質問については、フリーダイヤルの問い合わせ窓口「マッキントッシュサポートセンター（MSC)」がサポートする。MSCは、購入後90日間無償で、アップル製品の操作方法に関する問い合わせに対応する。さらに、有償の問い合わせ窓口「AppleCareサポートライン（ASL)」では質の高いサポートも用意されている。

インターネットを活用したサポートでは、ユーザー同士がノウハウや情報を交換しあうフォーラム「Teck Exchange」を開設し（8月公開予定）、ホームページ上で誰でも簡単に意見・要望を直接アップルに送ることができる「Tell US」（http://www.apple.co.jp/support/tell_us/）を新設する予定だ。



Tell US●http://www.apple.co.jp/support/tell_us/form.html

➡「KDD メトロリング」2000年3月めどに開設

KDDは、企業が集中する東京の都心部分に光ファイバーケーブルを敷設して、企業ユーザーに提供するアクセスネットワーク「KDDメトロリング」を2000年3月をめどに構築すると発表した。大手町にあるKDD局を起点に、首都高速道路や下水道などを通じ、総延長6キロの大容量光ファイバーネットワークを構築。そこから利用者のビルまで光ファイバーを直接引き込む。KDDはこのネットワークを通じ、企業に電話や専用線、映像伝送などのサービスを一括して提供していく。

●KDD／http://www.kdd.co.jp/

➡アマゾン、サザビーズ提携

米オンライン書籍販売大手のアマゾン・ドット・コムは、英国のオークション会社サザビーズと10年間の契約を結び、オンラインオークションサイト「サザビーズ・ドット・アマゾン・ドット・コム（sothebys.amazon.com)」を共同で開設すると発表した。開設は今年末。この共同サイトは、硬貨や切手、スポーツやハリウッドの記念品、ファッション、アニメーション、玩具、人形などの稀少品に加え、一般的な美術品や骨董品、書籍、宝石などさまざまなジャンルのコレクションを取り扱う。

●アマゾン／http://www.amazon.com/

➡インターネット視聴率調査を発表

日本リサーチセンターとアイ・エス・ティは、共同で行なっているインターネット視聴率調査Japan Access Rating の第3回目レポート『JARレポート VOL. 0003』を発表した。4月の調査対象期間4週間の推計ユニーククユーザー数が上位のサイトは、yahoo.co.jpが685万人で1位、2位以下が、biglobe.**.jp (推計ユニーククユーザー数596万人)、nifty.ne.jp (同510万人)、microsoft.com (同478万人)、dti.ne.jp (同451万人)だった。

●JARレポート／http://istinc.co.jp/jar/

●アイ・エス・ティ／http://www.istinc.co.jp/

➡Mac OS 8.6アップデータ配布

アップルのホームページから無償でご提供している「Mac OS 8.6アップデート」のファイルサイズが、従来の約90MBから約47MBになり、より短時間でダウンロードが可能になった。

●http://www.apple.co.jp/macos/

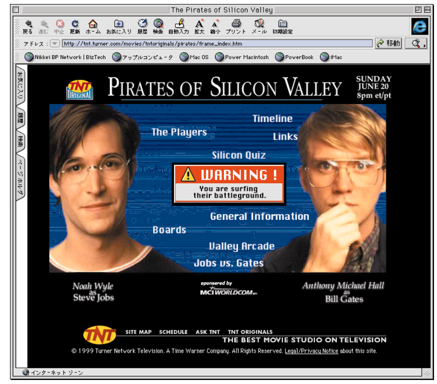
➡Vチップ搭載テレビ登場

米連邦通信委員会（FCC）は、暴力場面などを含むテレビ番組を遮断するVチップを搭載した受像機の製造が予定通り進んでいると発表した。7月以降に店頭に登場し、クリスマス商戦前には各メーカーのVチップ搭載機が出そろう見通しである。米連邦通信委員会は、今年7月までに新たに製造する受像機の半分に、来年1月までには全受像機に組み込むよう命令している。

Pirates of Silicon Valley

ジョブズとゲイツの数奇な人生を描いたTV番組

http://tnt.turner.com/movies/tntoriginals/pirates/



http://tnt.turner.com/movies/tntoriginals/pirates/

6月20日、CNN創設などで知られるテッド・ターナーが所有するエンターテイメント系TVチャンネル、ターナー・ネットワーク・テレビジョン（TNT）がアップル暫定CEOスティーブ・ジョブズとマイクロソフトCEOビル・ゲイツの数奇な人生と関係を描いたTV映画、「Pirates of Silicon Valley」を放送し、全米の話題を呼んだ。

物語は、70年代ジョブズたちがヒッピー文化のなかからアップルIを作り、ゲイツがマイクロソフトを設立から始まる。時には激しいライバル意識を見せ、栄光と挫折のなかで、97年マイクロソフトのアップルへの資本参加をへて現在に至るまでの2人を中心にしてつづられていく。

スティーブ・ジョブズ役は日本でも人気のTVシリーズ「ER」でカーター博士を演じたノア・ワイリー。ビル・ゲイツ役は映画「シザーハンズ」などに出演しているアンソニー・マイケル・ホール。そしてスティーブ・ウォズニアック役は映画「ツイスター」などに出演していたジョイ・スロトニックが演じた。

ジョブズ役を演じるにあたり、「ビデオを観たり、本を読んだ」と言うだけあってワイリーは髪型などはもちろん、しぐさなどもよく研究されており、ちょっと細めのジョブズといった感じ。マイケル・ホールのゲイツぶりも、あの独特のはにかんだような笑顔が再現されており、予告CMが放送されるようになると「あの二人、よく似ているよね」と言った会話がコンピュター・ユーザーの間でポピュラーな話題になったほど。

また、本編でもキャプテン・クランチのブルーボックスやマイクロソフトの資本参加発表で大型スクリーンに映ったゲイツの前にジョブズが立ち、観衆からブーイングを受ける場面など、Mac愛好者ならおっと思わせるシーンがいくつも登場する。　が、ドラマそのものとして見ると、コンピュータに興味を持つ者なら誰でも知っているエピソードを寄せ集め、ゲイツ対ジョブズに焦点を当てた安っぽい青春ビジネスドラマの枠に押し込めたという印象がぬぐえなかったのも事実。学園紛争の場面がいかにも類型的だったり、先のマイクロソフト資本参加発表の場面もカット割はよくできているものの、肝心のブーイングの音声が貧弱で、どれほどのMacユーザーが発表に驚き、揺れたかが再現されているとは言いがたかった。こういったこともあって全国紙USA TODAYも星2半（満点は星4つ）の評価となっている。

評価的には厳しいものがあったが、アップルとマイクロソフト、そしてともにメディア露出の高いジョブズとゲイツがどのような道を歩んできたかをてっとり早く学ぶには最適な作品である。

（渡辺史敏／F.Watanabe）

音楽のデジタルデータを本格的に実用化

音楽もデジタルデータとして流通する時代へ突入



ダイアモンドマルチメディア社のMP3プレーヤー「RIO」

米レコード協会（RIAA）が、携帯MP3プレーヤー「RIO」の開発・製造元である米ダイヤモンド・マルチメディア・システムズ社に対して、「RIO」が違法コピーを助長しているとして訴えていた裁判で、MP3*1プレーヤーは合法であるとの判決が下された。

MP3は音楽データを圧縮する技術で、MP3に変換された音楽データがインターネットを通じて違法コピーされている現状が問題視されていた。特に「RIO」は、インターネットなどからダウンロードした音楽データをスマートメディアに保存して持ち歩け、パソコンのない野外でも気軽にMP3データの再生が行なえる。ユーザーにとっては、CDやMDよりも気軽にコピーが行なえる魅力があるが、著作権保護団体や音楽業界にはCD離れや違法コピーを促す驚異となっていた。しかしこの判決によって、今後は音楽業界側が積極的にMP3を流通の手段として利用すると予想され、著作権を保護する団体もMP3をはじめとする音楽のデジタルデータに対する規制を強化する見通しだ。実際、ネットワークを使った音楽の自動販売機「MusicPOD」の実験が東京都内のレコード店などで始まっていたり、リアルタイムの音楽や動画の配信を行うストリーミング技術で知られるリアルネットワークスが開発した、新しい音楽コンテンツの配信システム「ジュークボックス」が注目を集めるなど、音楽のデジタルデータを巡るさまざまな動きが活発化している。さらに、「RIO」を開発した米ダイヤモンド・マルチメディア・システムズ社はこの裁判のすぐ後に、米S3社が買収しているのだ。

一方、これまで著作権の利用申請を書類で受けつけてきた日本音楽著作権協会（JASRAC）では、コンピュータで利用申請や承認の受理などを行なえるようにする集中管理システムのプラン「DAWN 2001」を発表した。「DAWN 2001」には、コンピュータによる著作権の集中管理以外にも、電子透かしを音楽データに埋め込み、コピー回数制限やプロテクト機能を付けたり、検索ロボットを使って配信後の音楽データの利用を監視するといった内容も含まれている。しかし、このシステムが利用できるのは2001年の見込み。音楽データの利用者も違法行為の手段も増えていくと予想されるインターネット上で、果たして上手く機能するのかは疑問だが、音楽配信の新しい時代への取り組みが、着実に進んでいることは間違いなさそうだ。

*1 MP3：MPEG Audio Layer3の略。音声圧縮技術のひとつ。MP3の技術を使ったオーディオプレーヤー「RIO」など各社から製品が発売されている。データの圧縮率が高いため、ホームページでデータを配布するというサイトも登場し、著作権の問題が出ている。

ソニー、インターネットサービス進出！
光ケーブル並みの高速回線をOCNの5～6割の価格で提供
http://www.sony.co.jp/

郵政相の諮問機関である電気通信審議会の電気通信事業部会が、6月18日にソニーの第1種電気通信事業参入を認め、郵政省はソニーに事業免許と無線局免許を正式に与えることになった。これによってソニーは、2000年の7月から在宅業務者や小規模事業者といったSOHOを対象とする、高速インターネット接続サービスをを開始する予定。この事業は、すでにソニーが参入しているインターネットサービスプロバイダ「so-net」とは異なり、NTTのOCN＊1に相当する専用回線を提供するサービスだ。ただし有線で接続するOCNとは異なり、「WLL（ワイヤレス・ローカル・ループ）」という新しい無線通信システムを導入する。

WLLは、オフィスや家庭などの契約者と通信事業者の交換局を無線で直接接続する通信システム。WLLのメリットは、双方向で大容量のデータを高速に伝達することができ、光ファイバー網のような大規模工事が不要なこと。そのため、ユーザーが負担する端末側の送受信機のコストや、基地局の設置コストが比較的安く、高品質のデータ通信サービスを安価に提供できるという。また、NTTの市内通信網を使わないため通信料金も安いと予想される。専用線を引くOCNでは、電話回線を流用するOCNエコノミーでも数十分から数時間の工事が必要で、高速ネットワーク用の光ファイバー網と引くとなれば工事期間や費用はOCNエコノミーの比ではない。しかし、WLLでは光ファイバー並みの通信速度を配線工事なしで実現するため、サービスが始まれば多くのユーザーが申し込みに殺到するだろう。ただし、当初は関東、東海、近畿地方のみで開始され、2000年に全国規模へ事業を拡大していくとのこと。

ソニーには「So-net」で培った経験があり、自前のネットワーク関連機器で基盤を整えることも可能で、コンテンツに提供する豊富なソフトを持っている。これに、高速な通信が行なえて設置や料金の負担が少ないWLLが加われば、他の企業には真似できないトータルなサービス提供が可能になるはず。

3ComとNTTドコモが事業提携
Palm Computing Platformによる通信サービスの開発提携
http://www.palm-japan.com/home.html

携帯端末機器のシェアを拡大している3Com社と、日本最大のモバイル通信業者であるNTT移動通信網株式会社（NTTドコモ）が、6月14日にPalm Computing Platformによる新しいワイヤレスデータ通信サービスの開発について、技術と事業による提携を結んだことを発表した。

3Com社はネットワーク業界で最大規模を誇る急成長企業。最近では、携帯端末用のOSやアプリケーション開発システムなどの含むアーキテクチャ「Palm Computing Platform」を開発し、世界35カ国で72%のシェアを獲得。今年の2月には日本語版の提供も開始され、IBMの携帯端末「WalkPad PC Companion」にも採用されている。また、Palm Computing Platformは、オープン性と拡張性に優れた携帯端末用のプラットフォームなので、数多くのデベロッパーが関連製品やソフトの開発を進めているのだ。もちろん、Macとデータ交換をするためのツールなども出揃ってくるだろう。



IBMのWorkPad
PC Computing

今回のNTTドコモとの提携は、このPalm Computing Platform用のワイヤレス通信網のサービスを創出および開発するためのもの。これにより、世界をリードする3Comの携帯端末機器やワイヤレス・アプリケーション技術、NTTドコモのワイアレス通信基盤に統合させる予定だ。また、日本の携帯端末ユーザーがインターネット上の情報へ簡単にリモートアクセスできる環境も目指しているという。日本でのワイヤレス通信環境が整えば、乱立する携帯端末のプラットフォームに大きな変化が見られるかもしれない。

➡DVDから欲しい曲やゲームを購入できるシステムを開発

日本コロムビアやセガ・エンタープライゼスなど4社は、音楽やゲームを収録したDVD－ROM＊2などのディスクから、欲しい曲やゲームだけを買ったり、同じディスクの中に入っている別の曲を追加購入することができるシステムを開発した。ディスクの内容を暗号化し、客が代金を払った部分だけ暗号を解除して楽しめるようにする仕組み。客がどの部分を買ったかという情報は、ディスクに埋め込んだ半導体に記録される。

➡松下電器産業が、デジタルテレビ専用半導体開発に成功

松下電器産業はデジタルテレビ放送の受信装置の心臓部となる専用半導体の開発に成功し、6月中旬から量産体制に入った。松下電器が開発したのは、一つの半導体チップで電波の画像信号を処理するシステムLSI（大規模集積回路）。「セット・トップ・ボックス＊3」に組み込まれる。既にNECが欧州メーカー向けに月10万個の専用LSI生産体制に入っている。月産数万個でスタートし、年内に月産10万個とし、2000年には年商3000億円を目標とする。

●松下電器産業／http://www.panasonic.co.jp/

➡4,000クレジットのBitCashカード／シートを発売

ビットキャッシュは、インターネットユーザー一人あたりの利用金額の増加とソフトウェアのダウンロード販売などの商品の増加に対応して、4,000クレジット（4,000円相当）のBitCashカードおよびBitCashシートを販売開始する。ビットキャッシュは、インターネットに対応した小額決済システムで、プリペイド方式による完全な匿名性、高いセキュリティ、専用ソフトウェアやハードウェアが不要、などの特徴がある。全国の正規販売店や通信販売を通してBitCashカード／BitCashシートを購入し、そこに印刷してある16文字のひらがな（カード情報）をホームページから入力するだけで決済される。

●ビットキャッシュ／http://www.BitCash.co.jp/

➡フォーブス世界長者番付発表

米経済誌フォーブスがまとめた毎年恒例の世界長者番付によると、米コンピューターソフト最大手マイクロソフトのビル・ゲイツ会長が資産総額900億ドル（約10兆8,000億円）で、個人としては5年連続のトップ。2位は米投資家ウォーレン・バフェット氏（360億ドル）だった。日本人では、ソフトバンクの孫正義社長（64億ドル、34位）が資産を3倍近く増やすなど、ハイテク関連の起業家の躍進が目立った。同誌は孫氏を「インターネット界の帝王」と評し、カバーストーリーで事業を紹介している。

*1 OCN：Open Computer Networkの略。低価格で接続できるNTTのインターネット通信サービス。　*2 DVD：Degital Versatile Diskの略称。片面、4.7GBの記憶容量で、両面を4層使うことができる。現在DVD Videoとして、映像ソフトが販売されている。　*3 セット・トップ・ボックス：家庭用テレビに接続する端末機器。インターネットやCATV（ケーブルテレビ）などを利用するときに接続する。

Macユーザーグループ代表が地方政界についにデビュー！

Macユーザーグループ“やっぱMacじゃのう”

http://www.nttl-net.ne.jp/toretore/



Macユーザーグループ代表としては初の地方政界進出を果たした稲田秀一村長。無口で温和だが、力強いというイメージがする人物である

Macユーザーグループ代表が地方政治への進出を果たした！　そんな朗報が今月編集部に舞い込んできた。愛媛県河辺村の独立系Macユーザーグループ“やっぱMacじゃのう”（詳細はMACLIFE '99/2月号P.104を参照のこと）の代表である稲田秀一氏が見事に地方統一選挙に勝利、晴れて村長になったのだ。

Macユーザーグループ初の快挙、過疎化に苦しむ四国南西部に旋風

今回、稲田村長（41歳）が出馬したのは河辺村の村長選。河辺村自体は人口1,600人にも満たない山村だが、「日本のマディソン郡」と呼ばれるほど有名な観光スポットで、前村長が再選を見送ったため選挙はかなりの激戦となることが予想された。

そして、4月20日に告示された地方統一選挙で無所属（自民）として出馬した同氏は、予想どおりの接戦の後、4月25日の一斉投票で見事に当選。晴れて河辺村の村長となった。日本のMacユーザーグループとしては初の快挙である。

実は、MACLIFE編集部が昨年12月に“やっぱMacじゃのう”を訪問取材したとき、同氏はすでに選挙前活動に大忙しの時期だった。しかし、そのような中でも、稲田氏は喜んで担当記者をトラックに乗せ運転しながら河辺村すべてを案内し、同村が抱える問題などを熱く語ってくれたのである。そのような人柄が、最終的に勝利に結びついたのではないかと編集部では分析している。

政治の世界はとかく泥臭いイメージがありがちだが、この稲田村長に限っては、編集部がその人柄を保証してもいいくらいだ。

温和なユーザーグループ代表、村長室ではiMacで仕事をこなす

すでに日々の公務に忙しく追われている稲田村長だが、ユーザーグループ活動は今後ますます活発化させるようだ。

村長就任後もいろいろな会合に誘われている中、やはりユーザーグループ活動は従来どおり最優先。「選挙直後も“やっぱMacじゃのう”の仲間たちが駆け付けてお祝いしてくれました（笑）。MACLIFEで紹介されたおかげで河辺村ばかりでなく近隣のMacユーザーたちや女性ユーザーも数人増えて、定例の飲み会がますます楽しくなりそうです」という。

今後の河辺村の運営に関しても「手始めに、村役場のLAN化が遅れているのでそれにさっそく着手するつもりです。とりあえず9月までには高齢化対策として介護支援のための台帳システムを稼動させたいです」とかなりの意気込みだ。

村長室にはさっそく自分用のiMacを導入し、書類作成やスケジュール管理などを行なう。「それってテレビですか？　と聞いてくる職員もいるよ（笑）」という稲田村長。村役場には40名近くの職員が常勤しており、電子化の遅れは前村長の時代から重要な議題として上っていたという。

「TRUE会計」開発者の台越氏、同郷の友人として新村長にエールを送る

稲田村長自身は8bit時代からのパソコン通であるため、Old Macの改造やホームページ作成などはお手のもの。本業は農家ということもあって、パソコン通信での野菜直営販売でも先駆者的な存在だ。

「私はNIFTY-SERVE時代から自分が作ったトマトをオンライン販売していましたけど、あれにはそれなりの工夫が必要なんですよ。果物はよく売れるけど、野菜はインターネットでも難しいだろうなあ。でも、そのようなノウハウは河辺村の経済育成にも役立つだろうから、今後いろいろと反映させていきたい」と語る。自宅のグリーンハウスも自作PCに管理制御させるほどの技術通でもあるため、農業とハイテクの融合に関しては人一倍の好奇心の持ち主なのだ。

高齢化や人口減少に伴う経済縮小など、新村長が解決すべき問題は余りにも多い。Mac用会計ソフト「TRUE会計」の開発者で、稲田氏の旧友でもある台越昭夫氏も「稲田君のエネルギーでぜひ河辺村を若返らせてほしい」とエールを送る。



新村長の誕生直後、20th Anniversary Macintoshを前に勢ぞろいした“やっぱMacじゃのう”のメンバーたち。河辺村の住民ばかりでなく、近隣の市町村からの参加も多いという。このときの飲み会参加者は13名

近隣のMacユーザーから会員募集中！学識経験者のアドバイスメールも求む

なお、稲田村長によると愛媛県近隣のMacユーザーを対象に、今後もMacユーザーグループ“やっぱMacじゃのう”の会員を募集中とのこと。同時に、河辺村の今後の政策運営に役立ちそうなアドバイスも、MACLIFE購読中の学識経験者の中から募集したいとのこと。

ユーザーグループ参加や上記に関する問い合わせは、稲田村長に直接メール（toretore@orange.ocn.ne.jp）もしくはホームページ（http://www.nttl-net.ne.jp/toretore/）まで。

The Apple StoreでBTOを開始

ユーザーのニーズにあった製品を購入可能に

http://www.apple.com/japanstore/

アップルは、インターネット上でアップル製品をいつでも購入できるオンラインストア「The Apple Store」(http://www.apple.com/japanstore)において、ユーザーの希望の製品構成でMacを製造・出荷する「BTO」(Build to Order：ビルド トゥ オーダー)を開始した。

BTOによる受注を開始するのは、Power Macintosh G3とMacintosh Server G3の2つの製品系列である。

Power Macintosh G3は36,288種類の組み合わせから、Macintosh Server G3は2,016種類の組み合わせから、プロセッサー、メモリー、ハードディスク、Zipドライブ、CD/DVDドライブ、SCSIカード、内蔵モデム、ディスプレイの各コンポーネントにおいて、用意されたオプションからの選択が可能で、ユーザーのニーズに合わせた製品構成を選択することができる。

購入希望者は、自分で選んだ製品構成での価格を、Webブラウザー上のボタンを押すだけで、すぐに確認することができる。注文する前は、オプションの組み合わせを、何度でも変更することが可能となっているので、じっくり購入を検討する事もできるだろう。さらに、The Apple Storeでは、有償で製品保証期間を延長する「AppleCare延長保証制度」の契約が製品購入と同時にできるようになった。対象となる製品は、PowerMacintosh G3、Macintosh Server G3、iMac、PowerBook G3、Apple Studio Display。契約期間は1年または2年から選ぶことができる。The Apple Storeで製品購入と同時に申し込むと、契約の手続きが不要となる（AppleCare延長保証制度への申し込みは、製品購入時に同時に行なう場合のみ)。



日本初の無料PCプロジェクト

10～30万台のPCを無料で配布

http://www.vertexlink.co.jp/

(株)バーテックスリンクは、消費者にパソコンを無料で配布するフリーPCプロジェクト「ムリョーバ」をの申し込み受付を6月18日から開始した。無料でパソコンを配布するシステムは、米国ではすでに開始されているが、日本では本格的に行われるのはムリョーバが初となる。配布されるのは、CPUにAMD-K6-2/380MHzを搭載したアプティバで、64MBのメモリ、6GBのハードディスク、40倍速のCD-ROMドライブ、15インチのCRTモニタ、56Kモデムなどが搭載されたオールインワンタイプ（12万6千円）だ。

ただし、プレゼントとは異なって無料PCをもらうにはいくつかの条件が付く。その条件とは、DDIのインターネットサービス「DION」に契約すること、配布されるPCのメンテナンス契約を結ぶこと（3年間の保証で月額1800円)、バーテックスリンクカード会員への加入（入会費／年会費無料でVISA機能付き)。それと、提携銀行とのインターネットバンキング契約／提携証券会社とのインターネットトレード契約／提携店舗での月額1万円以上のオンラインショッピングを2年間継続／エプソンまたはHP社製プリンターの購入の4項目の中から、いずれかを選択しなければならない。そして、バーテックスリンクとの3年間の電子商取引モニター契約を結び、3年後に5千円でPCを買い取るか、最新モデルと交換して再契約することになる。電子商取引を行うのは、多種多様な商品や旅行や保険といったサービスまで揃っているバーテックスリンクのWebサイトに併設するショッピングモールだ。

同様のプロジェクトをすでに始まっている米国では、予想を上回る希望者が殺到しているという。果たして日本でも軌道に乗るかどうかは分からないが、12万6千円のパソコンが無料で手に入るのは魅力的だ。しかし、このようなプロジェクトにはiMacがぴったりだと思うのだが、事業が拡大すれば今度はiMacを配布する可能性やプロジェクトを発足させる可能性もある。

➡ネット通販業者にマーク業界が独自制度導入へ

通信販売の業界団体は、インターネットを使った通信販売のトラブル急増から、消費者が安心して利用できる業者をマークで示す新しい制度を始める。協会は、指針を守っているかや過去の実績などを審査し、消費者が安心して利用できると認定した業者には、ネットワーク上で買い物をする時に信頼できるという意味の英語の「オンライン・ショッピング・トラスト」の「O」と「S」と「T」を組み合わせた形で、認定を受けた業者のホームページにこのマークがつけられることになる。8月より始める。

●日本通信販売協会／http://www.jadma.org/

➡バンダイ「WonderSwan」がネットワーク端末に

バンダイは、携帯ゲーム機「WonderSwan」専用の通信アダプタとカセットを独自に開発した。ワンダースワン本体に通信アダプタとカセットをセットし、携帯電話やPHSなどに接続することで、ネットワーク端末として使用することが可能となる。通信アダプタとカセットの名称は「Wonder Gate」(仮称)。また通信カセットはワンダースワン本体のゲームカートリッジ差込部分に装着、ホームページ閲覧のブラウザーソフトとメールソフト、さらにミニゲームのダウンロード機能の3点を搭載する。発売は年末を予定。価格未定。

●バンダイ／http://www.bandai.co.jp

➡ソフトバンク、トレンドマイクロの株式をナスダックに公開へ

ソフトバンクは、グループ企業でコンピューターウイルス撃退用のワクチンソフト大手のトレンドマイクロ社（店頭登録）が7月上旬をめどに米国の店頭市場ナスダックに公開すると発表した。公開に伴い、ソフトバンク・アメリカが保有する同社の株式を売り出す。今回の売却によってソフトバンクグループは500億円以上を手にすることになる。

●ソフトバンク／http://www.softbank.co.jp

➡書き換えできるTVゲーム会員制でサービス開始

リクルートと任天堂は、テレビゲームの「NINTENDO64」と周辺機器を利用して、書き換えや書き足しができるゲームソフトを供給する会員制のネットワークサービスを始めると発表した。サービスは12月から始める。ソフトの「書き換え」を可能にするために新発売される「64DD」などの周辺機器を購入して会員になれば、専用ソフトの供給を受けられる。サービス開始一年間で約50万人の会員を集めたいとしている。

●任天堂／http://www.nintendo.co.jp/

コンパクトマルチデジカム「NV-C3」
世界最小・最軽量の「手の中サイズ」デジタルビデオカメラ

価格●225,000円
http://www.panasonic.co.jp/

松下電器産業は、手の中サイズのタテ型デジタルビデオカメラ「コンパクトマルチデジカム『NV-C3』」を発売した。

NV-C3はミニDVテープへの動画記録に加え、切手サイズのマルチメディアカードスロットを装備し、テープなしでも最大約200枚（別売8MBマルチメディアカード使用）の静止画記録ができるツインメモリー機能を備える。マルチメディアカードはPCカードアダプター（別売）を使ってパソコンやプリンターに直接挿入できるため、パソコンへの画像取込みやプリントアウトが気軽に簡単にできる。また「1/fノイズアンプ技術採用CCD」搭載でノイズを半減。世界最速0.4秒〜低速19秒までの可変速ズーム（撮影時0.9〜19秒）と急速充電システム（別売VW－VBD33・VW－AD9使用時：15分充電で約1時間連続撮影ができる）に加え、電源を入れてわずか3秒で録画開始できる「瞬時スタート」を実現している。さらに、カードの中にタイトルデータを記録することが可能で、録画・再生時の画像に合成してタイトル表示や合成写真風の撮影が手軽にできる「タイトル機能」を搭載している。また、プリントしたい画像、プリント枚数の情報をマルチメディアカードに書き込むことができるＤＰＯＦにも対応している。このほか、「世界最広視野角液晶モニター」（上下120°以上、左右110°の広視野角20万画素液晶モニター）で操作も快適なように作られている。本体質量は400g。



●P3カスタマーサポートセンター／0120-878-365

アイ・オー・データ機器
高速・大容量のUHDSシリーズ

価格●125,000円（18.2G）、74,800円（9.1G）
http://www.iodata.co.jp/

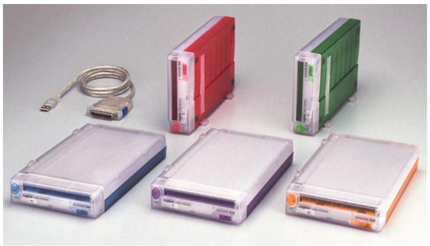


アイ・オー・データ機器は高速・大容量のUltra SCSI対応外付型ハードディスクシリーズとして「UHDS-N18.2G」および「UHDS-N9.1G」の発売を開始した。UHDSシリーズは、IBM社製高性能7,200回転/分ハードディスクドライブUltra-star「Neptuneシリーズ」を採用し、最大20MB/secの高速転送が可能。大容量画像、音声データなどを保存、高速アクセスすることが可能だ。電源スイッチをフロントに配したデザインで、操作性を向上させている。なお、Macで使用する場合は別途フォーマッターソフト、SCSIケーブル、ターミネーターなどが必要。

●㈱アイ・オー・データ機器／076-260-1024

USB-SCSI変換ケーブル付属
外付型5色のMOユニット

価格●65,800円（640MB）、49,800円（230MB）
http://www.logitec.co.jp/



ロジテックは、iMacの5色に合わせたUSB対応の外付型MOユニット10機種を発売した。コンパクトタイプのSCSI外付型MOユニットに、Mac用のUSB-SCSI変換ケーブルを付属したモデルで、トランスルーセントなボディを採用した。640MBと230MB対応の2モデルがあり、それぞれにiMacに合わせたブルーベリー、ストロベリー、グレープ、ライム、タンジェリンの5色）が用意されている。データ転送速度も高速化され、従来モデルの2倍近い処理速度の向上を実現している。

●ロジテック（株）／03-3377-0016

松下電器産業「LK-RQ130Z」発売
132万画素、光学3倍ズームでDual Card Slot採用のデジカメ

価格●74,800円
http://www.panasonic.co.jp/

松下電器産業／松下寿電子工業は、132万画素、光学3倍ズームのデジタルカメラ「COOL-SHOTII mega『LK-RQ130Z』」を発売した。

LK-RQ130ZはDUAL Card Slot機能を搭載し、カードを2枚搭載すれば、1つのスロットからもう1つのスロットへ好きな画像データのコピーが可能。総画素数132万、光学3倍ズーム、デジタル2倍ズームにより、アップ映像もワイド映像も自由自在に撮影できる。原色カラーフィルターを採用しているので、自然な感じの色再現を実現する。また別売のUSBインターフェイスカードを使用すると、ケーブル1本で大容量データを簡単に、パソコンに転送できる。さらに低消費電力型専用LSIの開発により、連続撮影枚数160枚以上（液晶モニターON、30秒毎に1枚撮影、フラッシュを2回に1回フル発光、単3アルカリ乾電池4本使用時）を実現している。1,280Ｘ960の高画素の撮影時でも、撮影時間を約2秒と大幅に短縮させている（ファインモード、同梱コンパクトフラッシュカード使用時）。このほか、毎秒10フレームのスピードで4秒間の簡易動画記録（320 Ｘ 240）などが可能になっている。記録フォーマットはDCF[*1]を採用。

●P3カスタマーサポートセンター／03-3834-2921



*1 DCF：Design rule for Camera File systemの略で、記録フォーマットの一種。DCFヲサポートしている各社のカメラ同士、或いはカメラとプリンター間での画像ファイルの交換を簡単に行なえる。

SCMマイクロシステムズ 5色のUSB PCカードリーダー

価格●各12,800円
http://www.scmmicro.co.jp/



SCMマイクロシステムズ・ジャパンは同社KERNELブランドの新製品として、iMacに合わせた5色のカラースケルトンボディのUSBインターフェイスPCカードリーダーを発売した。既存の「PCD-30USB」の5色版で、iMacに合わせた5色がそろっている。対応カードはフラッシュATAカード、スマートメディア、コンパクトフラッシュ、メモリースティックで、デジタルカメラのデータを手軽にMacやPCに転送できる。ケーブル長2m。ACアダプタ、USBケーブルが付属する。

●SCMマイクロシステムズ・ジャパン（株）／03-5489-8301

USB対応のCD-R/RWユニット「LCW-RW5420A/MU」

価格●66,800円
http://www.logitec.co.jp/



ロジテックは、iMacでCD-R/RWの作成環境を実現するUSB対応の外付型CD-R/RWユニット「LCW-RW5420A/MU」を発売した。ATAPI対応のユニットに、Macintosh用のUSB-ATAPI変換ケーブルを付属したモデルで、iMacに合わせたブルーベリー、アイスホワイト色を基調としたコンパクトタイプのスケルトンボディを採用している。USBポートへ接続するだけの手軽さが魅力。コネクタ部分、ケーブルとも、アイスホワイト色を基調としたスケルトンタイプ。付属ソフトはMacCDR 4.0。速度は2倍速書込（CD-R）／2倍速書込（CD-RW）／6倍速読込。

●ロジテック（株）／03-3377-0016

8倍速書き込みCD-Rドライブ「LK-RB7503ZZ」

価格●74,800円
http://www.panasonic.co.jp/

松下電器産業／松下寿電子工業は、8倍速書き込み、20倍速読み出しを実現した外付型CD-Rドライブ「LK-RB7503ZZ」を8月に発売する。

LK-RB7503ZZは、同社のLK-RW604シリーズ（4倍速）の後継機種で、付属の専用書き込みソフトによりデータファイルの保存やオリジナルCDの作成が簡単にできる。CDの各種フォーマットに対応しており、使いやすいトレイ方式ドライブを採用している。アプリケーションは、Easy CD Creator、DirectCD、そしてAdaptec Toastが付属している。

●P3カスタマーサポートセンター／03-3834-2921



コンピューターのいらない MP3CDプレイヤー

価格●24,800円
http://www.champ.co.jp/

チャンプは、操作にコンピューターを必要としない、スタンドアローンのMP-3プレイヤー、「Mozart's Music Box」の取り扱いを開始した。

Mozart's Music Boxは、 CD-DA、およびMP-3メディアを自動的に認識し、あらゆるスピードのATAPI*1インターフェイス、CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-ROMと互換性を持っている。また、ISO-9660、ならびにMEPG1、2のオーディオIIIに対応するなど、幅広い用途に使用できる。 このほか、220局以上の曲目の継続演奏が可能で、曲順指定は63曲までメモリー保存が可能。となっている。

●チャンプ／03-3829-8011



IEEE1394ネットワークアダプター「MXシリーズ」発売

価格●オープンプライス
http://www.nec.co.jp/

NECはIEEE1394を用いたネットワークアダプタ「MXシリーズ」の企業向け販売活動を開始した。出荷時期は9月以降を予定。IEEE1394はパケットデータ伝送およびリアルタイム転送機能をサポートした高速シリアルバス規格。「MXシリーズ」ではIEEE1394を用いたネットワークにおける従来の最大伝送距離（4.5m）を最大500mまで向上することが可能で、3タイプが用意されている。「MX/PF2」はプラスチック光ファイバー用で伝送速度200Mbps／距離50m、「MX/GF4」はマルチモードガラスファイバー用で伝送速度400Mbps／距離500m、「MX/TP1」はツイストペア用で100Mbps／距離100m。



●NECパーソナルコミュニケーション事業部製品技術部／0471-85-7483

USBジョイスティック デンノー「iStick」

価格●10,800 円



デンノーはUSBジョイスティック「iStick」を販売開始した。iStickは、iMacやG3シリーズにマッチした2色スケルトンデザイン。安定したスティック操作を可能にする新設計ベースデザインと微妙なスティックさばきを可能にする精密アナログ入力を採用している。4方向ハットスイッチ（視界切替等）を装備しており、ThrustmasterおよびCH Products互換モードに切り替えが可能。使いやすい4ボタンを装備し、指先への負担を大幅に軽減している。さらに、スロットルホイール、トリムコントロール用ホイール、自動中心点検出機能、高耐久性のボタンスイッチを装備している。ボタン機能のカスタマイズソフトが付属する。

●（株）デンノー／03-5283-3301

*1 ATAPI：ハードディスク以外の装置を接続するために定められた規格のこと。 *2 シリアル（インターフェイス）：データの伝送チャネルの一種。データをひとつずつ順番に処理しながら、転送する

EPSONエスパーレーザーLP-800S
A4対応、USB仕様、高速8ppmモノクロレーザープリンター

価格●59,800円
http://www.i-love-epson.co.jp/

セイコーエプソンは、ネットワークオフィスのサブプリンターやパーソナルプリンターに適した、高速出力でUSBインターフェイスを標準搭載したモノクロレーザープリンター「エプソン エスパー・レーザーLP-800S」を発売した。

LP-800Sはパソコン側の高速CPUを活用する「ESC/PageS PrintingSystem」による高速データ処理、8ppmエンジンによる高速印刷、従来のECP*1モード対応IEEE1284規格準拠双方向パラレルに加えてWindows／MacintoshなどOSを問わずプラグアンドプレイを実現するUSBインターフェイスを標準搭載している。2つのインターフェイスは自動切り替えで、Win／Mac環境での共有が可能だ。また消耗品残量などのプリンタの各種情報をリアルタイムでパソコンに表示するほか、トラブル発生時にはエラーメッセージとともにその対処方法をパソコン画面上で図解する双方向通信機能「EPSON プリンタウィンドウ!3」を搭載しており、マニュアルレスのオペレーションを実現している。さらに、EPSON独自のRITおよびイメージデータ解像度補正技術PGIにより、微妙な陰影やグラデーションのある写真やイラストも鮮やかに印刷できる。

印刷速度は8ppm（A4）、解像度はスーパー1,200dpi相当、用紙サイズはA4～ハガキ。本体サイズは397×251×463mm、重量約7.5kg。Win 98/95/NT4.0用プリンタドライバーおよびMac用QuickDraw用ドライバーを標準添付している。

●エプソン・プリンタ購入ガイド・インフォメーション／042-585-8444



京セラ 光学4倍ズームレンズ搭載「SAMURAI2100DG」

価格●128,000円
http://www.kyocera.co.jp/



京セラは、２００万画素クラスのレンズ一体型デジタルカメラで、世界初の光学4倍ズームレンズを搭載した高画質デジタルカメラ「SAMURAI 2000DG」を発売した。

SAMURAI 2000DGは、総画素数214万画素の高精細CCDを搭載した高画質デジタルカメラでレンズの中心解像度は200本/mmを誇る。オートフォーカス機構は、CCDによるAFと赤外線アクティブAFの併用方式を採用し、高速で精度の高いフォーカシングを実現する。

●京セラ（株）／03-3708-3114

PCエミュレーションPCIカード OrangePC660 AMD-K6-2

価格●119,000円（特別価格）
http://www.transoft.co.jp/

岩谷産業は、米国OrangeMicro社開発のMac用PCエミュレーションPCIカード「OrangePC」シリーズの限定モデル「OrangePC660 AMD-K6-2 400MHz」をトランソフト社を通じて発売した。OrangePCはPowerMac上でWindows95/98を動作させるための拡張カードとソフトウェアのセット。今回発売のOrangePC660 AMD-K6-2 400MHzは現行の「OrangePC660」にAMD-K6-2 400MHzを搭載した13インチPCIカード。販売はトランソフトのホームページ上のみで行なわれる。トランソフトでは「サマーボーナスキャンペーン」として現行製品の特別価格販売を行なっている。期間は、8月31日まで。



●（株）トランソフト／03-5256-5588

1,200dpiカラーイメージスキャナー「CanoScan FB1200S」

価格●69,800円
http://www.canon.co.jp/



キヤノンは普及型のフラットベッドスキャナーとしては業界初の光学解像度1,200dpiを実現した「キヤノン カラーイメージスキャナー CanoScan FB1200S」を発売した。CanoScan FB1200Sは、新開発の画像読み取り方式VAROS採用により、1,200×1,200dpiの高い光学解像度での読み取りを可能にしている。RGB各色12bit（4,096階調）での画像データの入出力が可能。オプションでフィルムアダプタユニット（29,800円）やオートドキュメントフィーダー（39,800円）が用意されている。

●キヤノン販売（株）お客様相談センター／0570-01-9000

CD-RWへの2倍速リライトも可能「PleXWriter 8/2/20シリーズ」

価格●オープンプライス
http://www.plextor.co.jp/

プレクスターはCD-Rメディアへの最大8倍速ライト・CD-RWメディアへの2倍速リライト機能・最大20倍速リード機能をもつSCSIインターフェイスCD-R／RWドライブ「PleXWriter 8/2/20シリーズ」を発売予定。内蔵型ドライブのPX-W8220Tiシリーズと外付型のPX-W8220Teシリーズがある。いずれもトレイ式。新規格CD TEXT書き込みにも対応している。

対応機種は、Power Mac 9500シリーズ以降、Power Mac G3。PowerBookシリーズには対応していない。

●プレクスター（株）／03-3517-8064



*1 ECP：拡張したパラレルポート仕様の一種。パラレルポートとは、並列インターフェイス用の入力コネクターのこと。

17GB外付けUltra SCSI HD「DSC-U17GTR」

価格●49,500円
http://www.melcoinc.co.jp/

メルコは、BUFFALOブランドから17GBの外付けUltra SCSIハードディスク「DSC-U17GTR」を発売した。同製品は、大容量データの保存や、マルチメディア用途にも適しており、従来の「DSC-UGTRシリーズ」と同様に、Dual Boot機能を搭載している。また、簡単・便利な3種類のユーティリティソフト、DriveCopy Ver.2やPartitionMagic Spetial Edition、Disk Formatterを標準添付しており、データのバックアップやパーティションの切り直しなども非常に容易に行なえる。
●(株) メルコ／052-619-1827



デジタルカラープリンタ 三菱電機「CP770D」

価格●250,000円
http://www.melco.co.jp/



三菱電機は高速・高精細デジタルカラープリンタ「CP770D」を発売した。CP770Dは最速約19秒の高速プリントに加え、パソコン処理速度・転送速度を合わせても、約26.2秒と従来の約2/3の時間での出力が可能。昇華染料熱転写方式と高密度サーマルヘッド採用で、高精細325ppiを実現しており、200万画素クラスの高画質デジタルカメラによる撮影画像もシャープに美しくプリントできる。印画用紙はロールペーパーで1ロールあたりSサイズ（A6サイズ）で200枚連続プリントが可能。標準のSサイズ、Lサイズ（A5サイズ）、ワイドサイズのほか、同画面・異画面ともに4分割および16分割のマルチプリントも可能。
●三菱電機 (株) ／03-5573-3554

グラフィック・タブレット「WACOM intuos」USBモデル

価格●24,500円〜153,000円
http://tablet.wacom.co.jp/

ワコムはグラフィックス・タブレット・システム「WACOM intuos」のUSB対応モデルを7月24日から発売する。今回発売するのは全5モデルで、A6サイズのi-400、A5サイズのi-600、A4サイズのi-900、A4正方形サイズi-1200、A3サイズのi-800で、i-400のみ9月中旬発売予定。intous USBモデルでは高速モード（12Mbps）に対応、最高200ポイント／秒の高速読み取りを実現。Mac OS8.5以降のiMacおよびPower Mac対応。限定3,000台のi-400／600／900USBにAdobe Photoshop 5.0LEを無償バンドル。
●(株) ワコム／0120-056-814



エレコム カラフルなUSBワンボタンマウス

価格●4,500円(レーテtype M)、3,800円(クリア×ボンダイ)
http://www.elecom.co.jp/



エレコムはカラーコーディネートが楽しめる「USBワンボタンマウス」を発売した。同製品にはブルーベリー、ストロベリー、グレープ、ライム、タンジェリン、ボンダイブルーの6色がそろったレーテtype Mと、クリア&ボンダイカラーが用意されている。いずれもUSBインターフェイスで、スケルトンケーブルの長さは純正と同じ65cm。丸いマウスがいまひとつ馴染めないという人におすすめ。
●エレコム (株) ／03-3981-4491

➡ビジュアルネットワークシステム「VN-C2」&「VN-C1」

価格●218,000円 (VN-C2)、158,000円 (VN-C1)
http://www.jvc-victor.co.jp/

日本ビクターは、コンピュータネットワークに接続したカメラから動画像を取り込み、ネット上のパソコンで、その動画像をモニターしたり、パン・チルトなどのカメラコントロールができる世界最小・最軽量のビジュアルネットワークシステム「VN-C2」と、固定レンズ方式カメラ搭載の「VN-C1」を発売した。このシステムは、画像を取り込むカメラ部、JPEG画像圧縮機能、ネットワークインターフェイスのすべてを、コンパクトなボディに搭載したオールインワンシステムで、遠隔モニタリングも簡単。
●日本ビクター (株) ／03-5684-9311

➡極薄フラットパネルスピーカー「Benwin BW2000」

価格●79.95ドル（送料別）
http://www.JapanCentral.com/

PSPIncは米国Kwong Quest社フラットパネルスピーカー「Benwin BW2000」の販売を、同社のインターネット直販サイト（www.JapanCentral.com）で開始した。Benwin BW2000はNTXフラットパネル技術を使うことで可能となった厚さ7mmのフラットパネルマルチメディアスピーカーで、特別なハードウェアは必要なく、サウンドカードを装着しているコンピューターにBW2000付属のプラグを差し込むだけで使用できる。ポータブルステレオ、CD プレイヤー、テレビにも使用でき、ヘッドホンの使用も可能。サイズはFront Panel Speakerが130×22×175mm (含む付属物)、Subwooferが120×126×170mmとなっている。
●Pacific Software Publishing, Inc.／http://www.JapanCentral.com/

➡SCSIカード3種「Benwin BW2000」

価格●9,800円 (3925U-Mac)、19,800円 (9100UW-Mac)、39,800円 (A100U2W-Mac)

ネクストロはPCIスロット*1のあるPower Mac全機種に対応するSCSIカードを発売する。Advansys 3030チップを搭載した最大転送速度20MB/秒のUltra SCSIカード「3925U-Mac」、Initio INIC 950チップを搭載した最大転送速度40MB/秒のUltra WIDE SCSIカード「9100UW-Mac」、Initio INIC 1050チップを搭載した最大転送速度80MB/秒のUltra WIDE 2 SCSIカード「A100U2W-Mac」の3種類があり、各機種はソフトでフラッシュメモリーを書き替えることにより、SCSI BIOSアップグレード可能。またMOなど各種SCSIデバイスに対応する。対応OSはMacOS 7.5.2以降とLinux。
●ネクストロ (有) ／045-331-7896

?*1 PCI：PCIとは米国インテル社が提唱したバス規格で、 CPUとローカルバス用拡張ボードとの間にブリッジ回路を入れて、特定のCPUに依存しないようにしたもの。

「Adobe PageMaker6.5Plus」
プロフェッショナル向けページレイアウトソフトバージョンアップ

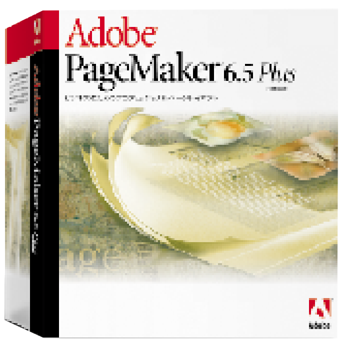
価格●未定
http://www.adobe.co.jp/

アドビシステムズは、定番のページレイアウトソフト「Adobe PageMaker 6.5 Plus」を7月下旬に発売する。

PageMaker 6.5 Plus日本語版は、質の高いレイアウトのドキュメントを求めるビジネスユーザーなどにを対象としており、パンフレットや社内報、企画書などの作成用途に適している。

今回のバージョンアップの特徴は、約300個のテンプレートが付属したこと。さまざまなビジネスシーンで役立つテンプレートを収録している。このほか、高解像度のクリップアートやフォトイメージも付いている。本製品には、Adobe Acrobat Distiller 4.0日本語版が付属し、PageMakerファイルから、簡単にPDFファイルを作成することも可能になっている。このほか、定番のフォトデザインアート作成ツールであるAdobe Photoshopの限定ツール版であるPhotoshop 5.0 LEも付属しているので、画像の簡単なレタッチ*1や、編集などもできるようになっている。漢字Talk7.5.3以降またはMacOS 8以降に対応し、10MBのRAMが必要（推奨40MB）。PostScript対応プリンターを推奨。前バージョンからのアップグレード価格は以下の通り。Adobe PageMaker 6.5Jからは10,000円、6.0Jからは15,000円、5.0J以前のバージョンからは25,000円となっている。

●アドビ カスタマーインフォメーションセンター／03-5350-0407



デジタル文章を縦書きで見る「T-Time ver.2.0」発売

価格●3,400円（書店版）、3,900円（PC店版）
http://www.voyager.co.jp/



専用ファイル形式TTZで、テキスト、HTML、PDFなどを縦書きで表示させるユニークなソフト

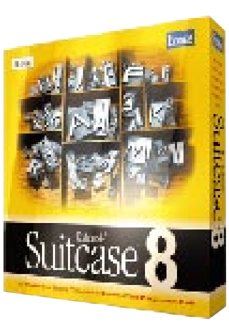
ボイジャーは、デジタル文章を縦書きにして読みやすくするテキストビューワーソフト「T-Time ver.2.0」を発売した。新バージョンでは、印刷機能の付加、速度向上、Windows NT 4.0対応に加え、PDF、エキスパンドブック形式のファイルが読めるほか、画像・ルビ・1バイト英数字の表示機能も拡充するなど、機能を全面的に強化している。バージョンアップサービスは有償（2,000円+税）で実施。申し込みはボイジャーホームページにて受け付ける。

●(株)ボイジャー／03-5467-7070

フォント管理ユーティリティ「Extensis Suitcase 8J」

価格●12,800円

ウイニングラン・ソフトウェアとソフトウェア・トゥーは米国Extensis社のフォント管理ユーティリティソフト「Extensis Suitcase 8J Macintosh版」の7月下旬発売開始をする。Extensis Suitcase 8JはMacOS 8.6に完全対応したほか、新ツールである「Suitcase MenuFonts（コントロールパネル）」によって実際の書体でフォントメニューを表示したり、フォントの種類の確認、書体のサンプル表示などが行なえる。また「Suitcase 8 XT」が追加され、QuarkXPress使用時のフォントの管理にも威力を発揮する。



●ウイニングラン・ソフトウェア(株)／03-3372-8441、(株)ソフトウェア・トゥー／03-5676-2177

ビジュアルアーティストの作品を収録した「GASBOOK6」

価格●5,800円（予価）
http://www.apjapan.co.jp/



エーアンドピーコーディネータージャパンは「GASBOOK6」を発売した。今回のGASBOOKでは、1999.7をキーワードに、時代を代表するビジュアルアーティストたちの作品を一堂に集めている。参加アーティストは、総勢19組（TOMATO、HEXSTATIC、The Designers Republic、Futura2000、groovisions、STEREOTYPEPRODUKTS他）。特製パッケージの構成はビデオテープ、エンハンスドCD-ROM（フォント／スクリーンセイバー／デスクトップ時計／SHIFTがコーディネーションしたアンビエントアルバムを収録）、カタログ、T-シャツとなっている。

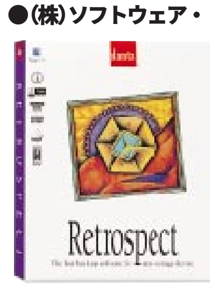
●エーアンドピーコーディネータージャパン(株)／03-5798-0210

Dantz「Advanced Driver Kit 1.6 日本語版」発売

価格●32,800円
http://www.swtoo.com/

ソフトウェア・トゥーは、米国Dantz社の総販売代理店として「Advanced Driver Kit 1.6日本語版」の取扱いを開始した。Advanced Driver Kit 1.6日本語版は、バックアップソフトである「Retrospect 4.1 日本語版」を、より多くの高速、大容量テープドライブやオートローダーと対応させるためのプラグインファイルだ。バージョン1.6より日本語版となったほか、より多くのデバイスに対応可能となった。1.6日本語版が必要なメカニズム一覧はhttp://www.swtoo.com/dantz/を参照。

●(株)ソフトウェア・トゥー／03-5676-2177





Advanced Driver Kit

左がRetrospectで、上がAdvanced Driver Kitの本体アイコン

*1 レタッチ：写真を補正すること。DTPの場合は、スキャンした画像を補正することを意味する。

LBP-2160専用ソフトウェア RIP「Canon PowerRIP」

価格●90,000円
http://www.niigata-canotec.co.jp/

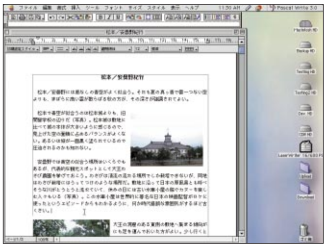
新潟キャノテックはPostScript 3対応ソフトウェアリップ*1「Canon PowerRIP」を発売した。この製品はキヤノンカラーレーザショットLBP-2160専用のRIPで、Adobe社製PostScript3エンジンを搭載している。PostScript形式の印刷データをMac上でリッピング処理することで、LBP-2160へ転送してプリントアウトを実現するため、高価なPS専用プリンタと比べ低コストで同等の印刷ができるようになっている。PDFファイルのダイレクト印刷やローカル接続されているプリンターを共有できるネットワーク印刷機能、東洋インキ・Euro・SWOPに対応したカラーアジャストメント機能などを幅広くサポートしている。



●新潟キャノテックユーザーサポートセンター／025-244-6445

ワープロソフト「Pascal Write Ver.3.0」発売

価格●7,800円
http://www.pascal.co.jp/softworks/



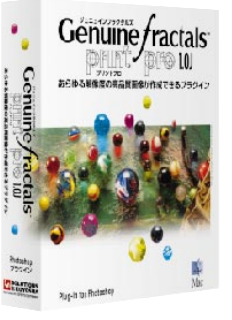
パスカルは日本語ワープロソフト「Pascal Write Ver.3.0」を発売した。3.0の新機能はOS 8.5のアピアランス機能、およびNavigation Serviceへの対応、文字スタイルシートの追加、段落スタイルシート機能の改良、透かし機能の追加、欧文辞書への同義語辞典機能の追加、文字列整形機能の追加、サマリー機能の追加、English Speech to Textを使った文字列の読み上げ機能の追加、そして全体的なインターフェイスの改良などとなっている。なおVer.1.0およびVer.2.0の正規登録ユーザーは、2,980円でバージョンアップが可能。

●（有）パスカル／047-361-5520

「Genuine Fractals PrintPro 1.0J」

価格●29,800円（予価）
http://www.koyoshagraphics.com/

恒陽社は高品質画像圧縮解凍用Photoshop プラグイン「Genuine Fractals PrintPro 1.0J（ジェニュインフラクタルズ　プリントプロ）」を発売した。Genuine Fractals PrintProは、Genuine Fractals社の圧縮・解凍技術を使用したAdobe Photoshop用のプラグインで、CMYK、CIE-Lab、RGB、マルチチャンネル、グレイスケールの画像を、品質を損なうことなく拡大／縮小してエンコード（圧縮）することができる。いったん中程度にエンコードされた画像は、解像度に依存することなく、あらゆる用途に応じた解像度やサイズの画像に解凍（デコード）することができるため、ひとつの画像を多用途に使い回すことができるようになっている。



●（株）恒陽社グラフィック事業部／03-5479-5283

「TechTool Pro 2.5 日本語版」

総合メンテナンスツール

価格●17,800円
http://www.systemsoft.co.jp/

システムソフトはMacintosh総合メンテナンスツールであるMicroMat Computer Systems社の「TechTool Pro 2.5 日本語版」を7月23日に発売する。

今回発売する「TechTool Pro 2.5 日本語版」では、ファイルおよびディスクの断片化を解消する「最適化」機能が新たに搭載されていることに加え、消失したファイルの復活などの従来の機能も大幅に強化されている。また、USB対応の周辺機器やiMac、PowerMacintosh G3などにも対応している。これにより同ソフトの診断項目は、オーディオ、ベンチマーク、キャッシュ、クロック、コンポーネント、デスクトップ、ドライブ、ファイルの復活、ファイル構造、ファイルテスト、Finder情報、フロッピー、FPU、インターネット、キーボード、モデム、マウス、ネットワーク、PRAM、プロセッサ、RAM、ROM 、スキャナ 、シリアルポート、メディア検査、ビデオ、ビデオパターン、ボリューム構造、VRAM最適化となっており、ハード・ソフト両面でのメンテナンスが行なえる。必要なテスト項目だけを選択し、自動的に診断することも可能。



なお、前バージョンまでの登録ユーザーにはアップグレードサービスを実施する。現行の「TechTool Pro 2 日本語版」ユーザーは、システムソフトのホームページから無償でアップデーターをダウンロードできる。また、「The Norton Utilities」を持つユーザーを対象にした特別パッケージを店頭で同時発売する予定。

●(株)システムソフトインフォメーションセンター／092-752-5264

「Bryce4日本語版」7月下旬発売 3D景観作成ツールがパワーアップ

価格●未定
http://www.mvi.co.jp/

メディア ヴィジョンは3D景観作成ツール「Bryce4日本語版」を7月下旬に発売する。Bryceは手軽に3D景観を作成することができ、作成したシーンを画像で書き出したり、アニメーションを作成することが可能なソフト。新バージョンの特長はテクスチャを含めた地形オブジェクトのエクスポート（MetaStream、RayDreamStudio、nfini-D、DXF、LightWave、OBJ、Portable Grayscale Maps、USGS DEM、VRML 1)、インポート形式の拡張、大気コントロールの拡張、アニメーションのサムネールの高速生成、ナノプレビューの強化によるアニメーションのプレビュー、MetaStream形式への書き出しなどを持っていることで、多様な用途に使用できる。



●(株)メディアヴィジョン／03-3263-0566

*1 リップ（RIP）：PostScriptなどのデータをイメージに変換するハードウェアやソフトウェアのこと。PostScriptやTrueTypeなどのデータは、デバイスに出力する際、ビットマップに変換しなければならないため、このリップが必要となる

「WXG Ver.4 for Macintosh」
新AIエンジンで高精度変換を実現する日本語IM

価格●9,800円
http://www.aisoft.co.jp/



AtokやEG Bridgeにはない便利な機能もたくさん搭載している

エー・アイ・ソフトはiMacやMacOS 8.6にも対応した日本語IM「WXG Ver.4 for Macintosh」を7月23日より販売する。

Mac用ユーザーインターフェイスを実装しているのはもちろん、構文意味解析の強化や用例の充実、口語表現への対応、約26万語収録の基本辞書（カタカナ外来語、経済用語などを含む）などといった新AI変換エンジンによる高精度変換を実現している。オプションでWindows版とMac版とで互換性のある姓名辞書、地名辞書など10個の辞書も用意されている。このほか和訳・英訳辞書を利用して入力中の単語または確認済みの単語の変換を行なう英和・和英変換、手書き漢字検索、確定文字列の再変換機能、連想変換・時刻変換・フォーマット変換などのオプション変換など、多彩な機能を装備している。このほか、読み方がわからない漢字でも「手書き漢字検索」機能を使えば、文字として正確に認識してくれるのも大きな特徴のひとつ。

なおWX II/WX II for Macintosh、WX II/WX II for Windows、Web Whacker for Macintosh、読んde!!ココ for MacintoshおよびVISTAPRO for Macintoshの各ユーザーを対象としたアップグレード版を店頭販売する。価格は4,800円で5,000本の限定販売。現行のWX III for Macintosh Ver.3を7月1日以降に購入したユーザーには、無償バージョンアップサービスを実施する。Power PC、Power PC G3搭載のMac、iMac対応。ハードディスク必要容量70MB以上。

●エー・アイ・ソフト（株）／03-3376-7122

2D→3D変換ツール「CANOMA日本語版」発売

価格●98,000円（予価）
http://www.mvi.co.jp/

メディアアヴィジョンは2Dイメージを3Dモデルに変換するツール「CANOMA日本語版」を7月下旬より発売する。CANOMA日本語版は、デジカメで撮影した写真、スキャニングした写真などの2Dイメージからリアルな3Dモデルを簡単に短時間で作成できる。3Dモデリングに関する知識や技術、専門の機器は必要ない。作成した3Dモデルはインタラクティブに動かしたり、アニメーション化することができる。またWeb用にコンパクトサイズで圧縮するMetaStream Web形式や他の業界標準形式への変換も可能で、各方面での利用が可能だ。

●（株）メディア ヴィジョン／03-3263-0566



「フォントワークスATMフォント クラシックセット25」

価格●39,000円
http://www.fontworks.co.jp/

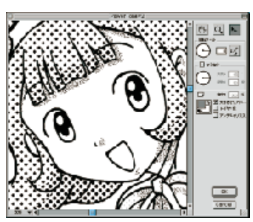
フォントワークスでは、ロダン書体の発売10周年を記念して「フォントワークスATMフォント クラシックセット25」を5,000本限定で発売した。パッケージはおめでたい「赤パッケージ」で、価格の設定もサンキュー価格（39,000円）、今年発売予定のCIDフォント*1（ATM版）への無償アップグレードの特典も付いている。収録書体は、ロダンPlusファミリー6書体、マティスPlusファミリー6書体、スーラPlusファミリー4書体、セザンヌPlusファミリー4書体、グレコPlusファミリー3書体、ユトリロPlusファミリー2書体の計25書体となっている。



●（株）フォントワークスジャパン インフォメーションセンター／03-5354-7604

Photoshop プラグイン「PowerTone2 for Macintosh」

価格●19,800円
http://www.mode.co.jp/



モードは、Photoshop用プラグイン「PowerTone2 for Macintosh」を発売した。新バージョンでは「線数」機能を付加することでさまざまなプリンターに対応可能となり、起動時間とトーン貼込時間を平均約2倍以上に高速化することに成功、さらにトーンを3Dテクスチャーのように貼り込む「トーンフィット」、任意のグラフィックス選択部分を簡単に網点化するプラグイン「トーンチェンジャー」を装備するなど、さまざまな改良・新機能の追加が行なわれている。また、付属トーンは網点、砂目、グラデーションから樹木トーンなど、全280種類となり、グレイトーンにも対応する。なおPowerTone2用のトーン素材集2巻（各全100種）も6,800円で同時発売する。

●（株）モード／047-360-3224

「MIXAイメージライブラリー」に新5タイトル新発売

価格●各10,000円
http://www.screen.co.jp/

大日本スクリーン製造は著作権使用料不要の高画質画像データCD-ROM素材集「MIXA（マイザ）イメージライブラリー」の新タイトル5製品を発売した。「MIXA IMAGE LIBRARY Vol.56 和紙抄」「MIXA IMAGE LIBRARY Vol.57 ビジネス・ワールド」「同Vol.58 日本の野鳥」「同 Vol.59 CG・3Dクリップアート」「同 Vol.60 新選生活雑貨」の5つとなっている。なお、同シリーズの製品3本をパックにした「MIXAの写真素材VOL.1 テクスチャー編」「MIXAの写真素材 VOL.2 東京・パリ・ニューヨーク編」「MIXAの写真素材VOL.3 クラフト編」の3タイトルも発売され、各18,000円とお得な価格設定になっている。



●大日本スクリーン製造（株）／03-3989-3676

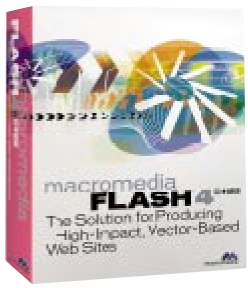
*1 CIDフォント：日本語のPostScriptフォントで、2バイトの文字に対応した新しい形式の。これまでのpsotScriptは、1バイトフォントを前提に開発されていたため、256文字程度しか表現できなかった。そのため日本語などの2バイトフォントに対応するために開発された。

「Macromedia Flash 4 日本語版」
定番Webサイト用コンテンツ制作ツール

価格●39,800円
http://www.macromedia.com/jp/

マクロメディアはベクターグラフィックとアニメーション、サウンドやインタラクティビティを盛り込んだ軽快でインパクトのあるWebサイトコンテンツ制作ツール「Macromedia Flash 4日本語版」を7月30日より販売開始する。

Macromedia Flash 4日本語版では、Webフォームや電子コマースのフロントエンドを実現するための文字入力フィールド機能を搭載し、今までHTMLとの組み合わせでしか実現できなかったフォームへのテキスト入力がFlash内部でできるようになった。またアクションが大幅に強化され、スライダーやボタンのドラッグ操作といったインタラクティビティの高いインターフェイスをプログラミングなしで簡単に制作できるほか、変数、演算子、条件式が追加されたことにより、より多くの状況や条件に応じて動作が変化するFlashインターフェイスやアニメーションが可能になった。MP3 Streaming Audioに対応し、高音質なサウンドを自在に扱うことができる。またQuickTimeデジタルビデオを読み込み、ベクターグラフィックやアニメーション、あるいはインタラクティブボタンを重ね合わせ、Flashトラックを含むQuickTime 4ムービーとして書き出すことができるようになっている。



本製品には学校法人施設内で教育を目的に使用するエデュケーションパック（シングルパックが23,800円、10パックが200,000円）、中高等学校・大学・各種専修学校に在学中の人を対象としたスチューデントバージョン（12,800円）も用意されている。Flash 3Jユーザーは15,800円でアップグレード可能だ。

●(株)アスキー／03-5351-8652、(株)システムソフト／092-752-5264、(株)ソフトウェア・トゥー／03-5676-2177

著作権フリー音楽素材2種類発売

価格●各22,800円
http://www.sound.creators.ne.jp/anony



CreatorsNet Consortiumはデジタルクリエーターを対象とした総合サービス「CreatorsNet」をインターネット上で開始した。このサービスはクリエーターが制作に用いる素材をダウンロード販売したり、ハード・ソフトをオンライン販売するサービスで、オリジナル商品第一弾として著作権フリー音楽素材集「Anony Produced by 細野晴臣」と「Anony Produced by 屋敷豪太」を発売した。いずれもCD-ROM 3枚組で、両氏がプロデュースしたオリジナル楽曲が収められている。楽曲はマルチメディアソフトで使いやすいようにカットしたオーディオデータ、スタンダードMIDIファイル、サンプラーデータなどの形で収録されており、ユーザー登録すれば楽曲をそのままあらゆる作品に使用することが可能。

●CreatorsNet 事務局／03-5410-1444

3Dモデリングデータ素材集「Entrance Gate」2種発売

価格●4800円(standard)、8800円(Professional)
http://www.sanseido-publ.co.jp/

イージープーは、3Dモデリングデータ集「Entrance Gate」2種類を発売した。今回発売されたのは「Entrance Gate プロフェッショナル版」と「Entrance Gate スタンダード」版で、純日本製のデータ集。ともに天使をモチーフにしたデータを収録しており、Shade形式、3DS形式（3D Studio MAX メッシュファイル形式）、DXF形式（Drawing Interchange Format）に対応している。各版とも70種類以上のポーズを収録している。

●(有)イージープー／06-6867-2167



➡2色分解用Photoshopプラグイン「Magictone Duo1.5J」

価格●59,800円
http://www.koyoshagraphics.com/

恒陽社は2色分解用Photoshopプラグイン「Magictone Duo 1.5J」を7月より発売する。Magictone Duoを使うと、任意のインキ2色を組み合わせてExtended Duotoneと呼ばれる色彩豊かな2色分解を行うことができる。操作は画像を開き、プルダウンメニューからインキの組み合わせを選択してファイルに保存するだけ。あらゆるメーカーのインキを自由に組み合わせて特色として使用することが可能だ。カスタムインキセットは保存して再利用できるので、定期刊行物やニューズレターなどには特に便利。ファイルは各種ページレイアウトソフトから出力可能で、他の2色分解と同様に印刷する。出力ファイル形式はEPS形式、DCS2.0形式など。

●(株)恒陽社グラフィック事業部／03-5479-5283

➡3Dアクションゲーム「Bugdom」PSP Inc.取り扱い開始

価格●34.95ドル（送料別）
http://www.JapanCentral.com/

PSPIncはPangea Software社の3Dアクションゲーム「Bugdom」をインターネット直販サイト（www.JapanCentral.com）で販売開始した。Bugdomは子供から大人まで楽しめるゲームで、Rollieが主人公。Rollieをあやつって敵と戦いながら、捕まっているてんとう虫を助けたり、木の実に隠された鍵を見つけたり、走ることはもちろん、泳いだり他の虫に乗ったりといったアクションで、10個のレベルをクリアする。3Dグラフィックアクションで23種類もの虫たちが登場する。日本語マニュアル付き。

●Pacific Software Publishing, Inc.／425-497-8080

➡著作権フリー・デジタルビデオ素材集「ビデオ素材辞典」Vol1～3

価格●各12,800円
http://www.datacraft.co.jp/

データクラフトはビデオタイトルの作成などに便利な著作権フリー・デジタルビデオ素材集「ビデオ素材辞典Vol.1〈CG-光・炎・爆発〉」、「ビデオ素材辞典Vol.2〈CG-宇宙・地球・惑星〉」の2タイトルを6月25日に、「ビデオ素材辞典Vol.3〈CG-ノイズ・合成パーツ〉」を7月22日に発売する。いずれもハイブリッドCD-ROM3枚組みで、収録点数は70クリップ×2サイズ。データ形式もマルチメディア用とデジタルビデオ用の2種類が用意されている。

●(株)データクラフト／011-707-8335

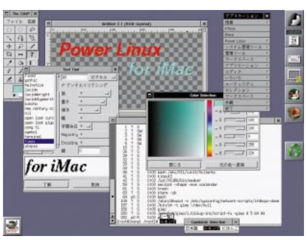
*1 カーネル：OSの基本的な機能を担うソフトのこと。ハードウェア管理のほか、プロセスやメモリーの制御と管理も行なう。

「Power Linux Live! for iMac」配布開始

価格●ー
http://www.jpg.co.jp/

日本フォトグラフィックスではiMac対応の「Power Linux Live!」を同社FTPサーバーやミラー・サイトなどで無償配布を開始した。Power Linux Live!for iMacでは従来のPower Linux Live!の機能に加え、製品版のPower Linuxや雑誌付録などで入手可能な機能縮小版Power Linux LiteをiMacにインストールできる「ライブ・インストール」機能を搭載、今まで対応機種外となっていたiMacでPower Linuxが使える。ただしUSBポートに接続して使えるのはマウスとキーボードだけで、他の周辺機器が接続されている場合には正常に動作しない場合がある。またライブ・インストール機能を使ってPower Linuxをインストールした場合、インストールされるカーネル[*1]はMkLinuxではなく、通常のカーネルバージョン2.2.5となり、現在のところiMacではMkLinuxを使用できない。

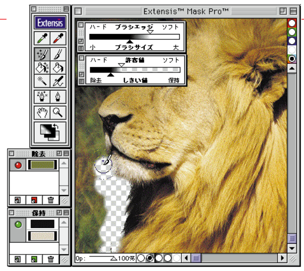
●日本フォトグラフィックス（株）／022-391-1611



「Extensis Plug-In Collection」2種

価格●79,800円(Vol.1)、89,800円(Vol.2)
http://www.winningrun.co.jp/

ウイニングラン・ソフトウェアでは



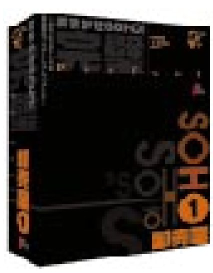
米Extensis社のプラグイン集2種を発売した。「Extensis Plug-In Collection Vol.1」にはウェブデザインからグラフィックデザインまでの画像制作をサポートするプラグイン（Extensis Photo-Graphics 1.0J、PhotoTools 3.0、IntellihancePro 4.0J）を収録、「Extensis Plug-In Collection Vol.2」にはプロの要求に応えるマスキング[*2]＆補正効果や画像の微調整を強力にするプラグイン（Extensis MaskPro 2.0J、Intellihance Pro 4.0J）を収録している。（上の写真は、Extensis Mask Pro）

●ウイニングラン・ソフトウェア（株）／03-3372-8441

「おまかせSOHO！ 完璧」シリーズ3製品を追加リリース

価格●6,000円～15,000円
http://www.jcnland.co.jp/

ジェイシーエヌランドではSOHO、小規模事業主向けビジネスパッケージソフト「おまかせSOHO！ 完璧」シリーズ3製品をリリースする。「おまかせ



SOHO！ 完璧 クリエーター」はプロジェクト管理が必要な業界向けの販売管理ソフト、「おまかせSOHO！ 完璧 資金繰りシミュレーション」は企業の要資金繰りの予測ソフトで7月初旬に、「おまかせSOHO！ 完璧 給与・賞与」は年末調整まで対応した本格的給与計算ソフトで7月23日に発売される。ハイブリッドCD-ROM。

●(株)ジェイシーエヌランド インフォメーションセンター／03-5391-7881

ファイコム「J/f文字詰め」、「J/f表組み」新発売

価格●各48,000円(J/f文字詰め)、各28,000円(J/f表組み)
http://www.d1.dion.ne.jp/˜faycom



ファイコムはAdobe Illustrator プラグイン版とQuarkXPress 対応エクステンション版がある2種のソフトを新発売した。文字詰めソフトの「J/f文字詰め」は「J-Kerner」のバージョンアップ版で、詰めの「実行」や「解除」がワンクリックでできるフローティングパレットの採用やユーザー設定による詰めの登録機能によって、文字詰め作業の操作性・自由度をアップしている。

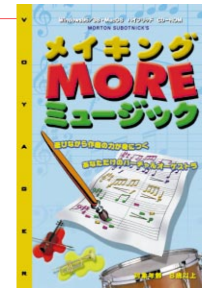
作表支援ソフトの「J/f表組み」は表作成、体裁、文字列置換、線種編集、表計算などの機能で、美しい表を簡単に作成することを可能にしている。

●(株)ファイコム／06-4800-6711

子供向け音楽ソフト『メイキングMOREミュージック』

価格●3,800円
http://www.voyager.co.jp/

ボイジャーは音楽お絵描きソフト「メイキング ミュージック」の続編「メイキングMORE ミュージック」を発売した。前作は音楽や譜面の知識を使わず絵を描くような作業で作曲ができる子供向け音楽ソフトだが、「メイキング MORE ミュージック」では、前作のユーザーから要望の多かった五線譜や音符を使った曲作りを可能にした。譜面の印刷機能があるほか楽譜や音楽用語の解説も充実している。ハイブリッド



版。なお、同ソフトの発売にともない、「メイキング ミュージック」はハイブリッド対応の廉価版（3,000円）として新発売された。

●(株)ボイジャー／03-5467-7070

デジタル画像管理ソフト「デジカメ iMac 3000」

価格●3,000円
http://www.media-kite.co.jp/

メディアカイトはデジカメ活用ソフト「デジカメ iMac 3000」の販売を開始した。デジカメ iMac 3000はサムネイル形式（インデックス表示）と表形式（リスト表示）の2種類の一覧表示が可能な画像データベース機能や、その画像を自動的にデスクトップに連続表示できるスライドショー機能、サムネイル形式の一覧表示での印刷機能などをもち、大量の画像を一括管理することができる。画像は複数のキーワード、ファイル名、日付などを組み合わせての検索が可能となっているなど、初めてMacに触れる人にも優しい作りになっている。

●メディアカイト／03-5449-3181



USB ジョイスティック「Cyborg 3D USB」

価格●$64.95（送料別）
http://www.JapanCentral.com/

PSPIncは米国Saitek社のUSBジョイスティック「Cyborg 3D USB」の正規販売代理店として、同製品の日本向け販売を、直売インターネットサイト（http://www.JapanCentral.com/）で開始した。USBジョイスティックはUSB接続可能なOS 8 以上のiMacならびにPowerMacで使用できる。ハンドルはユーザーの手のサイズに合わせて設定ができるほか、右利き・左利きの設定も簡単。3Dの動きをゲーム中でより的確にコントロールできる。この他にも24のプログラム可能なボタン、8方向ハットスイッチ、トリガーと3つの発射ボタンなどが準備されており、正確なコントロールが可能。

●Pacific Software Publishing, Inc.／425-497-8080

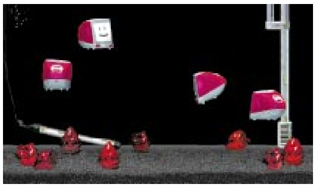


AQUAZONEオプションディスク「iMacinfish」

価格●各色1,800円
http://www.openbook9003.co.jp/

オープンブック9003はAQUAZONEオプションディスク「iMacinfish」を、グレードアップして7月30日～9月30日の期間限定で販売する。魚のグラフィックのグレードアップ、新機能の追加などにより、6色（ボンダイブルー、ブルーベリー、グレープ、タンジェリン、ストロベリー、ライム）のパッケ

*1 カーネル：OSの基本的な機能を担うソフトのこと。 ハードウェア管理のほか、プロセスやメモリーの制御と管理も行なう。 *2 マスキング：覆い隠すという意。この場合、 グラフィックソフトで画像処理を施すことを意味する。



ージが一新されている。
●オープンブック9003（株）／03-5447-6432

Tシャツ作成CD-ROMソフト「Tシャツプロ 基本セット」

価格●6,800円
http://www.discaid.co.jp/

ディスク・エイドでは市販のTシャツと一味違ったオリジナルTシャツが作成できるソフト「Tシャツプロ 基本セット」の発売を予定している。専用レイアウトソフトとサンプル素材100枚、プロのデザインを100点を収録したCD-ROMで白無地フリーサイズTシャツ1枚と専用印画紙が同梱されている。インクジェットプリンター（カラー推奨）環境で使え、アルプス社製プリンター使用の場合は色Tシャツへの白インク印刷も可能。使用にはインターネットブラウザー、アイロンが必須。
●（株）ディスク・エイド／03-5225-4861

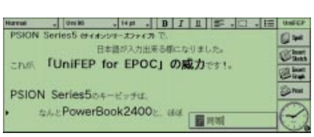


PSION SERIES 5用日本語入力表示システム「UniFEP for EPOC」発売

価格●14,800円
http://www.enfour.co.jp/inc.html

エヌフォーは7月23日にPSION SERIES 5用日本語入力表示システム「UniFEP for EPOC」を発売する。

UniFEP for EPOCは、PSION SERIES 5に搭載されているEPOC OS上で動作する日本語入力・表示プログラムだ。英語版のPSION SERIES 5単体では不可能だった日本語の使用も、



「UniFEP for EPOC」を使うことで日本語環境が実現する。

なお、UniFEP発売記念として「とくとくキャンペーン」が実施される。とくとくキャンペーンステッカー貼付のPSION SERIES 5が対象で、期間はUniFEP for EPOC発売日から1999年10月末日。ステッカー貼付のPSION SERIES 5を購入後、同梱の「とくとくクーポン」に販売店印を押してもらい、「UniFEP for EPOC」発売後に販売店印の店で「UniFEP for EPOC」と一緒に「とくとくクーポン」を提示すると、定価14,800円が特別価格9,800円で購入できる。
●(株)エヌフォー／03-3478-7584

タスクバー機能を実現する「ACTION GoMac 2.0J」

価格●6,800円
http://www.qst.co.jp/販売（株）クエスト

アクト・ツーはMacintosh上でWindows環境と同等のタスクバー*1機能を実現するユーティリティ「ACTION GoMac 2.0J」のパッケージ版の店頭販売を開始した。GoMacはこのバージョンより、開発元がPowerOn社に移ったため、ACITON GoMacという名称となっている。

新バージョンではドラッグ＆ドロップ対応のクイックランチ機能が追加され、スタートボタンの名称やマークの変更も可能になっている。上記のホームページで試用版が入手できるほか、GoMac1.5J、1.6Jの登録ユーザーは有償でアップグレードが可能。
●(株)アクト・ツー／03-3328-8431



「LinuxPPC 1999(Release 5)」出荷開始

価格●3,980円
http://www.linuxppc.com/

米LinuxPPC Orgは、開発中だったPowerPC用Linuxのパッケージ「LinuxPPC 1999(Release 5)」の出荷を開始した。Linux PPC 1999は「RedHat Linux」をベースに、PowerPC搭載マシン向けに開発されたもので、Linux-PCIバス搭載のMacおよびMacOS互換機などで動作する。新版はPC向けLinuxと互換性を確立するLinuxカーネル2.2を搭載。これによりPC向けに開発された各種ソフトは原則としてコンパイルするだけでLinuxPPC上で利用できる。USB機器にも正式対応し、New Power Mac G3やiMacでも動作する。Linux PPC 1999を収録したCD-ROMは、米LinuxPPC社（http://www.linuxppc.com）のWeb経由でオーダーできるほか、同社の代理店であるアミュレットでもCD-ROMの販売（3,980円）を行なう。
●アミュレット／http://www.amulet.co.jp/ppclinux/

アリスの家 iMac用家具新発売

価格●39,800円（ワゴン）、34,800円（キャビネット）、29,800円（テーブル）
http://www.saganet.ne.jp/island/fur/lv/lv.html

アリスの家は、iMacや青白Power-Macintosh G3向けにカラフルな家具を新発売した。iMacや青白Power Mac



G3には、なかなか合う家具が見つからないというのが現状。アリスの家の家具ならば、トランスルーセントな部品を使用しているため、簡単に合わせることができる。

製品は、ターミナルワゴン、キャビネット、テーブルがある。
●アリスの家／090-8916-8970

ソニーのディスプレイ「CPD－G200J」

価格●64,800円
http://www.sony.co.jp/

ソニーは、ハイコントラストのFDトリニトロンブラウン管搭載のディスプレイ、「CPD-G200J」を発売した。

最大解像度は、1,600×1,200で、水平30-96kHz、垂直48-120HzのワイドレンジマルチスキャンScanを誇る。大きさは、404×420×413mmで、重さは約20kg。青白Power Macintosh G3との接続には、専用のアダプターがあり、これを使用するとディスプレイ通信の正常化が行なわれ、接続されているディスプレイが受像できるモードだけを表示するようになる。アダプターは別売と



なっている。
●（株）ソニー／03-5448-3311

Macintosh用電源タップ スケルトンタップ

価格●各2,800円
http://www.loas.co.jp/



ロアスは、iMacに合わせたスケルトンタイプの電源タップを発売した。色は、ブルーベリー、ストロベリー、ライム、グレープ、タンジェリンの6色。このほかノーマルな白を基調にしたタイプもある。
●ロアス（株）／0723-61-1830

10/100BASE-TX高密度スイッチ「CentreCOM8525/8550」シリーズ

価格●1,350,000円～3,400,000円
http://www.allied-telesis.co.jp

アライドテレシスは、ギガビットイーサネット（GbE）のアップリンク*2ポートを装備した10/100BASE-TX高密度スイッチ「CentreCOM 8525/8550」シリーズを発売した。同シリーズはGbEを1ポートと10/100BASE-TX自動認識を24ポート装備したCentreCOM8525と、GbEを2ポートと10/100BASE-TX自動認識を48ポート装備したCentre-COM8550で構成されている。レイヤー2モデルは別売のアップグレードキー「L3Key-85」（1,200,000円）によりレイヤー3へのアップグレード可能。
●アライドテレシス(株)／03-3443-5640

*1 タスクバー：バー上に、各種アプリケーションなどが割り当てられ、簡単にそのソフトやウインドウを呼び出すことができる仕組みのものを指す。　*2 アップリンク：データを送信をするという意味。←ダウンリンク。

Daniel Barnet's

USA Headline News

around Macintosh

Daniel Barnet, Daniel.Barnet@unbound.com

異常気象か、今年はとても寒いシリコンバレーにやってきたこれまた寒い話題。怪しい添付ファイルのついたメールは決して開いてはなりません。

StarWarsがもっと楽しくなるMacのあやしい話題

MACLIFEのこの号が出るころには、日本でもStar Wars: Episode 1が公開されているはずだ。イマイチという評論家も多いようだが私はお薦め。自分が若かった時の気持ちで見れば、Episode 4と同様にエキサイティングな体験が得られることを保証する。

すごいコンピュータグラフィックスに酔いしれた後は、最後にでてくるエンドロールもじっくり見て欲しい。CG協力としてSilicon Graphicsの名前がロールアップしてくる。実はこの映画Macとも関係がある。

カリフォルニアにあるPlay社は、Episode 1で使われたSFX制作に携わった1社。同社は、George Lucusに抗議する広告を地元のHollywood Reporter紙に掲載した。同社のソフト「Electric Image」をもっとアピールして欲しい、というのだ。実はこの論点が面白く、Episode 1の多くのシーン（300〜400カットだという）がMacによって作られているのに、Lucasの会社であるIndustrial Light & Magic(ILM)がそれを認めようとしていないという。これはSGIなどの高性能なコンピュータでなく低価格なパソコンで作られていることを隠そうとしているからだとしている。しかもEpisode 1のプロデューサーの1人は、Electric Imageについて宣伝するよ、と公言したことがあるというのだ。

またPlay社は、Macで動作していたElectric ImageをEpisode 1のためにWindows NTに移植するのを取りやめ、SGI IRIXに移植までやったという。しかも同社はそれをStar Warsだけのために使い販売していない。

これに対しILMでは、映像になる前の準備段階でしかElectric Imageを使用していないことと、夏にはElectric Imageについてメディアで言及する、と発表している。

私はPlay社がなぜこのような広告をうったのか、よく理解できない。もしLucusやILMのスタッフに自社製品について言及して欲しいのならば直接言えばいいだけだからだ。ここにはちょっとしたMacへのエバンジェリスム（伝教精神）が働いている、といったら考えすぎだろうか。

映画のようになっていくのか？コンピュータの起動画面をめぐる争い

ちょっとMac OSのことをイメージして欲しい。どうだろう、起動時のHappy Macや「起動中…」の画面を思いだした人も多いはず。Finderの起動が終了して使いだした後は、あたりまえのものとして特に印象は残らないものだ。これはWindows98やNTでも同じだろう。

インターネットサーチエンジンで有名なLycosと、パソコンメーカーであるPackard Bell NECは、新しいPackard BellおよびNECのデスクトップマシンの画面にLycosが作るアイコンを置くことで先月合意した。これによってユーザーは、クリック操作だけでLycosのインターネットページを表示できるようになる。世の中にはめんどくさがりな人も多いので、あれこれ考えずにクリックするようになる、というわけだ。ただこれはまだ序の口。

世界のPC市場で7割弱のシェアを持つBIOS*1メーカーのPhoenix Technologiesは、YahooやAOL、CNet、Lycos、EarthLinkなどと提携して、PCの起動時にデスクトップにアイコンを置くサービスをはじめる。これはWindowsのセットアップの途中に割り込み、インターネットサービスプロバイダーを選択させるもの。このためにPhoenix TechnologiesではeBetween（うまい名前だ）という新会社を設立する。

これまでずっとMicrosoftが裁判所のお世話になっている「抱き合わせ」販売のような問題がおきないように、あくまでユーザーがデスクトップに置くサービスを選択するところがミソ。何も選択しなければ何も起こらず、選択すると3から4個のアイコンがデスクトップに並ぶことになる。この新しいコンピューターは、今秋に登場する予定。

しかし考えてみれば、BIOSというのはOSがロードされる前に読み込まれるのであるから、Windowsがブートし始める前にいろんなことができそうではないか？　MicrosoftはOSという基盤技術を利用してこれまで有利に事を進めてきたわけだが、BIOSというのはそのさらに基盤となる部分なので、Microsoft対抗という見方からすれば面白い。



一昔前と大きく状況の異なってきたスピーチ認識技術の利用法

スピーチ認識というとAppleが開発をリードしながら取りやめた技術の１つという感があるが（実際のところ不明）、

*1 BIOS：OSと周辺機器（ディスプレイ、キーボード、ハードディスク、プリンター）などのデータの入出力を制御するソフトウェア。BIOSは、パソコンのROMに記録されて搭載されている。

今それを一番熱心にやっているのはやはりIBMであろう。同社は、先月ボストンで開催されたスピーチ技術関連のカンファレンス「Tech Talk」で、現在あるさまざまなスピーチ認識サービスおよびその計画について披露した。同社の「ViaVoice」スピーチ認識ソフトウェアを使ったサードパーティベンダーの紹介が中心で、たとえば、放射線腫瘍科における医療記録の書き取りにスピーチ認識を使用して合理化したマサチューセッツの病院の例、CNNやABCなどのテレビ局のニュース局で使用されている音声認識によるビデオテープのインデックス化（VideoLoggerというVirage社の製品）などが披露された。IBM自身は、現在開発中の音声を使ったユーザー識別機能「Voice Print」を発表した。これは電話を使ったユーザー認識システム用の技術で、安全なテレフォンバンキングなどに利用される。またコード名Donatelloと呼ばれている自然言語を理解するためのアシスタント技術も公表、電話の音声によって遠隔地のPCからメールを送信したり、スケジュール表を変更できる。またTech Talk会場には、音声認識のジュースの自動販売機も置かれており、注文はもちろん、おつりの額が間違っていた場合も苦情を音声で訴えることもできた。

スピーチ技術には障害も多く、また確立されたVUI（ボイスユーザーインターフェイス）もない。IBMだけでなくMicrosoftなどもスピーチ技術を将来使っていくことを発表しているが、どのようにデスクトップマシンに使っていくかは彼らも発表していない。Windows 2000には音声機能を持たせているが、会話型のインターフェイスには問題が残っていることを認めている。それでも、昨年は世界でスピーチ認識ソフトウェアが77万本以上、6000万ドルの売上をあげており、2001年には3億ドルを超えるだろうと言われている。

特にスピーチ技術の利用価値が高いとされているのが、e-commerce、つまり電子商取引である。これまで電子商取引といえばWebを使ったものだったが、これからは電話を使うものがメインになっていく。すでに数年前から音声による電話の案内業務などがAT&Tなどの電話会社で実用化されているが、今年これらの電話会社はこの技術だけでも200万ドルにも上るライセンス供与を予定している。各企業の電話問い合わせセンターの数は非常に多く、ここにスピーチ認識を使ったコンピューターを入れることで、人件費などを大幅に削減できるからである。さらに、この技術をセキュリティ認証分野で使用することで、電話一本で製品の売買が可能になっていくのだ。もはや買い物するのにパソコンは不要になるのである。

今月のビッグニュースは またしても現れたトロイの木馬

今月USでもっとも話題になったコンピューター関係のニュースは、新種のコンピューターウィルスWorm.ExploreZipだろう。発生からわずか1週間で世界中で数万台規模で感染したといい、そのウィルスが原因でMicrosoftやIntel、Boeingなど大手企業のサーバーが次々ダウンした。ゲームソフトベンダーののElecronic Arts（EA）では、全体のマシンの25％が感染したという。

ExploreZipは、イスラエルで6月6日（不吉な日だ）で最初に発見された。MicrosoftのExchangeやOutlook、Outlook ExpressなどのMAPIベースの電子メールソフトを経由して繁殖する。感染したコンピューターに対して電子メールを送信すると、メール送信側のユーザーにウイルスが埋め込まれた添付ファイル「Zipped-Files.exe」が付いた返信メールが届く。その返信メールのSubjectは、自分の送ったSubjectに「RE:」が付いたもので、メッセージ本文は次のようになっている。

Hi (受取人名)! I received your email and I shall send you a reply ASAP. Till then, take a look at the attached zipped docs. Bye.
こんにちは、○○さん、メールは確かに受け取りました。できるだけ早くお返事を差し上げますが、それまでは添付の書類をお楽しみください。それでは。

いわれた通りに添付ファイルを開くと、Worm.ExploreZipがWordやExcel、PowerPointのファイルなどをハードディスクから削除するという。しかも1台のPCがExploreZipに感染すると、短時間のうちに同じネットワーク上の別のマシンにも2次感染する危険があるというのだ。

これは犯罪であり、FBIも捜査を始めた。SymantecやNetwork Associatesでは，このウイルスを検出するためのソフトウェアアップデートをすでに配付。PCだけではなく、感染したWindowsマシンにファイル共有しているか、PCエミュレーションプログラム*1で開いた場合はMacも感染する恐れがあるのでご注意とのこと。

今月の MAC BEST 10 ニュース

No.1 P1、NYで出るのか出ないのか
7月のMACWORLD Expo New Yorkで出ると思われていた廉価版PowerBookだが、ASICが未完成で出荷が危ういとの噂。製品化自体危ないという話もあったようだが、出荷は無理としてもパイロットモデルはNYで見れるはずだ。

No.2 Mark Foster副社長が辞職
PowerBook担当副社長のMark Fosterが辞職。これでMacのハードのほとんどをGlen Mirankerが仕切ることになる。上のP1の責任を取ったのでは？　というもっともな憶測が流れた。

No.3 今年もMacHackが開催
「古き良き」という言葉がぴったりのデベロッパーの集いが今年も開催。ゲストのSteve Glass副社長を捕まえてQuickDraw 3DやMac OS Xのパッチトラップについて問い詰めている！

No.4 Tahoeの画像がインターネットに
Appleの次期大型液晶ディスプレイのTahoe（コード名）の画像がアップされた。青い空と雪に本体色が似ているからTahoeと名づけたわけですね。

No.5 450MHz版 Power Macintoshが出荷
3,000ドルで買える高速マシン。個人的にはDVDドライブを搭載した400MHzの方が欲しい。米国でもDVDのレンタルが増えてきているためだ。

No.6 JCPennyでもiMacを発売
全米に支店を持つ大手百貨店のJCPennyが秋からiMacをカタログ販売。その頃は何MHzになっていますやら。

No.7 PowerBookでMac OS Xを動かすのは今年は無理？
1999年に出るPowerBookではMac OS X Serverは動作しないという。Mac OS X Clientを待ちましょう。

No.8 AppleがCarbon 1.0d10SDKを配布
Mac OS Xに向けて今から開発しておけば、一儲けできるかも。

No.9 Photoshop 5.5は7月出荷
Mac版5.5は、Web用のイメージ作成ソフトImageReadyを統合して7月中旬発売の模様。

No.10 見逃しました！ Pirates of Silicon Valley
6.20にケーブル局TNTで放送された、若きJobsとGatesのドラマ。見事に見逃しました…。

*1 エミュレーションプログラム：異なるシステムでほかのOSをまねて動作させ、同等の機能やアプリケーションを動作させることができるようにするアプリケーション。Mac上で動作させるエミュレーションに、Virtual PC for WindowsやSoftWindows 95、Real PCなどがある。

VERSION UP
バージョンアップ

アクト・ツー バージョンアップ情報

アクト・ツーは、6月4日より、CD/DVD Drive TuneUp1.0.1の登録ユーザーを対象に、CD/DVD Drive TuneUp2.0.2アップデーターをリリースした。CD/DVD Drive TuneUp1.0.1のユーザーは、アップデーターを同社Webページから無償でダウンロードできる。
今回のバージョンアップでは、IDE接続の内蔵CD/DVD-ROMドライブ、iMacへの対応、キャッシュ機能とQuickTimeとのコンフリクト、PowerBookの拡張ベイでのApple CD-ROM機能拡張との問題などが修正されている。

株式会社アクト・ツー
03-3328-8431（サポートセンター）
http://www.act2.co.jp/

アジェンダ 宛名職人アップデーター

アジェンダでは、5月25日より宛名職人Ver.6最新版アップデーターの配布を開始した。これは、CD-ROMからインストールした宛名職人Ver.6のプログラムを最新の1999年4月9日版にアップデートするというもの。また、プログラムの他に、郵便番号辞書、大口事業所辞書、市外局番辞書も最新版が用意される。ともに同社Webページから無償ダウンロードできる。

株式会社アジェンダ
011-716-0171
http://agenda.co.jp/

CD-ROM Updater 亘香通商 バージョンアップ情報

■Mathematica for High Schools 3.0日本語版（Teacher's Edition）
技術系計算処理ソフトウェア「Mathematica Professional 3.0日本語版」の高等学校、高等学校の教職員の方向けの特別割引パッケージがリリースされた。価格は、49,000円。バージョンアップ料金は、3.0英語版から15,000円、2.2英語版から21,000円で、サービス期間は、平成11年9月末日同社必着分まで。

■ディスクエクスプレスプロ3.0.2
Mac OS 8、Power Macintoshに完全対応した、ディスク最適化ユーティリティー「ディスクエクスプレスプロ」の最新バージョン3.0.2がリリースされた。価格は9,800円。バージョンアップは同社Webページから無償でダウンロード可。

■ChemOffice 2000 Pro/Ultra
化学構造式描画、分子モデリング、化学情報の統合などを行なう、統合化学ソフトウェア「ChenOffice Pro/Ultra」の最新バージョン「ChemOffice 20000 Pro/Ultra」がリリースされた。価格はオープンプライス。アップグレード料金については、同社のアップグレード係まで。アップグレード申込期限は1999年9月末日まで。

亘香通商（株）
045-320-2711
http://www.senko-corp.co.jp/

アドビシステムズ Illustrator8.0Jアップデーター

アドビシステムズは、Illustrator8.0Jのアップデーター「Adobe Illustrator 8.0.1日本語版 アップデート」の配布を開始した。
8.0.1 アップデートには、Illustrator 8.0の出荷後に発見された問題点の修正と、いくつかの機能拡張が行なわれている。アップデーターは同社Webページ（http://www.adobe.co.jp/support/custsupport/download.html）から無償でダウンロードできる。

アドビシステムズ（株）
http://www.adobe.co.jp/

ヒューリンクス コンフリクトキャッチャー8

MacOS 8.6のリリースにともない、コンフリクトキャッチャー8が、バージョン8.0.4から8.0.5へアップデートされた。新バージョンは、MacOS 8.6に対応し、8.6用の新しいセットの追加やリンクが更新された。8.0.2J～8.0.4Jのユーザーは、同社Webサイトからアップデーターを無償でダウンロード可能。それ以前のバージョンを使用しているユーザーは同社まで連絡のこと。

（株）ヒューリンクス
03-3590-6499
sales@hulinks.co.jp
http://www.hulinks.co.jp/

コーシングラフィックシステムズ AgentMaker 1.2.0

コーシングラフィックシステムズは、Macintosh用の音声認識対応エージェント作成ソフトウェア「AgentMaker 1.2.0」のアップデーターの無償配布を開始した。
主な改良点は作成したエージェントにしゃべらせるセリフを吹き出しの形で表示する機能が追加されたこと。これによってエージェントとのコミュニケーションがより分かりやすくなった。
既存のAgentMaker正規ユーザーは、同社Webページからアップデーターを無償でダウンロードし、アプリケーションを新しいバージョン（v1.2.0）に更新できる。

（株）コーシングラフィックシステムズ
http://www.kohshin-graphic-sys.com/

メディアヴィジョン MacTools Pro5

メディアヴィジョンでは、Mac Tools Pro 5 日本語版/MacOS8.6対応版のアップデーターの配布を開始した。ver5のユーザーは、ver5からver5.0.1への無償アップデーターを同社Webページから無償でダウンロードすることができる。なお、Eメールで登録したユーザーには、アップデーターの配布開始をメールにて通知する。
4.x以前のユーザーは、有償アップグレードとなり、ver.4.0.5からは4.200円、ver.4.0.3以前のバージョンからは8,400円（ともに送料込み）となる。

（株）メディアヴィジョン
03-3263-0566
http://www.mvi.co.jp/

ソフトウェアトゥー バージョンアップ情報

ソフトウェアトゥーは、Extensis社のExtensis Suitcase 8Jのバージョンアップサービスの取り扱いを開始した。
バージョンアップで改良された点は、Mac OS 8.6へ完全対応、PostScript、TrueType、ビットマップなどのフォントの種類、書体のサンプル表示などが行えるなど。バージョンアップ料金は6,000円。

（株）ソフトウエア・トゥー

03-5676-2177
http://www.swtoo.com/

C A M P A I G N
キャンペーン

メディアヴィジョン キャンペーン情報

メディアヴィジョンでは、『MacTools5日本語版キャンペーン』を6月5日開始する。

このキャンペーンでは、現在販売されている、無償アップグレードシール添付の「MacTools Pro 5 日本語版」を購入したユーザーを対象にOS8.6対応版MacToolsPro5.0.1への無償アップグレードを実施する。また、無償アップグレードiMagic館のダイジェスト版も付属する。

応募方法は、MacToolsPro5パッケージ添付の無償アップグレードシールを登録ハガキに貼付して返送。MacToolsPro5.0.1発売時に、ver5.0.1アップグレードキットおよびiMagic館のダイジェスト版を送付する。

（株）メディアヴィジョン
03-3263-0566
http://www.mvi.co.jp/

エーアンドピー 具-満タンキャンペーン

エーアンドピーコーディネータージャパンでは、夏のキャンペーンとして、キャンペーン対象製品にもれなくプリンター専用ハガキ50枚がついてくる「満タンツイてるキャンペーン」をスタートした。対象となる製品は、具-満タン4+7ボリュームパック「ホーム編」9,800円（税別）、具-満タン4plus「グリーティング編」7,800円（税別）、具-満タン7「日本絵巻編」6,980円（税別）の3点。

エーアンドピーコーディネータージャパン（株）
03-5798-0210
http://www.apjapan.co.jp/

フォーサイト キャンペーン情報

フォーサイトは、QuicKeys ユーザーなら、場合によっては定価の半額以下でKeyQuencer製品版を購入できる、トレードアップ特別価格キャンペーンを実施中。

通常の製品価格 12,800円 のところをQuicKeys 3.5.2 日本語版ユーザーは、5,800円。上記より古いバージョンの日本語版ユーザーは、7,800円で購入できる。ただし同キャンペーンはFAXでの注文のみ。10月末日まで。

（株）フォーサイト
045-224-4955
FAX 045-224-4956
http://www.fsight.co.jp/

QuarkXPress キャンペーン情報

恒陽社グラフィック事業部、システムソフト、エムシーパソコン販売の3社は、合同で1999年6月16日より「QuarkXPress4.0日本語版 for Macintoshサンクスキャンペーン」を開始した。

このキャンペーンは、QuarkXPress4.0日本語版 for Macintoshをキャンペーン価格で販売するほか、抽選で毎月1名様にiMacをプレゼントするというもの。

キャンペーン対象製品である「QuarkXPress 4.0 日本語版 for Macintosh（オリジナルテレフォンストラップ付）」には赤いキャンペーンラベルを貼付。キャンペーン価格は218,000円（税別標準価格）。なお、キャンペーン対象商品は3,000本の限定出荷となる。
応募期間は12月末日必着。毎月月末日に抽選を実施する。
発表：http://www.koyoshagraphics.com/1999にて、毎月月初めに前月の当選者を発表。

プレゼント応募はがき郵送先
〒140-8661
東京都品川区南品川5-11-45
株式会社恒陽社グラフィック事業部
QuarkXPress4.0日本語版 for Macintoshサンクスキャンペーン係

（株）システムソフト
インフォメーションセンター
092-752-5264
http://www.systemsoft.co.jp/

エムシーパソコン販売（株）
DTPシステム営業部
03-3351-1551
http://www.mcpc.co.jp/

（株）恒陽社グラフィック事業部
03-5479-5283
http://www.koyoshagraphics.com/

イメージアンドメジャーメント キャンペーン情報

イメージアンドメジャーメントでは、映画、テレビ制作等ハイエンドの現場で活躍してきた老舗の本格派CGアニメーションソフトElectricImage 3Dの販売開始に当たり、同ソフトをキャンペーン特別価格で提供するという「今なら！今すぐ！キャンペーン」を実施する。

「今なら！今すぐ！キャンペーン」では、通常価格342,000円を208,000円で、「同キャンペーン（アカデミック版）」では、通常価格135,000円を115,000円で販売。キャンペーン期間は、9月10日まで。商品は、7月10日より店頭に並ぶ予定とのこと。
（株）イメージアンドメジャーメント
03-3365-3641
http://www.imi-jp.com/

ソフトウェア・トゥー キャンペーン情報

ソフトウェア・トゥーでは、6月末より「QuarkXPress4.0.5日本語版」を対象にMacintosh版3,000本、Windows版1,000本限定にて、218,000円（税別）の特別価格で販売する「QuarkXPress4.0.5日本語版特別キャンペーン」を実施する。また、MacOS版のみ3,000円のキャッシュバックも併せて実施する。

（株）ソフトウェア・トゥー
03-5676-2177
http://www.swtoo.com/

コレガ 3周年記念キャンペーン

コレガは、100M/10Mの8ポートハーフスイッチ「corega Fast SW-8PH」、全ポート100M/10M、Full/Half Duplex自動認識の4ポートスイッチ「corega Fast SW-4P」の販売を7月上旬より開始するに当たって、同社設立3周年キャンペーンの一環として、特別価格で販売する。

「corega Fast SW-8PH」は、標準価格17,500円を15,500円、「corega Fast SW-4P」は標準価格17,000円を15000円で販売。さらに4月に販売を開始した「corega Fast SW-8P」も同キャンペーンの一環として、標準価格26,500円を19,800円で販売する。期間は、8月31日まで。

（株）コレガ

INFORMATION

0120-267342
http://www.corega.co.jp/

Announcement
お知らせ

ミノルタDimage EX ZOOM1500 Ver.2

ミノルタは、デジタルカメラのOS「Digita」のバージョンアップにともない、 同社の製品もバージョンアップして発売した。
Dimage EX ZOOM1500 Ver.2/WIDE 1500 Ver.2は、2倍までのデジタル拡大機能を付加し（ZOOM1500のみ）、最高連写速度を秒3.5コマから秒7.5コマに拡大するなどの改良がなされている。

ミノルタ(株)
03-5423-7555
http://www.minolta-sales.co.jp/

アクト・ツー backPac/Transmit

■backPac 1.5 Trial
バックアップ＆シンクロナイズ ユーティリティー「backPac 1.5 Trial」のフリーダウンロードを5月28日より開始した。
試用期間は30日、機能制限はない。引き続き使用したい場合は、パソコンショップにて、製品版を購入のこと。

■Transmit 1.5J
オンライン販売で好評のMacintoshプラットフォームのNo.1 FTPクライアントソフト「Transmit 1.5J（トランスミット）」のパッケージ版の店頭販売を6月11日より開始した。
なお、同社Webページよりダウンロードできるオンライン版は30日間の試用（機能制限なし）ができる。Transmit1.0Jの登録ユーザーは、オンライン版をダウンロードすれば、無償アップグレードが可能。

（株）アクト・ツー
03-3328-8431（サポートセンター）
http://www.act2.co.jp/

ゲート FAXstf取扱中止

ゲートは、Smith Micro社によるSTF社の買収に伴い、6月7日よりFAXstfの取扱い、サポートが（株）アレクソンに移行されたことを発表した。STFサポートセンター、バージョンアップ連絡先は以下の通り。

（株）アレクソン
■ＳＴＦサポートセンター
東日本　03-5645-7498
西日本　0727-77-1075
■アップグレード受付電話番号
東日本　03-5645-7498
西日本　0727-77-1573

(株)ゲート
http://www.gate.co.jp/

ソネット 占いコンテンツの追加

So-netは6月3日に、人気の占いコンテンツのタイトルをまたひとつ追加した。今回追加されたタイトルは、【天運・人運・地運・外運・総運の五運格から占う姓名判断「トライアングルの姓名判断」】（http://www.so-net.ne.jp/sei mei/）。これを含め、99年6月現在、So-netの占いコンテンツは計21タイトルとなった。So-net接続会員はもちろん、一般会員（So-net接続会員以外）もSo-net情報会員に登録することで利用が可能。利用料金は同Webページを参照。

ソニーコミュニケーションネットワーク(株)
http://www.so-net.ne.jp/seimei/
E-Mail:seimei@so-net.ne.jp

デジタルミュージックフェア オンラインイベント

デジタルミュージックに関するさまざまな企業を集めた、期間限定の専門サイト“ Virtual MIDI WORLD ”が現在公開中（http://www.midi-world.com）。期間は6月1日から8月31日までの92日間。
これは、7月30日〜8月1日に開催されるデジタルミュージックに関する展示会「デジタルミュージック・フェア」（主催：社団法人　音楽電子事業協会、日本経済新聞社）のオンライン版として開催されるもので、約30社が参加する。
サイトには各出展社情報のほか、毎日更新のデジタルミュージック関連ニュースDTM（デスクトップミュージック）初心者を対象としたセミナー、ユーザーが集まるBBSなどを公開。また、希望者には「デジタルミュージック・フェア」無料招待券をプレゼント。詳しくは「Virtual MIDI WORLD」を参照。

デジタルミュージックフェア
運営事務局
03-5255-2847
tnari@koto.nikkei.co.jp

社団法人音楽電子事業協会
03-5226-8550
amei@po.iijnet.or.jp
http://www.amei.or.jp

エーアンドピー gu-mantan WEBオープン

エーアンドピーコーディネータ-ジャパンは、8月31日より新しいサービスとしてデジタルコンテンツライブラリ「gu-mantan WEB」をスタートさせる。
これは、パソコン用の総合素材集として定評のある「具-満タンシリーズ」のオンライン版。「gu-mantan WEB」は会員制だが、8月31日よりの本格稼働に備え、6月1日よりプレオープンし、8月30日までは誰でも利用できるトライアルサイト（http://www.apjapan.co.jp/）となっている。

エーアンドピーコーディネーター
ジャパン（株）
03-5798-0210
http://www.apjapan.co.jp/

フォントワークス MacOS 8.6対応状況

フォントワークスでは、アップルコンピュータからリリースされたMacOS 8.6上でのフォントワークスフォントの検証を行なった。
MacOS 8.5で発生した問題は、これまでのメモリ常駐型であった「丸漢ファイルL1」をディスク常駐型に変更した「丸漢ファイルL1」、現行製品に収録されている各フォントの「丸漢ファイルL1」をディスク常駐型に変更する「FW丸漢パッチ8.5」で対処したが、MacOS 8.6でも同様に「FW丸漢パッチ8.5」の使用が必要。MacOS 8.5/8.5.1上ですでにパッチ済みのスクリーンフォントを使用していた場合は、そのまま使用可能。「丸漢ファイルL1」、「FW丸漢パッチ8.5」は同社Webページ（http://www.fontworks.co.jp/n/support/update.html）からダウンロードできる。

（株）フォントワークスジャパン
インフォメーションセンター
03-5354-7604
http://www.fontworks.co.jp/

INFORMATION

MAC CALENDARイベント開催案内

	展示会名	開催場所	問い合わせ	
6／21（月）——7／29（木）	'99写真「人間の街」-NEO DOCUMENTARY-	ガーディアン・ガーデン	ガーディアン・ガーデン	03-5568-8818
7／21（水）——7／23（金）	MACWORLD Expo／NewYork '99	Jacob K. Javits Center	IDG WORLD EXPO	http://www.idgexpo.com/
7／21（水）——7／23（金）	国際ワイヤレス／モバイルソリューション展	東京ビッグサイト	E.J. クラウス&アソシエート日本支社	03-3586-7865
7／30（金）——8／1（日）	ぱそまる'99	東京ビッグサイト	日本経済新聞社事業局総合事業部	03-5255-2847
7／30（金）——8／1（日）	MIDI WORLD '99	東京ビッグサイト	日本経済新聞社事業局総合事業部	03-5255-2847
8／28（土）——8／29（日）	ハイパーフリーマーケット	吹上ホール	中部経済新聞社	http://www.adhoc.co.jp/HYP
8／30（月）——9／3（金）	Seybold Seminars San Francisco	Moscone Center	Softbank Forum	http://www.seyboldseminars.com/
9／7（火）——9／11（土）	WORLD PC EXPO 99	幕張メッセ	日経BP社	03-5210-8287
9／14（火）——9／16（木）	国際コンピュータ通信展	東京国際フォーラム	ICCC	http://www.iccc99.org/
9／17（金）——9／19（日）	東京ゲームショウ'99秋	幕張メッセ	コンピューターエンターテイメントソフトウェア協会	03-3591-1421
9／20（月）——9／24（金）	IGAS'99 国際グラフィックアーツ総合機材展	東京ビッグサイト	IGAS'99 事務局	03-3267-6231
9／29（水）——9／30（木）	LinuxWorld Expo／Tokyo '99	東京ファッションタウン	IDG WORLD EXPO	http://www.idgexpo.com/
10／5（火）——10／9（土）	エレクトロニクスショー'99	幕張メッセ	日本エレクトロニクスショー協会	03-5402-7601
10／6（水）——10／8（金）	Digital Studio '99	インデックス大阪	日本能率協会関西地域本部	06-6261-7151
10／6（水）——10／8（金）	CG OSAKA '99	インデックス大阪	日本能率協会関西地域本部	06-6261-7151
10／6（水）——10／8（金）	DIGITAL WEAR OSAKA '99	インデックス大阪	日本能率協会関西地域本部	06-6261-7151
10／6（水）——10／8（金）	デジタル生産システムフェア	福岡国際センター	日刊工業新聞社　西部支社	092-271-5715

クオークジャパン QuarkXPress4.0 フロッピーレスインストーラ

クオークジャパンは、6月11日、今後出荷されるQuarkXPress 4.0のMacintosh版には、新たに「フロッピーレスインストーラ」を採用すると発表した。

「フロッピーレスインストーラ」ではCD-ROMと「インストールデータシート」を使用してインストールを行う。なお、QuarkXPress 4.0 をすでに購入したユーザーも「フロッピーレスインストーラ」に交換することが可能。

クォークジャパン（株）
カスタマーサポートセンター
03-3476-9440
http://www.quark.co.jp/

NTT-ME情報流通 ピクチャーカード作成サービス「デジ丼」を開始

エヌ・ティ・ティ エムイー情報流通は5月12日より、オリエントコーポレーションが提供するインターネットを使ったピクチャーカード作成サービス「デジ丼」をgoo上で開始した。

「デジ丼」はインターネット上で、顧客が作成した画像データや用意されているアニメーションのキャラクター、タレントの画像をオリコクレジットカードのカード面に自由にデザインするという世界初のサービス。「デジ丼」でデザインできるオリコカードは、マスターカード、VISA、JCBの3種類（当面はマスターカードのみ）。費用はカード作成料金が900円、肖像権の使用料金は300円から。カードの年会費は1,250円、初年度は無料。

（株）NTT-ME情報流通
03-3278-3233
goo_info@nttx.co.jp

（株）オリエントコーポレーション
カード本部カード推進部
03-3989-2216
info-card@orico.co.jp

オンラインストアー 総合支援サービス

Eストアーは、インターネット上でお店を開く際の、諸々の手続き（商品受注・集金・集配・代金決済）を引き受ける、オンラインストアー総合支援サービスを開始した。

同サービスは、同社開発の「ストアツール」という支援プログラムを利用するので、ホームページ作成者が難しいCGIプログラムなどを自分で制作する必要がない。そのため、商品とホームページさえあれば、誰でも簡単に オンラインストアーを開くことができるという仕組みになっている。

（株）イーストアー
03-3359-9196
http://www.Estore.co.jp/

ついに出たiMacクローン（http://www.computers.com/reviews/features/0%2C173%2C0-0-1809-3%2C00.html?st.co.pcexpo.index.co_pg3）は、あまりに安易なデッドコピー的ボディーに包まれていた。もちろん、その小さな写真を見ただけでも、本当の意味でのデザインの完成度は比べようもないくらいに低い。それにしてもデザイナーは、どんな気持ちでこれをデザインしたのだろうか？いかなる気持ちであったとしても、この筐体に何かの夢を託した、などということは皆無に違いない。
世の中、いろいろな製品があり、さまざまなデザインがある。また、デザインの解釈も人それぞれだ。しかし、作り手が夢を託すことのできないデザインほどつらいものはないだろう。僕は、作り手の夢が詰まった製品だけを使っていたいと思う。

国産アクセサリー台頭宣言

今や注目株の日本のMacアクセサリー

かつて日本のユーザーは、アメリカで新しいMac関係の周辺機器やアクセサリーが発売されると、誰よりも早くそれらを手に入れようと努力したものだった（たいていは、EXPOで買って帰るのが一番早かったが）。

しかし、今や「O'Grady's PowerPage（http://ogrady.com/）」で知られるジェイソン・オグラディ氏が、初めて日本に来てそのPowerBookユーザーの熱さとアクセサリーの充実度に感心したり、こちらのiMacユーザー有志が、まだ輸出されていなかった頃のCozoスピーカーを手に入れようと内芝製作所に直訴したりと、アメリカのユーザーが日本の先鋭的なMacアクセサリーに注目するケースが多くなってきている。

そんな中、ついに日本からの（とは限らないが、今のところ実質そうなっている）Macアクセサリーを専門に販売するオンライン・ストアがオープンした。

MacInports.com（図1）がそれで、Mac関係の情報サイトMacOnlyを主宰するビル・フォックス氏が運営するものだ。

扱い品目は、OSTスイッチ（こちらではiReset Buttonと呼ばれる）やスパルタかます、PB 2400c用のトランスルーセントキーボード、静冷台、PB G3用の窓付きキャリングバッグなど、日本ではおなじみの品物ばかりだ。

ここには、他製品のコピーではない、独自のアイデアにあふれたプロダクトが並んでいる。Macだからこそ生み出されたこれらの製品群は、今、海を越えて、Macの生まれ故郷で注目されつつあるのである。

ちなみに、ソニーのVAIOノートRXには冷却用のインタークーラー・フラップというものが付き、パナソニックも冷却にインタークーラー搭載という記載があるらしい。もともとは自動車用語だったとはいえ、バード電子のヒット作の製品名を知らずに付けたとも思えず、そういうところにまで独自性のなさが出てきたかと思うと、何だか情けなく思えてくる。

That's My System

DaiMac vs. iCreeper

さて、日本からiMac用の台であるDaiMac（パワーサポート。同社オンラインショップ価格：送料、消費税込み13,800円。http://www.pawasapo.co.jp/）とiCreeper（バード電子。同B-Shop価格:8,900円＋送手数料1,000円。http://www.wild.gr.jp/~poke/）のサンプルが手元に届いたので使ってみた。

DaiMac（台Mac）は、前号でプロトタイプとして紹介したものの完成品。iCreeperは、PowerBook用のインタークーラーのテイストで作られた新製品だ（ファンは付かないが）。

まず、どちらもiMac用とは



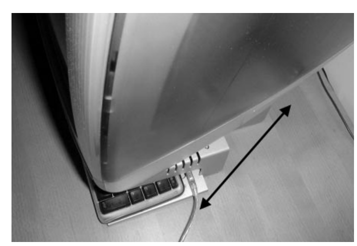
1●国産ソフトに続いて国産のMacアクセサリーも、その発想のユニークさや品質が認められてアメリカで販売されるようになってきている。これは、“the best from east & west”をモットーに日本製品の輸入販売を行なっているMacIn-ports.comのホームページ（http://www.macimports.com/home.html）



2●iMacではSuperDriveなどのおき場所に困っていたが、パワーサポートのDaiMacによってうまく収納できるようになった。モジュラーMacの本体の上にディスプレイを載せたような高さだが、人によっては画面がやや高めに感じられるかもしれない。左端はスマートメディア・リーダー



3●キーボードを収納したところ。棚の高さは、吊り下げる金具の長さを調整することで変更可能。SuperDiskドライブは脚まで含めると案外厚みがあるので、それに合わせて調整すると、キーボードの脚を畳んで収納することになるが、僕はちょっとしたトリックでクリアしている（本文参照）



4●DaiMacは、後部ユニットの幅を狭めることでiMacの尻すぼまりな形状に合わせている。また、キーボードの両端を左右にはみ出させるようにして、メインユニットの幅を抑えている。このため、全体形状は結構複雑で強度の確保に苦労したというが、その甲斐あってしっかりした作りだ

大谷和利の

PowerBook Diary

DaiMac vs. iCreeper、WWDC裏リポート後編、Pirates of Silicon Valley感想ほか

いえ、流行のトランスルーセントデザインではなく、がっちりとした金属製であるところがよい。iMacがトランスルーセントだからといって、周りをすべて透明物で統一する必要はないし、色だけを変更した安易な便乗商品よりは、このほうがずっと気が利いている。

両者を比べると、DaiMac（図2〜4）のほうは、機能性を優先して収納スペースの確保に力が入っていることがわかる。そのため、形状も複数のパーツ（アルミ合金＋鉄板）を組み合わせて、独特の存在感のある合体メカ風の外観となっている。

ドライブ系の周辺機器やメディアを収納できる中段の棚の高さは、吊り下げ金具の組み合わせを変えることで調整でき、最も下げた場合にSuperDiskドライブが入るようになっているが、全高を押さえるために、その状態ではキーボードの脚を畳まないと格納できない。

そこで考えたのが、棚の前部を吊る金具が長く、後部の金具が短くなるように組み合わせることだ。こうすると棚がやや前のめりになるものの、何とか脚を出したままでキーボードを突っ込むことができる。

もちろんメーカーが推奨している使い方ではないので各自の責任で使うことになるが、いちいち脚を畳むのが面倒という人は試す価値があるだろう。

一方のiCreeper（図5、6）は、その名の通りに地を這うような低いプロファイルが特徴で、構造もシンプルな1枚板。その代わり、素材に凝って3mm厚の純アルミ材が使われている。現在は、インタークーラーGTSなどと同じ白アルマイト仕上げだが、これでは採算ベースに乗りにくいので、工程を変更してコストダウンを図る可能性もあるとのこと。その意味で、初期ロットはコレクターズアイテムになるかもしれない。

上面は平らに見えるが、iMacの後脚が位置する部分だけ凹みが付いていて安定して置けるようになっている（この点は、DaiMacも同じだ）。

うちの場合、SuperDiskドライブの他にもUSB接続のスマートメディアリーダーなどがあって収納は必須だったので、iMacにはDaiMacを組み合わせることにしたが、iCreeperのスリムさも捨てがたいものがある（まさに、読者の皆さんが選択する際の基準も、そういうところに落ち着くだろう）。

そこで、思い立って、インタークーラーとの組み合わせを考えてみることにした（図7）。たとえば、椅子に対して低めの机を使っているような場合、PowerBookを載せたインタークーラーをさらにiCreeperの上に載せる。こうするとタイピングの高さもちょうどよくなる上に、ドライブ類の収納場所も確保できる。

あるいはスパルタかますと組み合わせてもよい。もともと省スペース効果のあるスパルタかますだが、さらに外付けしたキーボードも簡単に格納できて、便利である。

WWDC裏レポート（後編）

SFフリーマーケット事情

WWDC裏レポートの後編は、会期中に必ず1度は立ち寄るサンフランシスコ市内のフリーマーケットの話題から。

ここは、いつも中古（大古？）のコンピューターを持ち込む業者がいるのだが、今回はSE系の一体型Macが多かった（図8）。こんなところで商売になるのか、と心配になるが、素人の不用品交換市ではないわけで、それなりに動きがあるから店を広げるのだろう。これで掘り出しものの1つもある雰囲気なら、もっと真剣に見るところなのだが…。

天才の靴は不揃い

変わって、セッション内でのエピソード。スピーチ関連のテクノロジーが再びApple社の中で始動し始めたのは喜ばしいことだが、これ（図9）は、その開発チームを率いるデバング・ナイク博士だ。レオン・ラッセル（古い）ばりのいでたちで、いかにもハッカー然としているのだが、何の気なしに足元を見たら、左右の靴の色が違っていた。しかし、まったく気にする風でもないし、おそらくこれが普通の状態なのだろう。他人が考えないようなアルゴリズムを思いつくには、普段から他人と同じことをしていてはダメという、生きた見本かもしれない。



5●合体メカ的なDaiMacに対して、バード電子のiCreeperはシンプルな１枚板の構成で、前高も抑えられている。この形状で強度を出すために厚めの板が使われ、しかも曲げ加工に耐えるように合金ではなく純アルミが贅沢に使われた



6●iCreeperの場合、収納はキーボードのみ（＋後方にUSBハブなど）で考えられている。あるいは、キーボードの代わりにドライブ類を収納するような使い方もある。キーボードを全部カバーしたかったとのことで、幅はそれなりにある



7●iCreeper本来の使い方ではないが、僕はインタークーラーと組み合わせて使うことにした（板厚の差に注目）。椅子と机の高ささえ合えば、PowerBookのメディアベイから外したドライブやメディアなどの、とても便利な収納スペースになる



8●WWDC前に立ち寄った、おなじみのサンフランシスコ市内のフリーマーケット。土地柄かMacが多く、ノーマルのSEやII cx、そしてHPのプリンターなどが目につく。価格はチェックし忘れたが、動くかどうかの保証もない



9●これは、Apple社内でスピーチテクノロジーの開発グループを率いるデバング・ナイク博士だが、足元に注目！　左右で色違いの靴は、あわてたのか、趣味なのか。天才的な発想には既成概念にとらわれない思考（嗜好）が必要なのかも？

新VJプログラム？

WWDCのセッションの幕間の様子というのは、あまり伝えられることがないが、実は結構な音量でロックミュージックが流れ、Mac関係の物知りクイズなどがスクリーンに映し出されていたりする。ところが、今年はそれに加えて、得体の知れない映像（図10）が流されていた。最初は単なるイメージビデオを再生しているのかと思ったが、よく観察していると音楽に合わせて波形やエフェクトが変化しているようだ。そのうちに、チラッとエディット画面が映ったりして、これがリアルタイムで作られているシーケンスだと判明した。

それにしてもエフェクトのかかり方は非常に高速かつ滑らかで、アナログっぽい動きをする。VJ（ビデオジョッキー）の人が見たら、自分のレパートリーに加えたいと思うのではないか。

あるセッションで、「これはBitHits社のSoftSynthである」と言ったような気がしたのだが、あとでインターネットを検索してもそういう情報は出てこなかった。そういうわけで、正確なところは不明だが、Power Mac G3のパワーを活かした新ジャンルのアプリケーションであることは間違いない。

デジタルビデオ編集に飽きたら、インスタントVJ。今年後半の要チェックソフトになるような気がする。

ミニAppleミュージアム

クパティーノに移動してのパーティでは、会場となったR&Dキャンパスの一角にApple製品のミニ・ミュージアムもあった（図11、12）。

機種的には取り立てて珍しいものが飾られているわけではなかったが、唯一、木製のApple III（おそらく最終デザインを採寸して金型を起こすための木型）というのは初めて目にする存在だった。こういうものを展示できるのは、やはり本家Apple社ならではの強みだ。ジョブズは、過去を振り返りたくないだろうが、Expoの際などに、この種の秘蔵品がブースのそこここにさりげなくオブジェ的においてあっても面白いのではないかと思った。

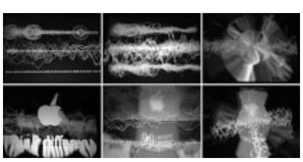
サイエンス・ミュージアムにて

パーティー好きのApple社は、別の日にWWDC会場の目と鼻の先にあるサイエンス・ミュージアムでも異なるパーティーを開いた。

シリコンバレーのコンピューターメーカーなどがスポンサーとなっているサイエンス・ミュージアムは以前からあったのだが、昨年までは古い建物の内部を改装して使っており、今ひとつ魅力に欠けていた。ところが、再開発ですぐ近くに新館が建てられ、IMAXシアターをはじめとする最新設備を備えた先端施設に変身したのである。

エントランスに入ると、まずホールにはおなじみの並びでApple製品が置かれ（図13）、人なつっこいロボット（図14〜16）に挨拶される。吹き抜けには36インチはある大型のディスプレイ（図17、18）が絶えず何かを映し出しながら上下に動き回っている。

わざわざこのパーティーのために用意したらしい展示の目玉は、ギネスビールを自動的に注いでくれるPower Mac G3型のビア・ディスペンサーだった（図19、20）。その他にも科学系のミュージアムらしく体験型の展示が多いのだが、コンピューター上で自転車をデザインする



10●セッションの間の休憩などにスクリーンで流されていた、リアルタイムのビデオエフェクトシーケンスの映像。詳しい構成は不明だが、時折見えたエディット画面では、表示する静止画のファイル名や、表示パターンの基本アイテムらしきものがリスト的に並び、外部からのサウンドデータによってさまざまに変調されるようだ。VJ用の新ソフトか？



13●WWDC会場の向かいにあるサイエンス・ミュージアムでも、別のパーティーが行なわれた。これはホールに並んだiMacとPower Mac G3。この並びを写真に収めると、いつもどこかで見たような構図になってしまうが…



14●ノーフラッシュなのでちょっとブレている、サイエンス・ミュージアムのフロアを動き回っているロボット（色はボンダイブルー・メタリックとでもいう感じ）。どこかで無線操縦しているらしく、相手になりそうな人を見かけると近寄ってきて話しかける



17●ミュージアム内の吹き抜けに設置された大型のフラットパネルディスプレイ（プラズマディスプレイのようだ）。最下階で演奏するミュージシャンの演奏が映し出されていた



18●このフラットパネルディスプレイが面白いのは、垂直のガイドレールに沿って吹き抜けを上下に移動したり、スクリーンの向きを変えたりできる点だ。ビデオカメラも付いており、時には画面を見ている本人が映ることもある



19●すでに報道しつくされた感もあるが、やはり紹介しておきたいPower Mac G3の筐体を利用したギネスビールのディスペンサー。コップの有無やビールの量を左右に突き出たセンサーで感知して自動的に注ぎ方がコントロールされる



20●こちらは、（初公開の？）その舞台裏。ビールのコンテナは大型のポリバケツの中で冷やされ、高速ネットワーク回線と見まがう各種のホースやケーブルがつながれている。裏方が大変なのは、どこの世界でも同じようだ



21●天井から吊り下げられているので見やすい角度で撮れなかったが、ミュージアムにはここ何年かの自転車の進化の過程が実車で展示されている。これはEV Worriorと呼ばれる電気自転車で、日本のパワーアシストサイクルに比べると無骨だが、油圧ブレーキを備えるなど質実剛健さが売りものだ



11●ビールパーティーの会場となったR&Dキャンパスの一部に設けられていた歴代Apple製品のミニ・ミュージアム。手前からApple III、Apple IIc、そして初代Mac。Apple IIIは何と本体、ディスプレイともに木製のモックアップだ



12●こちらは、手前からLisa、Apple I（ボディはオーナーの自作）、そしてその基板（だったと思う）。こうしてみると、Lisaと初代Macのデザインテーマは似ているとはいえ、いかにMacのパッケージングが革新的だったかわかる



15●これでコントロールしているわけではあるまいが、ロボットのお腹には（旧）PowerBook G3が組み込まれていて、キーボードインプットなどを受け付ける。その上の乳白色の部分はスクリーンではなく、単にApple社のステッカーが貼ってあるだけ



16●さらに子細に覗いてみると、PB G3の液晶ディスプレイ部は取り外されておらず、後方に倒した状態で固定されていた。映像出力は、頭部に取り付けられたApple Design Studio Displayにつながれているようだ

というコーナーに合わせて、頭上に最近の自転車の進化を10数台の実物（図21）でディスプレイするなど、自在の演出が光る。
もしサンノゼに行かれるチャンスに恵まれたなら、わざわざ時間をとっても見る価値は十分にあるだろう。

米取扱店新展開

WWDCでは、新たに大型家電ショップのFry'sがApple製品のストア・イン・ストアをオープンすることと、全米にチェーンを持つカタログ販売の老舗SearsがiMacの販売を開始することが発表された。
Searsの偉いところは、それを受けて自前でiMacのTVCMを作って放映している点だが、一方のFry'sも、Compu USA以上の売り場面積を確保して、Apple製品の販売をアピールしていた（図22）。

なぜか気になる電源ユニット

これ（図23）は、オマケ的なカットだが、WWDCのメイン会場を歩いていて、ふと目に留まった電源の降圧分配延長ケーブルモジュールである。
20年程前に、ハイテックと呼ばれる、工業製品を一般生活の中に取り込もうとするインテリアのデザイン運動のようなものがあって、その洗礼を受けた僕としては、こういうものを見ると妙に惹かれる部分がある。これのミニチュアのような電源タップがあれば、すぐにでも欲しいと思うのは、僕だけだろうか。

デジタルフォトの部屋

ルパン三世の「裏側」

ということで、最後に、本誌でも「MacLife関西」パートの編集長として活躍し、最近ではサンノゼに拠点を移して得意のアポ無し取材で対象に鋭く切り込んでいる、KNNの神田敏晶さんの近影を2枚（図24、25）。
彼は取材の時には目立つように（？）と必ず真っ赤なジャケットを着ているので、一部でルパン三世と呼ばれているが、そのジャケットの裏側は何と豹柄なのであった。サービス精神が旺盛な神田さんは、わざわざジャケットを裏返しで着て撮影に応じてくれたのだが、突撃取材はやはり体力と神経をすり減らすもの。今後とも元気で、活きの良い情報を日本に届けて欲しいものだ。



22●CompuUSAのように、大型家電ショップのFry'sもApple製品のストア・イン・ストアを開始した。これは、サンノゼとクパティーノの中程にある、新装開店なった最新の店舗。土地があるのでワンフロアで構成され、この区画で売り場面積全体の1/20程度であろうか



23●WWDC会場で使われていた電源の降圧分配延長ケーブルモジュール。どうということはない工業用の製品だが、そのヘビーデューティーな作りに何となく惹かれてしまう



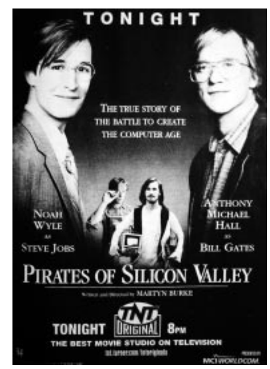
24●サンノゼに拠点を移して活躍中のビデオジャーナリスト、神田敏晶さんの近影。取材仕事中のトレードマークとなっているルパン三世ばりの真っ赤なジャケットには、意外な秘密があり…



25●…実は裏地は豹柄のアニマルプリントで、もっとド派手なのであった。別にリバーシブルではないのだが、取材対象によってはこのほうがよいですよとアドバイスしたところ、このサービスカットと相成った。場所は変われど、元気です



26●5月末に訪れたラスベガスで見かけたコカコーラのプロモーション用ロボット。仕組みは先のミュージアムのものと同じで、どこかで無線操縦されて話しかける。この手のロボットは、ちょっとしたブームのようだ



27●6月20日にターナー系のケーブルテレビ局で放映されたPirates of Silicon Valleyの予告広告。ジョブズとゲイツ役の俳優は、この写真ではあまり似ているように見えないが、劇中では特にジョブズの演技がなかなか頑張っていた

From My PowerBook Diary

PowerBook日記から

5月27日　バケーション（といっても〆切りはついて回る）で、アメリカ中西南部へ出発。ラスベガスとグランドキャニオンの20年ぶりの再訪とサンタフェを巡る旅である。旅先での出来事は、Web CG（http://www.nigensha.co.jp/webcg/index.html）のコラム（第28、29回）を参照のこと。
6月20日　かねてより評判となっていたTNT（テッド・ターナー経営のケーブルテレビ局）のオリジナルドラマ“Pirates of Silicon Valley”（シリコンバレーの海賊たち。図26）の一般放映日。下馬評では、ジョブズが移り気で冷酷に描かれ過ぎており、ゲイツに同情が集まるのではといわれていたが、実際のドラマを見る限りでは、まずまず公平に扱われているのではないかと感じた。
特に、ゲイツがIBMやApple社でさえも騙して自らの目的を遂行していく過程は、それがそのまま事実ではなかったとしても、かなり辛辣な描き方がされている（ゲートを離れた飛行機に乗るために、窓口でありもしないコンピューターウイルスのウソを並べ立てて、まんまと成功するというエピソードまである）。
妙なキーコンビネーションでMacPaintの画面に“Hello!”の文字が一瞬で表示されたり、Mac OSのメニューをプルダウンするたびにビープ音がするなど、どう見てもおかしな場面もなきにしもあらずだが、映像を通じて「あの頃」を追体験できるというのはやはり興味深い。難点は、Apple社の社名の由来に言及せず、初代Mac発表からいきなり1998年に飛ぶエンディングか。
日本での公開がいつになるのかわからないが、放映の折にはぜひ見られることをお薦めする。

「究極のMac道を目指して今日も頑張るぞ」
「ガッテンでさあ、ご隠居！」
Macユーザーが抱える難問奇問に長屋の住人たちがずばりお答えします。

あ★かるいMac道のススメ・其ノ十六

文・塩川 泉／絵・まつむらまきお

みんなのアイドル、お鈴でえす。左にいるご隠居さんは、あたしのおじいちゃんなのよ

長屋のご意見番、Macの生き字引とはわしのことじゃ。Macのことならなんでも知っとるぞ

ども、大工の留吉っす。「だいく」じゃなくて「でぇく」って発音してくれると嬉しいな

やっほう、あたし魅亜（みあ）。なりはちっこくても齢ン百歳、由緒正しい猫又なのさっ

MACLIFEが100冊近くあり、場所とって困っています！



あれえ、ご隠居ぉ、今日はまた季節外れの大掃除でやすか？

いやな、購読しとるパソコン誌がかなり溜まってしもうたんで、ちと整理しようかと思っての。お鈴も手伝ってくれとるんじゃ。

なあるほど。週刊誌や月刊誌ってやつは気付かねえうちに、大量に溜まっちまいますからねえ。

おじいちゃ〜ん、ここで山になってる『MACLIFE』もみんな、まとめて捨てちゃうわよお。

わあぁ、待った待ったあ。その『MACLIFE』は捨てちゃいか〜ん！

そ、そうだそうだ、おいらたちの連載が載ってる『MACLIFE』を捨てちまうなんて、そんな罰当たりなこたぁしちゃいけねえよ。

あたしだってなにも、比較的新しい号を捨てようとは思ってないわ。あたしが捨てたいのはこの、大昔の『MACLIFE』よ。

うっひゃあ、これまた古い号がたくさん並んでるなあ。あ、創刊号なんておいら、初めて見たよ。

当時はまだ季刊、つまり1年で4冊しか発行されなくてな、厚さもこんなに薄かったんじゃよ。

そうねえ、創刊号くらいは記念に取っておいてもいいかな。でもさ、「漢字Talk7登場」とか「OpenDocの実力」とか、今さらそんな記事を読み返すことはもうないでしょ？

そりゃまあ、そうなんじゃが……。しかしじゃな、あれはいつ頃の話じゃったかとか昔のことを調べようと思ったとき、



古い号があるとけっこう便利なんじゃよ。

なんか話が抽象的で、おいらにはしっくりこねえなあ。ねえご隠居、具体的にはどんなこと調べるんすか？

たとえばほれ、ここの絵師と文士が初めて組んだ記事が掲載されたのは1994年の5月で、その後もずっと連載が続いているとか、過去に起こったいろいろなことがよおくわかるぞ。

そんなつまんねえ話、誰も知りたがるとは思えねえけどなあ。

今は1999年だから……。じゃあなに、もう5年以上も一緒に仕事してるってわけ？　これって、典型的な腐れ縁ってやつよねえ。

腐ってるも腐ってる、もうドロドロに腐りきってらあね。それにさ、そんなに長いこと一緒に連載記事を書くやつも書くやつだけど、そんな連中にずっと仕事を依頼するほうもどうかしてるやね。こら〜、責任者出てこ〜い。

あ〜これこれ、滅多なことは口にするもんじゃない。連載が打ち切りになったらどうするんじゃ、まったく。それに、問題の視点がしっかりずれとるぞ。

じゃあ話を戻しましょ。あたしはやっぱり、昔のパソコン月刊誌なんかどんどん捨てちゃうべきだと思うな。

そうそう、お鈴ちゃんの言うとおりっすよ、ご隠居。それにね、みんながそうやって古い『MACLIFE』を捨てちゃえばこの連載が単行本になったとき、よりたくさん売れるってもんでさあ。

おお、その手があったか！　さすがのわしも、そこまでは考えておらんかったわい。留、お主も案外ワルよのお。

へっへっへ、それもこれもみんな、ご隠居の日頃の仕込みがいいからですぜ。

んもう、単行本化の話なんてまだこれっぽっちも出てないうちから、なに馬鹿なこと言ってるのよ。ほら、これみんな捨てちゃうから、縛るの手伝って。

やっぱり捨ててしまうんか……。えええい、古い『MACLIFE』を溜め込んどる読者諸君、諸君もわしに付き合って、みんな捨ててしまうんじゃぞ！

なんかヤケになってやしませんか、ご隠居。口調が投げやりですぜえ。

タバコを吸いながらパソコンを使うと やっぱり悪影響がありますか？

ご隠居もお鈴ちゃんも、タバコは吸いませんよねえ。

なんじゃい、藪から棒に。そういう留だって、タバコを吸ってるところなんぞ見たことないぞ。

いえね、うちの棟梁がけっこうなヘビースモーカーでして、マックを使いながらタバコを吸っていいもんかどうかで、いつも悩んでるんすよ。おいら、自分では吸わないから、どう答えたらいいかぜんぜんわからなくって。

ふむ、内蔵ファンがタバコの煙を吸い込むことで基板にも煙の微粒子が付着してしまうから、影響がまったくないわけではないじゃろうが……。具体的にどんな影響があるのか、わしもようわからんのじゃよ。

フロッピーディスクのヘッドが汚れて、ディスクの読み書きができなくなっちゃうってこともあるみたいね。

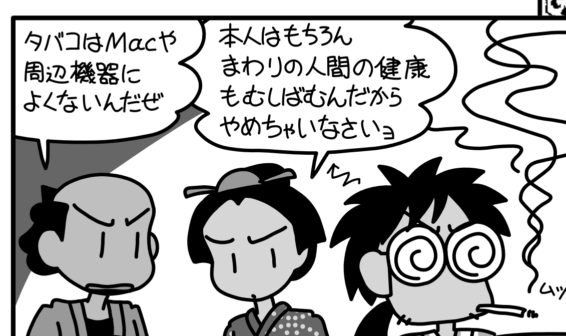
それにじゃな、いつの間にかモニターの表面が汚れてしまったり、落ちた灰がキーボードの隙間に入り込んでキーの反応が悪くなったりと、本体よりもむしろ周辺機器の方に悪影響が出るかもしれんな。

それじゃあマックの前でタバコを吸い続けても、故障の原因になるってことはないんすね？

さっきも言ったように、タバコの煙によってマックにどんな影響が出るか、そこんとこはようわかっておらんのじゃよ。じゃがな、まったく影響しないってことはないはずなんで、できることならあまり吸わんほうがええじゃろうな。

だいたいね、マックよりも先に、吸ってる人の健康を心配したほうがいいのと違う？　あんな健康に悪いもの、即刻やめるべきだわ。

そりゃあそうなんじゃが、個人の嗜好の問題なんじゃからあまりきついことも言えんじゃろう。周りの人に迷惑をかけないような環境で吸っておるなら、あとは当人の考え方次第ってところじゃな。



この原稿書いてる文士もスモーカーだからって、そんな弱気になることないんじゃないの？

い、いや、そういうわけではないんじゃが……。こら留、なんか違う話はないんか？

じゃあですね、マックのそばでお線香を焚くのもやっぱり、あまりいいことじゃないんすか？

あ★かるいMac道のススメ・其ノ十六

まあ、朝から晩までずっと線香を焚き続けとるような家はないじゃろうから、それくらいなら構わんじゃろ。

あれ、留さんの部屋に仏壇なんてなかったじゃない。誰か亡くなったの？

いやね、毎月毎月これだけお世話になってんだから、ご隠居がぽっくり逝っちまったら仏壇作って、毎日線香あげようかと……。

ふうん、留さんにしてはなかなか殊勝な心掛けね。あたしもときどきお線香あげにいっていい？

お鈴は自分ちの仏壇を拝めばええじゃろうが……て、そうじゃなくてじゃな、縁起でもないからそういう話で盛り上がらんでおくれ、頼むから。

ご隠居が話を変えろっていうから……。ところで、ゴキブリやダニを退治するとき、火を付けて煙を充満させるタイプの殺虫剤ってありやすよね。あれもやっぱり、マックに影響するんすか？

そうじゃのお、マックの電源が入ってなければ大丈夫と思うが、念のためにビニール袋とかかぶせておいてから焚いたほうがええじゃろうな。

それじゃやっぱり、マックの横でサンマを焼くときも何かで覆ったほうがいいんすね？

どうしてそう次から次へと、変なもんばかり焚きたがるんじゃ、お前は。マックの薫製でも作ろうってのか？

あ、それってナイスアイデアっすよ、ご隠居。飴色に輝く、薫製マック……。マニアに高く売れるかもしれない。

ただ単に汚れてるだけじゃないの。そんなマック、誰も買やしないって。



新製品が出るたびにほしくなってしまいます。物欲を抑える方法を教えてください！

ねえ、お鈴ちゃん。今度出たJavaカラーのPowerBookって、なかなかだと思わない？

うん、思う思う。光るアップルマークがキュートでかわいいし、スケルトンのキーボードもお洒落だよねえ。

それにさ、上位機種ならDVDも見られるし、バッテリーを2個積んだら連続で10時間も動くんでしょ。すっごいなあ。

おじいちゃ〜ん。あたし、あの新しいPowerBookがほしい〜。ねえ、買って買ってえ。

ご隠居さあ〜ん、あたしにもPowerBook買ってえ。ねえねえ、ねえったらあ。

そ、そう簡単に言ってくれるな。「買って」と言われてほいほい買ってやれるような値段じゃなかろうが、あれは。それに魅亜、お前さんにPowerBookをねだられる覚えはないぞ、わしゃ。

ちぇ、ばれたか……。でもさ、夏のボーナス時期って新製品が次々と出てくるから、ついいろんなものがほしくなっちゃうよね。

そうそう、プリンタもそろそろ新機種にしたいし、新しいソフトも買いたいなあ。

そんな、のべつまくなしに物をほしがっておったら、いくら資金があってもぜんぜん足りんじゃろう。

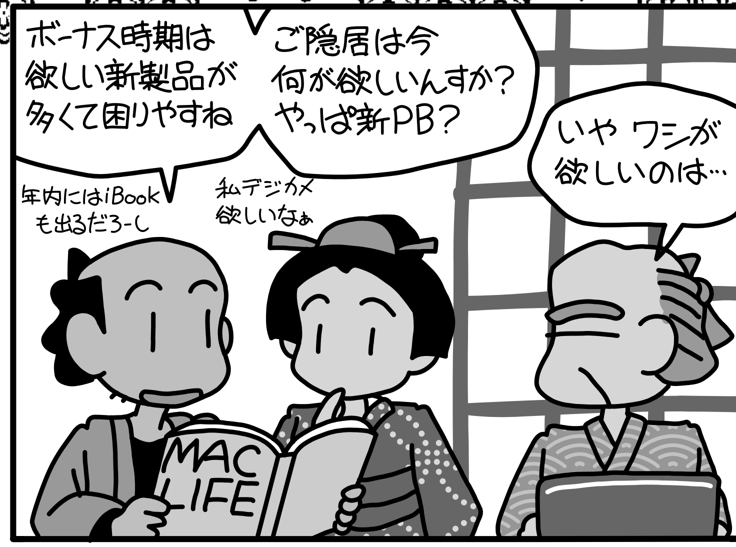
問題はそこよ！　お金はないけど、ほしいものはほしい。これって、なんとかならないかしら。

しょうがない、例の手で手っ取り早く稼ぐとするか……。

例の手って言うと、妖艶な美女に化けて金持ちのおじさんをだますとか、コギャルに化けてすけべなおっさんに貢がせるとか？

あ、危ないからそういう話はよそでやっとくれ、よそで。

ふっふっふ、そんな手間のかかることしやしないわよ、あたしは。怪物に化けて、「命が惜しかったら金を置いてけ〜」て……。



そりゃ犯罪じゃよ。このコーナーから逮捕者なぞ出してしまったら、読者に顔向けできんじゃないか。

いくら200年も生きてるとはいえ、所詮は猫又よね。発想が貧困だわ。

じゃあじゃあ、お鈴ちゃんならどうやって手っ取り早く稼ぐのよ。

そうねえ。このコーナーごと一般誌に身売りするってのはどうかしら？　パソコン専門誌と違って一般誌は、ギャラがたくさん出るって話よ。

それ、それっていいかもしれない！あたしたちの実力と魅力をもってすれば、すぐに人気沸騰だわ。

でしょ。すぐに単行本化されて、キャラクターグッズとかも売り出されて……アニメ化だって夢じゃないっ！

そうなったらPowerBookどころか、一戸建ての家だって楽勝で買えちゃうよね。

よくもまあ、そんなありもしない話で盛り上がれるのお、お前たちは。こんなちゃらんぽらんな連載を引き受けるような一般誌なんぞ、ありゃせんわい。

それってなに、あたしたちの連載を掲載してる『MACLIFE』はすちゃらかな雑誌だって、そう言ってるわけ？

そうよそうよ、それって編集部の人たちや愛読者の皆さんに対して、とっても失礼な発言よ。

い、いや、そうじゃなくてじゃな、こんな連載でも掲載してくれる『MACLIFE』にはとても感謝しとるし、こんなに長続きしとるのもみんな読者諸君のおかげで、そうした人たちを見捨てるような真似はできんと……。

そりゃそうかもねえ。じゃあさ、レビュー記事をがんがん引き受けて、貸してもらった機材やソフトをそのままガメちゃうってのはどお？

魅亜、あんたがそれやると洒落になんないから、やめといたほうがいいわよ。

どしてどして？　どうしてあたしだと、洒落になんないのよ？

お前、200年も生きとる猫又じゃろ？それじゃネコババの生きた見本になってしまうぞ。



質問募集のお知らせ

このコーナーでは，みなさんが普段から疑問に感じている質問を電子メールで募集しております。「最近のAppleはGAPから取締役を引っ張ったり、Swatchとキャンペーンを行なったりとコンピュータメーカーらしからぬ動きをしていますが、その真意は何？」とか「ウルトラスリムPowerBookって何のことですか？」といった難問奇問に，いろんなキャラクターが誠心誠意（？）答えますので，ドシドシご応募ください。採用された方にはマドマド星人マグカップを差し上げます。メールアドレスはmaclife@bnn.co.jp。メールの題名は「Mac-Do」としてください。

大江戸呑気帖

まつむらまきお



KandaNewsNetwork

The smallest digital TV station in the world
http://www.knn.com/

デジタルTVの嵐の前に、ビデオレコーダーの業界にデジタルの波が押し寄せてきました。あなたのテレビは今日からスマートなTVになる時代です。



▼今月はどこから何をリポートするのか？ 世界で一番小さなデジタル放送局が巻き起こす、奇想天外で型破りなMacintosh LIFE！

kanda News Network
神戸発！　世界で一番小さなデジタル放送局

神田 敏晶
URL:http://www.knn.com/
mail:kanda@knn.com

KNN OF THE MONTH

「米国では一足早くスマートTV時代へ突入！

TiVo VS replay

日本では新しいデジタルTV時代の幕開けで騒がれていますが、この新しいテレビのコンテンツについての話は、なかなか見えてこないのが現状です。米国のケーブルTVは何百ものチャンネルが存在していますが、実際に見ることのできる番組は限られています。むしろ、TV側にもっと便利な機能がないのかな、と思っていたところに、「スマートTV」と呼ばれるデジタルビデオレコーダーが米国TIVO（ティボ）社とReplay Network社から登場してきました。

このTIVO社は、シリコングラフィックス社の副社長であるマイケル・ラムゼイ氏が起した会社です。Replay Networks社は、iband社を創設し、ドリームウイーバーを開発、Macromedia社の副社長であるアンソニー・ウッズ氏が起した会社なのです。

この2社に共通するのが、巨大なハードディスク上にテレビコンテンツを収録し、好きな時に見ることができるという、いわばビデオカセットレコーダーのデジタルハードディスク記録版という特徴を持っていることです。WindowsでもTV番組録画ができるマシンが登場してきていますが、この2社の製品はコンピューターではなく、単体で録画できるマシンなのです。

内部に組み込まれたMPEG-2のリアルタイムエンコーディングとデコーディング回路、さらにハードディスクの低廉さがこのようなデジタルビデオレコーダーを生みだしたといえます。

スマートTVがいままでのビデオと違うのは、ハードディスクだけではなく、双方とも電話回線でEPG(エレクトリックプログラミングガイド)と呼ばれる番組ガイドを毎日ダウンロードし、TV番組の予約が簡単にできることです。

毎週見る番組はサムアップ（Good）ボタンを押せば、自動的に毎週録画されます。見たくない番組があったらサムダウン（Bad）ボタンを押せば、番組ガイドから永遠に消去されてしまい、TVに写らないようにすることもできるのです。この情報はデータセンターに集められるので、今後は視聴率ではなく、番組消去率というものが登場するのかもしれません。

番組はいつでも好きな時にランダムアクセスで再生したり、スローモーションができたり、10分遅れでビデオを見たり、コマーシャル時間をカットして番組を楽しむこともできるのです。自分が録画した番組を番組表に表示する機能もあります。

こんなスマートTVが登場したことによって、ひとつのチャンネルを見つづけるという視聴習慣は変化せざるをえなくなりました。デジタルTVの嵐にアクセラレートがかかる状況をかいま見た次第です。



TIVO社のCEOマイケル・ラムゼイ氏。海外のCEOは自らトップセールスに励む。プレゼンテーションでは自社製品の魅力を最大に引き出す。シリコングラフィックス社では副社長を努めていた



Replay Networks社のアンソニー・ウッドCEO。「スタートレック」を録画しそこなって、この事業のアイデアを生み出した。HTMLエディター「ドリームウイーバー」も、彼の手によって生まれた

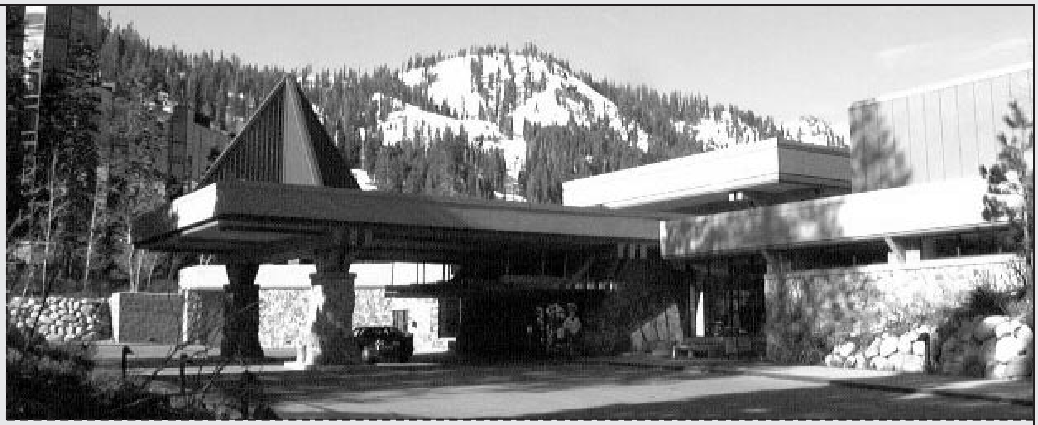


「Replay TV2000」出荷直後のビアバーストでのReplay Networks社のメンバー。ポール・アレンやマーク・アンドリューセンらの出資がベンチャーキャピタルの話題も集めた。



Replay Networks社　（http://www.tivo.com/）から販売されるパナソニック社製スマートTV、Replay 2000。普通のケーブルTVや衛星放送受信アダプタと置き換えて接続する。録画10時間モデルで699ドル、録画14時間モデルで899ドル、28時間モデル。このモデル以外にTIVO社から、フィリップス社製録画14 時間モデルで499ドル、録画30時間モデルで999ドル（http://www.tivo.com/）も販売されている（どちらも現在は米国だけの発売。日本での展開は未定）

海外に見る！



専門特化するカンファレンス最新事情

これまで数多くの海外の展示会やカンファレンスをまるでサーキットのように巡回してきましたが、最近の傾向として、ターゲットを明確に顧客を手厚く迎えるカンファレンス形式がよく成功していると感じるようになりました。参加料も展示会の2〜３千円でなく、いきなり10〜20万円クラスで、宿泊食事込みの日程で２泊３日というケースが多くなってきています。

これはもう、製品を見て調べて購入するという単純なものから、参加者同士が情報を交換しあい、相互にそのカンファレンスの中でマッチングを行なうビジネスが発生しているからといえるでしょう。

サンフランシスコで5月に開催されたマクロメディアのユーザーカンファレンスでは、AOLのマーク・アンドリューセンCTOがキーノートに立ち、shockwave.comのコンテンツのクリエイターたちが一斉に集いました。ここまでは通常の展示会でした。

しかし普段は展示会場となる場所が、このカンファレンスでは、ランチ会場と変身しました。しかもテーブルがプログラマーやデザイナー、セールス&マーケティングというように色別され、各自テーブルにすわった全世界の同業者と情報交換ができるように構成されているのです。そして毎晩のようにハッカーズナイトというイベントが深夜にまで開催され、この3日間で交流はとても深まります。

ネバダ州のレイクタホで５月に開催された有力ベンチャー誌「レッドヘリング」の「Venture'99」は、シーズンオフのスキーリゾートを借り切ってのカンファレンスです。朝８時から夜は2時まで、それがまた3日間繰り広げられます。

また、シーズンオフのリゾート地は、カンファレンスには最高のシーズンともいえるでしょう。5月でも雪が残るレイクタホではスキーリフトは動いていますが、スキーをする暇がある人は誰もなし。ベンチャーキャピタルとアントレプレナーがビジネスプランを片手に昼夜を問わず、ロビーで交渉している姿を多くみかけました。

ここでも、朝食から昼食、ディナーはすべて参加料金に含まれています。夜のディナーをYahoo!がスポンサードしたり、さまざまな協賛企業が飲食面においても協賛していました。また、スピーカーも参加者も同様に参加するのでパネルディスカッションなどでも、終了すると講師も参加者と白熱した議論をかわすのは当たり前の状態です。

どのカンファレンスも、一年に一度という会期での開催です。翌年にはまた今回親しくなったメンバーと再会することができ、一般の大規模展示会では味わうことのできない充足感を味わうことができます。

しかし、これは社交上手なアメリカ人だからこそ成り立つカンファレンスかもしれません。見知らぬ人でも名刺に頼ることなくガンガン語りかけ、満面の笑みを浮かべながら自社の製品やサービスをアピールし、相手に興味を持たせるというガッツがなければ、この機会もただの名刺交換会になってしまいます。

日本でもこのような意義あるカンファレンスが実施されることを望みますが、そのためにはまず海外のカンファレンスで彼らと対等に交渉するタフさが必要です。



参加者の職種によって色分けされたテーブルで食べるフルコースのランチタイム。もちろんウエイターも待機。同職種者ゆえの専門的な話題に各テーブルが盛り上がる。当然、カンファレンスの料金にランチなどの代金は含まれている（マクロメディアユーザーカンファレンスより）



リゾートホテルの庭に、突如登場した巨大なテントのランチョンミーティング会場。ここでもウエイターつきのフルコースのランチ。過密スケジュールのカンファレンスでもランチタイムには、多くの時間がさかれている。（レッドヘリング誌主催「Ventrure'99」より）



パネルディスカッションが終了した直後のステージ。スピーカーが見えなくなるほど参加者が舞台につめかけ、質問の嵐をスピーカーに寄せる。講師と参加者の壁を感じないのも寝食を共にするカンファレンスだからだろうか？（「Ventrure'99」より）



MAC LIFE 関西

Editor-in-Chief
神田敏晶　TOSHIAKI KANDA
Chief Columnist
魚井宏高　HIROTAKA UOI
Photographer
濱村和恵　KAZUE HAMAMURA
Animator
いのうえさきこ　SAKIKO INOUE
Writer
野々下裕子　YUKO NONOSHITA
Editor
樋口美妙子　MISAKO HIGUCHI

特集●モバイルコンピューティングからキャリアまで、通信インフラの話題で盛り上がる

「ビジネスシヨウ'99 OSAKA」レポート

http://www.noma-businessshow.or.jp/osaka/index.html
TEXT&PHOTO by 野々下　裕子

ビジネスシヨウ'99 OSAKA

MAC関西LIFE



間違いと思われた方も多いようだが、ビジネスショーではなく、「ビジネスシヨウ」である



サッチー騒動とは反対に絶好調のノムさんが関西のインターネットのハブ「大阪メディアポート」のブースでは、メインキャラクターとして登場



4月にサービスをスタートした関西セルラーの「EZ Web」のブース



コンパニオンのデモステージが華やかだったツーカーホン関西のブース



「大阪メディアポート」ブースでは、(株)まぐまぐの大川社長をはじめ、関西のデジタル業界で活躍する人たちがビデオで紹介されていた



関西セルラーの「cdmaOne」のブース。こちらは関東エリアに先駆けてサービスが開始された

6月9日から11日まで、南港のインテックス大阪会場にて「ビジネスシヨウ'99 OSAKA」が開催された。前月に同テーマで開催された「ビジネスシヨウ'99 TOKYO」に比べると、その規模は小さいものではあったが、それでも3日間で18万人を越える来場者が訪れ、会場を大いに賑わせていた。

会場のブースのなかでも特に目立っていたのが、関西系通信キャリア各社である。関西エリアは比較的早く新機種や新サービスが提供されるだけに、市場の成長は上々だ。しかも最近では、インターネットとの連動サービスを打ち出している「iモード」や「EZweb」が人気を集めており、会場でもそれぞれの資料が飛ぶようになくなっていた。さらに会場のほぼド真ん中にブースを出展していた大阪メディアポート社のブースは、新キャラクター野村監督の活躍もあって大盛況。華やかなデモで会場での雰囲気を盛り上げていた。

それ以外で人気を集めていたのは、モバイルコンピューティングの世界が体験できる『ふれあい体験館』コーナーだ。こちらはハンディターミナルなどを使って、インターネットへのアクセスや携帯電話でのデータ伝送などが体験できるというもの。その一方で、「ポストイット」や「テプラ」などのアンチデジタル商品の出展コーナーもあり、こちらは女性の来場者も多く訪れていた。

全体の印象としてはやや散漫なイメージだったが、大きなビジネスショーというカテゴリーの性格上、仕方がないのかもしれない。また大阪のビジネスシヨウの特徴として、開催期間中以外にも“ビジネスシヨウ月間”として、さまざまなシンポジウムや情報セミナーが開催されており、むしろそちらのほうがメインイベントだったといえるかもしれない。集客のパワーはあるだけに、今後の展開に期待したいものだ。

●今月のお題●「Macの買い時って？」

「Mac買おうと思うんですが、何がいいですか？」とか「PowerBook G3が欲しいんですが、いつ頃安くなります？」とか、よく聞かれる。まあ、以前とは違ってMacも種類が減ったことでもあり、「何を」っていうことには簡単に答が出るようになったせいか（たいていの場合iMacかG3のDVDモデルで間に合う）、そっちの質問は少なくなったけれど、やはり「いつ」というのはみんな知りたい、そして、誰もよくわからないことらしい。

結局のところ、僕がどう言ったところで、それは単なる「僕の」意見であって、他の多くの人の意見のうちのひとつ（といっても、たぶんちょっとは重要度もあるんだろうけどね？）にすぎない。実際に決断するのは本人だし……などと、当たり前のことを言うのはここではよそう。

はっきりいって「いつ」買うかっていうのは簡単だ。「欲しい」と思ったときに決まっている。僕はいつもそうだ。この前、新型のG3"Java"PowerBookをWWDCで見たときも、すぐに「これが欲しい」と思ったから、帰国してすぐに予約を入れたし、Blue&WhiteのG3もクロックアップしたDVDモデルが欲しかったので、これもすぐ注文した……。

もちろん、何でもかんでも欲しがっていたら、スタパ齋藤さんのように買い物をネタに文章を書かないとやっていけなくなりかねない（失礼）。だから、やっぱり肝心なのは「何を」欲しいと思えるか。すなわち自分にとって、今「どんな」マシンが必要かを見定める目が大事なんだ。

つまり、自分を冷静に見つめられないと、結局は損な買い物をするってことだ。

（魚井宏高）





iMacはとっても安いのにとっても早い。もちろんそれ自体はとてもいいことだけど……

雑記ンとっしゅ

福山庸治

第二回「iMacは許せない!?」



福山庸治（ふくやま　ようじ）・・・福岡県生まれ。1970年「納屋の中」（週刊漫画アクション）でデビュー。主な作品に「私鉄前線」「死神交換イタシマス」「夜は散歩者」「マドモアゼル・モーツァルト」「ドン・ジョヴァンニ」など。自身で運営しているホームページ（http://www.din.or.jp/~yojira/）もある。



■iMacが初めてのパソコンという人にはわかんないだろうなぁ、この気持ち。

次号（8月18日発売号）に続く・・・

ビジネスの中心にデータベース ファイルメーカーPRO

Macを導入している企業では、顧客情報や商品データをファイルメーカーで管理しているところも多い。これを外出時にも持ち歩きたいというのは、外出の多いビジネスマンにとって当然の欲求だろう。

PowerBookで持ち歩くというのが正攻法。少しひねって、Windowsサブノートという手もあるだろう。しかし、常に手元に置いておくなら、もっとフットワークが軽いほうがいい。さて、そうなると……Palmだ！

手のひらのデータベースソフト JFile

Palmデバイスのデータベース環境はどうなっているかというと、現状でいくつかのソフトがリリースされている。その中でも今回取りあげるのはJFileというソフトだ。

JFileは正統派カード型データベースソフトであり、Palmデバイスの能力やメモリーのサイズに見合ったコンパクトなソフトになっている。フォームを設計してデータベースを新規作成することから、データを色々な角度で検討するところまで一連の作業をこなすことができる、なかなかの優れものなのだ。

(1) JFileのデータベース

JFileのデータベースは、レコードと呼ばれるカードの集まりでできている。カードの中にどういう項目（フィールド）をどういう順序で書いておくかは、データベースを新規に作成するときに決めておく（図1)。

ひとつのレコードの中には20個までのフィールドを置くことができ、それぞれの属性としては「Strings=テキスト」「Date=日付」「Int=整数」など一般的な7種類が指定できる。画像などを含めることはできない。

ファイルメーカーのように自由に項目を配置できるわけではなく、すべてのフィールドは縦に並ぶことになるが、並び順は後から自由に変更できるので、よく見る項目を上にする、などの工夫ができるだろう。

ひとつのデータベースの中に入るレコードは5,000個まで。テキストについては1項目あたり500文字（半角換算)、整数や浮動小数点数については9桁までという制限はあるが、閲覧性を考えれば妥当なところだろう。何はさておき、日本語も問題なく使用できるところが非常に嬉しい。

(2) JFileのデータベース操作

入力済みのレコードについては、ソートや検索、そしてごく簡単な集計が可能となっている。図2は、「購入実績」の数字を使ってレコード群をソートしてみたところだ。

複雑な条件を指定することはできないが、手のひらに乗るデータベースとしては、なかなかバランスの取れた仕様ではないだろうか。

ファイルメーカーとJFileを結ぶ 通路（コンジット）

さて、いよいよファイルメーカーとJFileを組み合わせるとどう役に立つか、という本題に入ろう。

Palmデバイスを使っていると、「Palmデバイス上で大量のデータを入力する必要はない。デスクトップマシンで入力した大量のデータのうち、その時必要な分だけ転送し、持ち運ぼう」という明確なメッセージが伝わってくる。PalmDesktopには、この考え方を実際に機能として提供してくれる「コンジット（通路)」という仕組みがある。

コンジットはPalmDesktopへのプラグインのようなもので、HotSyncの際に、Palmデバイス上のアプリケーションとMac上のアプリケーションの間に「通路」を作るソフトだ。今回ご紹介する「FMSync for JFile」というコンジットは、Palmデバイス上のJFileとMac上のファイルメーカーとの間でデータをやりとりする掛け橋となるものだ。

(1) ファイルメーカーのデータベースの用意

今回はサンプルとして本誌巻末の「Macintosh 現行機種カタログ」をファイルメーカーPRO4.1のデータベース“ MacDatabase.FMJ ”として用意してみた。画像が貼り込んであったり、項目をレイアウトしてあったり、かなり見た目重視のデータベースになっている（図3)。

このようなデータベースの場合、JFileへ持っていくことを考慮して、必要な項目だけをJFile上での項目の並び順に配置したレイアウトをひとつ、作成しておくことをお勧めする。「for JFile」という名前で、画像を省き、JFileで見やすいように項目を並べなおしたレイアウトを作成してみた（図4)。



(2) FMSyncのインストール

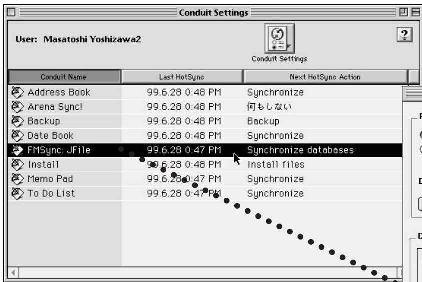
FMSyncのインストール自体はMac上でインストーラーを起動するだけで終了する。“ FMSync for JFile ”という名前のコンジットモジュールがPalmDesktopのアプリケーションと同じ階層にある“ Conduits ”というフォルダーにコピーされて、準備完了。



図1●フィールドの定義は、フィールドの名前と属性を指定するシンプルなもの



図2●レコードの一覧画面では、フィールド名から現れるポップアップメニューでソートを指示することができる



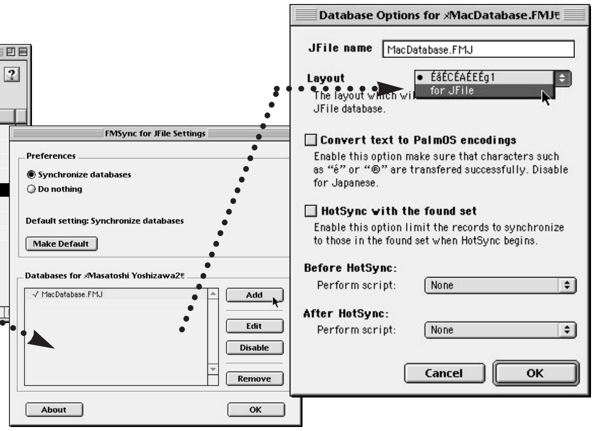


図5●ConduitSettingsダイアログでは、各コンジットの動作に関する設定を行なう。FMSyncの場合はJFileに送るデータベースの設定を行なう



図4●JFile用に「軽い」レイアウトを作成しておくことで、Palmデバイスでの閲覧に適した形で転送できる



図3●現行Macのデータベース。画像もあり、レイアウトも凝った「重い」データベースだが…

に立つ」モノでもあるのだ。

というわけで、今回は説得力のある「役に立つ」事例として、Macのビジネスソフトの代表選手ファイルメーカーPROとPalmデバイスを連携させてみよう。

始まる Palm DAYS

吉沢正敏

(3) FMSyncコンジットの設定

次のステップとして、「このデータベースをJFileに持っていくよ」とFMSyncコンジットに教えてやる必要がある。こういったコンジットの設定は、HotSync ManagerのHot-Syncメニューからconduit Settingsダイアログを呼び出して行なう。

先程のインストールされた"FMSync for JFile"というコンジットがダイアログの中に表示されているので、これをダブルクリックすることで、FMSyncコンジットの設定用のダイアログが開く。

このダイアログでは、どのデータベースをJFileに持っていくかを指定する。画面下部の[ADD]ボタンをクリックし、先程用意した"MacDatabase.FMJ"をリストに追加することで、次回のHotSyncから、このデータベースがJFileのデータベースとしてPalmデバイスに転送されることになる。

さらに、リストに追加された"MacData-base.FMJ"をダブルクリックすることで、きめ細かい設定を行うことができる。JFileに持っていく際、用意しておいたJFile用のレイアウトを使用するように指示をするなら、ここで行う。その他にHotSyncを行う前後に実行したいスクリプトなども指定できるため、工夫しだいではデータを加工した上で転送することも可能だろう（図5）。

やや繁雑な手続きではあるが、この設定は転送するデータベースを追加するときに1回行うだけで良いので、ちょっと我慢してほしい。

(4) そして、HotSync

さて、こういった手続きを経て、いよいよHotSync。すると…！

図6、7をご覧いただきたい、見事にファイルメーカーのデータベースがJFileに転送されているのがわかる。JFileにあわせたレイアウトで、必要な部分だけが抽出されていることにご注目いただきたい。

さらなるワークフローへ

ここまで、話を簡単にするためにファイルメーカー→JFileの一方通行のように説明してきたが、転送したデータベースをJFile上で編集すると、次のHotSync時にはファイルメーカー側へと反映される。つまり、出先でデータを修正し、帰社後にMacへ書き戻すというワークフローが可能となるのだ。

どうだろう、Palmデバイス／JFileとMac／ファイルメーカーの組合せは「役に立つ」以上の展開を予感させないだろうか？

●ソフト情報
JFile 3.2f - Land-J Technologies
シェアウェア $19.95
http://www.land-j.com/jfile.html

FMSync 1.0.4 - FMSync Software
シェアウェア $38
http://www.fmsync.com/



図6●ファイルメーカーから転送されたデータベースのレコード一覧画面。ここで観たいレコードをタップすると…



図7●ひとつのレコードの内容が一画面で表示され、同時に編集可能となる

PowerBook●カスタム講座(13) ●飯嶋 淳

PowerBookユーザーのためのインターネットの泳ぎかた

このコーナーは、愛してやまないPowerBookをより活用するための講座である。
日々悩んでいる問題の解決方法から，世界に1台だけのPowerBookにカスタマイズする方法まで、
Macintoshユーザーグループ『POWERBOOK ARMY』のメンバーが、リレー形式でそのテクニックと
アイデアをわかりやすく披露してくれる。今回はやくにたつインターネットサイトを紹介する。

●タイプ別PowerBook関連サイトの紹介

POWRBOOK ARMYのメンバーがリレー形式でPowerBookの遊び方について綴る、ということで始まったこの連載もちょうど1年が経ち、2周年目に入った。これまで筆者はいつも4ページ目の右上の小さなコラムだけしか書いていなかったので、今回は4ページもらい、得意とするところであるインターネットでのPowerBook関連情報の収集方法について書いてみようと思う。ここに挙げたサイトはすべて筆者が定期的に巡回をしているサイトか情報のウラを取りたいときに必ずチェックしているサイトである。ぜひ一度見ていただいて、気に入ったものをブックマークしていただきたい。なお、今回は、サポートやトラブルなどの情報と、噂話をはじめとする最新情報を扱うサイトに絞って紹介する。

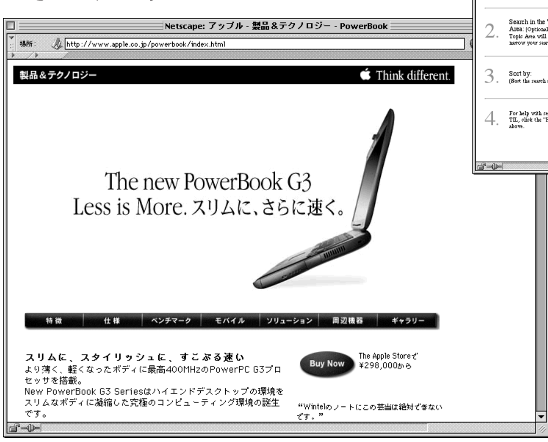
サポートやアップグレードの情報を探す

PowerBookに関する情報の起点となるのは、Apple JapanのPowerBookホームページ。ここでは、最新機種に関する情報が中心となるが、PowerBookソリューションのコーナーでは、PowerBookを使いこなすための情報が用意されており、とても役に立つ。また、活用のための周辺機器のコーナーにはデータベースも用意されており、PCカードが標準となったPowerBook 5300以降で利用可能な周辺機器を検索することが可能だ。新PowerBookがUSB対応となったことにより、USB周辺機器データベースへのリンクも新たに設定された。

ことPowerBookのホームページに関しては、最新情報しか掲載しない米国Appleのホームページ(http://www.apple.com/powerbook/)よりも役立つ情報が数多く掲載されており、高い評価を与えてもよいだろう。更新は不定期。

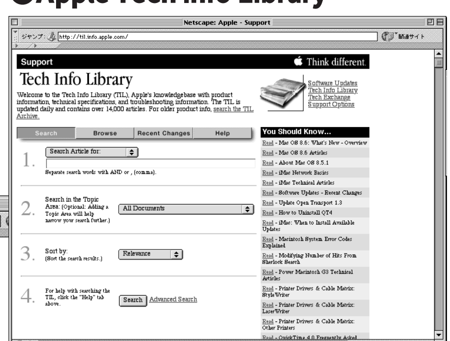
Appleが公開しているソフトウェア、ハードウェアに関する技術情報がまとめれたデー

●Apple Japan PowerBook ホームページ



http://www.apple.co.jp/powerbook/

●Apple Tech Info Library



http://til.info.apple.com/

●SE Technical Note



http://asep.apple.co.jp/Techdoc/TechNote/

●Apple Japan PowerBookサポート



http://www.apple.co.jp/support/powerbook/index.html

●MCE PowerBook

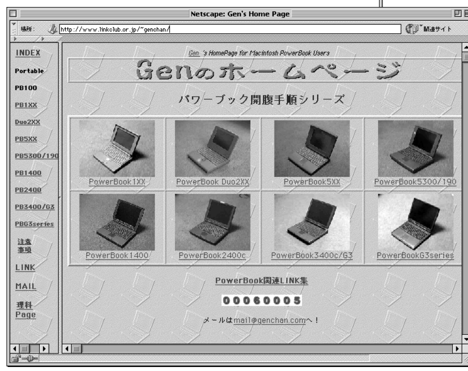


http://www.powerbook1.com/

●PowerBook Fleamarket

http://bbs.powerbook.org/fleamarket/





http://www.linkclub.or.jp/~genchan/

●Genのホームページ
～PowerBook開腹手順シリーズ

タベースが、Apple Tech Info Library。ソフトウェアの概要、ハードウェアの仕様、FAQ（よくある質問に対する回答）などがデータベース化されている。データベースは日々更新され、ここに掲載された情報がAppleによるサポートの公式見解なので、筆者の場合は最近の変更点（http://til.info.apple.com/tech-info.nsf/Changes）について毎日チェックしている。

このTech Info Libraryの充実を支えているのが，Tech Exchange（http://discuss.info.apple.com/boards/powrbook.nsf/by+Category)。ユーザー同士が意見を交換しあう，会議室が用意されており，ここでの質問や議論の多くがTech Info Libraryにも逐次反映されている。

なお，Apple Japanのサポート体制の改革により，今後は，日本語版Tech Info Library（http://til.info.apple.co.jp/）の充実が図られるとともに，Tech Exchane日本語版も設置される予定なので，期待したいと思う。

Apple Japanのサポートのページの中にある、PowerBookサポートページでは、新PowerBook G3に関するTech Info Libraryの記事の日本語化が行なわれている。旧機種に関する情報は、日本語化されたわずかながらのSE Technical Noteへのわずかなリンクのみ。今後の充実に期待したいところである。不定期の更新。

そのSE Technical Noteであるが、技術情報や、サードパーティのツールなどを紹介しているエンジニア向けのデータベースであるが、こちらは過去のPowerBookに関する技術情報も掲載されている。ただし、内容はテクニカルな部分もかなりあるので、初心者にはわかりにくいかもしれない。

Apple EuropeではPowerBookに限らず、すべてのMacの仕様や分解方法などをPDF化したものをFTPサイト（ftp://ftp.info.euro.apple.com/Apple_Support_Area/Misc/Service/servicemanuals/）で配付している。ネジ1本からの各部品のパーツナンバー（日本でも有効かどうかは不明だが）も記されているので参考になるだろう。

PowerBookを長く使っていて、使い込めば使い込むほどに、内蔵メモリーや、ハードディスクの容量不足、バッテリーの消耗、MPUのパフォーマンス不足など、さまざまな悩みが出てくる。これを解消するためにはサードパーティの製品を組み込んでパフォーマンスを向上させるのが一般的だが、これらは本体の販売が終了すると急速にモノがなくなっていく。

PowerBookのアップグレードの中で最も一般的なものは、ハードディスクの大容量化だろう。しかし、現行機種はともかくとして、旧機種についての情報は少ない。また、旧機種の電源アダプターやバッテリーなどのアクセサリーは流通量も少なくなっている。しかし、PowerBook 2400のように日本以外ではほとんど販売されなかった機種を除き、海外の通信販売のサイトを覗くと、サードパーティによる互換品が現在でもまだまだ販売されている。

MCE PowerBookではオリジナル製品の拡張ベイ用ハードディスクなどだけではなく、旧機種も含めたPowerBookに関するアクセサリーを多数扱っている。

品質が保証されているものを選ぶか、秋葉原や日本橋でジャンク品を探すか、それとも…。そんな人のために、POWERBOOK ARMYのBBS、PBC PowerBook ConferenceのPowerBook Fleamarketを紹介しておく。ここは、個人売買のための会議室。本体のみならず、アクセサリー、パーツ等、PowerBookに関するさまざまなものが売買されている。

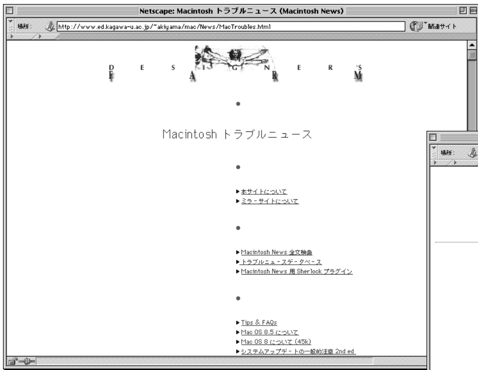
さて、パーツを入手したら、次はどう組み込むか、である。PowerBookを壊してしまったら元も子もない。PowerBookの分解方法については、POWERBOOK ARMYのメンバーの1人であるGenさんのGenのホームページ～PowerBook開腹手順シリーズが詳しい。ここではPowerBook 100シリーズ（ただしPowerBook 100を除く）から、PowerBook G3シリーズまでの分解方法が写真入りで解説されている。

Macintosh PortableとPowerBook 100については，こちらもまたPOWERBOOK ARMYのメンバーであるまりもさんの，まりもの研究室（http://square.umin.ac.jp/~itoh/）を挙げておく。

インターネット時代の
トラブルシューティング

さて、実際にトラブルに遭遇したとき、筆者のようなずぼらなユーザーであれば、おかしいなと思いつつも、こんなものかと自分を納得させて、だましだまし使ってしまうのであるが、これも、最近大きなトラブルに遭っていないから、言えることなのだろう。逆に、不幸は重なるもので、次々にトラブルが発生し、その修復で疲労困憊、2、3日まったく仕事にならないこともある。

●Macintosh トラブルニュース



http://www.ed.kagawa-u.ac.jp/~akiyama/mac/News/MacTroubles.html

●MacFixIt



http://www.macfixit.com/

このようなトラブルのほとんどは、最新機種や、Mac OSのバージョンアップ、機能拡張書類やG3アップグレードカードの組み込みなどの環境の変化に起因するもので、より便利に使おうとする気持ちが仇になる場合が多い。あきらめて環境を以前の状態に戻すのもひとつの考えであるが、なんとかしてトラブルを解決し、便利にPowerBookを使いたい。インターネットを使ってトラブルを解決するにはどうすればよいだろうか？

さきに挙げたサポート情報を検索して、解決方法を見つけだすのもよいが、トラブルを中心に追い掛けているサイトがあるので紹介しよう。

香川大学の秋山先生が運営している、Macintosh トラブルニュースには、Macに関するあらゆるトラブルが寄せられている。PowerBookに関する情報もときどき掲載されているので、とくにMac OSのバージョンアップや新機種に買い替えたときにはチェックすると、同じようなトラブルが見つかるかもしれない。また、ミラーサイトのひとつには全文検索エンジンも用意されているので、上手に活用しよう。ほぼ毎日更新。

一方、MacFixItはMacintosh トラブルニュースの英語版といったところ。過去のトラブル情報の検索もできる。英語版でしか提供されないMac OSのコンポーネントのアップデート時のトラブルや、個人輸入した周辺機器などの不具合が出た場合には役立つはずだ。月曜から金曜まで毎日更新。

最後に、POWERBOOK ARMYのBBS、PBC PowerBook ConferenceのPowerBook Trouble & お悩み相談（http://bbs.powerbook.org/qanda/）を紹介しておく。この会議室は、トラブル発生時の駆け込み寺。自分が現在、遭遇しているトラブルも、過去に誰かが遭遇している確率は高い。まずは、キーワード検索して、同じようなトラブルの書き込みがあるか探してみよう。こうして、同じようなトラブルの経験を持つユーザー同士が情報を共有しあうことは、トラブル解決への大きな糸口になるはずだ。

噂話はココ～情報サイト

インターネットが今ほど盛んになる前は、噂話といえば、Mac The Knife（http://macweek.zdnet.com/mactheknife/）が掲載されている3週間遅れのMacWEEKを輸入書籍のコーナーで手に入れるか、NIFTY-SERVEを経由してCompuServeに接続し、ZiffMacで読むしか方法がなかったが、今ではたくさんの個人ベースで活動しているサイトが豊富な話題を提供してくれる。しかし、噂はしょせん噂。なかには“これは勘違いではないか？”というような情報を掲載するところもあるの

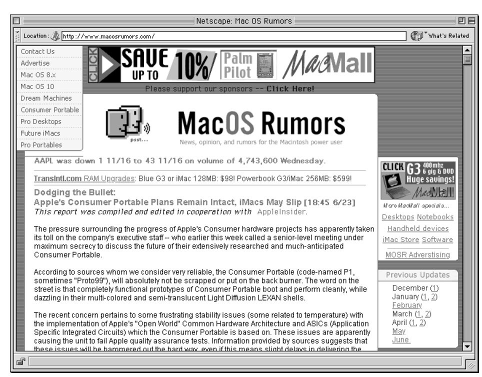
●MACお宝鑑定団



http://www.tcp-net.ad.jp/danbo/

●Mac OS Rumors

http://www.macosrumors.com/





●O'Grady's PowerPage

http://ogrady.com/

で、確度の高い良質な噂話を掲載するサイトを複数選び常時チェックするのがよい。

また、PowerBookに関するさまざまな情報―キャンペーン、イベント、製品の出荷、新たなトラブルなども、情報サイトを定期的にチェックしていれば見逃すことがない。

日本語のリソースとしては、なんと言ってもMACお宝鑑定団。ここでの噂話は、たいていの場合、“月の使者は伝えてきました……”といったぐあいに謎解きのような文章で表現される。運営しているDANBOさんはニュースサイトウォッチャーであり、海外の噂話系サイトの話題がたくさん掲載される。日曜から土曜日まで毎日更新。

Jason O'Gradyさんが運営するO'Grady's PowerPageは、おそらく世界で一番PoweBook関連の情報が集中するサイトである。ここも噂話は非常に早いうえ、機種ごとにスペックなどの情報が整理されているのが特徴。後から読み返すときに便利だ。月曜から金曜日まで毎日更新。また、彼はMacWEEK onlineでもコラムを持っており、MacWIRE Online（http://www.zdnet.co.jp/macwire/）でも邦訳された記事を読むことができる。

昨年の3月、Seybold Seminars New York /Publishing 98においてWallStreet（新型PowerBook G3のこと）が発表されるのではないかと多くのサイトが噂するなかで、5月6日発表されると断言したのが、Ryan MeaderさんのMac OS Rumors。結果は見事適中だった。このサイトも噂話が好きなユーザーであれば絶対外せない。記事の内容は、ハードウェアからOSまでと幅広く、1〜2週間に1回程度の割合いで、PowerBookの話題が掲載される。月曜日から金曜日までのほぼ毎日更新。

AppleInsiderは、The Macintosh News Networkというサイトの中で、噂話や早耳情報を独立させたサイト。発表前に詳細な製品の予想画像が掲載されることもあるので、製品の発表が予想されるイベントがある場合は、とくに念入りにチェックする。週2回程度の更新で、PowerBookの話題は情報を入手したときのみ、掲載される。

The PowerBook Zoneは、Doug B. Landryさんが運営する、PowerBookの情報サイト。昨年スタートした比較的新しいサイトだが、最近とても充実してきており、噂話も掲載されるので、筆者も巡回サイトに加えた次第である。ほぼ毎日更新。

最後に、筆者のサイト、POWERBOOK NEWSを挙げておく。基本的にPowerBook本体の噂話について、自らが独自に入手したものは掲載しないが、大量に流れている噂話の中から確度の高いものを中心にピックアップしてお伝えしているので、定期的にチェックしていれば、とっぴょうしもない噂話に驚くこともなくなるだろう。月曜日から金曜日までのほぼ毎日更新。

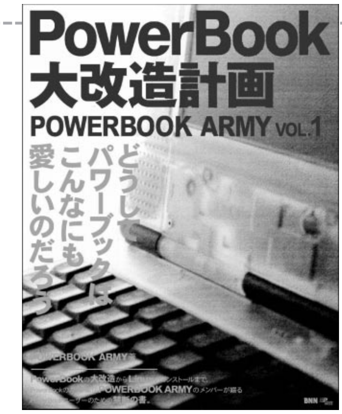
さて、この記事が掲載されるMACLIFEの発売の数日後に、MACWORLD Expo New York 99が開幕する。噂のコンシューマー向けのポータブルの発表は、はたして行なわれるのか？　そして、どのような新製品が登場するのか？　楽しみである。インターネット上で語られていた噂話のなかに、当たっていたものはあるだろうか？

この連載が1冊にまとまりました！

『POWERBOOK ARMY VOL.1 PowerBook大改造計画』

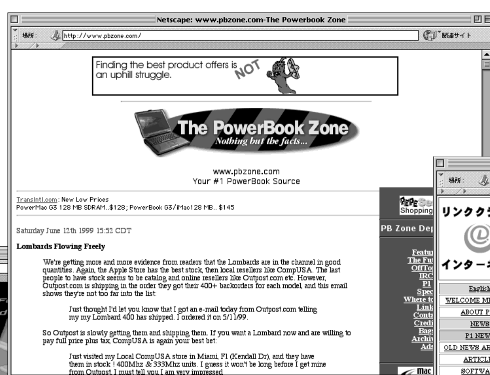
POWERBOOK ARMY著／発行エクシードプレス／発売ビー・エヌ・エヌ／定価1,980円

「PowerBookの大改造」から「Linuxのインストール」まで、PowerBookのカルト集団、POWERBOOK ARMYのメンバーが綴るPowerBookユーザーのための禁断の書、「PowerBookカスタム講座／PowerBook Maniacs（旧PowerBookでGO!）」待望の単行本化だ！　連載時にはモノクロでわかりにくかった、透明パーツを使用したカスタムPowerBookをカラーページで大紹介。そのすごさが今、明らかになる！　また、連載時に書ききれなかった部分を大幅に加筆し、最新情報に合わせて内容を書き換えた。どのページを広げても「ここまでやるか！」の連発。よい子は決してまねをしないください。



●The PowerBook Zone

http://www.appleinsider.com/

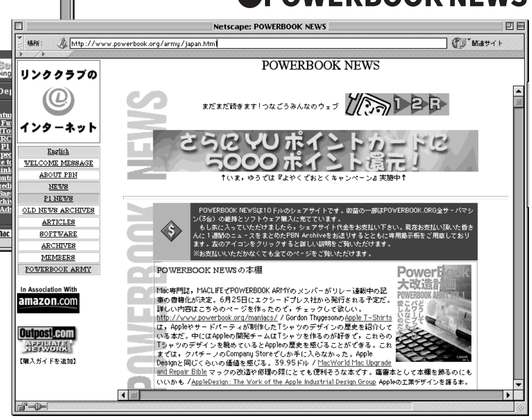


●AppleInsider



http://www.appleinsider.com/

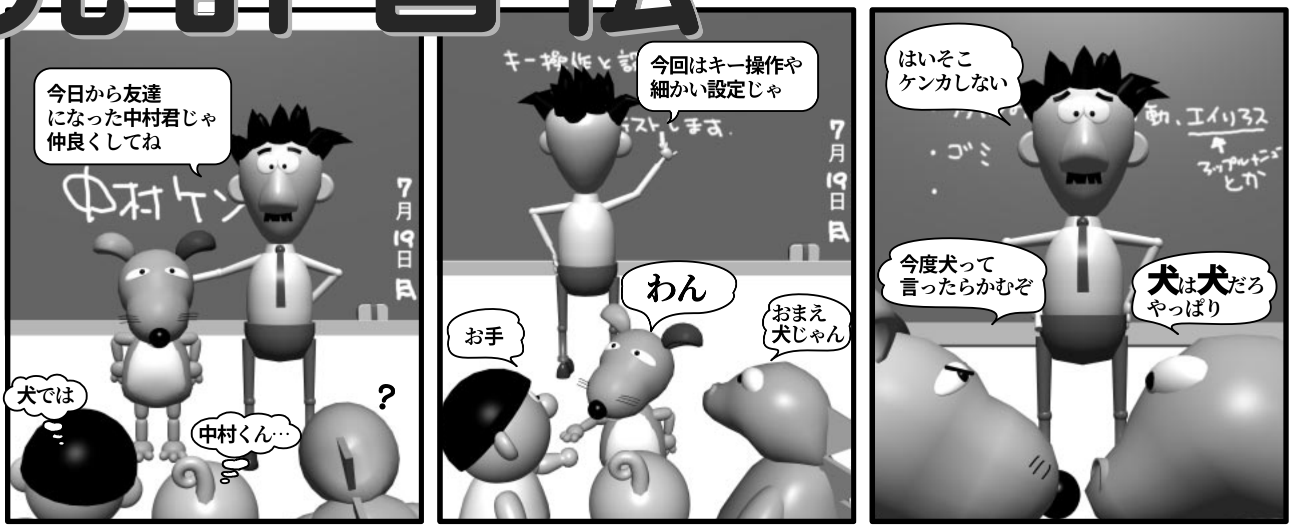
●POWERBOOK NEWS



http://www.powerbook.org/news/japan.html

オンラインソフト免許皆伝

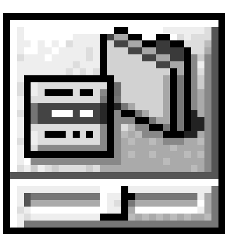
● 毛利司津江 ● http://home.att.ne.jp/gold/gapi/

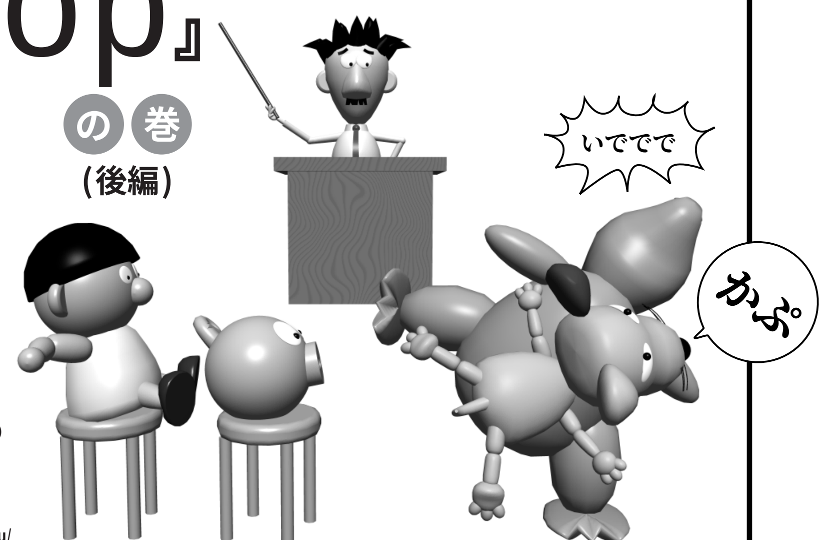


これなくしてはコンテクストメニューは語れない！

『FinderPop』の巻（後編）

意外に融通が利かないコンテクストメニュー
もっと機能は増やせないの？
そんなあなたにFinderPopをオススメします

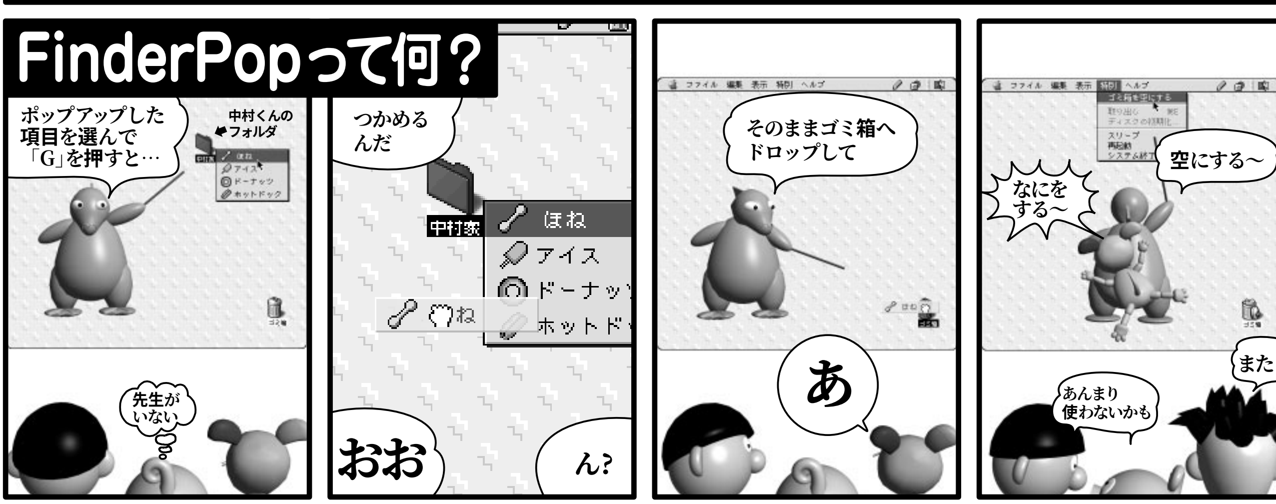




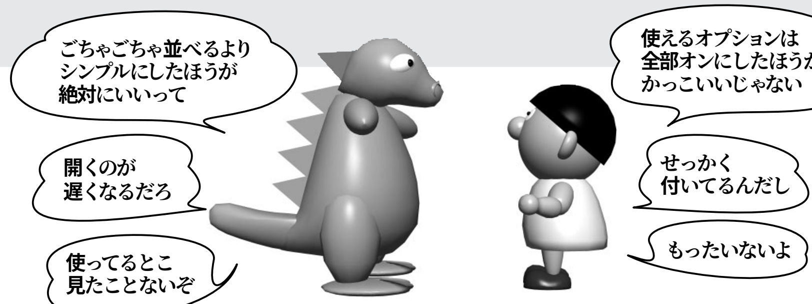
CD-ROM

FinderPop
作者●Turlough O'Connor氏
　　佐藤修氏（日本語版＆日本語訳）
バージョン●1.8.0J
ジャンル●フリーウェア
　　（ビール代8ドルを受付中）
URL●http://www.finderpop.com/／
　　http://www.imart.or.jp/~osamu/

FinderPopって何？

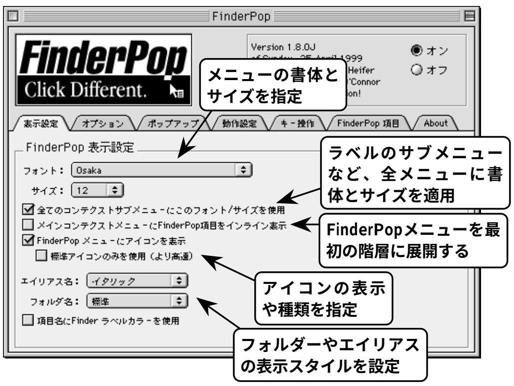


徹底的に FinderPop

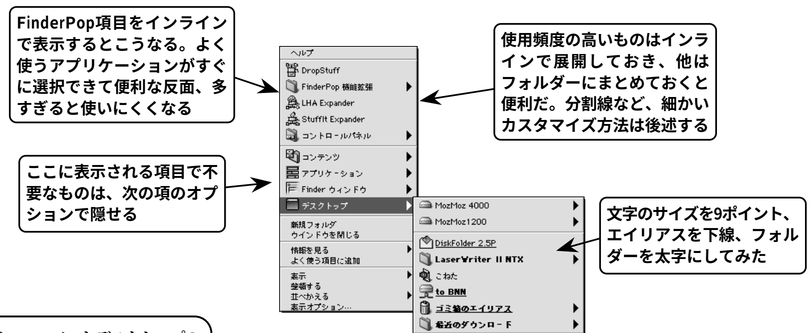


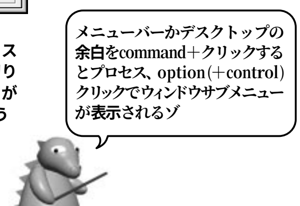
FinderPopのコントロールパネルを開くと、まるでワープロの初期設定のようにたくさんのタブが並ぶ。思わず頭を抱えてしまう量だが、すべてを細かく設定しまくる必要はない。ストレスがたまらない程度にカスタマイズしておくといいだろう

●表示設定

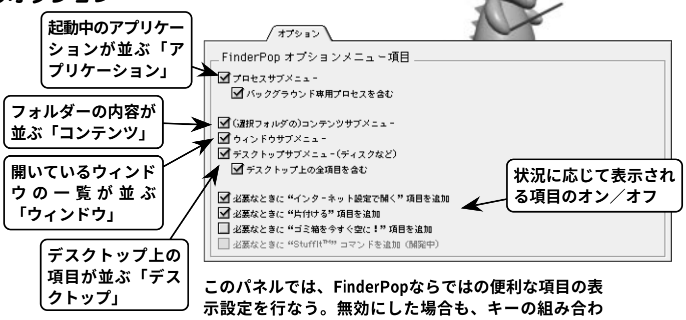


メニュー項目、ファイルを表示する際のフォントやサイズ、スタイルなどの指定を行なう。また、FinderPop項目の表示切り替えもここで指定する。書体やサイズによっては表示に時間がかかるようになるので、ベーシックな設定のほうがよいだろう



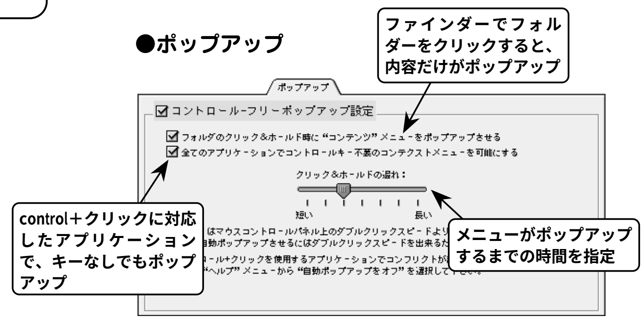


●オプション



このパネルでは、FinderPopならではの便利な項目の表示設定を行なう。無効にした場合も、キーの組み合わせやクリック位置によって表示されることを覚えておくとよい

●ポップアップ

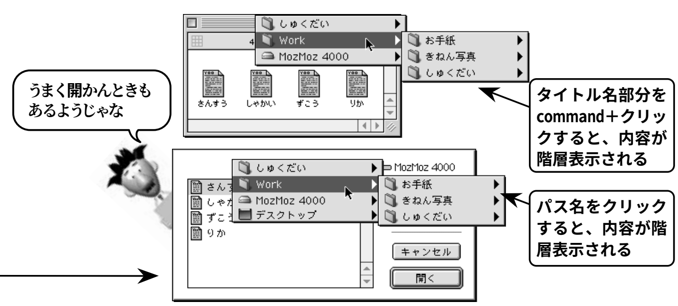


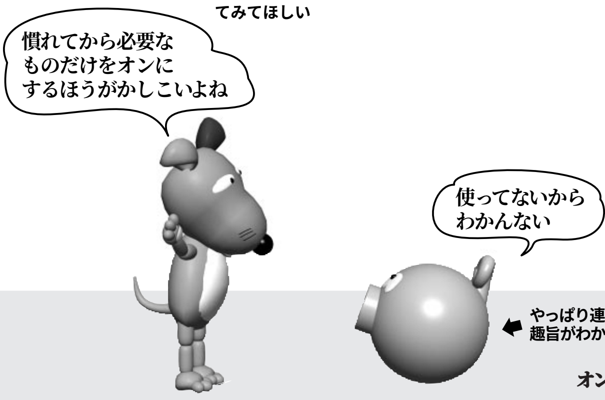
おもにポップアップに関する設定を行なう。キーを併用する人や2ボタン以上のマウスを使っている人なら、いっそのことオフにしてしまっても構わない

●動作設定



このパネルで設定する項目は、どちらかといえば高度で、通常は変更する必要はない。ただし、一番下のパスに関するオプションは、試してみる価値はあるのでオンにしてみてほしい

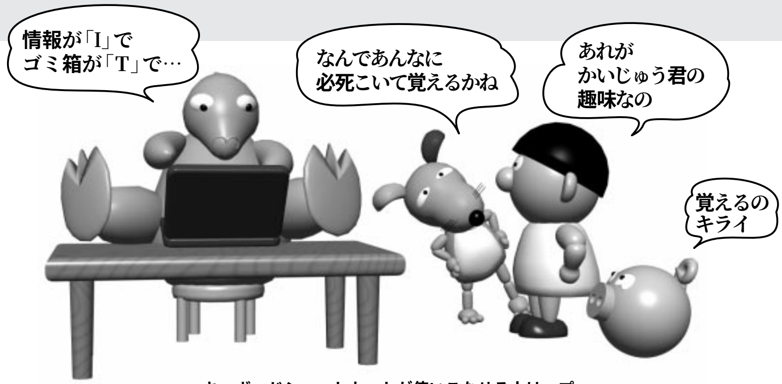




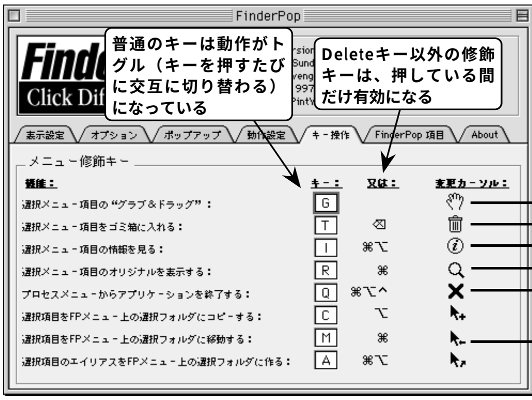
やっぱり連載の趣旨がわかってない

Macのコンテクストメニューはユーザーが簡単にカスタマイズできるようには作られていない。「状況に依存したメニューを表示する」という機能は、ユーザーが考えているほど楽に指定できないから仕方がないのかもしれないが、せめてWindowsの「送る」メニュー程度の自由度を付けてほしかった。しかし、そんな愚痴もFinderPopがあれば吹っ飛んでしまう。「送る」はもちろん、階層表示やインライン展開、書体変更など、これでコンテクストメニューは完成品といえるほど機能が充実するのだ。

あれこれまとめてキー操作



キーボードショートカットが使いこなせる人は、プロっぽくてかっこいい。しかし、無理やり使っている人はみっともない。適度に覚えてスマートに使いこなすのが自然な操作への第一歩だ



FinderPopのキー操作には、押す度に機能が切り替わるものと、押している間だけ有効になるものがある。片手はマウスを握っているので、commandキーなど集中しているキーを押したほうがラクかもしれない。なお、実際の動作は、キーを押したときではなくて、アイテムをクリックしたときに実行される（情報は選んだだけで表示される）。

●つかんでドロップ



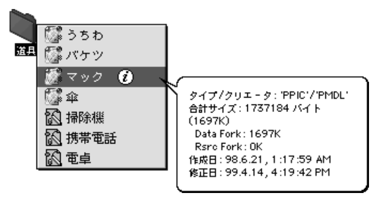
数あるキー操作の中で、もっともアクロバチックなのがグラブだ。「G」を押すと、その項目をつかんで取り出すことができる。あまり使い道がないのがタマにキズだが

●ゴミ箱へ移動



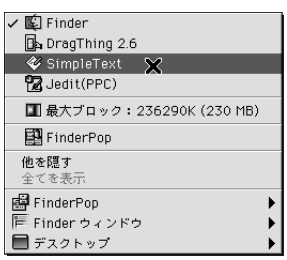
選択した項目をゴミ箱へ移動する。起動中のアプリケーションをクリックすれば、終了することもできる

●情報表示



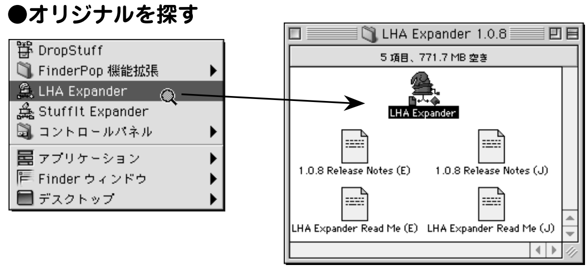
ファイルの情報を表示する。アプリケーションでは使用メモリーも確認可能。ファンダーの情報表示では確認できないクリエーターやファイルタイプも表示され便利だ

●プロセス終了



起動中のアプリケーションを終了する。ファインダーも終了可能だ。影でコッソリ動作しているアプリケーションも終了できるが、有効にするには再起動が必要になる

●オリジナルを探す



エイリアスのオリジナルを検索できる。起動中のアプリケーションの場所を探すときにも使える。それほど使用頻度は高くない

●コピーと移動とエイリアス



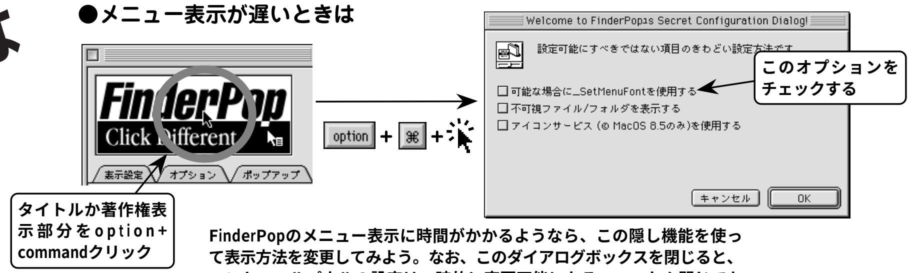
アイテムを選択して、メニュー上のフォルダーをクリックすると、通常は上のようなダイアログボックスが表示される。前述のオプションで、これを無効にしている場合は、同じボリュームなら移動、他のボリュームならコピーされる。キーを併用すると、この標準の動作が簡単に変更できる。確認作業が面倒な場合に便利だ



たとえばFinderPop項目フォルダーにエイリアスを作成したい場合は、フォルダーを選んでから「A」を押せばよい。ポインタの形が変わるので、動作は簡単に確認できる。ただし、キーを押さなかったときの動作と同じキーを押した場合は、左のダイアログボックスが表示される。これが邪魔なら、前述のオプションを無効にしておく

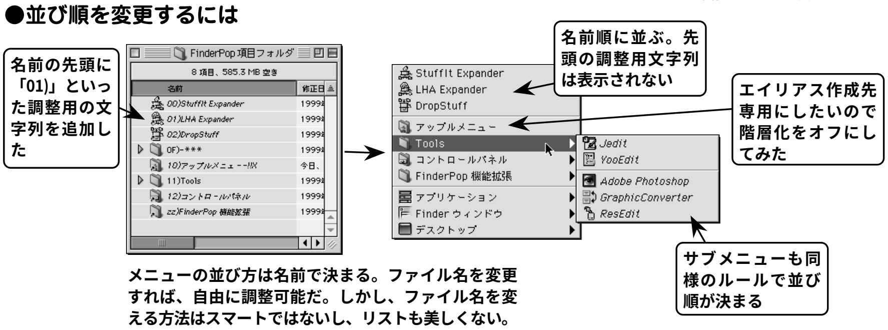
最後の仕上げは慣れてから

●メニュー表示が遅いときは



FinderPopのメニュー表示に時間がかかるようなら、この隠し機能を使って表示方法を変更してみよう。なお、このダイアログボックスを閉じると、コントロールパネルの設定は一時的に変更不能になる。いったん閉じてもう一度開けば元に戻るのであわてないようにしよう

●並び順を変更するには



メニューの並び方は名前で決まる。ファイル名を変更すれば、自由に調整可能だ。しかし、ファイル名を変える方法はスマートではないし、リストも美しくない。そんなときは、先頭に調整用の文字列を付加しよう

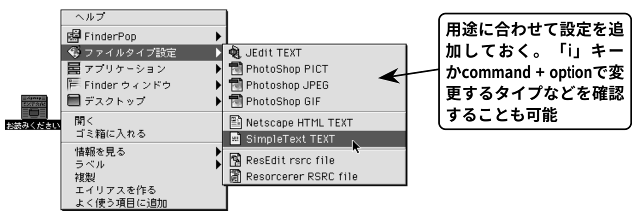
00)からAA)
先頭に付けて並び順を調整。
この部分はリストには表示されない

-***
ファイル名の末尾に付けると
分割線になる

-!!X
フォルダー名の後ろに付けると
階層化されなくなる

ファイル名の規則は上図の通り。これらの記号はリストには表示されないのできれいに並べることができる

●ファイルタイプを追加するには

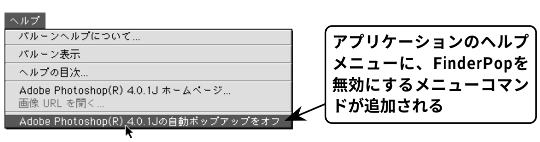


白紙アイコンの解決に活躍してくれるファイルタイプ設定だが、標準で付属しているサンプルだけでは不便だ。自分のアプリケーション用の設定を追加しておこう



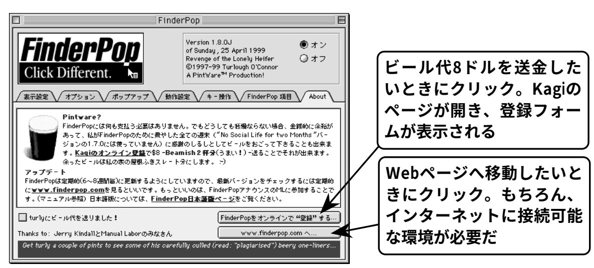
ファイルタイプ設定フォルダーはFinderPop機能拡張フォルダーの中にある。ここに設定したい書類を直接コピーしておけば、すぐに使えるようになる。種類を判断しやすい名前にしておくと便利だ

●アプリケーションで不使用にするには

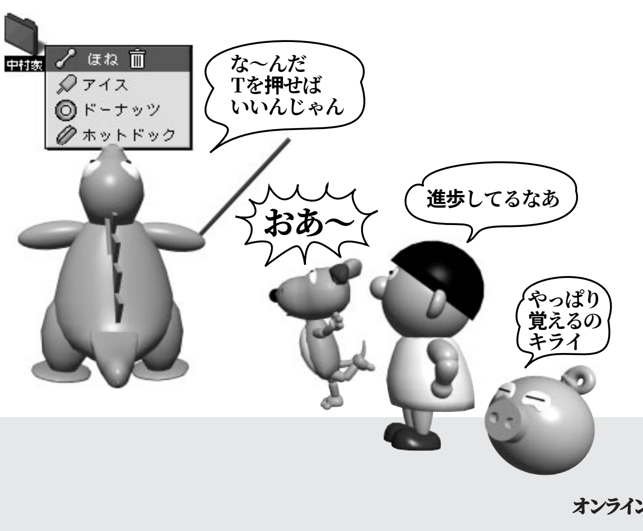


標準の設定では、FinderPopのコントロールフリーポップアップはすべてのアプリケーションで有効になる。この設定が衝突して本来の機能が使えない場合は、そのアプリケーションのヘルプメニューから個別に無効にできる

●最新版を入手するには



FinderPopの最新版を入手したいときは、このパネルのボタンをクリックすると便利だ。ただし、英語版である。また、ビール代を送金して作者を支援することもできるので、男気（女気?も）示すのもよいだろう。マニュアルも含めた日本語化を行われた佐藤修氏への感謝も忘れないように



FinderPopもずいぶん進化し、主な機能を試すだけでも一苦労となった。しかし、そうした派手な部分だけに目を奪われてはいけない。添付のドキュメントを読むとわかるが、細かいバグフィックスも行なわれ、以前のバージョンに比べて明らかに安定してきている。この安定性こそ日常的に使い続けるソフトにもっとも重要な部分なのだ。今後もFinderPopは進化を続け、一時的に不安定になることもあるだろう。ユーザーとしては、忍耐強く見守りながらエールとビール代を送って支援していこう。

花谷育雄

エッセイ

欧州の夏と地酒とうわさ話

今の季節、ヨーロッパを旅するには絶好だ。これまで北欧を中心に4回ほど訪れたが、やっぱり昼間の長い夏至の前後が一番充実していたように思う。

フライトはフィンランド航空がお薦め。北極点の真上を飛んだときにもらえる、機長のサイン入り通過証明書は旅のよき思い出になるし、なによりも「コスケンコルバ」という地酒を機内で楽しめるのがうれしい。英国航空のイングリッシュビールも捨てがたいが、ウオツカと同じ材料で作られるこのフィンランドの酒は、また格別の味わいがある。一方、ノルウェーやスウェーデンでは「アクアビット」という焼酎が作られていて、これまたトナカイの肉料理とよくマッチする。

北欧の公園も、ある意味で見どころのひとつだ。ベンチや芝生に横たわって、夏の陽光を全身で満喫する姿があちこちで見られる。もちろん、あまりにも開放的過ぎる格好で……。とにかく、この時節はなかなか陽が沈まない。夜型人間にとっては、苦痛以外の何ものでもないだろう。オスロ郊外のカフェテラスで早めの夕食をしたときなど、たらふく食べて目一杯飲んだはずなのだが、あたりの景色はいつまでも夕方4時頃の雰囲気。ふと時計を見ると、短針はすでに10を指していた。これぞ北緯60度の世界だ。

どのくらい日照時間が長いか、Macのオンラインソフトでも確認できる。世界地図の上に、昼と夜の経時変化をグラフィック表示してくれるものなら、一目瞭然だ。「SunClock 」（作者：Darik Datta氏）や「TERRACHRONE」（作者：Glenn Schneider氏）、それに世界時計として有名な「Time Palette」（作者：Trygve H.Inda氏）や「HourWorld」（作者：Leighton Paul氏）などがある。

ところで、欧州の旅で面倒なのが通貨と言葉だ。特に前者は、国境を越えるたびに交換を余儀なくされる。少し大きな買い物はカードを使うが、電車賃やドリンク代などはそうもいかない。今年始めから、いよいよ単一通貨「ユーロ」が参加11カ国で使われ始めたが、完全切替えになる2002年6月30日はまだ先だ。そのユーロを含んだ通貨換算ソフトは、「Euro Assistant」（作者：MaBaSoft社）、「Europrice」（作者：Marco Tenuti氏）、「EuroCalc」（作者：Luca Cacciagrano氏）など、すでにいくつか公開されている。

言葉のほうは、今でも口惜しい思い出がある。ロンドンはソーホーのバーで一杯やっていたときのこと。相手をしてくれたのがポーランド出身の女性3人で、なんとか英語で談話していたが、いったん離席したひとりが戻ってきた途端、ときどき歓喜の様子を見せながら、内輪でヒソヒソ話し始めた。母国語らしく、内容はサッパリだ。数日後に帰国したら、ポーランド社会主義体制崩壊のビッグニュースが発表され、彼女たちのあの笑顔まじりの会話に大スクープのネタが潜んでいたことがわかった。

うわさは時に電波より速いのかも知れない。ひかり号より速い新型新幹線の愛称募集時に、知人の一人が「うわさ」で応募した。結果は「のぞみ」になったものの、あながち的外れでもないとは思いませんか。

MACLIFE STATION Library最新登録ソフト

LIB No.	登録No.	FileName	バイト数	参照数	コメント（1999年05月31日登録分まで）
LIB:03	494	8-Ball Emulator	190976	46	Macで遊べるビリヤード（8ボール、9ボール）のシミュレーションゲーム
	492	ばんそうこ1.1	124544	15	手持ちの絆創膏を画面に貼り付け、指定された部分を覆い尽くしていくパズルゲーム
	491	Mekira 1.0.1	128640	30	アクションパズルゲーム。キャラクターを操作してカギを取り、ドアまでいくとクリアー
	490	PowerRally.S.S.v1.5	2293376	36	プレイヤーがプライベーターでWRCに参戦し、ワークスチーム相手にシリーズを戦っていくゲーム
	488	Powerカートグランプリv2.5	584576	25	Powerカートを運転して全16戦のグランプリを戦い、シリーズチャンピオンを目指すゲーム
LIB:04	214	NIFTY-J.しなちゃん5.1	592512	130	高機能ログカッター「魔法のナイフ改」専用のNifty Serve用テンプレート
	213	まるてん v1.0	18944	92	「魔法のナイフ改」のDLM対応機能をComNiftyで活用するためのログ前処理を行なうツール
	211	魔法のナイフ改 v0.6 PPC版	81024	168	ComNiftyなどでダウンしたログを茄子Rで読み込める形にするログカッターのPowerPC版
	209	Jnifty Plug-in	3584	11	今週のお知らせを特定の曜日の特定の時間帯に定期的にJnifty Autoで読むためのプラグイン
	208	Jnifty Auto b14.sit	61440	21	Jterm3.0.5以降で動作するNifty Serveオートパイロットスクリプト最新版
LIB:05	924	CopyPaste 4.3.2J	560640	19	10個程の独立したクリップボードを使用可能に、クリップセット機能で最大100個も可能
	923	メモリ割り当て0.2	14336	12	ドラッグ＆ドロップでアプリケーションの使用メモリーを2～3倍に変更
	918	QuickRename1.5-FAT	711168	11	置換、ナンバリング、共通な単語、拡張子なども考慮して名称変更できる高機能ファイル名変更ツール
	917	TTrash機能拡張1.5-J	29696	19	「command+Tキー」で「ゴミ箱を空にする」コマンドを選択できるようにしてくれる機能拡張
	916	Substitute 1.7.6 FAT	130048	12	デスクトップファイルの再構築から、いろいろな設定変更まで可能な多目的ユーティリティー
	915	アップルメニュー修復 0.1	8320	17	アップルメニューの表示がおかしくなったり、階層が表示されなくなったりする不具合を自動修復
	913	編集可不可0.2	6528	10	SimpleTextの編集可書類と編集不可書類を相互変換するドロップレット
LIB:06	500	DropPrint1.00	17664	14	プリンターの用紙の限界内で、画像をできるだけ大きく印刷するためのソフト
	499	てくす茶畑	131200	15	フーリエ級数を応用し、継ぎ目なしのテクスチャー・パターンを自動生成するグラフィック・ソフト
	498	めるかと～る	99584	20	PICTファイルの画像をメルカトル図法の地図とみて、「地球儀」の形に変換するソフト
	494	TykeWriter 2.1.0	379136	14	キーボードを使わなくてもマウスと文字パレットだけで入力できる、子供向けワープロソフト
	493	Speed Profiler 1.8.1	325504	16	使いやすいMacのベンチマークソフト。ビジュアル的にも凝った作り
	489	DropFix version1.15	22144	36	ドラッグ＆ドロップで簡単に画像ファイルの大きさを変更できるソフト
	488	Tex-Edit Plus 2.5.6J	698880	18	複数ウィンドウ、スタイル付テキストの編集が可能な人気テキストエディターの日本語版
	485	難読漢字1000V.4.1	190464	21	難読漢字習得のためのハイパーカードスタック。難易度は高校程度より上

※MACLIFEステーションへの参加は、GO SMACLIFEです
※この欄で紹介しているソフトウェアは、NIFTY SERVEのMACLIFEステーション内のデータライブラリの各コーナーに登録されています
※なお、CD-ROM MACLIFEには、作者の許可を得たソフトのみ収録。使用にあたっては、ファイルに付属している説明書(ReadMeファイル)を必ずお読みください

DigitalSite

CD-ROM

バージョン：ver.1.6.4J
ジャンル：アプリケーション
作者：K.Hiura <aab61580@pop12.odn.ne.jp>
http://www2.odn.ne.jp/~aab61580/
分類：Shareware
代価：2,500円
日本語対応：◎
登録場所：SMACLIFE LIB4-220

HTMLを知らなくてもマウスとツールバーにあるボタンでホームページを作成可能なHTML Editor。WYSIWYG表示されるので、仕上がりを確認しながら編集できる。1.6Jからナビゲーションサービスにも対応し、<SPACER>タグへの対応などタグ回りにもかなりの機能アップが図られている。スクリプトファイルの入出力や文字セットの項目の追加、フレームプレビュー中の選択したフレームを別ウィンドウに表示も可能に。その他、細かな修正で信頼性も向上している。



DropPrint

CD-ROM

バージョン：ver.1.00
ジャンル：アプリケーション
作者：μ Factory（三浦栄之）<mu@ha.sakura.ne.jp>
http://ha.sakura.ne.jp/~mu/factory/
分類：Freeware
代価：
日本語対応：◎

デジタルカメラの画像などを簡単にプリンタの用紙の限界内で、できるだけ大きく印刷したいと思ったことはないだろうか？ 使い方は、いたって簡単。印刷する画像を開き、用紙のどの位置に印刷するか、拡大／縮小時でも縦横比を維持するかどうかなどを設定、そして用紙サイズ、印刷設定の後、印刷すればいいだけだ。メモリー不足の場合、印刷がうまくいかない可能性もあるので、大きな画像を扱うときは割り当てメモリーを増した方が安全。

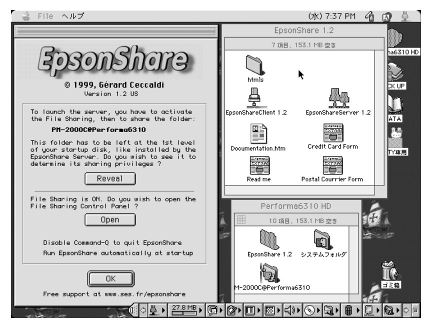


EpsonShare

CD-ROM

バージョン：ver.1.2
ジャンル：ユーティリティー
作者：Gerard Ceccaldi <ceccaldi@ses.fr>
http://www.ses.fr/epsonshare
分類：Shareware
代価：$24.00（US）
日本語対応：○
登録場所：SMACLIFE LIB6-501

ネットワークに対応していないEPSON製プリンターで、ネットワーク上の他のMacからのプリントを可能にしてくれるツール。機能制限無しで10日間の試用ができる。シェアウェア料金はセキュリティー対応のホームページからカード決済で払えるようになっていて便利だ。対応機種のリストにはなかったが、筆者のPM-2000Cでもきちんと使えている。MacOS8.x以降のシステム上で動作。作者のGerard氏によると、日本語版もリリース予定とのことだ。

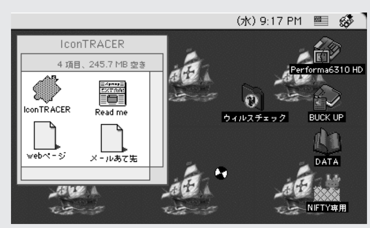


IconTRACER

CD-ROM

バージョン：ver.0.1.5
ジャンル：ユーティリティー
作者：ほしいち <BYA01125@nifty.ne.jp>
分類：Freeware
代価：
日本語対応：◎
登録場所：SMACLIFE LIB5-928

デスクトップまたはウィンドウ内でのアイコンの位置は好みの同じ場所に整理しておきたいものだ。だが作業などで動かしてしまうと、元の位置に戻すのは面倒。そんなときは位置を記憶させたい複数のアイコンを同時に選択してIconTRACERにドロップしておくと、移動させてしまっても、IconTRACERをダブルクリックするだけで元の位置に自動的に戻してくれ、大変便利だ。階層をまたいだ移動でも復帰できるシェアウェア版のIconRADARもある。

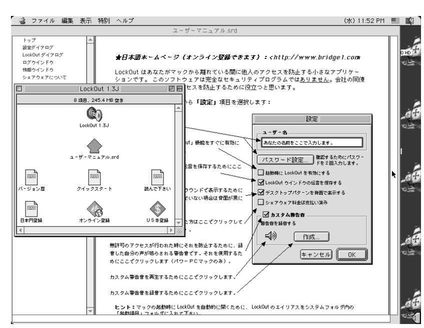


LockOut

CD-ROM

バージョン：ver.1.3.1J
ジャンル：ユーティリティー、ゲーム
作者：Bill Modessit <info@mauisoftware.com>
日本語化：リー・クリストファー
<KGB00252@nifty.ne.jp>
分類：Shareware
代価：1,200円
日本語対応：◎
登録場所：SMACLIFE LIB6-505

LockOutは、Macから離れている間に他人によるアクセスを防止するアプリケーション。完全なセキュリティーを目指したプログラムではないが、トイレや休憩などでMacから離れるときに、会社の同僚や自宅の子供達によるアクセスを防止するなどの目的で手軽に使えるソフトだ。メッセージやオリジナルの警告音（音声も録音可能）も設定可能。起動項目にエイリアスを入れておけば、Macの起動時から機能してくれる。



TrashEmpty Previous

CD-ROM

バージョン：ver.1.2
ジャンル：ユーティリティー
作者：kurin(紅鈴) <kurin@remus.dti.ne.jp>
分類：Freeware（Mailware）
代価：長期使用希望者は感想などを作者へメール
日本語対応：◎
登録場所：SMACLIFE LIB5-930 PPC版
LIB5-931 68K版

アイコンをダブルクリックすると起動画面が表示された後、小さな「ゴミ空」ボタンのみのフローティングパレットが現れる。このボタンをクリックするとゴミ箱の内容確認のためのウィンドウが表示され、確認したり、ゴミ箱を空にしたり、ファイルを救出したりすることが可能になっている。他のアプリケーションのウィンドウがファインダー上にたくさん散乱していても「ゴミ空」ボタンは常に使用できるように工夫されている。Mac OS 8.6にも対応。



魔法のナイフ改

CD-ROM

バージョン：ver.v0.6
ジャンル：アプリケーション
作者：沼口 慶 <BXN00366@nifty.ne.jp>
分類：Freeware
代価：
日本語対応：◎
登録場所：SMACLIFE LIB4-211 PPC版
SMACLIFE LIB4-212 68K版

まるてん

CD-ROM

バージョン：ver.1.0
ジャンル：アプリケーション
作者：沼口 慶 <BXN00366@nifty.ne.jp>
分類：Freeware
代価：
日本語対応：◎
登録場所：SMACLIFE LIB4-213

NIFTY-J.しなちゃん

CD-ROM

バージョン：ver.5.2
ジャンル：アプリケーション
作者：たけお（大岡 丈夫）<takeo.ooka@nifty.ne.jp>
分類：Freeware
代価：
日本語対応：◎
登録場所：SMACLIFE LIB4-217

魔法のナイフ改はComNiftyなどでダウンしたログファイルを茄子Ｒなどのログブラウザで読み込める形にするログカッターだ。リソースが公開されている、あしまさん<NCA03330@nifty.ne.jp>作の魔法のナイフをベースにして、沼口さんが大幅に改変、高速・高機能化したものだ。

まるてんは本来、魔法のナイフでログを処理する際に、一つのログを複数のテンプレートで処理しやすくするようにログを変換するツールなのだが、魔法のナイフ改のデリミター対応機能をComNiftyで活用するために利用しているユーザーのほうが多いはずだ。デリミター対応機能を活用するためのComNiftyの設定についても、付属のReadMeに詳しく解説してある。この設定で落したログをまるてんで処理すると、改行とバックスペース以外の余分なコントロールコードをすべて削除したファイル（元ファイルの名前.Θ）を元のログと同じフォルダー内に作る。このファイルを魔法のナイフ改でカットすればOK。魔法のナイフやまな板との連携も可能。

NIFTY-J.しなちゃん5.1は、デリミタ機能に対応した高機能ログカッター魔法のナイフ改専用のNifty Serve用テンプレートだ。デリミター機能は、Nifty Serveが会議室などの各発言末尾に表示する発言区切り文字（デリミター）を発言終了の目印として認識することにより、発言中の生ログ引用などの影響を回避し、かつ、カットの高速化を図るものだが、対応している通信ソフトComNifty、Jterm、STerminal、Pet-Termなどの設定についても付属のユーザーズガイドで詳しく解説されている。





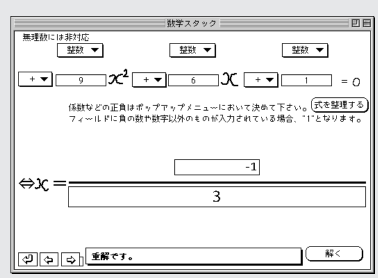


数学スタック

CD-ROM

バージョン：ver.1.0.2
ジャンル：ハイパーカードスタック
作者：YOCKOW <eckyoko@lilac.ocn.ne.jp>
分類：Freeware
代価：
日本語対応：◎
登録場所：SMACLIFE LIB6-503

2次方程式（虚数解や重解も求められる）・約数の書き出し・最大公約数・最小公倍数・約分・通分・ルートの計算を解いてくれるハイパーカードスタック。いやはや、面倒な計算は全部やってくれるので、中学時代にこんなものがあれば、宿題も楽だったなぁと思ってしまうのは筆者だけではあるまい（笑）。他にも楽しい作品があるので、是非、作者のYOCKOWさんのホームページ<http://www.freepage.total.co.jp/yockow/>も覗いてみて欲しい。



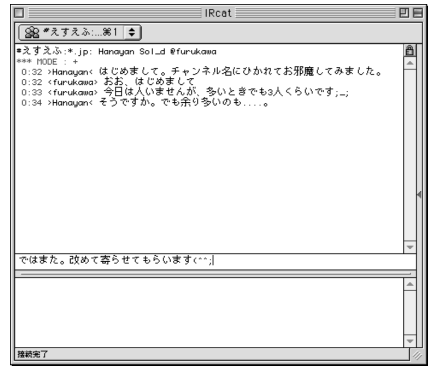
コミュニケーション用ソフト

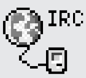


IRcat (CD-ROM)

バージョン 0.5／作者 田上敦士／分類 Freeware／代価 -／日本語対応 ◎／登録場所 http://www.pp.iij4u.or.jp/~tagami/macintosh/IRcat/

文字を使用して、不特定多数とリアルタイムなおしゃべりをするなら、インターネットを使ったチャットシステムのIRC（Internet Relay Chat）が最適だろう。チャンネルと呼ばれるチャットスペースで、趣味やテーマに応じた会話を楽しめる。また、プライベートメッセージによって1対1で話すことも可能だ。そのIRCサーバーに接続するための、Mac用日本語クライアントソフトの定番ともいえるのがIRcatである。1つのウィンドウに情報が集約され、中央の入力領域をはさんで上段に現在アクティブなチャンネル、下段にその他のチャンネルのメッセージが表示される。インライン入力に対応し、インターネット設定のヘルパーアプリケーションと連携したり、アクティブチャンネル表示部でコンテクストメニューをサポートするなど、便利な機能も搭載している。PDF形式のマニュアル（http://www.pp.iij4u.or.jp/~tagami/macintosh/IRcat/IRcatManual.pdf）も秀逸だ。





Ircle (CD-ROM)

バージョン 3.0.3J／作者 Onno R. Tijdgat（日本語化はハリー小野）／分類 Shareware／代価 $15(US)／日本語対応 ◎／登録場所 http://www.ircle.com/download.html

Ircleは、Mac用のIRCクライアントとして、以前から広く使われている。起動したら、まずファイルメニューから環境設定ダイアログを呼び出そう。12のタブを切り替えながら細かい設定ができるが、少なくともテキストタブを選んで、「日本語(SJIS/JIS)」チェックボックスをONにしておけばよい。また、書式メニューのフォント設定を、Monacoから日本語等幅フォントに変更する。次に、接続ウィンドウにリストアップされているサーバーのどれかを選び、編集ボタンをクリックしてニックネームを登録しよう。個人情報などの項目は必ずしも設定する必要はないが、「特定の人以外からは自分を見えなくする」のチェックは外しておく。あとは、接続ボタンでサーバーとの接続を確立し（コンソールウィンドウに「通知リスト」と表示される）、コマンドメニューからチャンネルリストを開いて、希望のチャンネルを選択状態にしたら、参加ボタンをクリックするだけだ。

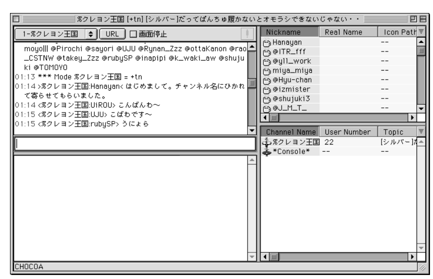




CHOCOA (CD-ROM)

バージョン 1.0beta1／作者 株式会社富士通研究所／分類 Freeware／代価 -／日本語対応 ◎／登録場所 http://www.fujitsu.co.jp/hypertext/free/chocoa/mac/

Windowsの世界で人気のあるIRCクライアントのMac版で、「ちょこあ」と読む。メニューはすべて日本語で、ひとつのウィンドウにまとめられたインターフェイスとあわせて、とてもわかりやすい作品だ。基本的には、Windows版のCHOCOA1.0とほぼ同じ機能が搭載されているが、もちろんOSが異なるので、まったく同じというわけではない。それでも、特徴である複数サーバー登録機能や、CHOCOA Script機能などはMac版にも備わっている。また、Windows版にあるDDE（Dynamic Data Exchange：アプリケーション間でのデータ交換用メッセージ規約）の代わりに、AppleEventを使用して他のアプリケーションとの連携を行なう。初回起動時にウィザード画面が現われ、ユーザー名からニックネームまで設定できる。IRCサーバー名については、http://irc.kyoto-u.ac.jp/list-of-servers.htmlなどを参照するとよい。Mac用の詳細なドキュメントは今後準備されるようで、待ち遠しいところだ。





AbbottChat (CD-ROM)

バージョン 1.5.2／作者 Abbott Systems Inc.／分類 Freeware／代価 -／日本語対応 ◎／登録場所 http://www.abbottsys.com/atchat.html

AbbottChatはプライベートあるいはグループチャット、ファイル転送、ショートメッセージが楽しめるコミュニケーションソフトだ。Mac版（PowerMacのみ）とWindows版が公開されており、それぞれダイアログなどを日本語化してくれる日本語パッチも存在するので（http://www.love-train.com/abc/）、プラットフォームに依存せずに日本語を使用したチャットが実行可能だ。インストーラーにより、起動ディスクの第一階層に自動的にインストールされ、その後日本語パッチを使用すると、同じフォルダ内に日本語版アプリケーションが別途生成される。まずは、自分のIDとニックネームを設定しよう。次にウィンドウ上部に並んだボタンのうち、左から6番目で友達をリストに追加する。そのアイコンをダブルクリックすれば、チャットに呼び出すことができる。アラートと呼ぶ簡易メッセージを送信したり、誘いを無視するDo Not Disturbなど、便利な機能も備わっている。



FreeWare
コミュニケーション用ソフト

5 ChatManPro

CD-ROM

バージョン　1.3.6／作者　三上文之／分類　Shareware／代価　1,000円／日本語対応　◎／登録場所　http://www.yk.rim.or.jp/~f_mik/

ChatManProは、AppleTalkネットワーク上で、他のMacユーザーと手軽にメッセージをやり取り（チャット）できるアプリケーションだ。1メッセージは500バイトまでで、複数の相手に送信することも可能である。マルチゾーンにも対応している。普段はウィンドウを隠しておき、メッセージ受信したら自動的に前面へ出てくるようにしたり、速やかに呼び出すためのホットスポットを設定できるので、邪魔にならないのがうれしい。起動項目に入れておくとよいだろう。同種のソフトと比べて多機能なのが特徴で、オプションメニューをプルダウンしてみると、それがよくわかる。また、送信グループを任意に設定できるのをはじめ、不在時や忙しい場合の自動返信機能や、好みの定型送信文を登録する機能など、便利な機能が満載だ。メッセージをスティッキーズファイルとして、相手のデスクトップに貼り付けることもできる。ホームページには、サウンドを追加できるChatDataもある。



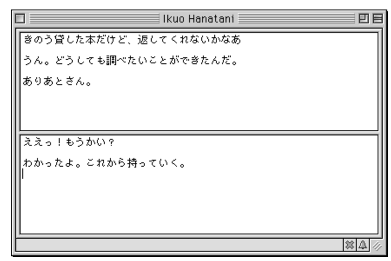
6 TeleTalk

CD-ROM

バージョン　1.1.1／作者　Jonathan Roy／分類　Shareware／代価　$10(US)／日本語対応　◎／登録場所　http://www.propnet.qc.ca/TeleTalk/TTEng.html

LocalTalkネットワークで繋がっている相手と、文字を使って会話するには、それぞれにTeleTalkをインストールするのが手っ取り早い。アプリケーションを起動する（またはConversationメニューからOpenを選ぶ）と、対話相手（Interlocutor）選択ダイアログが開き、ネットワークをスキャンしてTeleTalkを立ち上げているユーザー名をリストアップしてくれる。ゾーンを切替えて、スキャンし直すことも可能だ。会話したいユーザー名をダブルクリックすれば、相手側のデスクトップ上に、誘いを受けるかどうか選択できるダイアログが現れる。ここでAcceptボタンをクリックすると、双方に上下2分割のシンプルなウィンドウが開く。下段にメッセージを入力すれば、相手のウィンドウ上段にリアルタイムで表示される。右下のベルマークボタンは、相手にビープ音を送って知らせる機能だ。



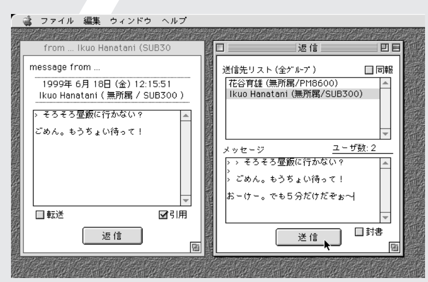


7 IP Messenger

CD-ROM

バージョン　1.33 Rel-2／作者　藤田邦彦／分類　Freeware／代価　-／日本語対応　◎／登録場所　http://www.asahi-net.or.jp/~VZ4H-SRUZ/ipmsg.html

IP Messengerは、TCP/IPを使用したネットワーク用のメッセージ送受信ソフトで、サーバーなどを利用することなく動的にメンバーの認識ができ、軽快に動作するのが特徴だ。Windows版、X11R6版、Java版もリリースされている。封書送信および鍵付き封書メッセージ送信をはじめ、複数のユーザーへの同報送信、送受信内容のログ出力、不在通知モードなど、機能的にも申し分ない。不在時の自動応答メッセージは、あらかじめ用意された5つのサブメニュー以外に、ユーザーが定義することもできる。キーボードやマウスに一定時間触らないと自動で不在設定になる機能や、特定ユーザーのエントリー拒否機能、それにクリッカブルURL機能などもうれしい。サポートはメーリングリスト（ipmsg-ML）で行なわれている。TCP/IPコントロールパネルの設定をEthernetを使った手入力にして、プライベートIPアドレスを使用すれば、家庭内など数台のマシン間でも手軽に利用可能だ。

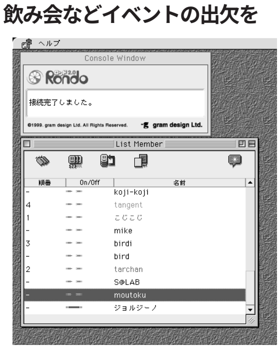


8 Rondo

CD-ROM

バージョン　2.0／作者　有限会社グラム・デザイン／分類　カンパウェア／代価　ビール券・図書券など／日本語対応　◎／登録場所　http://www.gram.co.jp/rondo/

Rondoは、グループ内でメッセージを回覧して遊ぶ、新しいタイプのコミュニケーションソフトだ。使用するには、MRJ 2.0以上（2.1推奨）のJava実行環境が必要である。ダブルクリックで起動すると、グラム・デザインのRondoサーバーへ自動的にアクセスする。接続完了と表示されたら、Preferencesダイアログのユーザー設定画面を開き、「ニックネーム」と「好きな言葉（パスワード）」を必ず設定しよう。日本語でもかまわない。最初に思い立った者が回覧のテーマ、送信相手とその順番、回覧先での待ち時間などを決めて送り出す。受け取ったメンバーは、時間内に回答を入力して次にまわせばよい。全員から返事をもらったら、はじめのメンバーのところに戻ってくる。一定の時間内に必ず戻ってくる特性を利用して、飲み会などイベントの出欠をとるといった用途にも使えるだろう。7月中に公開予定のサーバーパックを使えば、社内LANなどで独自のサーバー運営が可能になる。



FreeWare
コミュニケーション用ソフト

9

EasyBell CD-ROM

バージョン 4.0.1／作者 美川卓也／分類 Shareware／代価 1,000円／日本語対応 ◎／登録場所 http://kuic.kyoto-u.ac.jp/˜mikawa/easybell.html

文字表を片手に、プッシュダイアルでポケベルメッセージを打つのが面倒なら、EasyBellの出番だ。キーボードで文字を入力し、ボタンをクリックするだけで、ポケベルをはじめ携帯電話やPHSへ、文字メッセージを簡単に送信することができる。サポートしている機種が幅広く、ほとんどの会社に対応しているのがうれしい。具体的にはドコモ・ドコモネクストシリーズ、東京や関西などのテレメッセージ、NTTドコモのショートメール（携帯電話）、およびNTTドコモのきゃらメールやDDIポケットのPメール（PHS）などに加えて、バージョン4.0からは、J-PhoneのSkyWalkerやデジタルツーカーのSkyWarp、アステルモジトークといったサービスにも広がった。使用方法は簡単だ。起動画面の新規登録ボタンで電話番号などを登録したのち、名前をダブルクリックしてダイアルウィンドウを開き、送信文字フィールドにメッセージを入力してスタートボタンを押せばよい。

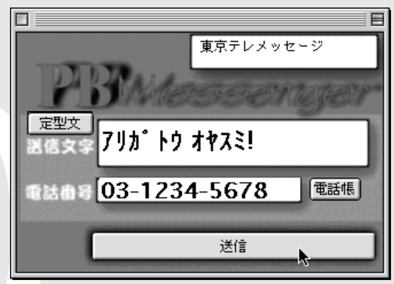


10

PBMessenger CD-ROM

バージョン 2.1／作者 武田博／分類 Shareware／代価 1,000円／日本語対応 ◎／登録場所 http://www.tctv.ne.jp/members/takeda/home.htm

PBMessengerもまた、暗号表のようなワードマトリックスにたよらずに、Macとモデムを使ってポケベルのフリーメッセージを簡単に送信することができる。送信可能なポケベルは、NTT ドコモのセンティーシリーズ、センティーネクストシリーズ、ドコモショートメール、および東京テレメッセージの一部で、さらにアステルモジトーク（PHS）にも対応している。メインウィンドウはシンプルで、とてもわかりやすい。右上の枠をクリックすればポケベル方式を切り替えることができ、送信文字と電話番号欄に入力して送信ボタンを押すだけだ。使用できるのは半角カタカナ、英数字、および一部の記号とスペースで、必ず半角文字で入力することに注意しよう。定型文と電話帳という便利な機能も備わっている。いずれもメインウィンドウのボタンをクリックするとダイアログが開き、それぞれ255項目まで登録可能だ。それらをメニューバーから簡単にコピーできるのがよい。



11

TelMail CD-ROM

バージョン 1.3.2／作者 芳賀浩幸／分類 Shareware／代価 1,000円／日本語対応 ◎／登録場所 http://www.lph.com/mac/

最近の携帯電話やPHSのほとんどは、ページャー（文字メッセージの送受信が可能な移動通信システム）としての機能を備えている。TelMailは、そのような通信端末に、モデムのトーン信号を利用して簡単にメッセージを送れるソフトである。漢字にも対応しているほか、時計やハートマークなどの記号類を送信することも可能だ。動作確認されているサービスは、NTTドコモのショートメールときゃらメール、DDIポケットのPメール、J-PhoneのSkyWalker、およびセルラー文字サービスだが、その他についても一応設定されている。筆者もショートメール（携帯電話）ときゃらメール（PHS）で、漢字メッセージの着信を確認した。初期設定ダイアログのポートとPhone（回線種別）を選んだら、メインウィンドウで電話番号や送信内容を入力し、ページャの種類を選択して送信ボタンを押す。電話帳、自作メッセージやシグネチャーの登録機能など、なかなか使い勝手がよい。



12

SutoPhone CD-ROM

バージョン 1.05／作者 須藤忍／分類 Shareware／代価 1,500円／日本語対応 ◎／登録場所 http://spock.vector.co.jp/authors/VA008841/

SutoPhoneは、ボイス機能を搭載したモデムを利用して動く留守番電話プログラムだ。漢字Talk 7.5から備わったテレフォンマネージャ（Macと電話回線を接続して情報の交換を可能にする機能）を利用して動作するソフトもあるが、SutoPhoneの場合は、単にボイスモデムさえあれば機能する。基本操作は、ボタン類をクリックして簡単に行なえるほか、キーボードから操作することも可能だ。受信、発信、録音／再生の3つのモードがあり、留守番電話として機能する受信モードでは、外部から受信した音声をファイルとして所定のメッセージフォルダ内に自動的に保存する。音声ファイルは、自宅でSutoPhoneを使って連続再生できるほか、自宅外の電話機から聴くこともできる。また、PHSの文字メッセージの送受信をサポートしており、定型メッセージ（半角カタカナと英大文字のみ可）や、複数の電話帳を作成できるなど、豊富な機能を備えている。



キューティマスコット++入門講座

CD-ROM

小池邦人

マはマスコットのマ

第6回　デスクトップペットを作ろう　前編

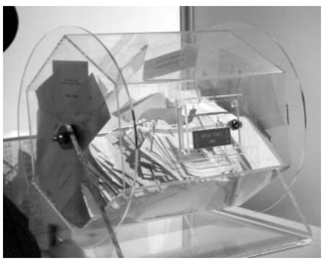


写真1●WWDC'期間中、これで50台のPowerBook G3が抽選された。私はハズレました

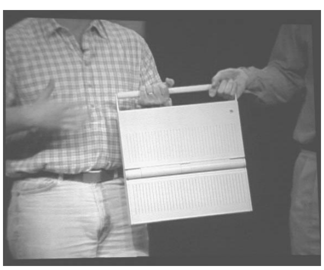


写真2●なつかしの初代ポータブル！ 鉛蓄電池で8時間も使えたのだ



写真3●「Best Apple Technology Adoption」受賞の時もらったAppleからの賞状です

プロローグ

みなさん、今年のWWDC'99（Worldwide Developers Conference 1999）も無事に終了いたしました（写真1）。残念ながら、今回もまたコンシューマポータブルは、お・あ・ず・け・です。Appleのハードウェアチームのセッションでは、おもむろに初代ポータブルを取り出して「これこそがコンシューマポータブルである！」とギャグを飛ばしていました（写真2）。つまり「取っ手がある」「とても丈夫」「液晶は綺麗」「HDは大容量」「バッテリーは長持ち」「CPUは高速」「小さくはない（笑）」てなことを暗示しているのかもしれません。次回の発表のチャンスは、7月20日から23日まで開催される「MACWORLD Expo/New York'99」になりそうです。とにもかくにもコンシューマポータブルは「グレート！！」だそうですから、期待して待とうではありませんか。

今回のWWDC'99で一番印象的だったのは、各セッションで説明をするAppleのメンバーが、前回からほとんど入れ替わっていなかった点です（もちろんiCEOも含めて）。「3年連続の壇上は新記録だぜ！」と叫んでからセッションを開始する副社長もいました（笑）。Appleのことをよく知らない人は驚かれるかもしれませんが、以前のAppleでは考えられない「事件」なのです。それだけ、現在のメンバーは腰を落ち着けて開発に打ち込んでいるということでしょう。

今回は以前はよくあった「こけおどし」や「派手さ」だけを追求した発表はありませんでしたが、とても「地に足のついた」WWDCでありました。多くの参加者も、今回のWWDCには好印象を持ったようです。今月号のCD-ROMの「おまけフォルダ」には、WWDC'99の様子を納めた電子アルバムを添付しました。ぜひお楽しみください。

それから前号のマスコットニュースにも載りましたが、おかげさまでキューティマスコットJr.が「Apple Design Award」（Macintosh用ソフトのコンテスト）で「Best Apple Technology Adoption」を受賞いたしました。これも、多くのマスコット作家の方々が生み出したマスコット達が、Macの世界を大いに盛り上げてくれた結果です。本当にありがとうございました（写真3）。そうそう「なぜ、マスコット++じゃないの？」というメールも頂きましたが、これは「マスコット++には英語版マニュアルがなかった」という単純な理由からです。

電子ペットを考える

前回は「インターネットとマスコット」という題目で、マスコットとインターネットの関係についてお話しました。マスコットから見たインターネットの可能性というものを少しでも感じていただけたなら幸いです。さて、今回と次回は「デスクトップペットを作ろう」というテーマで、マスコット作りの王道に戻りたいと思います。

Mac上の電子ペットといえば、メーラーの「PostPet」とか、熱帯魚や鳥をモニター上で飼育するソフトなどが有名です（図1）。しかし、なんといっても電子ペットの代名詞は、バンダイの「たまごっち」でしょう。一大ブームになり、類似品も含めて世の中に大量に出回りました。しかし今ではブームも去り、持ち歩いている人を見かけることもありません。あの大量の「たまごっち」達はどこへ消えてしまったのでしょうか？

まあそれは横に置いといて、最近それに取って変わったのが、ペット人形やペットロボットです。ソニー製の犬型ロボット「AIBO」などは、発売開始20分で完売してしまうほどの大人気です（図2）。形態は変わったとしても「ペット」という対象に多くの人たちが心惹かれていることは間違いないようです。

では、多くの飼い主は自分の電子ペットに何を望むのでしょうか？「チョ〜カワイイ…」。まずは、これでしょうか？　表情や動きといったビジュアル的な可愛さだけではなく、ユーザー（飼い主）のアク

マスコットニュース
マスコット作品　大募集

MACLIFE編集部では、読者が作ったマスコット作品を募集しています。お送りいただいた作品は、MACLIFE CD-ROMに収録するほか、優秀作品には薄謝を進呈いたします。みなさん、ふるってご応募ください。
送り先は：maclife@bnn.co.jpまで


図1●iMacにバンドルされて大人気の「PostPet」


図2●SONY製ペットロボット「AIBO」値段だけがネックです

ションに対するリアクション（反応）の可愛さも重要なポイントです。

もちろん、飼い主とペットとのコミュニケーションの楽しさが必要です。飼い主がなでたり、叩いたり、ほめたり、しかったり、こうした行為に対して、ペットが個性的な反応をする。また飼い主のアクションにより、ペットの「機嫌」や「性格」が変化していくのも面白いかもしれません。なんと、前記したソニー製「AIBO」には、こうした機能が組み込まれているそうですから驚きです。

次のポイントは「成長」することかもしれません。最初は子供で、ご飯（餌）をモリモリ食べて大きくなる。そして寿命がくると最後には死んでしまう…。まあ「寿命」を電子ペットに導入するかどうかは意見が分かれるところでしょう。余談ですが、天馬博士が税金で作った「アトム」は、交通事故で亡くなった自分の息子の身代わりだったわけです。でも、博士は成長しないからとキレてしまい、アトムを「サーカス」に売り飛ばしてしまいました（何度聞いてもひどい話だゾ）。まあ、アトムをペットに例えるのは失礼なのですが、AIBOもさすがに成長はしないと思いますので、この点に関してのユーザーの反応が見物です（寿命はあるかもしれないですが…）。

それから、ペットの日常的な生理現象の再現も重要だと思います。飼い主側からのアクションがなくても、ペット側から何らかの要求がドンドン来る仕組みです。「腹へった」「トイレ」「眠い」「暑い」「寒い」「遊びたい」などなど…。こうした要求への対処に手が掛かれば掛かるほど、そのペットがいとおしくなります。えっ、嫌いになる人もいるって？（笑）まあ、この辺のバランスは実に難しいところです。

そして、最後のトドメが「隠れおまけ機能」です。ペットの楽しい隠れ機能を見つけ、他の飼い主とその実現を競えたりすると、ペットへの愛情が倍増します。PostPetの動物達が送ってよこす「秘密日記」や、たまに拾ってくる「宝物」などは実によい例です（図2）。人の知らないことを知っているのは、実に気分がよいわけですね。

電子ペットとマスコット

電子ペットを育てるのとは別に、「自分のペットを作ってみたい」と考えたことはありませんか？　自分で作った電子ペットが、多くMacユーザーのデスクトップに生息していると考えるだけで、何だかワクワクしてきます。キューティマスコットは「たまごっち」が登場する何年も前から、こうしたMacユーザーの要求をかなえてきました。

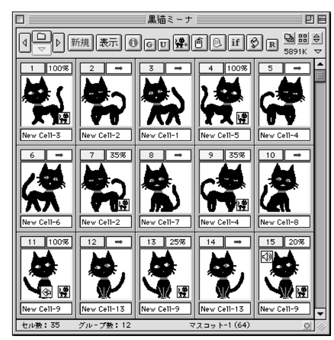
まずは「ペットの動きや表情をマスコットでどう表現するか？」です。ご存じのとおりマスコットは複数のセルをグループ化することで、ひとつの動作を表現します（図3）。このグループ数を増やせば、それだけ挙動が複雑で、表情が豊かな電子ペットができあがります。簡単にいえば「どんどん描くべし！」となるわけですが、1度に全部を完成させる必要はありません。マスコット作りに締め切りはないので、アイデアを思いついたら、1グループ、1グループ少しずつ描き足していきましょう（この時点で、すでにペットの飼育が始まっているともいう…）。

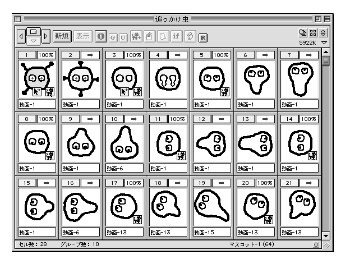
それから「私は絵心がないから」とかいってあきらめないでください。日本人には他人の上手な作品を見てしまうと、自分の作品をすぐ引っ込めてしまう消極的なタイプの人が多いようです。

以前お話したように、マスコット++にはビデオから画像を取り込む機能もあります。3Dデータだって取り込めます。ちょっとしたアイデアさえあれば、面白い個性的なペットができ上がります。絵が下手だとか上手とかは重要ではないのです（図4）。だって、思い出してみてください「たまごっち」の絵だってあんなもんだったじゃないですか（笑）。

さて、調子に乗ってペットの動作を増やしていくと、フォルダー中にはたくさんのグループがひしめき合って管理が大変になります（図5）。マスコット++には複数マスコットを別フォルダーで管理する機能があります。これは複数体のマスコットを同時に表示するための機能なのですが、これをグループ整


図3●我が家のYoYoが送りつける秘密日記と宝物箱


図4●ひとつのグループがひとつの動作を表現する


図5●おっかけ虫のこんな絵だってかわいいペットになる



マはマスコットのマ

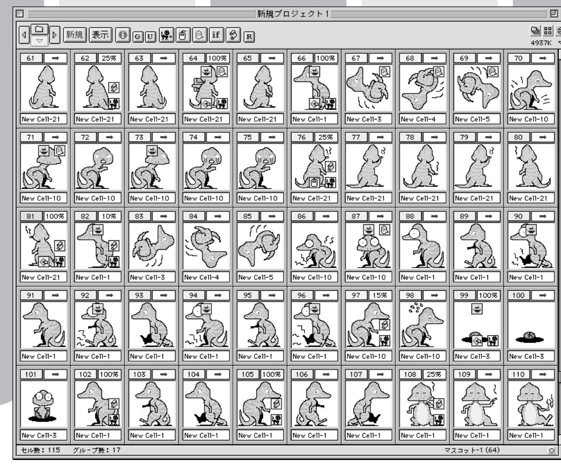


図6●グループが増えてくると煩雑になり編集しにくくなる



図7●ペットの世代別にマスコットフォルダーを切り替える

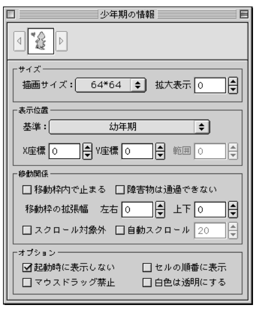


図8●情報ウィンドウによる初期表示OFFとその位置の設定

理に活用することができます。

たとえばペットの成長に合わせて「子供」「青年」「成人」「老人」といったマスコットフォルダーを作ります（図7）。そして、最初に表示するマスコット以外（青年や成人や老人）は、情報設定ウィンドウで「起動時に表示しない」をチェックしておきます。また、表示位置の「基準」には前の世代のマスコット位置を選びます（図8）。こうすると、最初は「子供」だけが表示されますので、あるタイミングで「子供」から「青年」にマスコットを切り換えてやります。

その場合ペットの表示位置は変わりませんから、見ている方は1体のマスコットが継続して動いているように感じます。世代の切り換えは、プログラムウィンドウの「マスコット」の「表示を開始」と「表示を終了」で行ないます（図9）。

実際には「一定時間が経った」時点とか「一定量の餌を食べた」時点で次世代に切り換えることになります。これを実現するのには「変数」と「予定」（スケジュール）を利用することになります。また、アプリ化したペットを終了させた時、現在の世代や経過時間を記録しておく必要もあります。こうした件に関しては、次回に詳しく解説する予定です。

電子ペットとのコミュニケーション

次は飼い主とペットのコミュニケーションを考えてみます。ペットに可愛いリアクションをさせるには、まずは飼い主がペットに対して何かアクションをとる必要があります。マスコット++では、グループに対するイベントを設定することで、飼い主側のアクションを決めます。イベントには、カテゴリー別に「マウス」「キー入力」「コマンド」「衝突」「その他」があります。これらの内容を順番に見ていくことにしましょう。

まずは「マウス」イベントです（図10）。マウスクリックはペットを「ぽん」と叩く時に利用できます。また、回数を指定できますのでシングルクリックは「ほめる」、ダブルクリックは「叱る」といった具合に違う意味を待たせられます。その横のマウスカーソルエンターとアウトは、マウスカーソルがマスコットと重なったかどうかを連絡します。これは、ペットを「なでる」のに使えます。その下のマウスカーソルムーブは、指定方向にマウスカーソルが一定距離（ピクセル数）以上移動したかどうかを調べます。

どのくらい移動したら反応するかは「アプリ作成」ダイアログの「マウスムーブの感度」で設定します（図11）。これは、ペットを調教する仕組みに利用したらおもしろいかもしれません。

次の「キーボード入力」イベントでは、アルファベットキーの数だけペットに命令を伝えられることになります（図12）。そういえば、私のお気に入りのマスコットの中に、アルファベットキーを押すとそのキーの内容を人文字（やぎ文字）で表現する「やぎマスコット」（J.Taniさん作）という素敵な作品がありました。特殊キーの上下左右矢印キーは、マウスムーブイベントと同じようにペットの調教に利用できそうです。

その次の「コマンド」イベントは複数のマスコットが情報をやりとりするための仕組みです。しかし、その下のオプションをチェックすることにより、飼い主からの要求をペットに伝えることが可能になります。特に「音声認識に反応する」と「TEXTドロップに反応する」をうまく利用すると、ペットとのコミュニケーションがぐっと充実します。これについては、のちほど個別に詳しく説明いたします。



図9●プログラムからマスコットの表示ON/OFFを制御する



図12●「キーボード入力」イベントの設定



図10●「マウス」イベントを設定する

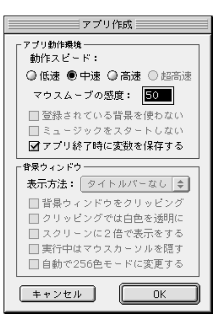


図11●アプリ作成ダイアログで「マウスムーブの感度」を決める

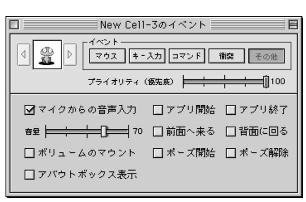


図13●「マイクからの音声入力」イベントの設定

その次の「衝突」イベントは何に使えるでしょうか？　たとえば別マスコットとしてペットの巣箱を作っておき、そこにペットが入ったら一定時間眠ってしまうというシチュエーションはどうでしょう？ペットの餌になるマスコットが定期的に現れ、それをペットが追いかけ、重なったら食べてしまうのもおもしろいかもしれません。

最後の「その他」イベントで利用できるのは、「マイクからの音声入力」「アプリの開始」「アプリの終了」「前面へ来る」「背面に回る」ぐらいでしょう。「マイクからの音声入力」はマイクへ入って来る音量（ボリューム）によりペットの反応を変えられます。ですから、「わ〜」とか「ぎゃ〜」とかの大声や、拍手の大きさよりにペットに異なる動きをさせることが可能です（図13）。

Speech Recognitionをインストールする

それではここで、「コマンド」イベントのオプションである「音声認識に反応する」と「TEXTドロップに反応する」について詳しく解説したいと思います。まずは音声認識からです。

以前、マスコット++でスピーチ（英語を喋らせる）を実現するためには、「English Text to-Speech」をインストールする必要があると説明しました。それと同様に、マスコット++やマスコットJr.で音声認識を利用するには、まずApple社が提供している「English Speech Recognition」をシステムにインストールしなければなりません（図14）。このシステムはPowerPC搭載のMacのみで利用可能です。また特に注意しなければいけない点は、iMacや新型PowerMacintosh G3（新型PowerBook G3も）では最新のバージョンv1.5.4でないと音声認識ができないことです。

現在この最新バージョンは、Apple社の以下のサイトから無料でダウンロードすることができます。

http://asu.info.apple.com/swupdates.nsf/artnum/n11400

またアップルからMacOS 8.6のCD-ROMを購入された方は、その中の「Mac OS 特別付録」フォルダー内に「English Speech Recognition」フォルダーと「English Text-to Speech」フォルダーがあります。それから各システムをインストールしてください(図15)。

使ったことがない人のために「English Speech Recognition」本来の機能を簡単に説明しておきます。English Speech Recognition」のインストールを行なうと、機能拡張フォルダに「Speech Recognition」と「SpeakableItems」が保存されます。また、コントロールパネルフォルダには「Speech」が、アップルメニューフォルダには「Speakable Items」がそれぞれ保存されます（図16）。

まずは、コントロールパネルから「Speech」を起動して、メニューで「Speakable Items」を選び、Speakable Items isを「ON」にしてください。すると、キャラクターが表示された小さなフローティングウィンドウがオープンし、音声認識ができるようになります（図17）。このウィンドウに表示されているキャラクターは「Speech」の「FeedBack」で切り換えることができます（図18）。

どんなセンテンスを認識できるかは、アップルメニューに追加された「Speakable Items」内のファイルの名称で決まります。このファイルは一つひとつがAppleScriptの実行形式ファイルになっています。音声認識が成功すれば、対応ファイルが起動してAppleScriptで記載されたプログラムが実行されるわけです。音声認識をしなくても、アップルメニューから項目を選んで直接実行することも可能です（図19）。


図14●「English Speech Recognition」のインストール

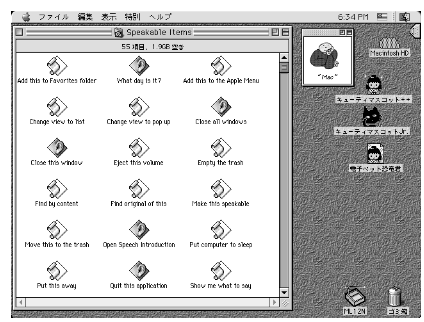

図15●MacOS 8.6の「Mac OS 特別付録」フォルダ



図16●「English Speech Recognition」の機能拡張やコントロールパネル


図17●音声認識のためのフローティングウィンドウ


図18●音声認識のためのキャラクターを切り替える


図19●「Speakable Items」フォルダ内のAppleScriptファイル

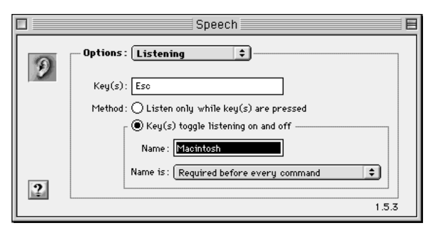


図20●Speechコントロールパネルで「Key」を設定する

マはマスコットのマ



図21●最近のトランスルーセンとの外付けマイク。ショップで売っています。

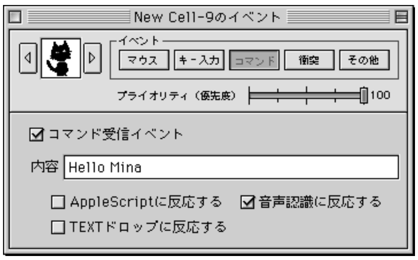


図22●「コマンド」イベントの設定と音声認識オプション

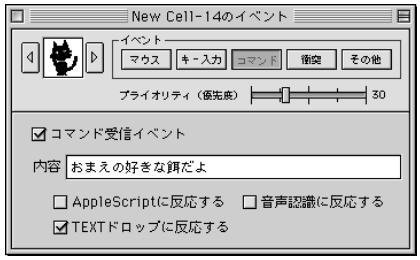


図23●「コマンド」イベントの設定とTEXTドラッグ＆ドロップオプション

また、認識させたいセンテンスを喋る前には、必ず「Key」となる単語を認識させる必要があります。

たとえば「Computer」とか「Mac」ですね。これは、Speechの「Listening」で設定することができます（任意のキーを押して代用することも可）（図20）。さて、とりあえず「What time is it?」とでもいって、Macが反応してくれるかどうか試してみてください。結構難しいですよ。

音声認識でのコミュニケーション



図24●「まりもん1号」のための「たべものフォルダ」

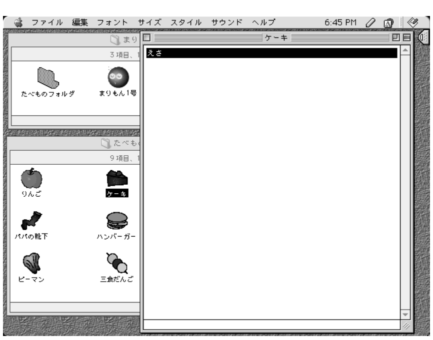


図25●「ケーキ」テキストファイルの中身

マスコット++で音声認識を利用するためには、まずは音声入力の取り合いを避けるために、Speechコントロールパネルのspeakable Items isを「OFF」にしてください。マスコットと両方動いていても大丈夫ですが、認識率が悪くなる可能性があります。それからiMacで音声認識を楽しみたい方は、外付けのマイクを入手されることを強くお薦めします（図21）。iMacの内蔵マイクでも利用できるのですが、これを使うと、iMac内部のノイズを拾ってしまい、それでなくても悪い認識率がさらに悪くなります。

そうそう、音声認識には声の大きさはあまり関係ありません。逆に大きな声で話すと、音が割れて認識率の低下につながります。特に別の人がいる所で実験する場合は注意してください。Macに向かって大きな声でブツブツと話していると「この人大丈夫かしら?」と思われます（笑）。

音声認識が成功した時に表示したいグループを選び、イベント設定ウィンドウの「コマンド」で認識文字列を入力し、「音声認識に反応する」をチェックしてください。設定はこれだけです（図22）。とりあえず、「Hello Mac」ぐらいで試してみましょう。どうです、うまくいきましたか？　残念なことに、現在の音声認識は「英語」しか認識してくれません。また、英語でも対象は北米英語だそうです。短いセンテンスでも、発音が難しい単語があると、なかなか認識してくれません。

逆にセンテンスを長くすると認識率は上がる場合もあります。「大げさな発音が大事」と力説する人もいますが、なかなか難しいですね。ところがコマンド内容をローマ字表記の日本語にしてやると、「OHAYOU」とか「SAYOUNARA」ぐらいはちゃんと認識してくれます（当社比）。これならペットとのコミュニケーションに活用できそうです。思い切って、全部ローマ字表記でチャレンジしてみてはどうでしょうか？

あと、音声認識を利用したマスコットを作ってそれを配布するような場合には、必ず付属のドキュメントに「音声認識を利用していますので、Apple社のEnglish Speech Recognitionをインストールしてください」などの注意書きを入れておいてください。同時にシステムのダウンロード先URLアドレスも記載しておくと親切です。

音声認識の「真」の日本語対応なのですが、実現の道は遠そうです。そうそう、以前の「Speech Manager」には「ひらがな」を読んでくれる日本語ボイス（まさこ＆ひろし）が付属していたのですが、MacOS 8.5から利用できなくなってしまいました（涙）。せっかくMacOS 8.5から日本語解析エンジンを搭載したのですから、スピーチと音声認識の日本語対応ぐらい、なんとか実現してほしいものです。今回のWWDCにおいて、AppleはDragon Systemsという会社と提携して、音声認識エンジンを大幅改良すると確約しました。その時の話では、各国語対応も来年早々には開始すると説明していたのですが、さあどうなるでしょうか？　Appleがこの技術の重要性に気が付き、MacOS 8.6のGameSprocket同様に、最初からシステムにインストールしておいてくれることを望みたいと思います。

ドラッグ＆ドロップでのコミュニケーション

次は、TEXT（テキスト）ファイルのドラッグ＆ドロップです。イベント設定ダイアログの「コマンド」を選び、認識させたい文字列を入力し「TEXTドロップに反応する」をチェックします。設定はこ

れで完了です（図23）。だいたいの仕組みは音声認識と同じですが、文字列の認識は、マスコット上にドラッグ＆ドロップされたテキストファイル（アイコン）の中身を参照することで判断されます。つまり、ペットに対して喋って伝えるのではなく、手紙で伝えるというわけです。

百聞は一見にしかず、テキストファイルのドラッグ＆ドロップをうまく利用した例として、まるたつ（小田辰夫）さん作の「まりもん1号」を紹介したいと思います。まずは。まりもん1号の本体を起動してみてください。「たべものフォルダ」の中には、まりもん1号のための「餌」がいろいろと入っています（らしくないのも若干ありますが…）（図24）。実はこれは、テキストファイルに自作アイコンを付加した物です。試しに「ケーキ」アイコンをSimple-Textでオープンしてみましょう。すると中には「えさ」と記述されていることがわかります（図25）。

この「ケーキ」アイコンを、Finderからまりもん1号にドラッグ＆ドロップしてみてください。おおっ、まりもん1号が美味しそうにケーキを食べましたね（前述のText-to-Speechがインストールされていると喋ります）。そして、食べた分だけちょこっと成長するではありませんか！（図26）。

この機能を使うと、アイコンをペットにドラッグ＆ドロップさせるだけで、ペットと簡単にコミュニケーションができるわけです。「餌」「おもちゃ」「天敵」「手紙」などなど…。色々なアイコンを用意すると楽しいでしょう。アイコンの作成は「ResEdit」や「Icon Machine」などのアイコン作成専用ソフトを用いてもよいですが、マスコットのペイント機能を使うのが簡単です。32×32のアイコンを作画したら、カットしてテキストファイルの情報ダイアログ（Finderのファイルメニューの「情報を見る」）のアイコン表示エリアにペーストします（図27）。テキストファイルの方はSimpleTextで作りましょう。

注意点としては、最後にReturn（改行）を入力しないことぐらいです。内容は日本語でも英語でもかまいません。それが、イベント設定ウィンドウに登録した文字列と完全に一致した場合だけコマンドとして認識されるわけです。

「まりもん1号」は今月のCD-ROMにも添付されていますので、みなさんも育ててみてください。感想は「まりもん1号について」に記載されているまるたつさんのメールアドレスへE-Mailで送りましょう！

ところで、まるたつさんの所の実物「まりもん1号」君は無事ビンから脱出できたのでしょうか？　実に気になるところであります。



図26●まるたつさん作のドラッグ＆ドロップでケーキを食べて成長する「まりもん1号」

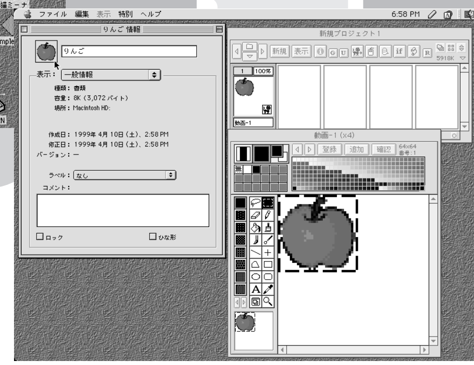


図27●マスコット++のペイント機能でアイコンを作成する

エピローグ

昔々（Macintosh Plusの時代）Macにも楽しい電子ペットソフトがありました。ひとつは「Talking Moose」といいます。画面の隅に動物の顔がひょこり現れて、何か奇妙な英語を話していました。ムースとは大きなシカみたいな生き物です（図28）。

もうひとつは「Puppy Love」です（図29）。これは、黒いワンちゃんを調教するソフトです。このワンちゃん、飼い主が調教すると芸を覚え、自信がついたら競技会に参加して入賞メダルを狙いました。芸の種類も豊富で、バラをくわえてタンゴを踊ったり、腕立て伏せをしたり、しっぽを回して飛んみたり…（笑）。ちなみに、我々の仲間内では「R-28号」という伝説のワンちゃんが存在していました。それはそれは沢山の素晴らしい芸を披露してくれたものです…。この「R-28号」、今でも家のどこかのフロッピーに生きているはなんですが？　暇があったら、探してみることにしましょう。

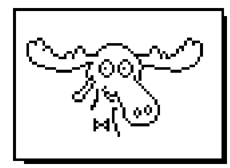


図28●こんな画面がデスクトップに現れてしゃべるTalking Moose

さて、今回のペットと飼い主のコミュニケーションの話は面白かったでしょうか？　次回は「ディスクトップペットを作ろう！-後編」という題目で、「変数」「予定」「実行条件」の利用法を主題にお話いたします。飼い主に対するペットのリアクションや、ペットの日々の暮らしぶりについても研究してみたいと思います。お楽しみに！

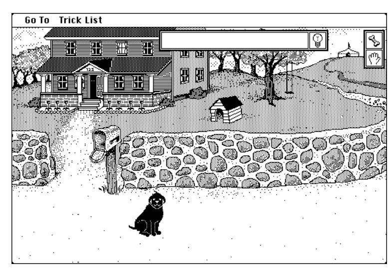
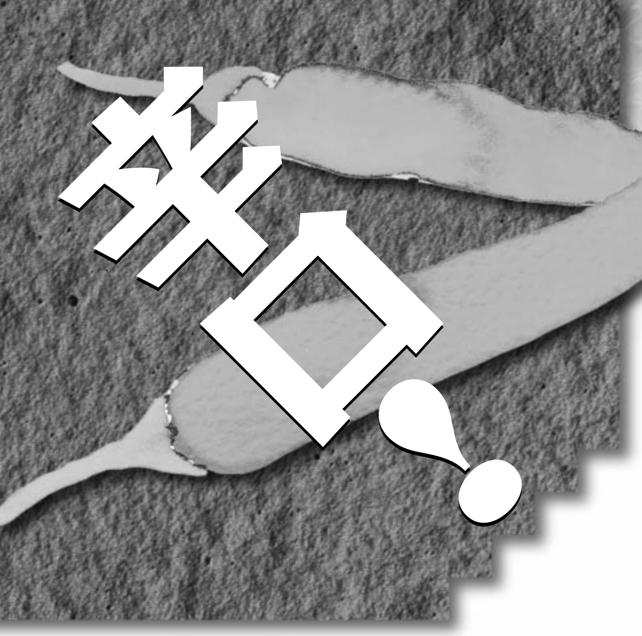


図29●懐かしいPuppy Love

マスコットニュース

キューティマスコットに関する詳しい情報をお求めの方は（株）コーシングラフィックシステムズのホームページにおいでください。今月号のCD-ROMには、キューティマスコット++ v1.51アップデータが添付されています。いくつかの有用な機能が追加されていますので、ぜひご利用ください。また、キーウェアご購入の方は、同じくCD-ROMに添付されているキーウェア版v1.51を、そのまま継続してご利用いただけます。お試しください！

http://www.kohshin-graphic-sys.com/



辛口！現場が教える本音DTP講座

DTPを行ない印刷物などを作成していると、必ず出てくる用語や単位などがあります。普段は何気なく使っている言葉かもしれませんが、DTPを扱っているすべてのひとが、本当に意味を理解しているようには思えません。また、難しいことはわかっていても、基本的なことは意外と忘れてしまいがちです。

先日、ある印刷会社でお客様から、「175lpi（線）の印刷物を作るとき、画像は350ppiがよいというがナゼなのか」という質問を受けたオペレーターが、「lpi×2だからです」と答えていたのには絶句しました。たしかにある意味で、間違いではありませんが、ではナゼ「lpi×2」なのでしょうか？　また、ラインアート（モノクロ2階調、凸撮りと呼ばれるような原稿）は、いったいどれくらいの入力解像度に設定すれば、きれいに見えるのでしょうか。

このようなことを学ぼうとしても、巷にあふれる出版物では、基本的なことはわかっているものとして書かれていることが多いようです。またWebなどで質問をして聞こうとしても、「過去ログを見るように」の一言で片づけられてしまうケースも、よく見かけます。

今回と次回の2回にわけて、このような「よく考えるとチョットわからない」といった、基本的な質問にお答えしていきましょう。

第5回　DTP基礎

文◉佐々木　剛　有限会社イメージエクスプレイン

画像データ

ビットマップデータの基本

ビットマップデータを理解するためには、まずはじめに、ビットマップとは何かを知る必要があります。

ビットマップのビット（bit）とは、コンピューターで扱われる情報の最小単位のことで、電気的な信号です。

1ビットは2進数で1桁になりますので、0か1かの2通りの値を扱うことができます。ビット数が増えると、2進数の桁も増えますから、扱える情報量も乗数（2のn乗）で増加しますので、8ビットで256通り、24ビットで16,777,216通りの情報を扱うことができるわけです。

コンピューターで扱われるビットマップデータは、基本的に「ピクセル」と呼ばれる点が、縦と横に一定の大きさと位置関係を保ち、均一に並んだ集合体で形成されています。このピクセルひとつひとつに色が着けられ、それが集まってひとつのビットマップデータを作り上げているのです。当然この画像を構成するピクセルひとつひとつには、Xビットの情報が割り当てられます。

たとえばモノクロ2階調のデータでは、1ピクセルに1ビットの情報が割り当てられています。つまり、0が割り当てられたドットは黒く、1が割り当てられたドットは白くなり、全体には階調のないモノクロ画像を表現することになります（図1）。

また、グレースケールやカラーといったような濃度差（階調）が必要なデータの場合、通常Macでは一色あたり8ビットで表現する

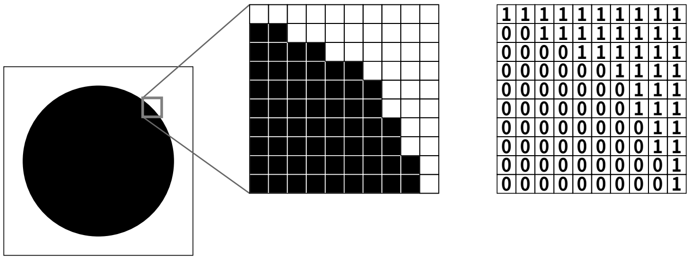
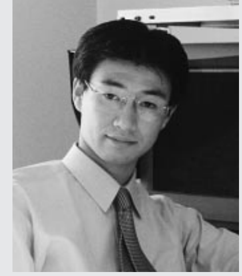


図 1　モノクロ2階調の絵柄を拡大したところ。Photoshopなどのペイント系ソフトで拡大してみると、図のようにピクセルが見えるのでよくわかる。右図は、これを量子化したときの数値

著者紹介
◉
Sasaki Takashi



佐々木　剛

都内にて、プリプレスコンサルティング会社を主宰。先日は、都内某製版会社の新工場をトータルプロデュース。出力業務にBlue & White G3を10台使用しているが、ほとんどの問題は解決している。Tipsなどは、近く公開する予定。多忙な毎日だが、最近飼ったリスと戯れるのが、ストレス解消になっている。

ことになります。したがってグレースケールでは、2^8＝256段階を扱えることになりますので、白から黒を256階調（色）で表現することができるわけです。

これがカラーになると、RGB各色が8ビット（2^8）ですから、$2^8 \times 2^8 \times 2^8$＝16,777,216階調が表現できるのです（図2）。

講 座 ❶

入力解像度

入力解像度とは、ビットマップデータの密度をあらわす用語で、日本では一般的にppi（pixel per inch）という単位で表記されます。

つまり、1インチ四方の四角の一辺に何個のピクセルがあるかというもので、10ppiならば10個、100ppiならば100個というように、数字が増えれば増えるほど高密度（高精細）になっていきます（図3）。

もちろん、高密度にすればするほど、美しく見えるわけですが、必要以上に高密度にしても、見た目への影響はそれほど変わらなくなってきます。また、1インチあたりに入る情報量が増えるわけですから、データの容量も比例して大きくなります。たとえば、CMYKモードで10cm×10cmのサイズ、100ppiの入力解像度であれば約607kB、200ppiでは約2.37MB、300ppiでは約5.33MB、400ppiでは約9.47MBになります。このように、入力解像度が倍になると、データ の容量は4倍になるのです。

それでは、どの程度の入力解像度に設定すればよいかというと、これを求めるにはスクリーン線数と出力解像度を知らなければなりません。また、絵柄の内容によっても左右されますので、一概には判断できません。

ところで入力解像度という言葉は、どのような時に使うかといえば、写真などのスキャニング（分解）時に使用します。写真などのスキャニングを行なう場合、倍率と入力解像度の指示が必要となるからです。たとえばある写真のスキャニングを依頼するとき、「Aという写真を250%・350ppiでスキャニングしてほしい」と依頼するわけです。

出力データ

スクリーン線数

通常、オフセット印刷機を含むプリンターは、なにも印字しない「白」か、100%ベタしか印刷ができません。これは、印刷の技術がインクの濃淡で階調を表現するものではなく、アミ点と呼ばれる小さな点の大きさで、濃淡を表現するためです。

スクリーン線数とは、アミ点が1インチあたりに何個並んでいるかを表す用語で、lpi（line per inch）または線という単位で表記します。入力解像度であるppiと同じように、数値が増えれば増えるほど、アミ点の数が増え、高精細になります。

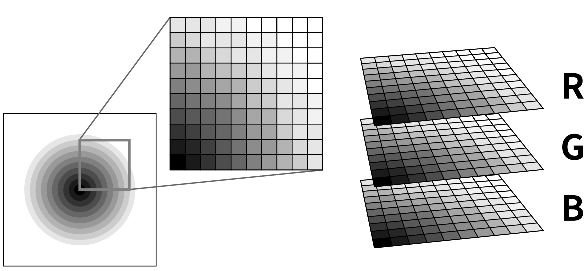


図 2　グレースケールのデータを拡大した。各ピクセルは、0／255（＝0）から255／255（＝1）までの数値に、量子化されている。カラーの場合、右図のようにRGB各色に256段階あるデータが、重なり合っているように考えるとわかりやすい

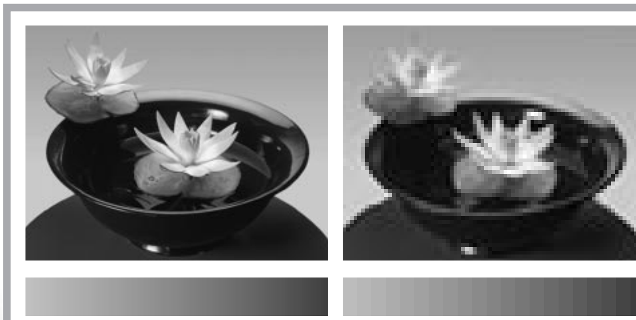


図 3　同じデータを左は300ppi、右は72ppiで再サンプリングした。グラデーションを作成してみると、300ppiでは滑らかだが、72ppiではバンド（階調とび）が現れてしまう

辛口！ 現場が教える 本音DTP講座

画像データと出力データの相互関係

一般的なカラー印刷物では、150lpi〜175lpi、2色・単色物では133lpi〜150lpi位で印刷をしています。これ以上の線数で印刷をしたい場合は、事前に印刷会社に確認をしたほうがよいでしょう。なぜならば、一般的なオフセット印刷では、200lpi程度までしか印刷をすることができないからです。これは、通常のオフセット印刷機や刷版（PS版）に精度の限界があるためです。

それ以上の線数が要求される場合は、いわゆる600lpiなどの高精細印刷や、FM（Frequency Modulated）スクリーン印刷（図5）などを用います。しかしそれらには、対応した印刷機とPS版を用いなければなりません。また、イメージセッター用RIPにも、線数の限界がありますし、FMスクリーンはそれをサポートするRIPでないと出力ができませんので、出力先への確認が必要でしょう。

出力解像度

出力解像度は、dpi（dot per inch）と表記され、出力物の精細さを表す単位です。

市販のプリンターなどに、400dpi、600dpi、1,200dpiといったような表記があるので、なじみのある用語でしょう。dot per inchのドットとは、プリンターの印字できる最小点のことです。つまり、400dpiであれば1インチ四方の中に、400個×400個のドットが印字できることを意味します。先ほど述べたアミ点は、このドットの集合体です。このことから、出力解像度はスクリーン線数と密接な関係にあることがわかります。

たとえば、600dpiの出力解像度をもつプリンターで出力線数を60lpiに設定します。1インチあたり60個のアミ点が並ぶことになりますから、ひとつのアミ点に10個のドットがあることになります。ひとつのアミ点に対して、10×10＝100個のドットがあるわけですから、この設定では100階調が再現できることになります（図5）。このことから、以下のような式が成り立ちます。

$$階調数=\left(\frac{出力解像度}{線\quad数}\right)^2$$

それでは、175lpiの印刷物を作成したいときは、出力解像度はどの程度にすればよいのでしょうか。イメージセッタを含む一般的な出力機では、扱える最大階調数が256階調ですから、上記の式を使うと2,800dpiとなります。もちろん、これ以下の出力解像度でも出力できますが、階調数が減ってしまうのは、もうおわかりでしょう。

この式はより簡単にすると、階調数を256に固定にすれば、256の累乗根は16ですから、出力解像度＝16×線数と約分できます。

画像データのラスタライズ

スクリーン線数の項目でも述べたように、グレースケールやカラーなどの階調がある画像データや平網を、製版用フィルムなどにプリントするためには、階調を2値化（白か黒の状態）し、アミ点にしなくてはなりません。

たとえば、線数が150lpiで、出力解像度が2,400dpiであれば、階調数は256になるわけですから、1つのピクセルを16×16＝256の格子状に分け、規則正しい形のアミ点にすることになります。これを画像データのラスタライズといいます（図6）。

RIP（Raster Image Processor）とは、このようなラスタライズを行なう、ソフトウェアないし、ハードウェアの総称なのです。

それでは、モノクロ2階調のデータも、同じような処理をするのでしょうか？　モノクロ2階調のデータは、すでに白か黒でしかありませんから、2値化する必要は当然ありませんし、ハーフトーンではないのでアミ点にする必要もありません。つまり、ある意味ではモノクロ2階調のデータは、入力解像度で設定した解像度の通り、出力されるということになるのです。

具体的な相互関係

たとえば175lpiの印刷物を作成したい場合、グレースケールやカラーといった画像データは、どの程度の入力解像度に設定すればよいのでしょうか？

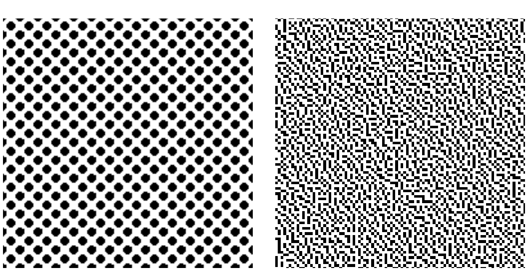


図4 左は通常のスクリーニング、右はFMスクリーンである。よく見るとわかるように、通常のスクリーンは規則正しいアミ点の並びだが、FMスクリーンはランダムなドットで形成されている

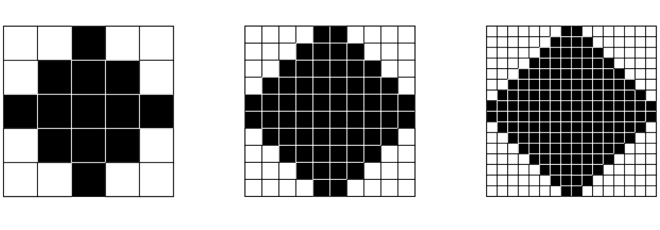


図5 600dpiの場合、左から25階調なので120lpi、中央は100階調で60lpi、右は256階調で37.5lpiのアミ点ということになる

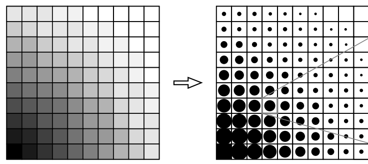


図6　ピクセルに割り当てられた8ビットの情報を、ラスタライズしてみた。わかりやすくするために、この図では1ピクセルが1lpiになっている。右図のように、一つのアミ点がさらに16×16の格子に別れている

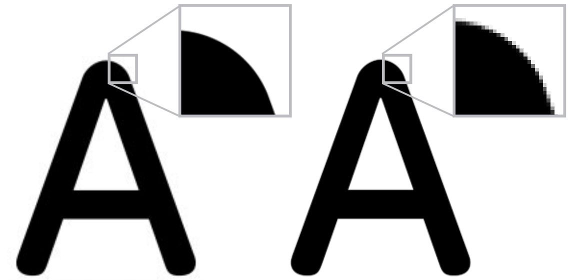


図7　Photoshopのグレースケールで、100ptの文字を入力した。左は700ppi、右は300ppiである。300ppiでは、原寸でもジャギーが見える

入力解像度を決めるときの基本的なポイントは、出力するスクリーン線数に対して、必要な階調数を与えるということです。出力解像度の項目で述べたように、スクリーン線数に対して、必要な階調数の累乗根を掛けると、1インチあたりのドットがわかります。この値をピクセルが持ち得る情報量で割ると、スクリーン線数に対してピクセルが持ち得る情報量を、再現できるようになるわけです。このことから、以下のような式が成り立ちます。

$$入力解像度＝\frac{スクリーン線数×\sqrt{階調数}}{ピクセルのビット数}$$

つまり、175lpiの印刷物で一般的な写真などの入力解像度を求める場合、上記の式にあてはめると、175×√256÷8＝350となり、350ppiが適正な入力解像度となるのです。つまり、階調数を256に固定した場合、256の累乗根は16ですし、ピクセルのビット数は8ですから約分して2になり、入力解像度＝スクリーン線数×2となります。

しかし、階調数が256階調も必要のない絵柄ではどうでしょう。この連載の天地にあるような地紋などは、ある程度階調数を落としても、十分再現できます。このように、通常の階調の半分（128階調）で十分再現できるような絵柄の場合、先ほどの式にあてはめると、約247ppiということになります。

必要以上の入力解像度に設定しても、階調数は増えませんし、容量が大きくなるだけで出力時間も増すばかりですから、メリットはありません。

シャープネスとの関係

冒頭で「ラインアート（モノクロ2階調のデータ）はどの程度の入力解像度に設定すればよいか」と書きましたが、この値は理論的な計算では求められません。なぜならば、この問題は、ビットが目に見えるいわゆるジャギーが、目立つか目立たないかという問題だからです。

人間の目にどのように映るかということを、スクリーン線数や解像度などで計算することは非常に困難です。また、人によって視力が違いますし、1mの距離から見る場合と、30cmの距離から見る場合、さらに10倍のルーペで見る場合など、見る距離が異なれば見え方も異なりますので、数値化が非常に難しいわけです。しかし、ここでわからないと書いてしまうとこの連載の意味がありませんので（笑）、筆者がふだん設定している入力解像度を紹介しておきましょう。

筆者は、4pt以下の文字や0.1mm以下程度の細い罫線などがない限り、ラインアートは1,200dpiで入力しています。一般的な印刷物の見方である30cm程度の距離で見ることを前提としていますが、入力解像度を1,200dpiで設定すると、ほとんどジャギーは目立ちません。より小さな文字などがある場合は、入力解像度を高くしますが、入力解像度を出力解像度以上に設定しても、ほとんど意味がありません。通常では、1,200dpi〜2,400dpi程度で十分です。

また、グレースケールやカラーで、スクリーン線数の2倍で入力解像度を設定したのに、写真のなかの文字やイラストなどの線がボケてしまった経験のある読者はいませんか？これはスクリーン線数の2倍というのが、単に階調数を満たしている数値でしかなく、シャープネスとは関係がないものだからです。

絵柄全体は連続階調でも、なかにある文字や線はラインアートですから、入力解像度を高めに設定しないと、ジャギーが目立ってしまうのです（図7）。ただし、グレースケールやカラーは、モノクロ2階調のデータと違いアンチエイリアスがかかりますから、モノクロ2階調と同じ入力解像度でなくても、ジャギーは目立ちません。

すべては基本から始まる

入力解像度・出力解像度・スクリーン線数は、それぞれに非常に密接な関係があることをおわかりいただけましたか？　紹介した数値や式は、あくまで理論的なものです。実際は各RIPメーカーのスクリーニング技術により、出力解像度などは若干違いがあります。また、経験に頼る部分も多く、ひとことに簡単とは言えません。しかし、基本的な理論を知っておくことは、大切なことです。

＊

今回はかなり難しいことを、かみ砕いて説明するよう努力しましたが、いかがでしたでしょうか。わかりやすく説明するために、厳密には異なることや割愛した内容もありますが、ご了承ください。

なお、読者からの要望があり、次々回からQ&Aコーナーを設けることになりました。DTPに関わることでしたら、基本的にはなんでもかまいません。具体的な相談なども大歓迎ですので、Virtual MACLIFE（http://www.bnn.co.jp/MACLIFE/）の掲示板「MACLIFE会議室」に書き込んでください。内容などを確認が必要な場合は、筆者より直接ご連絡することもありますので、必ずご連絡先を明記して下さい。

次号は「DTP基礎講座❷」です。それでは、次回以降もぜひお付き合いください。

[Design & Layout'Usui Design Office]

DTP ユーザー強化連載

AppleScriptで楽々Quark 5
――はじめてのFace Span

CD-ROM DEMO

倉持 哲也 (株)千明社 システム開発課

Script Debugger Jがフォーサイトから発売された。MacOS標準添付のAppleScript開発環境である「スクリプト編集プログラム」はちょっとしたスクリプトを記述するのであれば、なんら問題ないが、複雑で長いスクリプトを記述した場合、デバッグがかなりたいへんになる。Script Debugger Jは今月号のレビュー記事で紹介しているが、強力なデバッグ機能が特徴だ。これに対しデバッグ機能がまったくといってよいほどないFace Spanが、早期に改善されることを願っている。先日、Face Span開発元のDigital Technorigy InternationalにFace Spanの次のバージョンについてメールで尋ねたところ、現在、次のバージョンにむけて開発を進めているそうだ（次のバージョンは3.0.2になるらしい）。大規模なバージョンアップにはならないと思われるが期待大だ！

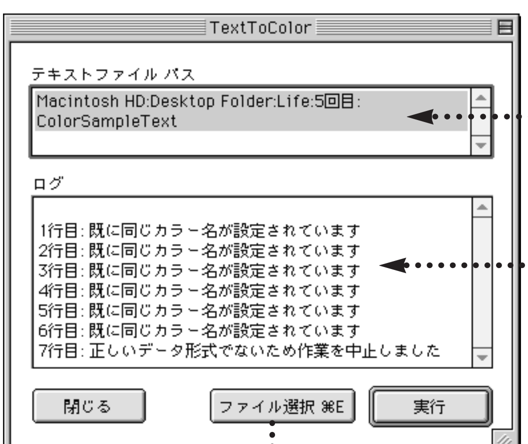
さらに完成度を高く

今回は前々回から続いている「わ〜いMCK Lite」に、指定したデータ形式のテキストファイルを読み込み、カラーを連続で追加していく機能を追加する。あらかじめどのようなカラーを作成するかが決まっている場合や、他アプリケーションのカラーデータをコンバートする際に役立つのではないだろうか。

例によって完成図と仕様を下図にまとめた。注目点は、アプリケーションを開発するなら、ぜひ使ってみたいファイルのドラッグ&ドロップだ。また、データに問題がある場合のエラーログ表示機能も搭載した。作る側のちょっとした気配りが、ユーザーに大きな快適さを与えることが少なくない。ほかにもオリジナルの音声ファイルや、標準のAppleScriptにはない便利なコマンドを拡張するスクリプティング機能追加（OSAX）を利用する。今回も少々複雑な内容になるかもしれないが頑張っていこう！

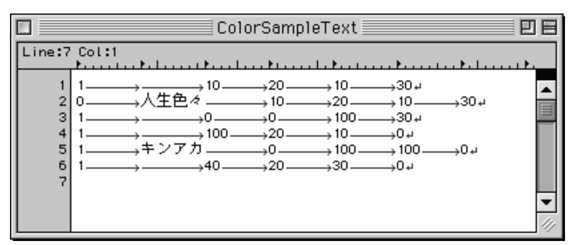
データ形式はタブ区切り

データが記述されているテキストファイルはタブ区切りテキストにする。各行は、【自動カラー名チェック<タブ>カラー名称<タブ>C<タブ>M<タブ>Y<タブ>K<改行>】のように記述する。



ファイルをドラッグ&ドロップすると「ファイル選択」と同じようにファイルのパスをセットするようにする

カラー作成中にエラーが発生した場合、その行がどんなエラーが起きたのかを表示するログボックス



データを記述したテキストファイル。ExcelやファイルメーカーProで作成したものをタブ区切り形式で保存したり、直接テキストエディターで作成するのもよいだろう



ファイル選択を押すとダイアログボックスが表示され、テキストファイルを選択すれば、上部のボックスへファイルパスが表示される。

タブ区切りテキストはExcelやファイルメーカーProでデータを作成し、データ形式を指定して保存するか、SimpleTextなどでそのまま作成してもかまわない（ファイル名は自由。拡張子も特に指定しなくてよい）が、各項目をタブで区切ることを忘れずに。

ドラッグ＆ドロップ処理

テキストファイルのパスを表示するボックスにファイルをドラッグ&ドロップ機能を追加する場合、テキストボックスのプロパティーウィンドウを開き（ボックスを選択しCommand＋Iキー）Draggable、Droppableチェックボックスのいずれかをチェックするが、今回はDropのみをチェックする。

ボックスに記述するスクリプトも意外に簡単で一行で済んでしまう。スクリプトエディターでDropハンドラーを選択すれば自動的に必要なハンドラーをセットしてくれる。

ファイルパスはtheDataというハンドラで定義された変数内に格納されている（実は筆者は、マニュアルを見ずに、手探りでこの変数に、ファイルパスが格納されるのを見つけた。詳細はマニュアルを見てほしい）。

OSAXを使う

今回はファイル処理とタブ区切りテキストをリスト型変数へ変換する処理をOSAX（WWDC '99では“オーサックス”と言われていたようだ）を使う。使用するOSAXは田中求之氏作の「Tanaka's osax 1.3」だ。私が配布しているツールのほとんどはこのOSAXを使用している。

ファイル、文字列操作のコマンドが充実しているので、CGIをAppleScriptで作成する人に人気がある。

実は、どの処理もOSAXなしで実現できるのだが、できるだけ処理を簡便かつ高速にするため、アプリケーションに合ったOSAXを選ぶのもよいだろう。

さらに、OSAXをFace Spanに内包して配布することができる。ただし、OSAXの著作権があるため開発者の了承を得る必要がある（今回は、OSAXは内包せずにサンプルフォルダに収録した）。

作成が非常に難しいため、OSAXは国内ではあまり見かけない。しかし、海外サイトでは、さまざまなOSAXを見ることができる。OSAXの紹介は狩野氏の「AppleScript Lab.」にあるので要チェックだ。

筆者の経験からいうと、すべてのOSAXが内包できるとは限らないようだ。プロテクトがかかっているというものでもなく、原因は不明だが、スクリプティング機能拡張フォルダ内にOSAXを置いていないと、使用できないケースもある。

また、OSAXによっては特定のアプリケーションと相性が悪くフリーズするケースもある。

Tanaka's osaxの最新版は2.0 βで、従来のバージョン1.xとの互換性はない。ただし、1.xと2.0との同居はしないようにということなので要注意だ。

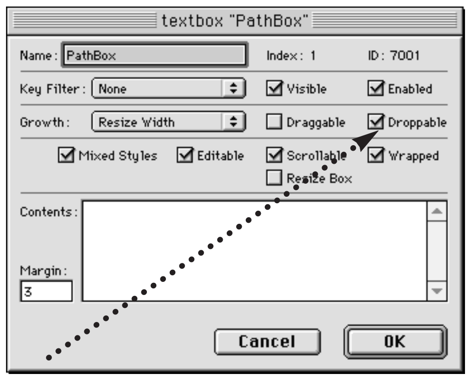
警告音をオリジナルに

Face Spanの機能のひとつが、サウンドリソース（AIFFファイル）を内包し、その音を鳴らすことだ。今回は、筆者が作成したサウンドを内包し、警告音を発生するようにした。

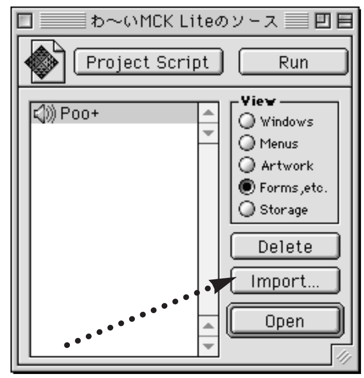
オリジナルのサウンドを鳴らすには、スクリプト内で、どのtell内にも影響されない場所（tell application “QuarkXPress”内ではエラーが出る）で、

play audio “サウンドファイル名”

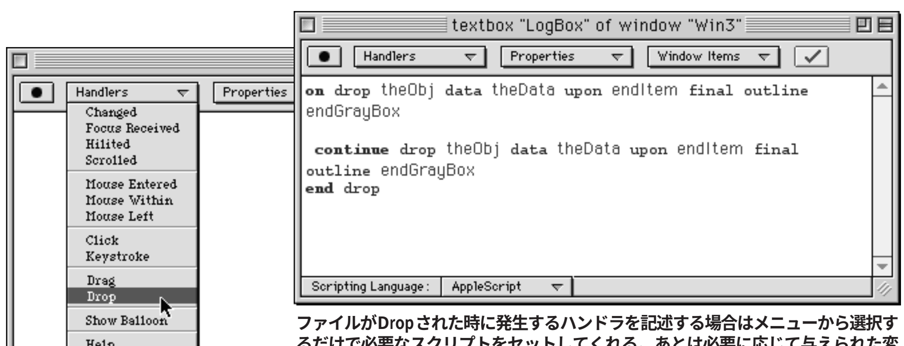
と記述するだけでよい。あまり長いサウンドだとサイズが大きくなるため要注意だ。



目的のコントロールをドラッグ＆ドロップ処理可能にするには各コントロールのDraggble、Droppableのいずれかをチェックしてスクリプトを記述する。テキストボックスだけでなく、ウィンドウ自身やコマンドボタンも指定できる（使うケースは希かもしれないが……）



サウンドやOSAXを内包するには、Forms,etcを選択し、Importボタンを押して目的のファイルを選択すれば良い。ただし、OSAXによっては内包してもそのコマンドが無効になってしまうケースがある（理由はハッキリしていない）



ファイルがDropされた時に発生するハンドラを記述する場合はメニューから選択するだけで必要なスクリプトをセットしてくれる。あとは必要に応じて与えられた変数を参照してスクリプトを記述すればよい

●ファイル選択ボタンが押されたときの処理

```
on hilited theObj
	set contents of textbox "PathBox" to (choose file with prompt "テキストファイルを選択してください") as text
end hilited
```

●ボックスにファイルがドラッグ＆ドロップされたときの処理

```
on drop theObj data theData upon endItem final outline endGrayBox
	--テキストボックスへ、Drag&Dropされたファイルのフルパスを表示する
	set contents of textbox 1 to (theData as text)
end drop
```

```
on hilited theObj
	set mkClr to true --カラー作成許可

	--ログの内容を消去する
	set contents of textbox 2 to ""

	--テキストファイルを変数へ読み込む
	try
		set fName to contents of textbox 1
		set clrTxt to readFromFile fName as alias
	on error
		play audio "Poo+"
		my logWrite(0, "ファイルの読み込みができませんでした。正しいファイルを指定してください")
		error number -128 --以降の動作をキャンセルさせる
	end try

	--QuarkXPress3.3Jのドキュメントが開かれているかどうかを確認する
	------QuarkXPressにドキュメントが開かれているかどうか
	if (count document of application "QuarkXPress3.3j") as integer = 0 then
		play audio "Poo+"
		display dialog "QuarkXPressのドキュメントが一つも開かれていません" buttons "キャンセル" default button "キャンセル"
		error number -128 --処理を強制的にキャンセルさせる
	end if

	--テキストファイルの行数ぶん、リピートする
	--各行は、自動カラー名チェック,カラー名称,C,M,Y,Kの順番に記述する。
	repeat with cnt from 1 to count every paragraph of clrTxt

		--Tab区切りテキストをリスト形式に変更
		try
			set pData to itemsToList paragraph cnt of clrTxt
		on error
			my logWrite(cnt, "正しいデータ形式でないため作業を中止しました")
			exit repeat
		end try

		--カラー名が自動作成になっているかどうか
		if item 1 of pData as integer = 1 then --1の場合はカラー名を自動設定
			set clrName to "c" & item 3 of pData & "m" & item 4 of pData & "y" & item 5 of pData & "k" & item 6 of pData
		else --0の場合はitem 2のテキストをカラー名に設定
			set clrName to item 2 of pData
		end if

		---------------------------------カラー作成
		--C,M,Y,K全てのデータが0の場合
		if item 3 of pData = 0 and item 4 of pData = 0 and item 5 of pData = 0 and item 6 of pData = 0 then
			my logWrite(cnt, "c,m,y,k全てのデータが0です") --ログにエラー表示
			set mkClr to false --カラーを作成しないようにする
		end if

		--カラー名が空白の場合
		if clrName = "" then
			my logWrite(cnt, "カラー名が設定されていません") --ログにエラー表示
			set mkClr to false --カラーを作成しないようにする
		end if


		if mkClr = true then
			------既に同じ名前のカラー名が登録されていないかどうか
			tell document 1 of application "QuarkXPress3.3j"
				if name of every color spec contains clrName then
					my logWrite(cnt, "既に同じカラー名が設定されています") --ログにエラー表示
					set mkClr to false --カラーを作成しないようにする
				else --カラーを作成する

					try
						make new color spec at end with properties ｯ
							{name:clrName, color type:CMYK type, CMYK color value:{round (65535 * (item 3 of pData as real) / 100), round (65535 * (item 4 of pData as real) / 100), round (65535 * (item 5 of pData as real) / 100), round (65535 * (item 6 of pData as real) / 100)}, separation:true}
					on error
						my logWrite(cnt, "何らかの原因でカラーが作成できませんでした") --ログにエラー表示
					end try
				end if
			end tell

		end if --mkClr = true then

		set mkClr to true --もとに戻す
```

Tanaka's osaxのreadFromFileコマンドを使用。fNameという変数をエイリアスとして指定

repeat文はいくつか種類があるが、全ての種類を是非マスターしておこう。変数の種類によってより簡潔なものができる場合がある

Tanaka's osaxのitemsToTextコマンドを使用

mkClr変数はカラーを作成する際、FALSE（データに問題がある場合）ならば処理をしない、という「フラグを立てる」ために容易された変数だ。そのため、次の行へ処理を移る前に初期値（True）に戻さなければ、おかしな処理になってしまう

スクリプティングテクニック その1

前回よりも多少長くなって複雑そうに見えるかもしれない。しかし、前回のスクリプトを解析した人ならわかることだが、カラー作成ウィンドウで記述したスクリプトに毛が生えた程度の内容だったりする（手抜きしたワケではないのだが……）。

処理手順はテキストファイルを変数へ読み込み、repeat with from 〜to ...end repeat文で1行ずつデータを処理していく。実際にカラーを作成する処理は数行で、他はエラーが起きたときの処理になっている。

特に今回はエラーが発生したときの状態を表示するログ表示機能を備えるが、サブルーチンを設けて必要なときに呼び出す形になる。なお、tell Application“ QuarkXPress ”〜end tell内でも、サブルーチンを呼び出せば、呼び出し先内部ではtell current application という処理に戻るので、Face Span独自のコントロールを指定することができる。

スクリプティングテクニック その2

指定したテキストファイルからデータを読み込む場合、通常は「open accessコマンドを使用してファイルを開き、loadコマンドでデータを読み込む」という手順を踏むが、先述したように、何度も記述するのはたいへんだし、スクリプトもより複雑になる可能性が大きいため、今回は、Tanaka's osaxのreadFromFileコマンドを使用した。1行で、しかもエイリアスを指定するだけで、ファイルオープン、読み込み、クローズ処理をするため、スクリプトがスマートで読みやすいものになっている。ファイルを保存する場合には、（今回は使用していないが）writeToFileコマンドを使えば、データが格納されている変数とデータの保存先を指定するだけで、保存できる。

そのほか、repeat文で1行ずつ処理をする際、タブ区切りテキストをリスト型変数に置き換える処理をitemsTolistコマンドを利用している。通常なら、AppleScript's Script Delimiters Itemで区切り文字を指定する方法が一般的かもしれない。しかし、itemsTolistコマンドは、処理も高速なので、スクリプトをよりスマートで簡単にするためにも、このコマンドはお薦めだ。

他にはtry〜on error 〜 end try文を数回使用している。AppleScriptにあまり詳しくな

前ページからの続き

```
            end repeat --次の行へ

            --全てが終了したとき警告音をならす
            play audio "Poo+"
            display dialog "終了しました！" buttons "OK" default button "OK"
end hilited
----------------------------------------- ログ ボックスにデータを追記するサブルーチン
on logWrite(pgh, strData)
            set contents of textbox 2 to contents of textbox 2 & return & pgh & "行目: " & strData
end logWrite
```

pghパラメーターは何行目かを示す数値。サブルーチンのよしあしは適切なパラメーターの設計にかかっている。慎重に考えよう

いユーザーが、意味不明のエラーメッセージを見て混乱するだけなら、try文で不特定多数のエラーを「原因不明のエラーです」という表示に一本化したほうが、やや強引だが、優しいアプリケーションといえるのではないか。

改造のポイント

今回のスクリプトはテキストファイル1つだけの場合のみ、処理が行なわれるようになっている。しかし、複数のテキストファイルを処理できるようにするのはどうだろうか。

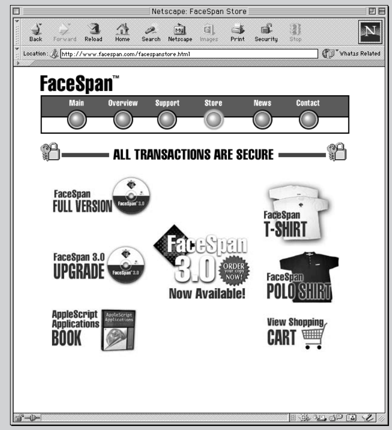
プロジェクトスクリプトにon openハンドラーを記述し、ドラッグ&ドロップでウィンドウを表示して処理を実行させるというアプリケーションを作成することも可能だろう。

次回予告と雑記

次回はさらなる機能の追加と別アプリケーションの作成を紹介していく。

先日、Mac OS X Serverを入手し、インストールした。OPENSTEPより受け継がれた開発環境で、AppleScriptが扱えればどれだけ楽になることか。MacOS X でAppleScriptがどう生まれ変わるのか非常に楽しみだ。

■Face Spanの情報・購入について



Face Spanのページ。支払いはクレジットカードのみだが，確実に入手できる。購入時の為替レートにもよるが3万円程度●http://www.facespan.com/

※著者紹介
倉持 哲也
1974年11月27日生まれ。（株）千明社に勤務する社内SE。QuarkXPressを中心とした作業の効率化につながるツールなどを多数配布している。1カ月ほど前、価格改訂発表の2日前にドリームキャストを購入したためかなり悔しい思いをしている。埼玉県在住。
URL：http://www.asahi-net.or.jp/~qq8t-krmc/
E-mail：qq8t-krmc@asahi-net.or.jp

Appleは昔こんなスゴイものを開発していた………

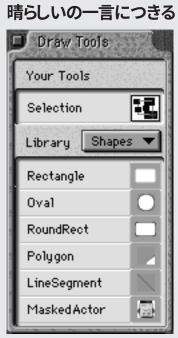
AppleScriptベースの(幻の)開発環境「SK8」

1997年頃、Jobsが復帰する前の話になるが、AppleはAppleScriptをベースとした開発環境「SK8」（スケートと読む）をβ版（もちろん英語版）としてひっそりとリリースしていた。図を見てのとおり、ちょっと（いや、かなり）変わったインターフェイスで、Face Spanのように各オブジェクトを配置し、プロパティーを設定してプログラムを記述していくようになっている。

筆者は雑誌の紹介記事を見て、この開発環境を手に入れたが、仕事の都合であまり時間がなく、実用的なアプリケーションはなにひとつ作成できなかった。というよりも、SK8はβ版のせいか、使用メモリも30MB以上と、当時としてはかなりヘビーなシロモノだった。しかも、まだG3が登場しておらず、当時最速のPowerPC 604/120搭載機でも動作速度が遅く、お世辞にも開発しやすいとはいいがたいものだった。しかし、マニュアルから伝わってくる開発者達の熱意や、なかば実験的といっても良いインターフェイスに魅せられた人も少なからずいた。

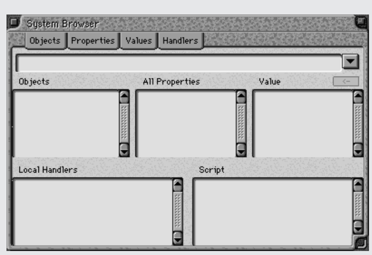
その後、ジョブズが復帰し、CyberDogやCocoa（MacOS XのAPIではない）などとともにリストラ（？）の対象となり、開発は中止された。無限の可能性を秘めたこの開発環境がなくなってしまったのは残念でならない。なんとか復活させてほしいと願うのは筆者だけだろうか？

細かく使いこなしたわけではないので断言はできないが、完全なオブジェクト指向開発環境であり、素晴らしいの一言につきる

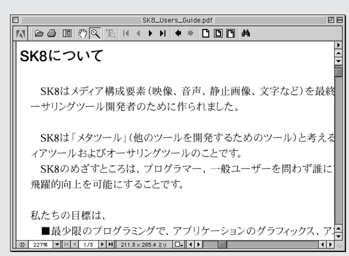




97年当時にこの独特のインターフェイスを実現していたため、WWDC'99で紹介されたSherlockIIやQuickTime 4 のインターフェイスを見ても筆者はなんら驚きはしなかった（断っておくが、アピアランスを変更するソフトは、けっして使っていない）



プログラムはAppleScriptがベース。デバッグ環境もひととおり揃っていた。正直いって、Face Spanよりもよくできていたし、他の開発環境をも凌駕していた感じだ



添付マニュアルは1,000ページを超え、読みとおすだけでもひと苦労だった(図は筆者の友人が和訳したものをPDF化したもの)。Cocoaが売却されたように、SK8も同じ運命をたどったのだろうか……

第７回

Macで快適！ビジネス・ネットワーキング（サーバー編）

河野省二

Mac OS X Serverの申し込みが各社で始まった。筆者の所にも日本語版のパッケージが届き、英語版では分かりにくかったダイアログも若干ながら理解しやすくなっている。今回からはサーバー編ということで、AppleShare IP、Mac OS X Serverのビジネスでの活用方法を解説していこう。

AppleShare IP編

AppleShare IPでの利用者登録作業を効率的に！

AppleShare IP 6.2の発売にともない、サーバーの同時接続利用者数も増えてきたのではないだろうか。そうなると、管理者にとって頭が痛いのは利用者登録ということになる。利用者登録にはただ単に利用者情報を登録するだけではなく、利用者ディレクトリの作成、ログインの確認、利用者情報の管理など、さまざまな作業が含まれている。今回はこれらの作業をできる限り効率良くやりたいというのが目標である。

利用者情報を登録する！

利用者登録と一言で言っても、どのような情報を登録することができるのだろうか(図1)。AppleShare IPでは以下の情報を登録することができる。

・利用者の名前
・インターネットエイリアス
・パスワード
・コメント
・メールの利用
・グループ

50人を登録する場合でも50×6で300項目の登録が必要になる。やってやれないことはないが、何とか楽をしてみたい。

まず、楽をするための機能があるかどうかを調べる必要があるだろう。Macでは実現できる機能のほとんどがメニューにある。つまりメニューを見ることで、何らかの解決ができるかもしれない。そこで、早速見つけたのが、ファイルメニューにある「利用者の取り込み」である。

ここで気がつくのは「利用者の取り込み」に対して、「利用者＆グループの書きだし」となっている点である。つまり、グループはあらかじめ手入力をしておかないと、取り込みはできないということである。また、グループ名はそのままグループのメールアドレスになるので、日本語で付けないほうが良いだろう。営業部ならばsalesなどとしておくのが良い。これで、sales@bnn.co.jpというメールアドレスが作成できる。

どのような構造で登録されているのかを確認するために、とりあえず1人分を手入力をして、ファイルに書き出してみよう。

以下の様なデータが書き出された。それぞれのデータがタブ区切りのテキストで書き出されている。

Shoji Kawano [tab] shoji [tab] [tab] Has Mail [tab] NoRequireAPOP [tab] Both POPIMAPShare [tab] NoNotification [tab] [tab]

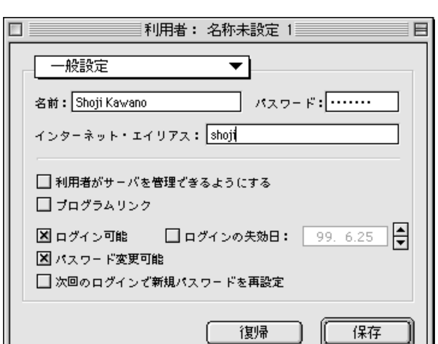


図1●AppleShare IPのユーザー登録ダイアログ。ユーザーに関する情報はここで登録修正ができる。一覧性が悪いのが残念である



	A	B	C	D
1	利用者名	インターネット・エイリアス	パスワード	コメント
2	Atsushi Iijima	iijima	iijima	
3	Ichiro Komine	komine	komine	
4	Taku Imaizumi	taku	taku	
5	Tadasi Tamura	tamura	tamura	
6	Eiji Yamada	eiji	eiji	
7	Ayato Igawa	igawa	igawa	
8				
9				
10				
11				
12				

図2●MicroSoft Excelでユーザー情報を作成してみた。保存するときにタブ区切り形式を選択することで、AppleShare IPに取りこめる

これを解析すると、次のような構造になっているようである。

利用者名 [tab] インターネット・エイリアス [tab] [tab] 電子メールの利用 [tab] メールパスワードのやり取り [tab] メールプロトコル [tab] NortifyMailの利用 [tab] [tab]

しかし、このリストにはパスワードが書き出されていないようだ。パスワードも自動で入力できれば、便利だろう。パスワードの位置を確認すると以下のような構造になる。今回は基本部分のみの登録をしてみよう。

利用者名 [tab] インターネット・エイリアス [tab] パスワード [tab] コメント

では実際にデータを作ってみる。Microsoft Excelなどの表計算ソフトや、ファイルメーカProなどのデータベースソフトで各種データを作成し、タブ区切り形式で保存または書き出す。このデータをApple Share IPで読み込めばよい（図2）。

Excelやファイルメーカでデータを作った際には、登録済みである印をつけておく。そうしておくことで、登録の進捗管理ができ、利用者の一元管理を行なう助けになるからである。

ところで、ここまでの中でグループの登録について触れてこなかった。残念ながら、グループの登録は手動で行なわなければいけないようである。とはいえ、ドラッグ&ドロップで追加できるので、手間ではあるが、手動で行なって欲しい。

新機能「ホームディレクトリ」

さて、登録ができたら、利用者に実際にアクセスしてもらうことになるのだが、その前にもう一作業しておく必要がある。それはユーザーごとのフォルダー作成である。ユーザーが利用しても良いフォルダーをユーザー専用のアクセス権で作成してやる必要がある。フォルダーを作成してアクセス権を設定するのもユーザー登録同様、非常に手間のかかる作業であり、これが面倒であるがために、セキュリティのないファイルサーバーを利用しているワークグループも多いのではないだろうか。

AppleShare IP 6.2から加わったホームディレクトリ機能を利用すれば、一つ一つを作ることなく、自動的に利用者専用のフォルダを作成できる。各利用者の最初のログイン時に専用フォルダを作成してくれるのである。ただし、ホームディレクトリーはグループ単位で設定するため、各利用者をグループに所属させておくのを忘れないようにして欲しい。

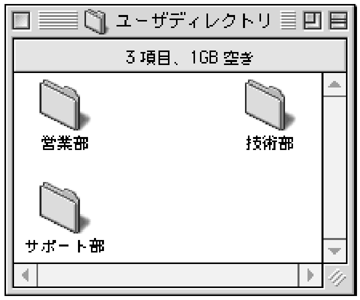


図3●グループごとの共有フォルダーを作成。これらを個々にホームディレクトリーとして設定をする。1つのボリュームになくても構わない

ホームディレクトリー作成の流れ

1. まずはホームディレクトリとするためのフォルダーを作成する。今回は「営業部」というフォルダー名にした（図3）。
2. 続いて共有ボリュームの設定画面から、営業部フォルダーのアクセス権を設定する。ホームディレクトリを選択し、グループに「sales」をドラッグ&ドロップした。これで保存すればよい（図4）。
3. 設定が終了したら、クライアントからアクセスしよう。通常通り、セレクタからサーバーを選択し、利用者名とパスワードを入力する（図5）。
4. 共有ボリューム一覧に「Ichiro Komine」が加わっているのを確認して欲しい。利用者名をもとに自動的に作られたフォルダーである（図6）。
5. 実際にマウントするとわかるが、マウントされているのはグループのためのフォルダーであり、個人用のフォルダーはその中に用意されている。アクセス権を確認してみると、利用者専用であることが確認できるだろう(図7)。

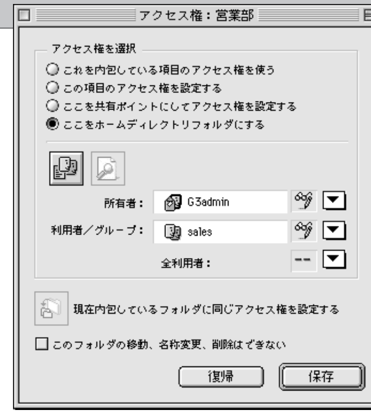


図4●ホームディレクトリの設定。利用者＆グループデータベースからグループ名をドラッグアンドドロップし、ホームディレクトリの設定を行う



図5●セレクタからサーバーにログインする



図6●共有ボリューム一覧に「Ichiro Komine 」が追加されているのが確認できる。これは自動で作成された共有ボリュームである



図7●共有されたフォルダのアクセス権を確認すると、個人用のアクセス権設定が行われていることが確認できる。利用者ごとの設定は特に必要ない

Mac OS X Server編

Mac OS X Server日本語版が出荷！

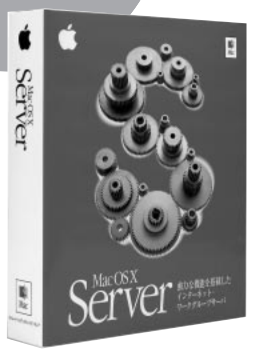


図8●Mac OS X Serverのパッケージ。店頭で目にする機会は少ないのではないだろうか。手に入れやすくなると良いのだが

待ちに待っていたMac OS X Server日本語版が出荷されている。これまで、この連載で紹介してきた機能を構成するさまざまなウィンドウやダイアログの表示が日本語化されているばかりでなく、Webブラウザーやメーラーも日本語に対応しているようだ。

日本語版の販売については取り扱いメーカからの直販のみとなっているが、Tooではオンライン販売をしているので、個人でも比較的手に入れやすいのではないだろうか。ただし、気になるのはサポートである。従来のMac OSとは違い、UNIXをベースにしているため、その知識があるベンダーでないと、なかなかサポートも難しいだろう。

個人で購入された方にとっては、インストールや設定に関する情報も少なく、扱いにくい製品になってしまっているかもしれない。

本連載ではワークグループで利用するMac OS X Serverという側面からさまざまな情報と設定方法を提供していきたいと考えている。筆者とともに勉強をしながら、Mac OS X Serverの素晴らしい機能を活かせるようになっていただければ、非常にうれしく思う。

	HFS	HFS+	UFS
Apache	△	○	○
QuickTime Streaming Server	△	○	○
Appleファイルサービス	×	○	×
NetBoot	×	○	×
Macintosh Manager	×	○	×

表1●HFS+であればすべてのサービスで利用できることがわかる。また、HFSフォーマットは特別な理由がないかぎりしないことをお勧めする

インストールの前に

すでに購入された方はとりあえずインストールは終了しているのではないだろうか。しかし、インストールをする際には気をつけなければいけないことがある。それはハードディスクのフォーマット（パーティショニング）である。

Mac OS X Serverで利用できるフォーマット形式には標準フォーマット（以下HFS）、拡張フォーマット（以下HFS+）、そしてUNIX部分で利用するUFSの3通りがある。このうち、Mac OSとやり取りができるのはHFSまたはHFS+ということになる。フォーマット形式を決める際に重要なことはそのボリュームをどんなサービスに利用するかということである。Mac OS X Serverの提供するサービスと対応するフォーマット形式を一覧にしているので見ていただきたい（表1）。

Mac OS X Serverをインストールするディスクの最低容量は300MBだが、これではどんなサービスもインストールすることができない。また、スワップパーティションもないために、運用は困難だろう。やはり、最低でも1GBは必要である。

次にAppleファイルサービスやNetBootを行なうのであれば少なくとも1つのHFS+ボリュームが必要になる。NetB ootおよびMacintosh Managerを利用する際にはユーザー数によってディスクの消費量が変わってくるので、どの程度の初期設定ファイルが保存されるのか、どの程度のファイルを管理するのかなどを計算しておく必要があるだろう。

とはいえ、ハードディスクが足りなくなれば増設をすればよいし、HFS+のボリュームであればネットワーク経由で共有して、Macintosh Managerボリュームとして割り当てることも可能である。

ApacheやQuickTime Streaming ServerについてはUFSを利用できるが、コンテンツの内容によってはかなりの量のディスクスペースを利用することになるだろうから、あらかじめ計算しておいたほうがよいだろう。もちろん、こちらも後ほど増設できるので、それほどナーバスにならなくてもよいだろう。

インストール時の注意点

インストール時の注意点は特にないが、SCSIカードなどで対応していないハードウェアがある場合、インストールできたかに思えても実際にはインストールできないという場合がある。

インストールはCD-ROMから起動して行なうのだが、最初に立ち上がるのはMac OSであるため、Mac OSに対応しているハードウェアは全て認識している。しかし、インストールの準備ができたあとはMac OS X Server上でインストールと設定が行なわれるために、インストール先のディスクやパーティションが見えなくなるといったトラブルが起きるのである。

また、Ethernetカードも執筆時には対応製品は出荷されていない。DEC DE500互換の製品であれば利用できるはずであるが、メーカーが保証しているわけではないので、取り扱いには気をつけて欲しい。

ビデオカードやその他の拡張カードも同様である。対応カード以外は現状では利用できない。今後は各メーカーが対応してくるだろうと思われるが、Mac OS X Serverがサーバー向けのOSであるということを考慮すると、コンシューマー向けのカードなどは対応してこない可能性も高い。

Mac OS X Server上で動作するMac OSではMac OS X Serverが対応していないハードウェアはもちろん利用できないので、どうしても利用したいという場合はマルチブート（2つのOSを選びながら立ち上げること）できる様にしておいたほうが良いだろう。もしもディスクスペースに余裕がない場合はディスクの増設をする必要がある。



図12● Appleファイルサービスの設定画面。Appleファイルサービスの設定はウェブブラウザから行なう。また、ここで設定された利用者はファイル共有専用の利用者であり、他のサービスを受けるためには別の設定が必要になる



図13●Macitnosh Managerの設定はMac OS上から管理ソフトを利用して行なう。設定項目はわかりやすいが非常に多いので、ポリシーの設定が難しい

インストール後の注意点

インストールは比較的簡単に終わる（問題がなければほとんどの工程が自動で終わる）ので、特筆することはないだろう。

インストール後の注意点も特にない。利用したいサービスに応じてリソースを準備しておくだけでよい。たとえば、NetBootで50台を立ち上げたいのであれば50台分のIPアドレスを用意しておくといったことである。

・Mac OS X Serverにおけるユーザー登録

無事にインストールが終わったとして最初に行なうのはユーザー登録だろう。実はMac OS X Serverではサービスによってユーザー登録の仕方が違うのである。それぞれのユーザー登録の方法を見てみよう

・Mac OS X Serverのユーザー登録

Mac OS X Serverではユーザー登録をNetwork Managerで行なう。Network Managerではすべてのサービスのユーザーおよびプロセスを起動するためのユーザーの一覧が表示される。文字化けしている部分は「Macintosh マネージャ利用者」と書かれており、漢字コードの違いが問題だろう(図10)。

ユーザーの登録は「新規利用者」のボタンをクリックして行なう。ここで登録するユーザーはMac OS X Serverのデスクトップにログインおよびtelnetを利用してコンソールにログインのできるユーザーだけであり、ファイル共有のユーザーやNetBoot、Macintosh Managerのユーザーの登録は行なわない（図11)。

・Appleファイルサービスのユーザー登録

ファイル共有を許可するユーザーの登録はWebブラウザを利用して、クライアントマシンから行なうのが良い。AppleShare IPでもMac OS X Serverでも、ポート番号311を利用することで管理サーバーに接続できる（図12)。

・NetBootのユーザ登録

NetBootはユーザー登録をする必要がない。Mac OS X ServerにNetBootクライアントが初めて接続を試みたときにマシン単位（正確にはEthernetのMACアドレス単位）に自動的に登録を行なう。登録の確認についてはMac OS X ServerのNetwork Managerのユーザー一覧で確認することができる。

・Macintosh Managerのユーザー登録

Macintosh Managerにユーザー登録については前号で解説したが、ユーザー登録をはじめとするさまざまな設定はMacintosh Manager Adminで行なう（図13)。

こうして見ていくと、Mac OS X Serverのユーザー登録は実際にログインして行なうものが、少ないことがおわかりいただけると思う。



図10●漢字コードの問題で一部文字化けしているが、「Macintosh マネージャ利用者」と書かれている。Mac OS X ServerではEUC、Unicode、S-jisの3つのコードが混在しているためこういうことが起きる

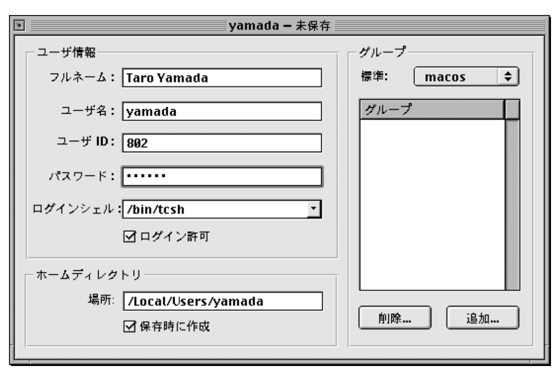


図11●利用者登録は「新規利用者」ボタンをクリックして行う。ここで登録された利用者はMac OS X Server本体にログインし、デスクトップを利用することができる

CD-ROM DEMO



土屋一樹のギャンブラー!! REALbasic中心派

協賛◎競馬道On Line（NECインターチャネル）

第1回 Macで作る！オープンソースな競馬予想ソフト

競馬ファンのみなさん、こんにちは。「Macには優れた競馬予想ソフトが少ない」を嘆いたことはありませんか？ でも、もう大丈夫。本連載では読者自身がそのような競馬予想ソフトをつくるためのガイド役をつとめます。

競馬の世界をオープンソースに

本連載ではMACLIFEのOpen Souce Project（http://www.bnn.co.jp/opensource/）の一環として、REALbasicなる最新プログラミング環境を利用して競馬予想ソフトを作成していきます。その名はまさに「ギャンブラー1号」。Windowsの世界ではありえない、ギャンブル系プログラムの“オープンソース”時代をMacではじめてスタートします。

本連載は全6回の予定で、最終回のころには読者自身で自分だけの“Web Ready”な競馬予想ソフトを作成できるようになっているはずです。本連載で紹介されたソースコードはすべて前述のホームページでダウンロード可能です。ですから、自分でソースコードを変更したり、改造したりしてぜひ楽しんでください。改造したものをシェアウェア化して副収入にしてもらってもかまいません。オープンソースなのですから。

本連載ではプログラミングツールとしてアスキーが6月29日に発売した「REALbasic 2.0 Pro日本語版」を使います。ですから、本連載をスタートするにあたって、先に購入しておいてください（REALbasicに関する詳細は本ページコラム参照のこと）。

REALbasicの基本操作

ではまず、簡単にREALbasicの使い方をマスターしてみましょう。

REALbasic 2.0 Pro（以後Rb）を購入もしくは30日Trial版をCD-ROM MACLIFEからインストールして、起動します。そうすると、図1（本ページ左下）のようなデフォルト画面になるはずです。

画面左側にはコントロールが並んだパレット、そのパレットからコントロールをドラッグ＆ドロップで画面中央の現在編集中のウインドウエディタに配置します。配置したコントロールの位置などの情報は、画面右側のプロパティウインドウに表示されています。

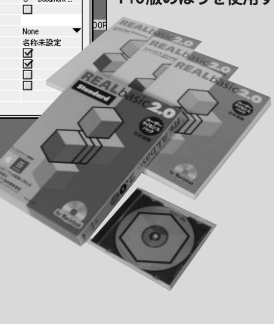
さあ、パレットウインドウから「OK」印のボタンのアイコンをドラッグして、「名称未設定」ウインドウの上に配置してみましょう。好きな場所でかまいませんので、配置したならそこでボタンをダブルクリックします。ここで新たに開かれるウインドウは“コードエディタ”といい、ここに各コントロールの動作をBASIC言語で定義します。たとえば、図2（次ページ下）では、ボタンに

REALbasic 2.0 Pro日本語版

50,000円（ライセンスのみ48,000円）●アスキー（開発元はREAL Software社）



図1●REALbasicは、1）コントロールと呼ばれる部品をウインドウに配置して、2）その部品にBASIC言語で働きを定義する、というプロセスを繰り返すことでアプリケーションを作る開発環境だ。Standard版とPro版の2種類のパッケージがあるが、データベースエンジンが内蔵されていることや、Windows版のソフトを作成できることもあって、本連載ではPro版のほうを使用する



6月29日にアスキーが発売したREALbasic日本語版のパッケージ。わかりやすい日本語チュートリアルやリファレンスが付属しているので、購入するならオンライン版よりもこのパッケージ版のほうがお薦めだ

競馬道On Line (http://keibado.cplaza.ne.jp/)

●NECインターチャネル株式会社



競馬道On Lineは、有料型の競馬データ配付サービスとしてはJRA-VANとシェアを二分するほどの大手。競馬ファンならお馴染みの「競馬ブック」誌のデータも使用しているため、上級者にも人気は高い。競馬道On Line対応の競馬ソフトも多く、同サービスでは今後Macユーザーの獲得にも積極的だという



中央競馬（JRA）は毎週土曜日と日曜日に開催されるため、競馬道On Lineの提供データやコンテンツのアップデートは毎日のように行なわれている。しかし、毎週1～2万円は当たり前のようにベットする競馬ファンにとっては、どれも欠かせない情報だ。この大量のデータをどれだけ速く処理できるか、それが競馬予想ソフト制作者の腕の見せどころだ

```
MsgBox "お元気?"
```

というコードを入力してみました。MsgBoxは、その後に続く文字を表示するというコマンドです。ボタンを押すとどういう動作をするプログラムなのか、ここで想像がついたでしょうか。

Rbでは開発環境から「デバッグ」メニュー下の「実行」コマンドでとりあえずそのテスト動作をして、間違いがあって停止した箇所を修正していくことができます。

完成のあかつきには、実行にRbを必要としないアプリケーションとしてコンパイルすることが可能です。「ファイル」メニュー下の「アプリケーションのビルド」を選択すると、図3のようなダイアログが表示されます。

ここでアプリケーション名やターゲットとなるプラットホームを選択して、「ビルド」ボタンを押すと…ひとつアプリケーションができ上がりました。さっそくダブルクリックすると、先ほど最初の画面でコントロールを配置したとおりのウインドウ画面が開きます。そして配置したボタンをクリックすると、「お元気?」というダイアログが表示されます（図4）。どうです、簡単でしょう？

作成したプログラムを修正したり改造することもきわめて簡単です。

たとえば「お元気?」というメッセージの前に誰かの名前を付け加えたいとします。そしてその名前はウインドウに用意された文字フィールドから入力したい、とします。そんなときでも、Rbであればウインドウに“フィールドコントロール”を追加し、そのフィールドに入力されたテキストを『お元気?』という文字と組み合わせて表示するためのコードを先ほどのボタンに追加するだけです。もし、追加したフィールドがEditField1という名前なら、先ほどのコードを

```
MsgBox EditField1.Text+"お元気?"
```

というコードに変更するだけです。

後で機能を追加することになったとしても、とりあえず今できる部分からステップバイステップでプログラミングしていくことができる、しかもそれがなんだか簡単っぽい、そんなRbの第一歩です。

競馬道On Lineを活用する

さて、実際の競馬予想ソフトを作成する前に、そのソフトに必要な競馬データの入手先の話をしましょう。

もちろん、競馬新聞を買ってきて必要な情報を自分の手で入力してスクラップブックのようにまとめるのもひとつの手です。しかし、ちょっと現実的ではありません。

でも、時代はインターネットです。競馬新聞に載っているようなデータをWebで配信している企業が複数存在します。本連載では、その中でも最大手の1社である、NECインターチャネルの『競馬道On Line』サービス（http://keibado.cplaza.ne.jp/）を選んで

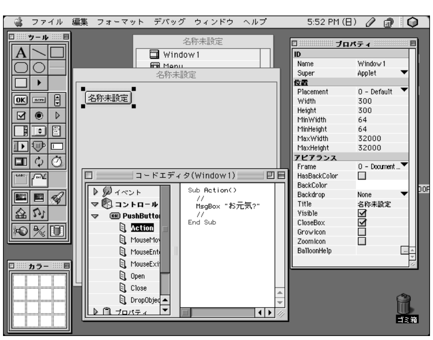


図2●ボタンコントロールをウィンドウ上に配置して、それをダブルクリック。すると、そのボタン用のコードエディタが現われるので、そこにBASICコードを入力する



図3●コンパイルに相当する「アプリケーションのビルド」コマンドの画面。Pro版ではMacばかりでなく、Windows用にコンパイルできる



図4●コンパイルされたアプリケーションを実行すると、ボタンクリックによってこのように「元気?」というダイアログが表示されるはずだ

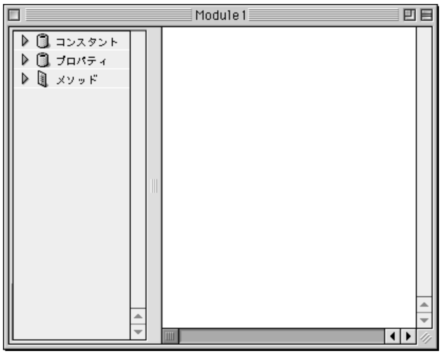


図5●「新規モジュール」コマンドで表示されるモジュール作成用のコードエディタ画面。ユーザーが作成したモジュールは他のプログラムでも使うことが可能だ

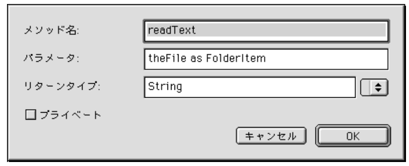


図6●「新規メソッド」コマンドを使って、メソッド「readText」、パラメータ「theFile as Folderitem」、リターンタイプ「String」と入力しよう

みました（同サービス内容については前ページコラムを参照のこと）。ですから、本連載のプログラムでは、あえて同データフォーマットにあわせてプログラミングを進めていきます。

『競馬道On Line』を選んだ理由は簡単です。同サービスでは、データ管理ソフトの開発者のためにデータの形式とそのサンプルデータをダウンロードできるようにしています。サンプルデータをダウンロードできるというのは、とりあえずソフトが完成するまでは契約をしなくてもよい、つまり完成するかどうかわからないうちの先行投資をおさえることができると考えると、非常にリーズナブルです。そして、『競馬道On Line』は他の競馬データ配信サイトと違ってMacユーザーにも非常にオープンな会社で、サポート体制も万全です。

他サービスのデータフォーマットを使用したい場合は、読者自身の力でプログラムを修正してください。繰り返しますが、本連載で掲載されるプログラムはすべてオープンソースなので、改造や修正は自由です。

```
Function readText(theFile as FolderItem) As String
  // メソッド名     : readText
  // パラメータ     : theFile as FolderItem
  // リターンタイプ : String

  // テキスト入力オブジェクトの宣言
  Dim myInputStream As TextInputStream

  // 結果を納める文字列の宣言
  Dim myResult As String

  // 引数で与えられたFolderItem『theFile』を
  // テキストファイルとして開く。開いた時の情報は
  //テキスト入力オブジェクトに納められる
  myInputStream = theFile.OpenAsTextFile

  // テキスト入力オブジェクトをとおして、ファ
  // イルの全文をmyResultに格納
  myResult = myInputStream.ReadAll

  // テキスト入力オブジェクトを閉じる
  myInputStream.Close

  // 結果を返す
  return myResult
End Function
```

リスト1●ファイルの読み込み関数

モジュール、クラスとメソッド

では、始めましょう。Rbに限らず、部品を組み立てていくのが最近のプログラミング手順です。そして、Rbにはコントロールのように目に見える部品の他に、“クラス”と呼ばれる部品もあります。クラスはパレットに並ぶこともなく、ひっそりとコードエディタで使用されるだけの地味な存在ですが、ファイルの入出力はこのクラスの持っている機能を組み合わせて実現する必要があるなど、重要な存在です。

配信されるデータがテキストファイルとして届けられる以上、まずはこのファイルを読み込むような仕組みを作る必要があります（ファイルを読み込んだりファイルに書き出す場合のRbでの手順とそこで利用されるクラスの関係について、前述のMACLIFE Open Source Projectホームページに表としてまとめてあります。入力と出力の違いは、TextInputStream／TextOutputStreamクラスを利用するかの違いだけで、処理の流れはほぼ同じであることがわかるはずです）。

迷った場合には、Rbにはソフトウェア中から利用可能なオンラインリファレンスがついています。このオンラインリファレンスで知りたいクラスなどを調べると、ほとんどの場合そこには点線で囲まれたサンプルコードがあります。このサンプルコードはコードエディタにドラッグ&ドロップすることが可能ですので、リファレンスの内容をすぐに実験して確かめることができるようになっています。小ワザとして覚えておきましょう。

ファイル入出力ルーチンの作成

さて、Rbでは用意された部品を使うだけではなく、自分でオリジナルの部品を定義していき、それを次回に活用することも可能になっています。クラスを作ることができるほか、“モジュール”という単位でメソッドや関数といったコードのかたまりをまとめることができます。できあがったモジュールはプロジェクトからFinder上にドラッグ&ドロップすることで単独のファイルとして保存できるほか、この単独のモジュールを他のプロジェクトへドラッグ&ドロップで追加すると、そこですぐに利用可能になります。

競馬予想ソフトなどでも必須となるファイル入出力ルーチンなどはどんなプログラムからでも利用できる汎用的なものなので、さっそくこの部分をモジュールにまとめてみることにします。

モジュールを作成するには、まず「ファイル」メニュー下の「新規モジュール」コマンドを選択します。すると、本ページ上の図5のようなモジュールのためのコードエディタが開きます。プロパティウインドウで、このモジュールに好きな名前を付けて下さい。

つぎに、モジュールにメソッドまたは関数を追加します。「編集」メニュー下の「新規メソッド」コマンドを選択すると、図6のようなダイアログが表示されます。ここではまずテキストを読み込むための関数を追加しますが、図6のダイアログで入力する項目と実際の関数であるリスト1（本ページ左下）の関係は、今後自分でメソッド・関数を定義していく上で重要なポイントです。

では、このリスト1のメソッドを使って、テキストフィールドにあるテキストファイルを読み込んでみましょう。リスト1を含むモジュールを用意したプロジェクトで、ウインドウエディタを開いて、そこに図7（次ページ上）のようにボタンとフィールドを配置します。ボタンをダブルクリックしてコードエディタを開き、そこにリスト2（次ページ上）のような内容を入力してみてください。そして、「デバッグ」メニュー下の「実行」コマンドを選択します。

さて、どうなったでしょうか？　ちゃんとテキストファイルの中は表示されましたか？

競馬データを切り出すには？

『競馬道On Line』が配付する競馬データファイルは、独自の形式でデータが並べられたテキストファイルです。つまり、テキストファイルを読み込んだ後は、その中から自分が必要な情報だけを入手できるように、まずは文字列を切り刻む必要があります。

文字列を操作する場合の基本は、ある文字



図7●コントロールをウィンドウ上でこのように配置し、ボタンをダブルクリックしてリスト2のBASICコードを登録する

```
Sub Action()

  // FolderItemの宣言
  dim myFile as FolderItem

  // GetOpenFolderItemで、オープンダイアログを
  //利用してFolderItemを入手
  myFile = GetOpenFolderItem("text")

  // キャンセルが押されずに、きちんと
  // FolderItemが入手できたら…
  if myFile<>Nil then

   // 先ほど定義したreadTextにて
   // EditField1に読み込む
   EditField1.Text = readText(myFile)
  end if

End Sub
```

リスト2●「開く」ボタンに書き込むコード



MACLIFE Open Source Projectホームページからダウンロードできる競馬データ読み込みの例。サンプルプロジェクトをいろいろとイジって、その仕組みを体で覚えておこう

だけ取り出したい、という要求です。この“ある文字だけ”という条件を、本当に文字を指定することで与えるのか、または何文字目から何文字目までと数字を指定することで与えるのか、はたまた行／word単位を指定することで与えるのかによって、利用するコマンドが変わってきます（この基本となる操作で使用するメソッド・関数について、やはりMACLIFE Open Source Projectホームページにまとめて掲示しておきました）。

文字列を切り刻んだあとは、必要な文字だけを取り出してまとめる必要がありますが、この点についてはRbでは「+」演算子を利用するだけでよいようになっています。一番最初の例を改造したときのことを思い出してください。

```
EditField1.Text+"お元気?"
```

は、EditField1の内容と「お元気?」という文字列を連結しました。切り出すときにはいくつかの方法がありましたが、くっつけるときにはこの方法だけです。

しかしながら、たとえばHyperCardの時には、line 〜 ofなどを利用してある文字列の次の行に文字列を加えていく、というようなことが可能でした。Rbでは、このようなときには改行記号と文字列を連結する必要がありますが、さて改行記号はどのようにコードの中で定義できるでしょうか。

改行記号に限らず、いわゆるエディタなどでは普通の目に見えない制御文字と呼ばれるものをコード中で扱う場合、Chr()という関数を利用します。たとえば、

```
EditField1.Text+Chr(13)+"お元気?"
```

と書くと、EditField1の内容の次の行に「お元気?」という文字列が連結されることがわかると思います。

サンプルをダウンロードしよう

では、さっそく筆者が作ったサンプルプロジェクトをMACLIFE Open Souce Projectホームページ（http://www.bnn.co.jp/opensource/）からダウンロードしてください。

サンプル用の競馬データファイルとして「kol_den.dat」というファイルも添付しておきます。実は、これは『競馬道On Line』が現在提供している出馬表ファイルの一例です。このデータファイルをJeditなどのテキストエディターで開いてみると、あるレースが1つの行ごとにまとめられていることがなんとなくわかると思います。それぞれの行は先ほどのデータ形式によってまとめられていますので、それを手がかりに1行ごとに取り出していきます。

このとき、何回かの繰り返しや、「もし〜の条件であれば〜せよ」というような、いわゆる制御構造と呼ばれるプログラミングの流れを決定する構造を考えていく必要がでてきます。頭の中でその流れを想像しながら、いろいろとサンプルプロジェクトをイジってみてください。

さらに、今後本連載が進むにつれて、メニューやGUIなどMacらしい振る舞いをするプログラミングとはどんなものか、考える必要がでてきます。しかし、今回はまだ連載の1回目なので、とりあえずサンプルプロジェクトをダウンロードしてて、内部のコメント欄を読んでいき、実際に実行してそれを確かめてみてください。

さて、注目の次回は、Rb内蔵のデータベース機能を使って、『競馬道On Line』から配信された多数のデータファイルを整理／データベース化できるようにしましょう。ビジネスアプリケーション作成にも約立つ内容なので、お楽しみに。　　　　　　（つづく）

第1回『競馬道なひと』 by しきやあけみ



前回は、ネームサーバーの役割りと、設定に必要なファイルについて説明しました。今回は、具体的な設定やファイル記述を行ない、実際にインターネットサーバーのDNSとして稼働させるまでを説明していきます。DNS設定でもっとも難解と思われているのがこの部分ですが、実際に手順どおりにやってみるとそれほどではないことがわかってもらえるかと思います。

まずはもっともシンプルなかたちで named.confファイルを記述してみよう

では、named.confファイルの記述から始めましょう。

BINDパッケージをインストールすると、基本設定ファイル/etc/named.confという雛形ファイルが作成されます。rpmを使ってインストールした場合、ファイルが作成されるだけで内容は空ですので、ルールに従って自分自身ですべて記述することが必要です。

named.confファイルの基本書式は「{」〜「};」でかこまれた部分に、条件や指定ファイル名などの命令文を項目別に記述することになります。コメントを表す部分には、シェルの「#」とC言語の「*/」や「//」が使えます。

named.confファイルの記述内容としては、セキュリティ関連のオプションやログとしてファイルに残すためのオプションなどもあるのですが、今回は、インターネットでDNSサーバーを稼働させるために最低限必要な項目に関して、もっともシンプルな形でリストに示しました。

まずは、それぞれの「命令」の詳細について、説明していきましょう（次ページ上のリスト1を参照しながら進んでください）。

●optionsコマンド

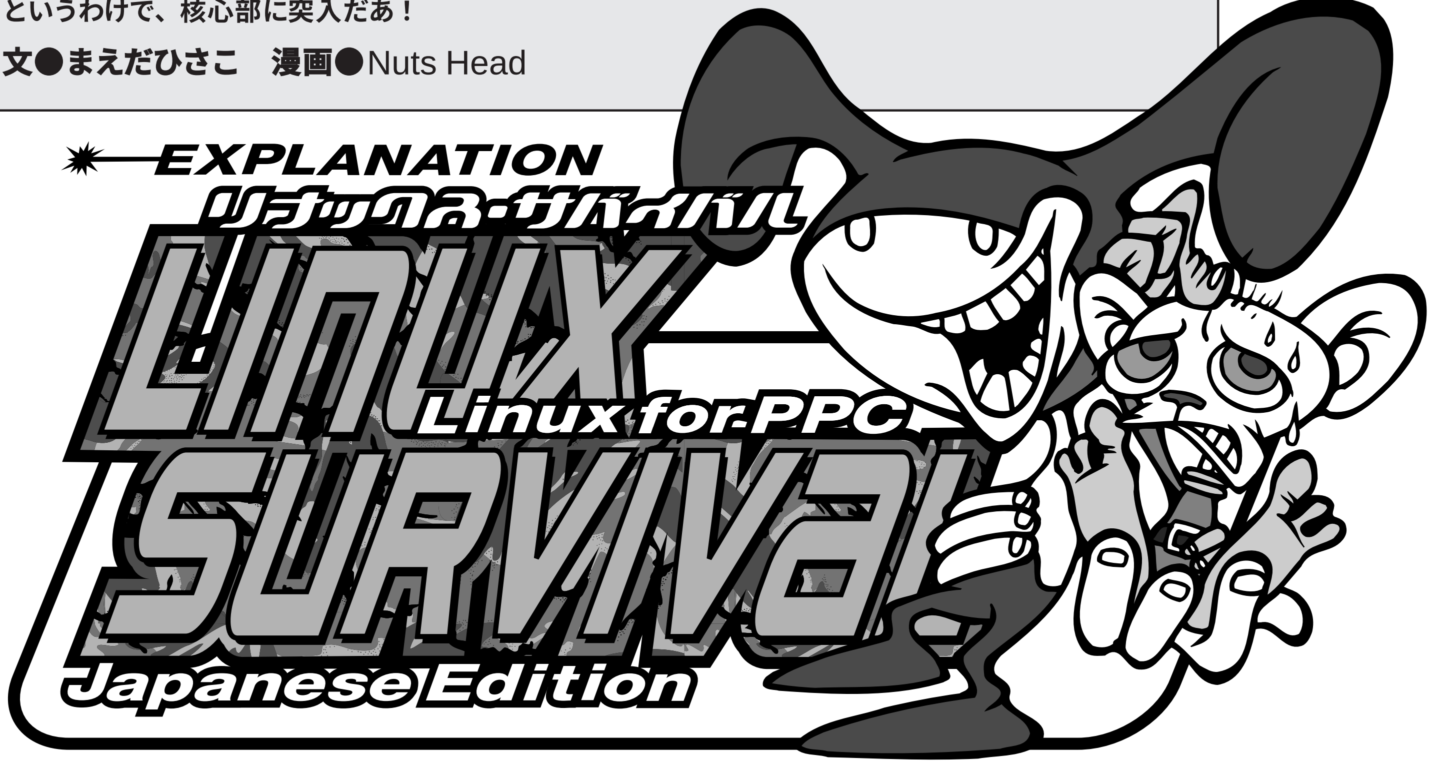
optionsでは、ネームサーバーデーモンであるnamed全体の動作について設定します。

ギアチェンジ！　そして連載はSURVIVALモードへ突入

Linux for PPC Japanese Edition／第6回
DNSの設定は難しくない（その2）

前回と今回の2回にわけて、Linux for PPC Japanese EditionでのＤＮＳサーバーのセットアップを解説しています。難しいと思っていたＤＮＳサーバーも、今回まで読み切ればそれほどではないということが理解してもらえるはずです。
というわけで、核心部に突入だあ！

文●まえだひさこ　漫画●Nuts Head



リスト1●/etc/named.confのサンプル

```
// まずはデータベースファイルのディレクトリを指定
options {
        directory "/var/named";
};

// キャッシュファイルを指定
zone "." {
        type hint;
        file "named.root";
};

// localhost用逆引きファイル
zone "0.0.127.in-addr.arpa" in{
        type master;
        file "localhost.rev";
};

// 正引きファイルの指定
zone "mydomain.co.jp" in{
        type master;
        file "mydomain.zone";
};

// 逆引きファイルの指定
zone "224.1.168.192.in-addr.arpa" in{
        type master;
        file "mydomain.rev";
};
```

リスト2●正引きデータベースファイルのサンプル（mydomain.zone）

```
@        IN SOA  ns.mydomain.co.jp. root.mydomain.co.jp. (
                 1999062801    ; Serial
                 10800         ; Refresh(3 Hours)
                 3600          ; Retry(1 Hour)
                 604800        ; Expire(1 Week)
                 86400         ; Default TTL(1 Day)
         )

                 IN NS         ns.mydomain.co.jp.
                 IN NS         ns-tk011.ocn.ad.jp.

                 IN MX 10      mail.mydomain.co.jp.
                 IN MX 20      ns.mydomain.co.jp.

         ns      IN A          192.168.1.226
         mail    IN A          192.168.1.227
         www     IN CNAME      mail
         ftp     IN CNAME      mail
         pc1     IN A          192.168.1.228
         pc2     IN A          192.168.1.229
         pc3     IN A          192.168.1.230
```

NS	ネームサーバーを指定
SOA	管理者アドレス、セカンダリーサーバーからのデータ更新時間間隔など
MX	メールを配送するホストを決定
A	ホスト名→アドレスへマップ
CNAME	ホストの別名を指定
PTR	アドレス→ホスト名へマップ

表1●各レコードの意味と役割り

　まず、ゾーンファイルを格納するためのディレクトリーを指定します。リストの例では/var/namedディレクトリーを指定していますが、rpmからインストールした場合、このディレクトリーは自動作成されません。mkdirコマンドであらかじめ作成しておきます。

　ここでは、ゾーン転送の制限なども可能です。たとえば、以下のように「options」命令文中で、さらに「{」〜「}」で入れ子にして記述することで、ゾーン転送を制限することができます。

```
allow-transfer {
  192.168.1/24;      // 許可するネットワークを指定
  !192.168.2.123;    // 特定のアドレスを拒否（!）
};
```

　同じように、DNS問い合わせに対して制限をかけるには「allow_query」を使うとよいでしょう。ちなみにこの制限は、次に説明する「zone」命令文中でも指定することができます。

●zoneコマンド

　zoneでは、管理しているドメインのデータベースを指定します。"type master"となっているのは、プライマリーDNSサーバーであることを表しています。ちなみに、セカンダリーDNSサーバーとして稼働させるには"type slave"を指定します。

　zoneに続いて『"mydomain.co.jp" in』となっている部分は、「正引き」であることを表します。ここでは説明のために「mydomain.co.jp」という架空のドメイン名と「192.168」で始まるクラスCのプライベートアドレスを使っていますが、自分の取得したドメイン名とIPアドレスに置き換えて見てください。

　「逆引き」を指定するには、ネットワークアドレスを逆さまに記述したものに「.in-addr.arpa」を付けたものを指定します。

ゾーンデータベースファイル群の記述方法のミソはここだ

　ゾーンデータベースは、「レコード」と呼ばれる「集合」によって記述されます。ゾーンファイルの設定に移る前に、基本的なレコー

リスト3●逆引きデータベースファイルのサンプル（mydomain.rev）

```
@         IN SOA  ns.mydomain.co.jp. root.mydomain.co.jp. (
                  1999062801    ; Serial
                  10800         ; Refresh(3 Hours)
                  3600          ; Retry(1 Hour)
                  604800        ; Expire(1 Week)
                  86400         ; Default TTL(1 Day)
          )

                  IN NS         ns.mydomain.co.jp.
                  IN NS         ns-tk011.ocn.ad.jp.

226               IN PTR        ns.mydomain.co.jp.
227               IN PTR        mail.mydomain.co.jp.
228               IN PTR        pc1.mydomain.co.jp.
229               IN PTR        pc2.mydomain.co.jp.
230               IN PTR        pc3.mydomain.co.jp.
```

ドの持つ意味について簡単に説明しておきます。

まずは、リスト2（本ページ上）とリスト3（次ページ）をざっとながめてほしいのですが、INとなっているのは、インターネットのアドレスであることを示しています。

SOAレコード以下の内容は、一見複雑に見えるかもしれません。最初の行については、プライマリサーバーの記述に続き、管理者のアドレスを記述しています。通常の電子メールのように「@」でアカウント名とドメイン名を区切るのではなく、ドット「.」で区切っていることに注意してください。

続く「(」～「)」で囲まれた部分における各行（フィールド）が示すところは、セカンダリーサーバーがデータを更新する時間に関する詳細設定になります。

ゾーンファイルが更新された場合、「Serial」の数値を大きくすることで、セカンダリサーバーは更新されたことを知ることができます。ここでは「年月日 + 01」のような形式で、いつ更新されたか、わかりやすいようにしています（実際には1から数字をあげていってもかまいません）。「Refresh」は更新チェックする間隔を、「Retry」はプライマリーネームサーバーへアクセスできなかった場合のリトライ間隔を意味しています。「Expire」はプライマリーネームサーバーへアクセスできなかった場合に、データベースを破棄するまでの時間を意味します。「Default TTL」はキャッシュの生存時間を指定しています。

NSレコードは、ネームサーバーの記述になります。Aレコードは、「アドレスレコード」を意味し、ホスト名からIPアドレスへの対応付けを行なうものです。CNAMEは、Aレコードのホスト名に対するエイリアス名がある場合に指定するものです。逆にPTRは、IPアドレスをホスト名を対応付けるものです。

なお、データベースファイル中では、セミコロン「;」に続く文字列はコメントとして扱われます。また、IPアドレスの最後にピリオド「.」を忘れないようにしてください。

正引きデータベースファイルとは？そして、もう一方の逆引きとは？

ここで、正引き／逆引きの両データベースファイルの役割りに関して補足しておきましょう。

まず、正引きデータベースは、ホスト名からアドレスを引くためのデータベースになります。この連載では、NTTのOCNエコノミー・サービス（http://www.ocn.ne.jp/）でのネームサーバー設定を前提に説明しており、セカンダリサーバーにはOCN側のネームサーバーのひとつである「ns-tk011.ocn.ad.jp」を指定しています。もちろん他のホストにセカンダリネームサーバーを設置することも可能ですので、ケースバイケースで変更するようにしてください。

前ページのリスト2の例では、mailというホスト名に対する別名として、wwwとftpというホスト名を与えています。MXレコードが指定してある場合、「foo@mydomain.co.jp」のように、メールアドレスのホスト名を省略することができます。MXが複数ある場合は、メールを受け取る優先順位になります。

一方、リスト3の逆引きデータベースですが、これはIPアドレスからホスト名を引くためのデータベースです。正引きデータベースファイルと照らし合わせて、矛盾がないようにしてください。FTP／News／IRCなど、ネットワークサービスによっては逆引きができないと、接続を拒否するものもありますので注意が必要です。

各ファイルの記述が終了したら、期待の不安のDNSサーバーの起動とテストだ！

各種ファイルの記述が終了したら、namedを起動します。

namedの起動／停止／再起動を行なうための便利なコマンドがありますので、まずは、rxvtやktermのようなターミナルアプリケーションを起動し、次のようにタイプしてください。

```
# ndc start
Name Server Started    [ネームサーバーが起動]
```

メッセージが表示され、ネームサーバーが起動したことがわかります。設定ミスによって起動ができなかった場合は、次のtailコマンドで、システムのログファイルをチェックしてください。

```
# tail /var/log/messages
```

また、起動したとしても、ネームサーバーが本当に正しく動作しているかどうまでは、まだわかりません。nslookupというプログラムを使ってテストを行なってみましょう。

```
# nslookup
Default Server: ns.mydomain.co.jp
Address: 192.168.1.226
```

```
Aliases:  226.1.168.192.in-addr.arpa
>
```

このように、DNSサーバーの情報が表示され、コマンドの入力待ちになります。ここで使用できるコマンドについては、「help」もしくは「?」と入力することで表示されます。

ちなみに、ここで「Default Server:」に別のホスト名が表示される場合は、/etc/resolv.confファイルを修正して、自身のネームサーバーを参照するようにします。「nameserver」の記述には、(必要ならば)次の例のように複数のネームサーバーアドレスを指定できます。

●resolv.confのサンプル

```
search  mydomain.co.jp
nameserver  192.168.1.226
nameserver  192.168.1.231
```

そして、正引きのテストを行なうためには、次のように「ホスト名を」を入力します。

```
> www.mydomain.co.jp
Server:  ns.mydomain.co.jp
Address:  192.168.1.226
Aliases:  226.1.168.192.in-addr.arpa

Name:    mail.mydomain.co.jp
Address:  192.168.1.227
Aliases:  www.mydomain.co.jp
```

ここで表示される情報で、wwwがmailの別名(エイリアス)だということがわかります。同様に、正引きの設定が正しいかどうかテストを行なってみてください。

続いて、逆引きのテストを行なうために「IPアドレス」を入力します。

```
> 192.168.1.227
Server:  ns.mydomain.co.jp
Address:  192.168.1.226
Aliases:  226.1.168.192.in-addr.arpa

Name:    mail.mydomain.co.jp
Address:  192.168.1.227
Aliases:  227.1.168.192.in-addr.arpa
```

ここで、正しい情報が表示されない場合は、再びゾーンファイルとにらめっこしながら修正を加えることになります。修正を行なったら、必ずSOAレコードのシリアルナンバーを書き換え、次のようにndcコマンドで、namedを再起動するようにします。

```
# ndc  restart
Name  Server  Restarted
```

なお、MXを指定した場合は、ちゃんとメールが届くかどうか、メール送信のテストもあわせて行なっておくとよいでしょう。

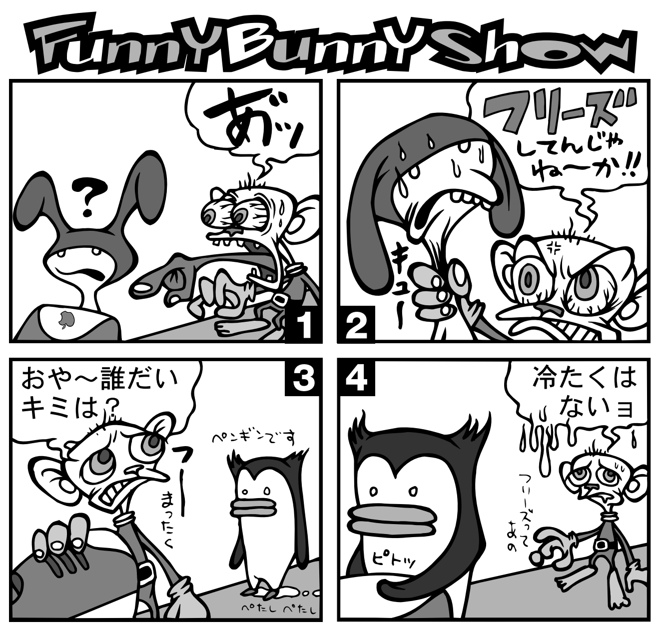
これでDNSサーバーの設定は終わり しかし、これはあくまでも個人ユースでの例

これでLinux for PPC Japanese EditionでのDNSサーバーの設定は終わりです。

ただし今回紹介した設定例は、OCNエコノミーなどのSOHOユーザーを対象とした、あくまでもシンプルなケースであることに注意してください。実際にはBINDはもっと奥が深く、複雑な設定が可能になっています。興味のある方は、是非一度ドキュメント(http://www.isc.org/view.cgi?/products/BIND/docs/index.phtml)に目を通されることをお薦めします。

さて、筆者が独自入手した情報によると、(株)マインドのLinux for PPC Japanese Editionの次バージョン(Version 2.0)がほぼ完成しそうだということです。ある噂では、glibc 2.1対応になったばかりでなく、ログインの段階でユーザーの好みの国言語やウィンドウマネージャーに切り替えることができるとか。

すごい〜。まさにMac OS Xでいう“Equal Citizens”機能ですね。Mac OS Xが約束したことをLinuxは着実に1年以上の開きで先取りしつつあるようです。そういう意味では本コーナーもそのような動きに追い付いていかねばなりません。というわけで、来月またお会いしましょう!



Software Ranking

今月はグラフィック関連製品の売り上げの上位はすべてアドビ製品で埋め尽くされている
そして7月下旬には、Adobe PageMaker 6.5 Plus日本語版が発売になる
PDFを作成することが出来る、Adobe Acrobat Distiller 4.0日本語版も付属するのでお買い得だ
もはや必携となったアドビ製品の新作だけに期待が高まっている
＊掲載価格は6月18日現在のデータです

BUSINESS



- ⬆1 **Microsoft Office98 アカデミックパッケージ**
  ￥23,800　マイクロソフト
- ⬆2 **Microsoft Office98 アップグレードパッケージ**
  ￥41,200　マイクロソフト
- ⬇3 **Microsoft Office98 Macintosh Edition**
  ￥68,800　マイクロソフト
- ⬇4 **ATOK12 for Macintosh**
  ￥9,800　ジャストシステム
- ⬇5 **ファイルメーカー Pro 4.1**
  ￥39,000　ファイルメーカー

GRAPHICS



- ➡1 **Adobe Illustrator 8.0日本語版**
  ￥120,000　システムソフト／ソフトウェア・トゥー／メディアヴィジョン
- ➡2 **Adobe Photoshop 5.0日本語版**
  ￥155,000　システムソフト／ソフトウェア・トゥー／メディアヴィジョン
- ⬆3 **Adobe Illustrator 8.0アップグレード版**
  ￥25,000　システムソフト／ソフトウェア・トゥー／メディアヴィジョン
- ⬆4 **Adobe Photoshop 5.0アップグレード版**
  ￥25,000　システムソフト／ソフトウェア・トゥー／メディアヴィジョン
- ⬇5 **Adobe Publishing Collection日本語版**
  ￥198,000　システムソフト／ソフトウェア・トゥー／メディアヴィジョン

MULTIMEDIA



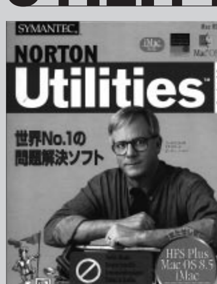
- ➡1 **Adobe PageMill 3.0日本語版**
  ￥12,800　システムソフト／ソフトウェア・トゥー／メディアヴィジョン
- ⬆2 **STRATA VISION 3D 5.5**
  ￥48,000　ソフトウェア・トゥー
- ⬆3 **Dreamweaver 2日本語版**
  ￥39,800　マクロメディア
- ⬆4 **i Shade**
  ￥9,800　エクス・ツールス
- ➡5 **Shade Debut R3**
  ￥23,800　エクスツールス

ENTERTAINMENT



- ⬆1 **北斗の拳 激打～タイピング奥義～**
  ￥4,800　SSIトリスター
- ⬆2 **AI麻雀**
  ￥9,800　アイフォー
- ⬆3 **Tomb Raider Gold**
  $29　Pacific Software Publishing
- ⬆4 **Lode Runner 2**
  \6,000　クロストーク
- ⬇5 **特打指令タイプコップ**
  \4,900　ソース

UTILITY



- ➡1 **Norton Utilities for Macintosh Ver 4.0J**
  ￥22,800　シマンテック
- ➡2 **Norton AntiVirus for Macintosh Ver 5.0.3J**
  ￥12,800　シマンテック
- ➡3 **Mac OS 8.5**
  ￥13,800　アップルコンピュータ
- ⬆4 **スーパープラスツール**
  ￥22,800　亘香通商
- ⬆5 **Eudora Pro Ver.4.0-J**
  \12,800　クニリサーチインターナショナル

ランキング協力店一覧(50音順)

あんこう・パソコン・ビジュアル館	03-3257-2511
イケショップ	03-3251-9688
ソフトランド	045-320-2711
ソフマップ	03-3251-3000
チャンプ	03-3829-8089
九十九電機	03-3251-9959
Power YU	03-3486-8866
ペン・ツー・シー	03-3253-1152
MacACADEMY2号店	03-5256-0981

MacCatalog 1999〈現行機種カタログ〉では、アンケート調査時に流通しているMacintosh、およびApple関連製品の価格、おもなスペック等を紹介します。場合によっては本誌発売日以降に品切れになったり、価格が変更になることもありますが、ご了承ください

*掲載価格は6月18日現在のデータです

アンケート協力店一覧（50音順）

あんこう・パソコン・ビジュアル館	03-3257-2511
イケショップ	03-3251-9688
ソフトランド	045-320-2711
ソフマップ	03-3251-3000
チャンプ	03-3829-8089
九十九電機	03-3251-9959
Power YU	03-3486-8866
ペン・ツー・シー	03-3253-1152
MacACADEMY2号店	03-5256-0981

▶各項目の内容

デスクトップ型



ノートブック型



最低価格 888,888円
平均価格 999,999円

発売開始時期

デスクトップ型：
システム構成
CPU（クロック）
最大搭載メモリ（メモリの種類）／二次キャッシュ
搭載ドライブ（HD／CD）
汎用拡張スロット
付属システム
サイズ（HWD）／重量
その他スペック
（付属CD-ROMの内容は機種によって異なる）

ノートブック型：
システム構成
CPU（クロック）
最大搭載メモリ（メモリの種類）
搭載ドライブ（HD／FD）
汎用拡張スロット
ディスプレイ
バッテリ
付属システム
サイズ（HWD）／重量
その他スペック

Mac Catalog 1999 現行機種カタログ

iMac 333



最低価格 158,000円 '99/1
平均価格 158,000円

32MB／HD6000／CD
PowerPC 750（333MHz）
最大128MB（DIMM×2）／512KB Backside Cache
6GB IDE HD／24倍速CD-ROM（ATAPI）
Mac OS 8.5.1
395×380×440mm／17.3kg
ビデオ表示機能：標準6MB SGRAMで最大1,670万色（～1,024×768）
インターフェイス：USBポート×2、Ethernet（10／100Base-T／RJ-45）ポート、56Kbpsモデム、16bitステレオ／SRSサラウンド入出力ポート×各1、マイクロフォン×1、ヘッドフォンジャック×2、スピーカ内蔵
付属品：キーボード、マウス、電源ケーブル、電話ケーブル、ソフトウェアインストールCD-ROM（Mac OS 8.5.1、付属アプリケーションソフトなど）、マニュアル、保証書
ボディ外装はストロベリー、ライム、タンジェリン、グレープ、ブルーベリーの5種類より選択可能

Power Mac G3/450



最低価格 386,000円 '99/6
平均価格 387,500円

128MB／HD9000／CD
PowerPC 750（450MHz）
最大1GB（DIMM×4）／1MB Backside Cache
9GB Ultra2 Wide SCSI HD／32倍速CD-ROM（ATAPI）
PCIスロット×4
Mac OS 8.6
432×226×467mm／13kg
ビデオ表示機能：標準16MB SDRAMで最大1,670万色（～1,920×1,200）
インターフェイス：ADBポート、USBポート×2、400Mbps FireWireポート×2、Ethernet（10/100Base-T）ポート、PCI拡張スロット×4（64bit/33MHzスロット×3、ATI RAGE 128グラフィックカード装着済の32bit/66MHzスロット1基）、DB-15ビデオポート、16bitステレオサウンド入出力ポート×各1、拡張ベイ×3
付属品：マウス、キーボード、電源ケーブル、Mac OS CD-ROM、マニュアル、保証書

Power Macintosh G3/400/DVD



最低価格 245,000円 '99/6
平均価格 246,800円

64MB／HD6000／DVD
PowerPC 750（400MHz）
最大1GB（DIMM×4）／1MB Backside Cache
6GB UltraATA HD／5倍速DVD-ROM（ATAPI）
PCIスロット×4
Mac OS 8.6
432×226×467mm／13kg
ビデオ表示機能：標準16MB SDRAMで最大1,670万色（～1,920×1,200）
インターフェイス：ADBポート、USBポート×2、400Mbps FireWireポート×2、Ethernet（10/100Base-T）ポート、PCI拡張スロット×4（64bit/33MHzスロット×3、ATI RAGE 128グラフィックカード装着済の32bit/66MHzスロット1基）、DB-15ビデオポート、16bitステレオサウンド入出力ポート×各1、拡張ベイ×3
付属品：マウス、キーボード、電源ケーブル、Mac OS CD-ROM、マニュアル、保証書

Power Macintosh G3/400/ZIP

new!



最低価格 316,000円 '99/6
平均価格 317,500円

128MB／HD12000／CD／Zip
PowerPC 750（400MHz）
最大1GB（DIMM×4）／1MB Backside Cache
12GB UltraATA HD／32倍速CD-ROM（ATAPI）
PCIスロット×4
Mac OS 8.6
432×226×467mm／13kg
ビデオ表示機能：標準16MB SDRAMで最大1,670万色（～1,920×1,200）
インターフェイス：ADBポート、USBポート×2、400Mbps FireWireポート×2、Ethernet（10/100Base-T）ポート、PCI拡張スロット×4（64bit/33MHzスロット×3、ATI RAGE 128グラフィックカード装着済の32bit/66MHzスロット1基）、DB-15ビデオポート、16bitステレオサウンド入出力ポート×各1、拡張ベイ×3
付属品：マウス、キーボード、電源ケーブル、Mac OS CD-ROM、マニュアル、保証書

Power Macintosh G3/350

new!



最低価格 196,000円 '99/6
平均価格 197,600円

64MB／HD6000／CD
PowerPC 750（350MHz）
最大1GB（DIMM×4）／1MB Backside Cache
6GB UltraATA HD／32倍速CD-ROM（ATAPI）
PCIスロット×4
Mac OS 8.6
432×226×467mm／13kg
ビデオ表示機能：標準16MB SDRAMで最大1,670万色（～1,920×1,200）
インターフェイス：ADBポート、USBポート×2、400Mbps FireWireポート×2、Ethernet（10/100Base-T）ポート、PCI拡張スロット×4（64bit/33MHzスロット×3、ATI RAGE 128グラフィックカード装着済の32bit/66MHzスロット1基）、DB-15ビデオポート、16bitステレオサウンド入出力ポート×各1、拡張ベイ×3
付属品：マウス、キーボード、電源ケーブル、Mac OS CD-ROM、マニュアル、保証書

Macintosh Server G3/450



最低価格 628,000円 '99/6
平均価格 628,000円

256MB／HD9000×2／CD
PowerPC 750（400MHz）
最大1GB（DIMM×4）／1MB Backside Cache
9GB Ultra2 Wide SCSI HD×2／32倍速CD-ROM
PCIスロット×4
Mac OS 8.6
432×226×467mm／13kg
ビデオ表示機能：標準16MB SDRAM／ATI RAGE 128グラフィックカード装着済
インターフェイス：ADBポート、USBポート×2、400Mbps FireWireポート×2、Ethernet（10/100Base-T）ポート、PCI拡張スロット×4（64bit/33MHzスロット×3うち1はUltra2 Wide SCSIカード装着済、ATI RAGE 128グラフィックカード装着済の32bit/66MHzスロット1基）、DB-15ビデオポート、16bitステレオサウンド入出力ポート×各1、拡張ベイ×3（空き1または2）
付属品：AppleShare IP 6.2やSoftRAID 2.1.6などソフト多数、キーボード、マウス、電源ケーブル、Mac OS CD-ROM、マニュアル、保証書

Mac Catalog 1999

Power Mac G3/400



最低価格 378,000円 '99/1
平均価格 393,000円

128MB／HD9000／CD
PowerPC 750（400MHz）
最大1GB（DIMM×4）／1MB Backside Cache
9GB Ultra2 LVD SCSI HD／24倍速CD-ROM（ATAPI）
PCIスロット×4
Mac OS 8.5.1
432×226×467mm／13kg
ビデオ表示機能：標準16MB SDRAMで最大1,670万色（～1,920×1,200）
インターフェイス：ADBポート、USBポート×2、400Mbps FireWireポート×2、Ethernet（10/100Base-T）ポート、PCI拡張スロット×4（64bit/33MHzスロット×3、ATI RAGE 128グラフィックカード装着済の32bit/66MHzスロット1基）、DB-15ビデオポート、16bitステレオサウンド入出力ポート×各1、拡張ベイ×3
付属品：マウス、キーボード、電源ケーブル、Mac OS CD-ROM、マニュアル、保証書

Power Macintosh G3/350/DVD



最低価格 267,000円 '99/5
平均価格 268,500円

64MB／HD6000／DVD
PowerPC 750（350MHz）
最大1GB（DIMM×4）／1MB Backside Cache
6GB UltraATA HD／5倍速DVD-ROM（ATAPI）
PCIスロット×4
Mac OS 8.5.1
432×226×467mm／13kg
ビデオ表示機能：標準16MB SDRAMで最大1,670万色（～1,920×1,200）
インターフェイス：ADBポート、USBポート×2、400Mbps FireWireポート×2、Ethernet（10/100Base-T）ポート、PCI拡張スロット×4（64bit/33MHzスロット×3、ATI RAGE 128グラフィックカード装着済の32bit/66MHzスロット1基）、DB-15ビデオポート、16bitステレオサウンド入出力ポート×各1、拡張ベイ×3
付属品：マウス、キーボード、電源ケーブル、Mac OS CD-ROM、マニュアル、保証書

Power Macintosh G3/350/ZIP



最低価格 299,000円 '99/1
平均価格 318,500円

128MB／HD12000／CD／Zip
PowerPC 750（350MHz）
最大1GB（DIMM×4）／1MB Backside Cache
12GB UltraATA HD／24倍速CD-ROM（ATAPI）
PCIスロット×4
Mac OS 8.5.1
432×226×467mm／13kg
ビデオ表示機能：標準16MB SDRAMで最大1,670万色（～1,920×1,200）
インターフェイス：ADBポート、USBポート×2、400Mbps FireWireポート×2、Ethernet（10/100Base-T）ポート、PCI拡張スロット×4（64bit/33MHzスロット×3、ATI RAGE 128グラフィックカード装着済の32bit/66MHzスロット1基）、DB-15ビデオポート、16bitステレオサウンド入出力ポート×各1、拡張ベイ×3
付属品：マウス、キーボード、電源ケーブル、Mac OS CD-ROM、マニュアル、保証書

Power Macintosh G3/300



最低価格 196,000円 '99/1
平均価格 196,000円

64MB／HD6000／CD
PowerPC 750（300MHz）
最大1GB（DIMM×4）／512KB Backside Cache
6GB UltraATA HD／24倍速CD-ROM（ATAPI）
PCIスロット×4
Mac OS 8.5.1
432×226×467mm／13kg
ビデオ表示機能：標準16MB SDRAMで最大1,670万色（～1,920×1,200）
インターフェイス：ADBポート、USBポート×2、400Mbps FireWireポート×2、Ethernet（10/100Base-T）ポート、PCI拡張スロット×4（64bit/33MHzスロット×3、ATI RAGE 128グラフィックカード装着済の32bit/66MHzスロット1基）、DB-15ビデオポート、16bitステレオサウンド入出力ポート×各1、拡張ベイ×3
付属品：マウス、キーボード、電源ケーブル、Mac OS CD-ROM、マニュアル、保証書

PowerBook G3 400/14" 1MB



最低価格 428,000円 '99/5
平均価格 429,200円

64MB／HD6000／DVD-ROM
PowerPC 750（400MHz）
最大384MB／1MB Backside Cache
6GB IDE HD／2倍速DVD-ROMドライブモジュール
PCカードスロットType1/2×1もしくはZoomed規格PCカード×1
14.1" TFTカラー液晶（バックライト）
充電式リチウムイオン電池
Mac OS 8.6（PowerBook G3専用）
323×264×43mm／2.68kg
ビデオ表示機能：標準8MB SDRAM／ATI RAGE LT Proグラフィックカード装着済　最大1,670万色（1,024×768）
インターフェイス：USB×2、SCSI（HDI-30）ポート、16ビットステレオサウンド入出力ポート、赤外線ポート（IrTalk／IrDA）、外部ディスプレイポート（VGA）、外部TVモニタポート、Ethernetポート（10/100Base-T）×1、内部モデムポート（K56flex）、マイクロフォン、スピーカ×2
付属品：Mac OS CD-ROM、ケーブル類ほか

PowerBook G3 333/14" 512KB



最低価格 298,000円 '99/5
平均価格 301,600円

64MB／HD4000／CD-ROM
PowerPC 750（333MHz）
最大384MB／512KB Backside Cache
4GB IDE HD／24倍速CD-ROMドライブモジュール
PCカードスロットType1/2×1もしくはZoomed規格PCカード×1
14.1" TFTカラー液晶（バックライト）
充電式リチウムイオン電池
Mac OS 8.6（PowerBook G3専用）
323×264×43mm／2.68kg
ビデオ表示機能：標準8MB SDRAM／ATI RAGE LT Proグラフィックカード装着済　最大1,670万色（1,024×768）
インターフェイス：USB×2、SCSI（HDI-30）ポート、16ビットステレオサウンド入出力ポート、赤外線ポート（IrTalk／IrDA）、外部ディスプレイポート（VGA）、外部TVモニタポート、Ethernetポート（10/100Base-T）×1、内部モデムポート（K56flex）、マイクロフォン、スピーカ×2
付属品：Mac OS CD-ROM、ケーブル類ほか

現行機種カタログ

Apple Studio Display/CRT



最低価格 61,900円 '99/1
平均価格 62,400円

17"（対角）ダイヤモンドトロンCRTディスプレイ
表示可能サイズ16"
0.25mmアパーチャグリルピッチ
解像度／垂直走査周波数：640×480/85Hz、800×600/85Hz、832×624/75Hz、1,024×768/85Hz、1,152×870/75Hz、1,280×1,024/75Hz、1,600×1,200/60Hz
走査周波数：30～85KHz（水平）48～160Hz（垂直）
コントローラ：輝度調整、コントラスト調整、消磁、水平サイズセンタリング、垂直サイズセンタリング、コンバージェンス調整、回転、糸巻き歪み調整、台形歪み調整、平行四辺形歪み調整、ズーム、モアレ調整、色温度調整
コネクタ／ケーブル：DB-15ビデオコネクタ、VGA-Macアダプタ
427×411×447mm／20.8kg
付属品：Appleディスプレイソフトウェア、電源コード、VGA-Macアダプタ、マニュアル、保証書
システム条件：Power Macintosh G3、Mac OS8.0以降

Apple Studio Display/Flat Panel



最低価格 158,000円 '99/1
平均価格 158,800円

15.1"（対角）TFTカラー液晶ディスプレイ
表示色数：1,670万色
視野角：120°（水平）、90°（垂直）
解像度／垂直走査周波数：640×480(60/67/72/75Hz)、720×400(70Hz)、800×600(56/72/75Hz)、832×624(75Hz)、1,024×768(60/70/75Hz)
コントローラ：ビデオモード、輝度調整、リセットボタン、OSDナビゲーション、OSD調整
コネクタ／ケーブル：DB-15ビデオコネクタ、ADBポート、S-video入力ポート、コンポジットビデオポート、オーディオ入力ポート(L/R)、オーディオ出力ポート、VGA-Macアダプタ
249×399×175×mm／3.5kg(スタンド使用時381～490×399×249mm／5.5kg)
付属品：Appleディスプレイソフトウェア、電源コード、電源アダプタ、フリップアウトスタンド、VGA-Macアダプタ、マニュアル、保証書
システム条件：Mac OS8.0以降のPower MacintoshまたはPowerPCベースのMac OS搭載機

耳より 林檎ばなし

　アップルは、英語版のMac OSキーボードのセットを発表し、アップルのオンラインストア、The Apple Storeにてオンライン販売を開始した。
　日本の販売店などでiMacやPower Macを購入すると、当然のことながら日本語版のキーボードが付属してくる。かなキーや英数キーが付いているとはいうものの、ユーザーのなかには英語版のキーボードのほうが使いやすい主張する人もいる。今回発売されたのは、English Mac OS and U.S. Keyboard Kitで、最新のMac OS 8.6の英語版CD-ROM、そしてANSI（American National Standerds Institute）配列のUSBキーボードをセットにしたもの。iMac各色と、Power Macと同色の、計6色の発売となる。価格は、各15,000円。
　The Apple Store(アップルストア）のURLは以下の通り。
http://www.apple.com/japanstore

梅雨も終わって夏真っ盛り。今年も半分以上が終わったが、上半期の話題はやはりiMacで決まり。後半もMacが逃げ切るか？

BookMark

愛すればこそ！ ヘビーユーザーのための PowerBook改造マニュアル



POWERBOOK ARMY Vol.1
「PowerBook**大改造計画**」

著者●POWERBOOK ARMY
発売元●ビー・エヌ・エヌ
ページ数●256p
価格●1,980円（税別）

本誌で好評連載中である「Power Bookカスタム講座/PowerBook Maniacs（PowerBookでGO!改題）」が単行本化された。単行本化にあたり、連載時に書ききれなかった部分や最新情報に合わせて大幅に加筆されている。

まず目を引くのが巻頭のカスタムPowerBookギャラリーだ。著者でもあるコアなユーザー集団「POWERBOOK ARMY」のメンバーによるカスタムPower Bookの数々が紹介されている。これまで連載中はモノクロでしか確認できなかったが、カラーで掲載されるカスタムPower-Bookの数々はあきれるのを通り越して、ただただ感嘆するばかりだ。その後の内容も「Power Bookスケルトン計画」そして、「PowerBookをUNIXワークステーションにする」などなどディープなものばかりだが、その根底には執拗なまでのPowerBookに対する愛情が感じられる。

自分だけのPowerBookを持ちたい、最新機種に乗り換えるより、愛着のある今のPowerBookをチューンナップして大切に使いたいユーザーは必読。ただし、実際に改造する場合は、メーカー保証の対象外となるので、自己の責任において行なおう！

今月のおすすめ

CADを応用してインテリアデザイン 超実践的VectorWorks入門書

本書は、昨年9月に刊行された「MiniCAD7～インテリアデザインガイド」の全面改訂版であるが、以前よりページ数も大幅に増加しボリューム感のある仕上がりになっている。

ご存知のようにバージョンアップにともないMiniCADがVectorWorksと名称変更され、以前にも増して、プレゼンテーション能力が大幅に強化された。これによりインテリアの分野におけるほとんどの作業がVectorWorks一本で可能になってきた。CADソフトを応用したインテリアデザインがますます重要性をおびてきた訳である。

内容は「基本編」と「応用編」からなる。「基本編」ではVectorWorksの基本操作と新機能、平面図の練習から家具の3D入力まで、「応用編」ではCADの解説書としては珍しく色彩計画への問題や質感表現、アニメーションの作成やプレゼンボードの作成など、実際のデザイン作業の過程でVectorWorksがどのように利用されているかをチュートリアルを中心にしてわかりやすく解説してある。また、付属CD-ROMにはVectorWorksデモ版を始めとして本文中で使用しているチュートリアルファイル、作品集、参考図などを収録してあるため、この一冊でVectorWorksをマスターすることも可能だ。

これからCADの導入を考えているインテリアデザイナーはもちろんのこと、VectorWorks入門書としても十分お薦めできる一冊だ。

著者●河村容治
発売元●ビー・エヌ・エヌ
ページ数●424p
価格●4,600円（税別）



「VectorWorks
～インテリアデザインガイド」

今月の新刊



Fireworks2で高アクセス

「Fireworks2～Web画像作成スーパーテクニック～for Windows&Macintosh」

Web&HP研究会著　ソーテック社　2,900円（税別）

Web用グラフィックス作成ソフトの定番、Macromedia Fireworks2の各機能をテクニック編とリファレンス編に分けて詳細に解説。テクニック編に掲載されている作例はホームページ上に公開されているため、実際に見て確認することも可能だ



Mac OSもいいけどたまには…

「BeOS:～UNIXアプリケーションの組込み」

Martin C, Brown著　オーム社　5,500円（税別）

BeOS へアプリケーションをポーティングするための実践ガイド。主にUNIXからのポーティングについての解説だが、すべてのポーティング作業に関して参考になる。C言語でプログラミングできる人以上にお薦め

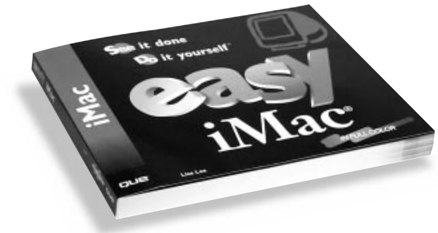


そろそろ乗り換えますか？

**「過去のデータ資産を活かす !!
～QuarkXPress to PageMaker～電撃乗換BOOK」**

細田正幸/小倉則男著　ラピュータ　2,500円（税別）

付属CD-ROMに収録されているQuarkXPressドキュメントをPageMakerファイルにコンバートするQuarkXPress Converterの解説から、便利なQuarkコマンドで引くPageMakerコマンド辞典など、QuarkXPressからPageMakerへの乗り換えを考えているユーザーに嬉しい一冊



英語の勉強にもなるかも

「easy iMac」

Lisa Lee著　ピアソン・エデュケーション
3,400円（税別）

iMacのセッティングから、基本的な各操作の修得、メンテナンス、付属ソフトウェアの使用方法までこの一冊でiMacのすべてが分かる。ただし、翻訳書ではないため、表記はすべて英語である



今、解き明かされる達人の技

**「フォトショップ・スタジオ・シークレット
～世界のトップクリエイターたち」**

Deke McClelland/Katrin Eismann著　エムディエヌ
3,800円（税別）

世界で活躍する15人のトップクリエイターたちが実際にPhotoshopで作成した仕事を例に、プロが使う秘中のテクニックを余すことなく解説した一冊



*ハンディで持ち運びにも便利！
楽するコツ100選*

「DTPのコツ100」

インフォメディア著　ビー・エヌ・エヌ　980円（税別）

定番ソフトからフリーウェア、シェアウェアまで、MacDTPをより便利にするソフトとTipsをユーザーの目的別に紹介。DTPデザイナー必携の書



今すぐ使えるデジタル素材ライブラリ

**「改訂新版 ホームページ素材集
～HOT＆プライベート」**

インプレス編集部著　インプレス　2,980円（税別）

アイコン、ボタン、テクスチャ、アニメーションGIFなど、ホームページに使える素材集。約4,000点の素材をHTML形式で収録したCD-ROM付属



*ファン待望の
"続マッキントッシュ・ハイ"*

「日曜日のiMac」

山川健一著　星雲社　1,500円（税別）

WebMagazine「I'M Here」の編集長でもある、作家山川健一の書いたiMacマニュアル。巻末にはスティーブ・ウォズニアックへのインタビューも掲載されている

Macintosh書籍トレンド＆ランキング '99/6

順位	書名	出版社
1	PowerBook大改造計画	ビー・エヌ・エヌ
2	Shade Professional3Dスーパーテクニック	ソーテック
3	ShadeR3 3Dアニメーション	秀和システム
4	Premiere&AfterEffectsノンリニア・マスター	ソフトバンク
5	LightWave3Dでいこう！	ビー・エヌ・エヌ
6	Shadeテクニカルガイド	メディアテック
7	一撃必殺DREAM WEAVER2	オーム社
8	イラストレーター教室8.0	インプレス
9	DTPのコツ100	ビー・エヌ・エヌ
10	できるiMac	インプレス

協力／書泉グランデ，T・Zoneミナミ

快適MACLIFEフォーラム通信 準備号

8月1日オープン！

MACLIFEステーションは、8月1日から快適MACLIFEフォーラムにリニューアルする。快適MACLIFEフォーラムは、読者有志により運営されるフォーラムだ。今回は、新フォーラムのシスオペ、寺子屋こと川崎貴志さんにリニューアルにあたっての意気込みと、新フォーラムの会議室について伺った。

快適MACLIFEフォーラム

今月のスタッフ

川崎貴志（寺子屋）

かわさきたかし（てらこや）

■快適MACLIFEフォーラムSYSOP■
takashi.kawasaki@nifty.ne.jp

長い間ご愛顧いただいたBNN STATION（MACLIFE STATION & NETLIFE STATION）ですが、2つのステーションを統合し、BNNおよびエクシードプレスからは巣立ちして、読者有志により運営される1つのフォーラムとして、装いも新たに、8月1日からリニューアルオープンすることになりました。フォーラム名は「快適MACLIFEフォーラム（GOコマンドはGO FMACLIFE）」です。これに伴い、SYSOPも飯嶋淳さんから、寺子屋こと川崎貴志が引き継ぐことになりました。力不足な面もありますが、がんばりますので、今まで同様よろしくお願いします。とはいえ、MACLIFEのこのコーナーも残していただけるということですし、今まで同様、MACLIFEとの「いい感じ…」といった関係は続く？と思われますが…（笑）。

リニューアルのスケジュールは7月29日いっぱいで、いったんMACLIFE STATIONとNETLIFE STATIONをクローズします。7月30日から移行作業を行ない、8月1日からFMACLIFEが正式オープンする予定です。移行作業中の7月30日から31日にかけてアクセスできない状態が続くと思われますので、特にオートパイロットされている方はご注意ください。

6月下旬における案ですので少変更があるかもしれませんが、フォーラムの会議室構成を説明します。基本的にMACLIFE STATIONにNETLIFE STATIONのポストペット関連の2つの会議室を移動してきてマイナーチェンジした感じです。目新しいところでは、5番「Magazine Talk◇Mac雑誌にもの申す」会議室（MACLIFEに限らず、Mac雑誌の記事などについてこんなのがおもしろかった、こうだといいなぁって感じの忌憚のない意見が言える雰囲気の会議室を目指しています）。8番「Web Satellite◇Web情報・談義・質問」会議室（Web情報ばかりでなく、いろんなWeb談義ができると良いなぁと思っています。こんな内容のホームページないかなぁとかの質問でもOKです。）。9番「Trouble Rescue◇なんでも質問・相談」会議室（Macintoshビギナーでも気軽に質問できる雰囲気がモットー）。といった構成ですが、状況に応じていろいろな特設会議室なども設けていきたいと思います。

「快適MACLIFEフォーラム」オープン記念として、気持ちばかりのものですがプレゼントなども企画していますので、ぜったいに遊びにきてくださいね。スタッフ一同お待ちしています。

川崎貴志（寺子屋）●本業は超零細学習塾の塾長。1995年からBNNステーションSUBSYSを務める。新装なる快適MACLIFEフォーラムのSYSOP。現在本誌の新作FreeWareのコーナーを執筆中。

快適MACLIFEフォーラム（FMACLIFE）の会議室

1	From FMACLIFE	◆お知らせ・告知・発表	12	Amusement room	◇電脳遊戯室
3	Library Info	◆新着ライブラリ情報	13	Welcome to music!!	◇まっくでおんがく！
5	Magazine Talk	◇Mac雑誌にもの申す	15	Hardware A to Z	◇ハード談義とQ&A
6	Tea Time	◇茶飲み話・自己紹介	16	Software A to Z	◇ソフト談義とQ&A
7	Just Buy It!	◇欲しいものは今買おう	17	Auto Script Club	☆自動通信自由自在
8	Web Satellite	◇Web情報・談義・質問	18	PostPet保健室	☆困った時の民間療法
9	Trouble Rescue	◇なんでも質問・相談	19	PostPet保育園PTA	☆うちの子が一番！
11	PowerBook Club	◇PowerBookとMobile PC	20	Let's Mac"Win"tosh	◇MacとWinの素敵な関係



みなさんのご意見を書き込んでください

Virtual MACLIFEがリニューアルオープン

●http://www.bnn.co.jp/MACLIFE/

MACLIFEのホームページ「Virtual MACLIFE」がリニューアルし、読者のみなさんが自由に書き込めるBBS「MACLIFE会議室」も併設されました。特集や連載へのご意見、ご質問など、ご気軽にお書き込みください。

今後はリンクページの充実や、過去の記事の検索など「使えるホームページ」を目指していきたいと思います。

楽しいコミュニティになるよう、ニフティの「快適MACLIFEフォーラム」ともども、よろしくお願いします。

MAIL BOX



6月号「インテリア特集」

インテリアガイドの風水を読んで、宝くじを当てるべく、金運のつくというインテリアに近づけ、ジャンボ宝くじを買った。100円玉9個増えたのを喜ぶべきか、元手で何かソフトを買った方がよかったか？ とにかく、急ごしらえの、占い対策では無理だったか!?1億使ってもまだ2億！は夢だった！ ザンネン……（神奈川県 髙田政幸 44歳 Performa 6210）

*

6月号のインテリア特集はおもしろかった。パソコン誌というと、新型がどうだとか、ソフトはこうだとかいうことが中心で、スペックが第一といった記事がほとんどですが、パソコンを実際に使う立場になれば、その環境もとても大切です。そんな使用者の心のすき間をついた特集は、すごく参考になるし、こんなインテリアが部屋にあったらいいなーなどと雑誌を読みながら、現実にはキタナーイ周囲を見て、ボーゼンとなる私でした。（岐阜県 サンダイバー 33歳 Power Mac 8500）

*

少し遅いですが、MACLIFE 6月号の特集「ワンランク上を演出するMacインテリアガイド」にDr.コパが登場したのはとてもよかったです。うちの奥さんがちょっと凝ってまして、実をいうと僕も隠れDr.コパファンなんですよ。西に黄色を置いたり、東に赤いダルマ置いたりで金運がこないかななどと思ってます。今年の僕のラッキーカラーは黒、ラッキーアイテムはパソコンだそうです。これはPowerBook G3シリーズしかありません。そうゆうわけで、PowerBook G3 233/12"と233/14"の両方を使用しています。233/12"はDSTNでバックサイドキャッシュなしというG3シリーズのはみ出し者です。でも使ってみるとなかなか味があります。何でもできる233/14"に比べ「えっ、これでPowerBook G3なの？」といわれてしまいそうな所がかわいいです。部屋のインテリアもこの２台に合わせて、黒を基調としたシックなものに変えました。でも部屋のインテリアまで変えさせる気を起こさせるのは、Power Book G3の優れたデザイン性やその大きさが関係していると思います。薄くて軽い物には存在感がないですよね。携帯性だけを考えた四角いノートにはあまり魅力を感じていません。いたずらに性能の比較やマシンの解説に走らず、こういった特集を組む貴誌の編集方針も気に入ってます。Macユーザーお気に入りの雑誌づくりを期待しています。（愛知県知立市 加藤元康 PowerBook G3 233/12"、233/14"、iMac、PowerMac 4400/200 Performa 6410）

一般ユーザー向けの企画を

最近MACLIFEを読んで思うのですがPhotoshopがどうこう、AcrobatのPDFがどうこうと、プロ向け（？）の記事が多かったような気がします。私のような自宅で趣味でMacをいじるものにとってはいまいちつまらない記事でした。まぁ、Mac自体がDTP関係に人気があるので、そのような記事が出てくることは否めないのですが、一般ユーザーにとってはどうでしょうか。それよりももっと身近なソフトの特集があるとうれしいです。今流行のMP3とか、オンラインソフトの特集とか。話は変わりますが7月号は誌面が充実しているような気がします。Mac OS特集は読んでいて面白かったです。やはり、プロも一般もOSには興味ありますからね。あと、これからはもうCD-ROMにLINUX用のソフトは付かないのでしょうか。前にアップデーターが付いたときにはすごくうれしかったです。ダイヤル接続で落としてくるには気が引けていたものですから。できれば、GNOMEの最近のバイナリーが付録で付いてくると大変うれしいのですが。たまに他の雑誌に付いていますが、インテル用なので涙をのんでいます。やはり期待できるのはMACLIFEかと。（石川県 川邊 讓 29歳 LC575、iMac）

6月号「Photoshopの科學」

6月号の「Photoshopの科學」は、すごくためになりました。今までカラー設定には謎が多く、正しい設定方法がはっきりしないまま使っていましたが、今回自分の設定を見て間違っていたことに気づきました。設定を変えてからはイメージに近い色が出せるようになり、助かりました。（京都府 岩田雅喜 20歳 akia MicroBookPower 604e/250DP、Power Book G3 233/14"）

*

6月号の「Photoshopの科學」、とても勉強になりました。私は、印刷会社で「分解」という仕事をしています。スキャニングとPhotoshopを使っての画像処理が毎日の仕事です。この仕事を担当するようになってから3年以上になりますが、毎日毎日が勉強です。失敗をくり返しくり返し、そして「本日の仕事も完璧100%」の気持ちでやっていますが、結果が思い通りにならないこともよくあります。Photoshopの本などもたくさん出ていますが、MACLIFEの今回の記事はとてもわかりやすく、読む気が出てくるものでした。これからも期待しています。（山形県 とまと 36歳 Power Mac 8115/110）

7月号「バイヤーズガイド」

そろそろボーナスの時期も近づき、「バイヤーズガイド」の特集は役に立ちそうです。Apple Storeでの価格提示と流通の改善のおかげなのかショップ間の価格差があまりなくなったようで、買い物自体の時間は大幅に短縮できそうですね。しかし、もう半年ほどで処理能力が数倍のG4が登場する、というWWDCの記事が同じ号に掲載されているのを見ると、「もう少し待つか…」という気もしてしまい、買い物以前の段階で大いに迷っています。とりあえずは久々に「把手がつく」という噂の台湾産コンシューマーポータブルを見てからにしようなど、いろいろ理由をつけて決心を先送りしている昨今です。（静岡県 大脇和彦 35歳 Daystar GenesisLT400+、PowerBook550c、PPC603-117、PowerMac Q950、Macintosh Portable）

*

バイヤーズガイドについて、ショップが東京のみであり、不愉快です。取材時間の問題なのかもしれませんが、「ガイド」であ

MAIL BOX

るのなら全国の読者層へ向けた記事であって欲しいと思うのです。地方でMacを積極的に販売しているにもかかわらず、iMacの販売ができないという苦汁を飲まされているショップの存在、忘れていませんか。また、「目的別お薦めセット」ってかなり無理があるのでは。まるで、「おやじ系週刊誌」に出ていそうな紹介の仕方に、読んでいて恥ずかしくなりました。（兵庫県　佐野達哉　30歳　Power Mac 7600/132、LC 630、LC 575、SE/30）

98年の夏と冬のボーナスシーズンには、全国のショップを掲載しましたが、自分のエリアが載っていてうれしいというお便りをいただく一方で、関係のないエリアの情報でページを取るのはどうか？　というお便りもありました。そこで今回はお店自体の紹介は最小限に抑え、ホームページの利用法や中古市場の利用法など、ショップ情報以外の情報に焦点をあててみました。

「BREAK SHOT !」

「BREAK SHOT !」いいですねぇ。特に7月号の姉歯さんのエッセイはその通りだと思います。私のメインは68040/33MHzに、OS 7.5.5です。フロッピーもDOSでフォーマットできるし、デスクトップもアイコンも、Windows機と全然違うことがどれほど優れていたかを物語っています。大切なことはウィンドウの中身が見やすいこと。何のためにアップルを選んだのかよく考えてください。立体的なアイコンも、目がちかちかする白／紺反転のプルダウンメニューも、メモリーもハードディスクも大量に必要なMac OS 8以降は、シンプルで美しいGUIを捨て、マイクロソフトそっくりな派手さをユーザーに押しつけています。なぜ、アピアランスで「OS 7」モードがないのか不思議です。ハードウェアの選択もままならず、Windows機のほうが、どれがほしいか迷う楽しみを与えてくれます。（東京都　田中明　41歳　Plus～Power Mac 8100/80AV）

2冊買ってしまった

定価が1,000円以下になってから非常に購入しやすくなりました。7月号はうっかり2冊購入しました。1冊目は、特集記事の情報を早く見たくて購入しました。2冊目は、書店で他誌を立ち読みしていた時に、MACLIFEが目に入り「パブロフの犬」のようにレジで2冊目を購入しておりました。特にP.196～199の河野さんのプロトコルとセキュリティに関する記事は必要な情報です。基幹系のデータをWebで外部にレポートする場合に、TCP/IPのみでEWS、Windows NT、Macを構成したときよりも、Apple Talkを介して、基幹系とWebを接続すれば、セキュリティのために「Bugのあるファイアウォール」が不必要になります。今後ともUNIX、Windows NT、Macが共存しながら、Macでなければ不可能な機能、利点を連載いただければうれしいです。河野さん、がんばってください。

次にAdobe Acrobat 4.0には失望しました（Microsoft Office 2000にMac版と互換性がないというニュースがありましたが……）。Mac版とWindows版であんなに機能差があるなんて。これからは、Windows版とMac版を併用しないと仕事になりません（と思うのは私だけでしょうか？）。（東京都　motofumi@　41歳　LC 475、IIci、Duo 2300c、Performa 5420+G3カード）

アドビ社はできだけ早くMac版の機能をWindows版と同等にしたいといっていますので、期待したいところです。

LIFE COLLECTIONのLOMO

6月号LIFE COLLECTIONのLOMO紹介記事は私にとってとてもタイムリーだった。というのもこの記事を読む数日前にオランダから一時帰国した知人にLOMOの実物を見せられたばかりだったのだ。「誰が撮っても、うまくうつらない」という、最近のカメラにはない個性が魅力的に感じられた。当然この時に撮ったものも失敗していた（笑）。しかし楽しく失敗してみたいという気を起こさせるカメラである。機能一点張りではない何かを感じさせてくれるものは心がなごむものだ。まるでMacみたいである。（東京都　小田辰夫　46歳　Power Mac 7300/180）

*

LIFE COLLECTIONは、なぜだか心惹かれる愛嬌のあるものばかりが取り上げられていて、とても楽しみにしています。最近、流行っているとなると、こぞってどこでも取り上げるので、今回のLOMOのように、どこにでもありそうだけど、他にはない遊び心があって、しかもあまり人が持っていないようなものをこれからも取り上げてほしいと思います。（北海道　飯村周音　23歳　iMac、Performa 5220）

LEGO MindStorms

LEGOのMindStormsを購入したくて、いろいろと調べていたところ、PowerBook Diaryで紹介されていたので興味深く読ませていただきました。今のところG3が買えないので、603e 240MHzでVirtual PCを動かして使いものになるのか疑問のため、悩んでいます。この際、Windowsマシンを買ってしまうか、がんばってMacを購入するか。（埼玉県　漢人哲夫　43歳　Mac II ciほか）

今月号からMindStormsの連載が始まりました。これはMacユーザーにこそ使ってもらいたい玩具ですので、是非、Macの購入をお薦めします。

CD-ROMの番号

CD-ROMで、新作に赤ラベルを貼ってあるのはすばらしいアイデアだと思いました。私の場合は新作とバージョンアップしか用がありませんので、この2つをわかりやすくしてほしいです。あと、CD-ROMのシリアル番号が50を超えたあたりで、100番台に飛んでしまいましたが、何か理由があるのでしょうか？（京都府　安沢秀哉　32歳　Power Mac 9500/120）

以前のシリアル番号は、CD-ROMの番号と本誌の番号がずれており、どの号の付録かが、わかりにくかったので、本誌の連番に合わせて変更いたしました。

MAIL BOX

PCカードスロットは大丈夫

お気に入りのPowerBookのPCカードスロットが壊れて、現在クイックガレージに入院中です。私がクイックガレージに行った時には、同じような症状のPowerBookが3台も修理に来ていました。PCカードスロットの上の段にカードを入れてもはき出されてしまう、というのが共通した症状のようでした。ロジックボードを変えてもPCカードユニットを交換しても結局直らず、入院ということになってしまいましたが、何が原因なんでしょう？　次のPowerBookは、PCカードスロットが１つしかなくて、おまけに手動で排出するみたいなので、今までのよりは丈夫なんでしょうか？　値段によっては、物欲に負けてしまいそうです。（神奈川県　匿名希望　31歳　Power Mac 8500/120（改造8500/200）、PowerBook G3 233/13）

買いました!

買いました！　B＆W G3！　長年連れ添ったPerforma 6210のCDが止まり、ハードディスクも不調、フロッピードライブも不調、そしてついにウンともスンともいわなくなり、仕方なく……。本当はウキウキと買い換えたのですが、イヤー速い！　それに知らない間に300MHzから350MHzにクロックアップされていたのですね。OSもなんと8.6に。スクロールなんて、最近近視の上に老眼が入ってきた私にはとてもついていけない。まるで動体視力検査ですな。各種ソフトをインストールし直したのですが、以前の5分の1で済んでしまいました。いったい今まで私は何をしていたのかと思わず考えさせられました。そこで質問。Fキーの使い方を教えてください。お願いします。（奈良県　マックな父さん　49歳　Power Mac G3 350）

*

PowerBook 1400csの液晶が死にました。アップルケアにも入っていない身としては，液晶の交換よりも，新しいPowerBook G3 “Java” に買い換えることにしました。PowerBook 1400には，G3化してももどかしい動作速度を差し引いても，ブックカバーや打ちやすいキーボードなどの利点があったので，もっと長く使い込む気でそれなりの投資もしてきたのですが。いまさら約10万円の投資をするよりも，ひと思いに買い換える道を選びました。PowerBook 1400には，経費の一部として下取りに出てもらいました。ゴメンナサイ。通販で予約して，結局1ヶ月待たされましたが，待っただけの価値のあるマシンでした。このPowerBookのない間にたまった仕事を，こなしていくのも楽しい今日この頃です。（岡山県　安田朋則　35歳　Power Mac 7600+MaxPower604e/233、PowerBook G3/333）

夫婦の危機!

iMacライムと同時に購入したアクアゾーン（アロワナキット）にすっかりはまってしまっています。「アロワナかっこいい。」と思って飼い始めましたが，餌としてついてくるメダカの世話に追われる毎日です。それまでいつも朝は，起こされても起きなかったのに6時30分には起床し，水換えやら魚たちの健康度のチェックを欠かしていません。夜は夜で仕事から帰ればまた，水槽のチェックして、アクアゾーンのデジ金（デジタル金魚）ライフに肩まで「どっぷり」という感じです。そんな私に妻が一言「今度生まれてくるときは，デジタルの金魚に生まれてきたい」とポツリといいました。なんか今後の夫婦関係がヤバそうな6月の午後でした。

秋葉原で見たアクアゾーンアロワナのデモは、餓死したまま水槽に沈んでいるアロワナがいました。デモがあんなじゃ売れないのでは。店員の皆さん忙しいんでしょうけどデモの世話もしてやってください。（茨城県　水府浪人　33歳　Power Mac 588、PowerBook 5300cs、Power Mac 5430、iMac 333）

英語でゲームしよう

最近、インターネットで海外版のゲームを買いあさっている。Carmageddon 2、Falcon 4、Railroad Tycoon 2などなど。昔懐かしいゲームが破格値だったりすると、ついつい買ってしまう。まあ、英語ですからアドベンチャー系は読めない人はだめでしょうけど、Legacy of Timeなどはすばらしいので、どんどんやってほしいものです。学校の英語をしっかりやっていれば、ゲームも楽しいよ。by 英語教師でした。（広島県　小野靖弘　28歳　Pulsar G3/266、PowerBook G3 250/13）

10年前のMACLIFE

先日部屋の整理をしていると昔のMACLIFEが出てきましたので、10年前のものと今月号を比べてみました。No.11で、まだ隔月刊の頃のMACLIFEで「Bug News別冊」なんて書いてあります。内容はあのLaserWriter II NTX-Jが出たばかりで「プリンタ選びの基準」というのが特集になっていました。ちなみにこの中にも出ているキヤノンのBJ-130Aというインクジェットプリンターは私が最初に買ったプリンターで、今でも一応現役で使用しています。それにしても時の流れは早くて、後の広告ではSE（SE/30ではない！）が60万円以上で売られていて、今ではこの金額で新G3 450MHzが楽に買えます。でも、MACLIFEは、今月号も10年前もThe Macintosh Life Style Magazineのコンセプトどおりに、スタイリッシュなところはまったく変わらずに古さを感じさせないのはさすがです。（福岡県　伊藤裕司　42歳　Power Mac 6100、II si、Performa 5430、PowerBook 100）

建築関連ホームページ

初めまして。この度、建築にたずさわる方のためのホームページを作成したので紹介させていただきたいと思います。ホームページでは主にソフトを紹介しています。営業支援ソフト、不動産情報管理ソフト、見積書作成ソフト、建築の実行予算管理ソフト、建築意思決定支援ソフ



トなど、フリーからシェアウエアまでの7種類があり、業務用からこれから御自分の家をたてる方の為のソフトまで色々です。詳しくはホームページを御覧ください。アドレスは、http://www.interq.or.jp/japan/gund/ です。（西村　寛）

宮城Macユーザー会

以前より、Macユーザー会（宮城）を主催しています。本年2月号のMacユーザーグループの特集を見て発奮、再び開始したのですが、人が集まりません。宮城のMacユーザーは7月17日に青葉体育館に集まれ！　是非MACLIFEに載せてください。くわしくは http://www.ne.jp/asahi/hobbit13/programming/ まで。メールはhobbit13@mac.email.ne.jp まで。今後とも奇数月に例会を開催予定ですので、メールでの問い合わせ待ってます。（宮城県　ほびっと13　42歳 Power Mac G3 DT 300ほか）

「From a new world～世界のファインダーから～」

Reporter 大募集！

「From A New World～世界のファインダーから～」では、誌面に登場してくださる海外在住のMacユーザーを募集中。現地のMac事情やインターネット事情、ハヤリものや日本とはちょっと違う海外の常識などを聞かせてください。

また、お友達の紹介も大歓迎です。あなたのMac仲間で海外に住んでいる方はいませんか？自薦他薦は問いません、ふるってご応募ください。

☆応募要項

住所、氏名、年齢、職業、電話番号、E-mailアドレスを明記し「世界のファインダーから」募集係までお便りください。お友達の紹介の場合は上記の項目のほか、ご紹介いただく方の氏名と連絡先（E-mailアドレスまたは電話、ファックス番号）に海外在住歴をお書き添えください。

宛先：〒102　東京都千代田区九段南2-7-6
(株)エクシードプレス
MACLIFE編集部
「世界のファインダーから」
募集係

また、E-mailでもご応募できます。その場合は、
maclife@bnn.co.jp
までお願いします。

PRESENT

●「MACLIFE」No.130/6月号
当選者発表（敬称略）

NASCAR PINBALL「3ウルトラナスカー ピンボール」とケーブルネット埼玉キャラクターぬいぐるみ2名
千葉県　足立民男
静岡県　日下部稔

フォト満タン1　1名
京都府　平井浩政

フォト満タン2　1名
福島県　金田庄一郎

フォト満タン3「こども」　1名
東京都　戸壽健太郎

VEJ-Delta Ver.2.5 for MkLinux/LinuxPPC　1名
鳥取県　山本俊博

Linux for PPC Japanese Edition 1.0 スタンダード版　5名
京都府　湯免真澄
兵庫県　金谷絢香
岡山県　向井　一
福岡県　真田千夏
沖縄県　當銘秀和

「garage」マウスパッド　1名
大阪府　日野真志

クォリティモーション”ビデオビルダ Mac　1名
山形県　三輪勝義

ニコン大図鑑　1名
大分県　丸岡伸比古

（No.130/6月号 P.137　読者プレゼントの9番「ニコン大図鑑」の当選数が「★名」と表記されていましたが，「1名」の誤りです。関係各位にご迷惑をおかけしましたことをお詫びいたします）

前号の訂正

MACLIFE No.129／5月号において以下のような誤りがございました。訂正してお詫びいたします。

▼P.65の特集「夏だ、ボーナスだ、Macを買おう！」の記事中、「新型PowerBook G3の2機種、新型PowerBook G3 450MHzは、6月中旬発売予定。」は、「新型PowerBook G3の2機種、新型PowerMac G3 450MHzは、6月中旬発売予定。」の誤りでした。

▼付録CD-ROMに収録したMacromedia Flash 4デモのプロジェクタのNEWSボタンをクリックすると、ブラウザーが起動し、ホームページ上のFlashデータを表示するはずですが、IE4.5では表示せずにFlashファイルをダウンロードしてしまう瑕疵が発見されました。これはFlashのβ版のバグで、Netscapeで、Flash3プラグインが入っていれば問題ありません。IE 4.5での対処方法は、ブラウザーに表示されるURLの末尾の「.swf」を手動で「.html」にすることです。

関係各位にご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。

『MACLIFE』次号予告

速報 コンシューマーポータブル、ついに発表!?

MACWORLD Expo/NewYork'99完全レポート

今月号が発売される直後の7月21日には、NewYorkでMACWORLD Expoが開催される。はたして「コンシューマーポータブル」は本当に発表されるのか？　そしてそれはどんなデザインなのか？　全世界のMacユーザー注目のなか、アップル社iCEOスティーブ・ジョブスがステージに上がる……。

特集 Macはどのように使われているのか？

Mac in the Scene 今、そこにあるMacintosh

ブルー＆ホワイトのG3もようやく定着してきたようだが、実際どのような人がどのような用途に使っているのだろう？　また、iMacやMac OS X Serverはビジネスの現場で有効に活用されているのだろうか？　Macが導入されているさまざまな現場を取材し、Macの“今”をレポートする。

特集 最新Macで、古い周辺機器を使う

オールド周辺機器「再」活用

あなたの回りに古い周辺機器は眠ってないだろうか？　そのまま捨ててしまうのは資源の無駄。なんとか再活用できないだろうか？　資源リサイクル時代のオールド周辺機器活用法を紹介する。

➡集中レポート

最新フライトシミュレーター大全
Kai's Power Tools研究

9月号は8月18日(水)発売，定価は980円です。

◆掲載記事は予告なく変更することがあります。

予約は，(株)ビー・エヌ・エヌ　販売部　TEL.03-3238-1622

MAC LIFE

編集後記

●今月から始まったMindStormsの連載。画面のなかだけで遊ぶのではなく、現実のモノを組み立てて遊べるところがすばらしい。12歳以上99歳までのMac使いの子供たちに今一番お薦めの玩具だ。　（とよ）

●ここのところMP3の話題が雑誌を賑わしている。新し物好きの私としては、すぐに買いたいところだ。そのうち、ミニコンポから直接データの取り込みができるようになると、便利だろうな〜。　（タカアキ）

●一足先に観てきましたよ、Episode I。あまり映画で泣かない僕もこの時ばかりは涙ウルウル状態。R2の登場で感涙、ヨーダが出てきて、またまた感涙！ ジャージャーの人形まで買ってしまいました。(KenG)

●久々に衝撃的な芸人に出会った。小さなマリリン・マンソンと思しき奇怪なルックスに、唐突なヴォーギングを交えたシュールなコント。圧倒的な存在感を持つ鳥肌実は、現時点で日本一面白いのでは？（TN）

●自宅のMac（いまだにQuadra800）がへばってきたので、久々に新しいMacを買おうかと考えている。Expo/NYで新型iMacが出るという噂もあるし（本当に？)、今回も様子見で終わるのかな。（いっぺ）

●梅雨になると、極楽寺にはあじさい目当ての観光客がにわかに押し寄せ、活況を呈している。安田記念はエアジハード、おめでとう。森雅裕「いつまでも折にふれて」、ウィリス「リメイク」などを読む。(よた)

●ウインブルドンのTV中継、アンナ・クルニコワの姿に、かつてテニス留学を果たし、将来を嘱望されながらもひじの故障で道を断たれた自分の姿を思い出し、胸が熱くなる。彼女には大きく育ってほしい。(gas)

●うーん、見事に予想がはずれてしまった。でもどうしてPacersはKnicksごときに負けてしまったんだろう。私の予想ミスで大金を失った人はごめんなさい（でも、そんな人は絶対いない）。　（しお）

●ふとしたきっかけで、とある組織を運営している。メンバーは論客揃いで、会話はエスプリの応酬になるので、とってもヘヴィー。「リディキュール」がいっぱいなので、面白いです。ね！次長。　（愛）

●新聞の勧誘員みたいになりたい。どんなに断っても、にこにこしながら「○○新聞とってくださいよ〜」と言える、あの根性には感動すら覚える。ま、僕は絶対に勧誘員に負けないけれど。　（雨）

●モッチー、スエゾーなどのMonster Farmにお喋りFurby、Internetから誕生したDancingBabyは気味が悪いキャラクターだが、自分達で育てた彼等は可愛くなる。My Macを"この子"と呼ぶUserはきっと…。(kuni)

Macware Selection INDEX

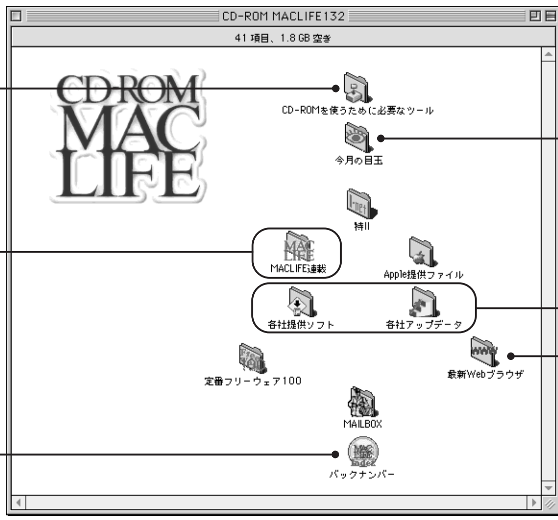
Soft Ware

Hard Ware

G U I D E

CD-ROM MACLIFEの楽しみ方

収録ソフトウェアを使うための準備と楽しみ方



【1】CD-ROM MACLIFEを利用するのに必要な圧縮／伸張ツールなどのソフトウェアが収められている

【2】今月のCD-ROM MACLIFEの注目ソフトに容易にアクセスするためのフォルダー

【3】連載記事に関連したデモ版、サンプルなどのソフトを収録

【4】各メーカーから提供されているソフトウェア、デモ版やアップデーターを収録

【5】前号までのCD-ROM MACLIFEのインデックス

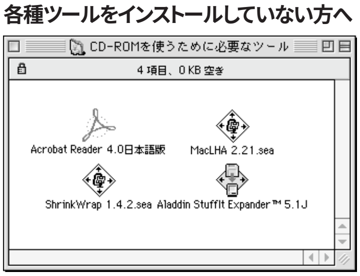
【6】Internet Explorer 4.5とNetscape Communicator 4.5を収録

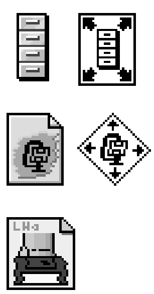
【2】『今月の目玉』フォルダー
注目ソフトに容易にアクセスできる



注目ソフトの収録されたフォルダーのエイリアスが入っているので、ダブルクリックすると、そのソフトの入ったフォルダーが開く

【1】『CD-ROMを使うために必要なツール』
各種ツールをインストールしていない方へ





CD-ROM MACLIFEに収録されているソフトウェアのほとんどは、圧縮／伸張ツールによって圧縮されている。これらの多くはアイコンで見分けることができる。上から順にCompact Pro（図左）、Compact Pro自動伸張（図右）、StuffIt（図左）、StuffIt自動伸張（図右）、LHA。Acrobat ReaderはPDFファイルを見るツール

【3】『MACLIFE連載』フォルダー
本誌と連動した各種ソフトウェアとファイル



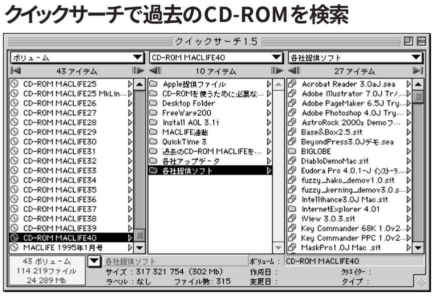
MACLIFEのレギュラーページと連動したフォルダー。記事で紹介したソフトのデモ版、サンプルデータ、フリーウェアなどが収録されている

【4】『各社提供ソフト』フォルダー
各社から提供されたデモ版など



各社からCD-ROM MACLIFE用の提供ソフトや試用版。特打2体験版などが入っている

【5】『バックナンバー』フォルダ
クイックサーチで過去のCD-ROMを検索



クイックサーチデモ版を利用した検索システム。過去のCD-ROM MACLIFEを調べることができる。クイックサーチリーダを起動し、「カタログ」メニューの「カタログを更新」を選択すれば，準備完了。左のウインドウのCD-ROMのナンバーを選択すれば、その号の内容が表示され、「検索」メニューの「データベース内を検索」を選べば、記入した文字列を含んだファイルが何号に収録されたか検索できる

CD-ROM MACLIFEは,『MACLIFE』本誌とリンクした内容をCD-ROMで提供するものである。特集や連載の関連ファイルなど，数多くのデータが収録されている。また、各社提供によるデモ版やアップデーターも収録している。

最初に行なうことは？

CD-ROM MACLIFEの利用にあたっては、Mac OS 7.6.1以降をインストールした、68040／68LC040以上搭載のMac（24MB以上のメモリを搭載）、2倍速以上のCD-ROMドライブが必要になる。推奨する環境としては、インターネットに接続できるPowerPC搭載Macおよび互換機（32MB以上のメモリを搭載）。OSはインターネット系のソフトウェアともっとも親和性が高いMac OS 8.1を推奨している。

CD-ROM MACLIFEをCD-ROMドライブに入れると、自動的にウィンドウが開く。まずは『CD-ROMを使うために必要なツール』フォルダーのなかに入っている圧縮／伸張ツール「StuffIt Expander」と「MacLHA」、ディスクイメージのファイルをマウントする「ShrinkWrap」が収められているので、これをハードディスクにインストールする。

今月号には「StuffIt Expander 5.1J」が収録されている。StuffIt 5.0で圧縮されたファイル圧縮効率がいいため、フリーウェアなどでStuffIt 5.0形式のファイルが増えてきている。StuffIt 5.0形式のファイルはStuffIt Expander 5.0でしか解凍できないので、インストールしておくことをお薦めしたい。StuffIt ExpanderはStuffIt、Compact Proのアーカイブ、BinHex、MacBinaryのデコードに対応している。

CD-ROM MACLIFE今月の目玉

Winning Post 4体験版／Dark Vengeanceデモ版／特打2体験版／Singer Song Writer体験版ほか

Winning Post 4体験版



収録場所：『CD-ROM MACLIFE』→『MACLIFE連載』→『GAME NOW』フォルダー

人気馬主シミュレーション『Winning Post4』のデモバージョン。プレイヤーは馬主となって牝馬を購入し、G1制覇や人気馬を繁殖させて頂点を目指す。『GAME NOW』に収録されている。

Dark Vengeanceデモ版



収録場所：『CD-ROM MACLIFE』→『MACLIFE連載』→『GAME NOW』フォルダー

ファンタジーを舞台にした3Dアクションゲーム。タイプの異なる3人のキャラクターを選ぶことができる。このソフトは『MACLIFE連載』の『GAME NOW』に収録されている。

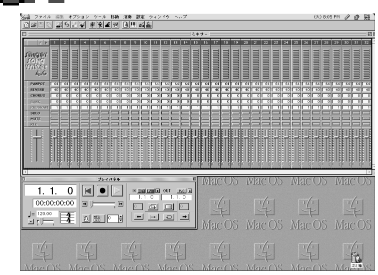
特打2体験版



収録場所：『CD-ROM MACLIFE』→『各社提供ソフト』フォルダー

タッチタイピングをゲーム感覚で楽しみながら身につけられる。今回収録した体験版では長編ゲーム「復讐の旅」と「情け無用のマシンガン特訓」日本語射撃コースを選択できる。

Singer Song Writer 体験版



収録場所：『CD-ROM MACLIFE』→『MACLIFE連載』→『Macware Selection』フォルダー

デスクトップシーケンサー『Singer Song Writer』の体験版が収録されている。ソフトシンセサイザー『VSC88体験版』とMIDIドライバー『OMS2.3.3J』も同フォルダー内に収録した。

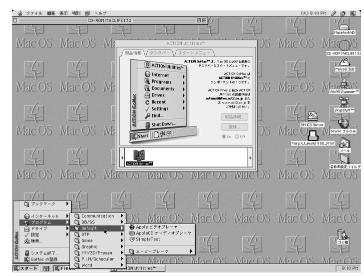
REALbasic 2.0.2日本語版デモ版



収録場所：『CD-ROM MACLIFE』→『MACLIFE連載』フォルダー

MacでVisual Basic並のBasicアプリケーション開発を可能とする期待の開発ツール。本誌連載との連動企画。『MACLIFE連載』フォルダーに収録されている。

ACTION GoMAC 2.0 体験版



収録場所：『CD-ROM MACLIFE』→『MACLIFE連載』→『Macware Selection』フォルダー

Macのデスクトップにwindowsライクなタスクバーを表示させる。ランチャーやカレンダーなど多彩な機能が魅力。『MACLIFE連載』フォルダーの『Macware Selection』に収録。

そのほかの注目ソフト

・iMac Update-J1.1／iMac FireWire Update-J／Appleモデムアップデーター：『Apple提供ファイル』フォルダー
・PostPet ver.2.0jp お試し版『特集II SPICYなインターネット』→『ビギナー編』フォルダー
・RealplayerG2：『特集II SPICYなインターネット』→『ビギナー編』フォルダー
・Secret Safariデモ：『MACLIFE連載』フォルダー→『CD-ROM Review』フォルダー
・Microsoft Internet Explorer 4.5J：『最新Webブラウザー』フォルダー→『Microsoft』フォルダー
・Netscape Communicator 4.5J：『最新Webブラウザー』フォルダー

読者メールの受け付け

MACLIFEでは、読者はがきのかわりに電子メールでもアンケートやプレゼント応募、資料請求、ご意見ご要望を受け付けている。CD-ROM MACLIFEの『MACLIFE連載』フォルダの『MAILBOX』フォルダーのなかにある「読者メール&資料請求テンプレート」をメールの本文にペーストして必要事項を記入し「maclife@bnn.co.jp」宛に送信してほしい。このとき、メールの題名は「readers No.132」としてほしい。応募は1人1通まで。また、一般のご意見、ご要望、投稿などもこのアドレスで受け付けている。Mail Boxに掲載されることもあるので、匿名希望の場合は明記のこと。

また、本CD-ROMに対する質問や要望などは「cd-rom@bnn.co.jp」宛に送ってほしい。

編集部宛のご意見は：

maclife@bnn.co.jp

CD-ROMについてのご意見は：

cd-rom@bnn.co.jp

●動作環境

ハードウェア	68040／68LC040以上搭載のMacintoshおよび互換機。24MB以上の搭載メモリ、2倍速以上のCD-ROMドライブ
OS	Mac OS 7.6.1以上

●推奨環境

ハードウェア	PowerPC搭載Macintoshおよび互換機 32MB以上の搭載メモリ、4倍速以上のCD-ROMドライブ
OS	Mac OS 8.1
その他	インターネットに接続できる環境

「MACLIFE 8月号付録CD-ROM」インストール手順

MACLIFEの付録CD-ROMには、以下のようなソフトの体験版、試用版を収録している。

Winning Post 4体験版

コーエー

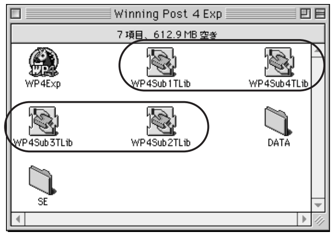
http://www.koei.co.jp/

●Mac OS 7.6以上（要QuickTime2.5J以上）。Mac OS 8対応。
● PowerPCを搭載したPowerMac専用（iMac対応）。推奨環境はG3 233Mhz以上、G3以外は250Mhz以上。

❶「Winnig Post 4体験版」フォルダーの」Winnig Post体験版.sit」アイコンをクリックして解凍する



❷「Winning Post 4 Exp」フォルダ内のWP4Sub1、2、3、4TLibをシステムフォルダーにドラッグ＆ドロップする



「WP4Exp」アイコンをクリックするとソフトが起動する



Dark Vengeance デモ版

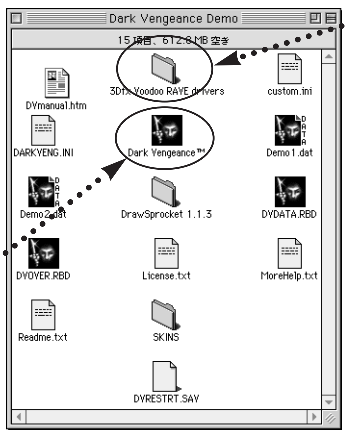
Pacific Software Publishing

http://www.japancentral.com/

■動作環境
最小コンピュータ構成：Mac OS 7.6.1 またはそれ以上/603e PowerPC180MHz、604 PowerPC132MHzまたはそれ以上/32 MB以上のRAM/50MB 以上の空きHDD

❶Game Nowフォルダーの「Dark Vengeance デモ版」フォルダーにある「Dark Vengeance Demo Install」をクリックして解凍する





❷解凍後に「Dark Vengeance」アイコンをクリックする

3Dfx Voodoo RAVE アクセラレーターカードを使用している場合、最新のドライバーに更新することができる



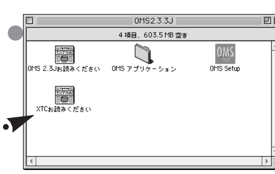
Singer Song Writer 4.0 体験版

ヤマハ

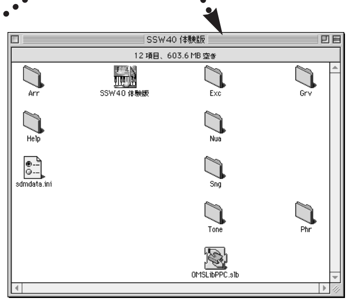
http://www.yamaha.co.jp/

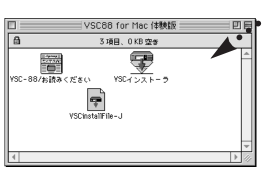
MACLIFE連載内のMacware Selectionにある「Singer Song Writer 4.0体験版」アイコンをクリックしてインストーラーを起動させる。フォルダー内にはソフトシンセサイザー「VSC88体験版」とMIDIドライバー「OMS2.3.3J」も収録されている。



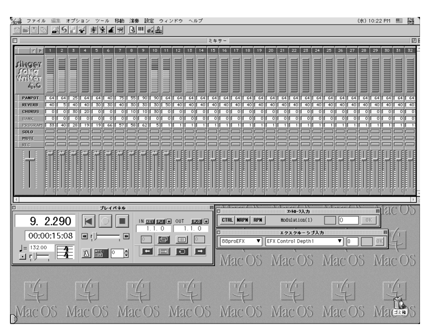


MIDIドライバー「OMS2.3.3J」

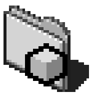




ソフトシンセサイザー「VSC88体験版」



MIDIの信頼性を高めるためにはアプリケーション起動前にAppleTalkをオフにしておく



REALbasic 2.0.2 日本語版デモ版

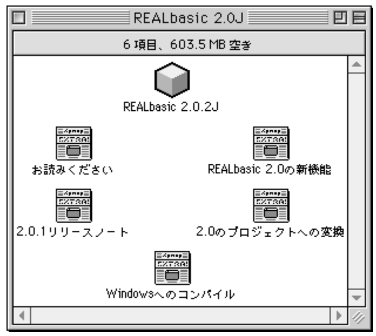
アスキー

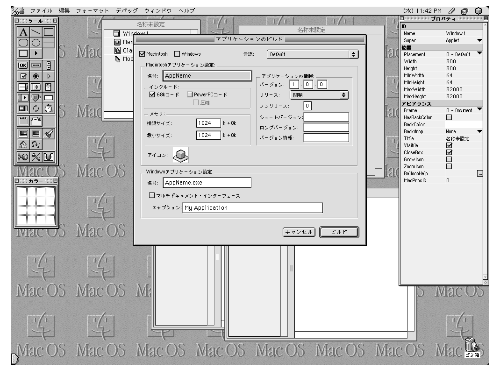
http://www.ascii.co.jp/realbasic/

❶「MACLIFE連載」フォルダー内の「REALbasic 2.0.2J」フォルダーにある「REALbasic 2.0J.sit」アイコンをクリックして解凍する



❷解凍が終了したらフォルダー内の「REALbasic 2.0.2J」アイコンをクリックするとアプリケーションが起動する





■制限事項

・データベースクエリは先頭の50行だけデータを返す

・シリアルナンバーを入力する前に作成した実行形式のアプリケーションは5分間だけ起動し、30日間試用できる機能限定版

1999 **8**

No.132

CD-ROM MACLIFE

Winning Post 4体験版
Dark Vengeance デモ版

Realbasic 2.0.2日本語版デモ版

Microsoft Internet Explorer 4.5J
Netscape Communicator4.5J

定番フリーウェア100

『MACLIFE』連載
Entertainment●各種デモほか
あ★かるいMac道●オリジナルムービー

●動作環境
漢字Talk7.6.1以上（Mac OS 8推奨）
搭載メモリ24MB（推奨32MB）
13インチモニタ以上
32,000色表示
倍速CD-ROMドライブ以上

●万一、CD-ROM MACLIFEが破損していた場合のお問合せ
（株）ビー・エヌ・エヌ販売部
TEL 03-3238-1622
（月〜金曜日の9：30〜17：30）
sales@bnn.co.jp

Macware Selection
●ACTION GoMAC 2.0 体験版／Transmit_15J デモ版／Singer Song Writer 4.0体験版

各社提供ファイル
●特打2体験版／BluePrintTools Pro

各社最新アップデータ多数収録
●アルプス電気（Micro Dry プリンタドライバVer.5.31、CopyStudio 2.11、Micro Dry RIP 2.0.2J アップデータほか）／インタウエア（DV CinemaGear 1.2.1機能拡張 Mac OS 8.6対応版）／ウイニングランソフトウェア（DAVE 2.1p3 Jアップデータ、Expression 1.0.5Jアップデータほか）／システムソフト（「大戦略 for Macintosh」Mac OS 8.5 対応アップデータ）／ピクセラ（PixeColorF100 BJ-F100、PixeColorF200 BJ-F200ほか）／ヤノ電器（SCSI Device Proアップデータ、USB MO 1.0.1アップデータほか）／ヤマハ（RTA50i Rev.3.03.29アップデータ、RTA50i かんたんパソコン設定）ほか

CD-ROM収録
アップデータドライバ・ソフトウェアリスト

収録場所：『CD-ROM MACLIFE』→『各社アップデータ』フォルダ

●ATIテクノロジーズ
ATIユニバーサルインストーラ 3.3
http://www.atitech.co.jp

●アダプテック
PowerDomain 2940U2W
PowerDomain 2940UW v4.1
http://www.adaptec.co.jp/
テクニカルサポート
TEL 03-5992-8230

●アルプス電気
★CopyStudio 2.11
★Micro.DryプリンタドライバVer.5.31
★MD5000プリンタドライバ6.07Updater SCSI
MD5000プリンタドライバ6.1.2 USB
★MD-5000プリンタドライバ6.06/6.13 SCSI/USB
★Micro Dry™ RIP 2.0.2J Updater
Micro Dry(TM) プリンタ スキャナユーザーズマニュアル (Ver2.0以降) for Macintosh
http://www.alps.co.jp/brand/printer
カスタマーサポートセンター
TEL 045-544-8240

●インタウェア
BOOSTER750 機能拡張 1.2.0アップデータ
BOOSTER 64・54 G3用ソフトウェア Mac OS 8.6対応版
BOOSTER PB G3 EXドライバ
★DV CinemaGear 1.2.1機能拡張 Mac OS 8.6対応版
http://www.iijnet.or.jp/Interware/
TEL 03-5411-8010

●インフィニシス
AfterDark 4.5アップデータ
http://www.infinisys.co.jp/
TEL 022-216-4038

●ウイニングラン・ソフトウェア
Ray Dream 3D 1.0.3Jアップデータ
Ray Dream Studio 5.0.3Jアップデータ
http://www.winningrun.co.jp/

●エーアイソフト
WX III for Mac（3.0.X→3.0.5）
http://www.aisoft.co.jp/

●エヌフォー
Newton Language Kit 1.2アップデータ
Resorcerer2.2Jアップデータ
http://www.enfour.co.jp/

●エプソン販売
■スキャナ
EPSON Scan! II Ver.2.1c
GT-7000 TWAIN Rev.3.1a（SCSI）
GT-7000 TWAIN Rev.3.1a（USB）
GT-9500/5500 TWAIN Rev.3.2a
GT-9600 TWAIN Rev.1.5c
ES-8000 TWAIN Pro 1.04
CS-5000N TWAIN Pro 1.0a

■プリンタードライバー
LP-1700/8200/9200/8300/9200S/1700S Ver. 3.5c（EPSON Print!3）
LP-800 EPSON Remote! 1.0
LP-8000C Driver 4.0.1
LP-8600C 1.1a
LP-9300Ver.1.11
LP-9300 /9600/Ver.1.11
MJ-6000C 5.59J
MJ-8000C 5.59J/2.81Js
MJ-810C 2.81Js
MJ-830C 5.59J
MJ-930C 5.1A
PM-2000C 5.59J（iMac）
PM-600C /700C /750C /Ver.5.59J
PM-5000C 5.59J
PM-9000C 5.60J

■デジカメユーティリティ
CP-500/600/700Z EPSON Photo!2 Rev.2.3a
CPS3/CPS4
http://www.i-love-epson.co.jp/
エプソンインフォメーションセンター
TEL 011-222-7931（札幌）、022-214-7624（仙台）、0424-99-7133（東京）、052-202-9531（名古屋）、06-6399-1115（大阪）、082-240-0430（広島）、092-452-3942（福岡）

●エムシーパソコン
HD Mounter
HD Expander
RealPC 1.0.5-J
SoftWindows 95 5.0.5-J
SoftWindows 98 5.0.5-J
http://www.mcpc.co.jp/

●エルゴソフト
EGBRIDGE Ver.10.04アップデータ
EGWORD9.0.1 アップデータ
EGWORD PURE4.0.1 アップデータ
ネットウォーカーVer.1.0.1アップデータ
フォトコレクターVer.1.0.1アップデータ
もぐらたたキー R2アップデータ
http://www.ergo.co.jp/

●沖データ
Microline PS シリーズユーティリティ 2.3
Microline PSIIプリンタドライバ8.3.24
Microline PSIIIプリンタドライバ8.5.2
Microline 7300ユーティリティ2.1.7
Microline 7300PSIIドライバ8.3.2
Microline 620CLドライバ1.10j
Microline 600CLドライバ1.00
Microline 4wドライバ1.10
Microline 400/400CLドライバ1.02
Microline 8wプリンタドライバ
Microline 8c PS3プリンタドライバ
Microline 640CL プリンタドライバ
Microline 12n プリンタドライバ
http://www.okidata.co.jp/

●オリンパス光学工業
FPD_2M インストーラ
TEL 0426-42-7499

●キヤノン販売
■プリンター
BJC-430J V1.0 for iMac
BJC-430J USB接続プリンタドライバ
BJC-455J.Drv V2.10
BJC-465J.Drv V2.10
BJC-5500J.Drv V1.03
★BJF-100 v3.00
★BJF-200 v3.00
★BJF-200 IS Scan v1.11
★BJF-600 v3.00
★BJF-800 v3.00
★BJF-6000 v3.00
★BJF-8500 v3.00
★BJ MacOS8.6対応用モジュール「ColorGear CMM Lite」ドライバ V1.7.2

■スキャナ
IX Scan Plug-In Ver2.6
ScanExpert FS Ver3.0.3
ScanExpert Ver3.0
FB620S Toolbox Extension Ver1.01b1
BJC-430J IS Scan ドライバ Version 1.0
CanoScan 2700F 日本語
CanoScan FB620S 日本語

■デジカメ
ScanExpert Ver3.0
PowerShot350.sea.1
PowerShot 350用 Plug in for Macintosh
http://www.canon-sales.co.jp/
TEL 043-211-9330／03-3455-9544

●クニリサーチインタナショナル
EUDORA PRO 4.0.1Jr1アップデータ
http://www.kuni.co.jp/
TEL 06-6441-0234

●ゲート
Myth II 1.2.1アップデータ
http://www.gate.co.jp/

●コーシングラフィックシステムズ
マスコット++ 1.03 アップデータ
マスコットJr. 1.01 アップデータ
CutiePocket 1.03 アップデータ
★AgentMaker1.2.0 アップデータ
TEL 03-5379-5153

●システムソフト
HDT253J アップデータ
ラムチャージャー8 アップデータ
Speed Doubler 8アップデータ
SpeedCopy8サーバ
SurfExpress 1.5.1Jアップデータ
Virtual PC212J.アップデータ
システムソフト電子辞典2.0.8アップデータ
★大戦略 for Macintosh Mac OS 8.5 対応アップデータ
インフォメーションセンター
TEL 092-752-5264

●シマンテック
Norton AntiVirus 5.0.3アップデータ
NotronUtilities 4.03アップデータ
カスタマーサービスセンター
TEL 03-3476-1156

●終作
六角大王Super1.06アップデータ
TEL 042-920-3243

●亘香通商
★DiskExpress 3.0.2Jアップデータ
★UボートII日本語版2.03→2.5.2アップデータ
★UボートII日本語版2.14→2.5.2アップデータ
★マスタージャグラープロ 2.02アップデータ
TEL 045-320-2711

●ディアイティ
NET-G Driver 3.2.1
(株)ディアイティ
http://www.dit.co.jp/netjoy/
TEL 03-5634-7651

●ディ・ストーム
LightWave 3D 5.5Jアップデータ
(株)ディ・ストーム
http://www.dstorm.co.jp/

●日本ヒューレットパッカード
■インクジェットプリンタ日本語版
DeskWriter Series 6.04
DW 300 Series 5.11
HP DW/DJ 300 Series v6.0.3
DW600 Series 9.4.1
DJ 800 Series 9.4

■インクジェットプリンタ英語版
DeskWriter 500 Series 6.0.4
DW 300 Series 5.11
HP DW/DJ 300 Series v6.0.3
DW 600 Series 9.4.1
DW 800 Series 9.4

■日/英両システム
HP DeskJet USB Driver 1.0.1

■レーザープリンタ
LaserJet 4L インストール
LaserJet 4PJ インストール
LaserJet 4LJ Pro インストール
LaserJet 5L/6L インストール

■スキャナ
SJ4sNewControlPanel
DeskScan II2.4E
HP ScanJet Copy 2.01
カスタマーサポート・センター
TEL 03-3335-8333（東京）
06-6838-1155（大阪）

●ビー・エイチ・エー
★B's Recorder GOLD(PowerPC) 1.0.1アップデータ
★B's Recorder GOLD(USB)1.0.1アップデータ
★B's Recorder GOLD(68K) Ver1.0.1アップデータ
B'sCrew 3.1.1アップデータ
B'sRecorderProTo4.0.9アップデータ
(株)メディアヴィジョン
TEL 03-3263-0566

●ピクセラ
■SCSI用

★PixeColorF100	BJF-100
★PixeColorF200	BJF-200
PixeColor 400J	BJC-400J
PixeColor 420J	BJC-420J
PixeColor 430J	BJC-430J
PixeColor 440J	BJC-440J
PixeColor 465J	BJC-465J
PixeColor 700J	BJC-700J

■USB用

PixeColor 35VII	BJC-35VII
PixeColor 80V	BJC-80V
PixeColor 240J	BJC-240J
PixeColor 420J	BJC-420J
PixeColor 430J	BJC-430J
PixeColor 465J	BJC-465J

■コンパクトフラッシュ
★PX-iM Mounter & PX-iM Utility
ユーザーサポート
TEL 0722-24-7311

●富士写真フイルム
TX-7Monitor/TX-7SGM
FD-A1/FD-A1B(フラッシュパス)用
IF-CL/W3・IF-CL/M3アップデータ
お客様コミュニケーションセンター
TEL 03-3406-62981

●ボイジャー
T-Time 1.1.3-r2アップデータ
TEL 03-5467-7070

●松下寿電子工業
USB Driver1.31
K-RM934UZドライバ1.5
LK-RM934UZドライバ1.5
http://www.pcc.panasonic.co.jp/p3
松山カスタマーサポート
TEL 089－966－5553

●ミノルタ
Dimage Scan Dual
DimageScanSpeed1.0.1J
DimageScanMulti1.1J
RD-175
QuickScan 35 v2.6J
お客様商品相談窓口
TEL 03-5423-7555／06-6271-2641

●メディアヴィジョン
RAM Doubler8.0.1アップデータ
Speed Doubler8アップデータ
Virtual PC2.1.3Jアップデータ
SurfExpress 1.51Jアップデータ
http://www.mvi.co.jp/
TEL 03-3263-0566

●ヤノ電器
★SCSI Device Pro2.3.1アップデータ
★UPS Watcher 1.1アップデータ
★USB MO 1.0.1アップデータ
USB PCRW 1.1.2アップデータ
USB FD 1.2.1アップデータ
カスタマサポート
TEL 078-993-0010

●ヤマハ
★RTA50i Rev.3.03.29アップデータ
★RTA50i かんたんパソコン設定
ネットボランチ・コールセンター
TEL 0120-808384

●ワコム
Wacom Tablet4.2.0J
★Wacom Tablet V2.6.4b3-J
(株)ワコム
TEL 03-5322-3902

★印は今月新たに収録／更新されたソフトウェアです。

CD-ROM MAC LIFE GUIDE

お楽しみ『定番フリーウェア100』

毎月，定番フリーウェアをCD-ROM MACLIFEに100本以上収録！ CD-ROM

★印は、今月アップデートされた／新規に収録したソフトです

監修●花谷育雄

Mac OS 8.5関連

No Alias Badge
1.0.1/Ouzak & Rilla /フリーウェア

●Macのエイリアスに矢印はいらない

Mac OS 8.5でエイリアスを作成したときにできるアイコンに、矢印を付けないように設定できる。矢印に不満があるユーザーにお薦め。

Prestissimo
1.5/PolyMorph Software/フリーウェア

●手軽に使えるカスタマイズツール

ティアオフ（アプリケーションメニューから外す）したときのアプリケーションパレットのカスタマイズなどが行なえる。

QuitProcess
2.0/菅原正明/シェアウェア（800円）

●アプリケーションを手軽に終了

起動中のアプリケーションの一括終了など、起動アプリの操作を可能にする。終了させないアプリの指定などもできる。

★Sherlock Menu
2.0.5J/Public Access Software/シェアウェア（5ドル）

●Sherlockへのショートカットメニュー追加

メニューバーの虫眼鏡アイコンから素早くSherlockを呼び出して検索できるようになる。

Sherlock Purifier
1.1/Guillaume Grenier/フリーウェア

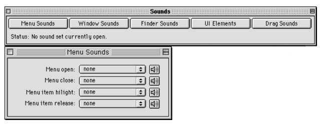
●Sherlock検索結果からバナー広告を削除

バナー広告を自動的に拾ってこないように、Sherlockプラグインを改造する。直感的でシンプルなインターフェイスが特徴。

★SoundSet Constructor
1.0b2/Chris Gervais /フリーウェア

●自分好みのサウンドテーマを作成

メニューやウィンドウなど、各カテゴリーにサウンドファイルを割り当てるだけで、サウンドテーマを作るツール。



Summarize It!
1.1.0/清水友彦/シェアウェア（メール）

●テキスト文書要約支援ツール

任意のテキスト書類に書かれている内容の要約や、フォルダーに保存したテキスト書類の内容を一括して要約する。

へたダサヘルパー
1.0.2/高野琢巳/フリーウェア

●丸漢フォント用ツール

へた字、ださ字などの丸漢フォントをMac OS 8.5上でも使えるようにするためのツール。

iMac

Flying iMac
1.00/HIROMA/フリーウェア

●羽根の生えたiMac大行進

After Darkの名作、「フライング・トースター」のトースターがiMacに。After Dark用のファイルのほか、単体アプリケーション形式もある。

Hide's iMacアイコン
version 5/伊東秀喜/フリーウェア

●iMacのアイコン集

iMac Cursor
—/Bryan Bortz/シェアウェア（5ドル）

●カーソル変更機能拡張書類

通常の矢印ポインタをボンダイブルーの三角ポインターに変更。時計型ポインターもペアカラーでおしゃれに。

iMacFuncKeys
1.3.0/清水友彦/シェアウェア（メール）

●iMacファンクションキー活用ツール

iMacのスケルトンキーボードに配置されているファンクションキーに、便利なアクション機能を追加するツール。

iMacウォッチ
0.9/ひょろ(Tetsuya Uetsuji)/フリーウェア

●現在の時刻をかわいく表示

ボンダイブルーと5色のiMacの外観をしたキューティマスコット製アプリケーション。

iText
1.2/山下道明/フリーウェア

●どうせなら、アプリケーションだっておしゃれに

独特のカラーリングやシンプルデザイン、高処理といったiMacのコンセプトをモチーフに作成されたエディター。

iTrash/iTrash 2
2.01/伊東秀喜/フリーウェア

●iMacにはiMac専用のゴミ箱を

iMac用のゴミ箱を表示する。iMac独特の色使いを踏襲してデザインされている。ゴミ箱ながらかわいらしい。

★Ringo CD Controller
2.2.0-J/Takashi Ourai/フリーウェア

●iMacカラーの音楽CDプレイヤー

リンゴ型のウィンドウにオーディオコントローラーを配置。自分のiMacに合わせたカラーを選択可能。



USB Overdrive
1.1/Alessandro Levi Montalcini/シェアウェア（20ドル）

●汎用のUSBドライバ

USB対応のマウス、ジョイスティック、などのための汎用ドライバー。

圧縮・解凍

Compact Pro
J-1.52/Bill Goodman/シェアウェア（25ドル）

●分割圧縮機能をもった圧縮・解凍ツール

Compact Pro形式（.cpt）の圧縮・解凍、BinHex形式（.hqx）のエンコード／デコードができる。

Decoder
1.3.7/Harmony Software/シェアウェア（10ドル）

●uuencode／Base64形式のデコーダ

uuencodeとBase64の両形式に対応した高速解凍ツール。ファイルの拡張子とファイルタイプの関連づけは任意に設定できる。

DropBinHex
1.6.1/清水友彦/シェアウェア（メールウェア）

●BinHex形式変換ツール

ファイルだけでなくフォルダー単位でも、BinHex形式に変換／復元できる。

Aladdin DropStuff
5.1.2J/Aladdin Systems/シェアウェア（3,900円または30ドル）

●ドラッグ＆ドロップで圧縮

ドラッグ＆ドロップでStuffIt形式に圧縮する「DropStuff」の新バージョン。Unicodeに対応したほか、圧縮率を緩めそのぶん高速な圧縮を行なうこともできる。また、StuffIt Expanderで解凍／デコードできるファイルの種類が拡張され、解凍も高速化される。

LHA Expander
1.0.8/関野雅則/フリーウェア

●LHAファイルの解凍ツール

ドラッグ＆ドロップによって、LHAで作成された書庫ファイルを解凍するツール。

LSAssistPack
2.0.4/小林貴博/フリーウェア

●ファイルを自動判別し解凍する

ドラッグ＆ドロップされたファイルを判別し、適切なアプリケーションを起動して解凍する便利ツール。

MacGzip
1.1.2/SPDsoft/フリーウェア

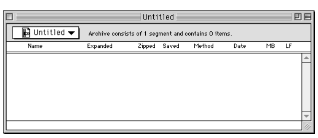
●UNIX環境で多用されるgzip対応

「gzip形式」はUNIX環境では標準的に利用されているフォーマットなので、UNIX環境にファイルを圧縮して移動する必要がある場合はインストールしておきたい。

MacLHA
2.22/石崎一明/フリーウェア
●DOS環境で一般的なLHAのMac版
「LHA形式(.lzh)」は、PC-9801がパソコンの主流だった時代のMS-DOS環境では、標準的な地位を占めていた純国産圧縮フォーマット。このLHA形式をMacで扱うためのソフト。

StuffIt Expander
5.1.2J/Aladdin Systems/フリーウェア
●定番解凍ツール
Macで一般的なStuffIt形式、BinHex形式、CompactPro形式ファイルを、ドラッグ&ドロップで解凍できる定番ツール。「DropStuff」を入れておけばなお便利。StuffIt 5.0形式のファイルは、Staffit Expander5.1以前のバージョンでは、解凍できないので注意が必要だ。

ZipIt
1.3.8/Tom Brown/シェアウェア(15ドル)
●zipファイル対応の圧縮ツール
Windows環境で一般的なzipフォーマットを扱う圧縮/解凍ツール。未登録バージョンでは機能制限がある。Windowsユーザーとのデータのやり取りには必携。



システム

★BeHierarchic 4.0J
4.0J/Fabien OCTAVE、佐久間由夫/シェアウェア(10ドル)
●フォルダ階層表示ツール
Appleメニュー内のフォルダーなどを階層表示させるツール。サブメニューにもアイコン表示が可能。Mac OS 8.5との相性については、4.0で解消された。

★CopyPaste
4.3.2J/Script Software International/シェアウェア(20ドル)
●コピー&ペースト機能を拡大
最大10項目を記憶できるコピー&ペースト機能を強化させるツール。



Default Folder
J-3.0.2/St. Clair Software/シェアウェア(25ドル)
●ファイルダイアログボックス機能を拡張できる
ファイルダイアログボックス機能を拡張する、Mac OS 8.6に対応したコントロールパネルの最新版。

MacProby
3.4.0/清水友彦/シェアウェア(1,500円)
●Macの情報表示ユーティリティ
使用中のMacのハード、ソフトに関する16種類の情報や、エラー時にPRAM情報などを表示する。

Memory Mapper
1.5/R. Fronabarger/フリーウェア
●メモリマップを表示するツール
起動中のアプリケーションのメモリー占有状況や、空き情報をグラフィカルに表示し、仮想メモリーにも対応。

NetChronometer
1.3.1/Jeremy Kezer/シェアウェア(7ドル)
●時計合わせツール
インターネット上にある標準時計サーバーを使って、Macの内蔵時計を修正するツール。

ProgramSwitcher
4.5.3J/Michael F. Kamprath/シェアウェア(10ドル)
●アプリケーションの切り換えが簡単
Option+タブ(TAB)キーでアプリケーションの切り換えを可能にするコントロールパネル。

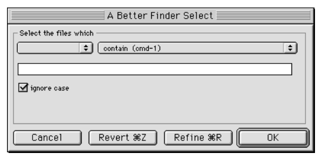
★Snapz Pro²
2.0.1/Ambrosia Software/シェアウェア(40ドル)
●定番キャプチャツール
画面キャプチャーツールの定番。画面全体のほか、ウィンドウだけ、プルダウンメニューだけ、任意の矩形領域を選択することができる。また、画面の動きを音つきでQuickTimeムービーに記録することもできる。

Symbionts
2.8.2/Kevin Hardman/シェアウェア(20ドル)
●高性能な機能拡張マネージャー
機能拡張だけでなく、コントロールパネル/フォント/起動項目/システム終了項目/コントロールバー/アップルメニューをそれぞれオン/オフできる機能拡張マネージャー。OSに標準の機能拡張マネージャよりも高機能でオススメだ。

TechTool
1.1.8/MicroMat Computer Systems/フリーウェア
●ハードも含めた検知も可能
システムフォルダの損傷の検知やデスクトップファイルの再構築、PRAMのクリアなどが行なえるユーティリティ。ハードウェアやシステムの情報も表示できる。なお、このソフトの商品版が「TechTool Pro」。

コンテクストメニュー

★A Better Finder Select
1.7/PublicSpace/シェアウェア(10ドル)
●選択範囲を絞り込んでファイル検索
選択したファイル、フォルダ内のなかから条件に合ったファイルだけを検索できる。



FinderPop
1.8.0J/Turly O'cconer/フリーウェア
●片手でコンテクストメニューを表示
マウスをクリックするだけでコンテクストメニューを表示する定番ツール。一度使うと手放せない。

★More File Info CMM
2.4 J/伊東秀喜/シェアウェア(10ドル)
●もっと詳しいファイル情報を表示する
タイプ/クリエーターやリソースフォークなど、「情報を見る」だけでは表示されない、より詳細な情報を表示する。

MovieUtilities CMM
1.4/Riccisoft and Alessandro Levi Montalcini/シェアウェア(15ドル)
●ムービーファイルの表示と変換
QuickTimeの機能を利用してムービーを再生するほか、音声を別形式に変換して保存するなど多彩な機能をもつ。

PowerMenu
2.2.3J/Mark Aiken/シェアウェア(1,700円)
●よりパワフルなコンテクストメニューを!
Mac OS 7にもコンテクストメニューを追加するなど、よりパワフルに各種機能を追加してくれる。

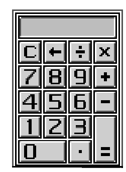
★StuffCM
2.5.2J/David Catmull/シェアウェア(1,200円)
●StuffItの機能をすべて実現
「Stuff Engine」と一緒に使用するプラグインソフト。StuffItを利用してファイルの圧縮や解凍、BinHex変換など、StuffItのほとんどの作業を直接指定できる。

Swift
1.3.1/山崎俊昭/フリーウェア
●画像、ムービーを再生
画像やムービーを表示する。また、画像をデスクトップピクチャーに指定するといった機能もある。

モアイの技
1.0b5/上田唯志/フリーウェア
●ファイルの情報を閲覧、変更
選択したファイルの拡張子を見て、対応アプリケーションを表示してくれる。また、クリエーター、タイプ変更などが手軽に行なえる。

コントロールバー項目

★CalcStrip
1.4.2/kykz's Software/シェアウェア(5ドル/500円)
●9桁までの四則演算ができる計算機
数値や計算マクロのペーストと計算結果のコピーが可能な、小さな計算機。Mac OS 8.5に対応。



Control Panels Strip
3.3/Ammon Skidmore/フリーウェア
●コントロールパネル書類を実行
コントロールパネル書類をコントロールバーから直接起動させるためのモジュール。

Control PPP Strip
2.0.5J/SailMaker Software/シェアウェア(10ドル)
●PPP接続の状況の表示
時間経過、積算時間の表示や、PPP、TCP/IPの呼び出し、接続と切断を可能にする。PPP接続のヘルパーとして最適。Mac OS 8.5に対応。

Extensions Strip
J-1.9.3/Ammon Skidmore/シェアウェア(15ドル)
●コントロールバー互換ソフト
複数のコントロールバーが表示できる。Control Panels Strip 3.2.2、Process Manager 1.3が付属する。

HandyMan
2.0.5/Bert Wynants/シェアウェア(15ドル)
●Extensions Stripと相性がよいランチャー
縦/横表示に対応しているため、Extensions Stripと相性がよいランチャー。

Jeremy's CS Modules
1.9.6/Jeremy Kezer/シェアウェア（10ドル）
●定番のコントロールバー項目集
13種類の項目からなる定番のコントロールバー項目集。バッテリーや温度計測はとくに人気がある。Mac OS 8.5対応。

Quit CSM（MabaSoft Quit CSM）
1.7.1J/MaBaSoft/シェアウェア（5ドル）
●アプリケーションのメモリ表示と終了
アプリケーションごとの使用メモリサイズの表示、複数のアプリケーションの終了を可能にする。Mac OS 8.5対応。

Pooh's Strip
1.8.1/清水友彦/シェアウェア（500円）
●日本製コントロールバー項目集
日本の祝日などに対応したカレンダーと、作者の得意なインターネット分野の項目が充実している。OS 8.5対応。

StripLaunch
1.2.1/Tobias Peciva/シェアウェア（5ドル）
●コントロールバーランチャー
あらかじめよく使うアプリケーションのエイリアスやファイルを設定しておけば、コントロールバーで手軽に起動できるようになる。

来過
1.6.1/itei（夜久伊亨）/シェアウェア（1,000円）
●多機能カレンダーを表示
スケジュールやイベントの管理が行なえるマンスリー表示のカレンダーで、年単位のスクロールができる。

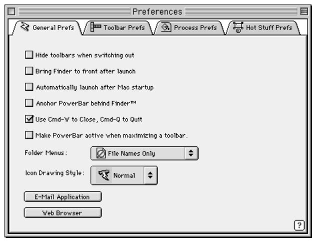
ファイル

DragThing
2.6/James Thomson/シェアウェア（15ドル）
●カスタマイズ可能なファイルランチャー
使用頻度の高いアプリケーションや書類などをパレット状のウィンドウに登録すると、ダブルクリックだけで簡単に起動する。

★FileBuddy
4.3.9J/5.2/SkyTag Software/シェアウェア（35ドル）
●定番ファイルユーティリティ
ファイル変換機能やエイリアス作成機能など、強力な検索機能を備えた定番ユーティリティ。ファイルの名称や属性、テキストファイル中の語句まで検索することができる。

ファイル検索犬ポチ
2.4.1/中谷賢一/シェアウェア（1,000円）
●ファイル検索ユーティリティ
ファイル検索時に入力するキーワードの関係を、「同じ行の中」や「同じ段落内」という具合に指定できる検索ツール。

KzMacsFile
1.7/松本和久/フリーウェア
●Mac-Winファイル変換ツール
ドラッグ＆ドロップでファイル属性の設定／拡張子付加を行ない、相互にダブルクリックで開ける書類にする。



★PowerBar Pro
3.2/Electric Puppy Software/シェアウェア（15ドル）
●階層表示可能なランチャーソフト
「ツールバー」と呼ばれるパレットで、操作するランチャーソフト。

Type/Creator Database
3.1/Ilan Szekely/シェアウェア（15ドル）
※3.3は登録ユーザー限定でDemo版としては3.1が利用可
●ファイルのタイプとクリエーター一覧
約18,000種類のファイルについて、タイプとクリエータ・コードをデータベース化して検索する機能を搭載。

UltraFind
2.5.3/UltraDesign Technology/Steve Linford/シェアウェア（39.95ドル）
●高速多機能なファイル検索
日本語（2バイト文字）にも対応したファイル検索ユーティリティ。とくにファイルの内容で検索する機能に優れている。ドローファイルのなかで使用している文字を指定し、それを含んだファイルを検索することもできる。また、Web上の文字列を検索することもできる。

Yank
3.0.2J/William Modesitt/シェアウェア（1,500円）
●アンインストールツール
選択したアプリケーションと、アプリケーションで作製されたファイルを削除し、不要な初期設定ファイルの整理も行なえるユーティリティ。

ディスク

AutoCat
2.3/Olivier Lebra/シェアウェア（10ドル）
●ゴミ箱内のファイルのカタログを作成
ディスクをゴミ箱にドラッグして取り出すとき、それに含まれているファイルのカタログを自動的に作成してハードディスクに保存するユーティリティ。

Disk Charmer
3.1.4/Fabrizio Oddone/シェアウェア（10ドル）
●HFS+に対応したディスクユーティリティ
フロッピーディスクの高速消去、フォーマット、コピーが可能。DOS、HFS+フォーマットの初期化も可能。

DiskDup+
2.9.2/Roger D. Bates/シェアウェア（25ドル）
●ディスクコピーとイメージファイル作成
HFS+にも対応した、ディスクの複製やディスクイメージの作成を高速に行なうユーティリティ。

DiskFolder
2.5/中原仁/シェアウェア（2,500円）
●ディスク情報を階層フォルダで管理
FINDERのような表示形式でディスク情報を一覧できる。FD、MO、CD-ROM、Zip、PDから、ハードディスクやネットワークボリュームまで含まれている。

★Mt. Everything
1.5.0a5/Horst Pralow/フリーウェア
●SCSIデバイス管理用ユーティリティ
ディスクのマウント／アンマウントなどを強力に実行。

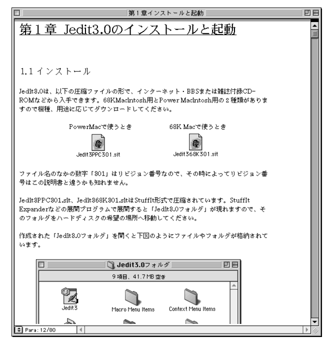


ramBunctious
1.3.1J/Elden Wood & Bob Clark/シェアウェア（1,800円）
●RAMディスク作成ユーティリティ
RAMディスクの速度を向上させ、複数のRマウントやセキュリティ機能も付加させるRAMディスク作製ユーティリティー。

テキスト

★eDOC
2.2.1/Michel Touchot/シェアウェア（25ドル）
●スタンドアロン形式の文書作成
セレクタ機能拡張ファイルがインストールされ、印刷と同手順で任意の書類を誰でも読める文書に書き出す。

★Jedit
3.0（Rev.3.0.2）/（株）まつもと/シェアウェア（2,500円）
●定番テキストエディター
マクロ機能、アップルスクリプトなどに対応した汎用テキストエディター。HTMLエディターとしても使用できる。



KanaKiller
1.6/関信/フリーウェア
●半角カナ文字を自動変換する
Eメール送信時にトラブルになりやすい半角カナ交じりのテキストを、全角カナ交じりに自動変換してくれるユーティリティ。DTPなどでテキストを整形する場合にも便利。

LightWayText
2.1.2/山下道明/シェアウェア（2,500円）
●高機能日本語テキストエディター
ワープロ並みの豊富な機能を備えた日本語テキストエディター。

PowerReplace
6.5/Guoniu Han/シェアウェア（25ドル）
●高機能なテキスト変換ツール
簡単なフィルターを作成して、複数の文字列の検索置換を一度に高速処理する。既存の各種フィルターも便利。

SimpleText Color Menu
3.2J/Alessandro Levi Montalcini/シェアウェア（10ドル）
●SimpleTextに機能追加
SimpleTextに機能を追加するパッチソフト。文字列の検索や色指定のメニューが追加される。

T.Clip
2.4.7r3/国府田正樹/シェアウェア(2,000円)
●テキスト入力補助ユーティリティ
メニューから選択するだけで、文書の途中に記号や特殊文字、日付などのテキストを取り込んでくれる。

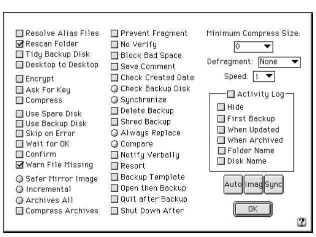
縦変 for Mac(Tatehen for Mac)
1.12/安原啓悦/フリーウェア
●縦書きテキスト変換ツール
横書きのテキストを縦に並べ替えるツール。

TextChain
1.5/仲野隆行/フリーウェア
●テキスト結合ユーティリティ
複数のテキストファイルをドラッグ&ドロップなどでひとつにする。クリエーター設定やヘッダー付加も可能。

YooEdit
1.63/田川 洋一/フリーウェア
●高速起動の日本語テキストエディター
速さと検索機能、キーボードの操作性などに優れ、PICT画像も貼りこめる。Mac OS 8.5対応の開発版も公開中。

セキュリティ&バックアップ

★Drag'nBack
2.9.6/Enterprise Software/シェアウェア(50ドル)
●わかりやすいディレクトリー構造
どの階層にあるファイルでも、ディレクトリー階層がわかるように、ほかのディスクへコピーを作成する。



FolderProtect
3.2/高橋慶一/シェアウェア(1,000円)
●フォルダにパスワードを設定
パスワード設定後もファイルをドロップ・インできるかどうか、2種類のプロテクト方法をサポート。

John's RAM Disk Backup
1.1/John C Rethorst/フリーウェア
●システム終了時にRAMディスクを自動保存
RAMディスクの内容をシステム終了時に自動的にバックアップし、起動時にリストアする。

SwitchBack
2.7.2J/Glendower Software/シェアウェア(3,000円)
●ファイル管理ソフト
2つのフォルダをシンクロさせて、最新のファイルを入れ替えるユーティリティ。

Synchronize!
3.7/Qdea/シェアウェア(29.95ドル)
●直観的で使いやすいバックアップツール
フォルダバックアップ用のユーティリティ。2つのフォルダをシンクロナイズさせる/バックアップをとる、のいずれかの使用方法がある。

Synk
2.5.2/Randall Voth/シェアウェア(10ドル)
●簡単操作のバックアップユーティリティ
各種作業条件の設定後、ボタンをクリックするだけでシンクロナイズ/バックアップが可能。

THE BLOCK
2.1J/Marc Mennigmann/シェアウェア(8ドル)
●セキュリティツール
「パスワードはキーボードからの入力が必要だ」という既成概念を逆利用したプロテクトシステム。通常のキーボードからのパスワード入力後にescキーを使った2ステップ方式。

The MacLocksmith
2.3.0/Yellowsoft/Rocco Moliterno/シェアウェア(15ドル)
●ファイル保護ユーティリティ
起動すると小さなウィンドウが表示され、ここにプロテクトをかけたいファイル/フォルダをドラッグ&ドロップするだけで、簡単にファイル保護ができる。

WormScanner
2.3/James W. Walker/フリーウェア
●ウイルスワクチンソフト
不可視ファイルのAutoStart9805ウイルスを検索し、駆除を行なう。3種類のスキャンモードが選択できる。

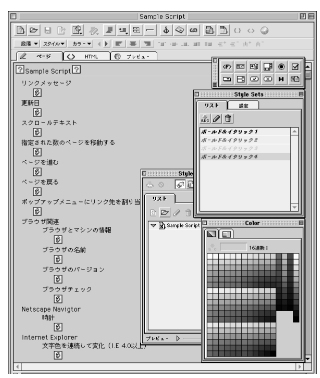
★Y2K Software Audit
1.28/Pedagoguery Software/シェアウェア(38ドル)
●ソフトの2000年問題対応をチェック
インストールしているアプリケーションや機能拡張書類などを、4種類に区分してレポートする。

インターネット

Anarchie Pro
3.5J/Stairways Software/シェアウェア(10ドル)
●検索が可能なFTPクライアント
Anonymous FTPサーバーからのファイルのダウンロードに便利なFTPソフト。ダウンロードしたいファイルの置かれている場所がわかっていない場合でも、archieサーバーや、Stairways Shareware社とAmbrosia社によるMac Searchサーバーにファイル名を問い合わせ、探すことができる。

BetterTelnet
2.0fc1c1/Rolf Braun、日本語化:吉田昭男/フリーウェア
●改良が図られたtelnetクライアント
「NCSA Telnet」をもとにRolf Braun氏が開発している「BetterTelnet」の日本語対応版。Favoriteメニューが独立して設けられているため、メニューから選択するだけで、よく利用するコンピューターに接続可能。

★Digital Site
1.6.2J/日浦勝昭/シェアウェア(2,500円)
●ワープロ感覚のHTMLエディター
HTMLタグや文法の知識は必要なく、WYSIYNGにより仕上がりを確認しながらホームページを作成できる。



Fetch日本語版
3.03J/ハートコンピュータ(株)/シェアウェア(2,500円)
●高機能ファイル転送ソフト
ファイルの拡張子や使いたいプログラムを登録すれば、ファイルタイプとクリエーターを自動的に設定する。日本語版では、漢字コードの自動変換に対応している。対応漢字コードはJIS、シフトJIS、EUC。

FreePPP
2.6.2/Rockstar Studios and the FreePPP Group/フリーウェア
●接続の操作がメニューから行なえる
複数の接続先の情報を管理できるほか、詳細な転送レートのリアルタイム表示ができる。モデムやTAの初期化コマンドはユーザーレベルで入力するので、ATコマンドを使った細かい設定が可能だ。

Internet Config
2.0J/杉垣信義、大橋猛/フリーウェア
●インターネット関連ソフトで設定を共有
多くのソフトで、インターネット関連の設定を共有するためのユーティリティ。メールアドレスや表示フォント、メール/ニュースサーバーの設定、利用するInfo-MacアーカイブやArchieサーバーの選択、Proxyサーバーの指定、ファイル拡張子とファイルタイプ/クリエーターのマッピングなど、さまざまな設定を共有できる。

IPNetMonitor
2.2.1/Sustainable Softworks/シェアウェア(20ドル)
●ネットワーク診断ツール
TCP/IPネットワーク環境の状況を詳細に表示。さまざまな機能を併せ持つネットワーク診断ツール。UNIX環境でのping、traceroute、finger、nslookup相当の操作が行なえるほか、TCP/IPパケットの送受信状況や接続状況をリアルタイムでモニターできる。

IRcat
0.5/田上数士/フリーウェア
●IRCチャットクライアントソフト
簡単な設定で、インターネットを使ったチャットが楽しめる。日本語のインライン入力もサポート。

MailKanjiFixer
1.4/伊東秀喜/シェアウェア(メール)
●文字化け修復ツール
漢字コードが文字化けしてしまったメールやテキストの文字化けを可能なかぎり修復する。

PageSpinner
2.1/Optima System/シェアウェア(25ドル)
●初心者でも扱えるHTMLエディター
最高18個まで独自のタグを作ることが可能。また、書体の設定もツールバーで簡単に行なえる。

★PerMan Surfer波乗野郎
3.14/(株)ビー・ユー・ジー/シェアウェア(6,800円)
●ホームページ自動巡回ソフト
指定時刻に、登録したURLの更新チェックやデータのダウンロードを行なう。マルチセッションに対応。

URL Manager Pro
2.5.1J/Alco Blom/シェアウェア(3,500円)
●ブックマーク管理ユーティリティ
高機能なブックマーク管理ツール。ブックマークの取り込み・書き出しはもちろん、ブックマーク内でのソートや検索、重複したURLの削除、アウトライン表示、メールアドレスやURLの抽出が可能。

グラフィック

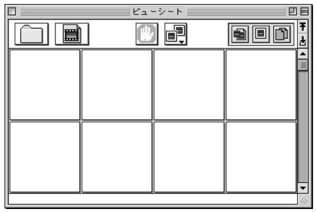
ComebackImage
2.6.2.1/青木康雄/シェアウェア(2,500円)
●多彩な機能を持つフォトレタッチソフト
フルカラー対応のフォトレタッチソフト。PICTやJPEGのほか、一部のデジタルカメラで採用されているJ6I形式の画像ファイルも開くことができる。

GIFConverter
2.4.4/Kevin A. Mitchell/シェアウェア(30ドル)
●画像ファイルコンバーター
GIFをはじめ、PICT、JPEG、TIFF、RIFFなど主要形式に対応。簡単なレタッチ、スライドショー機能もある。

GraphicConverter
3.6.2/Lemke Software/Thorsten Lemke/シェアウェア(35ドル)
●画像変換&描画ソフト
Windows標準のBMP形式をはじめ、AmigaからUNIXまで、さまざまなOSで使われている画像ファイルフォーマットを開くことができる画像変換ツール。ペイントツールあるいは画像レタッチソフトとしての機能もあり、スライドショーもできる。

ImageViewer
5.0.2J/Plato Grande Software/Kevin Wleklinski/シェアウェア(25ドル)
●使い勝手に優れた画像コンバーター
GIF、JPEG、PICT、TIFFの4形式に対応した画像ビューワー。相互の形式に変換することもできる。大量の画像ファイルを一度に表示したり、簡単に整理するための機能が備わっている。

★Photonick
1.6/田中康之/フリーウェア
●デジカメに適した画像処理ソフト
デジタルカメラによく見られる歪曲収差を補正する機能などを持つ、高機能な画像処理ソフト。PICT、JPEG、CAM、プログレッシブJPEG形式の画像を読み込んで、エッジ強調、色強調などの画像調整、フィルター、マスク処理ができる。



PixelCat
1.6.9b5/BombCat,Yoshiki(DreamField)/フリーウェア
●日本特有の画像フォーマットに対応した画像ビューワー&コンバーター
PICT、Compressed PICT、BMP、GIFなどのほか、Doga PIC、G68、MAGなどの画像フォーマットに対応している画像ビューワー兼コンバーター。

QuickNailer
1.7.1/Stephen Baber/シェアウェア(18ドル)
●画像/ムービーデータの管理ツール
ドラッグ&ドロップで画像およびムービーファイルを探し出して、サムネイルウィンドウを開いて一覧表示する。表示できる形式はPICT、JPEG、GIF、QuickTimeムービー(MooV)、Photoshop2.5(8BPS)、QuickTime Image(qtif)、clipping(clpp)など。

RenderBoy
2.1.0/Vista Systems (Paul Rybarczyk)/シェアウェア(25ドル)
●3Dレンダリングソフト
球や直方体などを組み合わせ、比較的簡単な操作で、ハイクオリティな3D画像が作成できる。

ShareDraw
2.01/Peirce Software/シェアウェア(24.95ドル)
●ドロー系描画ソフト
24ビットカラー対応のドロー系描画ソフト。ひし形ツールや円弧ツールなどの描画ツール、シアーツールやディストートツールなどの変形ツールは市販のソフトに匹敵する機能をもつ。

SketchBook
2.5/木村渋太郎/シェアウェア(3,500円)
●楽しいペイントソフト
絵心がなくても初心者でも簡単に絵が描けるペイントソフト。

マルチメディア

Animation Maker
3.2J/VOGET SELBACH ENTERTAINMENT/シェアウェア(25ドル)
●簡単なアニメーションを作成
ペイントツールやボタン操作などが主体の、手軽な動画作成ソフト。GIFやPICS形式での保存ができる。

GIfBuilder
0.5/Yves Pigue/フリーウェア
●アニメーションGIF作成
簡単な操作でアニメーションGIFのデータが作成できるオーサリングソフト。

★iView Multimedia
3.6/Script Software International/シェアウェア(25ドル)
●シンプルで強力な画像カタログソフト
1カタログで8,000までの画像を管理することができる画像カタログ管理ツールで、作成可能なカタログ数には制限がない。サポートしている画像形式はPICT、JPEG、GIF、Photoshopなど。



MooVer
1.6J/esp Software/Eduard Schwan/シェアウェア(10ドル)
●ドラッグ&ドロップでムービー作成
PICTファイルやサウンドファイルをドラッグ&ドロップするだけで、QuickTimeムービーを作成することができる。ムービーのサイズは最初にドロップされた画像の大きさで決定され、カラー階調は256色(8bitカラー)、あるいは1670色(24bitカラー)に設定できる。

Morpher
2.0/藤宮昌和/シェアウェア(2,000円)
●モーフィングムービー作成ソフト
2つのPICT形式の画像を取り込み、最初と最後の画像をベースにして連続的に変化するQuickTimeムービーまたはPICS形式の動画を作成する。

OneApp CineSlider
4.3/OneApp Software/シェアウェア(25ドル)
●マルチメディアプロジェクタ
QuickTime、QuickTime VR、AIFFサウンドなどさまざまな画像形式に対応したプレゼンテーションソフト。

Play it Cool
3.1.7J/Russell Clarke/シェアウェア(2,000円)
●QuickTimeムービー再生ソフト
QuickTimeムービーの再生と編集ができ、画像やサウンドファイルを開くことも可能なユーティリティソフト。

サウンド

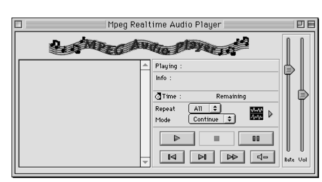
ConvertMachine
1.2v1J/Rod Kennedy/シェアウェア(1,200円もしくは15ドル)
●サウンドファイルのフォーマット変換ツール
ドラッグ&ドロップするだけでサウンドファイルを変換できる、「SoundMachine」と同じ作者によるユーティリティ。AIFF/AIFC、AU、WAVE、システムサウンド、QuickTimeオーディオなどを相互に変換可能。ステレオをモノラルにすることもできる。圧縮比率やサンプルレートも自由に設定可能。

MacAmp Lite
1.5.2/@soft/シェアウェア(10ドル)
●オーディオプレイヤーMacAmpの簡易版
MP3をはじめとする各種サウンドフォーマットに対応し、モジュール追加でさらに機能アップも可能。

★Melody Assistant
3.4.0/Didier & Olivier Guillion (MYRIAD SARL)/シェアウェア(15ドル)
●フランス生まれの高機能な楽譜編集・作曲ソフト
「.kar」を含むMIDI形式やMOD形式などのサウンドファイルも開け、ユーザー登録すると、AIFF、WAVE形式での書き出しも可能になる。

MIDIGraphy
1.4.2/前田昌雄/シェアウェア(2,000円または20ドル)
●多機能なシーケンスソフト
内部データ構造などが、すべて標準MIDIファイルフォーマットの規約に基づいて作られているシーケンスソフト。RCP、SNGファイルの読み込みもサポートしているほか、LHA圧縮ファイルは解凍しなくても読み込むことができる。

★MPEG Audio Realtime Player
1.74/Oliver Dreer/フリーウェア
●MP3の再生が可能なサウンドプレーヤー
CDとほぼ同じ音質を保ちながら、12分の1のサイズまでデータを圧縮することができるMP3(Layer3)方式のサウンドファイルを再生する。圧縮比の低いLayer1(1/4程度)やLayer2(1/6~1/8程度)にも対応している。



★PlayerPRO
5.2/Antoine ROSSET/フリーウェア
●さまざまなフォーマットに対応した再生・編集ソフト
MOD形式のサウンドファイルの再生・編集ソフト。そのほかにS3M、Mldl、MTM、MADx、OKTA、snd、WAV、AIFF、AIFC、MED、XMの各フォーマットを読み込んで再生することができる。また、演奏中の曲情報が波形やインジケーター形式で視覚的に表示できる。

SndSampler
3.7.1/Alan Glenn/シェアウェア(20ドル)
●録音＆サウンド編集ツール
シンプルな録音機能にあわせ、サウンド編集機能を搭載した強力なツール。さまざまなエフェクトやレートの変更などが可能。

★Sound Sculptor II
2.4.1/Jeff Smith/シェアウェア(30ドル)
●8トラックまで使えるサウンドエディター
8トラックステレオサウンドまでの再生および編集が可能で、ファイル形式はAIFF、System 7サウンド、WAVE、Sound Designer II、Sound Editに対応している。

SoundApp
2.6.1J/Norman Franke/フリーウェア
●サウンド再生ツールの決定版
AIFF、AU、WAVE、MP3などのさまざまな音声フォーマットに対応したサウンド再生ツール。また、System 7サウンド、Soundスーツケース、WAVE、AIFF、NeXTの各フォーマットへの変換もサポートしている。

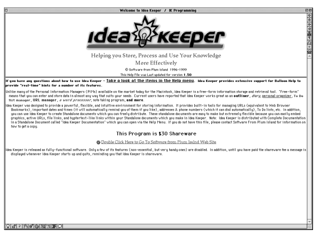
SoundMachine
2.7.1J/Rod Kennedy/シェアウェア(1,200円もしくは15ドル)
●サウンドプレーヤー
サウンド再生ユーティリティm-law(mu-law)、AIFF、WAVEなどのオーディオフォーマットを再生するサウンドファイルプレーヤー。

データベース＆メモ

ForceEngineII
1.7.2/上田篤史/シェアウェア(3,800円)
●カード型データベースの定番
現在さまざまなニーズに対応できるように、3種類のシリーズとしてリリースされているデータベースソフト。ベースファイルと呼ばれる設計ずみのカード（テンプレート）が、Genesisというフォルダに11種類備わっている。これらをそのまま利用することができ、変更を加えてカスタマイズすることも可能。もちろん、まったくオリジナルな様式のカードを設計することもできる。

Gramotki
1.5.9J/Troy Magazine/シェアウェア(3,200円)
●高機能なスティッキーズ代替ソフト
テキスト以外に画像やサウンドの貼り付けもできるメモ、一覧リスト、カレンダーがセットになっている。

★Idea Keeper
1.5/Glenn Berntson/シェアウェア（30ドル）
●高機能なメモ帳
ひらめいたアイデアを書き留めたり、To Do（しなければならない事柄）のリストアップにも利用できる高機能なメモ帳。いくつかのメモをトピックスというグループで体系化することができるのをはじめ、修飾文字の使用もサポートしており、さらにひとつのノートウィンドウからほかのウィンドウやファイルにリンクを張ることも可能。



まみむメモ（memo）
1.60/伊藤日出夫/シェアウェア(金額任意)
●メモ用紙とカレンダーを兼ね備えたスケジューラソフト
ホワイトボードにピンなどで留めていくような感覚で、日付入りのメモを利用できる。基本的にはメモパッド（メモ用紙の束）、それを貼り付けるマンスリーカレンダー(月間予定表)とウィークリーカレンダー(週間予定表)、不要になったメモを捨てるためのゴミ箱、および貼り付けられたメモ用紙の編集用ウィンドウ（デイパッド）で構成されている。

メモゼリー（Memojelly）
1.9.0/落合徹/シェアウェア（1,500円）
●生きてるように動き回るゼリー状のメモ帳
テキスト、画像、音声などのデータをドラッグ＆ドロップして保存。検索やパスワード設定機能も完備。

Memorize
4.4/清水友彦/シェアウェア（2,000円）
●定番PIMソフト
PIMソフトの定番。スケジュールの登録やメモなどの基本機能に加えて、画像の表示やURLの管理能力を持つ。高機能でありながら簡単に使えるため、愛用者も多い。

NewNOTEPAD II
1.7.2/久浦広樹/シェアウェア（2,500円学生は無料）
●高機能メモソフト
メモの記述と管理機能を統合したメモソフト。フォルダーの中にメモファイルを保存するように、ウィンドウの中にいくつもメモを登録できる。フォルダーの追加もできるので、複数のメモを整理する際に便利。

ScrapIt Pro
5.4.4/John V. Holder/シェアウェア（20ドル）
●さまざまな形式のファイルをスクラップ／一覧できる
スクラップするデータに名前を付け、それで検索して速やかに表示させることができる。また、保存したすべての項目をギャラリー形式で一覧表示させたり、スライドショー形式によって順に表示させることも可能。ストックできるデータは、テキスト、画像、サウンドはもとより、ムービーやQuickDraw 3Dのファイルでもよい。

デスクトップデコレーション

DarkSide of the Mac
5.0.5J/Tom Dowdy/シェアウェア（20ドル）
●9カ国語対応のスクリーンセーバー
AfterDarkモジュールも利用可能なアプリケーションタイプのスクリーンセーバー。48種類のモジュールを同梱。

Icon Machine
1.6.2J/David Catmull/シェアウェア(2,600円)
●アイコンをカスタマイズ
ファインダーアイコンをカスタマイズするアイコンエディター。

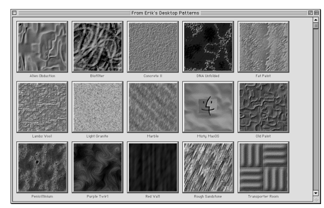
IconShop
2.0/木村渋太郎/シェアウェア(3,200円)
●アイコンの編集ができるアイコンエディター
ドラッグ＆ドロップでライブラリ登録ができ、アイコンの編集が可能なアイコンエディター。

Kaleidoscope
2.1.2J/Greg Landweber,Arlo Rose and Edward Voas/シェアウェア（25ドル）
●デスクトップカスタマイズユーティリティ
Macの見た目のデザインを過激にカスタマイズしてくれるユーティリティ。2.0でスクロールアローのダブル化やデスクトップパターンとの連動化機能が加わった。

Kineticon
1.5.1J/Kinetic Creations/シェアウェア(1,800円)
●アニメアイコンを表示する
26種類のサンプルアイコンが同梱されているほか、Kineticon Editorでオリジナルアイコンも作成可能。

MacDim
2.1J/Ibrium HB/フリーウェア
●シンプルなスクリーンセーバー
画面を薄暗くするほか、選択ファイルの起動／スリープも可能。パスワード機能も備わっている。

Pattern Manager
1.5.2/Sterling Augustine/フリーウェア
●画像ファイルから手軽にデスクトップパターンを作る
一般のグラフィックツールで行なうと面倒な作業を、すべて簡単に処理してくれる。プレビュー機能がやや弱いのが残念だが、オリジナルのデスクトップパターンを作るのに役立つ。



Window Monkey
1.2.5J/Tiger Technologies/シェアウェア（2,800円）
●ウィンドウパターンを付加
ウィンドウのなかにパターンを貼るコントロールパネル。

★デスクトップピンナップ
2.5.1/落合徹/シェアウェア（1,000円）
●デスクトップピクチャを自動切り換え
高度な機能を持ったデスクトップピクチャ貼りつけツール。一定時間ごとに画像を切り換える、貼り付けた画像に枠を付けるなど、機能が満載だ。

CD-ROM MACLIFE収録のフリーウェアに関して以下のことに注意してください
※シェアウェアは、無料のソフトではなく、継続して使用する場合に一定の対価を必要とするソフトです。シェアウェアのソフトを気に入って継続使用する場合には、対価を必ず支払いましょう。それが、新しい、有用なソフトのさらなる開発につながります。なお、対価は、お金の場合のほか、さまざまな条件の場合があるので、詳しくは当該ソフトに付属する文書をお読みください。